

上智大学履修要覧

〔学科科目編〕

2018年度

本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。



【校章と校名（ソフィア）の由来】

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本质と理想とを表わしている。

中央に示された文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”（SOPHIA）にほかならない。

目 次

本学の教育理念	(2)	掲示板の場所・内容	後見返し
開講科目担当表の見方	(4)		
1. 神 学 部	神学科		(5)
2. 文 学 部	文学部横断型人文学プログラム		(28)
	哲学科	(36)	ドイツ文学科 (109)
	史学科	(54)	フランス文学科 (125)
	国文学科	(71)	新聞学科 (142)
	英文学科	(85)	
3. 総合人間科学部	総合人間科学部について	(160)	社会学科 (197)
	教育学科	(164)	社会福祉学科 (208)
	心理学科	(179)	看護学科 (232)
4. 法 学 部	法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通	(254)	
	法律学科	(265)	地球環境法学科 (288)
	国際関係法学科	(276)	
5. 経 済 学 部	経済学科	(302)	経済学部共通 (340)
	経営学科	(322)	
6. 外国語学部 (14年次生以降)	外国語学部について		(343)
	英語学科		(348)
	ドイツ語学科		(360)
	フランス語学科		(370)
	イスパニア語学科		(378)
	ロシア語学科		(386)
	ポルトガル語学科		(394)
	北米研究コース		(402)
	ヨーロッパ研究コース		(407)
	ラテンアメリカ研究コース		(416)
	ロシア・ユーラシア研究コース		(421)
	言語研究コース		(425)
	アジア研究コース		(434)
	中東・アフリカ研究コース		(439)
	国際政治論研究コース		(444)
市民社会・国際協力論研究コース		(450)	
7. 外国語学部 (13年次生以前)	外国語学部説明		(456)
	外国語学部基礎科目		(459)
	英語学科		(461)
	ドイツ語学科		(478)
	フランス語学科		(488)
	イスパニア語学科		(501)
	ロシア語学科		(512)
	ポルトガル語学科		(519)
	言語学研究専門分野 (言語学副専攻)		(532)
	国際関係研究専門分野 (国際関係副専攻)		(538)
	アジア文化研究専門分野 (アジア文化副専攻)		(543)
	ヨーロッパ研究専門分野		(548)
ラテンアメリカ研究専門分野		(555)	
8. 総合グローバル学部	総合グローバル学科	(561)	
9. 国際教養学部	国際教養学部	(575)	
10. 理 工 学 部	理工学部の学生諸君へ・理工学部共通科目		(578)
	物質生命理工学科	(602)	情報理工学科 (656)
	機能創造理工学科	(626)	

※教職課程科目及び学芸員課程科目については、『履修要覧 (課程編)』を参照してください。

※ガイド、全学共通科目、グローバル教育センター、履修プログラム、語学科目 (14年次生以前対象)、外国語科目 (13年次生以前対象) については『履修要覧 (共通編)』を参照してください。

開講科目担当表の見方

開講科目担当表において、備考欄に（他）と記載している他学部他学科科目については、開講期と担当者、履修年次は記載してありません（一部学部には記載あり）。

必要情報は開講元のページを参照するか、Loyolaの時間割参照、シラバス検索から確認するようにしてください。

また、授業を全て外国語で実施する科目は「外国語で行う授業欄」に○で示しています。

科目コードが同一の科目は、

原則として重複履修できない。

（重複して履修しても卒業単位にはならない）

授業を全て
外国語で
実施する科目

[] は抽選科目を示す。

[] 内は定員

科目の分野とレベルを示す

*は非常勤教員を示す。

別科目名の授業と
合同で行われる場合もある。

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選 択 科 目 目 C 群	158006	AAA101	社会心理学入門 I	2	春	上 智 花子	1~4		[200名]
	280403	BBB102	イギリス文学研究 I	2	春	* 紀尾井 太郎	2~4		
	700517	CCC201	地球環境とその生物	1	秋	四ツ谷 次郎 市 谷 良子 千代田 三郎	1~3		「地球環境概論」と合併
	776160	CCC202	化学実験	2		* 目白 肇	3・4		夏期集中
	761016	DDD301	ドイツ文化と発展	2	休講		2・3	○	隔年開講
	700219	EEE302	次世代テクノロジー	1	春	石神井 香	2		同時担当
	550929	FFB401	貧困と格差1	2	春	コーディネータ 秦 野 唯	1		輪講 旧「貧困と格差」
	950300	GGG402	キリスト教と哲学 I	2					複数教員により 輪講形式で 行われる科目
	他学部他学科科目			他学部他学科開講科目担当表を参照			09年次以降・・・20単位まで選択科目に算入可		
							08年次以前・・・12単位まで選択科目に算入可		
course : IBEで開講されているすべての科目							2~4		(他) 国際教養学部

今年度休講の科目

履修対象とする年次。この年次以外の学生で履修を希望する学生は、担当教員の許可を得てから登録すること。

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと。

他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことのできるもの。

開講元が記載されているので開講期、担当者、履修年次などの情報は開講学科のページを参照すること。

◎ 担当表欄外にも履修に関する注意事項が記載されているので、必ず確認すること。

1

神 学 部

〔教育研究上の目的〕

カトリック神学の教育研究を軸として、キリスト教的価値観にもとづく教育研究をとおしてより良い世界の構築に寄与すること

〔人材養成の目的〕

より良い世界の構築に貢献するために、キリスト教的価値観にもとづく教養を備えた地球市民を養成し、カトリック教会の聖職者・教職者を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部では、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. カトリック神学とその価値観の基礎を修得し、それにもとづいて現代世界における諸問題に学問的にアプローチし、また実践的にコミットできる能力
2. 学生が選択した「系」の分野に関して十分に精通し、当該領域の諸問題について分析・考究する能力
3. 神学を研究するための調査・論考・発表に関するアカデミック・スキルズ
4. 学生が選択した「系」の分野に沿ったテーマで卒業論文を完成させる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のような科目群によりカリキュラムを編成しています。

1. カトリック神学の基礎的素養を養う科目群
2. 学生が選択する「系」（神学系、キリスト教倫理系、キリスト教文化系）に沿って、学生が各自の関心に従い、より専門的に勉学を深めるための選択必修科目群
3. 神学を研究するための調査・論考・発表に関するアカデミック・スキルズを養う必修科目群
4. 神学の勉学を総合する卒業論文執筆に向けた、問題解決と発表の能力を育てるための必修科目群
5. 教皇庁認可神学部共通の国際的学位（STB/STL/STD）を取得するための基準に則した神学専門科目、また教会の必要に応えるための宣教実務に関する科目

神学科

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

18年次生

全学共通科目	26単位	{	必修	2単位	[体育2単位]
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
			選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目	4単位		必修	4単位	
学科科目	94単位	{	語学科目(選択必修)	4単位	
			学科専門科目(必修30単位，選択必修26単位，選択34単位)		
合計	124単位				

17年次生

全学共通科目	26単位	{	必修	2単位	[体育2単位]
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
			選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目	4単位		必修	4単位	
学科科目	94単位	{	語学科目(選択必修)	4単位	
			学科専門科目(必修32単位，選択必修24単位，選択34単位)		
合計	124単位				

14～16年次生

全学共通科目	26単位	{	必修	2単位	[体育2単位]
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
			選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目	4単位		必修	4単位	
学科科目	94単位	{	語学科目(選択必修)	4単位	
			学科専門科目(必修28単位，選択必修28単位，選択34単位)		
合計	124単位				

13年次生

全学共通科目	30単位	{	必修	10単位	体育	2単位
					外国語科目	8単位
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]	
		選択	16単位			
学科科目	94単位				[必修28単位，選択必修28単位，選択38単位]	
合計	124単位					

11～12年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 12単位 { 体育 2単位 情報 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 14単位
学科科目	94単位	
合計	124単位	
		[必修28単位, 選択必修28単位, 選択38単位]

【**宣教実務系**】 宣教実務系の学科科目は2018年度入学の学生（学生番号：A1691×××）を含み、下記のとおりとなります

学科科目	94単位	[必修28単位, 選択必修36単位, 選択30単位]
合計	124単位	

※学科科目の履修の流れは、履修上の注意「**宣教実務系**」の注意書きを熟読すること。

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の言語 (注1)						4	
	必修 (30単位)	キリスト教入門Ⅰ	2	神学アカデミック・スキルズ	2	シンボルとサクラメントⅠ	2	卒業論文Ⅰ	2
		キリスト教入門Ⅱ	2				卒業論文Ⅱ	2	
		キリスト教倫理Ⅰ	2	キリスト教と哲学Ⅰ	2				
		キリスト教の歴史Ⅰ	2	キリスト教の歴史Ⅱ	2				
		神と人間Ⅰ	2	イエス・キリストⅠ	2				
旧約聖書概説 新約聖書概説			2 2						
選択必修 (26単位)					神学系		26		
				キリスト教倫理系					
				キリスト教文化系					
選択 (34単位)	神学系 キリスト教倫理系 キリスト教文化系		①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語 ③現代語 (8単位まで) ④演習科目 ⑤課程科目 (実習を除く) ⑥他学部他学科開講科目 ⑦全学共通科目 (必修科目を除いて12単位まで) から自由選択						34

(注1) 語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕(p.163～)を参照。

17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の言語(注1)						4	
	必修 (32単位)	キリスト教入門Ⅰ	2	神学アカデミック・スキルズ	2	卒業論文ゼミナールシンボルとサクラメントⅠ	2	卒業論文Ⅰ	2
		キリスト教入門Ⅱ	2	キリスト教と哲学Ⅰ	2			卒業論文Ⅱ	2
		キリスト教倫理Ⅰ	2	キリスト教の歴史Ⅱ	2				
		キリスト教の歴史Ⅰ	2	イエス・キリストⅠ	2				
		神と人間Ⅰ	2	キリストの教会Ⅰ	2				
		旧約聖書概説		2					
	新約聖書概説		2						
選択必修 (24単位)		神学系						24	
		キリスト教倫理系							
		キリスト教文化系							
選択 (34単位)	神学系 キリスト教倫理系 キリスト教文化系	①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語 ③現代語(8単位まで) ④演習科目 ⑤課程科目(実習を除く) ⑥他学部他学科開講科目 ⑦全学共通科目(必修科目を除いて12単位まで)から自由選択						34	

(注1) 語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕(p.163～)を参照。

14～16年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
						高学年向け教養科目		2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の言語(注1)						4	
	必修 (28単位)	キリスト教入門Ⅰ	2	キリスト教と哲学Ⅰ	2	卒業論文ゼミナール	2	卒業論文Ⅰ	2
		キリスト教入門Ⅱ	2	キリスト教と哲学Ⅱ	2			卒業論文Ⅱ	2
		キリスト教倫理Ⅰ	2	神学アカデミック・スキルズ	2				
		キリスト教倫理Ⅱ	2	キリスト教の歴史Ⅰ キリスト教の歴史Ⅱ	2 2				
	旧約聖書概説 新約聖書概説				2 2				
選択必修 (28単位)			神学系						
			キリスト教倫理系						
			キリスト教文化系						
選択 (34単位)	神学系 キリスト教倫理系 キリスト教文化系		①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語 ③現代語(8単位まで) ④演習科目 ⑤課程科目(実習を除く) ⑥他学部他学科開講科目 ⑦全学共通科目(必修科目を除いて12単位まで)から自由選択						34

(注1) 語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕(p.163～)を参照。

○ 宣教実務系のみ対象の学科科目(選択必修・選択※)

学科科目 (36単位)	選択必修	宣教実務系						36	
学科科目 (66単位)	選択	宣教実務系	①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語・現代語(8単位まで) ③演習科目 ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部他学科開講科目 ⑥全学共通科目(12単位まで)から自由選択						30

※学科科目の必修科目は、履修要覧 p.16 の履修上の注意①学科カリキュラム全般についてを熟読の上、卒業に必要な単位を履修すること。

※選択必修科目については、履修要覧 p.21 の表から、各分野の必要単位数を履修すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語もしくはラテン語	4	英語もしくはラテン語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (28単位)	キリスト教学入門Ⅰ	2	キリスト教と哲学Ⅰ	2	卒業論文ゼミナール	卒業論文Ⅰ	2
		キリスト教学入門Ⅱ	2	キリスト教と哲学Ⅱ	2		卒業論文Ⅱ	2
		キリスト教倫理Ⅰ	2	神学アカデミック・	2			
		キリスト教倫理Ⅱ	2	スキルズ				
		キリスト教の歴史Ⅰ	2					
		キリスト教の歴史Ⅱ	2					
		旧約聖書概説			2			
		新約聖書概説			2			
	選択必修 (28単位)		神学系					28
			キリスト教倫理系					
			キリスト教文化系					
	選択 (38単位)	神学系	①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語・現代語				38	
		キリスト教倫理系	③演習科目 ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部他学科開講科目					
		キリスト教文化系	⑥全学共通科目(必修科目を除いて12単位まで)から自由選択					

○ 宣教実務系のみ対象の学科科目(選択必修・選択※)

学科科目 (66単位)	選択必修 (36単位)		宣教実務系	36
	選択 (30単位)	宣教実務系	①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語・現代語 ③演習科目 ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部他学科開講科目 ⑥全学共通科目(12単位まで)から自由選択	30

※学科科目の必修科目は、履修要覧 p.18 の履修上の注意 1) 学科カリキュラム全般についてを熟読の上、卒業に必要な単位を履修すること。

※選択必修科目については、履修要覧 p.21 の表から、各分野の必要単位数を履修すること。

11～12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2					
			2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
選択 (14単位)								
外国語科目必修 (8単位)	英語もしくはラテン語	4	英語もしくはラテン語	4				

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (28単位)	キリスト教入門Ⅰ	2	キリスト教と哲学Ⅰ	2	卒業論文ゼミナール	卒業論文Ⅰ	2
		キリスト教入門Ⅱ	2	キリスト教と哲学Ⅱ	2			
		キリスト教倫理Ⅰ	2	神学アカデミック・ スキルズ	2			
		キリスト教倫理Ⅱ	2	キリスト教の歴史Ⅰ	2			
				キリスト教の歴史Ⅱ	2			
			旧約聖書概説 新約聖書概説		2 2			
選択必修 (28単位)			神学系					28
			キリスト教倫理系					
			キリスト教文化系					
選択 (38単位)	神学系 キリスト教倫理系 キリスト教文化系		①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語・現代語 ③演習科目 ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部他学科開講科目 ⑥全学共通科目(12単位まで)から自由選択					38

○ 直教実務系のみ対象の学科科目(選択必修・選択※)

学科科目 (36単位)	選択必修		直教実務系	36
学科科目 (66単位)	選択	直教実務系	①選択必修科目のうち、選択した系以外の系から ②古典語・現代語 ③演習科目 ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部他学科開講科目 ⑥全学共通科目(12単位まで)から自由選択	30

※学科科目の必修科目は、履修要覧 p.18 の履修上の注意 1) 学科カリキュラム全般についてを熟読の上、卒業に必要な単位を履修すること。

※選択必修科目については、履修要覧 p.21 の表から、各分野の必要単位数を履修すること。

3. 履修上の注意

共通

① 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することはできない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。
- (注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	49	28	28	49	28	28	49	28	28	49	196

② 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
ETH	ETHICS	倫理学
LAW	LAW	法律学
PHL	PHILOSOPHY	哲学
REL	RELIGIOUS STUDIES	宗教
SOC	SOCIOLOGY	社会学
TEM	TEACHING METHODS	教育法
THE	THEOLOGY	神学

③ 学部4年次生に限り、所定の条件を満たせば大学院科目の履修が認められ、大学院進学後は大学院学則の定めによる単位数まで既修科目として認定される。

履修登録できる科目は下記のとおりである。**ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので注意すること。**

「入信の秘跡」、「聖餐の秘跡」、「ゆるしと叙階の秘跡」、「基礎神学Ⅰ／Ⅱ」、「マリア論」、「日本キリスト教史」、「教父学」、「東方キリスト教学」、「倫理神学特講Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ」、「恩恵論」、「宣教学特講Ⅰ／Ⅱ」、「現代の霊性Ⅰ／Ⅱ」、「キリスト教ラテン語原典研究」、「聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）」

④ 「卒業論文Ⅰ／Ⅱ」について

卒業論文のためには、定められた時期までに学科の専任教員の中から指導者を選び、テーマと方法について相談し、神学科事務室に届けること。**卒業論文は、必ず神学科専任教員の主査のもとで作成する。**

卒業論文は必修科目であるが、履修中止（W）を認める。

「卒業論文Ⅱ」は「卒業論文Ⅰ」の履修を前提とする。留学・休学などやむを得ぬ理由がある場合は、学科長の許可を受けて、「卒業論文Ⅰ」を3年次秋学期に履修することができる。同様に「卒業論文Ⅱ」を春学期に履修することができる。ただし「卒業論文Ⅱ」は「卒業論文Ⅰ」の履修を前提とするという条件は守らなければならない。

卒業論文の提出要領は、下記の通りである。

- ア 規格：特に指定無し
- イ 綴じ方：特に指定無し
- ウ 期間／時間／場所：Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- エ 卒業論文の控えを神学部事務室に一部提出する。
- オ 剽窃チェックのため、文書データを学科長の指示に従い提出する。

18年次生

① 学科カリキュラム全般について

本学科で学ぶ学生は1年次から2年次にかけて学科共通基礎科目（必修）を指定された年次に履修する。

3年次から神学系，キリスト教倫理系，キリスト教文化系に分かれ，それぞれの系で選択必修科目（26単位）を履修する。系への所属は2年次終了時に神学科事務室に登録する。一旦選んだ系は変更することができない。

選択科目（34単位）は2年次から履修することができる。

3年次秋学期の11月初旬までに『卒業論文提出票』を神学科事務室に提出し，論文執筆の準備をする。

4年次に原則として春学期に「卒業論文Ⅰ」，秋学期に「卒業論文Ⅱ」を履修する。休学・留学等やむを得ない事情がある場合は，履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。指導教員の指導の下に論文執筆をおこなうほか，卒業論文中間発表および卒業論文審査が課される。

「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は，1年次必修科目「キリスト教学入門Ⅰ」「キリスト教学入門Ⅱ」および2年次必修科目「神学アカデミック・スキルズ」の単位を取得していない場合には受講できない。

卒業論文Ⅰあるいは卒業論文Ⅱを同一年度に履修する場合は，必ず学科長に連絡の上，指導を受けなければならない。

② 語学カリキュラムについて

語学は，言語教育研究センター開講の「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」（必修4単位）を履修する。語学科目選択必修（4単位）は，哲学科開講の「ラテン語Ⅰ」の履修が勧められるが，言語の種類を問わない。その他に，必修以外の言語科目を履修することができる。その場合，全学共通科目の選択科目に8単位まで，また神学科の選択科目に8単位まで算入することができる。ラテン語履修のためには英語プレイズメント・テストで中級以上であることを要件とする。

③ 選択科目について

選択科目は，キリスト教ラテン語，聖書ギリシア語，聖書ヒブル語などの聖書言語や演習科目，あるいは現代言語の履修が勧められる。また課程科目（実習は除く），他学部・他学科科目を含めることができる。全学共通科目からは必修科目を除いて12単位までを神学科の卒業に必要な科目に含めることができる。

所属する系以外の系の科目は選択科目として履修し，卒業に必要な科目に含めることができる。ただし，所属する系の科目を選択科目に登録することはできず，自系の選択必修26単位を超えて履修しても卒業に必要な単位に含めることができない。

また，開講科目一覧表において，自系と他の系それぞれの選択必修科目欄に同一の科目名称が記載されている場合は，自系の選択必修科目としての取り扱いとなり，他の系として選択科目に充当することはできない。

④ STB/STL学位取得を希望する学生は，3年次に神学系を選択した上で，学科長と相談すること。

17年次生

① 学科カリキュラム全般について

本学科で学ぶ学生は1年次から2年次にかけて学科共通基礎科目（必修）を指定された年次に履修する。

2年次から神学系，キリスト教倫理系，キリスト教文化系に分かれ，それぞれの系で選択必修科目（24単位）を履修する。系への所属は1年次終了時に神学科事務室に登録する。一旦選んだ系は変更することができない。

選択科目（34単位）は2年次から履修することができる。

3年次秋学期に「卒業論文ゼミナール」（学科共通基礎科目，必修2単位）を履修し，論文執筆の準備をする。

4年次に原則として春学期に「卒業論文Ⅰ」，秋学期に「卒業論文Ⅱ」を履修する。休学・留学等やむを得ない事情がある場合は，履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。指導教員の指導の下に論文執筆をおこなうほか，卒業論文中間発表および卒業論文審査が課される。

「卒業論文ゼミナール」および「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は，1年次必修科目「キリスト教学入門Ⅰ」「キリスト教学入門Ⅱ」および2年次必修科目「神学アカデミック・スキルズ」の単位を取得していない場合には受講できない。また，「卒業論文Ⅰ／Ⅱ」は，原則として「卒業論文ゼミナール」の履修を前提とする。「卒業論文ゼミナール」と「卒業論文Ⅰ」あるいは「卒業論文Ⅱ」を同一年度に履修する場合は，必ず学科長に連絡の上，指導を受けねばならない。

② 語学カリキュラムについて

語学は，言語教育研究センター開講の「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」（必修4単位）を履修する。語学科目選択必修（4単位）は，哲学科開講の「ラテン語Ⅰ」の履修が勧められるが，言語の種類を問わない。その他に，必修以外の言語科目を履修することができる。その場合，全学共通科目の選択科目に8単位まで，また神学科の選択科目に8単位まで算入することができる。ラテン語履修のためには英語プレースメント・テストで中級以上であることを要件とする。

③ 選択科目について

選択科目は，キリスト教ラテン語，聖書ギリシア語，聖書ヒブル語などの聖書言語や演習科目，あるいは現代言語の履修が勧められる。また課程科目（実習は除く），他学部・他学科科目を含めることができる。全学共通科目からは必修科目を除いて12単位までを神学科の卒業に必要な科目に含めることができる。

所属する系以外の系の科目は選択科目として履修し，卒業に必要な科目に含めることができる。ただし，所属する系の科目を選択科目に登録することはできず，自系の選択必修24単位を超えて履修しても卒業に必要な単位に含めることができない。

また，開講科目一覧表において，自系と他の系それぞれの選択必修科目欄に同一の科目名称が記載されている場合は，自系の選択必修科目としての取り扱いとなり，他の系として選択科目に充当することはできない。

④ STB/STL学位取得を希望する学生は，2年次に神学系を選択した上で，学科長と相談すること。

14～16年次生

① 学科カリキュラム全般について

本学科で学ぶ学生は1年次から2年次にかけて学科共通基礎科目（必修）を指定された年次に履修する。

2年次から神学系，キリスト教倫理系，キリスト教文化系に分かれ，それぞれの系で選択必修科目（28単位）を履修する。系への所属は1年次終了時に神学科事務室に登録する。一旦選んだ系は変更することができない。

選択科目（34単位）は2年次から履修することができる。

3年次秋学期に「卒業論文ゼミナール」（学科共通基礎科目，必修2単位）を履修し，論文執筆の準備をする。

4年次に原則として春学期に「卒業論文Ⅰ」，秋学期に「卒業論文Ⅱ」を履修する。休学・留学等やむを得ない事情がある場合は，履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。指導教員の指導の下に論文執筆をおこなうほか，卒業論文中間発表および卒業論文審査が課される。

「卒業論文ゼミナール」および「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は，1年次必修科目「キリスト教学入門Ⅰ」「キリスト教学入門Ⅱ」および2年次必修科目「神学アカデミック・スキルズ」の単位を取得していない場合には受講できない。また，「卒業論文Ⅰ／Ⅱ」は，原則として「卒業論文ゼミナール」の履修を前提とする。「卒業論文ゼミナール」と「卒業論文Ⅰ」あるいは「卒業論文Ⅱ」を同一年度に履修する場合は，必ず学科長に連絡の上，指導を受けねばならない。

なお，「宣教実務系」には，編入生のみ所属することができる。卒業のために124単位を必要とするが，全学共通科目（26単位）と語学科目（4単位）を履修した上で，学科科目から必修科目（28単位）と選択必修科目（36単位）および選択科目（30単位）を履修する。必修科目のうち「キリスト教学入門Ⅰ」（旧「キリスト教学入門」）・「キリスト教学入門Ⅱ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅰ」）・「神学アカデミック・スキルズ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅱ」）・「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」（計10単位）の代わりに「宣教実務基礎演習Ⅰ～Ⅴ」（計10単位）を履修する。また「卒業論文ゼミナール」（2単位）は卒業年次に履修する。卒業論文は提出せず，代わりに「課題研究報告書」を学科長に提出する。「キリスト教倫理Ⅰ・Ⅱ」（計4単位），「キリスト教と哲学Ⅰ・Ⅱ」（計4単位），「キリスト教の歴史Ⅰ・Ⅱ」（計4単位），「旧約聖書概説」（2単位），「新約聖書概説」（2単位）を履修し，合計28単位を必修科目として履修する。選択必修科目（36単位）は，諸分野から規定単位数以上を履修する。

② 語学カリキュラムについて

語学は，言語教育研究センター開講の「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」（必修4単位）を履修する。語学科目選択必修（4単位）は，哲学科開講の「ラテン語Ⅰ」の履修が勧められるが，言語の種類を問わない。その他に，必修以外の言語科目を履修することができる。その場合，全学共通科目の選択科目に8単位まで，また神学科の選択科目に8単位まで算入することができる。ラテン語履修のためには英語プレイACEMENT・テストで中級以上であることを要件とする。

③ 選択科目について

選択科目は，キリスト教ラテン語，聖書ギリシア語，聖書ヒブル語などの聖書言語や演習科目，あるいは現代言語の履修が勧められる。また課程科目（実習は除く），他学部・他学科科目を含めることができる。全学共通科目からは必修科目を除いて12単位までを神学科の卒業に必要な科目に含めることができる。

所属する系以外の系の科目は選択科目として履修し，卒業に必要な科目に含めることができる。ただし，所属する系の科目を選択科目に登録することはできず，自系の選択必修28単位を超えて履修しても卒業に必要な単位に含めることができない。

また，開講科目一覧表において，自系と他の系それぞれの選択必修科目欄に同一の科目名称が記載されている場合は，自系の選択必修科目としての取り扱いとなり，他の系として選択科目に充当することはできない。

④ 名称変更科目の履修について

名称変更を行った科目は，以下のとおり。科目名変更前の科目と変更後の科目とを重複して履修してもいずれか一方しか卒業単位として認められないため，注意すること。

変更年度	変更前科目名（単位数）	変更後科目名（単位数）
2015	現代宗教論（2）	宗教学（2）
	キリスト教ラテン語Ⅰ（2）	キリスト教ラテン語（2）
	現代哲学Ⅰ（2）	現代哲学（2）
	現代哲学Ⅱ（2）	

変更年度	変更前科目名 (単位数)	変更後科目名 (単位数)
2018	キリスト教文学思想 (2)	キリスト教文学倫理思想 (2)
	生活と聖書 (2)	聖書と倫理 (2)

⑤履修度が変更となった科目について

カリキュラム変更を行ったことにより、履修度が変更となった科目が存在する。

開講科目担当表は17年次生向けに作成しているが、以下の科目を16年次生以前の学生が修得した場合は変更前の履修度が適用される。履修計画を立てる際は標準配当表も熟読し、各自必要な科目を登録すること。

[14年次生～16年次生対象]

変更年度	対象科目名 (単位数)	履修度
2017	キリスト教倫理Ⅱ(2)	必修科目 (全ての系)
	キリスト教と哲学Ⅱ(2)	必修科目 (全ての系)
	キリストの教会Ⅰ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)
	神と人間Ⅰ (罪と原罪) (2)	選択必修科目 (神学系・キリスト教倫理系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教文化系)
	イエス・キリストⅠ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)
	シンボルと sacramentⅠ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)

変更年度	対象科目名 (単位数)	履修度
2016	英語による実践キリスト教Ⅰ(2)	選択必修科目 (15年次生以前の神学系)
	英語による実践キリスト教Ⅱ(2)	選択科目 (16年次生の神学系・キリスト教倫理系・キリスト教文化系・宣教実務系)

⑥ STB/STL学位取得を希望する学生は、2年次に神学系を選択した上で、学科長と相談すること。

13年次生

- ① 学科カリキュラムは、13年度から導入された以下の前提科目を除き、11年次生～12年次生の内容に基づく。

前提科目について

1年次必修科目「キリスト教学入門Ⅰ」（旧「キリスト教学入門」）、「キリスト教学入門Ⅱ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅰ」）および2年次必修科目「神学アカデミック・スキルズ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅱ」）の単位を取得していない場合には、「卒業論文ゼミナール」および「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」を履修することができない。また、「卒業論文Ⅰ／Ⅱ」は、原則として「卒業論文ゼミナール」の履修を前提とする。「卒業論文ゼミナール」と「卒業論文Ⅰ」あるいは「卒業論文Ⅱ」を同一年度に履修する場合は、必ず学科長に連絡の上、指導を受けねばならない。なお、「宣教実務系」については以下「①学科カリキュラム全般について」で説明している。

- ② STB/STL学位取得を希望する学生は、神学系を選択した上で、学科長と相談すること。

11～12年次生

- ① 学科カリキュラム全般について

本学科で学ぶ学生は1年次から2年次にかけて学科共通基礎科目（必修）を指定された年次に履修する。

2年次から神学系、キリスト教倫理系、キリスト教文化系に分かれ、それぞれの系で選択必修科目（28単位）を履修する。系への所属は1年次終了時に神学科事務室に登録する。一旦選んだ系は変更することができない。

選択科目（38単位）は2年次から履修することができる。

3年次秋学期に「卒業論文ゼミナール」（学科共通基礎科目、必修2単位）を履修し、論文執筆の準備をする。

4年次に原則として春学期に「卒業論文Ⅰ」、秋学期に「卒業論文Ⅱ」を履修する。休学・留学等やむを得ない事情がある場合は、履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。指導教員の指導の下に論文執筆をおこなうほか、卒業論文中間発表および卒業論文審査が課される。

「宣教実務系」には、編入生のみ所属することができる。卒業のために124単位を必要とするが、全学共通科目（30単位）を履修した上で、学科科目から必修科目（28単位）と選択必修科目（36単位）および選択科目（30単位）を履修する。必修科目のうち「キリスト教学入門Ⅰ」（旧「キリスト教学入門」）・「キリスト教学入門Ⅱ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅰ」）・「神学アカデミック・スキルズ」（旧「現代世界の中のキリスト教Ⅱ」）・「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」（計10単位）の代わりに「宣教実務基礎演習Ⅰ～Ⅴ」（計10単位）を履修する。また「卒業論文ゼミナール」は卒業年次に履修する。卒業論文は提出せず、代わりに「課題研究報告書」を学科長に提出する。選択必修科目（36単位）は、諸分野から規定単位数以上を履修する。

- ② 全学共通科目について

外国語科目は原則として言語教育センター開講の「英語」（8単位）か哲学科開講の「ラテン語Ⅰ」「ラテン語Ⅱ」あわせて8単位を選択履修すること。ただしラテン語履修のためには英語プレイズメント・テストで中級以上であることを要件とする。事情によっては学科長の指導の下に、他の外国語（一般外国語および外国人の場合はFLA開講の日本語を含む）の履修も認められるが、いずれにせよ、全学共通科目としての外国語は同一言語が8単位以上なければならない。

- ③ 選択科目について

選択科目は、キリスト教ラテン語、聖書ギリシア語、聖書ヒブル語などの聖書言語や演習科目、あるいは現代言語の履修が勧められる。また課程科目（実習は除く）、他学部・他学科科目を含めることができる。全学共通科目からは必修科目を除いて12単位までを神学科の卒業に必要な科目に含めることができる。

所属する系以外の系の科目は選択科目として履修し卒業に必要な科目に含めることができる。ただし、所属する系の科目を選択科目に登録することはできず、自系の選択必修28単位を超えて履修しても卒業に必要な単位に含めることができない。

また、開講科目一覧表において、自系と他の系それぞれの選択必修科目欄に同一の科目名称が記載されている場合は、自系の選択必修科目としての取り扱いとなり、他の系として選択科目に充当することはできない。

- ④ 名称変更科目の履修について

名称変更を行った科目は、次頁のとおり。科目名変更前の科目と変更後の科目とを重複して履修してもいずれか一方しか卒業単位として認められないため、注意すること。

変更年度	変更前科目名 (単位数)	変更後科目名 (単位数)
2010	神と人間Ⅰ (2)	神と人間Ⅰ (罪と原罪) (2)
	神と人間Ⅱ (2)	神と人間Ⅱ (創造と救済) (2)
2013	キリスト教建築 (2)	キリスト教建築Ⅰ (2)
	諸宗教と神学 (2)	諸宗教の神学 (2)
2014	キリスト教入門 (2)	キリスト教入門Ⅰ (2)
	現代世界の中のキリスト教Ⅰ (2)	キリスト教入門Ⅱ (2)
	現代世界の中のキリスト教Ⅱ (2)	神学アカデミック・スキルズ (2)
	宣教実務基礎演習Ⅵ (2)	宣教実務基礎演習Ⅴ (2)
2015	現代宗教論 (2)	宗教学 (2)
	キリスト教ラテン語Ⅰ (2)	キリスト教ラテン語 (2)
	現代哲学Ⅰ (2)	現代哲学 (2)
	現代哲学Ⅱ (2)	
2018	キリスト教文学思想 (2)	キリスト教文学倫理想 (2)
	生活と聖書 (2)	聖書と倫理 (2)

⑤履修度が変更となった科目について

カリキュラム変更を行ったことにより、履修度が変更となった科目が存在する。

開講科目担当表は17年次生向けに作成しているが、以下の科目を13年次生以前の学生が修得した場合は変更前の履修度が適用される。履修計画を立てる際は標準配当表も熟読し、各自必要な科目を登録すること。

変更年度	対象科目名 (単位数)	履修度
2017	キリスト教倫理Ⅱ(2)	必修科目 (全ての系)
	キリスト教と哲学Ⅱ(2)	必修科目 (全ての系)
	キリストの教会Ⅰ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)
	神と人間Ⅰ (罪と原罪) (2)	選択必修科目 (神学系・キリスト教倫理系・宣教実務系) ※09年次生～12年次生のキリスト教倫理系の学生は選択 選択科目 (キリスト教文化系)
	イエス・キリストⅠ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)
	シンボルと sacramentⅠ(2)	選択必修科目 (神学系・宣教実務系) 選択科目 (キリスト教倫理系・キリスト教文化系)

変更年度	対象科目名 (単位数)	履修度
2016	英語による実践キリスト教Ⅰ(2)	選択必修科目 (15年次生以前の神学系)
	英語による実践キリスト教Ⅱ(2)	選択科目 (16年次生の神学系・キリスト教倫理系・キリスト教文化系・宣教実務系)

キリスト教倫理系の学生対象

変更年度	対象科目名 (単位数)	履修度
2013	倫理学Ⅰ(2)	選択必修科目 (13年次生以降のキリスト教倫理系) 選択科目 (11~12年次生のキリスト教倫理系)
	倫理学Ⅱ(2)	
	人間論Ⅰ(2)	
	人間論Ⅱ(2)	
	古代哲学史(4)	
	中世哲学史(4)	
	近世哲学史(4)	
	神と人間Ⅰ (罪と原罪) (2)	
	神と人間Ⅱ (創造と救済) (2)	
	終末論(2)	
	生活と聖書(2)	
	モーセ五書(2)	
	預言者(2)	
	詩編と知恵(2)	
	福音書(2)	

- ⑥ STB/STL学位取得を希望する学生は、神学系を選択した上で、学科長と相談すること。

4. 開講科目担当表

学科科目（必修科目）・・・30単位（18年次生以降）

32単位（17年次生）

28単位（16年次生以前）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	950200	THE100	キリスト教学入門Ⅰ	2	春	コーディネータ 角田 佑一	1		輪講 旧「キリスト教学入門」
	950400	THE101	キリスト教学入門Ⅱ	2	秋	神学科教員	1		旧「現代世界の中のキリスト教Ⅰ」
	950920	THE102	キリスト教倫理Ⅰ	2	春	竹内 修一	1		
	950930	THE203	キリスト教の歴史Ⅰ	2	秋	川村 信三	1		
	951028	THE312	神と人間Ⅰ（罪と原罪）	2	秋	光延 一郎	1		旧「神と人間Ⅰ」注④
	950910	THE104	旧約聖書概説	2	春	月本 昭男	1・2		
	950911	THE105	新約聖書概説	2	秋	川中 仁	1・2		
	950300	THE200	キリスト教と哲学Ⅰ	2	春	HAIDAR Juan	2		
	950931	THE204	キリスト教の歴史Ⅱ	2	春	川村 信三	2		
	971000	THE310	イエス・キリストⅠ	2	春	川中 仁	2		注④
	951031	THE314	キリストの教会Ⅰ	2	春	川中 仁	2		注④
	950941	THE205	神学アカデミック・スキルズ	2	春	神学科教員	2		旧「現代世界の中のキリスト教Ⅱ」
	951033	THE316	シンボルと sacramentⅠ	2	春	具 正 謨	3		注④
	977000	THE300	卒業論文ゼミナール	2	秋	神学科教員	3		※1
	977004	THE404	卒業論文Ⅰ	2	春	各指導教員	4		
	977005	THE406	卒業論文Ⅱ	2	春	各指導教員	4		「卒業論文Ⅰ」の既履修を条件とする※2
	977004	THE404	卒業論文Ⅰ	2	秋	各指導教員	4		※2
	977005	THE406	卒業論文Ⅱ	2	秋	各指導教員	4		「卒業論文Ⅰ」の既履修を条件とする
	940000	THE305	宣教実務基礎演習Ⅰ （旧約聖書研究）	2	秋	佐久間 勤	3・4		宣教実務系のみ対象
	940001	THE306	宣教実務基礎演習Ⅱ （新約聖書研究）	2	春	川中 仁	3・4		宣教実務系のみ対象
	940002	THE307	宣教実務基礎演習Ⅲ （カテキズム研究）	2	春	原 敬子	3・4		宣教実務系のみ対象
	940003	THE308	宣教実務基礎演習Ⅳ （教会の社会教説研究）	2	秋	瀬本 正之	3・4		宣教実務系のみ対象
	940005	THE309	宣教実務基礎演習Ⅴ （神学文献研究）	2	秋	光延 一郎	3・4		宣教実務系のみ対象 旧「宣教実務基礎演習Ⅵ」
	977006	THE301	卒業論文ゼミナール	2	春	神学科教員	4		※3

※1 「キリスト教学入門Ⅰ・Ⅱ」および「神学アカデミック・スキルズ」の既修得を条件とする。18年次生より必修科目から外す。

※2 留学・休学等の理由で通常開講期に履修できなかった学生を対象とする。履修登録以前に必ず学科長の指導を受けること。

※3 留学・休学等の理由で3年次秋学期に卒業論文ゼミナールを履修できなかった学生を対象とする。履修登録以前に必ず学科長の指導を受けること。

学科科目（選択必修科目）・・・26単位（18年次生以降）

24単位（17年次生）

28単位（16年次生以前）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
【神学系】									
選択必修科目	< 教義学 >								
	971010	THE311	イエス・キリストⅡ	2	秋	川中 仁	2～4		
	950301	THE201	キリスト教と哲学Ⅱ	2	秋	HAIDAR Juan	2～4		注④

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	950921	THE103	キリスト教倫理Ⅱ	2	秋	竹内修一	2～4		注④	
	951029	THE313	神と人間Ⅱ（創造と救済）	2	秋	光延一郎	2～4		[40名] 旧「神と人間Ⅱ」	
	951032	THE315	キリストの教会Ⅱ	2	秋	川中仁	2～4			
	951034	THE317	シンボルと sacramentⅡ	2	秋	具正謨	3～4		[50名]	
	952602	THE318	終末論	2	秋	光延一郎	2～4		[40名]	
	955700	THE319	諸宗教の神学	2	秋	角田佑一	2～4		旧「諸宗教と神学」	
	955702	THE320	カトリックとプロテスタント	2	休講	角田佑一	2～4		隔年開講	
	<哲学>									
	120604	PHL340	認識論Ⅰ	2	春	大橋容一郎	1・2		(他) 哲学科	
	120605	PHL341	認識論Ⅱ	2	秋	大橋容一郎	1・2		(他) 哲学科	
	126802	PHL320	倫理学Ⅰ	2	春	寺田俊郎	1・2		(他) 哲学科	
	126803	PHL321	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田俊郎	1・2		(他) 哲学科	
	126721	PHL342	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木伸国	1・2		(他) 哲学科	
	126722	PHL343	人間論Ⅱ	2	春	HAIDAR Juan	1・2		(他) 哲学科	
	126504	PHL244	自然神学Ⅰ	2	春	長町裕司	1・2		(他) 哲学科	
	126505	PHL245	自然神学Ⅱ	2	秋	長町裕司	1・2		(他) 哲学科	
	120704	PHL310	形而上学Ⅰ	2	春	長町裕司	1・2		(他) 哲学科	
	120705	PHL311	形而上学Ⅱ	2	秋	佐藤直子	1・2		(他) 哲学科	
	120902	PHL234	宗教哲学	2	休講	長町裕司	1・2		(他) 哲学科, 隔年開講	
	125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野弘之	1・2		(他) 哲学科	
	128301	PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤直子	1・2		(他) 哲学科	
	128110	PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋容一郎	1・2		(他) 哲学科	
	128005	PHL312	現代哲学	2	秋	コーディネータ 寺田俊郎	1・2		(他) 哲学科, 輪講	
	<教会史>									
	970590	THE210	キリスト教の成立とその時代	2	休講	光延一郎	2～4			
	970603	THE321	教父たちの思想	2	春	*手塚奈々子	2～4			
	<司牧神学>									
	967003	THE211	教会法概論	2	春	*田中昇	2～4			
967006	THE337	宣教学	2	春	原敬子	2～4				
【キリスト教倫理系】										
選択必修科目	<哲学・神学・聖書>									
	126802	PHL320	倫理学Ⅰ	2	春	寺田俊郎	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	126803	PHL321	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田俊郎	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	126721	PHL342	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木伸国	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	126722	PHL343	人間論Ⅱ	2	春	HAIDAR Juan	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野弘之	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	128301	PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤直子	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	128110	PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋容一郎	2～4		(他) 哲学科 注①注②	
	951029	THE313	神と人間Ⅱ（創造と救済）	2	秋	光延一郎	2～4		[40名] 注①注②	
	952602	THE318	終末論	2	秋	光延一郎	2～4		[40名] 注①注②	
	974812	THE220	聖書と倫理	2	春	武田なほみ	2～4		注①② 旧「生活と聖書」	
	957001	THE322	モーセ五書	2	春	佐久間勤	2～4		注①注②	
	957605	THE323	預言者	2	秋	月本昭男	2～4		隔年開講, 注①注②	
	957505	THE324	詩編と知恵	2	秋	佐久間勤	2～4		注①注②	
	953532	THE221	福音書	2	休講		2～4		注①注②	
	950301	THE201	キリスト教と哲学Ⅱ	2	秋	HAIDAR Juan	2～4		注④	
	950921	THE103	キリスト教倫理Ⅱ	2	秋	竹内修一	2～4		注④	
	<いのちの倫理>									
	965105	THE325	性の倫理	2	春	竹内修一	2～4		[70名]	
	965007	THE326	倫理神学の諸問題	2	秋	竹内修一	2～4			
965221	THE327	バスタラル・ケア	2	春	武田なほみ	2～4				

神

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	965229	REL220	宗教学	2	秋	高山 貞美	2～4		[60名] 旧「現代宗教論」	
	965224	THE223	倫理と霊性	2	休講	片山 はるひ	2～4			
	965226	ETH322	生圏の倫理	2	春	瀬本 正之	2～4			
	965227	THE224	ボランティア論	2	春	*川中 信	2～4		[100名]	
	965228	THE227	スピリチュアリティとケア実践	2	秋	伊藤 高章	2～4			
	291107	SOG401	社会福祉倫理学	2	休講		1～4		(他) 社会福祉学科, 輪講, 隔年開講	
	< 社会倫理 >									
	974831	ETH220	道徳哲学	2	春	Haidar Juan	2～4			
	974830	THE328	カトリック社会思想	2	秋	小山 英之	2～4			
	974832	ETH221	民族関係論	2	秋	小山 英之	2～4		[130名]	
	974833	ETH320	平和学	2	春	小山 英之	2～4			
	974835	ETH321	政治と宗教	2	休講	AUGUSTINE Sali	2～4			
	974836	THE226	キリスト教とコミュニケーション	2	春	FIRMANSYAH Antonius	2～4			
	407610	MGJ226	経済・経営の倫理	2	秋	ブレンカラム ジョジョセフ	2～4		(他) 経営学科	
	BGS54100	GIC312	国際政治経済論 (経済的アプローチ) 1	2	春	下川 雅嗣	2～4		(他) 総合グローバル学科 旧「国際政治経済論1」	
BGS54101	GIC313	国際政治経済論 (経済的アプローチ) 2	2	秋	下川 雅嗣	2～4		(他) 総合グローバル学科 旧「国際政治経済論2」		
517601	FUJ302	アイルランド研究B	2	休講	小山 英之	2～4		(他) 外国語学部 旧「アイルランド研究2」		

【キリスト教文化系】

選択必修科目	< 思想 >									
	974801	ETH330	悪の思想史	2	春	高山 貞美	2～4			
	974802	ETH331	愛とケアの思想史	2	休講	高山 貞美	2～4		[60名]	
	974800	REL230	宗教史	2	春	角田 佑一	2～4			
	974803	THE330	霊性の歴史	2	休講	山岡 三治	2～4			
	950301	THE201	キリスト教と哲学Ⅱ	2	秋	Haidar Juan	2～4		注④	
	950921	THE103	キリスト教倫理Ⅱ	2	秋	竹内 修一	2～4		注④	
	974805	THE430	自然科学とキリスト教Ⅰ	2	春	瀬本 正之	2～4		隔年開講	
	974806	THE431	自然科学とキリスト教Ⅱ	2	秋	瀬本 正之	2～4		隔年開講	
	974807	THE331	キリスト教文学倫理思想	2	春	片山 はるひ	2～4		隔年開講 旧「キリスト教文学思想」	
	974808	THE220	聖書と倫理	2	春	武田 なほみ	2～4		旧「生活と聖書」	
	974836	THE226	キリスト教とコミュニケーション	2	春	FIRMANSYAH Antonius	2～4			
	517600	FUJ301	アイルランド研究A	2	秋	小山 英之	2～4		(他) 外国語学部 [100名] 旧「アイルランド研究1」	
	< 芸術 >									
	970712	THE332	キリスト教文学Ⅰ	2	春	片山 はるひ	2～4		隔年開講	
	970713	THE333	キリスト教文学Ⅱ	2	休講	片山 はるひ	2～4		隔年開講	
	174004	HST317	西洋美術史	2	春	*金沢 百枝	2～4		(他) 史学科	
	970735	THE231	教会音楽Ⅰ (歴史でたどる教会音楽)	2	春	*宮越 俊光	2～4		[180名]	
	970736	THE232	教会音楽Ⅱ (典礼のテーマで学ぶ教会音楽)	2	秋	*宮越 俊光	2～4		[180名]	
	970738	THE240	キリスト教と音楽芸術Ⅰ	2	春	森 裕子	2～4		[80名]	
	970739	THE241	キリスト教と音楽芸術Ⅱ	2	秋	森 裕子	2～4		[80名]	
	970743	THE234	キリスト教建築Ⅰ	2	春	具 正謨	2～4		[150名] 旧「キリスト教建築」	
	970744	THE235	キリスト教建築Ⅱ	2	秋	具 正謨	2～4		[150名]	
970740	THE236	キリスト教の礼拝	2	春	具 正謨	2～4		[100名]		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	970742	THE237	典礼の歴史と霊性	2	秋	*石井 祥裕	2~4			
	970745	THE238	キリスト教の美術Ⅰ	2	春	*保坂 ひろみ	2~4		[100名]	
	970746	THE239	キリスト教の美術Ⅱ	2	秋	*保坂 ひろみ	2~4		[100名]	
	<聖書>									
	950812	THE242	旧約聖書Ⅰ	2	春	月本 昭男	2~4			
	950813	THE243	旧約聖書Ⅱ	2	秋	月本 昭男	2~4			
	950810	THE244	新約聖書Ⅰ	2	春	川中 仁	2~4			
	950811	THE245	新約聖書Ⅱ	2	秋	川中 仁	2~4			
	957001	THE322	モーセ五書	2	春	佐久間 勤	2~4			
	957605	THE323	預言者	2	秋	月本 昭男	2~4		隔年開講	
	957606	THE334	聖書考古学	2	秋	月本 昭男	2~4			
	957505	THE324	詩編と知恵	2	秋	佐久間 勤	2~4			
	953532	THE221	福音書	2	休講		2~4			
	953541	THE335	ヨハネ福音書と初代教会の諸文書	2	休講		2~4			
	964932	THE336	パウロ	2	休講	*朴 憲 郁	2~4			

【宣教実務系】

選択必修科目	<哲学> (4単位)									
	974805	THE430	自然科学とキリスト教Ⅰ	2	春	瀬本 正之	2~4		隔年開講	
	974806	THE431	自然科学とキリスト教Ⅱ	2	秋	瀬本 正之	2~4		隔年開講	
	120604	PHL340	認識論Ⅰ	2	春	大橋 容一郎	2~4		(他) 哲学科	
	120605	PHL341	認識論Ⅱ	2	秋	大橋 容一郎	2~4		(他) 哲学科	
	126802	PHL320	倫理学Ⅰ	2	春	寺田 俊郎	2~4		(他) 哲学科	
	126803	PHL321	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田 俊郎	2~4		(他) 哲学科	
	126721	PHL342	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木 伸国	2~4		(他) 哲学科	
	126722	PHL343	人間論Ⅱ	2	春	HAIDAR Juan	2~4		(他) 哲学科	
	126504	PHL244	自然神学Ⅰ	2	春	長町 裕司	2~4		(他) 哲学科	
	126505	PHL245	自然神学Ⅱ	2	秋	長町 裕司	2~4		(他) 哲学科	
	120704	PHL310	形而上学Ⅰ	2	春	長町 裕司	2~4		(他) 哲学科	
	120705	PHL311	形而上学Ⅱ	2	秋	佐藤 直子	2~4		(他) 哲学科	
	125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野 弘之	2~4		(他) 哲学科	
	128301	PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤 直子	2~4		(他) 哲学科	
	128110	PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋 容一郎	2~4		(他) 哲学科	
	128005	PHL312	現代哲学	2	秋	コーディネータ 寺田 俊郎	2~4		(他) 哲学科, 輪講	
	<旧約聖書> (6単位)									
	950812	THE242	旧約聖書Ⅰ	2	春	月本 昭男	2~4			
	950813	THE243	旧約聖書Ⅱ	2	秋	月本 昭男	2~4			
	957001	THE322	モーセ五書	2	春	佐久間 勤	2~4			
	957605	THE323	預言者	2	秋	月本 昭男	2~4		隔年開講	
	957505	THE324	詩編と知恵	2	秋	佐久間 勤	2~4			
	957606	THE334	聖書考古学	2	秋	月本 昭男	2~4			
	<新約聖書> (6単位)									
	950810	THE244	新約聖書Ⅰ	2	春	川中 仁	2~4			
	950811	THE245	新約聖書Ⅱ	2	秋	川中 仁	2~4			
	953532	THE221	福音書	2	休講		2~4			
	953541	THE335	ヨハネ福音書と初代教会の諸文書	2	休講		2~4			
	964932	THE336	パウロ	2	休講	*朴 憲 郁	2~4			
	<教義神学> (10単位)									
	971000	THE310	イエス・キリストⅠ	2	春	川中 仁	2~4		注④	
	971010	THE311	イエス・キリストⅡ	2	秋	川中 仁	2~4			

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	951028	THE312	神と人間Ⅰ（罪と原罪）	2	秋	光 延 一 郎	2～4		旧「神と人間Ⅰ」注④	
	951029	THE313	神と人間Ⅱ（創造と救済）	2	秋	光 延 一 郎	2～4		[40名] 旧「神と人間Ⅱ」	
	951031	THE314	キリストの教会Ⅰ	2	春	川 中 仁	2～4		注④	
	951032	THE315	キリストの教会Ⅱ	2	秋	川 中 仁	2～4			
	951033	THE316	シンボルと sacramentⅠ	2	春	具 正 謨	3～4		注④	
	951034	THE317	シンボルと sacramentⅡ	2	秋	具 正 謨	3～4		[50名]	
	952602	THE318	終末論	2	秋	光 延 一 郎	2～4		[40名]	
	955700	THE319	諸宗教の神学	2	秋	角 田 佑 一	2～4		旧「諸宗教と神学」	
	955702	THE320	カトリックとプロテスタント	2	休講	角 田 佑 一	2～4		隔年開講	
	<実践神学>（10単位）									
	974803	THE330	霊性の歴史	2	休講	山 岡 三 治	2～4			
	970742	THE237	典礼の歴史と霊性	2	秋	*石 井 祥 裕	2～4			
	967003	THE211	教会法概論	2	春	*田 中 昇	2～4			
	967006	THE337	宣教学	2	春	原 敬 子	2～4			
	965105	THE325	性の倫理	2	春	竹 内 修 一	2～4			[70名]
	970740	THE236	キリスト教の礼拝	2	春	具 正 謨	2～4			[100名]
	970735	THE231	教会音楽Ⅰ （歴史でたどる教会音楽）	2	春	*宮 越 俊 光	2～4			[180名]
	970736	THE232	教会音楽Ⅱ （典礼のテーマで学ぶ教会音楽）	2	秋	*宮 越 俊 光	2～4			[180名]
	965221	THE327	パストラル・ケア	2	春	武 田 なほみ	2～4			
	965227	THE224	ボランティア論	2	春	*川 中 信	2～4			[100名]
	970712	THE332	キリスト教文学Ⅰ	2	春	片 山 はるひ	2～4			隔年開講
	970713	THE333	キリスト教文学Ⅱ	2	休講	片 山 はるひ	2～4			隔年開講
	970738	THE240	キリスト教と音楽芸術Ⅰ	2	春	森 裕 子	2～4			[80名]
	970739	THE241	キリスト教と音楽芸術Ⅱ	2	秋	森 裕 子	2～4			[80名]
	970745	THE238	キリスト教の美術Ⅰ	2	春	*保 坂 ひろみ	2～4			[100名]
	970746	THE239	キリスト教の美術Ⅱ	2	秋	*保 坂 ひろみ	2～4			[100名]
	965228	THE227	スピリチュアリティとケア実践	2	秋	伊 藤 高 章	2～4			

注) 宣教実務系の選択必修科目については、2016年度まで別表を用いていたが、2017年度より開講科目担当表に記載することとした。

以下の科目については科目が削除されているが、修得済の者については、修得年次の取り扱いのままである。

[2014年度まで開講] 哲学思想史Ⅰ，哲学思想史Ⅱ

[2016年度まで開講] 聖書と音楽，グレゴリオ聖歌と典礼音楽

学科科目（選択科目）・・・34単位（14年次生以降）

38単位（13年次生以前）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	<古典語・現代外国語>									
	964612	THE355	キリスト教ラテン語	2	春	*平 林 冬 樹	2～4		旧「キリスト教ラテン語Ⅰ」	
	122208	PHL102	ラテン語ⅠA	2	春	佐 藤 直 子	2～4		(他) 哲学科	
	122209	PHL103	ラテン語ⅠB	2	秋	佐 藤 直 子	2～4		(他) 哲学科	
	122206	PHL202	ラテン語ⅡA	2	春	*芝 元・* 村上	2～4		(他) 哲学科	
	122207	PHL203	ラテン語ⅡB	2	秋	*芝 元・* 村上	2～4		(他) 哲学科	
	964000	THE250	聖書ギリシア語Ⅰ	2	春	*田 中 健 三	2～4			
	964001	THE251	聖書ギリシア語Ⅱ	2	秋	*田 中 健 三	2～4			
	964600	THE252	聖書ヒブル語Ⅰ	2	春	*高 橋 洋 成	2～4			
	964601	THE253	聖書ヒブル語Ⅱ	2	秋	*高 橋 洋 成	2～4			
	964511	THE353	聖書ギリシア語原典研究Ⅰ (物語文学の講読)	2	休講			2～4		隔年開講
	964512	THE354	聖書ギリシア語原典研究Ⅱ (書簡文学の講読)	2	休講			2～4		隔年開講
	964610	THE450	聖書ヒブル語原典研究Ⅰ (物語テキストの講読)	2	春	佐久間 勤		2～4		
	964611	THE451	聖書ヒブル語原典研究Ⅱ (韻文テキストの講読)	2	秋	佐久間 勤		2～4		
	967007	THE255	Liturgical Theology (英語による典礼神学)	2	春	FIRMANSYAH Antonius		2～4	○	
	967004	THE212	英語による実践キリスト教Ⅰ	2	春	*LEMAY Alec		2～4	○	注③
	967005	THE213	英語による実践キリスト教Ⅱ	2	秋	*LEMAY Alec		2～4	○	注③
			その他外国語							要覧（共通編） p.163～参照
	<教職課程>									
	973001	TEM260	宗教科教育法Ⅰ	2	秋	武 田 なほみ		2～4		
973104	TEM261	宗教科教育法Ⅱ	2	春	原 敬 子		2～4			
973201	TEM262	宗教科教育法Ⅲ	2	春	武 田 なほみ		2～4			
973202	TEM263	宗教科教育法Ⅳ	2	秋	*小 林 由 加		2～4			
973203	LAW101	法律学	2	春	*土 屋 志 穂		2～4			
973204	SOC101	社会学	2	秋	吉 川 ま み		2～4			

注①当科目は、13年次生以前の学生は、全学共通科目の選択科目-学全科目として履修することができる。学科科目から全学共通科目への区分変更を希望する場合は、2年次以降（自系確定後）、学事センターにおいて手続きを行うこと。ただし、2015年度から学全科目ではなくなったので、注意すること。

注②13年次生以降は選択必修科目とする。09年次生～12年次生のキリスト教倫理系の学生が該当科目を履修した場合、選択となる。

注③15年次生以前の神学系の学生が該当科目を履修した場合、選択必修となる。

注④2017年度より、履修度に変更された。16年次生以前の学生については、履修上の注意記載「履修度の変更となった科目について」を確認すること。

2	文 学 部
---	-------

〔教育研究上の目的〕

高度な専門教育と質の高い学術研究に基づいて、人文教養の本質である人間探究を行い、もって人類の精神的遺産を将来に継承し、世界と人間を真に理解する力を養うこと

〔人材養成の目的〕

分析力・理解力・表現力の陶冶に基づいて、世界と人間の本質を洞察する根源的な知性を養い、自己実現の自覚をもちつつ主体的に思考し、世界に寄与する自律的人間を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、哲学・思想・歴史・文学・文化・芸術・情報・身体などを、人文学の基盤にある人間の尊厳とのかかわりのなかで研究します。人文教養を涵養することで、社会のさまざまな分野で未来を創造できる自律的な人間を養成します。また、高度な専門教育と質の高い学術研究の成果を活かして、広く社会と世界に貢献できる人を育てます。学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めており、以下の卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 人間の歴史・文化が集約された資料・情報を、自らの力で批判的に分析・解釈・評価する能力
2. 人文教養の基盤である人間性・人格性について深く考察し、十分な裏付けに基づいた自らの意見を他者に分かりやすく表現する能力
3. 日本語、外国語を問わず、言語とそれが使われる文化に対する深い理解に基づいた高度なコミュニケーション力
4. 人文教養を、社会生活、職業生活、市民生活、ひいては人生そのものに実践的かつ創造的に役立てる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、専門分野別の学科編成をとっています。各専門分野を学ぶ学生ひとりひとりの関心を重視し、人格的關係に基づいた指導を行います。質の高い、一貫したカリキュラムを通して、学生と教員が一体となって、「人間を考える学問」としての人文学研究に取り組むことができるよう、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 学部の初年次研修で、基礎的な人文学研究の特徴・勉学態度・表現方法などを指導する。
2. 初年次から、各分野の専門教育をカリキュラムに含め、卒業時まで充実した一貫教育を行う。
3. 少人数授業やゼミナールによって、学生の自主性・分析力・理解力・表現力・対話力を集中的に養う。
4. 全学共通の外国語科目に加えて、各学科の専門的な語学教育を徹底して行う。
5. 全学科で卒業論文を必修科目として、長期間にわたる個人指導を行い、総合的な学習到達度を判定する。
6. 学科科目とは別に学科横断型のプログラムを設け、各学科の専門領域を超えた人文学の知見を広める機会を設ける。

文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、2015年度から「横断型人文学プログラム」(Interdepartmental Humanities Program)を開設しました。指定された科目を履修し、所定の単位を取得すると、大学からの「プログラム修了認定証」が授与されます。なお、14年次以前生の履修については、末尾を参照してください。

1. 横断型人文学プログラムとは

本プログラムの目的は、文学部の学生が、人文学的問題意識をコアにしなが、学科の専門の枠を超えて、興味のあるテーマについて研究する機会を提供することです。以下のような特徴があります。

- ・「共通基礎科目」で、文字情報に限らない広義のテキストの読み解きの訓練と、グローバルな世界での文化交渉の場において起きる現象の理解を深める。
- ・学生が興味のある分野を選択し、コースごとに指定された「個別選択科目」を履修することで、当該分野の基礎知識を身に付ける。
- ・「プロジェクト・ゼミ」では、専門が異なる学生との意見交換を通し、複眼的な視点から参加者が特定問題を追究し、その成果をまとめるよう促すことで、学生が主体的に問題を発掘・解決するアクティブ・ラーニングの環境を提供する。
- ・机上の学びに終わらず、教室の外での活動や実地体験（自分の目で見ること）を重視する。

2. 開設コースについて

「身体・スポーツ文化論」「芸術文化論」「ジャパノロジー」の3コースがあります。

身体・スポーツ文化論コース

「運動競技」のイメージが強い「スポーツ」であるが、その語源は紀元前5世紀頃のラテン語 *deportare* (心と身体を非日常に運ぶ、遊ぶ) にまでさかのぼり、国際オリンピック委員会の公認スポーツにはチェスやブリッジも含まれる。つまり、私たちはスポーツと無関係ではいられないのである。一方「身体」は、誰もが一生を共にしながら、客観視の難しい存在であり、非言語コミュニケーションメディアとしても大きな影響力を持っている。このような身体とスポーツの文化を学ぶことは、国際的教養への広がり、人間の生活を真に豊かに充実させていくこと(厚生)につながる。本コースでは、身体とスポーツの文化を人文学の研究対象として取り上げ、多角的かつ総合的に考えていく。

芸術文化論コース

多様な芸術があふれる今日の世界では、その深く多様な解釈を可能にする高度な教養が求められる。本コースでは、人文学的教養によって現代社会における芸術文化の推進に貢献するための実践的な方法を探っていく。舞台、美術、音楽などの芸術文化領域で、自らが国際的教養をそなえた鑑賞者となるにとどまらず、文学部で身につける総合的な知識を、地域社会の芸術文化・教育活動等に活かし、芸術の創造・受容・普及に生産的にかかわることのできる人材となることをめざす。芸術を「読み解く」経験を積む以外にも、芸術をめぐる評論、プロデュース、キュレーション、アーカイブなどの分野の基礎的な知識を得る機会も提供する。

ジャパノロジー・コース

本コースの目的は、自明のものと考えがちな「日本文化」を、内からの視座/外からの視座で捉えなおし、再創造することにある。「内から」は、日本列島内部における多様性に注目する。日常的に使用している言葉から、衣食住、ものの感じ方や考え方に至るまで、列島各地には一括りにできない独自性が存在する。また「外から」は、世界における日本イメージの多様性を検証する。日本に対するヨーロッパ、アメリカ、アジアの視線は、それぞれ異なる固有性を持っている。それらは一体何に由来し、いかなる思いの込められたものなのか。諸外国の研究者の日本像の検討、伝統的な知識・技術や芸能を担う人々との時間の共有、フィールドワークなどによって培われる経験を通して、新たな日本の〈素顔〉を求める。

3. 受講対象者

2015年度以降入学の学生が対象となります。

- *「共通基礎科目」および「プログラム開講科目」は^{注1}、2014年度以前の入学者の受講も認めますが、「プログラム修了認定証」取得のためではなく、従来の選択科目としての履修となります。また、履修定員が定められている科目で、受講希望者が定員を超えたものについては、2015年度以降入学の学生が優先されます。
- *「共通基礎科目」および「プログラム開講科目」は、他学部の学生の履修も認めますが、履修定員が定められている科目で、受講希望者が定員を超えたものについては、文学部の学生が優先されます。
- *「プロジェクト・ゼミ」については、履修資格を満たした2015年度以降入学の他学部学生の履修も認めます。また、必要単位を取得した場合には「プログラム修了認定証」も授与されます。

注1：横断型人文学プログラムに特化して開講される科目（p.31～32の7(2)の科目表参照）

4. プログラム修了認定証

必要単位（計18単位）を取得した者には、「プログラム修了認定証」が授与されます。取得に関する詳細はLoyola掲示板および文学部HP上で告知します。

5. プログラム受講・履修上の注意

- ・プログラム修了のために履修した科目（「プロジェクト・ゼミ」は除く）の単位のうち、自学科開講科目以外のものについては、他学部・他学科で履修した場合と同様の扱いとなり、各学科が定めた範囲内で卒業単位に含めることができます。なお、プログラム修了に必要な単位数を満たさなかった場合も、履修した科目（「プロジェクト・ゼミ」を除く）の単位は、上記の場合と同様の扱いとなります。
- ・「プロジェクト・ゼミ」を除く科目は、「プログラム修了認定証」を希望しない場合でも履修が認められます。
- ・「プロジェクト・ゼミ」には、履修条件と選抜があります（以下6.の該当箇所を参照）。
- ・「プロジェクト・ゼミ」は、参加希望者が少ない場合には内容を変更することがあります。

6. 科目種別と履修形態

（標準配当表）

科目種別	履修形態	1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通基礎科目 (4単位)	プログラム 必修	テキストを読む 文化交渉入門		2	2				
個別 選択 科目	プログラム開講 科目(6単位)	プログラム 選択必修	選択したコースのプログラム開講科目から 6単位を履修 *2				6		
	プログラム 指定科目 および 自由選択科目 (6単位)*1	プログラム 選択	選択したコースの科目から履修 A群：プログラム科目 ・「プログラム開講科目」*2 ・「プログラム指定科目」 B群：自由選択科目				6		
プロジェクト・ゼミ (2単位)	プログラム 選択必修					プロジェクト・ゼミ（選択した コースから1科目を履修）	2		

*1. 履修可能年次については、科目によって異なり、1年次から履修できるものもある。

*2. プログラム選択必修科目を6単位以上履修した場合、その超過分をプログラム選択の科目の単位として算入できる。

○共通基礎科目

- (1) 履修年次 1～2年次
- (2) 履修区分 プログラム必修科目
* プロジェクト・ゼミの履修を希望する場合は2年次末までに4単位を取得する必要がある。同一科目の重複履修は不可。
- (3) プログラム修了に必要な単位数 計4単位
- (4) 開講科目
 - ・「テキストを読む」(春学期 / 2単位)
 - ・「文化交渉入門」(秋学期 / 2単位)

○個別選択科目

- (1) 履修年次 2～4年次
- (2) 履修区分 「プログラム開講科目」はプログラム選択必修科目
「プログラム指定科目」^{注2}はプログラム選択科目

注2：文学部および他学部で開講されている科目のうち、プログラムの各コースで指定されたもの
(p.33以下の7(3)の科目表参照)

- (3) プログラム修了に必要な単位数 計12単位
* 選択したコースの「プログラム開講科目」(選択必修)を6単位以上取得しなければならない。
- (4) 開講科目
下記のAあるいはBの科目群から選択する。
 - A群 プログラム科目**・・・選択したコースの「プログラム開講科目」および「プログラム指定科目」
 - B群 自由選択科目**・・・プログラム科目以外で、選択したコースの内容に合致し、学生が履修した科目があれば、それを申告する。そしてそれがプログラム運営委員会で認定されれば、自由選択科目となる。
(認定申請の方法については、文学部で配布する「文学部横断型人文学プログラム履修ガイドブック」を参照すること。)

○プロジェクト・ゼミ

- (1) 履修学年 3年次以上(履修資格による制限あり)
- (2) 履修区分 プログラム選択必修
- (3) プログラム修了に必要な単位数 2単位
- (4) 開講科目 (p.32の7(2)の科目表参照)
 - ・「プロジェクト・ゼミ(身体・スポーツ文化論コース)」
 - ・「プロジェクト・ゼミ(芸術文化論コース)」
 - ・「プロジェクト・ゼミ(ジャパノロジー・コース)」
- (5) ゼミの履修資格
 - ① 3年次生以上
 - ② 2年次末までに「共通基礎科目」(4単位)を修得済み、または修得見込みの者
 - ③ 申請時のGPAが2.5以上
 - ④ 以下(6)の書類審査に通った者
- (6) ゼミの選考時期および申請方法
「共通基礎科目」のうち4単位をすでに修得済み、または修得見込みの者を対象に、春学期ゼミの場合、前年度の1月に、秋学期ゼミの場合、当該年度の7月に、成績表および履修動機、履修計画等を記載した書類を提出させ、プログラム運営委員会で審査する。

提出締切日：2018年度秋学期ゼミの場合：2018年7月13日(金)

2019年度春学期ゼミの場合：2019年1月30日(水)

提出先：文学部長室(7号館10階)

提出書類等詳細については、「【2018年度版】文学部横断型人文学プログラム履修ガイドブック」を参照のこと。
このガイドブックは、2018年4月以降、文学部長室で入手可能である。
また、文学部ホームページ(<http://www.sophia-humanities.jp>)でも必要事項を掲示する。

7. プログラム科目一覧

(1) 共通基礎科目

科目種別	履修形態	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
共通基礎科目	プログラム必修	120010	HUM201	テキストを読む	2	春	コーディネータ 井上 茂子	1・2		輪講, [150名]
	プログラム必修	120011	HUM202	文化交渉入門	2	秋	コーディネータ 福田 耕介	1・2		輪講, [150名]

(2) プログラム開講科目

科目種別	履修形態	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
個別選択科目	身体・スポーツ文化論コース	プログラム選択必修	121003	HUM301	世界のスポーツ・身体文化論	2	秋	*瀬戸 邦弘	2~4		隔年開講, [100名]
		プログラム選択必修	121004	HUM302	東洋身体文化論	2	秋	*SORI DOVA Maja	2~4		隔年開講, ジャパノロシ-コース共通, [40名]
		プログラム選択必修	121005	HUM303	身体・スポーツ・社会I	2	休講		2~4		輪講, 隔年開講
		プログラム選択必修	121006	HUM304	身体・スポーツ・社会II	2	休講		2~4		輪講, 隔年開講
		プログラム選択必修	121007	HUM305	身心論	2	秋	コーディネータ 長町 裕司	2~4		輪講, 隔年開講 [50名]
		プログラム選択必修	121008	HUM306	舞踊文化論	2	休講		2~4		輪講, 3年に一度開講, 芸術文化論と共通
	芸術文化論コース	プログラム選択必修	122001	HUM308	舞台芸術の世界	2	休講		2~4		輪講, 3年に一度開講
		プログラム選択必修	122002	HUM309	音楽文化論	2	休講		2~4		3年に一度開講
		プログラム選択必修	122009	HUM310	芸術・メディアとアーカイブ	2	休講		2~4		輪講, 3年に一度開講
		プログラム選択必修	121008	HUM306	舞踊文化論	2	休講		2~4		輪講, 3年に一度開講 身体・スポーツ文化論と共通
		プログラム選択必修	122010	HUM311	美術文化論	2	休講		2~4		3年に一度開講
		プログラム選択必修	122006	HUM312	造形芸術の世界	2	春	コーディネータ 桑原 俊介	2~4		輪講, 3年に一度開講, [100名]
		プログラム選択必修	122007	HUM313	映像文化論	2	春	*古賀 太	2~4		3年に一度開講, [120名]
		プログラム選択必修	122008	HUM314	映像芸術の世界	2	休講		2~4		輪講, 3年に一度開講, 2019年度開講

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新

聞

科目種別	履修形態	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考※1	
個別選択科目	ジャパノロジー・コース	プログラム選択必修	123001	HUM315	ジャパノロジー概論	2	春	コーディネータ 寺田 俊郎	2～4		輪講
		プログラム選択必修	123002	HUM316	フィールドワーク入門	2	秋	コーディネータ 北條 勝貴	2～4		輪講, 隔年開講
		プログラム選択必修	123003	HUM317	ヨーロッパと NIPPON	2	休講		2～4		輪講, 隔年開講
		プログラム選択必修	123004	HUM318	日中文化交渉史 A	2	秋	長尾 直茂	2～4		隔年開講
		プログラム選択必修	123005	HUM319	日中文化交渉史 B	2	休講		2～4		隔年開講
		プログラム選択必修	123006	HUM320	キリシタン文化史 A	2	秋	豊島 正之	2～4		隔年開講
		プログラム選択必修	123007	HUM321	キリシタン文化史 B	2	休講		2～4		隔年開講
		プログラム選択必修	123008	HUM322	日本思想	2	秋	鎌田 東二	2～4		[80名]
		プログラム選択必修	123009	HUM323	日本思想テキスト 演習	2	春	* 白井 雅人	2～4		
		プログラム選択必修	123010	HUM324	多様性の日本民俗文化	2	休講		2～4		隔年開講
	プログラム選択必修	121004	HUM302	東洋身体文化論	2	秋	* SORI DOVA Maja	2～4		隔年開講, 身体・スポーツ文化論 コース共通, [40名]	
プロジェクト・ゼミ	コース 身体・スポーツ文化論	プログラム選択必修	121110	HUM401	プロジェクト・ゼミA (身体・スポーツ文化論コース)	2	休講		3・4		3年に1度開講
		プログラム選択必修	121111	HUM402	プロジェクト・ゼミB (身体・スポーツ文化論コース)	2	秋	師岡 文男	3・4		3年に1度開講
		プログラム選択必修	121112	HUM403	プロジェクト・ゼミC (身体・スポーツ文化論コース)	2	休講		3・4		3年に1度開講, 2019年度秋学期 開講
	芸術文化論コース	プログラム選択必修	122101	HUM404	プロジェクト・ゼミA (芸術文化論コース)	2	休講		3・4		輪講, 3学期毎に開講
		プログラム選択必修	122201	HUM405	プロジェクト・ゼミB (芸術文化論コース)	2	春	飯野 友幸	3・4		3学期毎に開講
		プログラム選択必修	122202	HUM406	プロジェクト・ゼミC (芸術文化論コース)	2	秋	吉村 和明	3・4		3学期毎に開講
	コース ジャパノロジー・	プログラム選択必修	123101	HUM407	プロジェクト・ゼミA (ジャパノロジー・コース)	2	休講		3・4		3学期毎に開講
		プログラム選択必修	123102	HUM408	プロジェクト・ゼミB (ジャパノロジー・コース)	2	春	北條 勝貴	3・4		3学期毎に開講
		プログラム選択必修	123103	HUM409	プロジェクト・ゼミC (ジャパノロジー・コース)	2	秋	碓井 広義	3・4		3学期毎に開講

※1 個別選択科目に関して、機械抽選以外の科目でも、履修者過多の場合は、授業内抽選を行う可能性がある。その場合、コース履修者を優先する。

(3) プログラム指定科目

プログラム指定科目は、年度により科目の変更（追加・削除）があるので、各自、履修年度の要覧によって科目を確認すること。

科目種別	履修形態	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
個別選択科目	身体・スポーツ文化論コース	プログラム選択	099366	GHB213	知としての身体を考える	2				全学共通科目	
		プログラム選択	099500	GCR114	オリンピック・パラリンピック概論	2				全学共通科目	
		プログラム選択	099502	GCR115	共生する社会と身体・スポーツ	2				全学共通科目	
		プログラム選択	099516	GCR117	共生社会創生論	2				全学共通科目	
		プログラム選択	099529	GCR101	パラリンピアンと考える障がい者スポーツと共生社会	2				全学共通科目	
		プログラム選択	002165	GHB215	現代文化としてのスポーツ I	2				全学共通科目	
		プログラム選択	002166	GHB216	現代文化としてのスポーツ II	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH11100	GHB210	人間と運動・スポーツ	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH11300	GHB212	レジャー・スポーツ・レクリエーション論	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH13960	GHB220	身体知演習 ボディーワーク	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH13970	GHB221	身体知演習 ヨガ	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH10700	GHB203	気功の理論と実践	2				全学共通科目	
		プログラム選択	GSH13980	GHB222	身体知演習 身体技法	2				全学共通科目	
		プログラム選択	149815	EDU224	生涯学習とスポーツ	2				教育学科	
		芸術文化論コース	プログラム選択	099411	GHB217	演劇から見える世界と人間	2				全学共通科目
			プログラム選択	011115	GHH114	音楽の歴史 I	2				全学共通科目
			プログラム選択	099166	GHH115	音楽の歴史 II	2				全学共通科目
			プログラム選択	970738	THE240	キリスト教と音楽芸術 I	2				神学部
			プログラム選択	970739	THE241	キリスト教と音楽芸術 II	2				神学部
			プログラム選択	970743	THE234	キリスト教建築 I	2				神学部
プログラム選択	970744		THE235	キリスト教建築 II	2				神学部		
プログラム選択	970745		THE238	キリスト教の美術 I	2				神学部		
プログラム選択	970746		THE239	キリスト教の美術 II	2				神学部		
プログラム選択	127905		PHL332	芸術学 I	2				哲学科		
プログラム選択	127906		PHL333	芸術学 II	2				哲学科		
プログラム選択	127206		PHL330	美学 I	2				哲学科		
プログラム選択	127207		PHL331	美学 II	2				哲学科		
プログラム選択	162605		HST304	日本美術史	2				史学科		
プログラム選択	165701		HST311	東洋美術史	2				史学科		
プログラム選択	174004		HST317	西洋美術史	2				史学科		
プログラム選択	214433		ELT354	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	新井 潤美	2～4	○	英文学科※2	
プログラム選択	214431		ELT351	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	2～4	○	英文学科※2	
プログラム選択	214433		ELT354	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	2～4	○	英文学科※2	
プログラム選択	214532		ELT305	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	休講	飯野 友幸	2～4		英文学科※2	

※2 同一名称科目で他教員担当の科目は対象外なので注意すること。

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ

文

フランス

文

新

聞

科目種別		履修 形態	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考		
個別 選 択 科 目	芸術文化論 コ ー ス	プログラム選択	226031	ART311	ドイツ文化研究 I a	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	226032	ART312	ドイツ文化研究 I b	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	226033	ART321	ドイツ文化研究 II a	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	226034	ART322	ドイツ文化研究 II b	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	226035	ART331	ドイツ文化研究 III a	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	226036	ART332	ドイツ文化研究 III b	2					ドイツ文学科		
		プログラム選択	247720	FCL301	フランス美術論 I	2						フランス文学科	
		プログラム選択	247721	FCL302	フランス美術論 II	2						フランス文学科	
		プログラム選択	247732	FCL308	舞台芸術論 I	2						フランス文学科	
		プログラム選択	247733	FCL309	舞台芸術論 II	2						フランス文学科	
		プログラム選択	247705	FCL304	フランス映画論 I	2						フランス文学科	
		プログラム選択	247706	FCL305	フランス映画論 II	2						フランス文学科	
		プログラム選択	263204	JRN267	映画論 I	2						新聞学科	
		プログラム選択	263205	JRN268	映画論 II	2						新聞学科	
		プログラム選択	265241	JRN371	メディアと文化 I a (表象文化論)	2							新聞学科
		プログラム選択	265242	JRN372	メディアと文化 I b (表象文化論)	2							新聞学科
		プログラム選択	265262	JRN391	デジタルアーカイブ論	2							新聞学科
		プログラム選択	501370	FUL312	シェイクスピア演劇	2							外国語学部
		プログラム選択	539303	FUC321	ドイツ音楽	2							外国語学部
		プログラム選択	538501	FUC312	ドイツ語圏美術	2							外国語学部
		プログラム選択	547870	FUC341	フランス近代芸術 の歴史と理論	2							外国語学部
		プログラム選択	575260	FYC311	ロシア演劇 A	2							外国語学部
		プログラム選択	575240	FYC321	ロシア演劇 B-1	2							外国語学部
		プログラム選択	575111	FYC301	ロシア芸術 (音楽) A	2							外国語学部
		プログラム選択	575131	FYC302	ロシア芸術 (音楽) B	2							外国語学部
		プログラム選択	558880	FUC351	西美術史概論	2							外国語学部
		プログラム選択	558890	FUC355	西美術史特論	2							外国語学部
		プログラム選択	583410	FIC321	ポップカルチャー論	2							外国語学部
		プログラム選択	ART201	ART201	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE1 (美術論入門)	4							国際教養学科
		プログラム選択	ART250	ART250	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 2 (日本美術論入門)	4							国際教養学科
		ジャ パ ノ ロ ジ ー ・ コ ー ス	プログラム選択	099349	GTR101	諸宗教における自 然と人間	2						全学共通科目
			プログラム選択	099099	GHL208	〔漢文Ⅰ〕中国古典 入門	2						全学共通科目
			プログラム選択	099100	GHL209	〔漢文Ⅱ〕中国の文 学と文章	2						全学共通科目
			プログラム選択	099101	GHL210	〔漢文Ⅲ〕中国の詩 文を読む	2						全学共通科目
			プログラム選択	099240	GHL211	〔漢文Ⅳ〕中国文学 と日本文学	2						全学共通科目
			プログラム選択	129001	PHL378	仏教思想	2						哲学科
プログラム選択	170430		HST343	歴史学特講 (日本仏教史)	2						史学科		
プログラム選択	170440		HST331	歴史学特講 (日欧交渉史)	2						史学科		

科目種別		履修形態	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
個別選択科目	ジャパノロジー・コース	プログラム選択	162605	HST304	日本美術史	2					史学科
		プログラム選択	186822	JCS151	日本文化史 I	2					国文学科
		プログラム選択	186821	JSC152	日本文化史 II	2					国文学科
		プログラム選択	226037	GES341	ドイツ文化研究IVa (日独文化交流)	2					ドイツ文学科
		プログラム選択	140411	EDU206	日本教育史 I	2					教育学科
		プログラム選択	140412	EDU216	日本教育史 II	2					教育学科

*上記開講科目担当表(1)(2)(3)にあげた科目については、現在予定されているものです。科目名、内容については変更の可能性がります。

科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものです。ナンバリングについては、履修要覧〔共通編〕のp.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
HUM	HUMANITIES	人文学

【2014年次以前生の履修について】

2014年次以前の入学者は、2015年度から開設された横断型人文学プログラムの開設科目（プロジェクト・ゼミを除く）を履修することができますが、「プログラム修了認定証」は与えられません。また、これらの科目を履修し取得した単位のうち、自学科開講科目以外のものについては、他学部・他学科開講科目を履修した場合と同様に扱います。

哲学科

〔教育研究上の目的〕

建学の精神である上智の探求philosophiaに基づき、古今の哲学思想や哲学的問題をその本質から学ぶことによって、優れた思考力・理解力・表現力を養うこと

〔人材養成の目的〕

哲学・倫理・美学・宗教等の研究者及び教育者を育成するとともに、他者のために、他者とともに生きる自律的な人格を育成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、建学の精神である上智の探究 (Philosophia) の理念に基づき、哲学・思想を根本から研究することによって、人間と世界に関する広く深い理解をもって現代社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 人間と世界をめぐる哲学的問題、なかでも「真」「善」「美」という基本的価値をめぐる哲学的問題の内容と意味を十分に理解し、それらを自ら考える能力
2. 哲学的問題を探求してきた人類の歩みに関する十分な知識・教養をもち、その探究の継承者としての自覚と責任をもって探究を続ける能力。
3. 哲学的問題を自ら考えかつ他の人々と共に考え、哲学の古典文献を原語で読解する能力
4. 現代社会の諸事象の根底にある哲学的問題を洞察し、それを哲学的な知識・教養および思考力を基盤として探究し、その成果を説得的に表現する能力
5. 以上の哲学的知識・技能・態度を基盤として、自律的に〈他者のために、他者ととともに〉生きることによって、多様なものが共生する世界に貢献する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 「体系的な科目」（「人間論」「認識論」「自然神学」「形而上学」「倫理学」「美学」）により、哲学の諸問題に関する系統的な理解と、それらをめぐる哲学的な思考力を養う。
2. 「哲学史科目」（「古代哲学史」「中世哲学史」「近代哲学史」「現代哲学史」）により、人類の哲学的探究の歩みに関する知識と教養を養う。
3. 「演習科目」および「文献講読」により、哲学的な問題を討論・対話を通じて探求する技法と作法、哲学的文献の読解の技能、およびそれに必要な外国語の技能を養う。
4. 「哲学思想系列」「倫理学系列」「芸術文化系列」の三系列に配置された「系列科目」により、一人一人の哲学的関心を系統的に方向づけ、主体的に研究に取り組む技法と作法を養う。
5. 「卒業論文指導」「卒業論文」により、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養う。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準 甲選択者：ドイツ語選択 乙選択者：英語選択
卒業要件の単位数は，哲学思想・倫理学・芸術文化の3系列とも同じ

17年次生以降

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		{ ドイツ語選択者 学科専門科目 (必修 28単位, 選択必修 34単位, 選択 32単位) フランス語・英語選択者 語学科目 (選択必修) 4単位 学科専門科目 (必修 28単位, 選択必修 30単位, 選択 32単位)
合 計		124単位	

14～16年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		{ ドイツ語選択者 学科専門科目 (必修 28単位, 選択必修 34単位, 選択 32単位) フランス語・ラテン語・英語選択者 語学科目 (選択必修) 4単位 学科専門科目 (必修 28単位, 選択必修 30単位, 選択 32単位)
合 計		124単位	

12・13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 } 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位	{ 甲：ドイツ語 乙：英語
学科科目	96単位		
合 計		126単位	

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ

文

フ
ラ
ン
ス

文

新

聞

11年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 { 甲：ドイツ語 乙：英語
	{ 選択必修 4単位 選択 16単位 [キリスト教人間学]	
学科科目	100単位	{ 甲選択者 必修 42単位, 選択必修 24単位, 選択 34単位 乙選択者 必修 40単位, 選択必修 28単位, 選択 32単位
合計	130単位	

2. 標準配当表

17年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位) (注1)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2 (注1)	2 2					

○ 学科科目 独…ドイツ語選択者 仏…フランス語選択者 英…英語選択者

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (0または4単位) (注1)	独	特になし					0	
		仏	フランス語					4	
		英	ドイツ語, フランス語, ラテン語から選択					4	
	必修 (28単位)		哲学入門 古代哲学史	4 4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習IIA/ IIB (注2)	4 4 4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4 卒業論文指導 卒業論文	1 3
			哲学演習I	4			文献講読・演習文献講読 各系列の選択必修		8 10
			独	ドイツ語I	6	ドイツ語II	6		
	選択 (32単位)		仏	フランス語I	4	フランス語II	4		
			英	英語I	4	文献講読 (英語2年用)	4		
		独	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の外国語(英語I, 文献講読(英語2年), フランス語I, II, ラテン語I, II)を計4単位まで卒業単位に充当できる。						32
		仏	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから, 計4単位(英語I, 文献講読(英語2年), ラテン語I, II)まで, または計6単位(ドイツ語I, II)まで卒業単位に充当できる。						32
	英	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから, 計4単位(フランス語I, II, ラテン語I, II)まで, または計6単位(ドイツ語I, II)まで卒業単位に充当できる。						32	

(注1) 全学共通科目の選択としての語学科目, 語学科目必修(ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2)および語学科目選択必修のドイツ語, フランス語の履修方法については, 履修要覧〔共通編〕p.162~を参照。

(注2) 哲学演習IIA・IIBについては各系列のものを履修すること。

14～16年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
4単位 語学科目 (注1)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2 (注1)	2 2					

○ 学科科目 独…ドイツ語選択者 仏…フランス語選択者 羅…ラテン語選択者 英…英語選択者

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	語学科目選択必修 (注1) (0または4単位)	独	特になし						0	
		仏羅	ドイツ語, フランス語, ラテン語のうち選択必修で履修していないものを選択						4	
		英	ドイツ語, フランス語, ラテン語から選択						4	
	必修 (28単位)		哲学入門 古代哲学史	4 4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習IIA/IIB (注2)	4 4 4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導(注3) 卒業論文(注3)	1 3
			哲学演習I	4			文献講読・演習文献講読 各系列の選択必修		8 10	
	選択必修 (30または34単位)	独	ドイツ語I	6	ドイツ語II	6				
		仏	フランス語I	4	フランス語II	4				
		羅	ラテン語I	4	ラテン語II	4				
		英	英語I	4	文献講読 (英語2年用)	4				
	選択 (32単位)	独	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の英語I, 文献講読(英語2年), フランス語I, II, ラテン語I, IIは計4単位まで卒業単位に充当できる。						32	
		仏羅	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の外国語のうち, 学科選択必修で選択していないものをあわせて4単位(英語I, 文献講読(英語2年), フランス語I, II, ラテン語I, II), または6単位(ドイツ語I, II)まで卒業単位に充当できる。						32	
		英	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。 哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものをあわせて4単位(フランス語I, II, ラテン語I, II), または6単位(ドイツ語I, II)まで卒業単位に充当できる。						32	

(注1) 全学共通科目の選択としての語学科目, 語学科目必修(ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2)および語学科目選択必修のドイツ語, フランス語の履修方法については, 履修要覧〔共通編〕p.162～を参照。

(注2) 哲学演習IIA・IIBについては各系列のものを履修すること。

(注3) 「卒業論文」(4単位)は, 2015年度に「卒業論文指導」(1単位), 「卒業論文」(3単位)に分割された。

12・13年次生

甲：ドイツ語選択

哲思：哲学思想系列

芸文：芸術文化系列

乙：英語選択

倫理：倫理学系列

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					
	外国語科目必修 (8単位)	甲	ドイツ語 I	8		
乙		英語	4	英語	4	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次									
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位								
学科科目 (96単位)	必修 (42または40単位)	哲学入門	4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習ⅡA・ⅡB***	4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導**** 卒業論文****	1 3							
		古代哲学史	4													
		甲	英語* ラテン語(I) フランス語**		4					ドイツ語Ⅱ	8					
	選択必修 (22または26単位)	哲学演習Ⅰ	4	左記下段のものから選んだ同一外国語	4	甲	文献講読(ドイツ語) 各系列別の選択必修から10単位	8 10	乙	文献講読(英語) 各系列別の選択必修から10単位	8 10					
												乙	英語Ⅰ	4	左記のものから選んだ同一外国語	4
												乙のみ	ドイツ語** ラテン語(I) フランス語**	4	文献講読(英語2年用)	4
	選択 (32または30単位)			甲	32	乙	30	甲	32	乙	30					
甲												自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。	32			
			乙	30	乙	30										

* 英語については、外国語科目(要覧〔共通編〕p.236～)を参照のこと。

** フランス語、および英語選択者のドイツ語については、外国語科目(要覧〔共通編〕p.236～)を参照のこと。

*** 哲学演習ⅡA・ⅡBについては各系列のものを履修すること。

**** 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文指導」「卒業論文」に分割された。

11年次生

甲：ドイツ語選択
乙：英語選択

哲思：哲学思想系列 芸文：芸術文化系列
倫理：倫理学系列

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
		選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4		
	選択 (16単位)					
	外国語科目必修 (8単位)	甲	ドイツ語 I	8		
乙		英語	4	英語	4	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (100単位)	必修 (42または40単位)	哲学入門	4	中世哲学史	4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導**** 卒業論文****	1 3	
		古代哲学史	4	近世哲学史	4					
		甲	英語* ラテン語(I) フランス語**	4	ドイツ語II					8
	乙	英語I	4	左記のものから選んだ同一外国語	2	左記下段のものから選んだ同一外国語	4			
		ドイツ語** ラテン語(I) フランス語**	4							
	選択必修 (24または28単位)	哲学演習 I	4			甲	文献講読(ドイツ語) 各系列別の選択必修から12単位	8 12		
				乙のみ	文献講読(英語2年用)	4	乙	文献講読(英語) 各系列別の選択必修から12単位	8 12	
選択 (34または32単位)			甲	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を34単位まで選択科目として卒業単位の充当できる。			34			
			乙	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位の充当できる。			32			

* 英語については、外国語科目(要覧〔共通編〕p.236～)を参照のこと。

** フランス語、および英語選択者のドイツ語については、外国語科目(要覧〔共通編〕p.236～)を参照のこと。

*** 哲学演習IIA・IIBについては各系列のものを履修すること。

**** 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文指導」「卒業論文」に分割された。

3. 履修上の注意

17年次生以降

① 学科科目について

- (1) 他学部・他学科の学科科目〔語学科目, 哲学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目(科目コード620000番台)を含む〕は, どの語学選択者も32単位まで, 選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (2) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合, その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (3) 自学科他系列の必修科目ないし選択必修科目を履修した場合, 学科科目の選択科目として卒業単位に充当することができる。

② 語学科目及び哲学科開講の外国語科目について

- (1) 必修語学 (ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2) および哲学科必修の外国語科目の単位は, すべて1・2年次の間に履修すること。
- (2) 【仏・英選択者】学科科目の選択必修でフランス語を選択した学生はフランス語を, 英語を選択した学生はドイツ語もしくはフランス語, ラテン語から1言語を, 語学科目選択必修として4単位履修しなければならない。なお, ドイツ語及びフランス語は言語教育研究センター開講の科目を履修すること。(要覧〔共通編〕p. 162～参照)
- (3) 哲学科開講の外国語(学科科目の選択必修で履修していないもの)をあわせて4単位(英語Ⅰ, 文献講読(英語2年), フランス語Ⅰ,Ⅱ, ラテン語Ⅰ,Ⅱ)ないし6単位(ドイツ語Ⅰ,Ⅱ)まで学科の選択科目として卒業単位に算入することができる。

14～16年次生

① 学科科目について

- (1) 他学部・他学科の学科科目〔語学科目, 哲学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目(科目コード620000番台)を含む〕は, どの語学選択者も32単位まで, 選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (2) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合, その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (3) 自学科他系列の必修科目ないし選択必修科目を履修した場合, 学科科目の選択科目として卒業単位に充当することができる。

② 語学科目及び哲学科開講の外国語科目について

- (1) 必修語学 (ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2) および哲学科必修の外国語科目の単位は, すべて1・2年次の間に履修すること。
- (2) 【仏・羅・英選択者】学科科目の選択必修でフランス語, ラテン語ないし英語を選択した学生は, ドイツ語もしくはフランス語, ラテン語のうち選択必修で履修していないものから1言語を, 語学科目選択必修として4単位履修しなければならない。なお, ドイツ語及びフランス語は言語教育研究センター開講の科目を履修すること。(要覧〔共通編〕p. 162～参照)
- (3) 哲学科開講の外国語(学科科目の選択必修で履修していないもの)をあわせて4単位(英語Ⅰ, 文献講読(英語2年), フランス語Ⅰ,Ⅱ, ラテン語Ⅰ,Ⅱ)ないし6単位(ドイツ語Ⅰ,Ⅱ)まで学科の選択科目として卒業単位に算入することができる。

13年次生以前

① 学科科目について

- (1) 他学部・他学科の学科科目〔外国語科目, 哲学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目(科目コード620000番台)を含む〕は, 【11年次生以前】ドイツ語選択者は34単位まで, 英語選択者は32単位まで, 【12年～13年次生】ドイツ語選択者は32単位まで, 英語選択者は30単位まで, 選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (2) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合, その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

- (3) 自学科他系列の必修科目ないし選択必修科目を履修した場合、学科科目の選択科目として卒業単位に充当することができる。なお、ドイツ語選択者が英語コースの語学必修科目を、また英語選択者がドイツ語コースの語学必修科目を履修する場合、また、14年次生対象のフランス語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡBを履修する場合は、学科長との相談を経た上で、選択科目として卒業単位に充当することができる。ドイツ語選択者のうち、語学必修科目のラテン語を選択し、6単位履修した者が、さらにラテン語ⅡBを履修した場合、学科長との相談を経た上で、選択科目に充当することができる。

② 外国語科目について

- (1) 必修語学の単位は、すべて1・2年次の間に履修すること。
 (2) ラテン語Ⅰを他の外国語同様、第三外国語として履修することができる。ただし、修得した単位は卒業に必要な単位数には算入されない。
 (3) 以下の表の通り「全」と「学」の区分の上で登録・履修すること。(全=全学共通科目、学=学科科目)

コース	1年次	履修	2年次	履修
ドイツ語	ドイツ語Ⅰ (8)	全	ドイツ語Ⅱ (8)	学
	英語 (4) ラテン語Ⅰ (4) フランス語 (4)	この中から 1ヶ国語を 選択	英語 (2) ラテン語Ⅱ (2) フランス語 (2)	1年次に 選択した 外国語
	学		学	
英語	英語 (4)	全	英語 (4)	全
	英語Ⅰ (4)	学		
	ドイツ語 (4) ラテン語Ⅰ (4) フランス語 (4)	この中から 1ヶ国語を 選択	ドイツ語 (4) ラテン語Ⅱ (4) フランス語 (4)	1年次に 選択した 外国語
学	学			

- (4) 「ドイツ語ⅠA・B」及び「ドイツ語ⅡA・B」再履修者
 2014年度より「ドイツ語ⅠA・B」及び「ドイツ語ⅡA・B」の単位が4単位から3単位に変更となった。「ドイツ語ⅠA・B」もしくは「ドイツ語ⅡA・B」を再履修する者は、不足する単位分の読み替え科目として次の言語教育研究センター開講科目を履修すること。

「ドイツ語ⅠA・B」読み替え科目
 ドイツ語総合2 (初級) (週2コマ・1学期2単位)
 「ドイツ語ⅡA・B」読み替え科目
 ドイツ語総合4 (中級) (週2コマ・1学期2単位)

また、再履修の結果余剰単位が生じても卒業要件とはならないので注意すること。
 上記の指定科目以外を誤って履修した場合は卒業要件とならないので十分注意すること。

共通

① 卒業論文について

- (1) まず卒業論文のテーマと指導教員に関し、卒業前年度の10月下旬の所定期日までに「哲学科卒業論文指導教員希望票」を哲学科事務室に提出する。次に、教員会議で仮決定された指導教員と面談し、12月中旬の所定期日までに卒業論文仮登録票を提出する。さらに、卒業年度の4月下旬の所定期日までに「哲学科卒業論文本登録票」を提出する。手続きの詳細に関しては、哲学科発行の「哲学科卒業論文作成の手引き」を参照すること。年度初頭の在生学学科別ガイダンス時に正確な日程を発表するので、その指示に従うこと。
 (2) 卒業年度の春学期に、「卒業論文指導」を、同じ年度の秋学期に「卒業論文」を履修する。それぞれの科目は、他の科目と同様にLoyolaで履修登録しなければならない。ただし、留学・休学・9月卒業等やむを得ない事情で指定学期に履修できない場合は、履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。
 (3) 「卒業論文指導」の評価には、P (合格)、X (不合格) を使用する。
 (4) 装丁についてはできるだけA4版とし、簡易製本とすること。
 (5) 提出要領は下記のとおりである。
 ア 期間 Loyola学事センター (教務) 掲示板に掲示します。
 イ 場所 Loyola学事センター (教務) 掲示板に掲示します。
 ウ 時間 Loyola学事センター (教務) 掲示板に掲示します。
 (6) 「卒業論文指導」、「卒業論文」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止 (W) を認める。

② 開講科目担当表備考欄注について

- (1) 神学部に進学を希望する学生は、これらの科目を履修すること。
- (2) 神学部に進学を希望する学生は、これらの科目から6単位を履修すること。

③ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目			2015年度以降の開講科目		
128003	現代哲学Ⅰ	128005	現代哲学		
128004	現代哲学Ⅱ				
129005	仏教思想Ⅰ	129001	仏教思想		
129006	仏教思想Ⅱ				
129008	東洋思想Ⅰ	129011	東洋思想		
129009	東洋思想Ⅱ				
121000	卒業論文	121001	卒業論文指導		
		121002	卒業論文		
2015年度以前の開講科目			2016年以降の開講科目		
126731	日本思想Ⅰ	123008	日本思想		
126732	日本思想Ⅱ				
2016年度以前の開講科目			2017年度以降の開講科目		
126613	倫理学研究演習Ⅰ	126615	倫理学研究演習※		
126614	倫理学研究演習Ⅱ				
127907	芸術学研究演習Ⅰ	127909	芸術学研究演習※		
127908	芸術学研究演習Ⅱ				
124764	演習文献講読Ⅳ	123009	日本思想テキスト演習※		

※読み替えの対象科目ではあるが、旧科目との重複履修を認める。

④ その他

重複履修可能な科目（2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる科目）に関しては、開講科目担当表・備考欄のマーク（+）を参照すること。

⑤ 年間最高履修限度

- 履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。
- （注1）春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回るとは出来ない。
- （注2）3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

（単位）

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑥ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧〔共通編〕p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
PHL	PHILOSOPHY	哲学

⑦ 文学部横断型人文学プログラムについて

15年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」p.28を参照すること。

4. 開講科目担当表

14年次生以降

学科科目（必修科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	哲学思想系列	121227	PHL211	哲学演習Ⅱ（哲思）A	2	春	荻野弘之	2	
		121228	PHL212	哲学演習Ⅱ（哲思）B	2	秋	杉尾一	2	
		120704	PHL310	形而上学Ⅰ	2	春	長町裕司	3・4	p.45 注②-(1)参照
		120705	PHL311	形而上学Ⅱ	2	秋	佐藤直子	3・4	p.45 注②-(2)参照
	倫理学系列	121229	PHL221	哲学演習Ⅱ（倫理）A	2	春	寺田俊郎	2	
		121230	PHL222	哲学演習Ⅱ（倫理）B	2	秋	桑原俊介	2	
		126802	PHL320	倫理学Ⅰ	2	春	寺田俊郎	3・4	p.45 注②-(1)参照
		126803	PHL321	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田俊郎	3・4	p.45 注②-(2)参照
	芸術文化系列	121231	PHL231	哲学演習Ⅱ（芸文）A	2	春	桑原俊介	2	
		121232	PHL232	哲学演習Ⅱ（芸文）B	2	秋	荻野弘之	2	
		127206	PHL330	美学Ⅰ	2	春	桑原俊介	3・4	
		127207	PHL331	美学Ⅱ	2	秋	桑原俊介	3・4	
	全系列共通	120104	PHL140	哲学入門	4	春	長町裕司	1	
		125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野弘之	1	
128301		PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤直子	2		
128110		PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋容一郎	2		
121001		PHL440	卒業論文指導	1	春	各担当教員	4	旧「卒業論文」	
121002		PHL441	卒業論文	3	秋	各担当教員	4		
121001		PHL440	卒業論文指導	1	秋	各担当教員	4	旧「卒業論文」	
121002	PHL441	卒業論文	3	春	各担当教員	4			

語学科目選択必修…【17年次生】ドイツ語選択者…0単位，仏・英選択者…4単位

【14～16年次生】ドイツ語選択者…0単位，仏・英・羅選択者…4単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
語学科目選択必修			ラテン語，言語教育研究センター開講のドイツ語，フランス語	4			1～4		（ドイツ語・フランス語選択者以外）学科必修で選択していない外国語を選択できる。履修方法については、履修要覧（共通編）p.162～を参照。

学科科目（選択必修科目）・・・ドイツ語選択者…34単位

仏・羅（16年次生以前のみ）・英選択者…30単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	外国語科目	ドイツ語選択者・・・12単位 英語，ラテン語（16年次生以前のみ），フランス語選択者・・・8単位								
		122109	PHL100	ドイツ語ⅠA	3	春	正木・* 瀧	1		（ドイツ語選択者）
		122110	PHL101	ドイツ語ⅠB	3	秋	正木・* 瀧	1		（ドイツ語選択者） ドイツ語ⅠA既習者対象
		122111	PHL200	ドイツ語ⅡA	3	春	長町・* 辻	2		（ドイツ語選択者） ドイツ語ⅠB既習者対象

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	外国語科目	122112	PHL201	ドイツ語ⅡB	3	秋	桑原・*辻	2	(ドイツ語選択者) ドイツ語ⅡA既習者対象
		122500	PHL104	フランス語ⅠA	2	春	*井上美穂	1	(フランス語選択者), [20名]
		122501	PHL105	フランス語ⅠB	2	秋	*井上美穂	1	(フランス語選択者), [20名] フランス語ⅠA既習者対象
		122510	PHL204	フランス語ⅡA	2	春	*白川理恵	2	(フランス語選択者) フランス語ⅠB既習者対象
		122511	PHL205	フランス語ⅡB	2	秋	*柴田恵美	2	(フランス語選択者) フランス語ⅡA既習者対象
		122208	PHL102	ラテン語ⅠA	2	春	佐藤直子	1	(ラテン語選択者)
		122209	PHL103	ラテン語ⅠB	2	秋	佐藤直子	1	(ラテン語選択者) ラテン語ⅠA既習者対象
		122206	PHL202	ラテン語ⅡA	2	春	*芝元・*村上	2	(ラテン語選択者) ラテン語ⅠB既習者対象
		122207	PHL203	ラテン語ⅡB	2	秋	*芝元・*村上	2	(ラテン語選択者) ラテン語ⅡA既習者対象
		122303	PHL106	英語ⅠA	2	春	寺田俊郎	1	○ (英語選択者)
		122304	PHL107	英語ⅠB	2	秋	寺田俊郎	1	○ (英語選択者) 英語ⅠA既習者対象
		122004	PHL260	文献講読(英語2年用)A	2	春	鈴木伸国	2	(英語選択者)
		122005	PHL261	文献講読(英語2年用)B	2	秋	鈴木伸国	2	(英語選択者)

a. 全系列共通選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	121101	PHL141	哲学演習ⅠA	2	春	寺田俊郎	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	桑原俊介	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	鈴木伸国	1		
	121103	PHL142	哲学演習ⅠB	2	秋	鈴木伸国	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	寺田俊郎	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	杉尾一	1		
	122004	PHL260	文献講読(英語2年用)A	2	春	鈴木伸国	2		
	122005	PHL261	文献講読(英語2年用)B	2	秋	鈴木伸国	2		
	123106	PHL350	文献講読ⅠA(ドイツ語)	2	春	長町裕司	3・4	+	
	123107	PHL351	文献講読ⅠB(ドイツ語)	2	秋	長町裕司	3・4	+	
	123205	PHL352	文献講読ⅡA(ドイツ語)	2	春	桑原俊介	3・4	+	
	123206	PHL353	文献講読ⅡB(ドイツ語)	2	秋	桑原俊介	3・4	+	
	123311	PHL354	文献講読ⅢA(仏語)	2	春	*本郷均	3・4	+	
	123312	PHL355	文献講読ⅢB(仏語)	2	秋	*本郷均	3・4	+	
	123521	PHL360	文献講読ⅤA(英語)	2	春	寺田俊郎	3・4	+	
	123522	PHL361	文献講読ⅤB(英語)	2	秋	寺田俊郎	3・4	+	
	123613	PHL362	文献講読ⅥA(英語)	2	春	鈴木伸国	3・4	+	
	123614	PHL363	文献講読ⅥB(英語)	2	秋	鈴木伸国	3・4	+	
	123710	PHL364	文献講読ⅦA(英語)	2	春	杉尾一	3・4	+	
	123711	PHL365	文献講読ⅦB(英語)	2	秋	杉尾一	3・4	+	
	124761	PHL290	演習文献講読Ⅰ	2	秋	*矢内義顕	2~4	+	
	124762	PHL291	演習文献講読Ⅱ	2	秋	荻野弘之	2~4	+	
	124763	PHL292	演習文献講読Ⅲ	2	休講		2~4	+	
123009	HUM323	日本思想テキスト演習	2					(他)文学部	

b. 系列別（哲学思想・倫理学・芸術文化）選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	全系列共通	120604	PHL340	認識論Ⅰ	2	春	大橋 容一郎	3・4		p.45 注②-(1)参照
		120605	PHL341	認識論Ⅱ	2	秋	大橋 容一郎	3・4		p.45 注②-(1)参照
		126721	PHL342	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木 伸国	3・4		p.45 注②-(1)参照
		126722	PHL343	人間論Ⅱ	2	春	Haidar Juan	3・4		p.45 注②-(1)参照
		126504	PHL244	自然神学Ⅰ	2	春	長町 裕司	2～4		p.45 注②-(1)参照
		126505	PHL245	自然神学Ⅱ	2	秋	長町 裕司	2～4		p.45 注②-(1)参照
		128400	PHL344	現代哲学史	2	春	鈴木 伸国	3・4		
	哲学思想系列	128005	PHL312	現代哲学	2	秋	コーディネータ 寺田 俊郎	3・4		+ 輪講
		125103	PHL314	自然哲学	2	秋	杉尾 一	3・4		隔年開講
		120301	PHL213	論理学	2	休講		2～4		隔年開講
	倫理学系列	128702	PHL223	西洋倫理思想史Ⅰ	2	春	長町 裕司	2～4		+
		128703	PHL224	西洋倫理思想史Ⅱ	2	秋	コーディネータ 長町 裕司	2～4		+ 輪講
		126741	PHL376	応用倫理学Ⅰ	2	春	有江 文栄	3・4		+ 隔年開講
		126742	PHL377	応用倫理学Ⅱ	2	休講		3・4		+ 隔年開講
	芸術文化系列	121400	PHL233	キリスト教思想史	2	秋	長町 裕司	2～4		+ 隔年開講
		120902	PHL234	宗教哲学	2	休講		2～4		隔年開講
		127905	PHL332	芸術学Ⅰ	2	春	桑原 俊介	3・4		
		127906	PHL333	芸術学Ⅱ	2	休講		3・4		

学科科目（選択科目）・・・32単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科選択科目	129715	PHL206	ギリシア語Ⅰ	2	春	荻野 弘之	2～4		
		129716	PHL207	ギリシア語Ⅱ	2	秋	荻野 弘之	2～4		ギリシア語Ⅰ既修者対象
		129717	PHL306	ギリシア語Ⅲ	2	春	荻野 弘之	3・4		+ギリシア語Ⅱ既修者対象
		129718	PHL307	ギリシア語Ⅳ	2	秋	荻野 弘之	3・4		+ギリシア語Ⅱ既修者対象
		124400	PHL270	中世哲学発達史	2	休講		2～4		+ 隔年開講
		127515	PHL390	哲学史研究演習Ⅰ	2	休講		3・4		+ 隔年開講
		127516	PHL391	哲学史研究演習Ⅱ	2	春	*宮崎 文典	3・4		+ 隔年開講
		126402	PHL392	認識論研究演習	2	休講		3・4		+隔年開講 p.45 注②-(1)参照
		126301	PHL295	形而上学研究演習	2	春	長町 裕司	2～4		+隔年開講 p.45 注②-(2)参照
		124802	PHL370	現代論理学	2	春	杉尾 一	3・4		隔年開講
		126203	PHL371	科学基礎論	2	休講		3・4		隔年開講
		127404	PHL372	社会哲学Ⅰ	2	休講		3・4		隔年開講
		127405	PHL373	社会哲学Ⅱ	2	休講		3・4		隔年開講
		125302	PHL374	政治哲学Ⅰ	2	春	*山脇 直司	3・4		隔年開講
		125303	PHL375	政治哲学Ⅱ	2	秋	*山脇 直司	3・4		隔年開講
		126615	PHL296	倫理学研究演習	2	春	寺田 俊郎	2～4	○	+ 隔年開講
		127909	PHL298	芸術学研究演習	2	休講		2～4		+ 隔年開講
		129001	PHL378	仏教思想	2	春	*頼住 光子	3・4		
		129011	PHL380	東洋思想	2	春	*中島 隆博	3・4		
		129100	PHL280	社会学	2	春	*米澤 旦	2～4		教職科目
		129101	PHL281	経済学	2	秋	*尾沼 広基	2～4		教職科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
外国語科目	選択科目		英語Ⅰ,Ⅱ, ラテン語Ⅰ,Ⅱ,フランス語Ⅰ,Ⅱ, ドイツ語Ⅰ,Ⅱ	p.46~47「開講科目担当表」学科科目(選択必修科目, 外国語科目)を参照。					
選択科目	他学科開講科目	953541	THE335	ヨハネ福音書と初代教会の諸文書	2				(他) 神学部
		953532	THE221	福音書	2				(他) 神学部
		123004	HUM318	日中文化交渉史A	2				(他) 文学部
		123005	HUM319	日中文化交渉史B	2				(他) 文学部
		123008	HUM322	日本思想	2				(他) 文学部
		186822	JCS151	日本文化史Ⅰ	2				(他) 国文学科
		186821	JCS152	日本文化史Ⅱ	2				(他) 国文学科
		140102	EDU205	教育哲学Ⅰ	2				(他) 教育学科
		140121	EDU215	教育哲学Ⅱ	2				(他) 教育学科
		154032	PSL226	認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学)	2				(他) 心理学科
		154022	PSL326	認知心理学Ⅱ	2				(他) 心理学科
		291107	SOG401	社会福祉倫理学	2				(他) 社会福祉学科
		162605	HST304	日本美術史	2				(他) 史学科
		165701	HST311	東洋美術史	2				(他) 史学科
		284010	SOC204	宗教社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科
		284011	SOC307	宗教社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		333000	JUR311	法哲学	4				(他) 法学部
		854847	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター
		854849	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター
		854846	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター
		854848	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1				(他) 言語教育研究センター		
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1				(他) 言語教育研究センター		
その他			文学部横断型人文学プログラム	「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること				各選択者ともに学科選択科目に算入可。標準配当表を参照のこと。	
			他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)	各開講科目担当表を参照					

11~13年次生

全学共通科目としての外国語・・・ドイツ語選択者 8単位
英語選択者 8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	全学共通科目	122109	PHL100	ドイツ語ⅠA	3	春	正木・*瀧	1	ドイツ語選択者対象p.44注②-(4)参照
		122110	PHL101	ドイツ語ⅠB	3	秋	正木・*瀧	1	ドイツ語ⅠA既修者対象p.44注②-(4)参照
英語選択者は全学共通科目としての英語を各自プレイスされたレベルに従い履修すること(要覧〔共通編〕p.236~参照)									

学科科目（必修科目）・・・ドイツ語選択者 42単位
英語選択者 40単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	外国語科目								
	ドイツ語選択者は英語、ラテン語、フランス語より一外国語を6単位、英語選択者はラテン語、ドイツ語、フランス語から一外国語を8単位。								
	122111	PHL200	ドイツ語ⅡA	3	春	長町・* 辻	2		(ドイツ語選択) p.44 注②-(4)参照 ドイツ語ⅡB既修者対象
	122112	PHL201	ドイツ語ⅡB	3	秋	桑原・* 辻	2		(ドイツ語選択) p.44 注②-(4)参照 ドイツ語ⅡA既修者対象
	122303	PHL106	英語ⅠA	2	春	寺田俊郎	1	○	(英語選択)
	122304	PHL107	英語ⅠB	2	秋	寺田俊郎	1	○	(英語選択) 英語ⅠA既修者対象
	122208	PHL102	ラテン語ⅠA	2	春	佐藤直子	1～3		ドイツ語及び英語選択者対象
	122209	PHL103	ラテン語ⅠB	2	秋	佐藤直子	1～3		同上・ラテン語ⅠA既修者対象
122206	PHL202	ラテン語ⅡA	2	春	*芝元・*村上	2～4		ラテン語ⅠA・B履修後、ドイツ語選択者はⅡAを履修、英語選択者はⅡA、ⅡBをすべて履修	
122207	PHL203	ラテン語ⅡB	2	秋	*芝元・*村上	2～4			
哲学思想系列	121227	PHL211	哲学演習Ⅱ(哲思)A	2	春	荻野弘之	2		
	121228	PHL212	哲学演習Ⅱ(哲思)B	2	秋	杉尾一	2		
	120704	PHL310	形而上学Ⅰ	2	春	長町裕司	3・4		p.45 注②-(1)参照
	120705	PHL311	形而上学Ⅱ	2	秋	佐藤直子	3・4		p.45 注②-(2)参照
倫理学系列	121229	PHL221	哲学演習Ⅱ(倫理)A	2	春	寺田俊郎	2		
	121230	PHL222	哲学演習Ⅱ(倫理)B	2	秋	桑原俊介	2		
	126802	PHL320	倫理学Ⅰ	2	春	寺田俊郎	3・4		p.45 注②-(1)参照
	126803	PHL321	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田俊郎	3・4		p.45 注②-(2)参照
芸術文化系列	121231	PHL231	哲学演習Ⅱ(芸文)A	2	春	桑原俊介	2		
	121232	PHL232	哲学演習Ⅱ(芸文)B	2	秋	荻野弘之	2		
	127206	PHL330	美学Ⅰ	2	春	桑原俊介	3・4		
	127207	PHL331	美学Ⅱ	2	秋	桑原俊介	3・4		
全系列共通	120104	PHL140	哲学入門	4	春	長町裕司	1		
	125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野弘之	1		
	128301	PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤直子	2		
	128110	PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋容一郎	2		
	121001	PHL440	卒業論文指導	1	春	各担当教員	4		旧「卒業論文」
	121002	PHL441	卒業論文	3	秋	各担当教員	4		
	121001	PHL440	卒業論文指導	1	秋	各担当教員	4		
	121002	PHL441	卒業論文	3	春	各担当教員	4		

(注)「ドイツ語ⅠA・B」「ドイツ語ⅡA・B」の単位が4単位から3単位に変更となった。再履修する者は、不足する単位について、指定された読替科目をあわせて履修すること。詳細は履修上の注意p.44 ②-(4)を参照すること。

学科科目（選択必修科目）

11～13年次生

【12・13年次生】ドイツ語選択者…22単位 英語選択者…26単位

【11年次生以前】ドイツ語選択者…24単位 英語選択者…28単位

a. 全系列共通選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	121101	PHL141	哲学演習ⅠA	2	春	寺田俊郎	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	桑原俊介	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	鈴木伸国	1		
	121103	PHP142	哲学演習ⅠB	2	秋	鈴木伸国	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	寺田俊郎	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	杉尾一	1		
	122004	PHL260	文献講読（英語2年用）A	2	春	鈴木伸国	2		
	122005	PHL261	文献講読（英語2年用）B	2	秋	鈴木伸国	2		
	123106	PHL350	文献講読ⅠA（ドイツ語）	2	春	長町裕司	3・4	+	
	123107	PHL351	文献講読ⅠB（ドイツ語）	2	秋	長町裕司	3・4	+	
	123205	PHL352	文献講読ⅡA（ドイツ語）	2	春	桑原俊介	3・4	+	
	123206	PHL353	文献講読ⅡB（ドイツ語）	2	秋	桑原俊介	3・4	+	
	123521	PHL360	文献講読ⅤA（英語）	2	春	寺田俊郎	3・4	+	
	123522	PHL361	文献講読ⅤB（英語）	2	秋	寺田俊郎	3・4	+	
	123613	PHL362	文献講読ⅥA（英語）	2	春	鈴木伸国	3・4	+	
	123614	PHL363	文献講読ⅥB（英語）	2	秋	鈴木伸国	3・4	+	
123710	PHL364	文献講読ⅦA（英語）	2	春	杉尾一	3・4	+		
123711	PHL365	文献講読ⅦB（英語）	2	秋	杉尾一	3・4	+		

b. 系列別（哲学思想・倫理学・芸術文化）選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	全系列共通	120604	PHL340	認識論Ⅰ	2	春	大橋容一郎	3・4	p.45 注②-(1)参照
		120605	PHL341	認識論Ⅱ	2	秋	大橋容一郎	3・4	p.45 注②-(1)参照
		126721	PHL342	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木伸国	3・4	p.45 注②-(1)参照
		126722	PHL343	人間論Ⅱ	2	春	Haidar Juan	3・4	p.45 注②-(1)参照
		126504	PHL244	自然神学Ⅰ	2	春	長町裕司	2～4	p.45 注②-(1)参照
		126505	PHL245	自然神学Ⅱ	2	秋	長町裕司	2～4	p.45 注②-(1)参照
		128400	PHL344	現代哲学史	2	春	鈴木伸国	3・4	
		128005	PHL312	現代哲学	2	秋	コーディネータ 寺田俊郎	3・4	+ 輪講
	125103	PHL314	自然哲学	2	秋	杉尾一	3・4	隔年開講	
	120301	PHL213	論理学	2	休講		2～4	隔年開講	
	倫理学系列	128702	PHL223	西洋倫理思想史Ⅰ	2	春	長町裕司	2～4	+
		128703	PHL224	西洋倫理思想史Ⅱ	2	秋	コーディネータ 長町裕司	2～4	+ 輪講
		123008	HUM322	日本思想	2				(他) 文学部
	芸術文化系列	121400	PHL233	キリスト教思想史	2	秋	長町裕司	2～4	+ 隔年開講
		120902	PHL234	宗教哲学	2	休講		2～4	隔年開講
		127905	PHL332	芸術学Ⅰ	2	春	桑原俊介	3・4	
		127906	PHL333	芸術学Ⅱ	2	休講		3・4	

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ

ツ

フ

ラン

ス

文

新

聞

学科科目（選択科目）

【12・13年次生】ドイツ語選択者…32単位 英語選択者…30単位

【11年次生以前】ドイツ語選択者…34単位 英語選択者…32単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科選択科目	129715	PHL206	ギリシア語Ⅰ	2	春	荻野弘之	2～4	
		129716	PHL207	ギリシア語Ⅱ	2	秋	荻野弘之	2～4	ギリシア語Ⅰ既修者対象
		129717	PHL306	ギリシア語Ⅲ	2	春	荻野弘之	3・4	+ギリシア語Ⅱ既修者対象
		129718	PHL307	ギリシア語Ⅳ	2	秋	荻野弘之	3・4	+ギリシア語Ⅱ既修者対象
		124400	PHL270	中世哲学発達史	2	休講		2～4	+隔年開講
		127515	PHL390	哲学史研究演習Ⅰ	2	休講		3・4	+隔年開講
		127516	PHL391	哲学史研究演習Ⅱ	2	春	*宮崎文典	3・4	+隔年開講
		126402	PHL392	認識論研究演習	2	休講		3・4	+隔年開講 p.45 注②-(1)参照
		126301	PHL295	形而上学研究演習	2	春	長町裕司	2～4	+隔年開講 p.45 注②-(2)参照
		124802	PHL370	現代論理学	2	春	杉尾一	3・4	隔年開講
		126203	PHL371	科学基礎論	2	休講		3・4	隔年開講
		127404	PHL372	社会哲学Ⅰ	2	休講		3・4	隔年開講
		127405	PHL373	社会哲学Ⅱ	2	休講		3・4	隔年開講
		125302	PHL374	政治哲学Ⅰ	2	春	*山脇直司	3・4	隔年開講
		125303	PHL375	政治哲学Ⅱ	2	秋	*山脇直司	3・4	隔年開講
		126741	PHL376	応用倫理学Ⅰ	2	春	有江文栄	3・4	+隔年開講
		126742	PHL377	応用倫理学Ⅱ	2	休講		3・4	+隔年開講
		126615	PHL296	倫理学研究演習	2	春	寺田俊郎	2～4	○+隔年開講
		127909	PHL298	芸術学研究演習	2	休講		2～4	+隔年開講
		129001	PHL378	仏教思想	2	春	*頼住光子	3・4	
		129011	PHL380	東洋思想	2	春	*中島隆博	3・4	
		123311	PHL354	文献講読ⅢA（仏語）	2	春	*本郷均	3・4	+
		123312	PHL355	文献講読ⅢB（仏語）	2	秋	*本郷均	3・4	+
		124761	PHL290	演習文献講読Ⅰ	2	秋	*矢内義顕	2～4	+
		124762	PHL291	演習文献講読Ⅱ	2	秋	荻野弘之	2～4	+
		124763	PHL292	演習文献講読Ⅲ	2	休講		2～4	+
		129100	PHL280	社会学	2	春	*米澤旦	2～4	教職科目
		129101	PHL281	経済学	2	秋	*尾沼広基	2～4	教職科目
		122500	PHL104	フランス語ⅠA	2	春	*井上美穂	1	14年次生以降対象科目 p.44 注①-(3)参照
		122501	PHL105	フランス語ⅠB	2	秋	*井上美穂	1	フランス語ⅠA既習者対象 14年次生以降対象科目 p.44 注①-(3)参照
122510	PHL204	フランス語ⅡA	2	春	*白川理恵	2	フランス語ⅠB既習者対象 14年次生以降対象科目 p.44 注①-(3)参照		
122511	PHL205	フランス語ⅡB	2	秋	*柴田恵美	2	フランス語ⅡA既習者対象 14年次生以降対象科目 p.44 注①-(3)参照		
他学科開講科目	953541	THE335	ヨハネ福音書と初代教会の諸文書	2				(他) 神学部	
	953532	THE221	福音書	2				(他) 神学部	
	123004	HUM318	日中文化交渉史A	2				(他) 文学部	
	123005	HUM319	日中文化交渉史B	2				(他) 文学部	
	123009	HUM323	日本思想テキスト演習	2				(他) 文学部	
	186822	JCS151	日本文化史Ⅰ	2				(他) 国文学科	
	186821	JCS152	日本文化史Ⅱ	2				(他) 国文学科	
	140102	EDU205	教育哲学Ⅰ	2				(他) 教育学科	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選択科目	他 学 科 開 講 科 目	140121	EDU215	教育哲学Ⅱ	2				(他) 教育学科
		154032	PSL226	認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学)	2				(他) 心理学科
		154022	PSL326	認知心理学Ⅱ	2				(他) 心理学科
		291107	SOG401	社会福祉倫理学	2				(他) 社会福祉学科
		162605	HST304	日本美術史	2				(他) 史学科
		165701	HST311	東洋美術史	2				(他) 史学科
		284010	SOC204	宗教社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科
		284011	SOC307	宗教社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		333000	JUR311	法哲学	4				(他) 法学部
		その他			文学部横断型人文学プログラム	「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること。 各選択者ともに学科選択科目に算入可。標準配当表を参照のこと。			
他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)	各開講科目担当表を参照								

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

史学科

〔教育研究上の目的〕

歴史学の理論や方法を学ぶことによって、種々の出来事や社会現象に対する鋭い調査能力や真偽鑑定能力、さらに社会や時代を多角的・総合的に評価できる力を養うこと

〔人材養成の目的〕

過去への探求によって、人間社会の問題点の歴史的起源を理解し、現状改革のために自分の考察結果を広く社会に発信して、未来への指針を示すことのできる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、現代社会を現状固定的にではなく、歴史的に形成されてきたものとして批判的にとらえる能力を身に付け、多文化共生の基盤となる多元的な歴史認識と国際的な視野をもって、社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身に付けた者と認め、学位を授与します。

1. さまざまな社会事象現象について広い視野から歴史的な洞察をする能力
2. 既存の研究に即して、自ら問題を発見する能力
3. 各種の史料を正確に解読し、史実を調査・分析する能力
4. 調査結果から一定の歴史像を構築し、的確に表現・発信する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「幅広い学習から専門性の高い研究」へといたるよう、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 1年次に、歴史学の初歩的な理論や方法を学び（「研究入門」「入門演習」）、各分野の基礎知識を幅広く獲得させる（各種「概説」）。
2. 2年次に、各自の専攻分野を決定し、それぞれの分野の重要な諸研究や原史料に触れる（「教養演習」、「講読演習」）とともに、最新の研究成果や専門的な知識・技法・考察能力を身につけさせる（各種「特講」）。
3. 3年次に、原語で書かれた専門書や原史料の正確な読解能力を培うとともに、プレゼンテーションや討論を通じて研究能力の育成をはかる（各種「演習」）。
4. 4年次に、これまでの学修の集大成として、自ら問題を発見して追究し、それを論理的・客観的に表現・発信する力を身につけさせる（卒業論文）。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目 26単位 { 必修 2単位 [体育 2単位]
 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 (必修4単位)

学科科目 94単位 { 語学科目(選択必修) 8単位
 学科専門科目(必修14単位, 選択必修34単位, 選択38単位)

合計 124単位

11~13年次生

全学共通科目 30単位 { 必修 10単位 { 体育 2単位
 外国語科目 8単位
 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
 選択 16単位

学科科目 94単位 (必修14単位, 選択必修42単位, 選択38単位)

合計 124単位

10年次生

全学共通科目 30単位 { 必修 12単位 { 体育 2単位
 情報 2単位
 外国語科目 8単位
 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
 選択 14単位

学科科目 94単位 (必修14単位, 選択必修42単位, 選択38単位)

合計 124単位

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

2. 標準配当表

17年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (14単位)	歴史学研究入門	}	2			卒業論文Ⅰ	4
		歴史学入門演習		2			卒業論文Ⅱ	4
					現代歴史学の課題		2	
	選択必修 (34単位)	アジア・日本史系概説 ヨーロッパ・アメリカ史系概説 超域史・隣接学概説 ※各系より最低2科目	14	歴史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	2 2	演習		4
3科目×2単位 6 2科目×2単位 4 2科目×2単位 4 合計 14		歴史学特講		12				
選択 (38単位)	①本学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目(①の科目及び語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文学プログラム開講科目を含む) (②で充当できるのは20単位までである) ③語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目(4単位)(注1)						38	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については履修要覧〔共通編〕p.162～(語学科目のページ)を参照。

14～16年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注2)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注2)						8
	必修 (14単位)	歴史学研究入門 歴史学入門演習	2 2				卒業論文Ⅰ(注1)	4
				歴史学をめぐる諸問題			卒業論文Ⅱ(注1)	4
	選択必修 (34単位)	日本史概説 東洋史概説 西洋史概説 ※概説 自専攻より 6 他の二専攻より 4 4 合計 14	14	史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	2 2	演習	4	
				特講			12	
選択 (38単位)	①本学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目(①の科目及び語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文学プログラム開講科目を含む) (②で充当できるのは20単位までである) ③語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目(4単位)(注2)						38	

(注1)「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」に分割された。

(注2) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については履修要覧〔共通編〕p.162～(語学科目のページ)を参照。

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ

文

フランス

文

新

聞

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (14単位)	歴史学研究入門	2					卒業論文Ⅰ (注1)	4
		歴史学入門演習	2					卒業論文Ⅱ (注1)	4
		歴史学をめぐる諸問題							2
	選択必修 (42単位)	日本史概説 } 東洋史概説 } 西洋史概説 } ※概説	6	14	史学教養演習	2	演習		
		自専攻より			2				
選択 (38単位)	他の二専攻より	4	14	特講				12	
	合計	4							
	学科科目としての外国語 (英語以外の同一外国語) (注2)	4	左記のものから選んだ同一の外国語 (注2)	4					
	①本学科開講科目(史学科「開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目 (①の科目及び語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文学プログラム開設科目を含む) ③英語および学科としての外国語以外の指定された外国語 (4単位) (注2) (②と③で充当できるのは、あわせて24単位までである)							38	

(注1) 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」に分割された。

(注2) ※指定外国語については要覧【共通編】p.236～(外国語科目のページ)参照。

10年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2					
		キリスト教人間学	4					
	選択必修 (4単位)							
	選択 (14単位)							
外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4				

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (14単位)	歴史学研究入門	2	歴史学概論 (2012年度より廃止)	2		卒業論文Ⅰ (注1)	4
							卒業論文Ⅱ (注1)	4
							歴史学をめぐる諸問題	2
	選択必修 (42単位)	日本史概説 } 東洋史概説 } 西洋史概説 } ※概説 { 自専攻より 6 } { 他の二専攻より 4 } { 4 } (合計 14)	14	史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	2 2	演習		
							特講	
選択 (38単位)	学科科目としての 外国語 (英語以外の 同一外国語) (注2)	4	左記のものから選 んだ同一の外国語 (注2)	4				
	①本学科開講科目(史学科「開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目 (①の科目及び語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文学プログラム開設科目を含む) ③英語および学科としての外国語以外の指定された外国語 (4単位) (注2) (②と③で充当できるのは、あわせて24単位までである)							38

(注1) 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」に分割された。
 (注2) 指定外国語については要覧〔共通編〕p.236 (外国語科目のページ) 参照。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

3. 履修上の注意

共通

① カリキュラムの改変について

史学科では2017年度にカリキュラムの改変を実施し、日本史・東洋史・西洋史のコース制が廃止され、それに伴い、概説をはじめとする多くの科目の内容・名称が変更になっている。しかし、現在の開講科目は、ほぼ2016年度以前の開講科目と対応しているため、16年次生以前もこれを履修することで、従来どおり卒業単位を満たすことができる。16年次生以前の学生は、末尾の「新旧開講科目対照表」をよく読み、現在開講されている科目が2016年度以前のどの科目に当たるかを確認し、間違いのないよう履修すること（なお、以下の説明のうち、「〈旧〉」は2016年度以前の旧カリキュラムを、「〈新〉」は2017年度の新規カリキュラムを指し、これを科目名に冠するものは、それぞれ新旧の開講科目名を意味する）

② 文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」、p.28を参照すること。なお、プロジェクト・ゼミを除くプログラム開設科目は、学科科目の選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。

③ 卒業論文について

- (1) 卒業論文を作成・提出するにあたって、第3年次の学年末（通常1月）に学科で卒業論文の予備登録を行い、指導教員の論文指導の許可を得なければならない。所定届け出用紙は、史学科事務室で配付する。
- (2) 2015年度より、「卒業論文」は通年科目からセメスター制に変更した。原則として第4年次春学期に「卒業論文Ⅰ」、秋学期に「卒業論文Ⅱ」の履修登録をLoyolaで行い、教員の指導を受けること。留学・休学等やむを得ない事情がある場合は、履修登録期間前に必ず学科長へ相談すること。
- (3) 「卒業論文Ⅰ」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (4) 卒業論文の提出等については、学事センター掲示（Loyola）に注意すること。提出要領は下記のとおりである。

ア 期間	Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
イ 場所	Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
ウ 時間	Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
- (5) その他装丁などの詳細については、各自指導教員の指示にしたがうこと。
- (6) 「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」は各4単位の必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回することは出来ない。
- (注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧[共通編] p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
HST	HISTORY	歴史

17年次生以降

① 語学科目について

英語については、学科専門科目を履修するうえでも非常に重要である。そのため、1年次必修科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」に加えて英語の科目を履修し、英語力を高めることが望ましい。科目および履修方法等については要覧〔共通編〕p.162～（語学科目のページ）参照。

② 学科科目について

- (1) 必修科目については、第1年次に「歴史学研究入門」と「歴史学入門演習」、第2年次に「現代歴史学の課題」、第4年次に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」を履修すること。
- (2) 史学科開講の「概説」については、アジア・日本史系、ヨーロッパ・アメリカ史系、超域史・隣接学の各概説から、各系より最低2科目（4単位）、合計7科目（14単位）を履修すること。
- (3) 第2年次に、「歴史学教養演習」と「(史料・原書)講読演習」が選択必修となる。なお、第2年次の当該2科目の単位修得が、第3年次の「演習」履修の条件となる。当該2科目の決定は、第1年次の学年末（通常1月）の学科による振り分けにより、それを第2年次の履修登録（Loyolaで登録）で入力すること。学科による振り分けの前に、希望調査アンケート（通常7月と11月）、プレゼミ・ガイダンス（通常12月）、教員との面談期間と最終希望書提出（1月）を行うので、Loyolaの学科・専攻別掲示板に注意すること。
- (4) 史学科開講の「歴史学特講」（「古文書学概論」・「古文書学特論」・各「美術史」・「グローバル・ヒストリー」を含む）は12単位以上を履修すること。なおこの科目は、第2年次より履修することができる。
- (5) 第3年次より、第2年次履修「歴史学教養演習」、「(史料・原書)講読演習」と同一の教員による「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」（各2単位以上）を履修すること。登録については、第2年次生の学年末（通常1月）の学科での予備登録と、第3年次の履修登録（Loyolaで登録）を必要とする。その際、登録の条件などについては、担当教員の指導を受けること。なお、この「演習」の単位修得が、卒業論文の登録条件ともなる。また、第2年次「歴史学教養演習」・「(史料・原書)講読演習」と同一の教員の「演習」に登録、もしくは単位修得を済ませている場合、それ以外の教員の「演習」を履修することができる（但しその場合には、受入側の教員の許可が必要である）。
- (6) 重複履修の可否について
「歴史学研究入門」、「歴史学入門演習」、「卒業論文」、アジア・日本史系 / ヨーロッパ・アメリカ史系 / 超域史・隣接学系の各「概説」、同一教員担当の「歴史学教養演習」・「史料講読演習」・「原書講読演習」、「古文書学概論」、「グローバル・ヒストリー」および選択科目は、重複履修することができない。しかし、「現代歴史学の課題」、各「歴史学特講」、各「演習」、各「美術史」、「古文書学特論」は、重複履修が可能である。
- (7) 必修科目のうち重複履修可能な「現代歴史学の課題」、および選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目の単位数に算入される。
- (8) 他学部・他学科開講科目を履修した場合の単位について
史学科開講科目（史学科開講科目担当表所載の科目）以外の他学部・他学科の開講科目を履修した場合は、20単位まで選択科目の単位数に算入される。なお、他学部・他学科の開講科目には、教職課程・学芸員課程科目が含まれる。但し、教育実習および博物館実習は除外する。
- (9) 国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、要覧〔共通編〕p.32をよく読むこと。

③ 語学科目（学科科目）について

- (1) 【語学科目選択必修について】
語学科目の選択必修として、英語以外の同一言語を8単位修得しなければならない。アジア・日本史系の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を履修した者は、その8単位のうち4単位までを「古文書学概論」（2単位）、「古文書学特論」（2単位）によって代替することができる（「古文書学特論」は重複履修が可能な科目であるが、語学科目の選択必修として充当できるのは2単位までとする）。なお、手続きは演習担当教員が学生の申請に基づいて行う。
- (2) 【学科選択科目に算入できる語学科目について】
語学科目必修・選択必修で履修した以外の同一言語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として卒業に必要な単位に充当することができる。
※(1)、(2)ともに指定の言語および履修方法については要覧〔共通編〕p.162～（語学科目のページ）参照。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
ッ

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

14～16年次生

① 語学科目について

英語については、学科専門科目を履修するうえでも非常に重要である。そのため、1年次必修科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」に加えて英語の科目を履修し、英語力を高めることが望ましい。科目および履修方法等については要覧〔共通編〕p.162～（語学科目のページ）参照。

② 学科科目について

- (1) 必修科目については、第1年次に「歴史学研究入門」と「歴史学入門演習」、第2年次に〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」（〈新〉「現代歴史学の課題」）、第4年次に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」を履修すること。
- (2) 史学科開講の「概説」については、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」を、各自の専攻より3科目（6単位）、他の2専攻より各2科目（4単位）、合計7科目（14単位）履修すること（なお〈新〉では、「日本史概説」は「アジア・日本史系概説」「超域史・隣接学概説」に、「東洋史概説」は「アジア・日本史系概説」に、「西洋史概説」は「ヨーロッパ・アメリカ史系概説」に、それぞれ名称変更されている）。
- (3) 第2年次に、〈旧〉「史学教養演習」（〈新〉「歴史学教養演習」）と「史料・原書」講読演習（〈新・旧〉同じ）が選択必修となる。なお、第2年次の当該2科目の単位修得が、第3年次の「演習」履修の条件となる。当該2科目の決定は、第1年次の学年末（通常1月）の学科による振り分けにより、それを第2年次の履修登録（Loyolaで登録）で入力すること。学科による振り分けの前に、希望調査アンケート（通常7月と11月）、プレゼミ・ガイダンス（通常12月）、教員との面談期間と最終希望書提出（1月）を行うので、Loyolaの学科・専攻別掲示板に注意すること。
- (4) 史学科開講の「〈旧〉「特講」（〈新〉「歴史学特講」。「古文書学概論」・「古文書学特論」・各「美術史」・「グローバル・ヒストリー」を含む）は、12単位以上を履修すること。なおこの科目は、第2年次より履修することができる。
- (5) 第3年次より、各自専攻の同一の教員による「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」（各2単位以上）を履修すること。登録については、第2年次生の学年末（通常1月）の学科での予備登録と、第3年次の履修登録（Loyolaで登録）を必要とする。その際、登録の条件などについては、担当教員の指導を受けること。また、この「演習」の単位修得が、卒業論文の登録条件ともなる（なお〈新〉では、「日本史演習」「東洋史演習」は「アジア・日本史系演習」に、「西洋史演習」は「ヨーロッパ・アメリカ史系演習」に、それぞれ名称変更されている）。
- (6) 重複履修の可否について
「歴史学研究入門」、「歴史学入門演習」、「卒業論文」、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」（〈新〉アジア・日本史系 / ヨーロッパ・アメリカ史系 / 超域史・隣接学系の各「概説」）、同一教員担当の〈旧〉「史学教養演習」（〈新〉「歴史学教養演習」）・「史料講読演習」・「原書講読演習」、「古文書学概論」、「グローバル・ヒストリー」および選択科目は、重複履修することができない。しかし、〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」（〈新〉「現代歴史学の課題」）、各〈旧〉「特講」（〈新〉「歴史学特講」）、各「演習」、各「美術史」、「古文書学特論」は、重複履修が可能である。
- (7) 必修科目のうち重複履修可能な〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」（〈新〉「現代歴史学の課題」）、および選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目の単位数に算入される。
- (8) 他学部・他学科開講科目を履修した場合の単位について
史学科開講科目（史学科開講科目担当表所載の科目）以外の他学部・他学科の開講科目を履修した場合は、20単位まで選択科目の単位数に算入される。但し、教育実習および博物館実習は除外する。
- (9) 国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、要覧〔共通編〕p.32をよく読むこと。

③ 語学科目（学科科目）について

- (1) 【語学科目選択必修について】
語学科目選択必修として英語以外の同一言語を8単位修得しなければならない。日本史専攻者は、その8単位のうち4単位までを「古文書学概論」（2単位）、「古文書学特論」（2単位）によって代替することができる（「古文書学特論」は重複履修が可能な科目であるが、語学科目の選択必修として充当できるのは2単位までとする）。なお、手続きは学事センターで行うこと。
- (2) 【学科選択科目に算入できる語学科目について】
語学科目必修・選択必修で履修した以外の同一言語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として卒業に必要な単位に充当することができる。
※(1)、(2)ともに指定の言語および履修方法については要覧〔共通編〕p.162～（語学科目のページ）参照。

13年次生以前

① 学科科目について

- (1) 必修科目は以下のとおり履修すること。

<11年次生以降>

第1年次に「歴史学研究入門」と「歴史学入門演習」、第2年次に〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、第4年次に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」を履修すること。

<10年次生以前>

第1年次に「歴史学研究入門」、第2年次に「歴史学概論」(2012年度より廃止)、第3年次に〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、第4年次に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」を履修すること。

なお、「歴史学概論」を未履修の者は、〈旧〉「特講」(2単位、〈新〉「歴史学特講」)を修得して代替とするが、何を代替として充てるかは、学科長に申し出て許可を得ること。

- (2) 史学科開講の「概説」については、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」を、各自の専攻より3科目(6単位)、他の2専攻より各2科目(4単位)、合計7科目(14単位)履修すること(なお〈新〉では、「日本史概説」は「アジア・日本史系概説」「超域史・隣接学概説」に、「東洋史概説」は「アジア・日本史系概説」に、「西洋史概説」は「ヨーロッパ・アメリカ史系概説」に、それぞれ名称変更されている)。
- (3) 第2年次に、〈旧〉「史学教養演習」(〈新〉「歴史学教養演習」)と「(史料・原書)講読演習」(〈新・旧〉同じ)が選択必修となる。なお、第2年次の当該2科目の単位修得が、第3年次の「演習」履修の条件となる。当該2科目の決定は、第1年次の学年末(通常1月)の学科による振り分けにより、それを第2年次の履修登録(Loyolaで登録)で入力すること。学科による振り分けの前に、希望調査アンケート(通常7月と11月)、プレゼミ・ガイダンス(通常12月)、教員との面談期間と最終希望書提出(1月)を行うので、Loyolaの学科・専攻別掲示板に注意すること。
- (4) 史学科開講の〈旧〉「特講」(〈新〉「歴史学特講」)・「古文書学概論」・「古文書学特論」・各「美術史」・「グローバル・ヒストリー」を含むは、12単位以上を履修すること。なおこの科目は、第2年次より履修することができる。
- (5) 第3年次より各自専攻の同一教員の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」(各2単位以上)を履修すること。登録については、第2年次生の学年末(通常1月)の学科での予備登録と、第3年次の履修登録(Loyolaで登録)を必要とする。その際、登録の条件などについては、担当教員の指導を受けること。また、各自専攻の「演習」の単位修得が、卒業論文の登録条件ともなる(なお〈新〉では、「日本史演習」「東洋史演習」は「アジア・日本史系演習」に、「西洋史演習」は「ヨーロッパ・アメリカ史系演習」に、それぞれ名称変更されている)。
- (6) 重複履修の可否について
「歴史学研究入門」、「歴史学入門演習」、「卒業論文」、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」(〈新〉アジア・日本史系 / ヨーロッパ・アメリカ史系 / 超域史・隣接学系の各「概説」)、同一教員担当の〈旧〉「史学教養演習」(〈新〉「歴史学教養演習」)・「史料講読演習」・「原書講読演習」、「古文書学概論」、「グローバル・ヒストリー」および選択科目は、重複履修することができない。しかし、〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、〈旧〉「特講」(各〈新〉「歴史学特講」)、各「演習」、各「美術史」、「古文書学特論」は、重複履修が可能である。
- (7) 必修科目のうち重複履修可能な〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、および選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目の単位数に算入される。
- (8) 他学部・他学科開講科目を履修した場合の単位について
史学科開講科目(史学科開講科目担当表所載の科目)以外の他学部・他学科の開講科目を履修した場合は、24単位まで選択科目の単位数に算入される。なお、他学部・他学科の開講科目には、教職課程・学芸員課程科目が含まれる。但し、教育実習および博物館実習は除外する。
- (9) 国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、要覧〔共通編〕p.32をよく読むこと。

③ 学科科目としての外国語について

- (1) 学科科目としての外国語は、選択必修科目として英語以外の指定された同一外国語を8単位修得しなければならない。日本史専攻者は、その8単位のうち4単位までを「古文書学概論」(2単位)、「古文書学特論」(2単位)によって代替することができる(2005年度より古文書学特論は、重複履修が可能な科目となったが、学科科目としての外国語として充当できるのは2単位までとする)。なお、手続きは学事センターで行うこと。
- (2) 英語および(1)で履修した語学以外の指定された同一の外国語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として卒業に必要な単位に充当することができる。
※(1)、(2)ともに指定の外国語については要覧〔共通編〕p.236～(外国語科目のページ)参照。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

【新旧開講科目対照表 学科科目（必修科目・選択必修科目・選択科目）】

2016年度以前	2017年度以降	2016年度以前	2017年度以降
歴史学研究入門	同	西洋史演習（古代史）Ⅰ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習AⅠ
歴史学入門演習	同	西洋史演習（古代史）Ⅱ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習AⅡ
卒業論文Ⅰ	同	西洋史演習（中世史）Ⅰ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習BⅠ
卒業論文Ⅱ	同	西洋史演習（中世史）Ⅱ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習BⅡ
歴史学をめぐる諸問題	現代歴史学の課題	西洋史演習（近世史）Ⅰ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習CⅠ
日本史概説Ⅰ	アジア・日本史系概説Ⅰ（日本史）	西洋史演習（近世史）Ⅱ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習CⅡ
日本史概説Ⅱ	アジア・日本史系概説Ⅱ（日本史）	西洋史演習（近現代史）Ⅰ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習DⅠ
日本史概説Ⅲ	超域史・隣接学概説Ⅰ	西洋史演習（近現代史）Ⅱ	ヨーロッパ・アメリカ史系演習DⅡ
日本史概説Ⅳ	超域史・隣接学概説Ⅱ	古文書学概論	同
東洋史概説Ⅰ	アジア・日本史系概説Ⅲ（東洋史）	古文書学特論	同
東洋史概説Ⅱ	アジア・日本史系概説Ⅳ（東洋史）	日本美術史	同
東洋史概説Ⅲ	アジア・日本史系概説Ⅴ（東洋史）	日本史特講（古代史）	歴史学特講（日本古代史）
西洋史概説Ⅰ	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅰ	日本史特講（中世史）	歴史学特講（日本中世史）
西洋史概説Ⅱ	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅱ		歴史学特講（日本中世政治史）
西洋史概説Ⅲ	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅲ	日本史特講（日本仏教史）	歴史学特講（日本仏教史）
西洋史概説Ⅳ	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅳ	日本史特講（日欧交渉史）	歴史学特講（日欧交渉史）
	超域史・隣接学概説Ⅲ*	日本史特講（近世史）	歴史学特講（超域史）
	超域史・隣接学概説Ⅳ*	日本史特講（近代史）	歴史学特講（日本近代史）
史学教養演習（日本史，北條）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	日本史特講（東アジア国際関係史）	歴史学特講（国際関係史）
史学教養演習（日本史，中澤）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋史特講（東洋考古学）Ⅰ	歴史学特講（東洋考古学Ⅰ）
史学教養演習（日本史，川村）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋史特講（東洋考古学）Ⅱ	歴史学特講（東洋考古学Ⅱ）
史学教養演習（日本史，長田）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋史特講（朝鮮伝統社会と儒教倫理）	歴史学特講（朝鮮伝統社会と儒教倫理）
史学教養演習（東洋史，大澤）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋史特講（中国近現代社会政治史）	歴史学特講（中国近現代社会政治史）
史学教養演習（東洋史，山内）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋史特講（中国古代中世史）	
史学教養演習（東洋史，笹川）	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	東洋美術史	同
史学教養演習（西洋史，豊田）	歴史学教養演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	西洋史特講（古代史）	歴史学特講（西洋古代史）
史学教養演習（西洋史，児嶋）	歴史学教養演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	西洋史特講（中世・ルネサンスの歴史と美術）	歴史学特講（西洋中世史）
史学教養演習（西洋史，坂野）	歴史学教養演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	西洋史特講（フランス史の諸問題）	歴史学特講（フランス史の諸問題）
史学教養演習（西洋史，井上）	歴史学教養演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	西洋史特講（近世史）	歴史学特講（西洋近世史）
史料講読演習（日本史，北條）	史料講読演習（アジア・日本史系）	西洋史特講（近現代政治社会史）	歴史学特講（西洋近現代政治社会史）
史料講読演習（日本史，中澤）	史料講読演習（アジア・日本史系）	西洋美術史	同
史料講読演習（日本史，川村）	史料講読演習（アジア・日本史系）	日本通史	同
史料講読演習（日本史，長田）	史料講読演習（アジア・日本史系）	キリスト教史概説	
史料講読演習（東洋史，大澤）	史料講読演習（アジア・日本史系）	外国史	同
史料講読演習（東洋史，山内）	史料講読演習（アジア・日本史系）		国際関係論
史料講読演習（東洋史，笹川）	史料講読演習（アジア・日本史系）	政治学	同
原書講読演習（西洋史，豊田）	原書講読演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	経済学	
原書講読演習（西洋史，児嶋）	原書講読演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）		社会学
原書講読演習（西洋史，坂野）	原書講読演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	地理学Ⅰ	同
原書講読演習（西洋史，井上）	原書講読演習（ヨーロッパ・アメリカ史系）	地理学Ⅱ	同
日本史演習（古代史）Ⅰ	アジア・日本史系演習AⅠ	地誌学	同
日本史演習（古代史）Ⅱ	アジア・日本史系演習AⅡ		
日本史演習（中世史）Ⅰ	アジア・日本史系演習BⅠ		
日本史演習（中世史）Ⅱ	アジア・日本史系演習BⅡ		
日本史演習（近世史）Ⅰ	アジア・日本史系演習CⅠ		
日本史演習（近世史）Ⅱ	アジア・日本史系演習CⅡ		
日本史演習（近代史）Ⅰ	アジア・日本史系演習DⅠ		
日本史演習（近代史）Ⅱ	アジア・日本史系演習DⅡ		
東洋史演習（中国古代中世史）Ⅰ	アジア・日本史系演習EⅠ		
東洋史演習（朝鮮史）Ⅰ			
東洋史演習（中国古代中世史）Ⅱ	アジア・日本史系演習EⅡ		
東洋史演習（朝鮮史）Ⅱ			
東洋史演習（中国近現代史）Ⅰ	アジア・日本史系演習FⅠ		
東洋史演習（中国近現代史）Ⅱ	アジア・日本史系演習FⅡ		

*印の2016年度以前対応科目は史学科選択必修科目の特講科目（日本史）です。

開講科目担当表

学科科目（必修科目）・・・14単位

17年次生以降

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	160408	HST101	歴史学研究入門	2	春	坂野正則	1		
	160500	HST102	歴史学入門演習	2	秋	コーディネータ 中澤克昭 川村信三 中川亜希子 井上茂子 長田彰文	1		5クラス制
	160720	HST327	現代歴史学の課題	2	春	コーディネータ 井上茂子	2		輪講
	160601	HST423	卒業論文Ⅰ	4	春	史学科教員	4		
	160602	HST424	卒業論文Ⅱ	4	秋	史学科教員	4		

11～16年次生

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	160408	HST101	歴史学研究入門	2	春	坂野正則	1		
	160500	HST102	歴史学入門演習	2	秋	コーディネータ 中澤克昭 川村信三 中川亜希子 井上茂子 長田彰文	1		5クラス制
	160720	HST327	現代歴史学の課題	2	春	コーディネータ 井上茂子	2		輪講
	160601	HST423	卒業論文Ⅰ	4	春	史学科教員	4		旧「卒業論文」
	160602	HST424	卒業論文Ⅱ	4	秋	史学科教員	4		

10年次生

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	160408	HST101	歴史学研究入門	2	春	坂野正則	1		
	160720	HST327	現代歴史学の課題	2	春	コーディネータ 井上茂子	3		輪講
	160601	HST423	卒業論文Ⅰ	4	春	史学科教員	4		旧「卒業論文」
	160602	HST424	卒業論文Ⅱ	4	秋	史学科教員	4		

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新

聞

語学科目選択必修（14年次生以降対象）・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
語学科目 選択必修			語学科目としての外国語 (英語以外の同一言語)	8			1~4		14年次生以降の学生については、語学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を履修すること。 履修上の注意については要覧 [共通編] p.162~を参照すること

学科科目（選択必修科目）・・・<14年次生以降> 34単位

<13年次生以前> 42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	外国語		学科科目としての外国語 (英語以外の同一外国語)	8			1・2		13年次生以前の学生については、学科科目として、英語以外の指定された同一言語を履修すること。 履修上の注意については要覧 [共通編] p.236~を参照のこと	
		概説	161600	HST236	アジア・日本史系概説Ⅰ(日本史)	2	春	北 條 勝 貴	1	
			161610	HST237	アジア・日本史系概説Ⅱ(日本史)	2	秋	中 澤 克 昭	1	
			161620	HST238	アジア・日本史系概説Ⅲ(東洋史)	2	春	笹 川 裕 史	1	
			161630	HST239	アジア・日本史系概説Ⅳ(東洋史)	2	秋	*大 川 裕 子	1	
			161640	HST240	アジア・日本史系概説Ⅴ(東洋史)	2	秋	山 内 弘 一	1	
			161700	HST241	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅰ	2	春	中 川 亜 希	1	
			161710	HST242	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅱ	2	秋	藤 崎 衛	1	
			161720	HST243	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅲ	2	秋	坂 野 正 則	1	
			161730	HST244	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅳ	2	春	井 上 茂 子	1	
			161800	HST245	超域史・隣接学概説Ⅰ	2	春	川 村 信 三	1	
			161810	HST246	超域史・隣接学概説Ⅱ	2	秋	長 田 彰 文	1	
			161820	HST247	超域史・隣接学概説Ⅲ	2	休講		1	
161830	HST248	超域史・隣接学概説Ⅳ	2	秋	*上 野 祥 史	1				
教養演習	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	春	北 條 勝 貴	2			
	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	春	中 澤 克 昭	2			
	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	春	川 村 信 三	2			
	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	春	長 田 彰 文	2			
	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	秋	山 内 弘 一	2			
	160570	HST249	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	2	春	笹 川 裕 史	2			
	160580	HST250	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	春	中 川 亜 希	2			
	160580	HST250	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	春	藤 崎 衛	2			
	160580	HST250	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	春	坂 野 正 則	2			
	160580	HST250	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	春	井 上 茂 子	2			
講読演習	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	秋	北 條 勝 貴	2			
	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	秋	中 澤 克 昭	2			
	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	秋	川 村 信 三	2			
	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	秋	長 田 彰 文	2			
	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	春	山 内 弘 一	2			
	160950	HST251	史料講読演習(アジア・日本史系)	2	秋	笹 川 裕 史	2			
	160960	HST252	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	秋	中 川 亜 希	2			
	160960	HST252	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	秋	藤 崎 衛	2			
	160960	HST252	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	秋	坂 野 正 則	2			
	160960	HST252	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ系)	2	秋	井 上 茂 子	2			

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選択必修科目	演習	170000	HST425	アジア・日本史系演習A I	2	春	北 條 勝 貴	3・4		
		170001	HST426	アジア・日本史系演習A II	2	秋	北 條 勝 貴	3・4		
		170010	HST427	アジア・日本史系演習B I	2	春	中 澤 克 昭	3・4		
		170011	HST428	アジア・日本史系演習B II	2	秋	中 澤 克 昭	3・4		
		170020	HST429	アジア・日本史系演習C I	2	春	川 村 信 三	3・4		
		170021	HST430	アジア・日本史系演習C II	2	秋	川 村 信 三	3・4		
		170030	HST431	アジア・日本史系演習D I	2	春	長 田 彰 文	3・4		
		170031	HST432	アジア・日本史系演習D II	2	秋	長 田 彰 文	3・4		
		170040	HST433	アジア・日本史系演習E I	2	春	山 内 弘 一	3・4		
		170041	HST434	アジア・日本史系演習E II	2	秋	山 内 弘 一	3・4		
		170050	HST435	アジア・日本史系演習F I	2	春	笹 川 裕 史	3・4		
		170051	HST436	アジア・日本史系演習F II	2	秋	笹 川 裕 史	3・4		
		170100	HST437	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A I	2	春	中 川 亜 希	3・4		
		170101	HST438	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A II	2	秋	中 川 亜 希	3・4		
		170110	HST439	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B I	2	春	藤 崎 衛	3・4		
		170111	HST440	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B II	2	秋	藤 崎 衛	3・4		
		170120	HST441	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C I	2	春	坂 野 正 則	3・4		
		170121	HST442	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C II	2	秋	坂 野 正 則	3・4		
	170130	HST443	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D I	2	春	井 上 茂 子	3・4			
	170131	HST444	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D II	2	秋	井 上 茂 子	3・4			
	特講	172206	HST302	古文書学概論	2	春	中 澤 克 昭	2		隔年開講
		172207	HST303	古文書学特論	2	休講		2		隔年開講
		162605	HST304	日本美術史	2	春	西 岡 芳 文	2～4		
		170400	HST328	歴史学特講（日本古代史）	2	休講		2～4		隔年開講
		170410	HST329	歴史学特講（日本中世史）	2	春	中 澤 克 昭	2～4		隔年開講
		170420	HST330	歴史学特講（日本中世政治史）	2	休講		2		隔年開講
		170430	HST343	歴史学特講（日本仏教史）	2	秋	ANDASSOVA Maral	2～4		隔年開講
		170440	HST331	歴史学特講（日欧交渉史）	2	秋	川 村 信 三	2～4		
170460		HST345	歴史学特講（超域史）	2	春	*黒 嶋 敏	2～4			
170470		HST341	歴史学特講（日本近代史）	2	秋	*BURTSCHER Michael	2～4	○		
170480	HST344	歴史学特講（国際関係史）	4	春	長 田 彰 文	2～4		週2コマ開講		
170490	HST332	歴史学特講（東洋考古学）I	2	春	*上 野 祥 史	2～4				
170491	HST333	歴史学特講（東洋考古学）II	2	休講		2～4				
170500	HST334	歴史学特講（朝鮮伝統社会と儒教倫理）	2	休講		2～4				
170510	HST338	歴史学特講（中国近現代社会政治史）	2	秋	笹 川 裕 史	2～4				
165701	HST311	東洋美術史	2	休講		2～4		隔年開講		
170520	HST335	歴史学特講（西洋古代史）	2	秋	中 川 亜 希	2～4	○			
170530	HST336	歴史学特講（西洋中世史）	2	秋	藤 崎 衛		○			
170540	HST339	歴史学特講（フランス史の諸問題）	2	秋	坂 野 正 則	2～4				
170550	HST340	歴史学特講（西洋近世史）	2	秋	*YAMAMOTO-WILSON John	2～4	○			
170560	HST337	歴史学特講（西洋近現代政治社会史）	2	春	井 上 茂 子	2～4				
174004	HST317	西洋美術史	2	春	*金 沢 百 枝	2～4				
BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2						(他) 総合グローバル学科	

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

学科科目（選択科目）・・・38 単位

◎史学科開講科目担当表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	174006	HST104	日本通史	2	秋	*藤本 頼人	1~4		
	174007	HST105	外国史	2	秋	コーディネータ 中澤 克昭	1~4		輪講
	174009	HST107	政治学	2	秋	*青地 イザンペール 真美	1~4		
	174011	HST253	社会学	2	春	*小田切 祐詩	1~4		
	172001	HST234	地理学 I	2	春	*山本 充	1~4		
	172002	HST235	地理学 II	2	秋	*山本 充	1~4		
	174005	HST103	地誌学	2	春	*山本 充	1~4		
	123004	HUM318	日中文化交渉史A	2					文学部横断型人文学プログラム ジャパノロジーコース
	123005	HUM319	日中文化交渉史B	2					文学部横断型人文学プログラム ジャパノロジーコース
	123006	HUM320	キリシタン文化史A	2					文学部横断型人文学プログラム ジャパノロジーコース
	123007	HUM321	キリシタン文化史B	2					文学部横断型人文学プログラム ジャパノロジーコース
	624530	MUS100	博物館学概論	2					(他) 学芸員課程
	624580	MUS102	博物館経営論	2					(他) 学芸員課程
	624550	MUS101	博物館資料論	2					(他) 学芸員課程
	970590	THE210	キリスト教の成立とその時代	2					(他) 神学部
	950930	THE203	キリスト教の歴史 I	2					(他) 神学部
	950931	THE204	キリスト教の歴史 II	2					(他) 神学部
	957606	THE334	聖書考古学	2					(他) 神学部
	121400	PHL233	キリスト教思想史	2					(他) 哲学科
	125701	PHL240	古代哲学史	4					(他) 哲学科
	128301	PHL241	中世哲学史	4					(他) 哲学科
	128110	PHL242	近世哲学史	4					(他) 哲学科
	128005	PHL312	現代哲学	2					(他) 哲学科
	126721	PHL342	人間論 I	2					(他) 哲学科
	126722	PHL343	人間論 II	2					(他) 哲学科
	127206	PHL330	美学 I	2					(他) 哲学科
	127207	PHL331	美学 II	2					(他) 哲学科
	127905	PHL332	芸術学 I	2					(他) 哲学科
	127906	PHL333	芸術学 II	2					(他) 哲学科
	186822	JCS151	日本文化史 I	2					(他) 国文学科
	186821	JCS152	日本文化史 II	2					(他) 国文学科
	220408	GES401	ドイツ文化・思想史1	2					(他) ドイツ文学科
	220409	GES402	ドイツ文化・思想史2	2					(他) ドイツ文学科
	240142	FCL212	現代のフランス	2					(他) フランス文学科
	140411	EDU206	日本教育史 I	2					(他) 教育学科
	140412	EDU216	日本教育史 II	2					(他) 教育学科
	337011	JUR351	西洋法制史	2					(他) 法学部

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501314	FNH301	INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 1	2					(他) 外国語学部, 旧「米国史概説Ⅰ」
	501315	FNH302	INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 2	2					(他) 外国語学部, 旧「米国史概説Ⅱ」
	501367	FNH312	TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2					(他) 外国語学部, 旧「米国特講Ⅰ, Ⅱ」, 「Topics in American History 1, 2」
	539305	FUC331	オーストリア文化史	2					(他) 外国語学部, 旧「オーストリア文化史Ⅰ」, 「同2」
	549412	FUH311	フランス近現代史研究	2					(他) 外国語学部
	549413	FUH312	フランス語圏の歴史研究	2					(他) 外国語学部
	690123	FUH361	西概史	2					(他) 外国語学部
	690124	FIH211	西米概史	2					(他) 外国語学部
	557027	FUH321	西史特講A	2					(他) 外国語学部
	557028	FUH322	西史特講B	2					(他) 外国語学部
	558880	FUC351	西美術史概論	2					(他) 外国語学部 旧「西・西米美術史A-1」 「西・西米美術史A-2」 「西・西米美術史B-1」 「西・西米美術史B-2」 「西美術史A-1」 「西美術史A-2」 「西美術史B-1」 「西美術史B-2」
	558890	FUC355	西美術史特論	2					(他) 外国語学部
	690144	FIH221	ブラジル史	2					(他) 外国語学部, 旧「ポルトガル語圏の歴史C」
	BGS52500	GIP306	国際政治史1	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS52501	GIP307	国際政治史2	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54500	GAA300	東南アジア考古学	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54700	GAA302	東南アジア史 (近現代) 1	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54701	GAA303	東南アジア史 (近現代) 2	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS55000	GAA306	東南アジア文化論A	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS55001	GAA307	東南アジア文化論B	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS56000	GAM300	中東イスラーム史 (前近代)	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS56100	GAM301	中東政治史	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS58300	GAM318	現代中東社会論	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS55600	GAA314	アジア文化遺産研究	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS57506	GAA400	特講 (文化財保存と国際協力)	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS56700	GAM307	イスラームとジェンダー	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS57507	GAA401	特講 (現代アジア社会)	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54600	GAA301	東南アジア史 (前近代)	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS55400	GAA312	南アジア史	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS57100	GAM311	アフリカ史	2					(他) 総合グローバル学科
	HST302	HST302	史学方法論Ⅰ	4					(他) 国際教養学部
	HST303	HST303	史学方法論Ⅱ	4					(他) 国際教養学部
	HST463	HST463	アジア史演習	4					(他) 国際教養学部
	HST471	HST471	外交史演習	4					(他) 国際教養学部
	ART461	ART461	美術史演習Ⅰ	4					(他) 国際教養学部
	RPH303	RPH303	西洋哲学史Ⅱ	4					(他) 国際教養学部
	HST251	HST251	日本文化史Ⅰ	4					(他) 国際教養学部
	HST252	HST252	日本文化史Ⅱ	4					(他) 国際教養学部
	HST261	HST261	中国史	4					(他) 国際教養学部
	854825	ENG250	HISTORY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター※
854827	ENG250	HISTORY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター※	
854826	ENG260	HISTORY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター※	
854828	ENG260	HISTORY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター※	
854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター※	
854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター※	

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					(他)言語教育研究センター※
	854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2					(他)言語教育研究センター※
	850264	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					(他)言語教育研究センター※
	850266	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					(他)言語教育研究センター※
	850265	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					(他)言語教育研究センター※
	850267	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					(他)言語教育研究センター※
	850260	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					(他)言語教育研究センター※
	850262	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					(他)言語教育研究センター※
	850261	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					(他)言語教育研究センター※
	850263	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					(他)言語教育研究センター※
	854872	ENG250	JAPANOLGY (HISTORY) A	2					(他)言語教育研究センター※
	854873	ENG250	JAPANOLGY (HISTORY) B	2					(他)言語教育研究センター※
	854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2					(他)言語教育研究センター※
	854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	2					(他)言語教育研究センター※
	854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	2					(他)言語教育研究センター※
	850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1					(他)言語教育研究センター※
	850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1					(他)言語教育研究センター※
	854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1					(他)言語教育研究センター※
854877	ENG260	ACADEMIC LISTENING	1					(他)言語教育研究センター※	

選択科目については、備考欄にある各科目の開講学科記載の「履修上の注意」をよく読むこと。

※英語選択科目については、14年次生以降の学生を対象とする。

◎その他

<14年次生以降>

履修度	科目コード	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目		他学部他学科開講科目(語学科目を除く) ・課程科目(実習を除く) ・文学部横断型人文学プログラム(「プロジェクト・ゼミ」を除く)			各開講科目担当表および「文学部横断型人文学プログラム」p.28~を参照			20単位まで選択科目に算入可
		語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目			要覧〔共通編〕p.162(語学科目のページ)参照			同一の言語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として算入可

<13年次生以前>

履修度	科目コード	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目		他学部他学科科目 ・課程科目(実習を除く) ・文学部横断型人文学プログラム(「プロジェクト・ゼミ」を除く) ・学科科目としての外国語(必修・選択必修で履修した以外の同一外国語4単位)			各開講科目担当表および「文学部横断型人文学プログラム」p.28~を参照			24単位まで選択科目に算入可

国文学科

〔教育研究上の目的〕

日本文化研究の中核を担う学科として、国文学・国語学・漢文学の有機的連関のもと、古典学を教育・研究の基盤にすえ、読解力・思考力・表現力を鍛えながら、人間・社会・文化の本質を問う学識と見識を養うこと

〔人材養成の目的〕

専門性と学際性を兼ね備えた多角的な思考方法の養成を重視し、教育・研究の世界をはじめ、国際化のなかで貢献しうる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、原典資料を精密に解読する力を持ち、そこから得られた確実な論拠に基づいて、独自の見解を説得力のある形で公表することができることを目指し、どのような時代・分野を専攻する者でも、国文学（日本文学）・国語学（日本語学）・漢文学の三分野を偏りなく学びます。学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めており、卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 江戸期以前の原典資料が正確に解読できる技術を身につけ、そのために必要な、背景の文学史・国語史の知識を活用する能力
2. 江戸期以降の板本や、近代・現代の多種のメディアを理解し、それらに依存した各時代の言語表現についての、的確な判断力
3. 上代から現代に至る各時代の言語作品の歴史とそれぞれの特質を、原典資料に基づいて理解し、諸学説の得失を根拠を以て論じる能力
4. 各時代の日本語の音韻・文法特徴を、具体的な言語作品に基づいて調査する方法を修得し、その調査に基づき独自の見解を発表する能力
5. 漢文訓読の技術を身につけ、漢文訓読の歴史を把握した上で、漢文表現が日本語にもたらした精華を理解して、文語文・漢文を味読する能力
6. 上記の知見と判断力・表現力の醸成の上に、卒業論文を執筆し、客観的で着実な原典解読に基づいて、独自の見解を主体的に主張し、しかもそれが独善に陥らないような対話性・協働性

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、国文学（日本文学）・国語学（日本語学）・漢文学の三分野を偏りなく学ぶことにより、日本の言語文化の精髓に達し得るように、原典資料の精密な読解を重視し、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 江戸期以前の原典資料が正確に解読できるような導入・指導を行ない、併せて、そのために必要な背景の文学史・国語史の知識を与える。
2. 江戸期以降の板本や、近代・現代の多種のメディアについての指導を行ない、各時代の言語表現との相関について、的確な判断力を養う。
3. 上代から現代に至る各時代の言語作品の歴史とそれぞれの特質を、原典資料に基づいて理解させ、主要な学説・論争について、根拠を以て論じ得る力を養う。
4. 各時代の日本語の音韻・文法特徴を、具体的な言語作品に基づいて調査する方法を修得させ、その調査に基づき独自の見解が発表できるように指導する。
5. 漢文訓読の技術を身につけさせ、漢文訓読の歴史について指導した上で、漢文表現が日本語にもたらした精華を紹介して、文語文・漢文を味読させる。
6. 上記の知見と判断力・表現力の醸成の上に、卒業論文を課し、客観的で着実な原典解読に基づいて独自の見解を主体的に主張させ、それが独善に陥らないための対話性・協働性を、論文指導の過程で養う。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

ッ

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

15年次生以降

全学共通科目	26単位	}	必修	2単位	[体育2単位]
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
			選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
			必修	4単位	
語学科目	4単位				
学科科目	94単位				
合計	124単位				学科専門科目(必修28単位，選択必修34単位，選択32単位)

14年次生

全学共通科目	26単位	}	必修	2単位	[体育2単位]
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
			選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
			必修	4単位	
語学科目	4単位				
学科科目	100単位				
合計	130単位				学科専門科目(必修46単位，選択必修30単位，選択24単位)

12～13年次生

全学共通科目	30単位	}	必修	10単位	{	体育	2単位
						外国語科目	8単位
			選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
			選択	16単位			
学科科目	100単位						
合計	130単位						(必修46単位，選択必修30単位，選択24単位)

2. 標準配当表

15年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科学科目で全学共通として認められる科目(学全科目)は4単位まで全学共通科目の選択科目に充当できる。 ※語学科目は8単位まで全学共通科目の選択科目に充当できる。						高学年向け教養科目

(注) 語学の履修方法については、要覧〔共通編〕p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次					
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
学科学科目 (94単位)	必修 (28単位)	古典文学基礎	2		研究法	2	卒業論文Ⅰ(注1) 卒業論文Ⅱ(注2)	1 3				
		近代文学基礎	2									
		国語学基礎	2									
		漢文学基礎	2									
		古典文学概説	2									
		近代文学概説	2									
		国語学概説	2									
		漢文学概説	2									
	選択必修 (34単位)	近代文学史		2	内 4 2 科目 単位							
		国語史概説		2								
		漢文学史		2								
		古典文学史A 古典文学史B 古典文学史C 古典文学史D	}	(注3)					卒業論文を国文学の分野で作成する場合		古典文学・近代文学特講科目, 古典文学講読(注4)	6
									他に国語学および漢文学より各4単位以上(注6)		12	
卒業論文を国語学の分野で作成する場合					国語学特講科目, 国語学講読	6						
他に国文学および漢文学より各4単位以上(注6)					12							
卒業論文を漢文学の分野で作成する場合			漢文学特講科目, 漢文学講読	6								
			漢文学演習科目	12								
			他に国文学および国語学より各4単位以上(注6)	12								
選択 (32単位)			①学科開講科目(基礎科目・文学史・概説科目・研究法, 及び同内容の科目の重複履修は認められない), ②課程科目(実習を除く), ③他学部他学科の「学科学科目」(外国語科目を除く), ④指定の英語選択科目で充当することができる。ただし, ②と③と④で充当できるのは18単位までである。		32							

(注1) 卒業論文Ⅰの評価・成績はP(合格)・X(不合格)により判定される。

(注2) 卒業論文Ⅱは, 卒業論文Ⅰを修得していなければ, 履修することはできない(同時履修は認められない)。

(注3) 古典文学史A B C Dについては, 教職希望者は4科目すべての履修が望ましい。

(注4) 古典文学講読・国語学講読・漢文学講読については, それぞれ2単位までしか卒業に必要な単位として認められない。

(注5) 近代文学の分野で作成する場合は, 古典文学演習4単位以上を含むこと。

(注6) 演習4単位以上を含むこと。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで全学共通の選択科目に充当できる。 ※語学科目は8単位まで全学共通の選択科目に充当できる。						
					高学年向け教養科目			2

(注) 語学科目の履修方法については、要覧〔共通編〕p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (100単位)	必修 (46単位)	古典文学基礎Ⅰ	2	国文学概説Ⅰ	2	研究法(1)	2	卒業論文Ⅰ(注1)	1
		古典文学基礎Ⅱ	2	国文学概説Ⅱ	2	研究法(2)	2	卒業論文Ⅱ(注2)	5
		近代文学基礎Ⅰ	2	国語学概説Ⅰ	2				
		近代文学基礎Ⅱ	2	国語学概説Ⅱ	2				
		国語学基礎Ⅰ	2	漢文学概説Ⅰ	2				
		国語学基礎Ⅱ	2	漢文学概説Ⅱ	2				
		漢文学基礎Ⅰ	2						
		漢文学基礎Ⅱ	2						
	国文学史A			2					
	国文学史B			2					
国文学史C			2						
国文学史D			2						
選択必修 (30単位)			卒業論文を国文学の分野で作成する場合	6	古典文学・近代文学特講科目 古典文学・近代文学演習科目(注3) 他に国語学および漢文学より各4単位以上(注4)	12 12			
			卒業論文を国語学の分野で作成する場合	6	国語学特講科目、国語史概説Ⅰ・Ⅱ 国語学演習科目	12			
			卒業論文を漢文学の分野で作成する場合	6	他に国文学および漢文学より各4単位以上(注4)	12			
				6	漢文学特講科目 漢文学演習科目 他に国文学および国語学より各4単位以上(注4)	12 12			
選択 (24単位)			①本学科開講科目(基礎科目・国文学史・概説科目・研究法、及び同内容の科目の重複履修は認められない)、 ②課程科目(実習を除く)、③他学部他学科の「学科科目」(語学科目を除く)、④指定の英語選択科目で充当することができる。ただし、②と③と④で充当できるのは18単位までである。					24	

(注1) 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」に分割された。

卒業論文Ⅰの評価・成績はP(合格)・X(不合格)により判定される。

(注2) 卒業論文Ⅱは、卒業論文Ⅰを修得していなければ、履修することはできない(同時履修は認められない)。

(注3) 近代文学の分野で作成する場合は、古典文学演習4単位以上を含むこと。

(注4) 演習4単位以上を含むこと。

12～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	外国語	4	外国語(1年次に履修した外国語と同一の外国語)	4			

(注) 外国語科目については要覧〔共通編〕p.236を確認すること。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (100単位)	必修 (46単位)	古典文学基礎 I	2	国文学概説 I	2	研究法 (1)	2	卒業論文 I (注4)	1
		古典文学基礎 II (注1)	2	国文学概説 II	2	研究法 (2)	2	卒業論文 II (注5)	5
		近代文学基礎 I	2	国語学概説 I	2				
		近代文学基礎 II	2	国語学概説 II	2				
		国語学基礎 I	2	漢文学概説 I	2				
		国語学基礎 II	2	漢文学概説 II	2				
		漢文学基礎 I	2						
		漢文学基礎 II	2						
	国文学史A			2					
	国文学史B			2					
	国文学史C			2					
	国文学史D			2					
	選択必修 (30単位)		卒業論文を国文学の分野で作成する場合	卒業論文を国文学の分野で作成する場合	古典文学・近代文学特講科目 古典文学・近代文学演習科目 (注2) 他に国語学および漢文学より各4単位以上 (注3)	6 12 12			
		卒業論文を国語学の分野で作成する場合	卒業論文を国語学の分野で作成する場合	国語学特講科目, 国語史概説 I・II 国語学演習科目 他に国文学および漢文学より各4単位以上 (注3)	6 12 12				
		卒業論文を漢文学の分野で作成する場合	卒業論文を漢文学の分野で作成する場合	漢文学特講科目 漢文学演習科目 他に国文学および国語学より各4単位以上 (注3)	6 12 12				
選択 (24単位)				①本学科開講科目(基礎科目・国文学史・概説科目・研究法,及び同内容の科目の重複履修は認められない), ②課程科目(実習を除く),③他学部他学科の「学科科目」(外国語科目を除く)で充当することができる。 ただし,②と③で充当できるのは18単位までである。外国語は同一言語を6単位以上修得した場合のみ,6単位を卒業単位の充当できる(②と③の18単位に含まれる)。	24				

(注1) 古典文学基礎 IIは, 古典文学基礎 Iを修得していなければ, 履修することはできない。

(注2) 近代文学の分野で作成する場合は, 古典文学演習 4単位以上を含むこと。

(注3) 演習各分野 2単位合計 4単位以上を含むこと。

(注4) 「卒業論文」は, 2015年度に「卒業論文 I」, 「卒業論文 II」に分割された。卒業論文 Iの評価・成績はP(合格)・X(不合格)により判定される。

(注5) 卒業論文 IIは, 卒業論文 Iを修得していなければ, 履修することはできない(同時履修は認められない)。

3. 履修上の注意

12～13年次生

① 学科科目について

- (1) 必修科目は、「標準配当表」により履修することを原則とする。
- (2) 選択必修科目は「標準配当表」に所要単位数が記されている。所要単位以上に履修した場合は、選択科目として認められる。
- (3) 特講・演習科目については、重複履修を認め、所定の単位に充当する（ただし同内容のものは除く）。
- (4) 演習科目の受講者数は、原則として30人以内とする。登録方法については、在校生ガイダンスの指示に従うこと。
- (5) 他学部・他学科の学科科目〔国文学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習以外の課程科目（科目コード620000番台）を含む。〕は、18単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。

② 外国語科目について

- (1) 全学共通科目としての外国語については、英語8単位の履修を標準とする。なお、英語以外の同一外国語を卒業単位に充当したい者は学科長に相談すること。また、履修上の注意については要覧〔共通編〕p.236～を参照のこと。
- (2) 学科科目としての外国語については、全学共通科目で選択した以外の同一外国語を6単位以上修得した場合のみ、6単位を選択科目として卒業単位に充当することができる。なお、履修上の注意については要覧〔共通編〕p.236～を参照のこと。

14年次生以降

① 学科科目について

- (1) 必修科目は、「標準配当表」により履修することを原則とする。
- (2) 選択必修科目は「標準配当表」に所要単位数が記されている。所要単位以上に履修した場合は、選択科目として認められる。
- (3) 特講・演習科目については、重複履修を認め、所定の単位に充当する（ただし同内容のものは除く）。
- (4) 演習科目の受講者数は、原則として30人以内とする。登録方法については、在校生ガイダンスの指示に従うこと。
- (5) 他学部・他学科の学科科目〔国文学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習以外の課程科目（科目コード620000番台）を含む。〕および指定の英語選択科目は、18単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。

② 語学科目について

履修上の注意については要覧〔共通編〕p.162を参照のこと。

共通

① カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は、同一科目とみなす。重複履修については、基礎科目・概説科目を除く。また、同内容の科目の重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目
181200 卒業論文	181201 卒業論文 I 181203 卒業論文 II
181602 近代文学基礎Ⅱ	183772 近代文学特講 I a

*近代文学基礎Ⅱの読み替え科目として近代文学特講 I a を履修する場合は、履修登録時に学科長と相談の上履修登録をすること。

【合併科目一覧表】

2014年次生以前カリキュラム開講科目	2015年次生以降カリキュラム開講科目
181404 古典文学基礎 I	181406 古典文学基礎
181405 古典文学基礎 II	181407 古典文学講読
181502 近代文学基礎 I	181503 近代文学基礎
181701 国語学基礎 I	181702 国語学基礎
181801 国語学基礎 II	181802 国語学講読
181902 漢文学基礎 I	181904 漢文学基礎
181903 漢文学基礎 II	181905 漢文学講読
180225 国文学史 A	180230 古典文学史 A
180226 国文学史 B	180231 古典文学史 B
180227 国文学史 C	180232 古典文学史 C
180228 国文学史 D	180240 近代文学史
180410 国文学概説 I	180106 古典文学概説
180411 国文学概説 II	180206 近代文学概説
180310 国語学概説 I	180312 国語学概説
180311 国語学概説 II	180313 国語史概説
180800 漢文学概説 I	180802 漢文学概説
180801 漢文学概説 II	180803 漢文学史
182002 研究法 (1)	180224 研究法

② 卒業論文について

- (1) 卒業論文を提出する者は、原則としてその前年度までに基礎科目、概説科目、文学史、研究法を履修しなければならない。
- (2) 卒業論文は、最終学年において他の科目と同様に登録しなければならない。また、春学期は所定の時限に行う各指導教員の論文指導に毎週出席しなければならない。なお、11月末までに提出予定の卒業論文の題目を提出すること。
- (3) 装丁について
 - ア 規格 B5判縦書（ワープロ使用の上、プリントアウト）
* 上記以外の規格に従って提出する必要があると認められた者については、指導教員の許可を得て可とする。
 - イ 綴じ方 特に製本の必要はないが、黒表紙で綴じること。
 - ウ 梗概（800字以内）を添付すること。
- (4) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間 Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
 - イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
 - ウ 時間 Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
 - エ 部数 2部
- (5) 「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
- (6) 「卒業論文Ⅰ」を春学期、「卒業論文Ⅱ」を秋学期の原則通りに履修しない場合は、履修登録前に学科長に相談すること。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新
聞

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (1) 春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。
- (2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

④ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧〔共通編〕p.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
GRP	GRADUATION PROJECT	研究法, 卒業論文
JCL	JAPANESE CLASSIC LITERATURE	古典文学
JCS	JAPANESE CULTURAL STUDIES	文化史
JKS	JAPANESE KANBUN STUDIES	漢文学
JML	JAPANESE MODERN LITERATURE	近代文学
JPL	JAPANESE LINGUISTICS	国語学
JPC	JAPANESE CALLIGRAPHY	書道
TEM	TEACHING METHODS	教職: 教科教育法

⑤ 文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること。

4. 開講科目担当表

15年次生以降

学科科目（必修科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	181406	JCL111	古典文学基礎	2	春	本 廣 陽 子	1		
	181503	JML111	近代文学基礎	2	春	木 村 洋	1		
	181702	JPL111	国語学基礎	2	春	服 部 隆	1		
	181904	JKS111	漢文学基礎	2	春	長 尾 直 茂	1		
	180240	JML151	近代文学史	2	秋	木 村 洋	1・2		
	180106	JCL211	古典文学概説	2	春	瀬 間 正 之	1		
	180206	JML211	近代文学概説	2	秋	木 村 洋	1		
	180312	JPL211	国語学概説	2	春	豊 島 正 之	1		
	180313	JPL221	国語史概説	2	秋	服 部 隆	1・2		
	180802	JKS211	漢文学概説	2	秋	長 尾 直 茂	1		
	180803	JKS221	漢文学史	2	春	長 尾 直 茂	1・2		
	182004	GRP311	研究法	2	春	コーディネータ 豊 島 正 之 本 廣 陽 子	3		輪講
	181201	GRP401	卒業論文Ⅰ	1	春	国文学科教員	4		春の履修を原則とする
181202	GRP402	卒業論文Ⅱ	3	秋	国文学科教員	4		秋の履修を原則とする	

学科科目（選択必修科目）・・・34単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	180230	JCL151	古典文学史A	2	秋	瀬 間 正 之	1・2		
	180231	JCL152	古典文学史B	2	秋	本 廣 陽 子	1・2		
	180232	JCL153	古典文学史C	2	春	西 澤 美 仁	1・2		
	180233	JCL154	古典文学史D	2	秋	*未 定	1・2		
	181407	JCL251	古典文学講読	2	秋	本 廣 陽 子	2～4		
	181802	JPL251	国語学講読	2	秋	豊 島 正 之	2～4		
	181905	JKS251	漢文学講読	2	春	*楊 昆 鵬	2～4		
	183760	JCL301	古典文学特講Ⅰa	2	春	瀬 間 正 之	2～4		
	183761	JCL302	古典文学特講Ⅰb	2	秋	瀬 間 正 之	2～4		
	183762	JCL303	古典文学特講Ⅱa	2	春	本 廣 陽 子	2～4		
	183763	JCL304	古典文学特講Ⅱb	2	秋	本 廣 陽 子	2～4		
	183764	JCL305	古典文学特講Ⅲa	2	春	西 澤 美 仁	2～4		
	183765	JCL306	古典文学特講Ⅲb	2	秋	西 澤 美 仁	2～4		
	183766	JCL307	古典文学特講Ⅳa	2	休講		2～4		
	183767	JCL308	古典文学特講Ⅳb	2	休講		2～4		
	183770	JML301	近代文学特講Ⅰa	2	春	小 林 幸 夫	2～4		
	183771	JML302	近代文学特講Ⅰb	2	秋	小 林 幸 夫	2～4		
	183772	JML303	近代文学特講Ⅱa	2	春	木 村 洋	2～4		
	183773	JML304	近代文学特講Ⅱb	2	秋	木 村 洋	2～4		
	187827	JPL301	国語学特講Ⅰa	2	春	服 部 隆	2～4		
	187828	JPL302	国語学特講Ⅰb	2	秋	服 部 隆	2～4		
	187829	JPL303	国語学特講Ⅱa	2	春	豊 島 正 之	2～4		
	187830	JPL304	国語学特講Ⅱb	2	秋	豊 島 正 之	2～4		
	187831	JPL305	国語学特講Ⅲa	2	春	*山 本 真 吾	2～4		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	187832	JPL306	国語学特講Ⅲb	2	休講		2～4		
	189003	JKS301	漢文学特講Ⅰa	2	春	*合山 林太郎	2～4		
	189004	JKS302	漢文学特講Ⅰb	2	秋	長尾 直茂	2～4		
	189005	JKS303	漢文学特講Ⅱa	2	休講		2～4		
	189006	JKS304	漢文学特講Ⅱb	2	休講		2～4		
	183201	JCL401	古典文学演習Ⅰa	2	春	瀬間 正之	2～4		[30名]
	183202	JCL402	古典文学演習Ⅰb	2	秋	瀬間 正之	2～4		[30名]
	183203	JCL403	古典文学演習Ⅱa	2	春	本廣 陽子	2～4		[30名]
	183204	JCL404	古典文学演習Ⅱb	2	秋	本廣 陽子	2～4		[30名]
	183205	JCL405	古典文学演習Ⅲa	2	春	西澤 美仁	2～4		[30名]
	183206	JCL406	古典文学演習Ⅲb	2	秋	西澤 美仁	2～4		[30名]
	183207	JCL407	古典文学演習Ⅳa	2	春	*津田 眞弓	2～4		[30名]
	183208	JCL408	古典文学演習Ⅳb	2	秋	*津田 眞弓	2～4		[30名]
	183209	JCL409	古典文学演習Ⅴa	2	休講		2～4		[30名]
	183210	JCL410	古典文学演習Ⅴb	2	休講		2～4		[30名]
	183251	JML401	近代文学演習Ⅰa	2	春	小林 幸夫	2～4		[30名]
	183252	JML402	近代文学演習Ⅰb	2	秋	小林 幸夫	2～4		[30名]
	183253	JML403	近代文学演習Ⅱa	2	春	木村 洋	2～4		[30名]
	183254	JML404	近代文学演習Ⅱb	2	秋	木村 洋	2～4		[30名]
	183255	JML405	近代文学演習Ⅲa	2	休講		2～4		[30名]
	183256	JML406	近代文学演習Ⅲb	2	休講		2～4		[30名]
	183301	JPL401	国語学演習Ⅰa	2	春	服部 隆	2～4		[30名]
	183302	JPL402	国語学演習Ⅰb	2	秋	服部 隆	2～4		[30名]
	183303	JPL403	国語学演習Ⅱa	2	春	豊島 正之	2～4		[30名]
	183304	JPL404	国語学演習Ⅱb	2	秋	豊島 正之	2～4		[30名]
	183305	JPL405	国語学演習Ⅲa	2	休講		2～4		[30名]
	183306	JPL406	国語学演習Ⅲb	2	休講		2～4		[30名]
	183351	JKS401	漢文学演習Ⅰa	2	春	長尾 直茂	2～4		[30名]
	183352	JKS402	漢文学演習Ⅰb	2	秋	長尾 直茂	2～4		[30名]
	183353	JKS403	漢文学演習Ⅱa	2	休講		2～4		[30名]
	183354	JKS404	漢文学演習Ⅱb	2	秋	*合山 林太郎	2～4		[30名]

学科科目（選択科目）・・・32単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科選択科目	186822	JCS151	日本文化史Ⅰ	2	秋	*SCHWEMMER Patrick	1～4	○	
		186821	JCS152	日本文化史Ⅱ	2	休講		1～4	○	
		188107	JPC161	書道Ⅰa	1	春	*永由 徳夫	1～4		[40名]
		188108	JPC162	書道Ⅰb	1	秋	*永由 徳夫	1～4		[40名]
		188208	JPC163	書道Ⅱa	1	春	*永由 徳夫	1～4		[40名]
		188209	JPC164	書道Ⅱb	1	秋	*永由 徳夫	1～4		[40名]
		187519	TEM301	国語科教育法Ⅰ	2	春	*佐野 摩美	3		
		187520	TEM302	国語科教育法Ⅱ	2	秋	*稲井 達也	3		
		187521	TEM303	国語科教育法Ⅲ	2	春	*比留間 健一	3・4		
		187522	TEM304	国語科教育法Ⅳ	2	秋	*上野 美穂子	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選択科目	他学科開講科目	123004	HUM318	日中文化交渉史A	2				文学部横断型人文学プログラム
		123005	HUM319	日中文化交渉史B	2				文学部横断型人文学プログラム
		123006	HUM320	キリシタン文化史A	2				文学部横断型人文学プログラム
		123007	HUM321	キリシタン文化史B	2				文学部横断型人文学プログラム
		127206	PHL330	美学Ⅰ	2				(他) 哲学科
		127207	PHL331	美学Ⅱ	2				(他) 哲学科
		127905	PHL332	芸術学Ⅰ	2				(他) 哲学科
		127906	PHL333	芸術学Ⅱ	2				(他) 哲学科
		129001	PHL378	仏教思想	2				(他) 哲学科
		162605	HST304	日本美術史	2				(他) 史学科
		165701	HST311	東洋美術史	2				(他) 史学科
		263503	JRN265	出版論Ⅰ	2				(他) 新聞学科
		263504	JRN266	出版論Ⅱ	2				(他) 新聞学科
その他			文学部横断型人文学プログラム	文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること					18単位まで選択科目に算入可
			他学部他学科科目・課程科目 (実習を除く)	各開講科目担当表を参照					
			学科指定の英語選択科目	p.84学科指定の英語選択科目参照			2~4		

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

14年次生以前

学科科目（必修科目）・・・46単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	181404	JCL111	古典文学基礎 I	2	春	本 廣 陽 子	1		(注1)
	181405	JCL121	古典文学基礎 II	2	秋	本 廣 陽 子	1		(注1)
	181502	JML111	近代文学基礎 I	2	春	木 村 洋	1		(注1)
	181701	JPL111	国語学基礎 I	2	春	服 部 隆	1		(注1)
	181801	JPL121	国語学基礎 II	2	秋	豊 島 正 之	1		(注1)
	181902	JKS111	漢文学基礎 I	2	春	長 尾 直 茂	1		(注1)
	181903	JKS121	漢文学基礎 II	2	春	* 楊 昆 鵬	1		(注1)
	180225	JCL151	国文学史A	2	秋	瀬 間 正 之	1・2		(注1)
	180226	JCL152	国文学史B	2	秋	本 廣 陽 子	1・2		(注1)
	180227	JCL153	国文学史C	2	春	西 澤 美 仁	1・2		(注1)
	180228	JML151	国文学史D	2	秋	木 村 洋	1・2		(注1)
	180410	JCL211	国文学概説 I	2	春	瀬 間 正 之	2		(注1)
	180411	JCL221	国文学概説 II	2	秋	木 村 洋	2		(注1)
	180310	JPL211	国語学概説 I	2	春	豊 島 正 之	2		(注1)
	180311	JPL221	国語学概説 II	2	秋	服 部 隆	2		(注1)
	180800	JKS211	漢文学概説 I	2	秋	長 尾 直 茂	2		(注1)
	180801	JKS221	漢文学概説 II	2	春	長 尾 直 茂	2		(注1)
	182002	GRP311	研究法 (1)	2	春	コーディネータ 豊 島 正 之 本 廣 陽 子	3		輪講 (注1)
	182003	GRP321	研究法 (2)	2	秋	国文学科教員	3		
	181201	GRP401	卒業論文 I	1	春	国文学科教員	4		旧「卒業論文」 Iは春の履修を原則とする
181203	GRP403	卒業論文 II	5	秋	国文学科教員	4		IIは秋の履修を原則とする	

学科科目（選択必修科目）・・・30単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	183760	JCL301	古典文学特講 I a	2	春	瀬 間 正 之	2~4		
	183761	JCL302	古典文学特講 I b	2	秋	瀬 間 正 之	2~4		
	183762	JCL303	古典文学特講 II a	2	春	本 廣 陽 子	2~4		
	183763	JCL304	古典文学特講 II b	2	秋	本 廣 陽 子	2~4		
	183764	JCL305	古典文学特講 III a	2	春	西 澤 美 仁	2~4		
	183765	JCL306	古典文学特講 III b	2	秋	西 澤 美 仁	2~4		
	183766	JCL307	古典文学特講 IV a	2	休講		2~4		
	183767	JCL308	古典文学特講 IV b	2	休講		2~4		
	183770	JML301	近代文学特講 I a	2	春	小 林 幸 夫	2~4		
	183771	JML302	近代文学特講 I b	2	秋	小 林 幸 夫	2~4		
	183772	JML303	近代文学特講 II a	2	春	木 村 洋	2~4		
	183773	JML304	近代文学特講 II b	2	秋	木 村 洋	2~4		
	187827	JPL301	国語学特講 I a	2	春	服 部 隆	2~4		
	187828	JPL302	国語学特講 I b	2	秋	服 部 隆	2~4		
	187829	JPL303	国語学特講 II a	2	春	豊 島 正 之	2~4		
	187830	JPL304	国語学特講 II b	2	秋	豊 島 正 之	2~4		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	187831	JPL305	国語学特講Ⅲa	2	春	*山本真吾	2~4		
	187832	JPL306	国語学特講Ⅲb	2	休講		2~4		
	189003	JKS301	漢文学特講Ⅰa	2	春	*合山林太郎	2~4		
	189004	JKS302	漢文学特講Ⅰb	2	秋	長尾直茂	2~4		
	189005	JKS303	漢文学特講Ⅱa	2	休講		2~4		
	189006	JKS304	漢文学特講Ⅱb	2	休講		2~4		
	183201	JCL401	古典文学演習Ⅰa	2	春	瀬間正之	2~4		[30名]
	183202	JCL402	古典文学演習Ⅰb	2	秋	瀬間正之	2~4		[30名]
	183203	JCL403	古典文学演習Ⅱa	2	春	本廣陽子	2~4		[30名]
	183204	JCL404	古典文学演習Ⅱb	2	秋	本廣陽子	2~4		[30名]
	183205	JCL405	古典文学演習Ⅲa	2	春	西澤美仁	2~4		[30名]
	183206	JCL406	古典文学演習Ⅲb	2	秋	西澤美仁	2~4		[30名]
	183207	JCL407	古典文学演習Ⅳa	2	春	*津田真弓	2~4		[30名]
	183208	JCL408	古典文学演習Ⅳb	2	秋	*津田真弓	2~4		[30名]
	183209	JCL409	古典文学演習Ⅴa	2	休講		2~4		[30名]
	183210	JCL410	古典文学演習Ⅴb	2	休講		2~4		[30名]
	183251	JML401	近代文学演習Ⅰa	2	春	小林幸夫	2~4		[30名]
	183252	JML402	近代文学演習Ⅰb	2	秋	小林幸夫	2~4		[30名]
	183253	JML403	近代文学演習Ⅱa	2	春	木村洋	2~4		[30名]
	183254	JML404	近代文学演習Ⅱb	2	秋	木村洋	2~4		[30名]
	183255	JML405	近代文学演習Ⅲa	2	休講		2~4		[30名]
	183256	JML406	近代文学演習Ⅲb	2	休講		2~4		[30名]
	183301	JPL401	国語学演習Ⅰa	2	春	服部隆	2~4		[30名]
	183302	JPL402	国語学演習Ⅰb	2	秋	服部隆	2~4		[30名]
	183303	JPL403	国語学演習Ⅱa	2	春	豊島正之	2~4		[30名]
	183304	JPL404	国語学演習Ⅱb	2	秋	豊島正之	2~4		[30名]
	183305	JPL405	国語学演習Ⅲa	2	休講		2~4		[30名]
	183306	JPL406	国語学演習Ⅲb	2	休講		2~4		[30名]
	183351	JKS401	漢文学演習Ⅰa	2	春	長尾直茂	2~4		[30名]
	183352	JKS402	漢文学演習Ⅰb	2	秋	長尾直茂	2~4		[30名]
	183353	JKS403	漢文学演習Ⅱa	2	休講		2~4		[30名]
	183354	JKS404	漢文学演習Ⅱb	2	秋	*合山林太郎	2~4		[30名]

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

学科科目（選択科目）・・・24単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考		
選択科目	学科選択科目	186822	JCS151	日本文化史Ⅰ	2	秋	*SCHWEMMER Patrick	1~4	○		
		186821	JCS152	日本文化史Ⅱ	2	休講		1~4	○		
		188107	JPC161	書道Ⅰa	1	春	*永由徳夫	1~4		[40名]	
		188108	JPC162	書道Ⅰb	1	秋	*永由徳夫	1~4		[40名]	
		188208	JPC163	書道Ⅱa	1	春	*永由徳夫	1~4		[40名]	
		188209	JPC164	書道Ⅱb	1	秋	*永由徳夫	1~4		[40名]	
		187519	TEM301	国語科教育法Ⅰ	2	春	*佐野摩美	3			
		187520	TEM302	国語科教育法Ⅱ	2	秋	*稲井達也	3			
		187521	TEM303	国語科教育法Ⅲ	2	春	*比留間健一	3・4			
		187522	TEM304	国語科教育法Ⅳ	2	秋	*上野美穂子	3・4			
		他学科開講科目	123004	HUM318	日中文化交渉史A	2					文学部横断型人文学プログラム
			123005	HUM319	日中文化交渉史B	2					文学部横断型人文学プログラム

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	他学科開講科目	123006	HUM320	キリシタン文化史A	2				文学部横断型人文学プログラム
		123007	HUM321	キリシタン文化史B	2				文学部横断型人文学プログラム
		127206	PHL330	美学Ⅰ	2				(他) 哲学科
		127207	PHL331	美学Ⅱ	2				(他) 哲学科
		127905	PHL332	芸術学Ⅰ	2				(他) 哲学科
		127906	PHL333	芸術学Ⅱ	2				(他) 哲学科
		129001	PHL378	仏教思想	2				(他) 哲学科
		162605	HST304	日本美術史	2				(他) 史学科
		165701	HST311	東洋美術史	2				(他) 史学科
		263503	JRN265	出版論Ⅰ	2				(他) 新聞学科
263504	JRN266	出版論Ⅱ	2				(他) 新聞学科		
その他			文学部横断型人文学プログラム			「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること			18単位まで選択科目に算入可
			他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)			各開講科目担当表を参照			
			学科指定の英語選択科目			p.84学科指定の英語選択科目参照(注2)	2~4		

(注1) 合併科目一覧表を参照すること。

(注2) 14年次生以降のみ対象

【14年次生以降対象】

学科科目(選択科目)に算入できる英語選択科目

学科指定英語選択科目	854842	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター
	854844	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター
	854843	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター
	854845	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター
	854872	ENG250	JAPANOLOGY(HISTORY) A	2				(他)言語教育研究センター
	854873	ENG250	JAPANOLOGY(HISTORY) B	2				(他)言語教育研究センター
	854870	ENG250	JAPANOLOGY(LITERATURE)A	2				(他)言語教育研究センター
	854871	ENG250	JAPANOLOGY(LITERATURE)B	2				(他)言語教育研究センター
	854880	ENG260	JAPANOLOGY(LITERATURE)A	2				(他)言語教育研究センター
	854881	ENG260	JAPANOLOGY(LITERATURE)B	2				(他)言語教育研究センター

英文学科

〔教育研究上の目的〕

英米の文学、思想、文化の知見を広めるとともに、体系的かつ批判的な視点から問題を見つけ、調査・分析によって得た結果を日英両言語で論理的に伝達する能力を身につけること

〔人材養成の目的〕

言語、文化、思想、歴史、社会の深い理解に基づく見識と高度なコミュニケーション能力を用い、国際社会において現実起こりうる未知の諸問題に対処できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、人間の営為に必然的に付随する意味の多義性、曖昧さを読み解くためのリテラシーを獲得する人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 知的訓練を体系的に積み重ねることによって、社会のさまざまな側面で遭遇する現実的な課題に対し、自らの置かれた立場を見失うことなく対処する能力
2. 文化の多様性、異文化理解といった概念を、社会の表層を上滑りする言説としてではなく、自らの言葉で再構築、再解釈する必要性を認識するために不可欠な読解力、思考力、想像力、表現力
3. 言語芸術に限らず、あらゆる学問にとって必須の言語運用能力が高まり、日本語と英語では現実の表象の仕方が異なることが理解でき、発信・受信の双方向において言語表現の多様性への感受性
4. 言語の有用的側面の先に存在する、学問という知的営為がもたらす豊かさの重要性を実感する能力
5. 日英両語における高水準の言語能力および英語圏の言語、文学、歴史、文化に関する系統的な専門知識を修得し、それを実社会での生活や仕事に活用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、言語の社会的側面と言語芸術としての側面の両者に重点を置くことで、リテラシー獲得のための相乗効果が得られるよう、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 4年間の学修過程のなかで、3つに大別された専門領域コースのいずれかを選択し、それぞれの領域に必要な専門的知識を順を追って体系的に学ぶことにより、系統的な知識の獲得、理解、応用の実現を可能にする。
2. 知識の享受、個々人での読解、学生相互間での議論、他者に向けてのプレゼンテーション、教員との双方向的な意見交換といった多様な知的訓練を織り交ぜることで、理論と実践両面における汎用的な言語表現能力を体得させる。
3. 4年間にわたり、自習も含めた自立的、主体的な学修に裏打ちされたスキル・クラスを通して英語の高度なリテラシーを獲得すると同時に、その学修過程を、日本語という第一言語についての知識と運用能力を意識的に捉え直す契機とする。
4. 英語という他者の言語で書かれた他者の体験についてのテキストを精読することで、言語の意味作用の多義性に意識的になるようにする。
5. 系統的に修得された英語圏の言語、文化、歴史に関する知識の活用として、英語教員や翻訳家などの専門職養成科目を配置する。
6. 修得した専門分野の知識力、言語力、思考力の集大成として、日本語ないし英語で独創的かつ論理的な卒業論文を作成させる。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

16年次生以降

全学共通科目	22単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 (高学年向け教養科目2単位含む) 必修 8単位 学科専門科目 (必修44単位，選択必修20単位，選択30単位)
語学科目	8単位	
学科科目	94単位	
合計	124単位	

15年次生

全学共通科目	22単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 (高学年向け教養科目2単位含む) 必修 8単位 学科専門科目 (必修64単位，選択必修4単位，選択26単位)
語学科目	8単位	
学科科目	94単位	
合計	124単位	

14年次生

全学共通科目	22単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 (高学年向け教養科目2単位含む) 必修 8単位 学科専門科目 (必修38単位，選択必修24単位，選択36単位)
語学科目	8単位	
学科科目	98単位	
合計	128単位	

11・12・13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 (必修38単位，選択必修24単位，選択36単位)
学科科目	98単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

15年次生以降共通

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (8単位)	必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕p.162～を参照。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

16年次生以降

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (44単位)	MORNING ENGLISH 1	2	CRITICAL READING 1	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	CLIL-BASED SEMINAR 1	2
		MORNING ENGLISH 2	2	CRITICAL READING 2	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	CLIL-BASED SEMINAR 2	2
		READING & RESEARCH 1	4	WRITING WORKSHOP 1	2				
		READING & RESEARCH 2	4	WRITING WORKSHOP 2	2				
		DISCUSSION & PRESENTATION 1	4						
		DISCUSSION & PRESENTATION 2	4						
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2					RESEARCH PROJECT 1	2
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2					RESEARCH PROJECT 2	2
		選択必修 (16単位)	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1						2
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2						2
	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3						2		
	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4						2		
	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1						2		
	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2						2		
	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3						2		
	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4						2		
	選択必修 (4単位)					[BRITISH STUDIES] ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2		
						ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2		
						[AMERICAN STUDIES] AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2		
						AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2		
						[LANGUAGE STUDIES] LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2		
						LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2		
						(注2)			
		選択 (30単位)	選択科目						30

(注2) コース制については「履修上の注意」を参照。

15年次生

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	必修 (64単位)	MORNING ENGLISH 1	2	CRITICAL READING 1	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	CLIL-BASED SEMINAR 1	2	
		MORNING ENGLISH 2	2	CRITICAL READING 2	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	CLIL-BASED SEMINAR 2	2	
		READING & RESEARCH 1	4	WRITING WORKSHOP 1	2					
		READING & RESEARCH 2	4	WRITING WORKSHOP 2	2					
		DISCUSSION & PRESENTATION 1	4							
		DISCUSSION & PRESENTATION 2	4							
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2					RESEARCH PROJECT 1	2	
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2					RESEARCH PROJECT 2	2	
				HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1						2
				HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2						2
		HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3						2		
		HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4						2		
		HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1						2		
		HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2						2		
		HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3						2		
		HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4						2		
		HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1						2		
		HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 2						2		
学科科目 (94単位)	選択必修 (4単位)					[BRITISH STUDIES] ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2			
						ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2			
						[AMERICAN STUDIES] AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2			
						AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2			
						[LANGUAGE STUDIES] LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2			
						LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2			
						(注2)				
				選択科目						26

(注2) コース制については「履修上の注意」を参照。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

ッ

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 学科学科で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (8単位)	必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8

○ 学科学科

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科学科 (98単位)	必修 (38単位)	INTENSIVE READING 1	4	INTENSIVE READING 3	2		卒業論文 1(注2)	3
		INTENSIVE READING 2	4	INTENSIVE READING 4	2		卒業論文 2(注2)	3
		SPEAKING 1	4	INTEGRATED SKILLS 1	4			
SPEAKING 2		4	INTEGRATED SKILLS 2	4				
WRITING SKILLS 1		2						
WRITING SKILLS 2		2						
選択必修 (24単位)	基礎科目			16	演習	4	演習	4
選択 (36単位)	選択科目						36	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕p.236～を参照。

(注2) 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文1」「卒業論文2」に分割された。

11・12・13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語以外の同一外国語	4	左記と同じ外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (98単位)	必修 (38単位)	INTENSIVE READING 1 INTENSIVE READING 2 SPEAKING 1 SPEAKING 2 WRITING SKILLS 1 WRITING SKILLS 2	4 4 4 4 2 2	INTENSIVE READING 3 INTENSIVE READING 4 INTEGRATED SKILLS 1 INTEGRATED SKILLS 2	2 2 4 4			卒業論文 1* 卒業論文 2*	3 3
	選択必修 (24単位)	基礎科目		16	演習	4	演習	4	
	選択 (36単位)		選択科目					36	

*「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文 1」「卒業論文 2」に分割された。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

3. 履修上の注意

共通

① 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回することは出来ない。
- (注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

② 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧〔共通編〕p.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
ELT	ENGLISH LITERATURE	英文学
TEM	TEACHING METHODS	教職：教科教育法
ELI	ENGLISH LINGUISTICS	英語学
ECM	ENGLISH COMMUNICATION	英語コミュニケーション
CCU	CROSS-CULTURAL UNDERSTANDING	異文化理解

③ 語学科目（全学共通科目としての外国語科目）について

【14年次生以降：語学科目について】

語学科目については、必修として英語以外の指定された同一言語を8単位履修すること。

異なる言語をあわせて8単位履修しても卒業の要件を満たしたことはない。なお、履修上の注意に関しては、要覧〔共通編〕p.162～を参照のこと。

【13年次生以前：全学共通科目としての外国語科目について】

外国語は英語以外の外国語から初級・中級あわせて8単位履修することが可能なものを選択する。

異なる外国語をあわせて8単位履修しても卒業の要件を満たしたことはない。なお、履修上の注意に関しては、要覧〔共通編〕p.236～を参照のこと。

④ 文学部横断型人文学プログラムについて

2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細は「文学部横断型人文学プログラム」p.28を参照すること。

なお、プロジェクト・ゼミを除くプログラム開講科目は、学科選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。

⑤ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応

(1) カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の「読み替え」は、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目		2015年度以降の開講科目	
200021	WRITING SKILLS 1	200023	WRITING WORKSHOP 1
200022	WRITING SKILLS 2	200024	WRITING WORKSHOP 2
200001	INTENSIVE READING 1	200005	READING & RESEARCH 1
200002	INTENSIVE READING 2	200006	READING & RESEARCH 2
200010	SPEAKING 1	200012	DISCUSSION & PRESENTATION 1
200011	SPEAKING 2	200013	DISCUSSION & PRESENTATION 2
200030	INTENSIVE READING 3	200032	CRITICAL READING 1
200031	INTENSIVE READING 4	200033	CRITICAL READING 2
200040	INTEGRATED SKILLS 1	200043	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1
		200044	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2
200041	INTEGRATED SKILLS 2	213440	CLIL-BASED SEMINAR 1
		213441	CLIL-BASED SEMINAR 2
200700	卒業論文	200701	卒業論文 1
		200702	卒業論文 2

(2) 次の科目については、14年次生以前用と15年次生以降用の科目に分かれている。対応する科目は同一とみなす(合併科目)。

14年次生以前の科目	15年次生以降の科目
英文学史Ⅰ	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1
英文学史Ⅱ	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2
米文学史Ⅰ	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1
米文学史Ⅱ	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2
英文法Ⅰ	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1
英文法Ⅱ	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2
英語史Ⅰ	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1
英語史Ⅱ	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 2
イギリス文学演習Ⅰ	ENGLISH STUDIES SEMINAR 1
イギリス文学演習Ⅱ	ENGLISH STUDIES SEMINAR 2
アメリカ文学演習Ⅰ	AMERICAN STUDIES SEMINAR 1
アメリカ文学演習Ⅱ	AMERICAN STUDIES SEMINAR 2
英語学演習Ⅰ	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1
英語学演習Ⅱ	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2
イギリス文学講義	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1・2 (IN ENGLISH)
アメリカ文学講義	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1・2 (IN ENGLISH)
英語学講義	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 1・2 (IN ENGLISH)
翻訳・言語表現講義	TRANSLATION THEORY 1
翻訳・言語表現講義	TRANSLATION THEORY 2
翻訳・言語表現講義(中級)	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 1
翻訳・言語表現講義(中級)	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 2
翻訳・言語表現講義(上級)	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 3
翻訳・言語表現講義(上級)	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 4
英語科教育法Ⅰ	PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1A
英語科教育法Ⅱ	PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2A
英語科教育法Ⅲ	PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1A
英語科教育法Ⅳ	PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2A
卒業論文 1	RESEARCH PROJECT 1 : Seminar
卒業論文 2	RESEARCH PROJECT 2 : Tutorial

学部
共通

哲

史

国

文
英

文
ド
イ
ツ
ッ

フ
ラ
ン
ス
文

新
聞

⑥ 卒業論文1・2/RESEARCH PROJECT 1・2について

RESEARCH PROJECT 1・2について【15年次生以降】

- a. 学生は3年次の12月にRESEARCH PROJECT 1・2に関するガイダンスを受け、指導にしたがってRESEARCH PROJECT 1・2を履修すること。
- b. RESEARCH PROJECT 2は、RESEARCH PROJECT 1の教員(メンター)との個人面談によって進められる。メンターの指導を受けながらRESEARCH PROJECTの論文を完成させること。なお、RESEARCH PROJECT 2に関しても、他の科目と同様、Loyolaでの履修登録が必要である。
- c. RESEARCH PROJECT 1・2を同時に履修することはできない。なお、長期交換留学プログラムに参加した学生については別途規定を定める。当該学生は交換留学中も学科ホームページ内にある学科掲示板の指示に従うこと。
- d. RESEARCH PROJECT論文形式規則
 - ア 用語
日本語または英語。論文の途中で用語を変更してはならない。
 - イ 枚数
日本語論文は、とびらと目次を除いて25頁程度(注と引証資料は25頁に含まれる)。ワードプロセッサを使用すること(A4サイズの内紙に1行35字、1ページ25行)。英語論文は、7,000~8,000 words程度。日英どちらも上限は定めない。
 - ウ その他
論文の細かい書式等については、英文学科ホームページ上の「卒業論文の手引」に従うこと。必ず学科指定のファイルに綴じて期限内に提出すること。
- e. 提出要領
 - ア 期間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
 - イ 場所 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
 - ウ 時間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
- f. RESEARCH PROJECT 1・2は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止(W)を認める。
- g. RESEARCH PROJECT 1の指導は原則として水曜5限に行く。

卒業論文1・2について【14年次生以前】

- (1) 2015年度より、「卒業論文」は通年科目からSemester制に変更した。学生は3年次の12月に卒業論文ガイダンスを受け、指導にしたがって履修すること。また、他の科目と同様、春学期に卒業論文1を、秋学期に卒業論文2をLoyolaで履修登録しなければならない。3月の在校生ガイダンスでメンターを発表するので、その後はメンターの指導を受けながら作成する。
- (2) 卒業論文1・2を同時に履修することはできない。長期交換留学プログラムに参加した学生については別途規定を定める。当該学生は交換留学中も学科ホームページにある学科内掲示板の指示に従うこと。
- (3) 卒業論文形式規則
 - ア 用語
日本語または英語。論文の途中で用語を変更してはならない。
 - イ 枚数
日本語論文は、とびらと目次を除いて25頁程度(注と引証資料は25頁に含まれる)。ワードプロセッサを使用すること(A4サイズの内紙に1行35字、1ページ25行)。英語論文は、7,000~8,000 words程度。日英どちらも上限は定めない。
 - ウ その他
論文の細かい書式等については、英文学科ホームページ上の「卒業論文の手引」に従うこと。必ず学科指定のファイルに綴じて期限内に提出すること。
- (4) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
 - イ 場所 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
 - ウ 時間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示する。
- (5) 卒業論文は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止(W)を認める。
- (6) 卒業論文1の指導は原則として水曜5限に行く。

15年次生以降

① 学科科目について

I 必修科目

(1) 語学・基礎科目 (Foundation Skills) について

- a. READING & RESEARCH 1・2, CRITICAL READING 1・2, DISCUSSION & PRESENTATION 1・2, WRITING WORKSHOP 1・2およびADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1・2は指定されたクラスに参加すること。
- b. MORNING ENGLISH 2の単位を修得するためには、TOEFLのスコア提出が必要である。毎年12月に学内で行われるTOEFL ITP(Institutional Testing Program)の受験機会を利用するか、個別にTOEFL iBT(Internet-based Testing)受験の手続きを行い、テストの結果を2月1日までに学科に提出すること。スコアの提出がない場合は、MORNING ENGLISH 2の単位の修得ができないので注意すること。

【15年次生】

- c. カリキュラムの改変に伴い、15年次生と16年次生以降では一部科目の履修度が異なっている。
(HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2は15年次生にとって必修科目、16年次生以降にとって選択必修科目)
開講科目担当表は16年次生以降向けの形式にしているが、15年次生は標準配当表に基づいた履修度が適用されるため、必修科目のままである。開講科目担当表を確認する際は注意すること。

(2) 専門・基礎科目について

【16年次生以降】

1年次にSTRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2を履修すること。

【15年次生】

1年次にSTRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2を、2・3・4年次にHISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2を計画的に履修すること。

(3) CLIL-BASED SEMINAR 1・2について

- a. CLIL-BASED SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。詳細は、学科ガイダンスで配布する演習科目についての資料を参照すること。なお、再履修の学生は学科が履修クラスを指定するため、学科に再履修希望届を提出すること。
- b. CLIL-BASED SEMINAR 1とCLIL-BASED SEMINAR 2は、それぞれ異なる教員のものを履修しなければならない。

【16年次生以降】

- c. 16年次生以降の学生は、CLIL-BASED SEMINAR 2の単位を修得するためには、TEAPのスコア提出が必要である。毎年12月に学内で行われるTEAPを受験すること。スコアの提出がない場合は、CLIL-BASED SEMINAR 2の単位修得ができないので、注意すること。

(4) RESEARCH PROJECT 1・2について

- a. 学生は3年次の12月にRESEARCH PROJECT 1・2に関するガイダンスを受け、指導にしたがってRESEARCH PROJECT 1・2を履修する必要がある。詳細は共通ページp.94を参照すること。

II 選択必修科目

(1) 専門・研究科目について

【16年次生以降】

- a. 2・3・4年次にHISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4, HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2の中から適宜計画的に履修すること。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

- b. 2年次の年度途中で、British Studies, American Studies, Language Studiesの3コースの中から専門としたいコースについて学科に希望票を提出すること。提出時期については追って指示する。各学生がどのコースに所属するかについては、3月末の在校生ガイダンスで発表される。
- c. 3年次に、専門とするコースのSeminarを履修すること。
- d. ENGLISH STUDIES SEMINAR 1・2, AMERICAN STUDIES SEMINAR 1・2, LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。なお、再履修の学生は学科が履修クラスを指定するため、学科に再履修希望届を提出すること。
- e. SEMINAR 1とSEMINAR 2は、それぞれ異なる教員のもを履修しなければならない。
- f. 2017年度より、抽選エントリーに当選した科目も履修登録期間中に削除することができるが、SEMINAR およびCLIL-BASED SEMINARについては削除を認めない。
- g. 選択必修科目については、必要単位を超えて履修しても、超過分を選択科目として充当することはできない。

【15年次生以降】

- a. 2年次の年度途中で、British Studies, American Studies, Language Studiesの3コースの中から専門としたいコースについて学科に希望票を提出すること。提出時期については追って指示する。各学生がどのコースに所属するかについては、3月末の在校生ガイダンスで発表される。
- b. 3年次に、専門とするコースのSeminarを履修すること。
- c. ENGLISH STUDIES SEMINAR 1・2, AMERICAN STUDIES SEMINAR 1・2, LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。なお、再履修の学生は学科が履修クラスを指定するため、学科に再履修希望届を提出すること。
- d. SEMINAR 1とSEMINAR 2は、それぞれ異なる教員のもを履修しなければならない。
- e. 2017年度より、抽選エントリーに当選した科目も履修登録期間中に削除することができるが、SEMINAR については削除を認めない。
- f. 選択必修科目については、必要単位を超えて履修しても、超過分を選択科目として充当することはできない。

Ⅲ 選択科目

- (1) 開講科目担当表の履修度の列を参照し、専門とするコースの選択科目を8単位以上履修すること。
- (2) 英語によって行われる講義を4単位以上履修すること。なお、対象はSPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES / SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES / SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIESの末尾にIN ENGLISHと記載された科目のみとなる。
- (3) 他学部・他学科の学科科目（外国語を除き、実習以外の課程科目（科目コード62000番台）を含む）は、文学部横断型人文学プログラムと合わせて、14単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (4) 科目コードが同一コードでも、授業内容が異なっていれば履修することができる。
- (5) 英文学科開講科目中、PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2, PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2, 「教科に関する科目」を除く選択科目については、担当教員、科目名が同じものを繰り返し履修しても、卒業に必要な単位として算入される。ただし、同一科目を繰り返し履修するためには、前年度と内容が異なることを確認し、担当教員の許可を得なければならない。
- (6) PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2, PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2については、TEAPないしTOEFLのスコアによる履修制限がある。教職課程履修者以外の履修は認めない。また、前者を2単位以上修得していない場合は、後者を履修することはできない。修得した単位は、Language Studiesを専門とする学生のみ自学科専門コース選択科目として算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は各コースの選択科目としては算入されないが、英文学科の選択科目としては算入される。
- (7) 学科開講「教科に関する科目」は、Language Studiesを専門コースとする学生のみ、英文学科の専門コース選択科目として卒業単位に充当することができる。その他のコースを専門とし、かつ教職課程を履修している学生が単位取得した場合は他学部他学科科目の扱いとなる。

14年次生以前

① 学科科目について

I 必修科目

- (1) SPEAKING 1・2, WRITING SKILLS 1・2および INTEGRATED SKILLS 1・2は指定されたクラスに参加すること。
- (2) 1年次にSPEAKING 1・2, WRITING SKILLS 1・2のいずれかの単位を修得していない者は、2年次にINTEGRATED SKILLS 1とこれらの科目を同時に履修することができない。また、INTEGRATED SKILLS 1の単位を修得していない者は、INTEGRATED SKILLS 2を履修することができない。
- (3) INTEGRATED SKILLS 1・2を履修するためには、TOEFLのスコア提出が必要。毎年12月頃学内で行われるTOEFL ITP (Institutional Testing Program) の受験機会を利用するか、個別にTOEFL iBT (Internet-based Testing) 受験の手続きを行い、テストの結果を2月1日までに学科に提出すること。スコアの提出がない場合は、履修することができないので注意すること。
- (4) カリキュラムの改変により、2018年度からINTENSIVE READING 1・2・3・4, SPEAKING 1・2, WRITING SKILLS 1・2およびINTEGRATED SKILLS 1・2は開講しない。未修得者についてはp.93のカリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置についてを参照し、読替科目を履修すること。なお、READING & RESEARCH 1・2, CRITICAL READING 1・2, DISCUSSION & PRESENTATION 1・2, WRITING WORKSHOP 1・2, ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1・2およびCLIL-BASED SEMINAR 1・2を読替科目として履修する場合は履修登録時に学科長に相談し、クラスの指定を受けること。

II 選択必修科目

- (1) 基礎科目について
 - a. 1・2年次で16単位分を選び、履修する。同一科目を繰り返し履修しても卒業単位には認められない。
 - b. 担当教員が異なっても、重複履修不可。2度以上履修しても、卒業に必要な単位数に算入できないので注意すること。
 - c. 16単位を超えて履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当される。ただし、10年次生以降については選択必修科目のうちの基礎科目を16単位を超えて履修しても、超過分を選択科目として充当することはできない。
 - d. カリキュラムの改変により、基礎科目の科目数が減少した。開講科目の履修をもって必要単位数を満たすことができない場合は、学科が読み替えとなる科目を指定するため、履修登録時に学科長へ相談すること。
- (2) 演習科目について
 - a. 2018年度より抽選科目ではなくなった。通常科目と同様に履修登録をすること。
 - b. 演習科目は、同じ教員のもを履修してもよいが、すでに履修した演習科目と内容が異なることを担当教員に確認し、許可を得なければならない。

III 選択科目

- (1) 他学部・他学科の学科科目（外国語を除き、実習以外の課程科目（科目コード620000番台）を含む）は、文学部横断型人文学プログラム、英文学科開講「教科に関する科目」と合わせて、20単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (2) 「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」については、英文学科生は、英語学科開講ではなく、英文学科開講の英語科教育法を履修しなければならない。原則として、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順番で履修すること。教職課程履修者以外の履修は認めない。11年次生以降は、TEAPないしTOEFLの点数による履修制限がある。
- (3) 2011年度より科目コードを簡素化したがる、同一コードでも授業内容が異なっていれば履修することができる。
- (4) 英文学科開講科目中、英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと「教科に関する科目」を除く選択科目については、担当教員、科目名が同じものを繰り返し履修しても、卒業に必要な単位として算入される。ただし、同一科目を繰り返し履修するためには、前年度と内容が異なることを確認し、担当教員の許可を得なければならない。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
ッ

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

IV 卒業論文1・2について

学生は3年次の12月に卒業論文ガイダンスを受け、指導にしたがって卒業論文1・2を履修する必要がある。詳細は共通ページp.94を参照すること。

4. 開講科目担当表

15年次生以降

学科科目（必修科目）・・・44単位（16年次生以降）

・・・64単位（15年次生）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	200003	ELT106	MORNING ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic PINNER Richard LOCKE Brian 皆川 祐太	1	○	
	200004	ELT107	MORNING ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic PINNER Richard LOCKE Brian 皆川 祐太	1	○	
	200005	ELT100	READING & RESEARCH 1	4	休講		1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	西 能 史	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	山 口 和 彦	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	松 本 朗	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	飯 野 友 幸	1		
	200006	ELT101	READING & RESEARCH 2	4	休講		1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	西 能 史	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	山 口 和 彦	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	松 本 朗	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	飯 野 友 幸	1		
	200012	ELT102	DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	CHEETHAM Dominic	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	* DILLON Thomas	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	LOCKE Brian	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	* RENJEL Renee	1	○	
	200013	ELT103	DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	CHEETHAM Dominic	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	* DILLON Thomas	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	LOCKE Brian	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	* RENJEL Renee	1	○	
	200023	ELT104	WRITING WORKSHOP 1	2	春	* BERMAN Naomi	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	PINNER Richard	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	* DILLON Thomas	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	CHEETHAM Dominic	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	LOCKE Brian	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	* RENJEL Renee	2	○	
	200024	ELT105	WRITING WORKSHOP 2	2	秋	* BERMAN Naomi	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	PINNER Richard	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	* DILLON Thomas	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	2	○	
WRITING WORKSHOP 2			2	秋	LOCKE Brian	2	○		
WRITING WORKSHOP 2			2	秋	* RENJEL Renee	2	○		
200032	ELT200	CRITICAL READING 1	2	春	新 井 潤 美	2			
		CRITICAL READING 1	2	春	* 浦 口 理 麻	2			
		CRITICAL READING 1	2	春	大 塚 寿 郎	2			
		CRITICAL READING 1	2	春	舟 川 一 彦	2			

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

ッ

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	200033	ELT201	CRITICAL READING 2	2	秋	新井潤美	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	*浦口理麻	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	大塚寿郎	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	舟川一彦	2		
	200043	ELT202	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	*ROBINSON Peter	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	休講		3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	LOCKE Brian	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	*DILLON Thomas	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	PINNER Richard	3	○	
	200044	ELT203	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	*ROBINSON Peter	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	休講		3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	LOCKE Brian	3	○	
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	*DILLON Thomas	3	○	
	213440	ELT408	CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	CHEETHAM Dominic	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	PINNER Richard	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	LOCKE Brian	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	*DILLON Thomas	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	*PRONKO Michael	4	○	[30名]
	213441	ELT409	CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	PINNER Richard	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	LOCKE Brian	4	○	[30名]
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	*DILLON Thomas	4	○	[30名]
	200504	ELT214	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2	春	池田真	1		
	200505	ELT215	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2	秋	*古田直肇	1		
	200703	ELT499	RESEARCH PROJECT 1: SEMINAR	2	春	英文学科教員	4		
	200704	ELT499	RESEARCH PROJECT 2: TUTORIAL	2	秋	英文学科教員	4		

学科科目（選択必修科目）・・20単位（16年次生以降）

・・4単位（15年次生）注1の科目は15年次生にとっては必修科目である。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 (Lecture)	200305	ELT204	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1	2	春	西能史	2~4		[135名], 注1
	200306	ELT205	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2	2	秋	舟川一彦	2~4		[135名], 注1
	200307	ELT218	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3	2	春	新井潤美	2~4		[135名], 注1
	200308	ELT219	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4	2	秋	松本朗	2~4		[135名], 注1
	200407	ELT204	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1	2	春	増井志津代	2~4		[135名], 注1
	200408	ELT205	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2	2	秋	大塚寿郎	2~4		[135名], 注1
	200409	ELT207	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3	2	春	*辻秀雄	2~4		[135名], 注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 (Lecture)	200410	ELT208	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4	2	秋	山口和彦	2~4		[135名], 注1
	200601	ELT216	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2	春	池田真	2~4		注1
	200602	ELT217	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2	秋	池田真	2~4		注1
選択必修科目 (Seminar)	British Studies	213434	ELT401	ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	舟川一彦	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4	
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	松本朗	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	新井潤美	3・4	[13名]
選択必修科目 (Seminar)	British Studies	213435	ELT402	ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	舟川一彦	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	休講		3・4	
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	松本朗	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	新井潤美	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	西能史	3・4	[13名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	休講			
	American Studies	213436	ELT403	AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	増井志津代	3・4	[11名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	飯野友幸	3・4	[11名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	大塚寿郎	3・4	[11名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4	
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4	
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4	
Language Studies	213437	ELT404	AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	山口和彦	3・4	[11名]	
			AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	飯野友幸	3・4	[11名]	
			AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	大塚寿郎	3・4	[11名]	
			AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	休講		3・4		
			AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	休講		3・4		
			AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	休講		3・4		
Language Studies	213438	ELT405	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	春	池田真	3・4	[14名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	春	*下永裕基	3・4	[14名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	休講				
Language Studies	213439	ELT406	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2	秋	池田真	3・4	[14名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2	秋	*下永裕基	3・4	[14名]	
Language Studies			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2	休講				

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

学科科目（選択科目）・・・30単位（16年次生以降）

・・・26単位（15年次生）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	British Studies	214430	ELT301	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	春	松本朗	2~4	
				SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	休講		2~4	
				SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	休講		2~4	
	214431	ELT351	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	新井潤美	2~4	○	
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	2~4	○	
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	休講		2~4	○	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選択科目	British Studies	214432	ELT304	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 2	2	秋	西 能 史	2~4	
		214433	ELT354	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	新 井 潤 美	2~4	○
				SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	休講		2~4	○
				SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	2~4	○
				SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	休講		2~4	○
	American Studies	214530	ELT302	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	春	山 口 和 彦	2~4	
				SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	休講		2~4	
				SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	春	* 石 原 剛	2~4	
				SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	休講		2~4	
		214531	ELT352	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 1	2	休講		2~4	○
		214532	ELT305	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	秋	* 井 上 健	2~4	
				SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	休講		2~4	
	214533	ELT355	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	LOCKE Brian	2~4	○	
	Language Studies	214630	ELT303	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 1	2	春	* 滝 沢 秀 男	2~4	
				SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 1	2	休講		2~4	
214632		ELT353	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	PINNER Richard	2~4	○	
214631		ELT306	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 2	2	秋	* 滝 沢 秀 男	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 2	2	秋	* 下 永 裕 基	2~4		
214633	ELT356	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES IN ENGLISH 2	2	休講		2~4	○		
その他 注2	214726	ELT327	TRANSLATION THEORY 1	2	春	コーディネータ 飯 野 友 幸	2~4		輪講
	214727	ELT330	TRANSLATION THEORY 2	2	秋	コーディネータ 飯 野 友 幸	2~4		輪講
	214734	ELT328	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 1	2	春	* 岩 瀬 充 明	2~4		[20名]
	214735	ELT331	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 2	2	秋	* 岩 瀬 充 明	2~4		[20名]
	214736	ELT332	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 3	2	春	* 岩 瀬 充 明	2~4		[20名]
	214737	ELT333	TRANSLATION WORKSHOP : JAPANESE-ENGLISH 4	2	秋	* 岩 瀬 充 明	2~4		[20名]
	214732	ELT334	TRANSLATION WORKSHOP : ENGLISH-JAPANESE 1	2	春	* 眞 野 泰	2~4		[8名]
	214733	ELT335	TRANSLATION WORKSHOP : ENGLISH-JAPANESE 2	2	秋	* 眞 野 泰	2~4		[8名]
	174004	HST317	西洋美術史	2					(他) 史学科
	501367	FNH312	TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2					(他) 外国語学部
	522100	FNH324	海を越える女性史	2					(他) 外国語学部
	ART201	ART201	INTRODUCTION TO ART HISTORY / VISUAL CULTURE 1	4					(他) 国際教養学部
	ART250	ART250	INTRODUCTION TO ART HISTORY / VISUAL CULTURE 2	4					(他) 国際教養学部

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	「教職・教科教育法」/ Language Studies 注3	209119	TEM201	PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1A	2	春	池田 真	2	教職課程履修者以外履修不可，履修上の注意Ⅲ(6)参照	
		209120	TEM202	PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2A	2	秋	*北原 延晃	2		
		209121	TEM302	PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1A	2	春	池田 真	3		
		209122	TEM402	PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2A	2	秋	*石崎 陽一	3		
	「学科開講」教科に関する科目 / Language Studies 注4	210001	ELI200	異文化コミュニケーションⅠ	2	春	*RENJEL Renee	2~4	○	教職課程履修者，もしくはLanguage Studies選択者以外履修不可，履修上の注意Ⅲ(7)参照
		210002	ELI201	異文化コミュニケーションⅡ	2	秋	*RENJEL Renee	2~4	○	
		210022	ELT290	英語圏文学と英語教育Ⅰ	2	春	*武岡 由樹子	2~4		
		210023	ELT291	英語圏文学と英語教育Ⅱ	2	秋	*武岡 由樹子	2~4		
		210006	ECM101	受験英語指導研究	2	春	*石崎 陽一	2~4		
		210028	ECM206	英語語彙指導研究Ⅰ	2	春	*滝沢 秀男	2~4		
		210029	ECM208	英語語彙指導研究Ⅱ	2	秋	*滝沢 秀男	2~4		
		210009	ECM207	小学校英語教育研究	2	春	藤田 保	2~4		
		210010	ELI202	英文法概説Ⅰ	2	春	*長瀬 浩平	2~4		
		210011	ELI203	英文法概説Ⅱ	2	秋	*長瀬 浩平	2~4		
		210012	ELI204	英語学概説Ⅰ	2	春	*下 永裕基	2~4		
		210013	ELI205	英語学概説Ⅱ	2	秋	*石田 真子	2~4		
		210030	ECM200	第二言語習得論	2	秋	池田 真	2~4		
		210024	ECM201	英語学習評価論	2	秋	佐藤 敬典	2~4		
		210016	ECM202	英語授業研究Ⅰ	2	春	横本 勝也	2~4		
		210017	ECM205	英語授業研究Ⅱ	2	秋	横本 勝也	2~4		
210025	ECM203	教室英語スキルⅠ	2	春	逸見 シェンタル	2~4	○			
210026	ECM204	教室英語スキルⅡ	2	秋	逸見 シェンタル	2~4	○			
210020	CCU200	英語と社会Ⅰ	2	春	PINNER Richard	2~4	○			
210021	CCU201	英語と社会Ⅱ	2	秋	*鈴木 利彦	2~4				
210031	ECM209	英語発音指導研究	2	休講						
その他			文学部横断型人文学プログラム	「文学部横断型人文学プログラム」，p.28を参照すること					14単位まで選択科目に算入可	
			他学部他学科科目（語学科目を除く） 課程科目（実習を除く）	各開講科目担当表を参照						

注1 15年次生は必修，16年次生以降は選択必修として履修すること。

注2 各コースの選択科目としては算入されない。（ただし自学科の選択科目としては算入される）

注3 Language Studies 選択者のみ自学科専門コース選択科目に算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は，専門コース外の自学科選択科目として算入される。

注4 Language Studies 選択者のみ自学科専門コース選択科目に算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は，他学部・他学科科目と同様に取り扱う。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

14年次生以前

学科科目（必修科目）・・・38単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	200005	ELT100	READING & RESEARCH 1	4	休講		1		科目の読み替えについてはp.93を参照。
			READING & RESEARCH 1	4	春	西 能 史	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	山 口 和 彦	1		
			READING & RESEARCH 1	4	秋	松 本 朗	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	飯 野 友 幸	1		
	200006	ELT101	READING & RESEARCH 2	4	休講		1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	西 能 史	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	山 口 和 彦	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	松 本 朗	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	飯 野 友 幸	1		
	200012	ELT102	DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	CHEETHAM Dominic	1	○	科目の読み替えについてはp.93を参照。
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	* DILLON Thomas	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	LOCKE Brain	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	* RENJEL Renee	1	○	
	200013	ELT103	DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	CHEETHAM Dominic	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	* DILLON Thomas	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	LOCKE Brain	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	* RENJEL Renee	1	○	
	200023	ELT104	WRITING WORKSHOP 1	2	春	* BERMAN Naomi	2	○	科目の読み替えについてはp.93を参照。
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	PINNER Richard	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	* DILLON Thomas	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	CHEETHAM Dominic	2	○	
WRITING WORKSHOP 1			2	春	LOCKE Brian	2	○		
200024	ELT105	WRITING WORKSHOP 2	2	秋	* BERMAN Naomi	2	○		
		WRITING WORKSHOP 2	2	秋	PINNER Richard	2	○		
		WRITING WORKSHOP 2	2	秋	* DILLON Thomas	2	○		
		WRITING WORKSHOP 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	2	○		
		WRITING WORKSHOP 2	2	秋	LOCKE Brian	2	○		
200043	ELT202	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	* ROBINSON Peter	3	○	科目の読み替えについてはp.93を参照。	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	休講		3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	LOCKE Brian	3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	* DILLON Thomas	3	○		
200044	ELT203	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	* ROBINSON Peter	3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	休講		3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	LOCKE Brian	3	○		
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	* DILLON Thomas	3	○		
			ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	PINNER Richard	3	○	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
必修科目	213440	ELT408	CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	CHEETHAM Dominic	4	○	[30名] 科目の読み替え についてはp.93を参照。
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	PINNER Richard	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	LOCKE Brian	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	* DILLON Thomas	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	* PRONKO Michael	4	○	
	213441	ELT409	CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	PINNER Richard	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	LOCKE Brian	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	* DILLON Thomas	4	○	
			CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	* PRONKO Michael	4	○	
	200032	ELT200	CRITICAL READING 1	2	春	新 井 潤 美	2		科目の読み替えに についてはp.93を参照。
			CRITICAL READING 1	2	春	* 浦 口 理 麻	2		
			CRITICAL READING 1	2	春	大 塚 寿 郎	2		
			CRITICAL READING 1	2	春	舟 川 一 彦	2		
	200033	ELT201	CRITICAL READING 2	2	秋	新 井 潤 美	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	* 浦 口 理 麻	2		
CRITICAL READING 2			2	秋	大 塚 寿 郎	2			
			CRITICAL READING 2	2	秋	舟 川 一 彦	2		
200701	ELT499	卒業論文 1	3	春	英文学科教員	4		科目の読み替えに についてはp.93を参照。	
200702	ELT499	卒業論文 2	3	秋	英文学科教員	4			

学部
共通

哲

史

国

文
英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

学科科目（選択必修科目）・・・24単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	基礎科目	200301	ELT204	英文学史Ⅰ	2	春	西能史	2～4		
		200302	ELT205	英文学史Ⅱ	2	秋	舟川一彦	2～4		
		200401	ELT206	米文学史Ⅰ	2	春	増井志津代	2～4		
		200402	ELT207	米文学史Ⅱ	2	秋	大塚寿郎	2～4		
		200502	ELT214	英文法Ⅰ	2	春	池田真	1		
		200503	ELT215	英文法Ⅱ	2	秋	*古田直肇	1		
		200604	ELT216	英語史Ⅰ	2	春	池田真	1・2		
		200605	ELT217	英語史Ⅱ	2	秋	池田真	1・2		
選択必修科目（演習科目）注1	イギリス文学系列	213422	ELT401	イギリス文学演習Ⅰa	2	春	舟川一彦	3・4		
		213424	ELT403	イギリス文学演習Ⅱa	2	春	松本朗	3・4		
		213426	ELT405	イギリス文学演習Ⅲa	2	休講		3・4		
		213428	ELT407	イギリス文学演習Ⅳa	2	春	西能史	3・4		
		213430	ELT409	イギリス文学演習Ⅴa	2	春	新井潤美	3・4		
		213423	ELT402	イギリス文学演習Ⅰb	2	秋	舟川一彦	3・4		
		213425	ELT404	イギリス文学演習Ⅱb	2	秋	松本朗	3・4		
		213427	ELT406	イギリス文学演習Ⅲb	2	休講		3・4		
		213429	ELT408	イギリス文学演習Ⅳb	2	秋	西能史	3・4		
		213431	ELT410	イギリス文学演習Ⅴb	2	秋	新井潤美	3・4		
		アメリカ文学系列	213522	ELT411	アメリカ文学演習Ⅰa	2	春	大塚寿郎	3・4	
			213524	ELT413	アメリカ文学演習Ⅱa	2	春	飯野友幸	3・4	
	213526		ELT415	アメリカ文学演習Ⅲa	2	春	増井志津代	3・4		
	213528		ELT417	アメリカ文学演習Ⅳa	2	休講		3・4		
	213530		ELT419	アメリカ文学演習Ⅴa	2	休講		3・4	○	
	213532		ELT421	アメリカ文学演習Ⅵa	2	休講		3・4		
	213534		ELT423	アメリカ文学演習Ⅶa	2	休講		3・4		
	213523		ELT412	アメリカ文学演習Ⅰb	2	秋	大塚寿郎	3・4		
	213525		ELT414	アメリカ文学演習Ⅱb	2	秋	飯野友幸	3・4		
	213527		ELT416	アメリカ文学演習Ⅲb	2	休講		3・4		
	213531		ELT420	アメリカ文学演習Ⅴb	2	休講		3・4	○	
	213533		ELT422	アメリカ文学演習Ⅶb	2	秋	山口和彦	3・4		
	213535	ELT424	アメリカ文学演習Ⅷb	2	休講		3・4			
	英語学系列	213622	ELT425	英語学演習Ⅰa	2	春	池田真	3・4		
		213624	ELT427	英語学演習Ⅱa	2	春	*下永裕基	3・4		
		213623	ELT426	英語学演習Ⅰb	2	秋	池田真	3・4		
		213625	ELT428	英語学演習Ⅱb	2	秋	*下永裕基	3・4		
	表現・言語系列	213726	ELT429	翻訳・言語表現演習Ⅲa	2	休講		3・4		
213727		ELT430	翻訳・言語表現演習Ⅲb	2	休講		3・4			
213824		ELT437	文化研究演習Ⅱa	2	休講		3・4	○		
213826		ELT439	文化研究演習Ⅲa	2	休講		3・4	○		
213825		ELT438	文化研究演習Ⅱb	2	休講		3・4	○		
213827		ELT440	文化研究演習Ⅲb	2	休講		3・4	○		

注1 演習科目は、すでに履修した演習科目と内容が異なることを担当教員に確認し、許可を得た場合に限り同じ教員のもを履修してよい。

学科科目（選択科目）・・・36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	イギリス文学系列	214420	ELT301	イギリス文学講義	2	春	松本 朗	2~4	
				イギリス文学講義	2	休講		2~4	
				イギリス文学講義	2	休講		2~4	
				イギリス文学講義	2	春	CHEETHAM Dominic	2~4	○
				イギリス文学講義	2	休講		2~4	○
	214421	ELT307	イギリス文学講義	2	秋	西 能 史	2~4		
			イギリス文学講義	2	春	新井潤美	2~4	○	
			イギリス文学講義	2	秋	新井潤美	2~4	○	
			イギリス文学講義	2	秋	CHEETHAM Dominic	2~4	○	
			イギリス文学講義	2	休講		2~4	○	
	アメリカ文学系列	214520	ELT313	アメリカ文学講義	2	春	山口和彦	2~4	
				アメリカ文学講義	2	春	*石原 剛	2~4	
				アメリカ文学講義	2	秋	*井上 健	2~4	
	214521	ELT318	アメリカ文学講義	2	休講		2~4	○	
			アメリカ文学講義	2	春	増井志津代	2~4		
アメリカ文学講義			2	秋	*LOCKE Brian	2~4	○		
英語学系列	214620	ELT323	英語学講義	2	春	*滝沢秀男	2~4		
			英語学講義	2	春	PINNER Richard	2~4	○	
214621	ELT324	英語学講義	2	秋	*滝沢秀男	2~4			
		英語学講義	2	秋	*下永裕基	2~4			
翻訳・言語表現系列	214722	ELT328	翻訳・言語表現講義(中級)	2	春	*岩瀬充明	2~4	[5名]	
	214723	ELT329	翻訳・言語表現講義(中級)	2	秋	*岩瀬充明	2~4	[5名]	
	214724	ELT331	翻訳・言語表現講義(上級)	2	春	*岩瀬充明	2~4	[5名]	
	214725	ELT332	翻訳・言語表現講義(上級)	2	秋	*岩瀬充明	2~4	[5名]	
	214732	ELT334	TRANSLATION WORKSHOP: ENGLISH-JAPANESE 1	2	春	*眞野 泰	2~4	[8名]	
	214733	ELT335	TRANSLATION WORKSHOP: ENGLISH-JAPANESE 2	2	秋	*眞野 泰	2~4	[8名]	
	214720	ELT327	翻訳・言語表現講義	2	春	コーディネータ 飯野友幸	2~4	輪講	
	214721	ELT330	翻訳・言語表現講義	2	秋	コーディネータ 飯野友幸	2~4	輪講	
教職・教科教育法	209111	TEM201	英語科教育法Ⅰ	2	春	池田 真	2	教職課程履修者以外履修不可，履修上の注意Ⅲ(2)参照 Ⅰ・ⅡはPRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHINGと合併 Ⅲ・ⅣはPRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHINGと合併	
	209112	TEM202	英語科教育法Ⅱ	2	秋	*北原延晃	2		
	209113	TEM301	英語科教育法Ⅲ	2	春	池田 真	3		
	209114	TEM302	英語科教育法Ⅳ	2	秋	*石崎陽一	3		
学科開講 教科に関する科目 注2	210001	ELI200	異文化コミュニケーションⅠ	2	春	*RENJEL Renee	2~4	○	
	210002	ELI201	異文化コミュニケーションⅡ	2	秋	*RENJEL Renee	2~4	○	
	210022	ELT290	英語圏文学と英語教育Ⅰ	2	春	*武岡由樹子	2~4		
	210023	ELT291	英語圏文学と英語教育Ⅱ	2	秋	*武岡由樹子	2~4		
	210006	ECM101	受験英語指導研究	2	春	*石崎陽一	2~4		
	210028	ECM206	英語語彙指導研究Ⅰ	2	春	*滝沢秀男	2~4		
	210029	ECM208	英語語彙指導研究Ⅱ	2	秋	*滝沢秀男	2~4		

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 (学科開講 教科に関する科目) 注2	210009	ECM207	小学校英語教育研究	2	春	藤田 保	2~4		
	210010	ELI202	英文法概説 I	2	春	*長瀬 浩平	2~4		
	210011	ELI203	英文法概説 II	2	秋	*長瀬 浩平	2~4		
	210012	ELI204	英語学概説 I	2	春	*下 永裕基	2~4		
	210013	ELI205	英語学概説 II	2	秋	*石田 真子	2~4		
	210030	ECM200	第二言語習得論	2	秋	池田 真	2~4		
	210024	ECM201	英語学習評価論	2	秋	佐藤 敬典	2~4		
	210016	ECM202	英語授業研究 I	2	春	横本 勝也	2~4		
	210017	ECM205	英語授業研究 II	2	秋	横本 勝也	2~4		
	210025	ECM203	教室英語スキル I	2	春	逸見 シャンタル	2~4	○	
	210026	ECM204	教室英語スキル II	2	秋	逸見 シャンタル	2~4	○	
	210020	CCU200	英語と社会 I	2	春	PINNER Richard	2~4	○	
	210021	CCU201	英語と社会 II	2	秋	*鈴木 利彦	2~4		
	210031	ECM209	英語発音指導研究	2	休講				
その他			他学部他学科科目(外国語を除く) 課程科目(実習を除く)			各開講科目担当表を参照			20単位まで選択科目に 算入可
			文学部横断型人文学プログラム			「文学部横断型人文学プログラム」 p.28を参照すること	1~4		

注2 他学部他学科科目，文学部横断型人文学プログラムとあわせて20単位まで選択科目に算入可

ドイツ文学科

〔教育研究上の目的〕

総合的なドイツ語運用能力を習得し、古典から現代にいたるドイツ語圏の文学、思想、美術、音楽などを歴史的・文化的文脈のなかで考察する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

ドイツ語圏の文学・文化を広い視野において考察することを通じて、複眼的な視点、柔軟な判断力、高度な言語表現能力をもつ人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、ドイツ語の学修とドイツ語圏を中心とする欧米の文学・文化の研究によって、以下の資質を備えた人材の養成を目的としており、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たした学生には、学位を授与します。

1. 総合的なドイツ語技能（読む・聞く・話す・書く）を修得することで、ドイツ語話者との共感に基づく高度なコミュニケーションを、日常会話から学問的議論まで様々なレベルにおいて実現する能力
2. 文学及び美術や音楽等、諸芸術の研究・享受により育まれた豊かな想像力と論理的創造的思考力をもって、古今の多種多様なテキストの意味内容を的確に把握する能力
3. 様々な時代や地域、文化現象における問題点、研究テーマを自ら発見し、分析的に考察する能力。またそれによって得た知識や見解をドイツ語ないし日本語で明晰に表現する能力
4. ドイツ語と英語の学修によって獲得された「複言語主義」的視点において、世界の多様さと豊穡さを認識し、多角的な視座から人間の来し方行く末を洞察する能力
5. 自国とは異種の思想・文化を歴史的社会的背景もろとも理解することで、他者に向かって開かれた精神性を身につけ、ドイツ語圏文化に関する広範かつ深い理解に基づいて、自国と欧米諸国との相互理解、文化交流に貢献する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、異文化間交流に寄与する資質と能力を開発・促進するため、ドイツ語の学修及びドイツ語圏文化の研究を軸に、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 1・2年次では、総合的実践的なドイツ語能力（会話・読解・作文）を短期間で確実に体得できるよう、日本人とネイティブ教員が連携して実施する小人数の語学授業に能動的に参与させる。
2. 初年次においては、ドイツ語圏の言語・歴史・芸術に関する概括的な知識、文化研究の方法論を修得し、さらに人文科学研究における問題意識を培うための科目群を配置する。
3. 3・4年次では、ドイツ語圏の文学、諸芸術を主題とする多様な講義・演習、上級レベルのドイツ語科目を通じて学識を深化させると共に、批判的分析能力、総合的判断能力、実践的コミュニケーション力を養う。
4. 4年次には、在学中に修得した文化研究の手法及び知識の集大成として、また優れて学問的な論理構成力を身につけられるよう、教員の個別指導の下、日本語ないしドイツ語での卒業論文を作成させる。
5. 日独比較文化研究、文学部横断プログラム、他学部他学科開講科目の履修、またドイツ語圏大学への留学を通じて、自他の歴史や社会、文化に対する俯瞰的な視野の獲得と、より深い相互的理解の実現を図る。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

15年次生以降

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		学科専門科目 (必修42単位，選択必修28単位，選択24単位)
合計	124単位		

14年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	96単位		学科専門科目 (必修44単位，選択必修28単位，選択24単位)
合計	126単位		

12・13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 (必修44単位，選択必修28単位，選択24単位)
学科科目	96単位	
合計	126単位	

2. 標準配当表

15年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[共通編] p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (42単位)	ドイツ語Ⅰa	6	ドイツ語Ⅱa	6	ドイツ現代文化論	2	卒業論文 1・2	4
		ドイツ語Ⅰb	6	ドイツ語Ⅱb	6				
	ドイツ文学入門1	2	ドイツ文学研究基礎1	2	ドイツ文化・思想史 1・2		4		
ドイツ文学入門2	2	ドイツ文学研究基礎2	2						
選択必修 (28単位)	学科科目A群 学科科目B群*						12	16	
選択 (24単位)	学科科目C群						24		

*学科科目B群には2年生から履修可能な科目が一部ある。開講科目担当表参照のこと。

*18年次生以降を対象として、2年次秋学期に「在外履修」が実施される。詳細は、p.114を参照のこと。

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新

聞

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[共通編] p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	必修 (44単位)	ドイツ語Ⅰa	6	ドイツ語Ⅱa	6	ドイツ現代文化論	2	卒業論文 1・2	6
		ドイツ語Ⅰb	6	ドイツ語Ⅱb	6				
	ドイツ文学入門1	2	ドイツ文学研究基礎1	2	ドイツ文化・思想史 1・2		4		
ドイツ文学入門2	2	ドイツ文学研究基礎2	2						
選択必修 (28単位)					学科科目A群 学科科目B群*		12 16		
選択 (24単位)					学科科目C群		24		

*学科科目B群には2年生から履修可能な科目が一部ある。開講科目担当表参照のこと。

12・13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	国語及び西洋史を履修することが望ましい						
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	必修 (44単位)	ドイツ語Ⅰ	12	ドイツ語Ⅱ	12	ドイツ現代文化論	2	卒業論文 1**	3
		ドイツ文学入門1	2	ドイツ文学研究基礎1	2			卒業論文 2**	3
		ドイツ文学入門2	2	ドイツ文学研究基礎2	2	ドイツ文化・思想史 1・2		4	
	選択必修 (28単位)					学科科目A群 学科科目B群*		12 16	
	選択 (24単位)	学科科目C群						24	

* 学科科目B群には2年生から履修可能な科目が一部ある。開講科目担当表参照のこと。

**「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文1」「卒業論文2」に分割された。

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新

聞

3. 履修上の注意

在外履修 (以下の在外履修に関する規程は18年次生以降を対象とする)

- (1) 在外履修は、ハインリヒ・ハイネ（デュッセルドルフ）大学との協定に基づき、ドイツ文学科が設定する留学制度である。2018年度入学生より、(3)の条件を満たしたドイツ文学科学生は5名を上限として、所定の学科必修科目をハインリヒ・ハイネ（デュッセルドルフ）大学で履修することができる。在外履修を希望する学生が5名を超える場合は、学科内で選抜する。選抜時期およびその方法については別に定める。
- (2) 在外履修期間は、原則として2年次秋学期の1学期間とする。
- (3) 在外履修を行うためには、1年次に「ドイツ語 Ia」および「ドイツ語 Ib」の成績がC以上であり、「ドイツ文学入門1」および「ドイツ文学入門2」を修得していなければならない。また2年次春学期には「ドイツ語 IIa」および「ドイツ文学研究基礎1」を修得しなければならない。
- (4) 在外履修することができる学科科目は以下の3科目（10単位）とし、ハインリヒ・ハイネ（デュッセルドルフ）大学で開講される所定のドイツ語の授業を受講し、本学科において単位認定を受けることによって、一括して単位換算される。3科目（10単位）とは、「ドイツ語 IIb」（6単位）、「ドイツ文学研究基礎2」（2単位）、「ドイツ現代文化論」（2単位）である。在外履修を行う者は、2年次秋学期履修登録期間において、「ドイツ語 IIb（在外履修）」、「ドイツ文学研究基礎2（在外履修）」、「ドイツ現代文化論（在外履修）」、計3科目の履修登録を行わなければならない。
- (5) 当該3科目（10単位）の成績評価は、在外履修終了時期にドイツ文学科が課する試験等によって一括して決定される。単位認定が不可（F）の場合は、次年度以降に当該3科目を順次履修しなければならない。
- (6) 当該3科目に充当する所定の科目以外に、在外期間中に修得した単位は、4単位まで学科科目AまたはB群の単位に換算することができる。
- (7) 学科が認めるやむを得ない事情により、在外履修期間中に履修を中止して帰国した学生は、「ドイツ語 IIb」、「ドイツ文学研究基礎2」に中途より参加し、「ドイツ語 IIb（在外履修）」、「ドイツ文学研究基礎2（在外履修）」の成績判定を受けることができる。「ドイツ現代文化論」は次年度以降に履修しなければならない。
- (8) 本学科の在外履修と従来型の交換留学とを共に行うこともできるが、時期的に両者が連続する場合には、在外履修の単位認定に関して学科の指示に従うこと。
- (9) ドイツ語既習者として「ドイツ語 Ia」および「ドイツ語 Ib」の履修を免除された学生が在外履修を行う場合については、別に定める。
- (10) 2年次春学期終了時において、(3)の条件を満たさないなど、在外履修を行うのにふさわしくないとの判断を下された学生は、在外履修の認可を取り消される場合がある。

14年次生以降

① ドイツ文学科における年次について

ドイツ文学科の科目を履修する際、ドイツ文学科における年次によって履修できる科目とそうでない科目がある。学生番号上の数え方とは異なるので、下記の表をよく参照すること。

<ドイツ文学科における年次>

1年次	ドイツ語 Ia・Ibおよびドイツ文学入門1・2を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修不可。 選択科目C群は履修不可。(教職課程や他学部他学科科目を除く)
2年次	ドイツ語 IIa・IIbおよびドイツ文学研究基礎1・2を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修不可。(2年次履修可能な科目を除く) 選択科目C群は履修可能。
3年次	ドイツ語 IIa・IIbを8単位以上履修し終えた最初の年次。 ドイツ現代文化論を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修可能。 選択科目C群は履修可能。
4年次	卒業論文1・2を登録する資格を有する年次。 選択必修科目A・B群は履修可能。 選択科目C群は履修可能。

② 〈学科必修科目〉について

- (1) ドイツ語 I a・I bおよびドイツ語 II a・II bについて
 - a ドイツ語 I a・I bの成績は、3名の担当者の合議により、春学期・秋学期各6単位が一括して評価される。
 - b ドイツ語 I aの6単位を修得しなければ、ドイツ語 I bを履修することはできない。また当該年度において、ドイツ語 I bの単位を修得できなかった者は、翌年度以降の秋学期に、学科が指定するクラスでドイツ語 I bを再履修しなければならない。その場合、同じ年度の春学期に開講されるドイツ語 I aにも出席することが望ましい（出席が推奨される I aのクラスは学科が指定する。ただし、2度目の I aについては履修登録および単位取得はできない）。
 - c ドイツ語 I a・I bを修得しなければ、ドイツ語 II a・II bを履修することはできない。
 - d ドイツ語 II a・II bの成績は、3名の担当者により、春学期・秋学期各2単位ずつ、計6科目が別個に評価される。
 - e 春学期に開講されるドイツ語 II aの各2単位を修得しなければ、それと連続して開講される秋学期のドイツ語 II bの2単位を履修することはできない。
 - f ドイツ語 II bの単位の一部または全部を修得できなかった者は、翌年度以降の秋学期に、学科が指定するクラスでドイツ語 II bを再履修しなければならない。その場合、同じ年度の春学期に開講されるドイツ語 II aにも出席することが望ましい（出席が推奨される II aのクラスは学科が指定する。ただし、2度目の II aについては履修登録および単位取得はできない）。
- (2) ドイツ文学入門、ドイツ文学研究基礎について
 - a 1年次にドイツ文学入門1・2を、2年次にドイツ文学研究基礎1・2を履修する。
 - b ドイツ語 I a・I bを未修の者は、ドイツ文学研究基礎1・2を登録することはできない。
- (3) ドイツ現代文化論は、3年次春学期に履修する。
- (4) ドイツ文化・思想史1・2は、3年次または4年次に履修可能だが、3年次に履修することが望ましい。
- (5) 卒業論文1・2（4年次）については、④「卒業論文について」の項を参照。
- (6) ドイツ語既習者には別途カリキュラムが設けられているので、学科の指示に従うこと。

③ 〈学科選択必修・選択科目〉について

- (1) 〈学科科目A群〉について
 - a 学科科目A群（文献演習）は選択必修科目である。
 - b ドイツ語 II a・II bを8単位以上修得しなければ、A群（文献演習）を履修できない。A群の履修の前提条件となるドイツ語 II a・II bの単位構成については、学科の指示に従うこと。
 - c A群（文献演習）は3年次に3科目6単位、4年次に同じく3科目6単位を選択必修することが望ましい。余剰分は学科科目C群の単位に充当できる。
 - d A群（文献演習）は同一科目を2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる。開講科目担当表の備考欄に（+）と表示。
 - e A群（文献演習）12単位のうち、日本人教員担当の科目とドイツ語ネイティブ教員担当の科目をそれぞれ最低4単位は修得しなければならない。
 - f 留学等の事情により、上記のような履修が難しい場合には、履修方法等について留学前もしくは履修登録期間前に学科長へ相談すること。
- (2) 〈学科科目B群〉について
 - a 学科科目B群（ドイツ文学研究系列・ドイツ文化研究系列・ドイツ語学研究系列）は選択必修科目である。
 - b ドイツ語 II a・II bを8単位以上を履修しなければ、B群を履修できない。ただし、2年次から履修できる科目はその限りではない。開講科目担当表の年次欄をよく参照すること。また、B群の履修の前提条件となるドイツ語 II a・II bの単位構成については、学科の指示に従うこと。
 - c 学科科目B群からは、合計16単位を選択必修すること。余剰分は学科科目C群に充当できる。
 - d 2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入できる科目には、開講科目担当表の備考欄に（+）と表示。
- (3) 〈学科科目C群〉について

〈学科科目C群〉（選択科目）の欄に記載された本学科が推薦する科目以外でも、すべての他学部・他学科開講科目（語学科目を除き、実習以外の教職・学芸員課程科目<科目コード620000番台>を含む）はC群の単位に充当できる。ただし、担当教員に受講の許可が得られた場合に限る。

④ 卒業論文について

- (1) 卒業論文1・2は必修科目である。4年次の春学期に卒業論文1を、同じ年度の秋学期に卒業論文2を履修する。それぞれの科目は、他の科目と同様、Loyolaで履修登録しなければならない。
- (2) 卒業論文1・2は、休学期間を除く3年以上在学し、ドイツ語 I a・I b、ドイツ語 II a・II b 8単位以上、および文献演習4単位以上をすでに履修し終えた者でなければ履修登録できない。3年次に交換留学あるいは一般留学の形態でドイツ語圏の大学に留学し、在学期間4年（留学の1年間を含む）での卒業を希望する者はその限りではない。ただし卒業論文1・2を履修登録する前に、必ず学科長の承認を受けること。
- (3) 卒業論文1の評価には、P（合格）・X（不合格）を使用する。

- (4) 当該年度の春学期に卒業論文1の単位修得ができなかった場合は、同秋学期の卒業論文2を履修することができない。
- (5) 留学等、正当と認められる理由により、4年次に卒業論文1・2の履修ができない場合には、学科の指示に従って履修計画をたてること。
- (6) 上記、Loyolaでの履修登録のほか、学科の定める手続きが必要であり、それを済ませない場合には卒業論文の提出資格を失う。年度初頭の4年次生対象学科ガイダンスにおいて、論文提出に関する注意事項が説明される。
- (7) 装丁について
- a 規格 A4判横書き
- b 綴じ方 装本、簡易製本ないしは黒表紙
- ※ 学科ガイダンスで配布する卒業論文に関する規定を参照のこと。
- (8) 卒業論文の提出は下記のとおりである。
- a 期間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- b 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- c 時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- d 部数 1部
- (9) 所定の手続きにより、卒業論文1・2を履修中止（W）した場合には、学科の指示に従ってその後の履修計画をたてること。

⑤ 語学科目について

英語は、学科専門科目を履修するうえでも非常に重要である。そのため、1年次必修科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1・2」に加えて英語の科目を履修し、英語力を高めることが望ましい。科目および履修方法等については要覧 [共通編] p.162（語学科目のページ）参照。

⑥ 【14年次生向け注意事項】カリキュラムの変更に伴う、新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は、同一科目とみなす。同内容の科目の重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目【14年次生対象】
220500 卒業論文 (6単位)	220502 卒業論文1 (3単位)
	220503 卒業論文2 (3単位)

⑦ 学則第40条について

学則第40条に基づき、連続する2年間において合計32単位以上修得できなかった者は、退学となる。

⑧ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑨ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧[共通編] p.26を参照すること。

分野名(アルファベット)	分野名(英語)	分野名(日本語)
ART	ART	ドイツ芸術, ドイツ文化論
GES	GERMAN STUDIES	ドイツ学, ドイツ語圏地域研究
GMN	GERMAN	ドイツ語
GRP	GRADUATION PROJECT	卒業論文
LIT	LITERATURE	ドイツ文学
LNG	LINGUISTICS	ドイツ語学, 言語学
SEM	SEMINAR	文献演習
TEM	TEACHING METHODS	教職: 教科教育法

⑩ 文学部横断型人文学プログラムについて

2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」p.28を参照すること。

学
部
共
通

哲

史

国
文
英

文
ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新
聞

11・12・13年次生

① ドイツ文学科における年次について

ドイツ文学科の科目を履修する際、ドイツ文学科における年次によって履修できる科目とそうでない科目がある。学生番号上の数え方とは異なるので、下記の表をよく参照すること。

<ドイツ文学科における年次>

1年次	ドイツ語Ⅰおよびドイツ文学入門1・2を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修不可。 選択科目C群は履修不可。(教職課程や他学部他学科科目を除く)
2年次	ドイツ語Ⅱおよびドイツ文学研究基礎1・2を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修不可。(2年次履修可能な科目を除く) 選択科目C群は履修可能。
3年次	ドイツ語Ⅱを8単位以上履修し終えた最初の年次。 ドイツ現代文化論を履修する年次。 選択必修科目A・B群は履修可能。 選択科目C群は履修可能。
4年次	卒業論文1・2を登録する資格を有する年次。 選択必修科目A・B群は履修可能。 選択科目C群は履修可能。

② 〈学科必修科目〉について

(1) ドイツ語Ⅰ・Ⅱについて

- ドイツ語Ⅰの成績は、3名の担当者合議により12単位が一括して評価される。
- ドイツ語Ⅰを修得しなければ、ドイツ語Ⅱを履修することはできない。
- ドイツ語Ⅱの成績は、3名の担当者により、4単位ずつ別個に評価される。
- ⑤の通り、2014年度よりドイツ語ⅠおよびⅡ(通年科目)は、それぞれⅠa・ⅠbおよびⅡa・Ⅱb(半期科目)に分割された。ドイツ語Ⅰ・Ⅱの再履修に際しては、学科の指示に従うこと。

(2) ドイツ文学入門、ドイツ文学研究基礎について

- 1年次にドイツ文学入門1・2を、2年次にドイツ文学研究基礎1・2を履修する。
 - ドイツ語Ⅰを未修の者は、ドイツ文学研究基礎1・2を登録することはできない。
- (3) ドイツ現代文化論は、3年次春学期に履修する。
 (4) ドイツ文化・思想史1・2は、3年次または4年次に履修可能だが、3年次に履修することが望ましい。
 (5) 卒業論文1・2(4年次)については、④「卒業論文について」の項を参照。
 (6) ドイツ語既習者には別途カリキュラムが設けられているので、学科の指示に従うこと。

③ 〈学科選択必修・選択科目〉について

(1) 〈学科科目A群〉について

- 学科科目A群(文献演習)は選択必修科目である。
- ドイツ語Ⅱを8単位以上修得した者でなければ、A群(文献演習)を履修できない。ドイツ語Ⅱに4単位までの未修単位がある者は、A群の履修に際して学科の指示に従うこと。
- A群(文献演習)は、3年次に3科目6単位、4年次に同じく3科目6単位を選択必修することが望ましい。余剰分は学科科目C群の単位に充当できる。
- A群(文献演習)は、同一科目を2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる。開講科目担当表の備考欄に(+)と表示。
- A群(文献演習)12単位のうち、日本人教員担当の科目とドイツ語ネイティブ教員担当の科目をそれぞれ最低4単位は修得しなければならない。
- 留学等の事情により、上記のような履修が難しい場合には、履修方法等について留学前もしくは履修登録期間前に学科長へ相談すること。

(2) 〈学科科目B群〉について

- 学科科目B群(ドイツ文学研究系列・ドイツ文化研究系列・ドイツ語学研究系列)は選択必修科目である。
- ドイツ語Ⅱを8単位以上修得した者でなければ、B群を履修できない。ただし、2年次から履修できる科目はその限りではない。開講科目担当表の年次欄をよく参照すること。ドイツ語Ⅱに4単位までの未修単位がある者は、B群の履修に際して学科の指示に従うこと。
- 学科科目B群からは、合計16単位を選択必修すること。余剰分は学科科目C群に充当できる。

- d 2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入できる科目には、開講科目担当表の備考欄に(+)と表示。
- (3) 〈学科学目C群〉について
 〈学科学目C群〉(選択科目)の欄に記載された本学科が推薦する科目以外でも、すべての他学部・他学科開講科目(外国語を除き、実習以外の教職・学芸員課程科目<科目コード620000番台>を含む)はC群の単位に充当できる。ただし、担当教員に受講の許可が得られた場合に限る。

④ 卒業論文について

- (1) 卒業論文1・2は必修科目である。4年次の春学期に卒業論文1を、同じ年度の秋学期に卒業論文2を履修する。それぞれの科目は、他の科目と同様、Loyolaで履修登録しなければならない。
- (2) 卒業論文1・2は、休学期間を除く3年以上在学し、ドイツ語I a・I b、ドイツ語II a・II b、および文献演習4単位以上をすでに履修し終えた者でなければ履修登録できない。3年次に交換留学あるいは一般留学の形態でドイツ語圏の大学に留学し、在学期間4年(留学の1年間を含む)での卒業を希望する者はその限りではない。ただし卒業論文1・2を履修登録する前に、必ず学科長の承認を受けること。
- (3) 卒業論文1の評価には、P(合格)・X(不合格)を使用する。
- (4) 当該年度の春学期に卒業論文1の単位修得ができなかった場合は、同秋学期の卒業論文2を履修することができない。
- (5) 留学等、正当と認められる理由により、4年次に卒業論文1・2の履修ができない場合には、学科の指示に従って履修計画をたてること。
- (6) 上記、Loyolaでの履修登録のほかに、学科の定める手続きが必要であり、それを済ませない場合には卒業論文の提出資格を失う。年度初頭の4年次生対象学科ガイダンスにおいて、論文提出に関する注意事項が説明される。
- (7) 装丁について
 a 規格 A4判横書き
 b 綴じ方 装本、簡易製本ないしは黒表紙
 ※ 学科ガイダンスで配布する卒業論文に関する規定を参照のこと。
- (8) 卒業論文の提出は下記のとおりである。
 a 期間 Loyola学事センター(教務) 掲示板に掲示します。
 b 場所 Loyola学事センター(教務) 掲示板に掲示します。
 c 時間 Loyola学事センター(教務) 掲示板に掲示します。
 d 部数 1部
- (9) 所定の手続きにより、卒業論文1・2を履修中止(W)した場合には、学科の指示に従ってその後の履修計画をたてること。

⑤ カリキュラムの変更に伴う、新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は、同一科目とみなす。同内容の科目の重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目
卒業論文	卒業論文1 卒業論文2

2013年度以前の開講科目	2014年度以降の開講科目
ドイツ語I	ドイツ語I a ドイツ語I b
ドイツ語II	ドイツ語II a ドイツ語II b

⑥ 学則第40条について

学則第40条に基づき、連続する2年間において合計32単位以上修得できなかった者は、退学となる。

学部
共通

哲

史

国

文
英

文
ド
イ
ツ
文
フ
ラ
ン
ス
文

新
聞

⑦ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑧ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧[共通編] p.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
ART	ART	ドイツ芸術, ドイツ文化論
GES	GERMAN STUDIES	ドイツ学, ドイツ語圏地域研究
GMN	GERMAN	ドイツ語
GRP	GRADUATION PROJECT	卒業論文
LIT	LITERATURE	ドイツ文学
LNG	LINGUISTICS	ドイツ語学, 言語学
SEM	SEMINAR	文献演習
TEM	TEACHING METHODS	教職: 教科教育法

⑨ 文学部横断型人文学プログラムについて

2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること。

4. 開講科目担当表

学科科目（必修科目）・・・15年次生以降 42単位・14年次生以前 44単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	外国語	220602	GMN101	ドイツ語 I a	6	春 北島玲子 佐藤朋之 *RENDLER Roman *MEYER Thomas	1		Aクラス	
		220603	GMN102	ドイツ語 I b	6	秋 北島玲子 佐藤朋之 *RENDLER Roman *MEYER Thomas	1		Aクラス	
		220602	GMN101	ドイツ語 I a	6	春 中村朝子 中井真之 ZEMSAUER Christian	1		Bクラス	
		220603	GMN102	ドイツ語 I b	6	秋 中村朝子 中井真之 ZEMSAUER Christian	1		Bクラス	
		220702	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 三輪玲子	2		Aクラス	
		220703	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 三輪玲子	2		Aクラス	
		220702	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 北島玲子 佐藤朋之	2		Bクラス	
		220703	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 北島玲子 佐藤朋之	2		Bクラス	
		220802	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 岩崎大輔 *清水紀子	2		Aクラス	
		220803	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 岩崎大輔 *清水紀子	2		Aクラス	
		220802	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 高橋明彦	2		Bクラス	
		220803	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 高橋明彦	2		Bクラス	
		220902	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 CONSTANTINESCU Cezar	2		Aクラス	
		220903	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 CONSTANTINESCU Cezar	2		Aクラス	
		220902	GMN201	ドイツ語 II a	2	春 *RENDLER Roman	2		Bクラス	
		220903	GMN202	ドイツ語 II b	2	秋 *RENDLER Roman	2		Bクラス	
		220951	GMN203	ドイツ語 II b (在外履修)	6	休講	ドイツ文学科教員	2		在外履修を認められた者のみ履修登録可 注1
		220109	LIT101	ドイツ文学入門1	2	春	中村朝子	1		
		220110	LIT102	ドイツ文学入門2	2	秋	中村朝子	1		
		220410	LIT201	ドイツ文学研究基礎1	2	春	中井真之	2		
		220411	LIT202	ドイツ文学研究基礎2	2	秋	中井真之	2		
		220413	LIT203	ドイツ文学研究基礎2 (在外履修)	2	休講	ドイツ文学科教員	2		在外履修を認められた者のみ履修登録可 注1
		220412	GMN301	ドイツ現代文化論	2	春	*RENDLER Roman	3	○	Aクラス
		220412	GMN301	ドイツ現代文化論	2	春	ZEMSAUER Christian	3	○	Bクラス
		220414	GMN303	ドイツ現代文化論 (在外履修)	2	休講	ドイツ文学科教員	2		在外履修を認められた者のみ履修登録可 注1
		220408	GES401	ドイツ文化・思想史1	2	春	ZEMSAUER Christian	3・4	○	
		220409	GES402	ドイツ文化・思想史2	2	秋	ZEMSAUER Christian	3・4	○	
		220501	GRP400	卒業論文1	2	春	ドイツ文学科教員	4		15年次生以降対象, 旧「卒業論文」
		220502	GRP401	卒業論文2	2	秋	ドイツ文学科教員	4		15年次生以降対象, 旧「卒業論文」
		220503	GRP402	卒業論文1	3	春	ドイツ文学科教員	4		14年次生まで対象, 旧「卒業論文」
220504	GRP403	卒業論文2	3	秋	ドイツ文学科教員	4		14年次生まで対象, 旧「卒業論文」		

注1 「ドイツ語 IIb (在外履修)」(6単位), 「ドイツ文学研究基礎2 (在外履修)」(2単位), 「ドイツ現代文化論 (在外履修)」(2単位) は、ハイน์リヒ・ハイネ (デュッセルドルフ) 大学で開講される所定のドイツ語の授業を受講し、本学科において単位認定を受けることによって、計10単位が一括して単位換算される。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

学科科目A群・B群（選択必修科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目A群	224402	SEM311	文献演習Ⅰa	2	春	佐藤 朋之	3・4	+
		224403	SEM312	文献演習Ⅰb	2	秋	佐藤 朋之	3・4	+
		224502	SEM321	文献演習Ⅱa	2	春	三輪 玲子	3・4	+
		224503	SEM322	文献演習Ⅱb	2	秋	三輪 玲子	3・4	+
		224602	SEM331	文献演習Ⅲa	2	春	岩崎 大輔	3・4	+
		224603	SEM332	文献演習Ⅲb	2	秋	岩崎 大輔	3・4	+
		224703	SEM341	文献演習Ⅳa	2	春	ZEMSAUER Christian	3・4	○+
		224704	SEM342	文献演習Ⅳb	2	秋	ZEMSAUER Christian	3・4	○+
		224804	SEM351	文献演習Ⅴa	2	春	北島 玲子	3・4	+
		224805	SEM352	文献演習Ⅴb	2	秋	北島 玲子	3・4	+
		224903	SEM361	文献演習Ⅵa	2	春	中村 朝子	3・4	+
		224904	SEM362	文献演習Ⅵb	2	秋	中村 朝子	3・4	+
		225002	SEM371	文献演習Ⅶa	2	春	中井 真之	3・4	+
		225003	SEM372	文献演習Ⅶb	2	秋	中井 真之	3・4	+
		225105	SEM381	文献演習Ⅷa	2	春	*MEYER Thomas	3・4	○+
225106	SEM382	文献演習Ⅷb	2	休講		3・4	○+		
学科科目B群	(1)ドイツ文学研究系列								
	226001	LIT311	ドイツ文学研究Ⅰa	2	春	高橋 明彦	3・4	+	
	226002	LIT312	ドイツ文学研究Ⅰb	2	秋	高橋 明彦	3・4	+	
	226003	LIT321	ドイツ文学研究Ⅱa	2	春	佐藤 朋之	3・4	+	
	226004	LIT322	ドイツ文学研究Ⅱb	2	休講		3・4	+	
	226005	LIT331	ドイツ文学研究Ⅲa	2	春	中村 朝子	3・4	+	
	226006	LIT332	ドイツ文学研究Ⅲb	2	秋	中村 朝子	3・4	+	
	226007	LIT341	ドイツ文学研究Ⅳa	2	春	北島 玲子	3・4	+	
	226008	LIT342	ドイツ文学研究Ⅳb	2	秋	北島 玲子	3・4	+	
	226009	LIT351	ドイツ文学研究Ⅴa	2	春	三輪 玲子	3・4	+	
	226010	LIT352	ドイツ文学研究Ⅴb	2	秋	三輪 玲子	3・4	+	
	(2)ドイツ文化研究系列								
	226031	ART311	ドイツ文化研究Ⅰa	2	春	*佐藤 直樹	3・4	+	
	226032	ART312	ドイツ文化研究Ⅰb	2	秋	*尾関 幸	3・4	+	
	226033	ART321	ドイツ文化研究Ⅱa	2	休講		3・4	+	
	226034	ART322	ドイツ文化研究Ⅱb	2	休講		3・4	+	
	226035	ART331	ドイツ文化研究Ⅲa	2	春	三輪 玲子	3・4	+	
	226036	ART332	ドイツ文化研究Ⅲb	2	秋	三輪 玲子	3・4	+	
	226037	GES341	ドイツ文化研究Ⅳa (日独文化交流)	2	休講		3・4	○+ [30名] (初回の授業で選抜する)	
	226038	GES342	ドイツ文化研究Ⅳb (地域研究)	2	秋	*佐藤 るみ子	3・4	+	
	(3)ドイツ語学研究系列								
	226061	LNG311	ドイツ語学研究Ⅰa	2	秋	高橋 明彦	3・4	+	
	226062	LNG312	ドイツ語学研究Ⅰb	2	秋	*畑 澤 裕子	3・4	+	
	226063	TEM321	ドイツ語学Ⅱa (ドイツ語科教育法1)	2	春	高橋 亮介	2~4	ドイツ語学科との合併科目	
	226064	TEM322	ドイツ語学Ⅱb (ドイツ語科教育法2)	2	秋	高橋 亮介	2~4		
	226065	TEM323	ドイツ語学Ⅱc (ドイツ語科教育法3)	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○ 隔年開講 ドイツ語学科との合併科目	
	226074	TEM324	ドイツ語学Ⅱd (ドイツ語科教育法4)	2	休講		2~4	○ 隔年開講 ドイツ語学科との合併科目	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	学科科目B群	226071	LNG331	ドイツ語学研究Ⅲa (異文化間コミュニケーション)	2	春	*米山 かおる	2~4	○	外国語学部との合併科目
		226067	LNG332	ドイツ語学研究Ⅲb (ドイツ語通訳入門A)	2	春	*中山 純	2~4		隔年開講 外国語学部との合併科目 (初回の授業で選抜する)
		226068	LNG333	ドイツ語学研究Ⅲc (ドイツ語通訳入門B)	2	休講		2~4		隔年開講 外国語学部との合併科目 (初回の授業で選抜する)
		226069	LNG341	ドイツ語学研究Ⅳa	2	春	中井 真之	3・4		+
		226070	LNG342	ドイツ語学研究Ⅳb	2	秋	佐藤 朋之	3・4		+

学科科目C群（選択科目）・・・24単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考			
選択科目	学科科目C群	他学科開講科目 注1	127206	PHL330	美学Ⅰ	2				(他) 哲学科		
			127207	PHL331	美学Ⅱ	2				(他) 哲学科		
			125701	PHL240	古代哲学史	4				(他) 哲学科		
			128301	PHL241	中世哲学史	4				(他) 哲学科		
			128110	PHL242	近世哲学史	4				(他) 哲学科		
			128005	PHL312	現代哲学	2				(他) 哲学科		
			127905	PHL332	芸術学Ⅰ	2				(他) 哲学科		
			127906	PHL333	芸術学Ⅱ	2				(他) 哲学科		
			170530	HST336	歴史学特講(西洋中世史)	2				(他) 史学科		
			170560	HST337	歴史学特講(西洋近現代政治社会史)	2				(他) 史学科		
			558880	FUC351	西美術史概論	2				(他) 外国語学部		
						外国語学部研究コース開講のうち、ドイツ語学、ドイツ語圏関係科目。 詳細は次頁の別表1を参照すること				2~4		(他) 外国語学部
					文学部横断型人文学プログラム	「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること						24単位まで選択科目に算入可
		他学部他学科科目・課程科目 (実習を除く)	各開講科目担当表を参照			2~4						

注1 本学科の推薦する他学科開講科目。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

別表1：学科科目C群（選択科目）に算入できる外国語学部開講科目

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講元
530530	FLM451	演習(語の意味と語法) 1	2	外国語学部
530540	FLM452	演習(語の意味と語法) 2	2	外国語学部
530570	FLN431	演習(応用言語学・日本におけるドイツ語教育) 1	2	外国語学部
530580	FLN432	演習(応用言語学・日本におけるドイツ語教育) 2	2	外国語学部
532028	FDA131	ドイツ語圏研究D	2	外国語学部ドイツ語学科
534623	FLT302	独日翻訳入門A	2	外国語学部
534624	FLT303	独日翻訳入門B	2	外国語学部
537207	FUS411	演習(日独社会研究) 1	2	外国語学部
537208	FUS412	演習(日独社会研究) 2	2	外国語学部
537211	FUC423	演習(比較文化論) 1	2	外国語学部
537212	FUC424	演習(比較文化論) 2	2	外国語学部
537213	FUP401	演習(日独比較政治) 1	2	外国語学部
537214	FUP402	演習(日独比較政治) 2	2	外国語学部
537215	FLM431	演習(日独音声学・音韻論) 1	2	外国語学部
537216	FLM432	演習(日独音声学・音韻論) 2	2	外国語学部
537509	FUS312	ドイツ語圏の社会と言語	2	外国語学部
537511	FUS303	ヨーロッパの社会と言語 A	2	外国語学部
537919	FUP302	ヨーロッパ政治経済論	2	外国語学部
538204	FUS401	演習(ドイツ思想) 1	2	外国語学部
538205	FUS402	演習(ドイツ思想) 2	2	外国語学部
538308	FUP312	EU-法と社会	2	外国語学部
538501	FUC312	ドイツ語圏美術	2	外国語学部
538701	FLN319	異文化間コミュニケーション1	2	外国語学部
538702	FLN320	異文化間コミュニケーション2	2	外国語学部
538705	FUS331	ヨーロッパ思想	2	外国語学部
538706	FUJ311	スイス社会事情	2	外国語学部
539301	FLM304	ドイツ文法	2	外国語学部
539302	FUH301	ドイツ近現代史	2	外国語学部
539303	FUC321	ドイツ音楽	2	外国語学部
539304	FUF301	日独経済比較研究	2	外国語学部
539305	FUC331	オーストリア文化史	2	外国語学部
539307	FUP321	ドイツ政治研究	2	外国語学部

フランス文学科

〔教育研究上の目的〕

読む・書く・聞く・話すという4つのフランス語運用能力を総合的に習得させるとともに、文学を中心に、フランス文化に関する深い教養を身につけさせること

〔人材養成の目的〕

高度なフランス語運用能力とフランス文化に関する教養を備え、複眼的思考と異質なものへの寛容さを身につけた、国際的な場でも活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、フランス語の修得、及びフランス語圏の文学を中心に、様々な文化・社会事象の学習を通じて、複眼的思考や批判的精神や創造性を備えた人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 文学や芸術・文化に対する関心と理解力
2. 仕事や研究や社会貢献に役立つフランス語運用能力
3. 情報や知識を能動的に獲得し、それを客観的かつ多角的に分析する思考力
4. 自分の意見や研究の成果を、口頭や文書で的確に構成する力と、わかりやすく伝える表現力
5. 自発的に課題を見出し、解決してゆくための総合的な力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、入学から卒業まで、専任教員が継続的に学生の知的成長に寄り添い、ひとりひとりの個性を尊重しながらその能力を伸ばしてゆくことができるよう、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 1・2年次のフランス語教育においては、小人数のクラス編成により、読む・聞く・書く・話す能力をバランスよく養成する。また人文学研究に必要な知識や方法論と、口頭発表や論文作成に必要な技術やアカデミック・リテラシーを身につけさせる。
2. 3・4年次には、文学テキストの精読や文学研究に加え、高度な実践的フランス語運用能力を修得するための科目や、美術、舞台芸術、映画、思想、社会など、様々な領域に関わる科目を開講し、個々の学生が自らの関心に応じて、文化・社会事象を探求できる力を養成する。
3. 卒業論文を必修科目として、4年間に修得したあらゆる知識や分析力を総合的に活用させる。
4. 4年間の学習における教育目標の一貫性、および教育プログラムの継続性と発展性を重視する。またいずれの段階においても、一方的な知識伝達に終始することなく、学生の資料収集能力や読解力、表現力、協調性をのばすための実践的な教育を重視する。
5. 高度なフランス語力とフランス及びフランス語圏の文化や社会に関する知識を身につけ、英語・日本語以外の言語による情報の収集と発信、及び異文化社会間の相互理解や協力関係の深まりに寄与する人材を育成する。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

18年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		学科専門科目 (必修42単位，選択必修22単位，選択30単位)
合計	124単位		

15～17年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		学科専門科目 (必修44単位，選択必修22単位，選択28単位)
合計	124単位		

14年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	96単位		学科専門科目 (必修44単位，選択必修24単位，選択28単位)
合計	126単位		

12・13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位	
学科科目	96単位		(必修44単位，選択必修24単位，選択28単位)
合計	126単位		

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【共通編】p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (42単位)	専門基礎フランス語A	12	専門基礎フランス語B	6	特修フランス語 I	2	卒業論文 I	1
		フランス文学史A	2	専門基礎フランス語C	6			特修フランス語 II	2
		フランス文学史B	2	フランス文学研究入門A	2				
			フランス文学研究入門B	2					
選択必修 (22単位)			「フランスの歴史と文化」または「現代のフランス」	2	文学研究系列	}	フランス文学研究1~7	4	
							文献演習A	4	
							文献演習B	6	
			語学研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)					4	
			フランス文化研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)					2	
選択 (30単位)			①選択必修科目からの過剰単位 ②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目 ③文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目(外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む)、学科が指定した英語選択科目は、20単位まで卒業に必要な単位として算入できる。					30	

学部共通

哲

史

国

文

英

文

ドイツ文

フランス文

新

聞

15～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (44単位)	専門基礎フランス語A フランス文学史A フランス文学史B	12 2 2	専門基礎フランス語B 専門基礎フランス語C フランス文学研究入門A フランス文学研究入門B	6 6 2 2	特修フランス語 I 特修フランス語 II	2 2	卒業論文 I 卒業論文 II 卒業論文演習A 卒業論文演習B	1 3 2 2
	選択必修 (22単位)		「フランスの歴史と文化」または「現代のフランス」	2	文学研究系列		フランス文学研究1～7 文献演習A 文献演習B	4 4 6	
								語学研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)	4
								フランス文化研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)	2
選択 (28単位)			①選択必修科目からの過剰単位 ②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目 ③文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目(外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む)、学科が指定した英語選択科目は、20単位まで卒業に必要な単位として算入できる。					28	

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧〔共通編〕p.162を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	必修 (44単位)	専門基礎フランス語A	12	専門基礎フランス語B	6	特修フランス語 I 特修フランス語 II	卒業論文 I *	1
		フランス文学史A	2	専門基礎フランス語C	6		卒業論文 II *	3
		フランス文学史B	2	フランス文学研究入門A	2		卒業論文演習A	2
			2	フランス文学研究入門B	2		卒業論文演習B	2
	選択必修 (24単位)		4	「歴史と文学」 または 「現代のフランス」	4	文学研究系列	フランス文学研究 I ~ V 文献演習A 文献演習B	4 4 6
	選択 (28単位)			フランス文化研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)				2
				①選択必修科目からの過剰単位 ②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目 ③文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目(外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む)、学科が指定した英語選択科目は、20単位まで卒業に必要な単位として算入できる。				28

*「卒業論文」は2015年に「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」に分割された。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

12・13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	国語または漢文(2単位)を履修することが望ましい						
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	必修 (44単位)	専門基礎フランス語A フランス文学史A フランス文学史B	12 2 2	専門基礎フランス語B 専門基礎フランス語C フランス文学研究入門A フランス文学研究入門B	6 6 2 2	特修フランス語 I 特修フランス語 II	2 2	卒業論文 I* 卒業論文 II* 卒業論文演習A 卒業論文演習B	1 3 2 2
	選択必修 (24単位)		「歴史と文学」 または 「現代のフランス」	4	文学研究系列 語学研究系列		フランス文学研究 I～VI 文献演習A 文献演習B	4 4 6	
			フランス文化研究系列(ただし、履修可能年次はフランス文学科「開講科目担当表」の記載による)						2
	選択 (28単位)		①選択必修科目からの過剰単位 ②フランス文学科「開講科目担当表」掲載の他学科科目 ③フランス語学科「開講科目担当表」掲載科目(ただし他学科開講科目を除く) ④文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目(外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む)は、20単位まで卒業に必要な単位として算入できる。						28

*「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文 I」「卒業論文 II」に分割された。

3. 履修上の注意

15年次生以降

① 学科科目について

- (1) 専門基礎フランス語A-1・2は、1年次に履修しなければならない。また専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2は2年次に履修しなければならない。
- (2) 専門基礎フランス語A-1の単位を修得していなければ、専門基礎フランス語A-2を履修することはできない。
- (3) 前年度までに専門基礎フランス語A-1・2の単位を修得していなければ、専門基礎フランス語B-1、C-1を履修することはできない。
- (4) 前年度までに専門基礎フランス語A-1・2および専門基礎フランス語C-1・2の単位をすべて修得していなければ、特修フランス語Ⅰ・Ⅱを履修することはできない。
- (5) 専門基礎フランス語A-1・2、B-1・2、C-1・2および特修フランス語Ⅰ・Ⅱは、指定されたクラスを受講すること。原則として秋学期からのクラス変更は認めない。どうしても変更したい理由がある場合は、必ず学科長に申し出て許可を得ること。
- (6) 選択必修科目22単位は、「フランスの歴史と文化」または「現代のフランス」から2単位、フランス文学研究1～7から4単位、文献演習Aから4単位、文献演習Bから6単位、語学研究系列から4単位、フランス文化研究系列から2単位を履修すること。
- (7) 2年次までに専門基礎フランス語A・B・Cの単位をすべて修得していない場合、履修年次が3・4年生に指定されている選択必修科目については、以下の範囲でのみ履修することができる。
 - (a) 専門基礎フランス語A-1・2、B-1・2の単位をすべて修得した場合、次の科目を合計16単位まで履修することができる：フランス文学研究1～7、文献演習B、フランス語学研究系列（フランス語論文演習、仏和通訳演習を除く）、フランス文化研究系列。
 - (b) 専門基礎フランス語A-1・2、C-1・2の単位をすべて修得した場合、次の科目を合計16単位まで履修することができる：特修フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス文学研究1～7、文献演習A、フランス語学研究系列、フランス文化研究系列。
 - (c) 専門基礎フランス語A-1・2のみ、あるいは専門基礎フランス語A-1・2に加えて専門基礎フランス語B-1またはB-2のいずれか、あるいは専門基礎フランス語C-1またはC-2のいずれかの単位のみを修得した場合、次の科目を合計10単位まで履修することができる：フランス文学研究1～7、フランス文化研究系列。
- (8) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (9) 学科選択科目は、①選択必修科目からの過剰単位②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目③文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目（外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む）、学科が指定した英語選択科目で充当することができる。ただし、③で充当できるのは20単位までである。
- (10) 卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）を履修するためには、原則として前年度までに専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2および特修フランス語Ⅰ・Ⅱを修得していなければならない。ただし、前年度までに特修フランス語Ⅰ・Ⅱが未履修でも、専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2をすべて修得済みの場合は、履修することができる。
- (11) 卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）は必修科目であるが、卒業論文と同じく、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
 - (a) 卒業論文を履修中止する場合は、原則として卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）も同時に履修中止する。ただし、特別な事情がある場合は卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）のみ履修を継続することも認める。
 - (b) 卒業論文を履修中止せず、卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）のみ履修中止することは認めない。
- (12) 卒業論文演習A・B（2018年次生以降は卒業論文演習）の単位を修得していない、または修得の見込みのない者は、卒業論文を提出することはできない。
- (13) 既習者には別途カリキュラムが設けられているので、詳細は学科事務室で確認すること。
- (14) 履修上の注意を守らずに履修登録をした場合は、履修中止を求める。

② その他

- (1) フランス文学科「開講科目担当表」の備考欄に＋印のついた科目は、二度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる。ただし、他学科開講科目については、開講元の規定に従う。
- (2) 科目名が変更になった科目については、以下の対応表に基づいて卒業に必要な単位等を換算すること。

変更年度	変更以前の科目名	対応科目名	旧科目との重複履修
2017年度	舞台芸術論	舞台芸術論Ⅰ・Ⅱ	可

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
ッ

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

- (3) 4年次生は、授業担当教員および専攻主任の許可を得て、大学院文学研究科フランス文学専攻の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既習得単位として認定される。
ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので注意すること。

③ 卒業論文について

- (1) 他の科目同様に履修登録しなければならない。
- (2) 原則として「卒業論文Ⅰ」(1単位)は春学期に、「卒業論文Ⅱ」(3単位)は秋学期に履修する。「卒業論文Ⅱ」を履修するためには、「卒業論文Ⅰ」の単位を修得していなければならない。ただし、留学から戻った学生が当該年度内での卒業を希望する場合など特別な事情のある場合は、学科長の許可により、2科目の同時履修が認められることがある。
- (3) 「卒業論文Ⅰ」の評価には、P(合格)、X(不合格)を使用する。
- (4) 3年次の1月に開催される卒業論文ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスにおいて、諸注意事項等が説明される。そして年度初の4年次生学科ガイダンスの時に、卒業論文を執筆する者はそのテーマを提出しなくてはならない。
- (5) 装丁について
 - ア 規格 A4判横書
 - イ 綴じ方 黒表紙
 - ウ ワープロの使用可
- (6) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示します。
 - イ 場所 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示します。
 - ウ 時間 Loyola学事センター(教務)掲示板に掲示します。
- (7) 卒業論文は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止(W)を認める。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。
- (注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧〔共通編〕p.26を参照すること。

分野名(アルファベット)	分野名(英語)	分野名(日本語)
FCL	French Culture	フランス文化
FGP	French Graduate Project	卒業論文・演習
FLG	French Language	フランス語
FLT	French Literature	フランス文学

⑥ 文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」、p.28を参照すること。

12～14年次生

① 学科科目について

- (1) 専門基礎フランス語A-1・2は、1年次に履修しなければならない。また専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2は2年次に履修しなければならない。
- (2) 専門基礎フランス語A-1の単位を修得していなければ、専門基礎フランス語A-2を履修することはできない。
- (3) 前年度までに専門基礎フランス語A-1・2の単位を修得していなければ、専門基礎フランス語B-1、C-1を履修することはできない。
- (4) 前年度までに専門基礎フランス語A-1・2および専門基礎フランス語C-1・2の単位をすべて修得していなければ、特修フランス語Ⅰ・Ⅱを履修することはできない。
- (5) 専門基礎フランス語A-1・2、B-1・2、C-1・2および特修フランス語Ⅰ・Ⅱは、指定されたクラスを受講すること。原則として秋学期からのクラス変更は認めない。どうしても変更したい理由がある場合は、必ず学科長に申し出て許可を得ること。
- (6) 選択必修科目24単位は、「歴史と文学」または「現代のフランス」から4単位、フランス文学研究Ⅰa～Ⅴbから4単位、文献演習Aから4単位、文献演習Bから6単位、語学研究系列から4単位、フランス文化研究系列から2単位を履修すること。
- (7) 2年次までに専門基礎フランス語A・B・Cの単位をすべて修得していない場合、履修年次が3・4年生に指定されている選択必修科目については、以下の範囲でのみ履修することができる。
 - (a) 専門基礎フランス語A-1・2、B-1・2の単位をすべて修得した場合、次の科目を合計16単位まで履修することができる：フランス文学研究Ⅰa～Ⅴb、文献演習B、フランス語学研究系列（フランス語論文演習、仏和通訳演習を除く）、フランス文化研究系列。
 - (b) 専門基礎フランス語A-1・2、C-1・2の単位をすべて修得した場合、次の科目を合計16単位まで履修することができる：特修フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス文学研究Ⅰa～Ⅴb、文献演習A、フランス語学研究系列、フランス文化研究系列。
 - (c) 専門基礎フランス語A-1・2のみ、あるいは専門基礎フランス語A-1・2に加えて専門基礎フランス語B-1またはB-2のいずれか、あるいは専門基礎フランス語C-1またはC-2のいずれかの単位のみを修得した場合、次の科目を合計10単位まで履修することができる：フランス文学研究Ⅰa～Ⅴb、フランス文化研究系列。
- (8) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (9) 【14年次生】
 学科選択科目は、①選択必修科目からの過剰単位②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目③文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科の学科科目（外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む）、学科が指定した英語選択科目で充当することができる。ただし、③で充当できるのは20単位までである。

【12・13年次生】

- 学科選択科目は、①選択必修科目からの過剰単位②フランス文学科「開講科目担当表」所載の他学科科目③フランス語学科開講科目（そのうちの他学科開講科目を除く）④文学部横断型人文学プログラム、他学部・他学科科目（外国語科目を除く。実習を除く課程科目、国際教養学部サマーセッション科目を含む）で充当することができる。ただし、④で充当できるのは20単位までである。
- (10) 卒業論文演習A・Bを履修するためには、原則として前年度までに専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2および特修フランス語Ⅰ・Ⅱを修得していなければならない。ただし、前年度までに特修フランス語Ⅰ・Ⅱが未履修でも、専門基礎フランス語B-1・2、C-1・2をすべて修得済みの場合は、履修することができる。
 - (11) 卒業論文演習A・Bは必修科目であるが、卒業論文と同じく、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
 - (a) 卒業論文を履修中止する場合は、原則として卒業論文演習A・Bも同時に履修中止する。ただし、特別な事情がある場合は卒業論文演習A・Bのみ履修を継続することも認める。
 - (b) 卒業論文を履修中止せず、卒業論文演習A・Bのみ履修中止することは認めない。
 - (12) 卒業論文演習A・Bの単位を修得していない、または修得の見込みのない者は、卒業論文を提出することはできない。
 - (13) 既習者には別途カリキュラムが設けられているので、詳細は学科事務室で確認すること。
 - (14) 履修上の注意を守らずに履修登録をした場合は、履修中止を求める。

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
ッ
ク

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

② その他

- (1) フランス文学科「開講科目担当表」の備考欄に+印のついた科目は、二度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる。ただし、他学科開講科目については、開講元の規定に従う。
- (2) 科目名が変更になった科目については、以下の対応表に基づいて卒業に必要な単位等を換算すること。

変更年度	変更以前の科目名	対応科目名	旧科目との重複履修
2016年度	歴史と文学Ⅰ・Ⅱ	フランスの歴史と文化 *注	可
2016年度	現代のフランスⅠ・Ⅱ	現代のフランス *注	可
2017年度	フランス文学研究Ⅰa～Vb	フランス文学研究1～7	可
2017年度	舞台芸術論	舞台芸術論Ⅰ・Ⅱ	可

注 選択必修の「歴史と文学」または「現代のフランス」4単位のうち、いずれの単位も修得していない者は、「フランスの歴史と文化」および「現代のフランス」の両方を履修する。
「歴史と文学Ⅰ・Ⅱ」ないし「現代のフランスⅠ・Ⅱ」のいずれか2単位のみ修得済みの者は、「現代のフランス」または「フランスの歴史と文化」のいずれかを履修する。

- (3) 下記の科目は年次によって履修度が異なるので、注意すること。

科目名	12年次生以前	13年次生以降
国際関係論A（フランスとEU） 旧フランス文化研究B-1（フランス政治研究）	学科選択科目 （フランス文学科開講科目として）	学科選択必修科目 （フランス文化研究系列）

- (4) 4年次生は、授業担当教員および専攻主任の許可を得て、大学院文学研究科フランス文学専攻の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既習得単位として認定される。
ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので注意すること。

③ 卒業論文について

- (1) 他の科目同様に履修登録しなければならない。
- (2) 2015年度より、「卒業論文」は通年科目からセメスター制に変更した。原則として「卒業論文Ⅰ」（1単位）は春学期に、「卒業論文Ⅱ」（3単位）は秋学期に履修する。「卒業論文Ⅱ」を履修するためには、「卒業論文Ⅰ」の単位を修得していなければならない。ただし、留学から戻った学生が当該年度内での卒業を希望する場合など特別な事情のある場合は、学科長の許可により、2科目の同時履修が認められることがある。
- (3) 「卒業論文Ⅰ」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (4) 3年次の1月に開催される卒業論文ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスにおいて、諸注意事項等が説明される。そして年度初の4年次生学科ガイダンスの時に、卒業論文を執筆する者はそのテーマを提出しなくてはならない。
- (5) 装丁について
 - ア 規格 A4判横書
 - イ 綴じ方 黒表紙
 - ウ ワープロの使用可
- (6) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
 - イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
 - ウ 時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- (7) 卒業論文は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、要覧〔共通編〕p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
FCL	French Culture	フランス文化
FGP	French Graduate Project	卒業論文・演習
FLG	French Language	フランス語
FLT	French Literature	フランス文学

⑥ 学部横断プログラムについて

15年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること。

学
部
共
通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

4. 開講科目担当表

12～18年次生

学科科目（必修科目）・・・〈18年次生〉42単位
 〈12～17年次生〉44単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	240605	FLG101	専門基礎フランス語A-1	6	春	PEYRON Bruno 小倉博孝 *VANSINTEJAN Catherine *猪口好彦	1		Aクラス
						*DELMAZURE Raoul 博多かおる *VANSINTEJAN Catherine *猪口好彦	1		Bクラス
	240606	FLG102	専門基礎フランス語A-2	6	秋	DESPREZ Michaël 小倉博孝 *VANSINTEJAN Catherine *猪口好彦	1		Aクラス
						*DELMAZURE Raoul 博多かおる *VANSINTEJAN Catherine *猪口好彦	1		Bクラス
	240702	FLG201	専門基礎フランス語B-1	3	春	*山上昌子 吉村和明	2		Aクラス
						*山上昌子 福田耕介	2		Bクラス
	240703	FLG202	専門基礎フランス語B-2	3	秋	*山上昌子 福田耕介	2		Aクラス
						*山上昌子 吉村和明	2		Bクラス
	240802	FLG211	専門基礎フランス語C-1	3	春	PEYRON Bruno 永井敦子	2		Aクラス
						DESPREZ Michaël 永井敦子	2		Bクラス
	240803	FLG212	専門基礎フランス語C-2	3	秋	PEYRON Bruno 永井敦子	2		Aクラス
						DESPREZ Michaël 永井敦子	2		Bクラス
	240113	FLG301	特修フランス語Ⅰ	2	春	PEYRON Bruno *DIOT Rodolphe	3		Aクラス
						休講			Cクラス
	240114	FLG302	特修フランス語Ⅱ	2	秋	PEYRON Bruno *DIOT Rodolphe	3		Aクラス
						休講			Cクラス
240111	FLT101	フランス文学史A	2	春	小倉博孝	1			
240112	FLT102	フランス文学史B	2	秋	永井敦子	1			
240120	FLT201	フランス文学研究入門A	2	春	澤田肇	2			
240121	FLT202	フランス文学研究入門B	2	秋	福田耕介	2			

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	240102	FGP401	卒業論文演習A	2	秋	フランス文学科教員	4	○	
	240103	FGP402	卒業論文演習B	2	秋	フランス文学科教員	4		
	240099	FGP403	卒業論文演習	2	休講	フランス文学科教員	4		2021年度開講
	240104	FGP412	卒業論文Ⅰ	1	春	フランス文学科教員	4		
	240104	FGP412	卒業論文Ⅰ	1	秋	フランス文学科教員	4		
	240105	FGP413	卒業論文Ⅱ	3	春	フランス文学科教員	4		
	240105	FGP413	卒業論文Ⅱ	3	秋	フランス文学科教員	4		

学科学目（選択必修科目）・・・〈15～18年次生〉22単位
 〈12～14年次生〉24単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	フランス文学研究系列	240132	FCL211	フランスの歴史と文化	2	春	DESPREZ Michaël	2	○	[55名]
		240142	FCL212	現代のフランス	2	秋	PEYRON Bruno	2	○	[40名]
	240353	FLT311	フランス文学研究1	2	春	小倉博孝	3・4		+	
	240354	FLT312	フランス文学研究2	2	秋	澤田肇	3・4		+	
	240355	FLT313	フランス文学研究3	2	春	吉村和明	3・4		+	
	240356	FLT314	フランス文学研究4	2	春	福田耕介	3・4		+	
	240357	FLT315	フランス文学研究5	2	秋	永井敦子	3・4		+	
	240358	FLT316	フランス文学研究6	2	秋	博多かおる	3・4		+	
	240359	FLT317	フランス文学研究7	2	休講		3・4		+	
	240501	FLT321	文献演習A1	2	休講		3・4	○	+	
	240502	FLT322	文献演習A2	2	秋	PEYRON Bruno	3・4	○	+[40名]	
	240503	FLT323	文献演習A3	2	春	*DIOT Rodolphe	3・4	○	+	
	240504	FLT324	文献演習A4	2	秋	*DELMASURE Raoul	3・4	○	+	
	240505	FLT325	文献演習A5	2	春	DESPREZ Michaël	3・4	○	+	
	240506	FLT326	文献演習A6	2	休講		3・4	○	+	
	240521	FLT331	文献演習B1	2	春	福田耕介	3・4		+	
	240522	FLT332	文献演習B2	2	秋	福田耕介	3・4		+	
	240523	FLT333	文献演習B3	2	春	博多かおる	3・4		+	
	240524	FLT334	文献演習B4	2	秋	博多かおる	3・4		+	
	240525	FLT335	文献演習B5	2	春	吉村和明	3・4		+	
	240526	FLT336	文献演習B6	2	秋	吉村和明	3・4		+	
	240527	FLT337	文献演習B7	2	春	小倉博孝	3・4		+	
	240528	FLT338	文献演習B8	2	秋	小倉博孝	3・4		+	
	240529	FLT339	文献演習B9	2	春	永井敦子	3・4		+	
	240530	FLT340	文献演習B10	2	春	澤田肇	3・4		+	
	フランス語学研究系列	247503	FLG311	フランス語学概説	2	春	博多かおる	2～4		隔年開講
		247210	FLG312	和仏翻訳演習Ⅰ	2	春	*BRANCOURT Vincent	3・4	○	+
		247211	FLG313	和仏翻訳演習Ⅱ	2	秋	*BRANCOURT Vincent	3・4	○	+
		249407	FLG319	フランス語論文演習	2	春	DESPREZ Michaël	3・4	○	[30名]
		249503	FLG314	実用フランス語演習	2	休講		3・4		+隔年開講
		247414	FLG315	英仏翻訳演習Ⅰ	2	春	DESPREZ Michaël	3・4	○	+
		247415	FLG316	英仏翻訳演習Ⅱ	2	秋	DESPREZ Michaël	3・4	○	+
		247305	FLG317	仏和通訳演習Ⅰ	2	春	*岡本和子	3・4		+[30名]
247306	FLG318	仏和通訳演習Ⅱ	2	秋	*岡本和子	3・4		+[30名]		

学部共通
 哲
 史
 国
 文
 英
 文
 ドイツ文
 フランス文
 新
 聞

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	フランス文化研究系列	247720	FCL301	フランス美術論Ⅰ	2	春	吉村和明	2～4	隔年開講 [120名]
		247721	FCL302	フランス美術論Ⅱ	2	休講		2～4	隔年開講
		247732	FCL308	舞台芸術論Ⅰ	2	春	澤田肇	2～4	隔年開講 [120名]
		247733	FCL309	舞台芸術論Ⅱ	2	休講		2～4	隔年開講
		247705	FCL304	フランス映画論Ⅰ	2	春	*兼子正勝	2～4	[80名]
		247706	FCL305	フランス映画論Ⅱ	2	秋	*兼子正勝	2～4	[80名]
		247711	FCL307	現代フランス社会論	2	休講		3・4	
		548326	FUS340	フランス語圏宗教研究概論	2				(他) 外国語学部
		548327	FUS342	フランス語圏宗教研究特論	2				(他) 外国語学部
		548328	FUS343	フランス宗教社会学	2				(他) 外国語学部
		547870	FUC341	フランス近代芸術の歴史と理論	2				(他) 外国語学部
		970745	THE238	キリスト教の美術Ⅰ	2				(他) 神学部
		970746	THE239	キリスト教の美術Ⅱ	2				(他) 神学部

学科科目（選択科目）・・・〈18年次生〉30単位
 〈12～17年次生〉28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	他学科開講科目	547342	FFE201	フランス語科教育法A	2				(他) フランス語学科
		547343	FFE301	フランス語科教育法B	2				(他) フランス語学科
		547344	FFE302	フランス語科教育法C	2				(他) フランス語学科
		547345	FFE303	フランス語科教育法D	2				(他) フランス語学科
		170540	HST339	歴史学特講(フランス史の諸問題)	2				(他) 史学科
		174004	HST317	西洋美術史	2				(他) 史学科
		333610	JUR341	フランス法	4				(他) 法学部
		970712	THE332	キリスト教文学Ⅰ	2				(他) 神学部
		970713	THE333	キリスト教文学Ⅱ	2				(他) 神学部
				フランス語学科開講科目	詳細はp.139の別表1を参照				
			外国語学部開講科目	研究コース開講科目のうち、フランス語学、フランス語圏関係科目、詳細はp.139の別表1を参照					(他) 外国語学部
その他			文学部横断型人文学プログラム	「文学部横断型人文学プログラム」、p.28を参照すること					20単位まで選択科目に算入可
			他学部他学科科目(語学科目を除く)・課程科目(実習を除く)・国際教養学部サマーセッション科目(別途費用がかかる)	各開講科目担当表を参照					
			(14年次生以降)英語選択科目	言語教育研究センター開講の英語選択科目のうち、学科が指定したもの、詳細はp.140の別表2を参照					

既習者用フランス語

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
	542507	FFG351	既習者用フランス語A-1	1	春	MONFORT Brieuc	1～4		+ (他) フランス語学科
	542508	FFG352	既習者用フランス語A-2	1	秋	MONFORT Brieuc	1～4		+ (他) フランス語学科
	542509	FFG356	既習者用フランス語B-1	1	春	福崎裕子	1～4		+ (他) フランス語学科
	542510	FFG357	既習者用フランス語B-2	1	秋	福崎裕子	1～4		+ (他) フランス語学科
	240603	FLG251	既習者用フランス語C-1	1	春	博多かおる	1～4		+
	240604	FLG252	既習者用フランス語C-2	1	秋	小倉博孝	1～4		+

別表1：

学科科目（選択科目）に算入できるフランス語学科開講科目および外国語学部開講科目

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
542425	FFG301	表現演習Ⅲ A-1	1					(他) フランス語学科
542426	FFG302	表現演習Ⅲ A-2	1					(他) フランス語学科
542427	FFG303	表現演習Ⅲ B-1	1					(他) フランス語学科
542428	FFG304	表現演習Ⅲ B-2	1					(他) フランス語学科
542429	FFG305	表現演習Ⅲ C-1	1					(他) フランス語学科
542430	FFG306	表現演習Ⅲ C-2	1					(他) フランス語学科
542431	FFG311	聴解演習Ⅲ A-1	1					(他) フランス語学科
542432	FFG312	聴解演習Ⅲ A-2	1					(他) フランス語学科
542433	FFG313	聴解演習Ⅲ B-1	1					(他) フランス語学科
542434	FFG314	聴解演習Ⅲ B-2	1					(他) フランス語学科
542435	FFG315	聴解演習Ⅲ C-1	1					(他) フランス語学科
542436	FFG316	聴解演習Ⅲ C-2	1					(他) フランス語学科
542437	FFG321	講読演習Ⅲ A-1	1					(他) フランス語学科
542438	FFG322	講読演習Ⅲ A-2	1					(他) フランス語学科
542439	FFG323	講読演習Ⅲ B-1	1					(他) フランス語学科
542440	FFG324	講読演習Ⅲ B-2	1					(他) フランス語学科
542441	FFG325	講読演習Ⅲ C-1	1					(他) フランス語学科
542442	FFG326	講読演習Ⅲ C-2	1					(他) フランス語学科
542451	FFG412	特別演習 S S-1	1					(他) フランス語学科
542452	FFG401	総合演習Ⅳ A-1	1					(他) フランス語学科
542453	FFG402	総合演習Ⅳ A-2	1					(他) フランス語学科
542454	FFG403	総合演習Ⅳ B-1	1					(他) フランス語学科
542455	FFG404	総合演習Ⅳ B-2	1					(他) フランス語学科
542456	FFG405	総合演習Ⅳ C-1	1					(他) フランス語学科
542457	FFG406	総合演習Ⅳ C-2	1					(他) フランス語学科
549412	FUH311	フランス近現代史研究	2					(他) 外国語学部
549413	FUH312	フランス語圏の歴史研究	2					(他) 外国語学部
547212	FUS304	ヨーロッパの社会と言語B	2					(他) 外国語学部
547211	FUS311	フランス語圏の社会と言語	2					(他) 外国語学部
548273	FUL331	フランス哲学の会話	2					(他) 外国語学部
549417	FUS302	福祉国家とジェンダー	2					(他) 外国語学部
548587	FLM381	フランス語学の諸問題A	2					(他) 外国語学部
548588	FLM382	フランス語学の諸問題B	2					(他) 外国語学部
548589	FLM383	フランス語学の諸問題C	2					(他) 外国語学部
549414	FMS301	フランス語圏アフリカの社会と経済	2					(他) 外国語学部
549415	FMS302	北アフリカ社会開発論	2					(他) 外国語学部
549416	FUF301	経済学概論～フランスとヨーロッパ	2					(他) 外国語学部
548456	FUP301	EUの現在と過去	2					(他) 外国語学部

* 2018年度より借り入れ科目が減少しているため、2017年度以前に履修した科目については、その年度の履修要覧を参照すること。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新聞

別表2：【14年次生以降対象】

学科科目（選択科目）に算入できる英語選択科目

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
854842	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854844	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854843	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854845	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854825	ENG250	HISTORY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854827	ENG250	HISTORY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854826	ENG260	HISTORY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854828	ENG260	HISTORY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854850	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854852	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854851	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854853	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854846	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854848	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854847	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854849	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
850264	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
850266	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
850265	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
850267	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
850260	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
850262	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
850261	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター
850263	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター
854872	ENG250	JAPANOLOGY (HISTORY) A	2					(他) 言語教育研究センター
854873	ENG250	JAPANOLOGY (HISTORY) B	2					(他) 言語教育研究センター
854870	ENG250	JAPANOLOGY (LITERATURE) A	2					(他) 言語教育研究センター
854871	ENG250	JAPANOLOGY (LITERATURE) B	2					(他) 言語教育研究センター
854880	ENG260	JAPANOLOGY (LITERATURE) A	2					(他) 言語教育研究センター
854881	ENG260	JAPANOLOGY (LITERATURE) B	2					(他) 言語教育研究センター
854874	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) A	2					(他) 言語教育研究センター
854875	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) B	2					(他) 言語教育研究センター
854882	ENG260	JAPANOLOGY (TOURISM) A	2					(他) 言語教育研究センター
854883	ENG260	JAPANOLOGY (TOURISM) B	2					(他) 言語教育研究センター
854802	ENG250	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2					(他) 言語教育研究センター
854803	ENG260	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2					(他) 言語教育研究センター
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2					(他) 言語教育研究センター
854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2					(他) 言語教育研究センター
854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2					(他) 言語教育研究センター
854804	ENG250	ENGLISH FOR JOURNALISM	2					(他) 言語教育研究センター
854805	ENG260	ENGLISH FOR JOURNALISM	2					(他) 言語教育研究センター
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1					(他) 言語教育研究センター
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1					(他) 言語教育研究センター
854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1					(他) 言語教育研究センター
854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1					(他) 言語教育研究センター
854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1					(他) 言語教育研究センター

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1					(他) 言語教育研究センター
854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1					(他) 言語教育研究センター
854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1					(他) 言語教育研究センター
854812	ENG250	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1					(他) 言語教育研究センター
854869	ENG260	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1					(他) 言語教育研究センター
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1					(他) 言語教育研究センター
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1					(他) 言語教育研究センター
854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1					(他) 言語教育研究センター
854877	ENG260	ACADEMIC LISTENING	1					(他) 言語教育研究センター
854879	ENG250	SPEAKING FOUNDATIONS	1					(他) 言語教育研究センター
854878	ENG260	ACADEMIC SPEAKING	1					(他) 言語教育研究センター

* 履修にあたっては履修要覧（共通編）の「語学科目」のページをよく読むこと。

上記の科目は13年次生以前の学生が履修しても、卒業に必要な単位には算入されないの注意すること。

学
部
共
通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

新聞学科

〔教育研究上の目的〕

ジャーナリズム，メディア・コミュニケーション全般を対象に，その社会的役割や機能，影響過程など，報道やメディアに関わる諸問題を幅広く考察すること

〔人材養成の目的〕

社会人に必要なコミュニケーションに関する教養を備え，高度なコミュニケーション能力とメディア・リテラシーを身につけた人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では，学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. ジャーナリズム，メディア・コミュニケーション，情報といった諸領域を対象としたこれまでの学問的蓄積と，それらを踏まえた実践的な調査能力，分析力，批判力，構成力，表現能力
2. 「理論と実践」の両面からバランスよく学び，ジャーナリズムの現場やメディア・コミュニケーション，情報などを扱う分野で活躍するための能力
3. 情報化が進む現代社会を，よりよく生きるための高度なコミュニケーション能力とメディアリテラシー

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では，ディプロマ・ポリシーに沿って，次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. ジャーナリズム，メディア・コミュニケーション，情報に関する諸領域を，理論的アプローチ，メディア別のアプローチ，国際的なアプローチ，現実的な諸問題の分析アプローチから学ばせる。
2. 上記カリキュラムと並行して，その表現力，検証力，批判力などの能力の向上に向けた実践的アプローチもバランスよく扱うことで，「理論に偏せず，実践にも偏らない幅広い教育」を実現する。
3. 全ての学生が，専任教員が担当する個別の演習を履修し，小人数教育のなかで，批判的な見方や研究・分析の能力，倫理を醸成する。
4. 4年間で修得した知識，分析力，技能の集大成として，専任教員の個別指導の下で卒業論文を課す。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

16年次生以降

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目	4単位	
学科科目	94単位	
{ 語学科目 (選択必修) 8単位 学科専門科目 (必修42単位, 選択必修16単位, 選択28単位)		
合計	124単位	

14・15年次

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目	4単位	
学科科目	94単位	
{ 語学科目 (選択必修) 8単位 学科専門科目 (必修42単位, 選択必修16単位, 選択28単位)		
合計	124単位	

12～13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位
学科科目	94単位	
合計	124単位	
(必修50単位, 選択必修16単位, 選択28単位)		

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

2. 標準配当表

16年次生以降

○全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)		8					
	必修 (42単位)	コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ(メディアリサーチ) 演習Ⅰ(メディアリテラシー)	各2 2 2	時事問題研究Ⅰ・Ⅱ ジャーナリズム史Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅱa 演習Ⅱb	各2 各2 各2 1 1	人間行動とマス・メディアⅠ・Ⅱ マス・メディア論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅲa 演習Ⅲb	各2 各2 1 1	マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅳa 演習Ⅳb 卒業論文a 卒業論文b	各2 1 1 2 2
	選択必修 (16単位)		学科科目 A群 学科科目 B群				C群Ⅰ C群Ⅱ	4 4	
	選択 (28単位)	学科科目D群の一部			学科科目 A～D群				
					他学部・他学科の学科科目(語学科目を除く), 実習を除く課程科目(科目コード620000番台), 全学共通科目(必修科目・保健体育系実技科目 およびスポーツコースを除く)は12単位まで選 択科目として卒業に要する単位の充当するこ とができる。				28

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【共通編】p.162を参照。

14・15年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)			8				
	必修 (42単位)	コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	各2	時事問題研究Ⅰ・Ⅱ	各2	人間行動とマス・メディアⅠ・Ⅱ	各2	マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ	各2
		演習Ⅰ(新聞)	2	ジャーナリズム史Ⅰ・Ⅱ	各2	マス・メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	演習Ⅳa	1
		演習Ⅰ(放送)	2	国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	各2	演習Ⅲa	1	演習Ⅳb	1
	選択必修 (16単位)			演習Ⅱa	1	演習Ⅲb	1	卒業論文a	2
			演習Ⅱb	1			卒業論文b	2	
選択 (28単位)	学科科目 A群					学科科目 C群Ⅰ		4	
	学科科目 B群					学科科目 C群Ⅱ		4	
	学科科目D群の一部			学科科目 A～D群					
						他学部・他学科の学科科目(語学科目を除く), 実習を除く課程科目(科目コード620000番台), 全学共通科目(必修科目・保健体育系実技科目 およびスポーツコースを除く)は12単位まで選 択科目として卒業に要する単位に充当するこ とができる。		28	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【共通編】p.162を参照。

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

12・13年次

○全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (50単位)	コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ(新聞) 演習Ⅰ(放送) 英語以外の同一外国語	各2 2 2 4	時事問題研究Ⅰ・Ⅱ ジャーナリズム史Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅱa 演習Ⅱb 左記のものから選んだ同一の外国語	各2 各2 各2 1 1 4	人間行動とマス・メディアⅠ・Ⅱ マス・メディア論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅲa 演習Ⅲb	各2 各2 1 1	マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅳa 演習Ⅳb 卒業論文a* 卒業論文b*	各2 1 1 2
	選択必修 (16単位)		学科科目 A群 学科科目 B群				学科科目 C群Ⅰ C群Ⅱ		4 4 4 4
	選択 (28単位)	学科科目D群の一部				学科科目 A～D群			
						他学部・他学科の学科科目(外国語科目を除く)、実習を除く課程科目(科目コード620000番台)、全学共通科目(必修科目・保健体育系実技科目およびスポーツコースを除く)は12単位まで選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。			28

* 「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文a」「卒業論文b」に分割された。

3. 履修上の注意

共通

① 卒業論文について

- (1) 卒業年度の春学期に「卒業論文a」を、同じ年度の秋学期に「卒業論文b」を履修する。他の科目と同様にLoyolaで履修登録しなければならない。
- (2) 卒論テーマは4月の演習時まで決めて演習担当教員に提出する。製本は各自が行う。なお、2019年1月下旬に卒論面接を実施する。詳しい内容は4月上旬の学科ガイダンスで説明する。
- (3) 装丁について
 - ア 規格A4判横書、原則としてワープロ使用のこと。
 - イ 綴じ方：製本
 - ウ 1部コピーをとり、表紙にタイトル、氏名等必要事項明記の上、同一期限内に新聞学科事務室（7号館11F）まで提出すること。
- (4) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
 - イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
 - ウ 時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- (5) 卒業論文a・bは必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
- (6) 【14年次生】カリキュラムの変更に伴う、新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について
新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は、同一科目とみなす。同内容の科目の重複履修は認められない。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目
卒業論文（4単位）	卒業論文a（2単位） 卒業論文b（2単位）

- (7) 「卒業論文a」の評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。

② 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。
- (注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

③ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
JRN	JOURNALISM	ジャーナリズム

④ 文学部横断型人文学プログラムについて

15年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」, p.28を参照すること。

16年次生以降

① 学科科目について

- (1) 必修科目の各「Ⅱ」の履修には、同一科目名の「Ⅰ」を履修していることが必要。
- (2) それぞれの科目の履修できる年次については、開講科目担当表の「年次」を参照すること。この「年次」に満たない場合は、他学部他学科生だけでなく新聞学科生についても履修できないので注意すること。
- (3) 年次指定の必修科目の履修について、交換留学等、特別な事情がある場合は、当該科目の担当教員、学科長と相談のこと。
- (4) 学科科目のA群はマス・メディアについての各論、B群は外国ジャーナリズムに関する科目、C群は時事問題・報道英語関係の科目、D群はその他の科目である。
- (5) 選択必修16単位は、学科科目A群～C群Ⅰ・Ⅱの各群で、それぞれ最低4単位を履修すること。
- (6) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (7) 他学部・他学科の学科科目（語学科目を除く）、実習を除く課程科目（科目コード620000番台）は、12単位まで選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。なお、科目は演習担当教員と相談のうえ、選定すること。
- (8) 全学共通科目の内、必修科目・保健体育系実技科目およびスポーツコースを除く選択科目の中から12単位まで学科科目の選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。
- (9) 上記（7）および（8）については、両方を合わせて合計12単位までしか卒業に要する単位に認められないので、注意すること。

② コース制について

新聞学科では、「ジャーナリズム」、「メディア・コミュニケーション」、「情報社会・情報文化」の3コース制を設ける。新聞学科生は、いずれかのコースを選択しなければならない。

新聞学科生は、「演習Ⅱ」の履修にあたって、いずれかのコースを選択し、特定のコースの「演習Ⅲ」「演習Ⅳ」を履修する。また、新聞学科科目D群より、選択したコースの指定科目を12単位以上履修しなければならない。3年次以降におけるコース変更に関しては、新聞学科長と相談すること。

コース指定科目

「ジャーナリズム」コース

演習Ⅱa, Ⅱb, Ⅲa, Ⅲb, Ⅳa, Ⅳb については、担当教員のシラバス参照のこと。

D群指定科目

ナンバリング	科目名	備考
JRN361	メディアと社会Ⅰa（表現の自由と人権）	
JRN362	メディアと社会Ⅰb（表現の自由と人権）	
JRN363	メディアと社会Ⅱa（ジャーナリズム論）	
JRN364	メディアと社会Ⅱb（ジャーナリズム論）	
JRN271	ジャーナリズムの現在Ⅰ	
JRN272	ジャーナリズムの現在Ⅱ	
JRN241	論文作法Ⅰa	
JRN242	論文作法Ⅰb	
JRN341	論文作法Ⅱ	
JRN342	論文作法Ⅲ	
JRN281	ジャーナリズム特殊Ⅰ	
JRN282	ジャーナリズム特殊Ⅱ	
JRN393	デジタル・ジャーナリズム	
JRN291	メディア実践Ⅰ	
JRN292	メディア実践Ⅱ	
JRN251	テレビ制作Ⅰa	*シラバス参照のこと
JRN252	テレビ制作Ⅰb	*シラバス参照のこと
JRN351	テレビ制作Ⅱa	

「メディア・コミュニケーション」コース

演習Ⅱa, Ⅱb, Ⅲa, Ⅲb, Ⅳa, Ⅳb については, 担当教員のシラバス参照のこと。

D群指定科目

ナンバリング	科目名	備考
JRN375	メディアと文化Ⅲa (マスコミ調査)	
JRN376	メディアと文化Ⅲb (マスコミ調査)	
JRN373	メディアと文化Ⅱa (コミュニケーションと技術)	
JRN374	メディアと文化Ⅱb (コミュニケーションと技術)	
JRN367	メディアと社会Ⅳa (PR論)	
JRN368	メディアと社会Ⅳb (PR論)	
JRN369	メディアと社会Ⅴa (テレ・コミュニケーション論)	
JRN370	メディアと社会Ⅴb (テレ・コミュニケーション論)	

「情報社会・情報文化」コース

演習Ⅱa, Ⅱb, Ⅲa, Ⅲb, Ⅳa, Ⅳb については, 担当教員のシラバス参照のこと。

D群指定科目

ナンバリング	科目名	備考
JRN377	メディアと文化Ⅳa (大衆文化論)	
JRN378	メディアと文化Ⅳb (大衆文化論)	
JRN371	メディアと文化Ⅰa (表象文化論)	
JRN372	メディアと文化Ⅰb (表象文化論)	
JRN391	デジタルアーカイブ論	
JRN371	メディアリテラシー論	
JRN251	テレビ制作Ⅰa	*シラバス参照のこと
JRN252	テレビ制作Ⅰb	*シラバス参照のこと
JRN352	テレビ制作Ⅱb	

③ 語学科目について

- 語学科目必修としてACADEMIC COMMUNICATION4単位を履修しなければならない。
- 語学科目選択必修については, 英語以外の指定された同一言語を8単位履修しなければならない。語学科目の履修上の注意については, 要覧〔共通編〕p.162を参照のこと。

④ その他

- 学科科目A群～D群の各科目は下記のとおりである。

学科科目	科目名	単位数	学科科目	科目名	単位数
A群	新聞論Ⅰ・Ⅱ	各2	D群	論文作法Ⅰa・Ⅰb	各2
	放送論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅱ	2
	出版論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅲ	2
	映画論Ⅰ・Ⅱ	各2		テレビ制作Ⅰa・Ⅰb	各2
B群	外国ジャーナリズムⅠa・Ⅰb	各2		テレビ制作Ⅱa・Ⅱb	各2
	外国ジャーナリズムⅡa・Ⅱb	各2		メディアと社会Ⅰa・Ⅰb	各2
	外国ジャーナリズムⅢa・Ⅲb	各2		メディアと社会Ⅱa・Ⅱb	各2
C群Ⅰ	時事問題研究特殊Ⅰa・Ⅰb(国内)	各2		メディアと社会Ⅲa・Ⅲb	各2
	時事問題研究特殊Ⅱa・Ⅱb(国際)	各2		メディアと社会Ⅳa・Ⅳb	各2
C群Ⅱ	報道英語Ⅰa・Ⅰb	各2		メディアと社会Ⅴa・Ⅴb	各2
	報道英語Ⅱa・Ⅱb	各2		メディアと文化Ⅰa・Ⅰb	各2
	報道英語Ⅲa・Ⅲb	各2		メディアと文化Ⅱa・Ⅱb	各2
				メディアと文化Ⅲa・Ⅲb	各2
				メディアと文化Ⅳa・Ⅳb	各2
				デジタル・ジャーナリズム	2
				デジタルアーカイブ論	2
				メディアリテラシー論	2
				メディア実践Ⅰ・Ⅱ	各2
				ジャーナリズム特殊Ⅰ	2
				ジャーナリズム特殊Ⅱ	2
			ジャーナリズム特殊Ⅲ	2	
			ジャーナリズム特殊Ⅳ	2	
		ジャーナリズムの現在Ⅰ・Ⅱ	各2		

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

- (2) 下記の科目は実習費が必要である。登録締切日までに所定の額を納入のこと。

演習Ⅰ（放送）

テレビ制作Ⅰa, Ⅰb

テレビ制作Ⅱa, Ⅱb

⑤ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目	重複履修
演習Ⅰ（新聞）	演習Ⅰ（メディアリサーチ）	不可
演習Ⅰ（放送）	演習Ⅰ（メディアリテラシー）	不可

14・15年次生

① 学科科目について

- (1) 必修科目の各「Ⅱ」の履修には、同一科目名の「Ⅰ」を履修していることが必要。
- (2) それぞれの科目の履修できる年次については、開講科目担当表の「年次」を参照すること。この「年次」に満たない場合は、他学部他学科生だけでなく新聞学科生についても履修できないので注意すること。
- (3) 年次指定の必修科目の履修について、交換留学等、特別な事情がある場合は、当該科目の担当教員、学科長と相談のこと。
- (4) 学科科目のA群はマス・メディアについての各論、B群は外国ジャーナリズムに関する科目、C群は時事問題・報道英語関係の科目、D群はその他の科目である。
- (5) 選択必修16単位は、学科科目A群～C群Ⅰ・Ⅱの各群で、それぞれ最低4単位を履修すること。
- (6) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (7) 他学部・他学科の学科科目（語学科目を除く）、実習を除く課程科目（科目コード620000番台）は、12単位まで選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。なお、科目は演習担当教員と相談のうえ、選定する。
- (8) 全学共通科目の内、必修科目・保健体育系実技科目およびスポーツコースを除く選択科目の中から12単位まで学科科目の選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。
- (9) 上記（7）および（8）については、両方を合わせて合計12単位までしか卒業単位に認められないので、注意すること。

② 語学科目について

- (1) 語学科目必修としてACADEMIC COMMUNICATION4単位を履修しなければならない。
- (2) 語学科目選択必修については、英語以外の指定された同一言語を8単位履修しなければならない。語学科目の履修上の注意については、要覧〔共通編〕p.162を参照のこと。

③ その他

(1) 学科科目A群～D群の各科目は下記のとおりである。

学科科目	科目名	単位数	学科科目	科目名	単位数
A群	新聞論Ⅰ・Ⅱ	各2	D群	論文作法Ⅰa・Ⅰb	各2
	放送論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅱ	2
	出版論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅲ	2
	映画論Ⅰ・Ⅱ	各2		テレビ制作Ⅰa・Ⅰb	各2
B群	外国ジャーナリズムⅠa・Ⅰb	各2		テレビ制作Ⅱa・Ⅱb	各2
	外国ジャーナリズムⅡa・Ⅱb	各2		メディアと社会Ⅰa・Ⅰb	各2
	外国ジャーナリズムⅢa・Ⅲb	各2		メディアと社会Ⅱa・Ⅱb	各2
C群Ⅰ	時事問題研究特殊Ⅰa・Ⅰb(国内)	各2		メディアと社会Ⅲa・Ⅲb	各2
	時事問題研究特殊Ⅱa・Ⅱb(国際)	各2		メディアと社会Ⅳa・Ⅳb	各2
C群Ⅱ	報道英語Ⅰa・Ⅰb	各2		メディアと社会Ⅴa・Ⅴb	各2
	報道英語Ⅱa・Ⅱb	各2		メディアと文化Ⅰa・Ⅰb	各2
	報道英語Ⅲa・Ⅲb	各2		メディアと文化Ⅱa・Ⅱb	各2
				メディアと文化Ⅲa・Ⅲb	各2
				メディアと文化Ⅳa・Ⅳb	各2
				デジタル・ジャーナリズム	2
				デジタルアーカイブ論	2
				メディアリテラシー論	2
				メディア実践Ⅰ・Ⅱ	各2
				ジャーナリズム特殊Ⅰ	2
				ジャーナリズム特殊Ⅱ	2
			ジャーナリズム特殊Ⅲ	2	
			ジャーナリズム特殊Ⅳ	2	
		ジャーナリズムの現在Ⅰ・Ⅱ	各2		

(2) 下記の科目は実習費が必要である。登録締切日までに所定の額を納入のこと。

演習Ⅰ（放送）

テレビ制作Ⅰa, Ⅰb, テレビ制作Ⅱa, Ⅱb

学部
共通

哲

史

国

文

英

文

ド
イ
ツ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新

聞

13年次生以前

① 学科科目について

- (1) 必修科目の各「Ⅱ」の履修には、同一科目名の「Ⅰ」を履修していることが必要。
- (2) それぞれの科目の履修できる年次については、開講科目担当表の「年次」を参照すること。この「年次」に満たない場合は、他学部他学科生だけでなく新聞学科生についても履修できないので注意すること。
- (3) 年次指定の必修科目の履修について、交換留学等、特別な事情がある場合は、当該科目の担当教員、学科長と相談のこと。
- (4) 学科科目のA群はマス・メディアについての各論、B群は外国ジャーナリズムに関する科目、C群は時事問題・報道英語関係の科目、D群はその他の科目である。
- (5) 選択必修16単位は、学科科目A群～C群Ⅰ・Ⅱの各群で、それぞれ最低4単位を履修すること。
- (6) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (7) 他学部・他学科の学科科目（外国語科目を除く）、実習を除く課程科目（科目コード620000番台）は、12単位まで選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。なお、科目は演習担当教員と相談のうえ、選定する。
- (8) 全学共通科目の内、必修科目・保健体育系実技科目およびスポーツコースを除く選択科目の中から12単位まで学科科目の選択科目として卒業に要する単位に充当することができる。
- (9) 上記（7）および（8）については、両方を合わせて合計12単位までしか卒業単位に認められないので、注意すること。

② 外国語科目について

- (1) 全学共通科目としての外国語については、要覧〔共通編〕p.236を参照のこと。
- (2) 学科科目としての外国語については、英語以外の同一外国語を8単位履修しなければならない。履修上の注意については、要覧〔共通編〕p.236を参照のこと。

③ その他

- (1) 学科科目A群～D群の各科目は下記のとおりである。

学科科目	科目名	単位数	学科科目	科目名	単位数
A群	新聞論Ⅰ・Ⅱ	各2	D群	論文作法Ⅰa・Ⅰb	各2
	放送論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅱ	2
	出版論Ⅰ・Ⅱ	各2		論文作法Ⅲ	2
	映画論Ⅰ・Ⅱ	各2		テレビ制作Ⅰa・Ⅰb	各2
B群	外国ジャーナリズムⅠa・Ⅰb	各2		テレビ制作Ⅱa・Ⅱb	各2
	外国ジャーナリズムⅡa・Ⅱb	各2		メディアと社会Ⅰa・Ⅰb	各2
	外国ジャーナリズムⅢa・Ⅲb	各2		メディアと社会Ⅱa・Ⅱb	各2
				メディアと社会Ⅲa・Ⅲb	各2
C群Ⅰ	時事問題研究特殊Ⅰa・Ⅰb(国内)	各2		メディアと社会Ⅳa・Ⅳb	各2
	時事問題研究特殊Ⅱa・Ⅱb(国際)	各2		メディアと社会Ⅴa・Ⅴb	各2
C群Ⅱ	報道英語Ⅰa・Ⅰb	各2		メディアと文化Ⅰa・Ⅰb	各2
	報道英語Ⅱa・Ⅱb	各2		メディアと文化Ⅱa・Ⅱb	各2
	報道英語Ⅲa・Ⅲb	各2		メディアと文化Ⅲa・Ⅲb	各2
				メディアと文化Ⅳa・Ⅳb	2
				ジャーナリズム特殊Ⅰ	2
				ジャーナリズム特殊Ⅱ	2
			ジャーナリズム特殊Ⅲ	2	
			ジャーナリズム特殊Ⅳ	2	
			ジャーナリズムの現在Ⅰ・Ⅱ	各2	
			デジタル・ジャーナリズム	2	
			デジタルアーカイブ論	2	
			メディアリテラシー論	2	
		メディア実践Ⅰ・Ⅱ	各2		

- (2) 下記の科目は実習費が必要である。登録締切日までに所定の額を納入のこと。

演習Ⅰ（放送）

テレビ制作Ⅰa, Ⅰb

テレビ制作Ⅱa, Ⅱb

④ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目	重複履修
卒業論文 (4単位)	卒業論文a (2単位) 卒業論文b (2単位)	不可

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目	重複履修
演習 I (新聞)	演習 I (メディアリサーチ)	不可
演習 I (放送)	演習 I (メディアリテラシー)	

学
部
共
通

哲

史

国

文

英

文

ド

イ

ツ

文

フ

ラ

ン

ス

文

新

聞

4. 開講科目担当表

12～18年次生

学科科目（必修科目）・・・42単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	260108	JRN111	コミュニケーション論Ⅰ	2	春	渡邊久哲	1		新聞学科生のみ履修可
	260109	JRN112	コミュニケーション論Ⅱ	2	秋	コーディネータ 音好宏	1		輪講，新聞学科生のみ履修可
	268406	JRN211	ジャーナリズム史Ⅰ	2	春	鈴木雄雅	2		新聞学科生・GCP(グローバル・メディアコース)のみ履修可
	268407	JRN212	ジャーナリズム史Ⅱ	2	秋	鈴木雄雅	2		新聞学科生・GCP(グローバル・メディアコース)のみ履修可
	260309	JRN231	時事問題研究Ⅰ	2	春	小此木 潔	2		[150名] (注1) 新聞学科生優先
	260310	JRN232	時事問題研究Ⅱ	2	秋	小此木 潔	2		[150名] (注1) 新聞学科生優先
	267511	JRN221	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	春	阿部 るり	2		[150名] (注1) 新聞学科生優先
	267512	JRN222	国際コミュニケーション論Ⅱ	2	秋	阿部 るり	2		[150名] (注1) 新聞学科生優先
	267107	JRN311	人間行動とマス・メディアⅠ	2	春	音好宏	3		
	267108	JRN312	人間行動とマス・メディアⅡ	2	秋	渡邊久哲	3		[150名] (注1) 新聞学科生優先
	267308	JRN313	マス・メディア論Ⅰ	2	春	阿部 るり	3		[160名] (注1) 新聞学科生優先
	267309	JRN314	マス・メディア論Ⅱ	2	秋	音好宏	3		[170名] (注1) 新聞学科生優先
	260710	JRN411	マスコミ倫理法制論Ⅰ	2	春	鈴木秀美	4		
	260711	JRN412	マスコミ倫理法制論Ⅱ	2	秋	鈴木秀美	4		
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	秋	柴野京子	1		Aクラス，新聞学科生のみ履修可
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	春	柴野京子	1		Bクラス，新聞学科生のみ履修可
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	秋	柴野京子	1		Cクラス，新聞学科生のみ履修可
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	春	小此木 潔	1		Dクラス，新聞学科生のみ履修可
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	秋	国枝智樹	1		Eクラス，新聞学科生のみ履修可
	262114	JRN101	演習Ⅰ(メディアリサーチ)	2	春	国枝智樹	1		Fクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	春	音好宏	1		Aクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	秋	音好宏	1		Bクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	春	水島宏明	1		Cクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	秋	水島宏明	1		Dクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	春	水島宏明	1		Eクラス，新聞学科生のみ履修可
	262123	JRN101	演習Ⅰ(メディアリテラシー)	2	秋	水島宏明	1		Fクラス，新聞学科生のみ履修可
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	阿部 るり	2		隔週で授業を行う
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	阿部 るり	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	音好宏	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	音好宏	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	鈴木雄雅	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	鈴木雄雅	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	確井広義	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	確井広義	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	渡邊久哲	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	渡邊久哲	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	柴野京子	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	柴野京子	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	小此木 潔	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	小此木 潔	2		
	262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	水島宏明	2		
	262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	水島宏明	2		
262201	JRN201	演習Ⅱa	1	春	国枝智樹	2			
262202	JRN201	演習Ⅱb	1	秋	国枝智樹	2			
262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	音好宏	3			
262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	音好宏	3			
262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	阿部 るり	3			
262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	阿部 るり	3			

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	鈴木雄雅	3		隔週で授業を行う
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	鈴木雄雅	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	碓井広義	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	碓井広義	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	渡邊久哲	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	渡邊久哲	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	柴野京子	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	柴野京子	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	小此木 潔	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	小此木 潔	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	水島宏明	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	水島宏明	3		
	262301	JRN301	演習Ⅲa	1	春	国枝智樹	3		
	262302	JRN301	演習Ⅲb	1	秋	国枝智樹	3		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	阿部 るり	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	阿部 るり	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	音 好宏	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	音 好宏	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	鈴木雄雅	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	鈴木雄雅	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	碓井広義	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	碓井広義	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	渡邊久哲	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	渡邊久哲	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	柴野京子	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	柴野京子	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	小此木 潔	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	小此木 潔	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	水島宏明	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	水島宏明	4		
	262401	JRN401	演習Ⅳa	1	春	国枝智樹	4		
	262402	JRN401	演習Ⅳb	1	秋	国枝智樹	4		
260801	JRN403	卒業論文a	2	春	新聞学科教員	4		旧「卒業論文」	
260802	JRN403	卒業論文b	2	秋	新聞学科教員	4			

学部共通
哲
史
国
文
英
文
ドイツ文
フランス文
新
聞

〈14年次生以降〉 選択必修・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
語学科目 選択必修			語学科目 (英語以外の同一言語)	8			1~4		履修上の注意については要覧 〔共通編〕 p.162 を参照のこと。

〈13年次生以前〉 必修・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
語学科目 必修			学科学目としての外国語 (英語以外の同一言語)	8			1・2		履修上の注意については要覧 〔共通編〕 p.236 を参照のこと。

学科科目（選択必修科目）・・・16単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学 科 科 目 A 群	263005	JRN261	新聞論Ⅰ	2	休講		2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		263006	JRN262	新聞論Ⅱ	2	休講		2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		263104	JRN263	放送論Ⅰ	2	春	渡邊久哲	2～4	
		263105	JRN264	放送論Ⅱ	2	秋	音好宏	2～4	[120名] 新聞学科生優先（注1）
		263503	JRN265	出版論Ⅰ	2	春	柴野京子	2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		263504	JRN266	出版論Ⅱ	2	秋	柴野京子	2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		263204	JRN267	映画論Ⅰ	2	春	*佐伯知紀	2～4	[110名] 新聞学科生優先
		263205	JRN268	映画論Ⅱ	2	秋	*佐伯知紀	2～4	[110名] 新聞学科生優先
		264304	JRN323	外国ジャーナリズムⅠa	2	秋	*沈霄虹	2～4	[110名] 新聞学科生優先
		264305	JRN324	外国ジャーナリズムⅠb	2	秋	阿部るり	2～4	[105名] 新聞学科生優先（注1）
学 科 科 目 B 群	学 科 科 目 B 群	264306	JRN325	外国ジャーナリズムⅡa	2	休講		2～4	
		264307	JRN326	外国ジャーナリズムⅡb	2	春	阿部るり	2～4	[50名] 新聞学科生優先（注1）
		264402	JRN327	外国ジャーナリズムⅢa	2	秋	*賈曦	2～4	[110名] 新聞学科生優先（注1）
		264403	JRN328	外国ジャーナリズムⅢb	2	春	音好宏	2～4	[110名] 新聞学科生優先（注1）
		263606	JRN331	時事問題研究特殊Ⅰa（国内）	2	春	*大島・神谷・玉川	3・4	輪講 [60名] 新聞学科生優先（注1）
		263607	JRN332	時事問題研究特殊Ⅰb（国内）	2	秋	*大島・神谷・玉川	3・4	輪講 [60名] 新聞学科生優先（注1）
C 群 科 目 I	学 科 科 目 I	263707	JRN333	時事問題研究特殊Ⅱa（国際）	2	春	*野口修司	3・4	[105名] 新聞学科生優先（注1）
		263708	JRN334	時事問題研究特殊Ⅱb（国際）	2	秋	*田中則広	3・4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		学 科 科 目 C 群 Ⅱ	学 科 科 目 C 群 Ⅱ	267908	JRN381	報道英語Ⅰa	2	春	国枝智樹
267909	JRN382			報道英語Ⅰb	2	秋	*尾崎元	3・4	○ [60名] 新聞学科生優先（注1）
267913	JRN383			報道英語Ⅱa	2	春	阿部るり	3・4	[60名] 新聞学科生優先（注1）
267914	JRN384			報道英語Ⅱb	2	秋	阿部るり	3・4	[60名] 新聞学科生優先（注1）
267915	JRN385			報道英語Ⅲa	2	春	国枝智樹	3・4	○ [60名] 新聞学科生優先（注1）
267916	JRN386			報道英語Ⅲb	2	秋	国枝智樹	3・4	○ [60名] 新聞学科生優先（注1）

学科科目（選択科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考	
選択科目	学 科 科 目 D 群	267604	JRN241	論文作法Ⅰa	2	春	*野澤和弘	2	[35名] 新聞学科生優先（注1）
		267605	JRN242	論文作法Ⅰb	2	秋	*野澤和弘	2	[35名] 新聞学科生優先（注1）
		267607	JRN341	論文作法Ⅱ	2	休講		2・3	
		267608	JRN342	論文作法Ⅲ	2	秋	*中村智志	2・3	
		267714	JRN251	テレビ制作Ⅰa	2	春	碓井広義	2～4	Aクラス
		267714	JRN251	テレビ制作Ⅰa	2	春	水島宏明	2～4	Bクラス
		267714	JRN251	テレビ制作Ⅰa	2	春	水島宏明	2～4	Cクラス
		267715	JRN252	テレビ制作Ⅰb	2	秋	碓井広義	2～4	Aクラス
		267715	JRN252	テレビ制作Ⅰb	2	秋	水島宏明	2～4	Bクラス
		267715	JRN252	テレビ制作Ⅰb	2	秋	水島宏明	2～4	Cクラス
		267723	JRN351	テレビ制作Ⅱa	2	春	水島宏明	3・4	
		267724	JRN352	テレビ制作Ⅱb	2	秋	碓井広義	3・4	
		265111	JRN361	メディアと社会Ⅰa （表現の自由と人権）	2	休講	*未定	2～4	[105名] 新聞学科生優先（注1）
		265112	JRN362	メディアと社会Ⅰb （表現の自由と人権）	2	休講	*未定	2～4	[105名] 新聞学科生優先（注1）
		265121	JRN363	メディアと社会Ⅱa （ジャーナリズム論）	2	春	小此木 潔	2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		265122	JRN364	メディアと社会Ⅱb （ジャーナリズム論）	2	秋	小此木 潔	2～4	[100名] 新聞学科生優先（注1）
		265131	JRN365	メディアと社会Ⅲa （広告論）	2	春	*落藤・藤島	2～4	輪講 [150名] 新聞学科生優先（注1）
		265132	JRN366	メディアと社会Ⅲb （広告論）	2	秋	*落藤・藤島	2～4	輪講 [150名] 新聞学科生優先（注1）
		265141	JRN367	メディアと社会Ⅳa （PR論）	2	春	国枝智樹	2～4	[60名] 新聞学科生優先（注1）
		265142	JRN368	メディアと社会Ⅳb （PR論）	2	秋	国枝智樹	2～4	[60名] 新聞学科生優先（注1）
265145	JRN369	メディアと社会Ⅴa （テレ・コミュニケーション論）	2	春	*寺田真一郎	2～4	[60名] 新聞学科生優先（注1）		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考	
選択科目	学 科 目 D 群	265146	JRN370	メディアと社会Vb (テレ・コミュニケーション論)	2	秋	*元 橋 圭 哉	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)
		265241	JRN371	メディアと文化Ia (表象文化論)	2	春	確 井 広 義	2～4	[70名] 新聞学科生優先 (注1)
		265242	JRN372	メディアと文化Ib (表象文化論)	2	休講		2～4	
		265221	JRN373	メディアと文化IIa (コミュニケーションと技術)	2	春	*山 本 博 史	2～4	[70名] 新聞学科生優先 (注1)
		265222	JRN374	メディアと文化IIb (コミュニケーションと技術)	2	秋	*山 本 博 史	2～4	[70名] 新聞学科生優先 (注1)
		265231	JRN375	メディアと文化IIIa (マスコミ調査)	2	春	渡 邊 久 哲	2～4	[50名] 新聞学科生優先 (注1)
		265232	JRN376	メディアと文化IIIb (マスコミ調査)	2	秋	渡 邊 久 哲	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)
		265251	JRN377	メディアと文化IVa (大衆文化論)	2	春	柴 野 京 子	2～4	[100名] 新聞学科生優先 (注1)
		265252	JRN378	メディアと文化IVb (大衆文化論)	2	秋	柴 野 京 子	2～4	[70名] 新聞学科生優先 (注1)
		265261	JRN393	デジタル・ジャーナリズム	2	秋	水 島 宏 明	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)
		265262	JRN391	デジタルアーカイブ論	2	春	柴 野 京 子	2～4	[20名] 新聞学科生優先 (注1)
		265263	JRN392	メディアリテラシー論	2	秋	音 ・ 国 枝	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)
		265271	JRN291	メディア実践I	2	秋	音 確 井 好 宏 音 確 井 好 宏	2～4	
		265272	JRN292	メディア実践II	2	春	音 確 井 好 宏 音 確 井 好 宏	2～4	
		268752	JRN281	ジャーナリズム特殊I	2	春	*野 口 悟	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1) (注2)
		268753	JRN282	ジャーナリズム特殊II	2	秋	コーディネータ 音 好 宏 小此木 潔	2～4	輪講 (注2)
		265143	JRN283	ジャーナリズム特殊III	2	秋	*下 山 進	2～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)
		265144	JRN284	ジャーナリズム特殊IV	2	休講		2～4	
		268755	JRN271	ジャーナリズムの現在I	2	春	コーディネータ 音 好 宏	2～4	輪講 [105名] 新聞学科優先 (注2)
		268756	JRN272	ジャーナリズムの現在II	2	秋	コーディネータ 音 好 宏 渡 邊 久 哲	2～4	輪講 [105名] 新聞学科優先 (注2)
268757	JRN191	憲法 (基礎)	2	春	村 上 玲	1～4	[60名] 新聞学科生優先 (注1)		
他 学 科 開 講	854804	ENG250	ENGLISH FOR JOURNALISM	2				(他) 言語教育研究センター	
	854805	ENG260	ENGLISH FOR JOURNALISM	2				(他) 言語教育研究センター	
	330140	PBL211	憲法 (基本的人権)	4				(他) 法学部	
そ 他			文学部横断型人文 学プログラム			文学部横断型人文 学プログラム] p.28を参照すること。			
			他学部他学科科目・全学 共通科目 (必修・保健体 育系実技科目・スポーツ コースを除く)・課程科目 (実習を除く)			各開講科目担当表を参照		12単位まで選択科目に算入可	

(注1) 登録の方法等詳細については要覧〔共通編〕p.27～およびLoyolaの「時間割」を参照すること。

(注2) 「ジャーナリズム特殊I・II」「ジャーナリズムの現在I・II」については、重複履修を認める。

2018年度の「ジャーナリズム特殊II」は朝日新聞の寄付によって設置している。

2018年度の「ジャーナリズムの現在I・II」はTBSテレビの寄付によって設置している。

学
部
共
通

哲

史

国

文
英

文

ド
イ
ツ
ッ
文

フ
ラ
ン
ス
文

新
聞

3

総合人間科学部

〔教育研究上の目的〕

ヒューマン・サイエンス、ポリシー・マネジメント、ヒューマン・ケアの三つの知を柱とする科学的思考を養うとともに理論・実践・臨床に関する学際的教育・研究を行うこと。

〔人材養成の目的〕

人間の尊厳を重視する精神を育み、人間支援の実践・臨床、運営に関するデザイン・政策形成に貢献し、全人的教養教育に根ざした人間の尊厳実現に貢献できる人材を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部では、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 人間の尊厳を重視する態度と人間や社会に関する幅広い教養を有し、国際的な観点から総合的かつ多角的に人間や社会が直面する諸問題を理解する能力
2. それらの問題を適切な科学的方法を用いて分析し、他の専門領域の人々とも積極的に協働しながら、解決に向けて取り組む能力
3. 変化し続ける社会の中で、常に問題意識を持ち、自己研鑽に励み、人格的成長を目指す力。

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、その専門性に応じて次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 1・2年次では、基礎科目群や他学科の専門科目の履修を通して、人間の尊厳とは何か、それを実現するためにはどんな知識や能力が必要かを幅広く学ばせる。
2. 3年次になると演習や学内外の実習を中心として少人数教育が提供され、学生は思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力の基礎を身につけさせるとともに、問題解決に必要な方法論（理論や研究法など）を実践を通して学ばせる。
3. 4年次では、自らが問題を設定し、解決のためのデータを収集し、そのデータに基づいて分析し、そしてその成果を発表する場を提供する。

総合人間科学部について

【総合人間科学部の構成】

教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科、看護学科の5つの学科から構成される。

【総合人間科学部の特徴】

総合人間科学部は、一人ひとりの人間を大切にできる精神、人間の尊厳を重視する精神を育み、人間の尊厳実現のために貢献できる人材を育成することを目的としている。「ヒューマン・サイエンス（科学の知）」「ヒューマン・ケア（臨床の知）」「ポリシー・マネジメント（政策・運営の知）」の3つの知を育てるために、各学科の独自性を活かしつつ、他学部他学科生も履修可能なカリキュラムが用意されており、1年次から段階的に履修する中で、専門性を深めるとともに、視野の広がりも得られるような工夫がなされている。

【総合人間科学部共通科目】

1. 「総合人間科学入門」（春学期・2単位）

コーディネータ：芳賀 学

輪講（担当者）：湯川嘉津美、毛利伊吹、植田今日子、藤井賢一郎、小高恵実

輪講とし、コーディネータは学部長。5つの学科教員が複数で担当する。

学部の理念、目的、学部を構成する各学科の特長を理解するとともに、各領域のディシプリンからみた人間の尊厳への視点や実現のための方策などについて多面的に考察し、一人ひとりが自ら考えるきっかけを作ることを目的とする。各領域の協働による総合人間科学の構築のための入門講座として位置づけられている。

2. 学部共通科目（選択必修科目）

開講科目については、p.162～参照

教育学、心理学、社会学、社会福祉学、看護学のそれぞれの学科で開講されている専門科目のなかから学部共通科目として設定されている科目を2科目4単位を卒業までに履修する。学部共通科目として4単位を卒業に必須とし、4単位以上履修した場合には各学科における規定にもとづき卒業に要する単位として充当することが出来る。

これらの科目は総合人間科学部5学科の学生が共に学び、臨床の知、科学の知、政策運営管理の知を得ることを促進するために、学部共通科目として設定されたものである。

3. 「学びの学び直し」（※選択科目 春学期・2単位／秋学期・2単位）

担当：田淵六郎、信岡良亮

2018年度教育イノベーション・プログラムにて開講する、総合人間科学部の学生を対象とした授業である。心理学科の久田満教授、社会福祉学科の栃本一三郎教授にもアドバイザーとしてサポートをいただく予定である。

ヒューマンサービスを含むさまざまな社会的実践の現場においては、他者と関わり合う能力に基づいて、実践を改善するための「問い（クエスチョン）」を立て、観察や調査によって問いを検証するとともに、実践に関わる他者との相互行為のなかで問いそのものを再構築していくスキルが求められる。この再構築のプロセスは、問いの前提じたいを問い直すこと、学習・学びの意味そのものを問い直すことを伴うものである。

本授業『学びの学び直し』では、社会の実践の現場で求められるスキルを「学びの学び直し」という概念で整理し、16名程度の少人数ワークショップ型授業の形式でその特徴と手法について学びながら、実践の中で問いを立て、問いを再構築していくスキルを身につける。

本授業は、2017年度まで開講された『エコロジカル・コミュニケーション入門』を過去に受講した者も、そうでない者も受講可能である。

この講義の主要部分は、数名のグループに分かれてワークショップ形式で行われるため、出席、ワークショップへの積極的な参加ができることを履修条件とする。また、ワークショップ実施可能な人数を超えた受講希望者がいる場合に限り、初回授業で選考を行うため、初回授業には必ず出席すること。

※修得した単位は、学科選択科目として卒業に必要な単位として認められる。（ただし、看護学科の学生については他

学部・他学科科目となる。)

【科目のナンバリングについて】

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧(共通編) p.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
HUS	Human Sciences	人間科学

学部
共通

教

育

心

理

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

会

社

【開講科目担当表】

11年次生以降

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	学部共通科目としては履修不可となる学科
必修科目	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講 他学部生履修不可	
選択必修科目	620909	TEC100	教育原理	2	春	湯川 嘉津美	1～4		[150名]	教育学科(注1)
	620909	TEC100	教育原理	2	秋	*杉村 美佳	1～4		[150名]	教育学科(注1)
	620909	TEC100	教育原理	2	秋	*野村 和	1～4		[150名]	教育学科(注1)
	620920	TEC101	学校教育社会学	2	春	*大島 真夫	1～4		[200名]	教育学科
	620920	TEC101	学校教育社会学	2	秋	酒井 朗	1～4		[200名]	教育学科
	620920	TEC101	学校教育社会学	2	春	*谷田川 ルミ	1～4		[200名]	教育学科
	140504	EDU207	教育社会学 I	2	春	酒井 朗	2～4		1年次生履修不可	教育学科
	141332	EDU204	国際教育学 I	2	春	杉村 美紀	1～4		[150名] 教育学科優先	教育学科
	141440	EDU201	教育方法学 I	2	春	奈須 正裕	1～4			教育学科
	150508	PSL100	心理学基礎論	2	春	廣瀬 英子	1～4		[100名]	心理学科(注1)
	150509	PSL105	心理学概論	2	秋	岡田 隆貴 樋口 匡貴	1～4		[120名] 原則として心理学基礎論,あるいは心理学基礎論 Iを既に履修していること, 輪講	心理学科(注1)
	154711	PSL216	社会心理学 I	2	春	樋口 匡貴	2～4			心理学科(注3)
	157713	PSL211	認知行動療法概論	2	秋	毛利 伊吹	2～4		[150名]	心理学科(注4)
	153333	PSL302	臨床心理学	2	秋	横山 恭子	2～4		[200名]	心理学科(注5)
	099107	GCH110	社会学A	2	春	藤村 正之	1～4		[200名]	社会学科
	284710	SOC203	ライフスタイルの社会学	2	春	*石田 健太郎	1～4		[180名] 社会学科優先	社会学科
	293621	SWA302	ソーシャルワーク論 I	2	春	伊藤 富士江	1～4			社会福祉学科
	290210	SPA201	社会保障論 I	2	春	*矢野 聡	1～4			社会福祉学科
	293615	SOF302	医療福祉論	2	秋	高山 恵理子	1～4			社会福祉学科
	290122	SPA301	福祉経営論 II	2	秋	藤井 賢一郎	1～4			社会福祉学科
	290106	SPE201	社会福祉概論	2	春	栃本 一三郎	1～4		隔年開講	社会福祉学科
	290105	SPE401	社会福祉原論	2	休講		1～4		隔年開講	社会福祉学科
	299330	SPC301	雇用政策論	2	春	*岩田 克彦	1～4			社会福祉学科 2017年次生以降対象(注2)
	270124	NRS151	生と死のケアリング・コロキウム	2	秋	コーディネータ 石川 ふみよ 草柳 浩子 小長谷 百絵 磯山 あけみ 小高 恵実生 武井 弥生 渡邊 知映	1		[100名] 輪講	看護学科 (注1)
	270101	NRS150	アフリカ文化理解と医療保健活動	2	春	コーディネータ 武井 弥生 *波佐間 逸博 *粉川 直樹 *ニョンサハ フランソワ *小川 真吾	1～4		[100名] 輪講	看護学科

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	学部共通科目としては履修不可となる学科
選択必修科目	270050	NRS205	生涯発達看護学Ⅰ	2	秋	島田 真理恵 草柳 浩子	1~4		目白聖母キャンパス開講科目、輪講	看護学科
	270051	NRS206	生涯発達看護学Ⅱ	2	秋	小長谷 百 絵 石川 ふみよ 小高 恵美	1~4		目白聖母キャンパス開講科目、輪講	看護学科
	270117	NRS455	国際保健看護学	2	春	コーディネータ 武井 弥生 水谷 裕佳 瀬本 正之 寺田 勇文 *ニヨンサハ フランソワ	1~4		目白聖母キャンパス開講科目、輪講、学期前半	看護学科
	270118	NRS456	国際協力方法論	2	秋	武井 弥生 *山本 志都	1~4		目白聖母キャンパス開講科目、輪講	看護学科
選択科目	140009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田 渕 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4			(注6)
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田 渕 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4			(注6)

(注1) 当該科目は、カリキュラム変更に伴い、科目名が変更となった。
新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目と見なす。

変更前				変更後			
科目コード	ナンバリング	科目名	開講年度	科目コード	ナンバリング	科目名	開講年度
270102	NRS151	生と死/痛みのケアリング・コロキウム	~2016	270124	NRS151	生と死のケアリング・コロキウム	2017~
620900	TEC100	教育原理Ⅰ	~2017	620909	TEC100	教育原理	2018~
150506	PSL100	心理学基礎論Ⅰ(思想と歴史)	~2017	150508	PSL100	心理学基礎論	2018~
150507	PSL105	心理学基礎論Ⅱ(対象と方法)	~2017	150509	PSL105	心理学概論	2018~

- (注2) 「雇用政策論」については、2016年次生以前の学生は、学部共通科目(選択必修科目)とならないため、注意すること。
- (注3) 「社会心理学Ⅰ」については、2017年次生以前の社会学科生は、学部共通科目(選択必修科目)とならないため、注意すること。
- (注4) 「認知行動療法概論」については、2017年次生以前の教育学科生、及び社会福祉学科生は、学部共通科目(選択必修科目)とならないため、注意すること。
- (注5) 「臨床心理学」については、2017年次生以前の教育学科生は、学部共通科目(選択必修科目)とならないため、注意すること。
- (注6) 看護学科生が履修した場合「他学科科目」となる。他学部生履修不可。
- (注7) 2014年次生以前の学生は「当事者福祉論」(社会福祉学科開講科目)、2017年次生以前の学生は「外国教育史Ⅰ」(教育学科開講科目)、「心理学フロンティアⅠ・Ⅱ」(心理学科開講科目)、「家族発達看護学」(看護学科開講科目)が学部共通科目(選択必修科目)に含まれる。履修年度の履修要覧を参照すること。

10・09年次生

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講 他学部生履修不可
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田 渕 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4		他学部生履修不可
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田 渕 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4		他学部生履修不可

教育学科

〔教育研究上の目的〕

人間と教育をめぐる諸問題を教育学的観点から総合的・多角的に考究し、人間尊重の教育を実現する力を養うこと。

〔人材養成の目的〕

人間の尊厳を基底に置く、人間性と専門性に優れた教員や研究者を養成するとともに、国際社会でも活躍できる自立性と教育学的教養を備えた人材を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 教育学と関連する諸学に関する幅広い知識を身につけ、国内外の人間と教育を巡る諸問題を教育学的に考察するとはどういうことかが理解できると共に、人間尊重の教育に関する豊かな実践的イメージを持つ能力
2. 国内外の学校・社会・家庭・企業などで行われている教育的営みと、そこで生じる現象や問題について、哲学・歴史学・社会学・心理学などの知識と方法を用いて教育学的に読み解くと共に、人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する能力
3. 人間の尊厳を基底に置き、国際的な視野を携えて、教育に関わる問題解決や人間尊重の教育の実現に向け、多様な他者と主体的・友好的に協働し、絶えざる自己省察を繰り返しながら粘り強く取り組む能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 総合人間科学部の他学科と同様に「全学共通科目」、「語学科目」、「学科科目」（学部共通科目、学科専門科目）で構成され、広い教養と深い専門性の調和的実現を目指す。
2. 広範な教育学の諸領域を構造的に把握し、その独自の学問性を体系的に身につけられるよう、「基礎的領域」（教育哲学、日本教育史、外国教育史、教育社会学、教育行政学など）、「実践的領域」（学校教育学、教育方法学、生涯教育学、社会教育計画論、企業内教育論など）、「国際的領域」（国際教育学、国際教育開発学、教育の地政学など）の3領域で編成する。なお、「国際的領域」では英語による科目も開講する。
3. 3領域を構成する主要な8科目について、1・2年次では各概論を必修及び選択必修として履修し、基礎的な事項や視点、方法論を学ばせる。
3年次前期には、1・2年次の学びを基盤にゼミ（演習）を選択し、各専門の立場から人間と教育を巡る問題へのアプローチと、そのために必要な思考力・判断力・表現力の基礎を身につけさせる。
3年次後期には、ゼミを中心的な場としてさらに専門性を深めると共に、一人ひとりが独自に探究する課題を定め、取り組むことで、事象を教育学的に読み解き問題解決の筋道を模索する能力、人間の尊厳を希求する態度、国際的な視野などを育む。
4年次には、卒業論文の作成に取り組むことを通して、人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現できるようになると共に、絶えざる自己省察を繰り返しながら問題解決に粘り強く取り組む資質・能力を身につけさせる。
4. 3領域で構成された立体的な学びを通して教育学を体系的に身につけると共に、各自の問題関心や将来展望に即して、他学部・他学科科目を含めた関連する多様な科目群からの履修が可能となっている。また、その際、国際的な視野を身につける基礎的能力の涵養に配慮し、英語による開講科目を数多くリストアップしている。
5. より主体的・対話的な深い学びを実現すべく、学習方法にも工夫を施している。講義ではリアクションペーパーへの記入を求め、次時に教員がコメントしたり、整理された多様な意見について、さらに学生同士で議論したりする。ゼミでは個人やグループでの発表と討議が基本となるが、さらに国内外の他大学のゼミとの交流活動や、海外も含めたフィールドワークを行うこともある。卒業論文の最終審査は公開での発表会としており、多くの聴衆の前に効果的なプレゼンテーションを工夫する場としている。
6. 一人ひとりの学習の成果や状況について、より多面的できめの細かな評価を実現すべく、学期末試験に加えて、授業中のリアクションペーパーやワークシート、議論やグループワークへの参加・貢献状況の見とり、学期の途中でのレポート提出や試験の実施など、様々な評価指標・評価方法を組み合わせた評価を行っている。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

16年次生以降

全学共通科目	26単位	{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>必修</td> <td>2単位</td> <td>[体 育 2単位]</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> <td>[キリスト教人間学]</td> </tr> <tr> <td>選 択</td> <td>20単位</td> <td>(高学年向け教養科目2単位含む)</td> </tr> </table>	必修	2単位	[体 育 2単位]	選択必修	4単位	[キリスト教人間学]	選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
必修	2単位		[体 育 2単位]								
選択必修	4単位		[キリスト教人間学]								
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)									
語 学 科 目	4単位	必 修 4単位									
学 科 科 目	94単位	学部共通科目 6単位 (必修2単位, 選択必修4単位) 学科専門科目 88単位 (必修20単位, 選択必修16単位, 選択52単位)									
合 計		124単位									

14・15年次生

全学共通科目	26単位	{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>必修</td> <td>2単位</td> <td>[体 育 2単位]</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> <td>[キリスト教人間学]</td> </tr> <tr> <td>選 択</td> <td>20単位</td> <td>(高学年向け教養科目2単位含む)</td> </tr> </table>	必修	2単位	[体 育 2単位]	選択必修	4単位	[キリスト教人間学]	選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
必修	2単位		[体 育 2単位]								
選択必修	4単位		[キリスト教人間学]								
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)									
語 学 科 目	4単位	必 修 4単位									
学 科 科 目	94単位	学部共通科目 6単位 (必修2単位, 選択必修4単位) 学科専門科目 88単位 (必修20単位, 選択必修18単位, 選択50単位)									
合 計		124単位									

11～13年次生

全学共通科目	30単位	{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>必修</td> <td>10単位</td> <td>{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>体 育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> <td>[キリスト教人間学]</td> </tr> <tr> <td>選 択</td> <td>16単位</td> <td></td> </tr> </table>	必修	10単位	{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>体 育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table>	体 育	2単位	外国語科目	8単位	選択必修	4単位	[キリスト教人間学]	選 択	16単位	
必修	10単位		{ <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>体 育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table>	体 育	2単位	外国語科目	8単位								
体 育	2単位														
外国語科目	8単位														
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]													
選 択	16単位														
学 科 科 目	94単位	学部共通科目 6単位 (必修2単位, 選択必修4単位) 学科専門科目 88単位 (必修20単位, 選択必修18単位, 選択50単位)													
合 計		124単位													

学部共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
(4単位) 語学科目 必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2					
		選択必修 (4単位)	教育方法学Ⅰ・教育社会学Ⅰ・国際教育学Ⅰ・教育原理Ⅰ・学校教育社会学以外の科目より選択すること						4
	学科専門科目 (88単位)	必修 (20単位)	教育方法学Ⅰ	2	教育哲学Ⅰ	2		卒業論文	4
			生涯教育学Ⅰ	2	日本教育史Ⅰ	2			
			学校教育学Ⅰ	2	教育社会学Ⅰ	2			
国際教育学Ⅰ	2		国際教育開発学Ⅰ	2					
選択必修 (16単位)	教育方法学Ⅱ	8		各演習Ⅰの中から1科目選択する。		2	教育学課題研究Ⅰa～Ⅷbの中から同分野の2科目を選択する。	4	
	生涯教育学Ⅱ			各演習Ⅱの中から1科目選択する。		2			
	学校教育学Ⅱ	上記の概論Ⅱの中から4科目(8単位)以上を修得する。							
国際教育学Ⅱ									
選択 (52単位)	<ul style="list-style-type: none"> 各種選択科目から52単位以上を選択する。 語学科目はいずれの言語でも8単位まで卒業単位の充当できる。(同一言語に限らない) 他学部他学科の学科科目(語学科目・教育学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目)は、30単位まで選択科目として卒業単位の充当することができる。 								

(注) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

16・17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
	選択必修 (4単位)	教育方法学Ⅰ・外国教育史Ⅰ・教育社会学Ⅰ・国際教育学Ⅰ・教育原理Ⅰ・学校教育社会学以外の科目より選択すること						4	
	必修 (20単位)	外国教育史Ⅰ	2	教育哲学Ⅰ	2			卒業論文	4
		生涯教育学Ⅰ	2	日本教育史Ⅰ	2				
		学校教育学Ⅰ	2	教育社会学Ⅰ	2				
選択必修 (16単位)	国際教育学Ⅰ	2	国際教育開発学Ⅰ	2					
	外国教育史Ⅱ 生涯教育学Ⅱ 学校教育学Ⅱ 国際教育学Ⅱ		8	各演習Ⅰの中から1科目選択する。	2	教育学課題研究Ⅰa～Ⅷbの中から同分野の2科目を選択する。	4		
選択 (52単位)			教育哲学Ⅱ 日本教育史Ⅱ 教育社会学Ⅱ 国際教育開発学Ⅱ		2	各演習Ⅱの中から1科目選択する。			
	上記の概論Ⅱの中から4科目(8単位)以上を修得する。								
<ul style="list-style-type: none"> 各種選択科目から52単位以上を選択する。 語学科目はいずれの言語でも8単位まで卒業単位に充当できる。(同一言語に限らない) 他学部他学科の学科科目(語学科目・教育学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目)は、30単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。 									

(注) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

14・15年次生

○ 全学共通科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2						
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4						
	選択 (20単位)	* 学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)							
						高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
		選択必修 (4単位)	教育方法学Ⅰ・外国教育史Ⅰ・教育社会学Ⅰ・国際教育学Ⅰ・教育原理Ⅰ・学校教育社会学以外の科目より選択すること							4
		必修 (20単位)	外国教育史Ⅰ	2	教育哲学Ⅰ	2			卒業論文*	4
			生涯教育学Ⅰ	2	日本教育史Ⅰ	2				
			学校教育学Ⅰ	2	教育社会学Ⅰ	2				
			国際教育学Ⅰ	2	国際教育開発学Ⅰ	2				
	学科専門科目 (88単位)	選択必修 (18単位)	外国教育史Ⅱ		8	各演習Ⅰの中から2科目選択する。	4	教育学課題研究Ⅰa～Ⅷbの中から同分野の2科目を選択する。	4	
			生涯教育学Ⅱ							
			学校教育学Ⅱ							
			国際教育学Ⅱ							
		選択 (50単位)	教育哲学Ⅱ 日本教育史Ⅱ 教育社会学Ⅱ 国際教育開発学Ⅱ			各演習Ⅱの中から1科目選択する。	2			
			上記の概論Ⅱの中から4科目(8単位)以上を修得する。							
			<ul style="list-style-type: none"> ・各種選択科目から50単位以上を選択する。 ・語学科目はいずれの言語でも8単位まで卒業単位に充当できる。(同一言語に限らない) ・他学部他学科の学科科目(語学科目・教育学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目)は、30単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。 							

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

(注2) 2016年度より、「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は「卒業論文」に統合された。

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語のうちいずれか1ヶ国語	4	1年次に履修した外国語と同じ外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2					
		選択必修 (4単位)	教育方法学Ⅰ・外国教育史Ⅰ・教育社会学Ⅰ・国際教育学Ⅰ・教育原理Ⅰ・比較教育社会学・学校教育社会学 以外の科目より選択すること						4
	学科専門科目 (88単位)	必修 (20単位)	外国教育史Ⅰ	2	教育哲学Ⅰ	2		卒業論文*	4
			生涯教育学Ⅰ	2	日本教育史Ⅰ	2			
		学校教育学Ⅰ	2	教育社会学Ⅰ	2				
選択必修 (18単位)	国際教育学Ⅰ	2	異文化教育学Ⅰ	2					
	外国教育史Ⅱ	8		各演習Ⅰの中から2科目選択する。	4	教育学課題研究Ⅰa～Ⅷbの中から同分野の2科目を選択する。	4		
選択 (50単位)	生涯教育学Ⅱ			各演習Ⅱの中から1科目選択する。	2				
	学校教育学Ⅱ								
国際教育学Ⅱ			教育哲学Ⅱ						
			日本教育史Ⅱ						
			教育社会学Ⅱ						
			異文化教育学Ⅱ						
			国際教育開発学Ⅱ						
			上記の概論Ⅱの中から4科目(8単位)以上を修得する。						
			自学科としての外国語						
			全学共通科目の必修外国語とは異なる外国語を修得した場合、4単位まで(同一言語に限らない)認める。					4	
			・各種選択科目から50単位以上を選択する。						
			・他学部他学科の学科科目(外国語科目・教育学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目)は、30単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。						

*2016年度より、「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は「卒業論文」に統合された。

3. 履修上の注意

11年次生以降

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目4単位（1年次～4年次に履修）計6単位からなり、選択必修科目については、「教育方法学Ⅰ」「外国教育史Ⅰ」「教育社会学Ⅰ」「国際教育学Ⅰ」「教育原理Ⅰ」「比較教育社会学」「学校教育社会学」以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、他学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 学科科目について

- (1) 必修科目は該当年次に履修すること。
- (2) 選択必修科目を必要単位数（2015年次生以前は18単位・2016年次生以降は16単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め、卒業単位に算入する。
- (3) 2015年次生以前の学生は、春学期に各演習Ⅰの中から2科目選択し、秋学期の演習Ⅱは、原則としてそのうちの1科目を選択することとする。
- (4) 2016年次生以降の学生は、春学期に各演習Ⅰの中から1科目選択し、秋学期の演習Ⅱは、原則として演習Ⅰと同分野の科目を選択する。
- (5) 4年次の「教育学課題研究」は、原則として3年次で選択した演習Ⅱと同分野の科目のabを選択する。
- (6) 他学部・他学科の学科科目〔外国語科目・教育学科「開講科目担当表」所載のもののはのぞく。実習をのぞく課程科目（科目コード620000番台）を含む〕は、30単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (7) 学科開講科目のうち、同じ名称の授業科目を重ねて履修した場合、その1科目分のみ卒業単位として認めるが、残りは算入できない。
- (8) 変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について
以下の科目は新旧対応科目両方の履修を認める。

17年度以前の開講科目	外国教育史Ⅰ
18年度以降の開講科目	教育学特殊講義Ⅰ－外国教育史－

2017年次生以前で「外国教育史Ⅰ」未履修者は、「教育学特殊講義Ⅰ－外国教育史－」で充当し、学科の必修科目単位に参入する。

③ 自学科科目（選択）としての外国語科目について（要覧（共通編）p.165～（14年次生以降）～／p.236（13年次生以前）～を参照のこと）

- (1) 自学科科目(選択)としての外国語を履修するかどうかは、各自が選択できる。
- (2) 全学共通科目の必修外国語とは異なる外国語を修得した場合、2013年次生以前の学生は4単位まで（同一言語に限らない）、2014年次生以降の学生は8単位まで（同一言語に限らない）を卒業単位に算入することができる。

④ 卒業論文について

- (1) 2015年度まで、卒業論文の履修にあたっては、「卒業論文Ⅰ」（2単位）と「卒業論文Ⅱ」（2単位）を履修登録する必要があったが、2016年度より、「卒業論文」（4単位）のみの履修登録となる。原則として、秋学期開講科目を履修すること。9月卒業予定の学生については、春学期開講科目の履修を認めるが、その際には、履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。なお、すでに「卒業論文Ⅰ」を履修した者は、あらためて「卒業論文」を履修する必要があり、単位を認定された時点で「卒業論文Ⅰ」の単位は無効となる。
- (2) 卒業論文の単位認定は、論文審査と口述試問とによる。口述試問の実施要領は別に定める。

(3) 装丁について

- ア 規格 A4判横書。ワープロの場合、1ページあたり1200字（40字×30行）
- イ 綴じ方 製本（簡易製本可、左綴じ）
- ウ 背表紙に題目、学生番号、氏名を記載すること。

(4) 提出要領は下記のとおりである。

- ア 期間/時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。

(5) 卒業論文は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。

⑤ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

（注1）3年次生以上の課程科目履修者については、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

（単位）

1年次		2年次		3年次		4年次		合計
春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
24	24	24	24	24	24	24	24	192

⑥ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
EDU	Education	教育

13年次生以前

カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

以下の科目は新旧対応科目両方の履修を認め、重複した単位は学科の選択科目の単位に参入する。

13年度以前の開講科目	異文化教育学 I
14年度以降の開講科目	国際教育開発学 I

【社会教育主事資格取得について】

社会教育を行う者に専門的、技術的な助言や指導を与える社会教育主事の資格を得ようとするものは、大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得したもので、1年以上社会教育主事補の経歴を有するものでなければならないとされている。本学科で社会教育主事資格取得に道を開くのは、生涯学習社会における社会教育主事、企業内教育及び教育文化産業における担当者の養成を目的としているからである。

社会教育主事資格の取得を希望する者は、履修年度の履修要覧を参照して、以下の履修規定に従い、規定の単位を取得すること。

社会教育主事資格取得単位履修表

区分	指定科目	本学での授業科目	単位	備考
必修	生涯学習概論	生涯教育学Ⅰ	2	
		生涯教育学Ⅱ	2	
	社会教育計画	社会教育計画論Ⅰ	2	
		社会教育計画論Ⅱ	2	
選択必修	社会教育演習	生涯教育学演習Ⅰ	2	社会教育演習，社会教育実習，社会教育課題研究の3分野から，1分野以上にわたって4単位を修得しなければならない。
		生涯教育学演習Ⅱ	2	
	社会教育実習	※社会教育実習	2	
	社会教育課題研究	教育学課題研究Ⅳa（生涯教育学）	2	
教育学課題研究Ⅳb（生涯教育学） 生涯教育学課題研究		2 2		
選択	社会教育特講Ⅰ	国際教育学Ⅰ	2	社会教育特講Ⅰ，Ⅱ，Ⅲのそれぞれの分野内で，2単位以上，合計12単位以上修得しなければならない。
		地球環境学Ⅰ	2	
		地球環境学Ⅱ	2	
	社会教育特講Ⅱ	生涯学習とスポーツ	2	
		企業内教育論	2	
		博物館資料論 地域福祉論	2 2	
社会教育特講Ⅲ	教育学特殊講義Ⅰ－外国教育史－ 教育調査研究法演習－教育情報処理－	2 2		

履修上の注意

※の科目は、履修しても卒業要件に必要な単位として認められない。

なお、上記の社会教育主事資格取得については、2018年度をもって終了となる。

4. 開講科目担当表

11年次生以降

学部共通科目・・・必修科目 2単位 ・ 選択必修科目 4単位

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
学部 共通 科目	必修	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講
	選択必修			総合人間科学部共通科目	4			1～4		履修上の注意(p.170)の「総合人間科学部共通科目について」を参照のこと。

学科専門科目（必修科目）・・・11年次生以降 20単位

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
必修 科目		141440	EDU201	教育方法学 I	2	春	奈 須 正 裕	1		
		141400	EDU202	生涯教育学 I	2	春	田 中 治 彦	1		[120名]教育学科優先, 学芸員課程「生涯学習概論」との合併科目
		141420	EDU203	学校教育学 I	2	春	上 野 正 道	1		
		141332	EDU204	国際教育学 I	2	春	杉 村 美 紀	1		[150名] 教育学科優先
		140102	EDU205	教育哲学 I	2	秋	加 藤 守 通	2		
		140411	EDU206	日本教育史 I	2	春	湯 川 嘉津美	2		
		140504	EDU207	教育社会学 I	2	春	酒 井 朗	2		
		140643	EDU208	国際教育開発学 I	2	春	小 松 太 郎	2		
		141007	EDU420	卒業論文	4	春	教育学科教員	4		9月卒業者対象
		141007	EDU420	卒業論文	4	秋	教育学科教員	4		

学科専門科目（選択必修科目）・・・11～15年次生以前 18単位／16年次生以降 16単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	141450	EDU211	教育方法学Ⅱ	2	秋	奈須正裕	1・2		[150名] 教育学科優先	
	141411	EDU212	生涯教育学Ⅱ	2	秋	田中治彦	1・2			
	141430	EDU213	学校教育学Ⅱ	2	秋	上野正道	1・2			
	141342	EDU214	国際教育学Ⅱ	2	秋	杉村美紀	1・2			
	140121	EDU215	教育哲学Ⅱ	2	休講		2			[150名] 教育学科優先 4科目8単位
	140412	EDU216	日本教育史Ⅱ	2	秋	湯川嘉津美	2			
	140521	EDU217	教育社会学Ⅱ	2	秋	酒井朗	2			
	140653	EDU218	国際教育開発学Ⅱ	2	秋	小松太郎	2			
	140220	EDU301	教育哲学演習Ⅰ	2	秋	加藤守通	3		2科目4単位(15年次生以前) 1科目2単位(16年次生以降)	
	148330	EDU302	日本教育史演習Ⅰ	2	春	湯川嘉津美	3			
	148660	EDU303	教育方法学演習Ⅰ	2	春	奈須正裕	3			
	145220	EDU304	生涯教育学演習Ⅰ	2	休講		3			
	149240	EDU305	学校教育学演習Ⅰ	2	春	上野正道	3			
	148602	EDU306	国際教育学演習Ⅰ	2	春	杉村美紀	3			
	149041	EDU307	教育社会学演習Ⅰ	2	春	酒井朗	3			
	148541	EDU308	国際教育開発学演習Ⅰ	2	春	小松太郎	3			
	140230	EDU309	教育哲学演習Ⅱ	2	秋	加藤守通	3			1科目2単位
	148340	EDU310	日本教育史演習Ⅱ	2	秋	湯川嘉津美	3			
	148670	EDU311	教育方法学演習Ⅱ	2	秋	奈須正裕	3			
	145230	EDU312	生涯教育学演習Ⅱ	2	休講		3			
	149250	EDU313	学校教育学演習Ⅱ	2	秋	上野正道	3			
	148603	EDU314	国際教育学演習Ⅱ	2	秋	杉村美紀	3			
	149051	EDU315	教育社会学演習Ⅱ	2	秋	酒井朗	3			
	148551	EDU316	国際教育開発学演習Ⅱ	2	秋	小松太郎	3			
	143001	EDU401	教育学課題研究Ⅰa(教育哲学)	2	秋	加藤守通	4			
	143002	EDU402	教育学課題研究Ⅰb(教育哲学)	2	秋	加藤守通	4			
	143101	EDU403	教育学課題研究Ⅱa(日本教育史)	2	春	湯川嘉津美	4			
	143102	EDU404	教育学課題研究Ⅱb(日本教育史)	2	秋	湯川嘉津美	4			
	143201	EDU405	教育学課題研究Ⅲa(外国教育史)	2	春	上野正道	4			
	143202	EDU406	教育学課題研究Ⅲb(外国教育史)	2	秋	上野正道	4			
	143301	EDU407	教育学課題研究Ⅳa(生涯教育学)	2	春	田中治彦	4			
	143302	EDU408	教育学課題研究Ⅳb(生涯教育学)	2	秋	田中治彦	4			
	143801	EDU409	教育学課題研究Ⅴa(学校教育学)	2	春	奈須正裕	4			
	143802	EDU410	教育学課題研究Ⅴb(学校教育学)	2	秋	奈須正裕	4			
	143502	EDU411	教育学課題研究Ⅵa(国際教育学)	2	春	杉村美紀	4			
	143503	EDU412	教育学課題研究Ⅵb(国際教育学)	2	秋	杉村美紀	4			
	143601	EDU413	教育学課題研究Ⅶa(教育社会学)	2	春	酒井朗	4			
	143602	EDU414	教育学課題研究Ⅶb(教育社会学)	2	秋	酒井朗	4			
	143603	EDU415	教育学課題研究Ⅷa(国際教育開発学)	2	春	小松太郎	4			
	143704	EDU416	教育学課題研究Ⅷb(国際教育開発学)	2	秋	小松太郎	4			

学科専門科目（選択科目）・・・11～15年次生以前 50単位／16年次生以降 52単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	外国語科目		(13年次生以前) 自学科選択科目としての 外国語科目	4			1～4		全学共通科目の必修外国語とは異なる外国語を修得した場合、4単位まで（同一言語に限らない）学科選択科目に算入できる。
	語学科目		(14年次生以降) 自学科選択科目としての 語学科目	8			1～4		語学科目を修得した場合、いずれの言語でも8単位まで（同一言語に限らない）学科選択科目に算入できる。
学科選択科目	144011	EDU231	教育学特殊講義Ⅰ －外国教育史－	2	春	上野正道	2～4		
	144120	EDU236	教育学特殊講義Ⅱ －教育の思想－	2	秋	*佐藤邦政	2～4		
	144212	EDU237	教育学特殊講義Ⅲ -SOCIOLOGICAL PERSPECTIVES ON EDUCATION AND INTERNATIONAL DEVELOPMENT-	2	秋	小松太郎	2～4	○	
	144315	EDU247	教育学特殊講義Ⅳ －グローバル時代の小学校英語 教育－	2	秋	*伊藤静香	2～4		
	144413	EDU248	教育学特殊講義Ⅴ －CURRENT ISSUES IN EDUCATION IN AFRICA－	2	休講		2～4	○	
	144507	EDU240	教育学特殊講義Ⅵ －教育の地政学－	2	休講		2～4		隔年開講
	145241	EDU221	教育調査研究法演習 －教育情報処理－	2	春	*須藤康介	2～4		[30名] 教育学科優先, 「144503教育学特殊講義Ⅵ－教育調査研究法Ⅰ－」「145240教育調査研究法演習Ⅰ－教育情報処理－」と重複履修不可
	147505	EDU223	教育行政学	2	秋	*村上祐介	2～4		
	149815	EDU224	生涯学習とスポーツ	2	秋	師岡文男	2～4		[100名] 教育学科優先
	149802	EDU225	企業内教育論	2	秋	*大木栄一	2～4		隔年開講
	149414	EDU226	社会教育計画論Ⅰ	2	春	*荻野亮吾	2～4		学芸員課程「生涯学習概論」との合併科目
	149415	EDU227	社会教育計画論Ⅱ	2	秋	*荻野亮吾	2～4		学芸員課程「生涯学習概論」との合併科目
	149822	EDU241	地理学Ⅰ	2	春	*向後武	2～4		春学期集中
	149823	EDU242	地理学Ⅱ	2	春	*寺本潔	2～4		
	149824	EDU243	地誌学	2	春	*日原高志	2～4		
	149825	EDU234	経済学	2	休講		2～4		隔年開講, [100名]教育学科優先
	149827	EDU245	社会学	2	秋	*牧野智和	2～4		隔年開講, [100名]教育学科優先
	149826	EDU246	哲学	2	秋	加藤守通	2～4		
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田淵六郎 *信岡良亮	1～4		
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田淵六郎 *信岡良亮	1～4		
他学科科目	620909	TEC100	教育原理	2					(他) 教職課程
	620909	TEC100	教育原理	2					(他) 教職課程
	620909	TEC100	教育原理	2					(他) 教職課程
	620920	TEC101	学校教育社会学	2					(他) 教職課程
	620920	TEC101	学校教育社会学	2					(他) 教職課程
	620920	TEC101	学校教育社会学	2					(他) 教職課程
	620970	TEC102	教職概論	2					(他) 教職課程
	620970	TEC102	教職概論	2					(他) 教職課程
	620970	TEC102	教職概論	2					(他) 教職課程
	629254	TEC200	教育の方法・技術	2					(他) 教職課程
	629254	TEC200	教育の方法・技術	2					(他) 教職課程

学部
共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目	他 学 科 科 目	629254	TEC200	教育の方法・技術	2				(他) 教職課程
		620981	TEC201	教育課程論	2				(他) 教職課程
		620981	TEC201	教育課程論	2				(他) 教職課程
		629304	TEC202	特別活動論	2				(他) 教職課程
		629304	TEC202	特別活動論	2				(他) 教職課程
		629304	TEC202	特別活動論	2				(他) 教職課程
		629105	TEC203	道徳教育の理論と実践	2				(他) 教職課程
		629105	TEC203	道徳教育の理論と実践	2				(他) 教職課程
		629105	TEC203	道徳教育の理論と実践	2				(他) 教職課程
		620211	TEM202	社会科・公民科教育法Ⅰ	2				(他) 教職課程
		620263	TEM203	社会科・公民科教育法Ⅱ	2				(他) 教職課程
		620221	TEM200	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2				(他) 教職課程
		620233	TEM201	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2				(他) 教職課程
		624530	MUS100	博物館学概論	2				(他) 学芸員課程
		624580	MUS102	博物館経営論	2				(他) 学芸員課程
		623830	MUS103	博物館教育論	2				(他) 学芸員課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		154232	PSL222	学習・言語心理学	2				(他) 心理学科
		157610	PSL311	心理学的支援法	2				(他) 心理学科
		154631	PSL236	発達心理学	2				(他) 心理学科
		153323	PSL202	臨床心理学概論	2				(他) 心理学科
		153603	PSL207	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療)	2				(他) 心理学科
		288891	SOC208	都市の社会学	2				(他) 社会学科
		284751	SOC205	家族社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科
		284752	SOC309	家族社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		284720	SOC305	ライフコースの社会学	2				(他) 社会学科
		284730	SOC306	計画と政策の社会学	2				(他) 社会学科
		293205	SOF201	高齢者福祉論	2				(他) 社会福祉学科
		293108	SOF202	児童福祉論	2				(他) 社会福祉学科
		128110	PHL242	近世哲学史	4				(他) 哲学科
		128005	PHL312	現代哲学	2				(他) 哲学科
		161600	HST236	アジア・日本史系概説Ⅰ (日本史)	2				(他) 史学科
		161610	HST237	アジア・日本史系概説Ⅱ (日本史)	2				(他) 史学科
		161800	HST245	超域史・隣接学概説Ⅰ	2				(他) 史学科
		161810	HST246	超域史・隣接学概説Ⅱ	2				(他) 史学科
		161620	HST238	アジア・日本史系概説Ⅲ (東洋史)	2				(他) 史学科
161630	HST239	アジア・日本史系概説Ⅳ (東洋史)	2				(他) 史学科		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 他学科科目	161640	HST240	アジア・日本史系概説Ⅴ (東洋史)	2					(他) 史学科
	161700	HST241	ヨーロッパ・アメリカ史 系概説Ⅰ	2					(他) 史学科
	161710	HST242	ヨーロッパ・アメリカ史 系概説Ⅱ	2					(他) 史学科
	161720	HST243	ヨーロッパ・アメリカ史 系概説Ⅲ	2					(他) 史学科
	161730	HST244	ヨーロッパ・アメリカ史 系概説Ⅳ	2					(他) 史学科
	267511	JRN221	国際コミュニケーション論Ⅰ	2					(他) 新聞学科
	267512	JRN222	国際コミュニケーション論Ⅱ	2					(他) 新聞学科
	341720	ENL221	環境社会学	2					(他) 法学部
	501294	FLN304	BILINGUAL EDUCATION	2					(他) 外国語学部
	501295	FLN305	INTERCULTURAL INTERACTION 1	2					(他) 外国語学部
	501296	FLN306	INTERCULTURAL INTERACTION 2	2					(他) 外国語学部
	BGS54102	GIC312	国際政治経済論 (経済学的 アプローチ) 1	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論 (経済学的 アプローチ) 2	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS54200	GIC314	開発経済学	4					(他) 総合グローバル学科
	BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS52702	GIP309	グローバル・ガバナンス論3	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS52800	GIP311	国連研究Ⅰ	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS53400	GIC300	グローバリゼーション と市民社会Ⅰ	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS53900	GIC308	国際協力論Ⅰ	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS57100	GAM311	アフリカ史	2					(他) 総合グローバル学科
	850260	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					
	850261	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2					
	850262	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					
	850263	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2					
	850264	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					
	850265	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2					
	850266	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					
	850267	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2					
	854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1					
	854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1					
	854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1					
	854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1					
	854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2					
	854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2					
	854825	ENG250	HISTORY IN ENGLISH A	2					
	854826	ENG260	HISTORY IN ENGLISH A	2					
	854827	ENG250	HISTORY IN ENGLISH B	2					
	854828	ENG260	HISTORY IN ENGLISH B	2					
	854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					
	854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2					
	854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2					

(他) 言語教育研究センター14年次生以降対象。
履修要覧(共通編)の言語教育研究センター開講科目(p.212~)を参照。

学部共通
教育
育心
理社
会
社会福祉
看護

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	他 学 科 科 目	854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター 14 年次生以降対象。履修要 覧(共通編)の言語教育研究 センター開講科目 (p.212~) を参照。
		854846	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2				
		854847	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2				
		854848	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2				
		854849	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2				
		854850	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				
		854851	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				
		854852	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				
		854853	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				
		854855	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A	2				
		854857	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH B	2				
		854872	ENG250	JAPANOLOGY(HISTORY) A	2				
		854873	ENG250	JAPANOLOGY(HISTORY) B	2				
		854870	ENG250	JAPANOLOGY(LITERATURE) A	2				
		854871	ENG250	JAPANOLOGY(LITERATURE) B	2				
		854880	ENG260	JAPANOLOGY(LITERATURE) A	2				
		854881	ENG260	JAPANOLOGY(LITERATURE) B	2				
		854874	ENG250	JAPANOLOGY(TOURISM) A	2				
		854875	ENG250	JAPANOLOGY(TOURISM) B	2				
		854882	ENG260	JAPANOLOGY(TOURISM) A	2				
854883	ENG260	JAPANOLOGY(TOURISM) B	2						
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1						
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1						
854878	ENG260	ACADEMIC SPEAKING	1						
854879	ENG250	SPEAKING FOUNDATIONS	1						
	そ の 他		他学部他学科科目・課程 科目(実習を除く)	各開講科目担当表を参照				30 単位まで選択科目に算入可	
	社 会 教 育 主 事 養 生 コ ー ス	146100	EDU430	生涯教育学課題研究	2	休講	4		
		146200	EDU330	社会教育実習	2	休講	3・4		

心理学科

〔教育研究上の目的〕

人間の「心」に関する科学的アプローチを通じて、人間がよりよく生きるために必要な、自らの心を的確に把握し、他者の心の動きを冷静にしかし暖かなまなざしをもって見つめる視点を養うこと

〔人材養成の目的〕

時代が求める「心」を探求する力を涵養し、人の「心」をとらえるための総合的視野を持つ人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 心理学の考え方や理論を理解し、自分の言葉で説明する能力
2. 心理学のさまざまな研究法、技法について、実践を通して理解する能力
3. 協働的な学びを通して、コミュニケーション・スキルを修得し、心理学についての理解を深める能力
4. 卒業研究を通して、自らテーマを設定し、ふさわしい方法で研究を進め、分析し、結果をまとめて考察を書く能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の知識を幅広く身につけさせるために、心理学の基礎から、心理学の専門領域ごとの講義科目、特殊講義科目を配置する。
2. 心理学のさまざまな研究法、技法を修得させるために、1年次に基本を学び、学年が上がるごとに徐々に高度な研究方法についての科目を配置する。
3. 協働的な学びを通して、コミュニケーション・スキルを修得させ、心理学についての理解を深めていくために、演習を中心とした科目を1年次から継続的に配置する。
4. 卒業研究に関する科目を履修して、卒業論文をまとめる。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14～18年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 選択必修 4単位 選択 20単位	[体育 2単位] [キリスト教人間学] (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位			必修 4単位
学科科目	94単位			{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 学科専門科目 88単位 { 必修 34単位 選択必修 8単位 選択 46単位
合 計		124単位		

13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 選択必修 4単位 選択 16単位	{ 体育 2単位 外国語科目 8単位 [キリスト教人間学]	
学科科目	94単位			{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 学科専門科目 88単位 { 必修 34単位 選択必修 8単位 選択 46単位
合 計				

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)							4
	学部共通科目 必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
	学部共通科目 選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4
	学科専門科目 必修 (34単位)	心理学統計法	2	心理学研究法IIA	4			心理学研究法IVA	2
		心理学研究法I	2	(心理学実験)				心理学研究法IVB	2
		心理学演習IA	2	心理学研究法IIB	4			卒業研究A	3
心理学演習IB		2	(心理演習)				卒業研究B	3	
心理学基礎論		2	心理学演習IIA	2					
心理学概論	2	心理学演習IIB	2						
選択必修 (4単位)				心理学演習IIIA	2				
				心理学演習IIIB	2				
選択 (46単位)	①本学科開講科目, ②課程科目(実習を除く), ③他学部他学科の「学科科目」(語学科目を除く)で充当することができる。ただし, ②と③で充当できるのは30単位までである。							46	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165~を参照。

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	語学科目 (4単位)	選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						4
		学部共通科目 (2単位)	総合人間科学入門	2					
	学科専門科目 (84単位)	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること						4
		必修 (34単位)	心理学研究法 I A (注2)						
			心理学研究法 I B (注3)	2	心理学研究法 II A (注6)	4		心理学研究法 IV A	2
			心理学演習 I A	2	心理学研究法 II B (注7)	4		心理学研究法 IV B	2
心理学演習 I B	2		心理学演習 II A	2		卒業研究 A	3		
心理学基礎論 I (注4)	2		心理学演習 II B			卒業研究 B	3		
心理学基礎論 II (注5)	2								
選択必修 (4単位)				心理学演習 III A	2				
				心理学演習 III B	2				
選択 (46単位)	①本学科開講科目, ②課程科目(実習を除く), ③他学部他学科の「学科科目」(語学科目を除く)で充当することができる。ただし, ②と③で充当できるのは30単位までである。							46	

- (注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧（共通編）p.165～を参照。
- (注2) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学統計法」の単位取得によってこれに充てる。
- (注3) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法Ⅰ」の単位取得によってこれに充てる。
- (注4) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学基礎論」の単位取得によってこれに充てる。
- (注5) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は2018年度以降開講の「心理学概論」の単位取得によってこれに充てる。
- (注6) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法ⅡA（心理学実験）」の単位取得によってこれに充てる。
- (注7) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法ⅡB（心理演習）」の単位取得によってこれに充てる。

学 部 共 通
教
育
心
理
社
会
社 会 福 祉
看
護

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4
	必修 (34単位)	心理学研究法ⅠA (注1)		心理学研究法ⅡA (注5)	4			心理学研究法ⅣA	2
		心理学研究法ⅠB (注2)	2	心理学研究法ⅡB (注6)	4			心理学研究法ⅣB	2
		心理学演習ⅠA	2	心理学演習ⅡA	2			卒業研究A	3
心理学演習ⅠB		2	心理学演習ⅡB	2			卒業研究B	3	
心理学基礎論Ⅰ (注3)	2								
心理学基礎論Ⅱ (注4)	2								
選択必修 (8単位)	英語以外の同一 外国語	4			心理学演習ⅢA	2			
					心理学演習ⅢB	2			
選択 (46単位)	①本学科開講科目、②課程科目(実習を除く)、③他学部他学科の「学科科目」(外国語科目を除く)で充当することができる。ただし、②と③で充当できるのは30単位までである。							46	

- (注1) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学統計法」の単位取得によってこれに充てる。
- (注2) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法Ⅰ」の単位取得によってこれに充てる。
- (注3) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学基礎論」の単位取得によってこれに充てる。
- (注4) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は2018年度以降開講の「心理学概論」の単位取得によってこれに充てる。
- (注5) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法ⅡA(心理学実験)」の単位取得によってこれに充てる。
- (注6) 2018年度からのカリキュラム変更により、未修得者は「心理学研究法ⅡB(心理演習)」の単位取得によってこれに充てる。

学
部
共
通
教
育
心
理
社
会
社会
福祉
看
護

3. 履修上の注意

全学年共通

① 学科科目について

- (1) 選択科目の履修については、学科ガイダンスにしたがって履修科目を決めること。
- (2) 選択科目は①本学科開講科目、②課程科目（実習を除く）、③他学部他学科の「学科科目」（語学科目を除く）で充当することができる。ただし、②と③で充当できるのは30単位までである。
- (3) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (4) 3年次選択必修科目（心理学演習ⅢA・心理学演習ⅢB）の受講のためには、心理学科で開講している1・2年次の必修科目（p.181～185 2. 標準配当表を参照）が履修済みであることを原則とする。
- (5) 心理学演習ⅢBの受講のためには、同一の担当教員による心理学演習ⅢAが履修済みであることを原則とする。
- (6) 心理学演習ⅢCの受講のためには、履修登録前に指導を希望する教員との相談が必要である。

② 「心理学研究法ⅣA・B」「卒業研究A・B」について

- (1) 卒業研究のテーマと指導教員については、卒業前年度内に「心理学科卒業研究予備登録カード」を提出し、これに基づいて学科で調整を行う。なお、このための説明会を別に行う。
- (2) 履修については「心理学研究法ⅣA」→「心理学研究法ⅣB」および「卒業研究A」→「卒業研究B」の順とすること。原則として春学期にAを秋学期にBを履修することとする。ただし、留学等の事情により、半期に「心理学研究法ⅣA」と「心理学研究法ⅣB」および「卒業研究A」と「卒業研究B」の同時登録も学科長の許可があれば認める。やむを得ない事情がある場合は、履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。
- (3) 装丁について
 - ア 規格 A4判横書 本文：全角40字×30行（1,200字） 左側に3cmの綴じ代をあげる。
 - イ 綴じ方 黒表紙に学事センターから配布される卒論提出票を貼り付け、黒紐でしっかりと綴じる。
 - ウ その他詳細は学科の指導に従うこと。
- (4) 提出要領は下記のとおりである。
 - ア 期間／時間 Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
 - イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板上に掲示します。
- (5) 「卒業研究A」および「卒業研究B」は正本の提出とともに副本・要旨・メディアの提出、口頭試問ないし、学科で指示した卒論発表会をもって完了する。
- (6) 「卒業研究A」の評価には、P（合格）・X（不合格）を使用する。
- (7) 「卒業研究A」および「卒業研究B」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。

③ その他

- (1) 担当教員と科目名が同じ科目は、2度履修しても卒業に必要な単位としては認めない。ただし、心理学特殊講義については、担当者が同じでかつ副題も同一の場合についてのみ、同一科目として扱う。
- (2) 半期ずつⅠ、Ⅱと分けてある科目は、履修に際し、条件を設けている場合があるので、履修要覧及びシラバスをよく読んで履修登録を行うこと。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(単位)

1年次		2年次		3年次		4年次		合計
春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
24	24	24	24	24	24	24	24	192

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野・授業形態等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

アルファベット	1・2文字目 →分野を表す	3文字目 →授業形態を表す
PSL	Psychology (心理学)	Lecture（講義）
PSR		Research（研究法）
PSS		Seminar（演習）

⑥ 同一科目対照表

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなし、これらの科目を重複して履修することはできない。

2017年度までの開講科目		2018年度からの開講科目		備考
科目コード	科目名	科目コード	科目名	
150802	心理学研究法ⅠA（初等統計学）	150804	心理学統計法	
150901	心理学研究法ⅠB（コンピュータ入門）	150902	心理学研究法Ⅰ	
150506	心理学基礎論Ⅰ（思想と歴史）	150508	心理学基礎論	
150507	心理学基礎論Ⅱ（対象と方法）	150509	心理学概論	
151201	心理学研究法ⅡA	151202	心理学研究法ⅡA（心理学実験）	
151301	心理学研究法ⅡB	151302	心理学研究法ⅡB（心理演習）	
151703	心理学演習ⅡA （心理学の思想と倫理）	151704	心理学演習ⅡA	
153221	心理学演習ⅢA（カウンセリング研究）	153226	心理学演習ⅢA（認知行動療法研究）	
153225	心理学演習ⅢB（カウンセリング研究）	153227	心理学演習ⅢB（認知行動療法研究）	
153601	精神医学Ⅰ	153603	精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療）	2018年度 休講
153322	心理臨床学Ⅰ	153323	臨床心理学概論	
153332	心理臨床学Ⅱ	153333	臨床心理学	
157711	カウンセリング概論Ⅰ	157713	認知行動療法概論	
154212	学習心理学Ⅰ	154232	学習・言語心理学	
154012	認知心理学Ⅰ	154032	認知心理学Ⅰ（知覚・認知心理学）	
154131	生理心理学Ⅰ	154133	生理心理学Ⅰ（神経・生理心理学）	
154721	社会心理学Ⅱ	154722	社会心理学Ⅱ（社会・集団・家族心理学）	
154741	コミュニティ心理学Ⅰ	154743	コミュニティ心理学	
154742	コミュニティ心理学Ⅱ	154744	健康・医療心理学	
154751	人格心理学Ⅰ	154753	感情・人格心理学	
154752	人格心理学Ⅱ	154754	心理的アセスメント	
157401	児童精神医学Ⅰ	154703	児童精神医学	2018年度 休講

13～18年次生

総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目計4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目を必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

14～18年次生

語学科目について

- (1) 語学科目（必修科目）については、すべて1年次の間に履修することがのぞましい。
- (2) 学科の選択必修科目として、英語以外の同一言語を、4単位履修しなければならない。なお履修上の注意については履修要覧（共通編）p.168～を参照のこと。

13年次生

①外国語科目について

- (1) 必修語学については、すべて1・2年次の間に履修すること。
- (2) 全学共通科目としての外国語については履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。
- (3) 1年次に学科の選択必修科目として、英語以外の外国語のいずれかについて、4単位履修しなければならない。なお履修上の注意については履修要覧（共通編）p.239～を参照のこと。

②その他

- (1) 「教育相談」は2013年度以前に開講の「学校カウンセリングI（教育相談）」を、「生徒指導と進路指導」は「学校カウンセリングII（生徒指導と進路指導）」を名称変更したものである。
- (2) 「教育相談」「生徒指導と進路指導」「教育心理学」については、科目コードあるいは担当教員名が異なっても、各1科目しか卒業に要する単位として認められない。
- (3) 履修登録の際は、下表の「対応科目名」にて登録を行うこと。

変更以前の科目名（～2013年度）	単位数	対応科目名（2014年度～）	単位数	重複履修
629410 学校カウンセリング I (教育相談)	2	629411 教育相談	2	不可
629420 学校カウンセリング II (生徒指導と進路指導)	2	629421 生徒指導と進路指導	2	不可

【公認心理師の受験に必要な科目について】

18年次生

公認心理師試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄の通りである。

公認心理師指定科目	左記に対応する本学授業科目	区分	備考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	選択	2018年度休講
心理学概論	心理学概論	1年必修	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	選択	
心理学研究法	心理学研究法Ⅰ	1年必修	
心理学統計法	心理学統計法	1年必修	
心理学実験	心理学研究法ⅡA（心理学実験）	2年必修	
知覚・認知心理学	認知心理学Ⅰ（知覚・認知心理学）	選択	
学習・言語心理学	学習・言語心理学	選択	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	選択	
神経・生理心理学	生理心理学Ⅰ（神経・生理心理学）	選択	
社会・集団・家族心理学	社会心理学Ⅱ（社会・集団・家族心理学）	選択	
発達心理学	発達心理学	選択	
障害者・障害児心理学	リハビリテーション心理学 （障害者・障害児心理学）	選択	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	選択	
心理学的支援法	心理学的支援法	選択	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	選択	
福祉心理学	福祉心理学	選択	
教育・学校心理学	教育・学校心理学	選択	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	選択	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	選択	（他）経営学科
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	選択	
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療）	選択	2018年度休講
関係行政論	関係行政論	選択	2018年度休講
心理演習	心理学研究法ⅡB（心理演習）	2年必修	
心理実習	心理実習	選択	2018年度休講

13～17年次生

公認心理師試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄の通りである。

分類	公認心理師 指定科目	左記に対応する本学授業科目	区分	備考
I	② 心理学概論	心理学概論 心理学基礎論 I 心理学基礎論 II	1年必修 1年必修 1年必修	2018年度以降
	③ 臨床心理学概論	臨床心理学概論 心理臨床学 I 心理臨床学 II	選択 選択 選択	2018年度以降
	④ 心理学研究法	心理学研究法 I 心理学研究法 I B (コンピュータ入門) 心理学研究法 III D (尺度構成入門)	1年必修 1年必修 選択	2018年度以降
	⑤ 心理学統計法	心理学統計法 心理学研究法 I A (初等統計学) 心理測定学 心理学研究法 III C (実験計画法と分散分析)	1年必修 1年必修 選択 選択	2018年度以降
	⑥ 心理学実験	心理学研究法 II A (心理学実験) 心理学研究法 II A	2年必修 2年必修	2018年度以降
II	⑦ 知覚・認知心理学	認知心理学 I (知覚・認知心理学) 認知心理学 I 認知心理学 II	選択 選択 選択	2018年度以降
	⑧ 学習・言語心理学	学習・言語心理学 学習心理学 I	選択 選択	2018年度以降
	⑨ 感情・人格心理学	感情・人格心理学 人格心理学 I 人格心理学 II 心理学特殊講義 VI (パーソナリティ心理学と心理臨床)	選択 選択 選択 選択	2018年度以降 2014年度開講
	⑩ 神経・生理心理学	生理心理学 I (神経・生理心理学) 生理心理学 I 生理心理学 II	選択 選択 選択	2018年度以降
	⑪ 社会・集団・家族心理学	社会心理学 II (社会・集団・家族心理学) 社会心理学 I 社会心理学 II コミュニティ心理学 I 心理学特殊講義 I (コミュニティ心理学)	選択 選択 選択 選択 選択	2018年度以降 2017年度開講
	⑫ 発達心理学	発達心理学 発達心理学 I 発達心理学 II	選択 選択 選択	2018年度以降
	⑬ 障害者・障害児心理学	リハビリテーション心理学 (障害者・障害児心理学)	選択	2018年度以降
III	⑭ 心理的 アセスメント	心理的アセスメント 心理学研究法 II B 心理学研究法 III A (ロールシャッハ) 心理学研究法 III B (TAT)	選択 2年必修 選択 選択	2018年度以降
	⑮ 心理学的支援法	心理学的支援法 カウンセリング概論 I カウンセリング概論 II 深層心理学 I (深層心理学史) 深層心理学 II 精神分析 I 精神分析 II	選択 選択 選択 選択 選択 選択	2018年度以降

分類	公認心理師 指定科目	左記に対応する本学授業科目	区分	備考
IV	⑩ 健康・医療心理学	健康・医療心理学 精神保健学 コミュニティ心理学Ⅱ	選択 選択 選択	2018年度以降 社会福祉学科
	⑪ 福祉心理学	福祉心理学 福祉心理学	選択 選択	2018年度以降 社会福祉学科, 2016年度まで 開講
	⑫ 教育・学校心理学	教育・学校心理学 教育相談 教育心理学	選択 教職 教職	2018年度以降
	⑬ 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	選択	2018年度以降
	⑭ 産業・組織心理学	産業・組織心理学 産業心理学	選択 選択	2018年度以降, (他)経営学科 経営学科, 2017 年度まで開講
V	⑮ 人体の構造と 機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病 医学一般	選択 選択	2018年度以降 社会福祉学科
	⑯ 精神疾患と その治療	精神医学Ⅰ (精神疾患とその治療) 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 児童精神医学Ⅰ 児童精神医学Ⅱ 心理学特殊講義Ⅰ (精神医学の基本)	選択 選択 選択 選択 選択 選択	2019年度以降 2016年度開講

必要な科目数

- ・分類Ⅰ：②～⑥から、3科目以上を修める
 - ・分類Ⅱ：⑦～⑬から、4科目以上を修める
 - ・分類Ⅲ：⑭と⑮の両方を修める
 - ・分類Ⅳ：⑩～⑭から、2科目以上を修める
 - ・分類Ⅴ：⑯～⑳から、1科目以上を修める
- (⑩に相当する科目を、分類Ⅴとして数えても構わない。ただしその場合は、分類Ⅳとして、⑪～⑭から2科目以上を修めること)

※注意

1. 例えば、③の「心理臨床学Ⅰ」と「心理臨床学Ⅱ」の両方を修めても2科目とは数えず、「③臨床心理学概論 1科目」と数える。
2. 4年制大学において、定められた公認心理師科目を全て修めた者は、大学院^{注1)}または実務経験^{注2)}を経て、公認心理師受験資格が与えられる。

注1) 公認心理師に対応するカリキュラムを有する大学院

注2) 公認心理師に対応するプログラムを有する施設での実務経験

4. 開講科目担当表

全学年共通

学部共通科目・・・必修科目 2単位 ・ 選択必修科目 4単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
学部共通科目	必修	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講
	選択必修			総合人間科学部共通科目			自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修すること。開講科目については総合人間科学部(p.162～)参照。	1～4		

学科専門科目（必修科目）・・・34単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	150804	PSR100	心理学統計法	2	春	*実吉 綾子	1		
	150902	PSR105	心理学研究法Ⅰ	2	秋	廣瀬 英子	1		
	151003	PSS100	心理学演習ⅠA	2	春	吉村 聡修 松田	1		輪講
	151102	PSS105	心理学演習ⅠB	2	秋	樋口 匡貴 毛利 伊吹	1		輪講
	150508	PSL100	心理学基礎論	2	春	廣瀬 英子	1		[100名]
	150509	PSL105	心理学概論	2	秋	岡田 隆貴 樋口 匡貴	1		[120名] 原則として心理学基礎論、あるいは心理学基礎論Ⅰを既に履修していること、輪講
	151202	PSR200	心理学研究法ⅡA (心理学実験)	4	春	岡田 隆貴 樋口 匡貴 齋藤 慈子	2		同時担当
	151302	PSR205	心理学研究法ⅡB (心理演習)	4	秋	久横山 満子 松田 恭修 毛利 伊吹 藤山 直樹 山下 竜一	2		同時担当
	151704	PSS200	心理学演習ⅡA	2	春	藤山 直樹 吉村 聡	2		同時担当
	151801	PSS205	心理学演習ⅡB	2	秋	*松本 ちひろ	2	○	
	151602	PSR400	心理学研究法ⅣA	2	春	樋口 匡貴	4		
	151602	PSR400	心理学研究法ⅣA	2	秋	樋口 匡貴	4		
	151603	PSR405	心理学研究法ⅣB	2	秋	樋口 匡貴	4		
	151603	PSR405	心理学研究法ⅣB	2	春	樋口 匡貴	4		
	150402	PSR410	卒業研究A	3	春	心理学科教員	4		同時担当
	150402	PSR410	卒業研究A	3	秋	心理学科教員	4		同時担当
	150403	PSR411	卒業研究B	3	秋	心理学科教員	4		同時担当
	150403	PSR411	卒業研究B	3	春	心理学科教員	4		同時担当

学科専門科目（選択必修科目）・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	153021	PSS301	心理学演習ⅢA（臨床心理学研究）	2	春	横山 恭子	3		
	153022	PSS302	心理学演習ⅢB（臨床心理学研究）	2	秋	横山 恭子	3		
	153122	PSS306	心理学演習ⅢA（精神医学・精神分析研究）	2	春	藤山 直樹	3		
	153124	PSS307	心理学演習ⅢB（精神医学・精神分析研究）	2	秋	藤山 直樹	3		
	153226	PSS311	心理学演習ⅢA（認知行動療法研究）	2	春	毛利 伊吹	3		
	153227	PSS312	心理学演習ⅢB（認知行動療法研究）	2	秋	毛利 伊吹	3		
	153712	PSS316	心理学演習ⅢA（社会心理学研究）	2	春	樋口 匡貴	3		
	153713	PSS317	心理学演習ⅢB（社会心理学研究）	2	秋	樋口 匡貴	3		
	153023	PSS321	心理学演習ⅢA（学習心理学研究）	2	春	廣瀬 英子	3		
	153024	PSS322	心理学演習ⅢB（学習心理学研究）	2	秋	廣瀬 英子	3		
	153921	PSS326	心理学演習ⅢA（認知心理学研究）	2	春	道又 爾	3		
	153922	PSS327	心理学演習ⅢB（認知心理学研究）	2	秋	道又 爾	3		
	153932	PSS331	心理学演習ⅢA（生理心理学研究）	2	春	岡田 隆	3		
	153933	PSS332	心理学演習ⅢB（生理心理学研究）	2	秋	岡田 隆	3		
	153952	PSS336	心理学演習ⅢA（発達心理学研究）	2	春	齋藤 慈子	3		
	153953	PSS337	心理学演習ⅢB（発達心理学研究）	2	秋	齋藤 慈子	3		
	153123	PSS341	心理学演習ⅢA（老年心理学研究）	2	春	松田 修	3		
	153125	PSS342	心理学演習ⅢB（老年心理学研究）	2	秋	松田 修	3		
	153222	PSS346	心理学演習ⅢA（コミュニティ心理学研究）	2	春	久田 満	3		
	153223	PSS347	心理学演習ⅢB（コミュニティ心理学研究）	2	秋	久田 満	3		
153214	PSS351	心理学演習ⅢA（人格心理学研究）	2	春	吉村 聡	3			
153215	PSS352	心理学演習ⅢB（人格心理学研究）	2	秋	吉村 聡	3			
			学科科目としての外国語（英語以外の同一言語）	4			1～4		13年次生以前
			学科科目としての語学科目（英語以外の同一言語）	4			1～4		14年次生以降

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

学科専門科目（選択科目）・・・46単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科選択科目	140009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田 淵 六 郎 *信 岡 良 亮	1～4		
		140009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田 淵 六 郎 *信 岡 良 亮	1～4		
		154902	PSR300	心理学研究法ⅢA (ロールシヤッパ)	2	春	*佐 藤 豊	3～4		
		155001	PSR301	心理学研究法ⅢB (TAT)	2	春	*藤 田 宗 和	3～4		
		155103	PSR302	心理学研究法ⅢC (実験計画法と分散分析)	2	休講				
		155202	PSR303	心理学研究法ⅢD (尺度構成入門)	2	秋	廣 瀬 英 子	3～4		[66名]必ず心理測定学を既に履修していること
		155302	PSS300	心理学演習ⅢC	2	春	心理学科教員	3～4		同内容につき一方のみ履修可
		155402	PSS305	心理学演習ⅢC	2	秋	心理学科教員	3～4		同内容につき一方のみ履修可
		153553	PSL206	精神分析Ⅰ	2	春	藤 山 直 樹	2～4		[200名] 隔年開講
		153554	PSL306	精神分析Ⅱ	2	秋	藤 山 直 樹	2～4		隔年開講、原則として精神分析Ⅰを既に履修していること
		153603	PSL207	精神医学Ⅰ (精神疾患とその治療)	2	休講		2～4		
		153602	PSL307	精神医学Ⅱ	2	休講		2～4		
		153323	PSL202	臨床心理学概論	2	春	横 山 恭 子	2～4		[200名]
		153333	PSL302	臨床心理学	2	秋	横 山 恭 子	2～4		[200名]
		157713	PSL211	認知行動療法概論	2	秋	毛 利 伊 吹	2～4		[150名]
		157610	PSL291	心理学的支援法	2	春	毛 利 伊 吹	2～4		[150名]
		154232	PSL222	学習・言語心理学	2	秋	廣 瀬 英 子	2～4		[100名]
		154210	PSL221	心理測定学	2	春	廣 瀬 英 子	3～4		[66名]
		154032	PSL226	認知心理学Ⅰ (知覚・認知心理学)	2	春	*実 吉 綾 子	2～4		[180名]
		154022	PSL326	認知心理学Ⅱ	2	休講		2～4		[180名] 原則として認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学),あるいは認知心理学Ⅰを既に履修していること
		154133	PSL231	生理心理学Ⅰ (神経・生理心理学)	2	春	岡 田 隆	2～4		
		154132	PSL331	生理心理学Ⅱ	2	秋	岡 田 隆	2～4		
		154711	PSL216	社会心理学Ⅰ	2	春	樋 口 匡 貴	2～4		
		154722	PSL316	社会心理学Ⅱ (社会・集団・家族心理学)	2	秋	樋 口 匡 貴	2～4		[200名] 原則として社会心理学Ⅰを既に履修していること
		154631	PSL236	発達心理学	2	春	齋 藤 慈 子	2～4		[150名]
		154735	PSL241	老年心理学	2	春	松 田 修	2～4		
		157670	PSL292	リハビリテーション心理学 (障害者・障害児心理学)	2	秋	松 田 修	2～4		[230名]
		154743	PSL246	コミュニティ心理学	2	春	久 田 満	2～4		[150名]
		154744	PSL346	健康・医療心理学	2	秋	久 田 満	2～4		[150名]必ずコミュニティ心理学,あるいはコミュニティ心理学Ⅰを既に履修していること
		154753	PSL251	感情・人格心理学	2	春	吉 村 聡	2～4		[100名]

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目	学科 選択科目	154754	PSL351	心理的アセスメント	2	秋	吉村 聡	2~4	[100名] 原則として感情・人格心理学,あるいは人格心理学Ⅰを既に履修していること
		157620	PSL297	福祉心理学	2	春	*大原 天青	2~4	[150名]
		157640	PSL294	教育・学校心理学	2	秋	*荻野 美佐子	2~4	[150名]
		157630	PSL295	司法・犯罪心理学	2	春	*岡田 裕子	2~4	[150名]
		157660	PSL296	人体の構造と機能及び疾病	2	秋	*野々山 恵章	2~4	[150名]
		157650	PSL298	関係行政論	2	休講		2~4	
		157680	PSL395	公認心理師の職責	2	休講		3~4	
		157690	PSS390	心理実習	2	休講		3~4	
		154703	PSL272	児童精神医学	2	休講		2~4	隔年開講
		158127	PSL381	心理学特殊講義Ⅰ (実験計画法と分散分析)	2	秋	*実吉 綾子	2~4	[35名]
		158325	PSL383	心理学特殊講義Ⅲ (PSYCHOLOGY AROUND YOU)	2	春	*駒井 章治	2~4	○ [100名]
		158226	PSL382	心理学特殊講義Ⅱ (心理療法の医療人類学)	2	春	*東畑 開人	2~4	隔年開講
		157512	PSL271	進化心理学	2	秋	齋藤 慈子	2~4	
		158903	PSL170	社会学	2	秋	*田村 公人	1~4	[100名]教職課程を取る者は必修
選択科目	他学科 開講科目	629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629400	TEC103	教育心理学	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629411	TEC104	教育相談	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		629421	TEC105	生徒指導と進路指導	2				(他) 教職課程
		128702	PHL223	西洋倫理想史Ⅰ	2				(他) 哲学科
		128703	PHL224	西洋倫理想史Ⅱ	2				(他) 哲学科
		128005	PHL312	現代哲学	2				(他) 哲学科
		127206	PHL330	美学Ⅰ	2				(他) 哲学科
		127207	PHL331	美学Ⅱ	2				(他) 哲学科
		126203	PHL371	科学基礎論	2				(他) 哲学科
		140521	EDU217	教育社会学Ⅱ	2				(他) 教育学科
		141400	EDU202	生涯教育学Ⅰ	2				(他) 教育学科
		141411	EDU212	生涯教育学Ⅱ	2				(他) 教育学科
		267107	JRN311	人間行動とマス・メディアⅠ	2				(他) 新聞学科
		267108	JRN312	人間行動とマス・メディアⅡ	2				(他) 新聞学科
		265231	JRN375	メディアと文化Ⅲa (マスコミ調査)	2				(他) 新聞学科
		265232	JRN376	メディアと文化Ⅲb (マスコミ調査)	2				(他) 新聞学科
		284010	SOC204	宗教社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科
		284011	SOC307	宗教社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		293813	SOE206	医学一般	2				(他) 社会福祉学科

学部
共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選択科目	他 学 科 開 講 科 目	298011	SOF204	精神保健福祉論	2				(他) 社会福祉学科
		438504	MRK242	マーケティング・リサーチ	2				(他) 経営学科
		439901	MGT248	産業・組織心理学	2				(他) 経営学科
		501297	FLN301	SECOND LANGUAGE ACQUISITION1	2				(他) 外国語学部
		501298	FLN302	SECOND LANGUAGE ACQUISITION2	2				(他) 外国語学部
		652131	FLO301	言語聴覚障害学概論	2				(他) 外国語学部
		672101	FLO311	言語聴覚障害学特殊講義A (失語症)	2				(他) 外国語学部
		672151	FLO312	言語聴覚障害学特殊講義B (言語発達遅滞)	2				(他) 外国語学部
		854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 14年次生以降対象。履修 要覧(共通編)の言語教 育研究センター開講科目 (p.212～)を参照
		854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				
		854850	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				
		854851	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				
		854852	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				
		854853	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1						
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1						
その他			他学部他学科科目(外国 語を除く)・課程科目(実 習を除く)	各開講科目担当表を参照				30単位まで選択科目に算 入可	

社会学科

〔教育研究上の目的〕

社会に関する問題関心を養い、社会現象に社会学的視点からアプローチし、実証的な方法を用いて分析し、そのメカニズムを理解する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

社会学的な思考法と方法論を習得し、実践的な場面で、国際的な視野と人道的な立場から問題解決について提言できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、次のような能力をもつ人材を養成することを目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 社会について様々な問題関心をもち、社会現象の理解に社会学的視点をもってアプローチできる能力
2. 基礎的な理論と実証的な方法を用い、社会現象のメカニズムについて理解と分析をする能力
3. 現代社会の諸領域の特徴を社会構造と社会変動との関連の中で把握する能力
4. 多様な他者を理解し、他者と共存する社会の形成に向けて、社会学的な視点を活かした問題解決が提言できる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 基本的な社会学的視点と、問題関心を社会学的に設定する方法について、少人数の演習によって修得させる。
2. 社会学の基幹となる「理論と方法」について、社会学理論によって論理的思考法、問題意識の概念化・モデル化を理解し、社会調査法による質的調査および量的調査を習得させ、社会現象の分析能力を養う。
3. 身につけた理論と方法を現代社会の特定領域に応用して、その構造と変容の理解を深める。
4. 各自の問題意識にもとづいて研究課題を設定し、人間の尊厳を重視したグローバルな視野から、高度な社会学的な分析と考察ができる力を養成する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14～18年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む) }	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 } 学科専門科目 88単位 { 必修 12単位 選択必修 34単位 選択 42単位 } }
合 計		124単位	

13年次生

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 } 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位 }
学科科目	94単位	
合 計		124単位

2. 標準配当表

14～18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※(2014～2017年次生のみ) 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる。 ※語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる。(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2					
		選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること						4
	学科専門科目 (88単位)	必修 (12単位)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 社会調査方法論Ⅰ	2 2 2	社会学理論Ⅰ 社会学理論Ⅱ 社会調査方法論Ⅱ	2 2 2			
		選択必修 (34単位)		研究演習 学科科目 A・B群	2 6	演習Ⅰ・Ⅱを 各1科目 学科科目 A・B群	4 14	演習Ⅰ・Ⅱを 各1科目 学科科目 A・B群	4 4
	選択 (42単位)	①本学科開講科目(選択必修科目を最低基準以上履修した場合の余剰単位分)②課程科目(実習を除く)③他学部他学科の「学科科目」④語学科目(英語およびその他の言語を8単位まで)⑤全学共通科目(必修科目・ウエルネス&スポーツ科目の実技科目を除く。ただし卒業単位の充当できるのは12単位まで)で充当することができる。						42	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

(注2) 学科科目 A・B群は、2年次(6単位)、3年次(14単位)、4年次(4単位)と記してあるが、これは推奨される標準的な履修の仕方の1例である。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	外国語	4	外国語（1年次に履修した外国語と同じ外国語）	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	学部共通科目 (2単位)	総合人間科学入門	2						
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4
	必修 (12単位)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	2 2	社会学理論Ⅰ 社会学理論Ⅱ 社会調査方法論Ⅰ 社会調査方法論Ⅱ	2 2 2 2				
選択必修 (34単位)			学科科目 A・B群	8	演習Ⅰ・Ⅱを 各1科目 学科科目 A・B群	4 14	演習Ⅰ・Ⅱを 各1科目 学科科目 A・B群	4 4	
選択 (42単位)	①本学科開講科目（選択必修科目を最低基準以上履修した場合の余剰単位分）②課程科目（実習を除く）③他学部他学科の「学科科目」④必修科目として履修した言語と異なる言語の外国語科目〔同一言語を4単位以上取得した場合8単位まで（2つの言語を4単位ずつでも可）〕⑤全学共通科目（必修科目・ウエルネス&スポーツ科目の実技科目を除く。ただし卒業単位に充当できるのは12単位まで）で充当することができる。								

(注) 学科科目 A・B 群は、2年次（8単位）、3年次（14単位）、4年次（4単位）と記してあるが、これは推奨される標準的な履修の仕方の1例である。

3. 履修上の注意

14～18年次生

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）を参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目を必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 学科科目について

- (1) 1年次に総合人間科学入門、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、社会調査方法論Ⅰを必修履修のこと。
- (2) 2年次生は、社会学理論Ⅰ、社会学理論Ⅱ、社会調査方法論Ⅱを必修履修のこと。
また、選択必修科目として、秋学期に開講されるA群の研究演習のうちから1つを履修することとする。
- (3) 3・4年次生は、選択必修科目として、A群の演習Ⅰ・Ⅱのセットのうちから1つを選択することとする。すなわち、演習Ⅰ（文化社会学）と演習Ⅱ（文化社会学）のように、各学年で、担当教員・科目名が同じ2科目（合計4単位）のみを履修のこと。ただし、演習Ⅰ（文化社会学）→演習Ⅱ（文化社会学）のように、同一科目の演習Ⅰを履修した後で演習Ⅱを履修しなければならない。演習Ⅰを履修せずに演習Ⅱを履修する場合には、担当教員の許可を得なければならない。
3・4年次生対象の演習Ⅰ・Ⅱについては、同一科目（担当教員・科目名が同じ）を2回以上履修しても卒業単位として認める。
- (4) 3・4年次生向けの社会調査演習1、社会調査演習2は、具体的な1つのテーマに基づく調査活動を演習形式・実習形式にておこなう科目であることから、履修希望者は原則として同一年次に1・2を連続して履修すること。授業内容の性格上、1年次の社会調査方法論Ⅰと2年次の社会調査方法論Ⅱを共に履修済みであることを原則とする。春の第1回目の授業に必ず出席し、社会調査演習1・2を通じての履修方法についての説明を聞くこと。また、社会調査演習1・2を通して、年度当初に実習費12,000円を徴収するので、指示にしたがい、全額納入すること。
- (5) 選択必修科目の単位については、本学科専門科目A・B群（2年次生対象の研究演習と3・4年生対象の演習Ⅰ・Ⅱを含む）で充当することができる。
- (6) 選択科目の単位については、①本学科開講科目②課程科目（実習を除く）③他学部他学科の「学科科目」④語学科目（8単位まで）⑤全学共通科目（必修科目・ウエルネス&スポーツ科目の実技科目を除く。ただし卒業単位に充当できるのは12単位まで）で充当することができる。
- (7) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合の単位について
選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

13年次生

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目を必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 学科科目について

- (1) 1年次に総合人間科学入門，基礎演習Ⅰ，基礎演習Ⅱを必修履修のこと。
- (2) 2年次生は，社会学理論Ⅰ，社会学理論Ⅱ，社会調査方法論Ⅰ，社会調査方法論Ⅱを必修履修のこと。
- (3) 3・4年次生は，選択必修科目として，A群の演習Ⅰ・Ⅱのセットのうちから1つを選択することとする。すなわち，演習Ⅰ（文化社会学）と演習Ⅱ（文化社会学）のように，各学年で，担当教員・科目名が同じ2科目（合計4単位）のみを履修のこと。ただし，演習Ⅰ（文化社会学）→演習Ⅱ（文化社会学）のように，同一科目の演習Ⅰを履修した後で演習Ⅱを履修しなければならない。演習Ⅰを履修せずに演習Ⅱを履修する場合には，担当教員の許可を得なければならない。
3・4年次生対象の演習Ⅰ・Ⅱについては，同一科目（担当教員・科目名が同じ）を2回以上履修しても卒業単位として認める。
- (4) 3・4年次生向けの社会調査演習1，社会調査演習2は，具体的な1つのテーマに基づく調査活動を演習形式・実習形式にておこなう科目であることから，履修希望者は原則として同一年次に1・2を連続して履修すること。授業内容の性格上，2年次の社会調査方法論Ⅰ・Ⅱを共に履修済みであることを原則とする。春の第1回目の授業に必ず出席し，社会調査演習1・2を通じての履修方法についての説明を聞くこと。また，社会調査演習1・2を通して，年度当初に実習費12,000円を徴収するので，指示にしたがい，全額納入すること。
- (5) 選択科目の単位については，①本学科開講科目②課程科目（実習を除く）③他学部他学科の「学科科目」④必修科目として履修した言語と異なる言語の外国語科目〔同一言語を4単位以上取得することを条件に8単位まで（2つの言語を4単位ずつでも可）〕⑤全学共通科目（必修科目・ウエルネス&スポーツ科目の実技科目を除く。ただし卒業単位に充当できるのは12単位まで）で充当することができる。
- (6) 選択必修科目を最低基準以上履修した場合の単位について
選択必修科目を最低基準以上履修した場合，その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

全学年共通

① 全学共通科目について

- (1) 1年次に「社会学，社会学A，社会学B」を履修することが望ましい。
- (2) 全学共通科目としての外国語については要覧（共通編）p.165（14年次生以降）～/p.236（13年次生以前）～を参照のこと。

② 卒業論文について

- (1) 大学院進学希望者は，卒業論文に取り組み提出することが望ましい。
- (2) 原則として秋学期開講科目「卒業論文」（6単位）を履修すること。ただし，9月卒業予定の学生については春学期開講科目の履修を認める。なお，春学期に登録する場合は，履修登録期間中に学事センター窓口で登録手続きをする必要がある。
- (3) 卒業論文のタイトルと希望する指導教員に関して，「卒業論文予備登録票」を4年次の5月末までに総合人間科学部事務室社会学科担当に提出すること。
- (4) 卒業論文は，A4判横書き20,000字（400字詰原稿用紙50枚）以上，ファイル綴じとする。できる限りワープロ使用のこと。横書き。行数や1行の設定は自由とする。
- (5) 提出要領は下記のとおりである。
ア 期間／時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
イ 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(単位)

1年次		2年次		3年次		4年次		合計
春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
24	24	24	24	24	24	24	24	192

④ 開講科目の履修順序について

以下のA→Bは、原則として、Aを履修した後でBを履修しなければならないことを意味する。やむをえない理由により、Aを履修せずにBを履修する場合には、担当教員の許可を得なければならないが、科目や場合によって、認められないこともある。

- 基礎演習Ⅰ→基礎演習Ⅱ
- 社会学理論Ⅰ→社会学理論Ⅱ
- 社会調査演習1→社会調査演習2

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
SOC	Sociology	社会学

4. 開講科目担当表

学部共通科目・・・必修科目 2単位 ・ 選択必修科目 4単位

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
学部 共通 科目	必修	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀学 総合人間科学部学科教員	1		輪講
	選択必修			総合人間科学部共通科目			自学科以外の開講科目から2 科目4単位を選択し履修する こと。開講科目については総 合人間科学部(p.162～)参照。	1～4		

学科専門科目A群（必修科目）・・・12単位

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
必修 科目	学科 専門 科目 A 群	287201	SOC101	基礎演習Ⅰ	2	春	植田 今日子	1		Aクラス
		287201	SOC101	基礎演習Ⅰ	2	春	芳賀学・田淵六郎	1		Bクラス
		287301	SOC102	基礎演習Ⅱ	2	秋	*藤本 隆史	1		A1クラス
		287301	SOC102	基礎演習Ⅱ	2	秋	猿谷 弘江	1		A2クラス
		287301	SOC102	基礎演習Ⅱ	2	秋	*藤本 隆史	1		B1クラス
		287301	SOC102	基礎演習Ⅱ	2	秋	猿谷 弘江	1		B2クラス
		280811	SOC301	社会学理論Ⅰ	2	春	渡辺 深	2		
		280821	SOC302	社会学理論Ⅱ	2	秋	今井 順	2		
		280711	SOC103	社会調査方法論Ⅰ	2	秋	田淵 六郎	1		
		280712	SOC201	社会調査方法論Ⅱ	2	春	芳賀 学	2		

学科専門科目A群・B群（選択必修科目）・34単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	学科専門科目A群	281004	SOC303	社会学史Ⅰ	2	休講		2～4	隔年開講	
		281005	SOC304	社会学史Ⅱ	2	秋	*井 腰 圭 介	2～4	隔年開講	
		284710	SOC203	ライフスタイルの社会学	2	春	*石 田 健太郎	2～4	[180名]社会学科優先	
		284720	SOC305	ライフコースの社会学	2	秋	*玉 置 佑 介	2～4	隔年開講	
		284730	SOC306	計画と政策の社会学	2	休講		2～4	隔年開講	
		284010	SOC204	宗教社会学Ⅰ	2	春	芳 賀 学	2～4		
		284011	SOC307	宗教社会学Ⅱ	2	秋	芳 賀 学	2～4	隔年開講	
		284740	SOC308	文化社会学	2	休講		2～4	隔年開講	
		284751	SOC205	家族社会学Ⅰ	2	休講		2～4	隔年開講	
		284752	SOC309	家族社会学Ⅱ	2	春	田 渕 六 郎	2～4	隔年開講	
		284910	SOC310	エイジングと世代の社会学	2	休講		2～4	隔年開講	
		288808	SOC202	地域フィールドワーク	2	秋	田 渕 六 郎	2～4	隔年開講	
		284501	SOC206	ジェンダーの社会学	2	春	*大 槻 奈 巳	2～4	[120名]社会学科優先	
		288892	SOC207	雇用と労働の社会学	2	春	今 井 順	2～4	隔年開講	
		288893	SOC217	WORK AND EMPLOYMENT IN JAPAN	2	秋	今 井 順	2～4	○	
		288894	SOC311	格差と不平等の社会学	2	休講		2～4	隔年開講	
		283002	SOC312	社会心理学	2	春	*大 庭 絵 里	2～4		
		283010	SOC313	逸脱の社会学	2	秋	*大 庭 絵 里	2～4		
		285231	SOC315	政治社会学Ⅰ	2	春	猿 谷 弘 江	2～4		
		285232	SOC209	政治社会学Ⅱ	2	休講		2～4	隔年開講	
		288807	SOC217	SOCIAL CHANGE IN POSTWAR JAPAN	2	秋	猿 谷 弘 江	2～4	○	[30名]社会学科優先、隔年開講
		282710	SOC210	組織社会学Ⅰ	2	秋	渡 辺 深	2～4		[100名]社会学科優先、隔年開講
		282720	SOC316	組織社会学Ⅱ	2	休講		2～4	隔年開講	
		285110	SOC211	経済と文化	2	休講		2～4	隔年開講	
		285120	SOC317	経済とネットワーク	2	休講		2～4	隔年開講	
		284815	SOC212	SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	春	吉 野 耕 作	2～4	○	[100名]社会学科優先
		284820	SOC318	グローバル化の社会学	2	秋	吉 野 耕 作	2～4		[100名]社会学科優先
		288809	SOC213	環境と民俗	2	春	植 田 今日子	2～4		[150名]社会学科優先
		288890	SOC314	地域社会学	2	秋	植 田 今日子	2～4		[150名]社会学科優先
		288891	SOC208	都市の社会学	2	春	*浅 川 達 人	2～4		
		284830	SOC319	社会学データ分析法	2	春	*酒 井 計 史	2～4		社会学科生のみ
		284901	SOC320	社会学計量分析法	2	秋	*酒 井 計 史	2～4		社会学科生のみ
		284840	SOC321	人口社会学	2	秋	*金 子 隆 一	2～4		隔年開講
		284850	SOC322	開発の社会学	2	秋	*佐 藤 裕	2～4		隔年開講
284880	SOC215	ミクロ社会学	2	秋	*浅 野 智 彦	2～4				
284890	SOC323	マクロ社会学	2	休講		2～4		隔年開講		
288806	SOC345	災害の社会学	2	休講		2～4		隔年開講		
288803	SOC104	社会学	2	秋	*中 野 佑 一	1～4		教職課程指定科目		
288804	SOC105	政治学	2	春	*滝 本 順 子	1～4		教職課程指定科目		
287140	SOC324	社会調査演習1	2	春	吉 野 耕 作	3・4		社会学科3・4年のみ		
287141	SOC325	社会調査演習2	2	秋	吉 野 耕 作	3・4		社会学科3・4年のみ		
287400	SOC216	研究演習	2	秋	田 渕 六 郎	2		Aクラス（2014年次生以降対象科目）		
287400	SOC216	研究演習	2	秋	芳 賀 学	2		Bクラス（2014年次生以降対象科目）		
287400	SOC216	研究演習	2	秋	*酒 井 計 史	2		Cクラス（2014年次生以降対象科目）		
287400	SOC216	研究演習	2	秋	*玉 置 佑 介	2		Dクラス（2014年次生以降対象科目）		

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選択必修科目	288751	SOC326	演習Ⅰ(ライフスタイルの社会学)	2	春	藤村正之	3・4		
	288752	SOC327	演習Ⅱ(ライフスタイルの社会学)	2	秋	藤村正之	3・4		
	288613	SOC328	演習Ⅰ(文化社会学)	2	春	芳賀学	3・4		
	288614	SOC329	演習Ⅱ(文化社会学)	2	秋	芳賀学	3・4		
	288795	SOC330	演習Ⅰ(雇用と労働の社会学)	2	春	今井順	3・4		
	288796	SOC331	演習Ⅱ(雇用と労働の社会学)	2	秋	今井順	3・4		
	288615	SOC332	演習Ⅰ(生活世界の社会学)	2	春	植田今日子	3・4		
	288616	SOC333	演習Ⅱ(生活世界の社会学)	2	秋	植田今日子	3・4		
	288781	SOC334	演習Ⅰ(エイジングと世代の社会学)	2	春	田渕六郎	3・4		
	288782	SOC335	演習Ⅱ(エイジングと世代の社会学)	2	秋	田渕六郎	3・4		
	288793	SOC336	演習Ⅰ(社会学史)	2	春	*井腰圭介	3・4		
	288794	SOC337	演習Ⅱ(社会学史)	2	秋	*井腰圭介	3・4		
	288801	SOC338	演習Ⅰ(政治社会学)	2	春	猿谷弘江	3・4		
	288802	SOC339	演習Ⅱ(政治社会学)	2	秋	猿谷弘江	3・4		
	288723	SOC340	演習Ⅰ(経済と組織)	2	春	渡辺深	3・4		
	288724	SOC341	演習Ⅱ(経済と組織)	2	秋	渡辺深	3・4		
	288771	SOC342	演習Ⅰ(ナショナリズムとグローバル化)	2	春	吉野耕作	3・4		
	288772	SOC343	演習Ⅱ(ナショナリズムとグローバル化)	2	秋	吉野耕作	3・4		
	289103	SOC401	卒業論文	6	春	社会学科教員	4		9月卒業生対象
	289103	SOC401	卒業論文	6	秋	社会学科教員	4		
学科専門科目B群	154631	PSL236	発達心理学	2					(他) 心理学科
	BGS53500	GIC302	比較社会学	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS53600	GIC303	国際社会学1	2					(他) 総合グローバル学科
	BGS53601	GIC304	国際社会学2	2					(他) 総合グローバル学科
	437311	MGT245	産業社会学Ⅰ	2					(他) 経営学科
	437312	MGT246	産業社会学Ⅱ	2					(他) 経営学科

学科科目（選択科目）・・・42単位

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選択科目	外国語科目			学科科目としての外国語	4~8			1~4		【13年次生以前】全学共通科目の必修外国語で履修した以外の同一言語を4単位以上履修した場合、8単位まで学科選択科目に算入できる。	
	語学科目			学科科目としての語学科目	1~8			1~4		【14年次生以降】英語およびその他の言語を8単位まで学科選択科目に算入できる。	
		14009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田 潤 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4			
		14009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田 潤 六 郎 *信 岡 良 亮	1~4			
		140521	EDU217	教育社会学Ⅱ	2					(他) 教育学科	
		154722	PSL316	社会心理学Ⅱ (社会・集団・家族心理学)	2					(他) 心理学科	
		267511	JRN221	国際コミュニケーション論Ⅰ	2					(他) 新聞学科	
		267512	JRN222	国際コミュニケーション論Ⅱ	2					(他) 新聞学科	
		437511	MGT241	経営組織論Ⅰ	2					(他) 経営学科	
		437512	MGT242	経営組織論Ⅱ	2					(他) 経営学科	
		BGS52200	GIP300	国際政治学1	2					(他) 総合グローバル学科	
		BGS52201	GIP301	国際政治学2	2					(他) 総合グローバル学科	
		854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1					(他) 言語教育研究センター 14年次生以降対象。履修要覧(共通編)の言語教育研究センター開講科目(p.212~)を参照	
		854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1						
		854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1						
		534807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1						
		854812	ENG250	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1						
		854869	ENG260	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1						
		850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1						
		850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1						
		854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1						
		854877	ENG260	ACADEMIC LISTENING	1						
		854879	ENG250	SPEAKING FOUNDATIONS	1						
		854878	ENG260	ACADEMIC SPEAKING	1						
	その他			他学部他学科科目(外国語を除く)・課程科目(実習を除く)・全学共通科目(必修・保健体育系実技・スポーツコースを除く)	各開講科目担当表を参照						全学共通科目は12単位まで選択科目に算入可

学部共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

社会福祉学科

〔教育研究上の目的〕

人間の尊厳が実現される社会を構築するための、新しい福祉社会を構想し、それを実現するための政策・運営管理を行う能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

新しい福祉のあり方を福祉の実践現場、地域社会、行政で実現するために、その指導的役割を担うことができる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、福祉社会の実現に貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 社会福祉学の基本的概念と価値観を学んで得た人間の尊厳を重視する精神・態度
2. 幅広い視点を持ち、他者や社会の理解を深め、社会福祉のさまざまな分野についての構想を持つ能力
3. 社会福祉の政策・運営管理についての知識と技能を取得し、駆使する能力
4. 社会福祉の臨床についての知識と技能を取得し、駆使する能力
5. 高いレベルのコミュニケーション・スキルと、専門的知識および実践能力を身につけ、社会福祉の現場などで活用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目群および基礎科目群により、社会福祉の基本的概念と価値観を修得させる。
2. 社会福祉分野科目群により、幅広い視点から、他者や社会の理解を深める。
3. 福祉政策運営管理科目群により、社会福祉の政策・運営管理について学び、関連した知識と技能を修得させる。
4. 福祉臨床科目群により、社会福祉の臨床について学ばせ、関連した知識と技能を修得させる。
5. 演習・実習科目群および社会福祉アドバンス科目群では、少人数のディスカッションやグループ学習により、コミュニケーション・スキルや、専門的知識・実践能力を身につけさせる。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

17年次生以降

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	94単位		{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 学科専門科目 88単位 { 必修 24単位 選択必修 22単位または24単位 選択 42単位または40単位
合 計		124単位	

16年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	98単位		{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 学科専門科目 92単位 { 必修 24単位 選択必修 24単位または26単位 選択 44単位または42単位
合 計		128単位	

14・15年次生

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	102単位		{ 学部共通科目 6単位 { 必修 2単位 選択必修 4単位 学科専門科目 96単位 { 必修 24単位 選択必修 24単位または26単位 選択 48単位または46単位
合 計		132単位	

11～13年次生

全学共通科目	30単位	{ <table> <tr> <td>必修</td> <td>10単位</td> <td rowspan="2"> { <table> <tr> <td>体育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> <td>[キリスト教人間学]</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>16単位</td> <td></td> </tr> </table>	必修	10単位	{ <table> <tr> <td>体育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table>	体育	2単位	外国語科目	8単位	選択必修	4単位	[キリスト教人間学]	選択	16単位				
必修	10単位		{ <table> <tr> <td>体育</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>8単位</td> </tr> </table>	体育		2単位	外国語科目	8単位										
体育	2単位																	
外国語科目	8単位																	
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]																
選択	16単位																	
学科科目	102単位	{ <table> <tr> <td>学部共通科目</td> <td>6単位</td> <td rowspan="2"> { <table> <tr> <td>必修</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学科専門科目</td> <td>96単位</td> <td rowspan="3"> { <table> <tr> <td>必修</td> <td>24単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>24単位または26単位</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>48単位または46単位</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	学部共通科目	6単位	{ <table> <tr> <td>必修</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> </tr> </table>	必修	2単位	選択必修	4単位	学科専門科目	96単位	{ <table> <tr> <td>必修</td> <td>24単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>24単位または26単位</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>48単位または46単位</td> </tr> </table>	必修	24単位	選択必修	24単位または26単位	選択	48単位または46単位
学部共通科目	6単位		{ <table> <tr> <td>必修</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>4単位</td> </tr> </table>	必修		2単位	選択必修	4単位										
必修	2単位																	
選択必修	4単位																	
学科専門科目	96単位	{ <table> <tr> <td>必修</td> <td>24単位</td> </tr> <tr> <td>選択必修</td> <td>24単位または26単位</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>48単位または46単位</td> </tr> </table>	必修	24単位	選択必修	24単位または26単位	選択	48単位または46単位										
必修	24単位																	
選択必修	24単位または26単位																	
選択	48単位または46単位																	
<hr/> 合計 132単位																		

2. 標準配当表

17年次生以降

全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	履修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※(2017年次生のみ) 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(*1)						高学年向け教養科目

○語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2					
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること						4
	必修 (24単位)	基礎演習	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	地域福祉論	2	
		社会保障論Ⅰ	2	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	福祉経営論Ⅱ	2	
				相談援助の基盤と専門職福祉経営論Ⅰ	2			
			演習(4科目分)*2					
学科科目 94単位	選択必修 (22または24単位)	社会福祉概論・社会福祉原論・社会福祉政策論の3科目の中から2科目を履修*3						4
		高齢者福祉論・児童福祉論・障害者福祉論Ⅰ・精神保健福祉論の4科目の中から3科目を履修*3						6
		福祉政策運営管理系科目群(C群)8単位, または福祉臨床系科目群(D群)8単位						8
選択 (42または40単位)		*4 { 社会福祉実践・理論総合演習						2または4
		*4 { レポート指導 または 論文指導						2 2
		学科科目としての語学科目(E群)(4単位) ①本学科開講科目②課程科目(実習を除く)③他学部・他学科科目(語学科目, 社会福祉学科「開講科目担当表」所載のものを除く)で充当することができる。ただし②と③で充当できるのは8単位までである。 全学共通科目は, 10単位まで卒業単位として充当することができる。						42 または 40

(注) *1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については, 履修要覧(共通編) p.165~を参照。

*2 必修の演習については, 2年秋学期以降履修し, 卒業までに8単位を履修すること。

*3 「社会福祉概論」・「社会福祉原論」・「社会福祉政策論」から2科目を選択し履修すること。

「高齢者福祉論」・「児童福祉論」・「障害者福祉論Ⅰ」・「精神保健福祉論」から3科目を選択し履修すること。

*4 社会福祉実践・理論総合演習(春学期2単位)とレポート指導(2単位)の計4単位, または社会福祉実践・理論総合演習(春学期2単位および秋学期2単位)と論文指導(2単位)の計6単位のいずれかを選択すること。

16年次生

全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(*1)						
					高学年向け教養科目			2

○語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 98単位	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
		選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること						4	
	学科専門科目 92単位	必修 (24単位)	基礎演習	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	地域福祉論	2		
			社会保障論Ⅰ	2	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	福祉経営論Ⅱ	2		
					相談援助の基盤と専門職 福祉経営論Ⅰ	2				
				演習(4科目分)*2						8
		選択必修 (24または26単位)	社会福祉概論・社会福祉原論・社会福祉政策論の3科目の中から2科目を履修*3						4	
高齢者福祉論・児童福祉論・障害者福祉論Ⅰ・精神保健福祉論の4科目の中から3科目を履修*3						6				
		福祉政策運営管理系科目群(C群)10単位、または福祉臨床系科目群(D群)10単位						10		
		*4 社会福祉実践・理論総合演習						2または4		
		*4 レポート指導 または 論文指導						2 2		
	選択 (44または42単位)	学科科目としての語学科目(E群)(4単位) ①本学科開講科目②課程科目(実習を除く)③他学部・他学科科目(語学科目, 社会福祉学科「開講科目担当表」所載のものを除く)で充当することができる。ただし②と③で充当できるのは8単位までである。 全学共通科目は、10単位まで卒業単位として充当することができる。						44または42		

(注) *1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

*2 必修の演習については、2年秋学期以降履修し、卒業までに8単位を履修すること。

*3 「社会福祉概論」・「社会福祉原論」・「社会福祉政策論」から2科目を選択し履修すること。

「高齢者福祉論」・「児童福祉論」・「障害者福祉論Ⅰ」・「精神保健福祉論」から3科目を選択し履修すること。

*4 社会福祉実践・理論総合演習(春学期2単位)とレポート指導(2単位)の計4単位、または社会福祉実践・理論総合演習(春学期2単位および秋学期2単位)と論文指導(2単位)の計6単位のいずれかを選択すること。

14・15年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(*1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4
学科科目 (102単位)	必修 (24単位)	基礎演習	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	地域福祉論	2		
		社会保障論Ⅰ	2	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	福祉経営論Ⅱ	2		
			相談援助の基盤と専門職 福祉経営論Ⅰ	2					
			演習(4科目分)*2					8	
			社会福祉概論・社会福祉原論・社会福祉政策論の3科目の中から2科目を履修*3						
選択必修 (24または26単位)		高齢者福祉論・児童福祉論・障害者福祉論Ⅰ・精神保健福祉論の4科目の中から3科目を履修*3							6
		福祉政策運営管理系科目群(C群)10単位, または福祉臨床系科目群(D群)10単位							10
						*4	社会福祉実践・理論総合演習	2 または 4	
選択 (48または46単位)						*4	レポート指導 または 論文指導	2 2	
		学科科目としての語学科目(E群)(4単位) ①本学科開講科目②課程科目(実習を除く)③他学部・他学科科目(語学科目, 社会福祉学科「開講科目担当表」所載のものを除く)で充当することができる。ただし②と③で充当できるのは10単位までである。 全学共通科目は, 12単位まで卒業単位として充当することができる。							48 または 46

(注) *1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については, 履修要覧(共通編)p.165~を参照。

*2 必修の演習については, 2年秋学期以降履修し, 卒業までに8単位を履修すること。

*3 「社会福祉概論」・「社会福祉原論」・「社会福祉政策論」から2科目を選択し履修すること。

「高齢者福祉論」・「児童福祉論」・「障害者福祉論Ⅰ」・「精神保健福祉論」から3科目を選択し履修すること。

*4 2016年度より, 「社会福祉実践・理論総合演習A」および「社会福祉実践・理論総合演習B」は, 「社会福祉実践・理論総合演習」に変更となった。(詳細は, 履修上の注意 p.221を参照すること。)

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (102単位)	学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2						
		選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4
	必修 (24単位)	基礎演習	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	地域福祉論	2			
		社会保障論Ⅰ	2	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	福祉経営論Ⅱ	2			
				相談援助の基盤と専門職 福祉経営論Ⅰ	2					
	学科専門科目 (96単位)	選択必修 (24または26単位)	社会福祉概論・社会福祉原論・社会福祉政策論の3科目の中から2科目を履修*2							4
			高齢者福祉論・児童福祉論・障害者福祉論Ⅰ・精神保健福祉論の4科目の中から3科目を履修*2							6
		福祉政策運営管理系科目群 (C群) 10単位, または福祉臨床系科目群 (D群) 10単位							10	
		*3 { 社会福祉実践・理論総合演習							2 または 4	
	選択 (48または46単位)	*3 { レポート指導 または 論文指導							2 2	
学科科目としての外国語 (E群) (4単位) ①本学科開講科目②課程科目(実習を除く)③他学部・他学科科目(外国語科目, 社会福祉学科「開講科目担当表」所載のものを除く)で充当することができる。ただし②と③で充当できるのは10単位までである。 全学共通科目は、12単位まで卒業単位として充当することができる。							48 または 46			

- (注) *1 必修の演習については、2年秋学期以降履修し、卒業までに8単位を履修すること。
 *2 「社会福祉概論」・「社会福祉原論」・「社会福祉政策論」から2科目を選択し履修すること。
 「高齢者福祉論」・「児童福祉論」・「障害者福祉論Ⅰ」・「精神保健福祉論」から3科目を選択し履修すること。
 *3 2016年度より、「社会福祉実践・理論総合演習A」および「社会福祉実践・理論総合演習B」は、「社会福祉実践・理論総合演習」に変更となった。(詳細は、履修上の注意 p.221 を参照すること。)

3. 履修上の注意

17年次生以降

※全学年共通の注意はp.221参照

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目計4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 語学科目について

- (1) 英語を含め同一言語を4単位履修した場合、4単位まで、学科選択科目として充当することができる。

③ 学科科目について

- (1) 選択科目は本学科開講科目の他、①課程科目（実習を除く）②他学部他学科の学科科目（外国語科目を除く）で充当することができる。ただし①と②で充当できるのは、8単位までである。
- (2) 全学共通科目（必修は除く）は10単位まで学科選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (3) 同一科目を2度以上履修しても、2度目以降は卒業に必要な単位に算入されない。ただし、以下の科目は例外とする。
 - ・「演習」：同一科目（同一教員も可）を必要単位数以上履修した場合もすべて卒業に必要な単位（学科選択科目）に算入される。
 - ・「社会福祉実践・理論総合演習」：「論文指導」を履修する学生は、春学期2単位および秋学期2単位を履修しなければならない。※p.221①(2)参照
- (4) 「社会福祉概論」、「社会福祉原論」、「社会福祉政策論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。「高齢者福祉論」、「児童福祉論」、「障害者福祉論Ⅰ」、「精神保健福祉論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。
- (5) 「福祉科教育法Ⅱ」は、「福祉科教育法Ⅰ」の履修完了者が受講することが望ましい。
- (6) 福祉政策運営管理系を履修する学生は、選択必修科目の福祉政策運営管理系科目群（C群）を少なくとも8単位履修しなければならない。福祉臨床系を履修する学生は、選択必修科目の福祉臨床系科目群（D群）を少なくとも8単位履修しなければならない。いずれの系を履修する場合も、もう一方の系の科目を履修することが出来る。なお、8単位以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

④ 「社会福祉実習」について

<社会福祉士の資格取得を目指す学生>

- (1) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」は原則として春・秋学期を通して履修すること。ただし、留学等特別な事情がある場合は、学科長に相談すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修するためには、予め「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉実習指導Ⅰ」を履修していなければならない。
- (3) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修する学生は、同時に「社会福祉実習指導Ⅱ・Ⅲ」を履修しなくてはならない。
- (4) 「社会福祉実習ⅡA・ⅡB」は原則として「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修後、または同時期に履修すること。
- (5) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」を履修する学生は、実習担当教員とよく相談のうえ、その履修方法を定めること。いずれの実習も3年次ないし4年次に履修すること。
- (6) 社会福祉実習ⅠA、ⅡAの評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (7) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB」を履修するためには、学生は実習に要する費用を、履修を始める年次に、所定の振込用紙で全額大学財務局に納入しなければならない。

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目計4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 語学科目について

- (1) 英語を含め同一言語を4単位以上履修した場合、4単位まで、学科選択科目として充当することができる。

③ 学科科目について

- (1) 選択科目は本学科開講科目の他、①課程科目（実習を除く）②他学部他学科の学科科目（外国語科目を除く）で充当することができる。ただし①と②で充当できるのは、8単位までである。
- (2) 全学共通科目（必修は除く）は10単位まで学科選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (3) 同一科目を2度以上履修しても、2度目以降は卒業に必要な単位に算入されない。ただし、以下の科目は例外とする。
 - ・「演習」：同一科目（同一教員も可）を必要単位数以上履修した場合もすべて卒業に必要な単位（学科選択科目）に算入される。
 - ・「社会福祉実践・理論総合演習」：「論文指導」を履修する学生は、春学期2単位および秋学期2単位を履修しなければならない。※p.221①(2)参照
- (4) 「社会福祉概論」、「社会福祉原論」、「社会福祉政策論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。「高齢者福祉論」、「児童福祉論」、「障害者福祉論Ⅰ」、「精神保健福祉論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。
- (5) 「福祉科教育法Ⅱ」は、「福祉科教育法Ⅰ」の履修完了者が受講することが望ましい。
- (6) 福祉政策運営管理系を履修する学生は、選択必修科目の福祉政策運営管理系科目群（C群）を少なくとも10単位履修しなければならない。福祉臨床系を履修する学生は、選択必修科目の福祉臨床系科目群（D群）を少なくとも10単位履修しなければならない。いずれの系を履修する場合も、もう一方の系の科目を履修することが出来る。なお、10単位以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

④ 「社会福祉実習」および「精神保健福祉援助実習」について

<社会福祉士の資格取得を目指す学生>

- (1) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」は原則として春・秋学期を通して履修すること。ただし、留学等特別な事情がある場合は、学科長に相談すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修するためには、予め「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉実習指導Ⅰ」を履修していなければならない。
- (3) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修する学生は、同時に「社会福祉実習指導Ⅱ・Ⅲ」を履修しなくてはならない。
- (4) 「社会福祉実習ⅡA・ⅡB」は原則として「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修後、または同時期に履修すること。
- (5) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」を履修する学生は、実習担当教員とよく相談のうえ、その履修方法を定めること。いずれの実習も第3年次ないし第4年次に履修すること。
- (6) 社会福祉実習ⅠA、ⅡAの評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (7) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB」を履修するためには、学生は実習に要する費用を、履修を始める年次に、所定の振込用紙で全額大学財務局に納入しなければならない。

<精神保健福祉士の資格取得を目指す学生>（「精神保健福祉援助実習」の履修について、必ず担当教員の説明を受けること。）

- (1) ⑥精神保健福祉コースについて（p.217⑥）を参照すること。

⑤ 社会福祉士および精神保健福祉士の資格制度に対応した履修方法について

- (1) 社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格の取得は、いずれかの選択制とする。
 なお、それぞれの資格取得に必要な科目については、[受験に必要な科目について]（p.223～p.224）を参考にして履修すること。なお、精神保健福祉士の資格取得を目指す学生は、⑥精神保健福祉コースについてを参照すること。

- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」と「精神保健福祉援助実習A・B」は、いずれかの科目の選択である。また、この両科目を同学年で履修することはできない。
- (3) 「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「精神保健福祉援助演習（基礎）・（専門Ⅰ）・（専門Ⅱ）」の両科目を同学年で履修することはできない。

⑥ 精神保健福祉コースについて

- (1) 精神保健福祉コースは、精神保健福祉士国家試験受験資格を希望する学生または精神保健福祉を専門に学びたい学生のためのものである。
- (2) コースの詳細および科目の履修方法等については、学科ガイダンスで説明する。

14・15年次生 ※全学年共通の注意はp.221参照

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目計4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位に算入する。

② 語学科目について

- (1) 英語を含め同一言語を4単位履修した場合、4単位まで、学科選択科目として充当することができる。

③ 学科科目について

- (1) 選択科目は本学科開講科目の他、①課程科目（実習を除く）②他学部他学科の学科科目（外国語科目を除く）で充当することができる。ただし①と②で充当できるのは、10単位までである。
- (2) 全学共通科目（必修は除く）は12単位まで学科選択科目として卒業単位に充当することができる。
- (3) 同一科目を2度以上履修しても、2度目以降は卒業に必要な単位に算入されない。ただし、以下の科目は例外とする。
 - ・「演習」：同一科目（同一教員も可）を必要単位数以上履修した場合もすべて卒業に必要な単位（学科選択科目）に算入される。
 - ・「社会福祉実践・理論総合演習」：「論文指導」を履修する学生は、春学期2単位および秋学期2単位を履修しなければならない。※p.221①(2)参照
- (4) 「社会福祉概論」、「社会福祉原論」、「社会福祉政策論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。「高齢者福祉論」、「児童福祉論」、「障害者福祉論Ⅰ」、「精神保健福祉論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。
- (5) 「福祉科教育法Ⅱ」は、「福祉科教育法Ⅰ」の履修完了者が受講することが望ましい。
- (6) 福祉政策運営管理系を履修する学生は、選択必修科目の福祉政策運営管理系科目群（C群）を少なくとも10単位履修しなければならない。福祉臨床系を履修する学生は、選択必修科目の福祉臨床系科目群（D群）を少なくとも10単位履修しなければならない。いずれの系を履修する場合も、もう一方の系の科目を履修することが出来る。なお、10単位以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。

④ 「社会福祉実習」および「精神保健福祉援助実習」について

＜社会福祉士の資格取得を目指す学生＞

- (1) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」は原則として春・秋学期を通して履修すること。ただし、留学等特別な事情がある場合は、学科長に相談すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修するためには、予め「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉実習指導Ⅰ」を履修していなければならない。
- (3) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修する学生は、同時に「社会福祉実習指導Ⅱ・Ⅲ」を履修しなくてはならない。
- (4) 「社会福祉実習ⅡA・ⅡB」は原則として「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修後、または同時期に履修すること。
- (5) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」を履修する学生は、実習担当教員とよく相談のうえ、その履修方法を定めること。いずれの実習も第3年次ないし第4年次に履修すること。
- (6) 社会福祉実習ⅠA、ⅡAの評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (7) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB」を履修するためには、学生は実習に要する費用を、履修を始める年

学部
共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

- 次に、所定の振込用紙で全額大学財務局に納入しなければならない。
<精神保健福祉士の資格取得を目指す学生>（「精神保健福祉援助実習」の履修について、必ず担当教員の説明を受けること。）
(1) 下記の⑥精神保健福祉コースについてを参照すること。

⑤ 社会福祉士および精神保健福祉士の資格制度に対応した履修方法について

- (1) 社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格の取得は、いずれかの選択制とする。
なお、それぞれの資格取得に必要な科目については、[受験に必要な科目について] (p.223～p.224) を参考に
して履修すること。なお、精神保健福祉士の資格取得を目指す学生は、⑥精神保健福祉コースについてを参
照すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」と「精神保健福祉援助実習A・B」は、いずれかの科目の選択である。また、この
両科目を同学年で履修することはできない。
- (3) 「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「精神保健福祉援助演習（基礎）・（専門Ⅰ）・（専門Ⅱ）」の両科目を同学年で
履修することはできない。

⑥ 精神保健福祉コースについて

- (1) 精神保健福祉コースは、精神保健福祉士国家試験受験資格を希望する学生または精神保健福祉を専門に学び
たい学生のためのものである。
- (2) コースの詳細および科目の履修方法等については、学科ガイダンスで説明する。

11～13年次生 ※全学年共通の注意はp.221参照

① 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目計4単位（1年次～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め卒業単位数に算入する。

② 外国語科目について

- (1) 学科科目としての外国語は、英語以外の同一外国語を4単位履修した場合、選択科目として充当することができる。
- (2) 外国人留学生が、全学共通科目として外国語8単位を日本語で履修した場合、学科科目としての外国語4単位については、英語で履修することを認める。

③ 学科科目について

- (1) 選択科目は本学科開講科目の他、①課程科目（実習を除く）②他学部他学科の学科科目（外国語科目を除く）で充当することができる。ただし①と②で充当できるのは、10単位までである。
- (2) 全学共通科目（必修は除く）は12単位まで学科選択科目として卒業単位数に充当することができる。
- (3) 同一科目を2度以上履修しても、2度目以降は卒業に必要な単位数に算入されない。ただし、以下の科目は例外とする。
 - ・「演習」：同一科目（同一教員も可）を必要単位数以上履修した場合もすべて卒業に必要な単位（学科選択科目）に算入される。
 - ・「社会福祉実践・理論総合演習」：「論文指導」を履修する学生は、春学期2単位および秋学期2単位を履修しなければならない。※p.221①(2)参照
- (4) 「社会福祉概論」、「社会福祉原論」、「社会福祉政策論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。「高齢者福祉論」、「児童福祉論」、「障害者福祉論Ⅰ」、「精神保健福祉論」をすべて履修した場合、1科目は学科選択科目に算入される。
- (5) 「福祉科教育法Ⅱ」は、「福祉科教育法Ⅰ」の履修完了者が受講することが望ましい。
- (6) 福祉政策運営管理系を履修する学生は、選択必修科目の福祉政策運営管理系科目群（C群）を少なくとも10単位履修しなければならない。福祉臨床系を履修する学生は、選択必修科目の福祉臨床系科目群（D群）を少なくとも10単位履修しなければならない。いずれの系を履修する場合も、もう一方の系の科目を履修することが出来る。なお、10単位以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位数に充当することができる。

④ 「社会福祉実習」および「精神保健福祉援助実習」について

＜社会福祉士の資格取得を目指す学生および精神保健福祉士の資格取得を目指す11年次生以前の学生＞

- (1) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」「精神保健福祉援助実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」は原則として春、秋学期を通して履修すること。ただし、留学等特別な事情がある場合は、学科長に相談すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」または「精神保健福祉援助実習ⅠA・ⅠB」を履修するためには、予め「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉実習指導Ⅰ」または「精神保健福祉援助演習」を履修していなければならない。
- (3) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修する学生は、同時に「社会福祉実習指導Ⅱ・Ⅲ」を履修しなくてはならない。
- (4) 「社会福祉実習ⅡA・ⅡB」は原則として「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」を履修後、または同時期に履修すること。
- (5) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」または「精神保健福祉援助実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」を履修する学生は、実習担当教員とよく相談のうえ、その履修方法を決めること。いずれの実習も第3年次ないし第4年次に履修すること。
- (6) 社会福祉実習ⅠA、ⅡAおよび精神保健福祉援助実習ⅠA、ⅡAの評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (7) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」または「精神保健福祉援助実習ⅠA・ⅠB及びⅡA・ⅡB」を履修するためには、学生は実習に要する費用を、履修を始める年次に、所定の振込用紙で全額大学財務局に納入しなければならない。

＜精神保健福祉士の資格取得を目指す12年次生以降＞

- (1) 下記⑥精神保健福祉コースについて（対象：12年次生以降および2012年度以降に編入学した学生）を参照すること。

⑤ 社会福祉士および精神保健福祉士の資格制度に対応した履修方法について

- (1) 社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格の取得は、いずれかの選択制とする。
 なお、それぞれの資格取得に必要な科目については、[受験に必要な科目について] (p.223～p.225) を参考に
 して履修すること。入学年度によって必要な科目が異なるので、自分の該当する年次のページを必ず確認す
 ること。なお、精神保健福祉士の資格取得を目指す12年次生以降の学生は、同ページの⑥精神保健福祉コ
 ースについて（対象：12年次生以降および2012年度以降に編入学した学生）を参照すること。
- (2) 「社会福祉実習ⅠA・ⅠB」と「精神保健福祉援助実習ⅠA・ⅠB」（11年次生）／「精神保健福祉援助実習A・
 B」（12年次生以降）は、いずれかの科目の選択である。また、この兩科目を同学年で履修することはできな
 い。
- (3) 「社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「精神保健福祉援助演習」（11年次生）の兩科目を同学年で履修することは
 できない。

⑥ 精神保健福祉コースについて（対象：12年次生以降および2012年度以降に編入学した学生）

- (1) 精神保健福祉コースは、精神保健福祉士国家試験受験資格を希望する学生または精神保健福祉を専門に学び
 たい学生のためのものである。
- (2) コースの詳細および科目の履修方法等については、学科ガイダンスで説明する。

⑦ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目
社会福祉実習Ⅰ（6） 08～13年次生対象	社会福祉実習ⅠA（0） 社会福祉実習ⅠB（6）
社会福祉実習Ⅱ（6） 08～13年次生対象	社会福祉実習ⅡA（0） 社会福祉実習ⅡB（6）
精神保健福祉援助実習Ⅰ（6） 08～11年次生対象	精神保健福祉実習ⅠA（0） 精神保健福祉実習ⅠB（6）
精神保健福祉援助実習（6） 12・13年次生対象	精神保健福祉実習A（0） 精神保健福祉実習B（6）
精神保健福祉援助実習Ⅱ（6） 08～13年次生対象	精神保健福祉実習ⅡA（0） 精神保健福祉実習ⅡB（6）

※（ ）は単位数

全学年共通

① アドバンス科目群および社会福祉実践・理論総合演習

- (1) 理論と実践の統合による高度な福祉教育として、3、4年次にアドバンス科目群（G群）を履修すること。
- (2) 4年次において「社会福祉実践・理論総合演習」を履修すること。ただし「レポート指導」を履修する学生は「社会福祉実践・理論総合演習」（春学期2単位）を履修し、「論文指導」を履修する学生は、「社会福祉実践・理論総合演習」（春学期2単位および秋学期2単位）を履修しなければならない。なお、留学等特別な事情があり、学科が認めた場合にのみ、「レポート指導」を履修する学生でも「社会福祉実践・理論総合演習」（秋学期2単位）を履修することができる。
- (3) 卒業後直ちに本学の大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻に進学するためには、4年次に論文を提出し、「論文指導」の単位を取得しておかなければならない。
- (4) 提出後は、学科で行う報告会でレポートおよび論文の要旨を報告しなければならない。
- (5) 論文・レポートの装丁は以下のとおりである。
 - i) 規格：横書き。両面印刷も可
 - ii) 綴じ方：A4版Z式パンチレスファイルを使用
 - iii) 提出時に製本代として学科事務室に以下を支払うこと
 - ・論文 3300円(消費税込み)
 - ・レポート 315円(消費税込み)
- (6) 提出要領は以下のとおりである。
 - i) 期間／時間 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
 - ii) 場所 Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- (7) 大学院進学を志望する4年次生で「論文指導」を履修する学生は、「論文指導」の指導教員の承認等により、大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻博士前期課程の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既修得単位として認定される。ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので、指導教員とよく相談して履修手続きをすること。
- (8) 2015年度以前に「社会福祉実践・理論総合演習A」および「社会福祉実践・理論総合演習B」を履修している場合は、それぞれ「社会福祉実践・理論総合演習」と読え替えることができる。

② 教職課程「福祉科」の履修方法については、「履修要覧（課程編）」を参照すること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することはできない。

（注1）3年次生以上の課程科目履修者については、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談すること。

（単位）

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	24	49	24	26	49	24	28	49	24	26	49	196

④ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、共通編p.26を参照すること。

アルファベット	1文字目→学科	2文字目→政策・臨床	3文字目→履修群
SPA	<u>S</u> ocial Service (社会福祉)	Social <u>P</u> olicy (政策)	A, B, C etc
SPC			
SPE			
SPG			
SWA		Social <u>W</u> ork (臨床)	
SWB			
SWD			
SWE			
SWF			
SWG		<u>O</u> ther (その他)	
SOB			
SOD			
SOE			
SOF			
SOG			

【社会福祉士の受験に必要な科目について】

社会福祉士の国家試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄のとおりである。

指定科目	本学での開講科目	備考
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	このうち1科目選択※1
心理学理論と心理的支援	心理学概論 心理学	
社会理論と社会システム	社会学 社会学A	
現代社会と福祉	社会福祉原論 社会福祉政策論 社会福祉概論	このうち1科目選択 (但し、卒業するには2科目履修すること)※2
社会調査の基礎	社会福祉調査法	
相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ	すべてを履修すること
地域福祉の理論と方法	地域福祉論 コミュニティソーシャルワーク論	すべてを履修すること
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行財政論 福祉計画論	すべてを履修すること
福祉サービスの組織と経営	福祉経営論Ⅰ 福祉経営論Ⅱ	すべてを履修すること
社会保障	社会保障論Ⅰ	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論 介護概論	すべてを履修すること
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	
保健医療サービス	保健医療サービス論 医療福祉論	このうち1科目選択
就労支援サービス	雇用政策論	このうち1科目選択
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度論	
更生保護制度	司法福祉論	
相談援助演習	社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	すべてを履修すること
相談援助実習指導	社会福祉実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	すべてを履修すること
相談援助実習	社会福祉実習ⅠA・ⅠB	すべてを履修すること

(注) ※1. 「社会学」及び「社会学A」は全学共通科目である。「心理学」は2014年度まで、「心理学概論」は2017年度までの開講科目である。

※2. 該当年次の標準配当表の(注)を参照すること。

【精神保健福祉士の受験に必要な科目について】

12年次生以降および2012年度以降に編入学した学生

精神保健福祉士の国家試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄のとおりである。

指定科目	本学での開講科目	備考
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	このうち1科目選択 ※1
心理学理論と心理的支援	心理学概論	
社会理論と社会システム	社会学	
現代社会と福祉	社会福祉原論 社会福祉政策論 社会福祉概論	すべてを履修すること
地域福祉の理論と方法	地域福祉論 コミュニティソーシャルワーク論	すべてを履修すること
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度論	
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行財政論 福祉計画論	すべてを履修すること
社会保障	社会保障論 I	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	
保健医療サービス	医療福祉論	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論 I	
精神疾患とその治療	精神医学 I, 精神医学 II	すべてを履修すること
精神保健の課題と支援	精神保健学	
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	相談援助の基盤と専門職	
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉援助技術各論 精神科リハビリテーション学	すべてを履修すること
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論	
精神障害者の生活支援システム	精神障害者の生活支援システム	
精神保健福祉援助演習（基礎）	精神保健福祉援助演習（基礎）	
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健福祉援助演習（専門 I） 精神保健福祉援助演習（専門 II）	すべてを履修すること
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導 I 精神保健福祉援助実習指導 II 精神保健福祉援助実習指導 III	すべてを履修すること
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習 A, B	すべてを履修すること ※2

(注) ※1. 「社会学」は全学共通科目である。「心理学概論」は2017年度までの開講科目である。

※2. 「精神保健福祉援助実習」は、2015年度より、「精神保健福祉援助実習 A・B」に科目名が変更した。既に「精神保健福祉援助実習」を履修した学生は、履修した年度の科目名でよい。

【精神保健福祉士の受験に必要な科目について】

11年次生

精神保健福祉士の国家試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄のとおりである。

指定科目	本学での開講科目	備考
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	
心理学理論と心理的支援	心理学概論	このうち1科目選択※1
社会理論と社会システム	社会学 社会学A	
現代社会と福祉	社会福祉原論 社会福祉政策論 社会福祉概論	このうち1科目選択 (但し、卒業するには2科目履修すること) ※2
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行財政論 福祉計画論	すべてを履修すること
社会保障	社会保障論 I	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論 コミュニティソーシャルワーク論	すべてを履修すること
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度論	
保健医療サービス	保健医療サービス論 医療福祉論	このうち1科目選択
精神医学	精神医学 I, 精神医学 II	すべてを履修すること
精神保健学	精神保健学	
精神科リハビリテーション学	精神科リハビリテーション学	
精神保健福祉論	精神保健福祉論	
精神保健福祉援助技術総論	相談援助の基盤と専門職 ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 II ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV	すべてを履修すること
精神保健福祉援助技術各論	精神保健福祉援助技術各論	
精神保健福祉援助演習	精神保健福祉援助演習	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習 IA・IB	すべてを履修すること ※3

(注) ※1. 「社会学」及び「社会学 A」は全学共通科目である。「心理学概論」は 2017 年度までの開講科目である。

※2. 該当年次の標準配当表の(注)を参照すること。

※3. 「精神保健福祉援助実習 I」は、2015 年度より、「精神保健福祉援助実習 IA・IB」に科目名が変更した。

既に「精神保健福祉援助実習 I」を履修した学生は、履修した年度の科目名でよい。

4. 開講科目担当表

11年次生以降

学部共通科目（必修科目2単位・選択必修科目4単位）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
学部共通科目	必修	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講
	選択必修			総合人間科学部共通科目				4		

全学年共通

学科科目A群・B群（必修科目 *ただし、B群に選択科目含む）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	必修科目群（A群）	290210	SPA201	社会保障論 I	2	春	*矢野 聡	1		
		299320	SWA301	相談援助の基盤と専門職	2	秋	高山 恵理子 伊藤 富士江	2		輪講
		293621	SWA302	ソーシャルワーク論 I	2	春	伊藤 富士江	2		
		293622	SWA303	ソーシャルワーク論 II	2	春	高山 恵理子	2		
		290121	SPA202	福祉経営論 I	2	春	藤井 賢一郎	2		
		290122	SPA301	福祉経営論 II	2	秋	藤井 賢一郎	2~4		
		298901	SPA302	地域福祉論	2	秋	笠原 千絵	3		
	演習・実習科目群（B群）	291931	SOB201	基礎演習	2	春	コーディネータ 高山 恵理子 伊藤 富士江 岡 知史 藤井 賢一郎 笠原 千絵 吉野 比呂子	1		輪講（グループ別）
		291950	SOB301	演習	2	春	岡 知史	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	高山 恵理子	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	栃本 一三郎	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	伊藤 富士江	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	藤井 賢一郎	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	大塚 晃	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	春	笠原 千絵	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	秋	岡 知史	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	秋	高山 恵理子	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	秋	栃本 一三郎	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	秋	伊藤 富士江	3~4		
		291950	SOB301	演習	2	秋	藤井 賢一郎	3~4		
選択科目	290602	SWB301	社会福祉実習 I A	0	春	岡 知史	3		留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること。	
	290602	SWB301	社会福祉実習 I A	0	春	伊藤 富士江	3			
	290602	SWB301	社会福祉実習 I A	0	春	高山 恵理子	3			
	290602	SWB301	社会福祉実習 I A	0	春	笠原 千絵	3			

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	演 習 ・ 実 習 科 目 群 (B 群)	290603	SWB301	社会福祉実習ⅠB	6	秋	岡 知 史	3	留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること	
		290603	SWB301	社会福祉実習ⅠB	6	秋	伊 藤 富士江	3		
		290603	SWB301	社会福祉実習ⅠB	6	秋	高 山 惠理子	3		
		290603	SWB301	社会福祉実習ⅠB	6	秋	笠 原 千 絵	3		
		290650	SWB306	精神保健福祉援助実習ⅠA	0	休講			3 3	留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること。11年次生対象科目。
		290651	SWB306	精神保健福祉援助実習ⅠB	6	休講			3	留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること。11年次生対象科目。
		298022	SWB307	精神保健福祉援助実習A	0	春	吉 野 比呂子		3	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		298023	SWB307	精神保健福祉援助実習B	6	秋	吉 野 比呂子		3	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		290641	SWB308	社会福祉実習指導Ⅰ	2	春	岡 知 史		2	
		290641	SWB308	社会福祉実習指導Ⅰ	2	春	伊 藤 富士江		2	
		290641	SWB308	社会福祉実習指導Ⅰ	2	春	高 山 惠理子		2	
		290641	SWB308	社会福祉実習指導Ⅰ	2	春	笠 原 千 絵		2	
		290641	SWB308	社会福祉実習指導Ⅰ	2	休講			2	
		298018	SWB309	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	2	休講			2	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		290642	SWB310	社会福祉実習指導Ⅱ	2	春	岡 知 史		3	
		290642	SWB310	社会福祉実習指導Ⅱ	2	春	伊 藤 富士江		3	
		290642	SWB310	社会福祉実習指導Ⅱ	2	春	高 山 惠理子		3	
		290642	SWB310	社会福祉実習指導Ⅱ	2	春	笠 原 千 絵		3	
		290642	SWB310	社会福祉実習指導Ⅱ	2	休講			3	
		298019	SWB311	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	春	吉 野 比呂子		3	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		290643	SWB312	社会福祉実習指導Ⅲ	2	秋	岡 知 史		3	
		290643	SWB312	社会福祉実習指導Ⅲ	2	秋	伊 藤 富士江		3	
		290643	SWB312	社会福祉実習指導Ⅲ	2	秋	高 山 惠理子		3	
		290643	SWB312	社会福祉実習指導Ⅲ	2	秋	笠 原 千 絵		3	
		290643	SWB312	社会福祉実習指導Ⅲ	2	休講			3	
		298020	SWB313	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	2	秋	吉 野 比呂子		3	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		296702	SWB201	社会福祉演習Ⅰ	2	春	*松本 葉子		2	
		296702	SWB201	社会福祉演習Ⅰ	2	春	*一松 麻実子		2	
		296702	SWB201	社会福祉演習Ⅰ	2	春	*大原 天青		2	
		296702	SWB201	社会福祉演習Ⅰ	2	休講			2	
		298015	SWB202	精神保健福祉援助演習(基礎)	2	休講			2	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可
		296703	SWB203	社会福祉演習Ⅱ	2	秋	高 山 惠理子		2	
		296703	SWB203	社会福祉演習Ⅱ	2	春	*高瀬 幸子		2	
296703	SWB203	社会福祉演習Ⅱ	2	秋	*國重 智宏		2			
296703	SWB203	社会福祉演習Ⅱ	2	休講			2			
298016	SWB204	精神保健福祉援助演習(専門Ⅰ)	2	休講			2	12年次生以降・12年度以降編入生対象科目，11年次生以前履修不可		
296704	SWB314	社会福祉演習Ⅲ	4	秋	伊 藤 富士江		2			
296704	SWB314	社会福祉演習Ⅲ	4	秋	高 山 惠理子		2			
296704	SWB314	社会福祉演習Ⅲ	4	秋	笠 原 千 絵		2			
296704	SWB314	社会福祉演習Ⅲ	4	休講			2			
296705	SWB401	社会福祉演習Ⅳ	2	春	*渋谷 昌史		4			

学
部
共
通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 (B群) 演習・実習科目群	296705	SWB401	社会福祉演習Ⅳ	2	春	*相良 翔	4		
	296705	SWB401	社会福祉演習Ⅳ	2	秋	*武田 玲子	4		
	296706	SWB402	社会福祉演習Ⅴ	2	休講				復旦大学対象科目
	298017	SWB315	精神保健福祉援助演習(専門Ⅱ)	2	春	吉野 比呂子	4		12年次生以降・12年度以降編入生対象科目, 11年次生以前履修不可
	296921	SWB205	精神保健福祉援助演習	2	休講		2		

学科科目C群・D群(選択必修科目)・・・17年次生以降: C群から8単位 または D群から8単位

16年次生以前: C群から10単位 または D群から10単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 (C群) 福祉政策運営管理系科目群 (D群) 福祉臨床系科目群	299401	SPC201	社会福祉行財政論	2	秋	*矢野 聡	2		
	299330	SPC301	雇用政策論	2	春	*岩田 克彦	4		
	299410	SPC302	医療政策論	2	春	藤井 賢一郎	3・4		
	290220	SPC304	福祉事業システム論	2	秋	藤井 賢一郎	2~4		
	293610	SPC401	保健医療サービス論	2	休講		2~4		
	292150	SPC306	福祉計画論	2	秋	笠原 千絵	2~4		
	290230	SPC320	福祉医療マネジメント論	2	春	藤井 賢一郎	3・4		
	293623	SWD301	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	春	岡 知史	2		
	293624	SWD302	ソーシャルワーク論Ⅳ	2	春	伊藤 富士江	3・4		
	293651	SWD303	コミュニティソーシャルワーク論	2	秋	岡 知史	2		
	290900	SWD304	精神保健福祉援助技術各論	2	春	*井上 牧子	2		
	293822	SWD305	精神科リハビリテーション学	2	秋	吉野 比呂子	2		
	298014	SWD401	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2	秋	吉野 比呂子	4		12年次生以降・12年度以降編入生対象科目, 11年次生以前履修不可
	293661	SWD306	ケアマネジメント論	2	秋	高山 恵理子	3・4		

学科学目E群・F群・G群・H群

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	290106	SPE201	社会福祉概論	2	春	栃本 一三郎	1・2		隔年開講
	290105	SPE401	社会福祉原論	2	休講		2～4		隔年開講
	290204	SPE301	社会福祉政策論	2	秋	栃本 一三郎	2～4		
選択科目			学科科目としての外国語科目 (英語以外の同一外国語)	4					13年次生以前
			学科科目としての語学科目 (英語を含む同一外国語)	4					14年次生以降
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	春	田 渕 六 郎 * 信 岡 良 亮	1～4		
	140009	HUS102	学びの学び直し	2	秋	田 渕 六 郎 * 信 岡 良 亮	1～4		
	293619	SWE101	ソーシャルワーク入門	2	春	* 道 念 由 紀	1		
	299310	SWE301	当事者福祉論	2	秋	岡 知 史	1～4		
	292205	SPE302	公的扶助論	2	秋	* 岡 部 卓	1		
	292004	SOE203	社会福祉調査法	2	春	* 吉 原 千 賀	2		
	290131	SOE204	権利擁護と成年後見制度論	2	春	笠 原 千 絵	2		
	297200	SPE202	社会福祉の歴史と社会福祉思想	2	休講		1～4		
	293813	SOE206	医学一般	2	秋	* 加 藤 眞 三	2		
	293810	SOE207	障害の理解と支援	2	休講		1～4		
	299340	SOE301	東アジアの社会福祉	2	休講				復旦大学対象科目
選択必修科目	293205	SOF201	高齢者福祉論	2	秋	藤 井 賢 一 郎	2		
	293108	SOF202	児童福祉論	2	秋	大 塚 晃	1		
	293312	SOF203	障害者福祉論 I	2	春	笠 原 千 絵	1		
	298011	SOF204	精神保健福祉論	2	春	吉 野 比 呂 子	1		
	298012	SOF206	精神障害者福祉論	2	休講		2		11年次生対象科目 「精神障害者の生活支援システム」との合併科目
選択科目	298013	SOF207	精神障害者の生活支援システム	2	休講		1		12年次生以降対象科目 「精神障害者福祉論」との合併科目
	293803	SOF209	母子保健論	2	秋	武 井 弥 生	1		
	293322	SOF301	障害者福祉論 II	2	休講		1		
	293615	SOF302	医療福祉論	2	秋	高 山 惠 理 子	1～4		
	293820	SOF210	精神保健学	2	秋	* 市 川 光 洋	2		
	298801	SOF211	介護概論	2	秋	* 加 藤 美 智 子	2		
	298802	SOF212	介護技術	2	秋	* 小 平 め ぐ み	2		
	298800	SOF213	こころとからだのしくみ	2	春	* 加 藤 美 智 子	1～4		
	299501	SOF303	福祉科教育法 I	2	秋	* 田 村 真 広	2・3		
	299502	SOF304	福祉科教育法 II	2	秋	* 田 村 真 広	2・3		
	294412	SOF305	司法福祉論	2	秋	伊 藤 富 士 江	3・4		
	299550	SOF306	法律学	2	春	* 土 屋 志 穂			
	選択科目	291107	SOG401	社会福祉倫理学	2	休講		1～4	
290211		SPG401	社会保障論 II	2	秋	藤 井 賢 一 郎	3・4		
297410		SWG402	CULTURE AND SOCIAL WORK	2	休講		3・4	○	
297450		SOG307	THE HISTORY OF SOCIAL WORK	1	集中	IAN Shaw	1～4	○	秋学期集中

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考			
選択科目	社会福祉アドバンス科目群（G群）	297420	SOG402	COMMUNITY ENGAGEMENT METHODS/STRATEGY	2	春	*Laratta Rosario	1～4	○			
		297430	SOG403	ASSETS BASED COMMUNITY DEVELOPMENT	2	秋	*Laratta Rosario	1～4	○			
		290604	SWG405	社会福祉実習ⅡA	0	春	岡 知 史 ブエカラム ジョンジョセフ	3・4		留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること。		
		290604	SWG405	社会福祉実習ⅡA	0	春	伊 藤 富士江	3・4				
		290604	SWG405	社会福祉実習ⅡA	0	春	高 山 惠理子	3・4				
		290604	SWG405	社会福祉実習ⅡA	0	春	笠 原 千 絵	3・4				
		290660	SWG406	精神保健福祉援助実習ⅡA	0	休講		3・4				
		290605	SWG406	社会福祉実習ⅡB	6	秋	岡 知 史 ブエカラム ジョンジョセフ	3・4		留学等特別な事情のある場合は学科長に相談すること。		
		290605	SWG406	社会福祉実習ⅡB	6	秋	伊 藤 富士江	3・4				
		290605	SWG406	社会福祉実習ⅡB	6	秋	高 山 惠理子	3・4				
		290605	SWG406	社会福祉実習ⅡB	6	秋	笠 原 千 絵	3・4				
		290661	SWG406	精神保健福祉援助実習ⅡB	6	休講		3・4				
		選択必修科目		299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	栃 本 一三郎	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	大 塚 晃	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	岡 知 史	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	高 山 惠理子	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	伊 藤 富士江	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	藤 井 賢一郎	4		
				299525	SOG404	社会福祉実践・理論総合演習	2	春	笠 原 千 絵	4		
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	栃 本 一三郎	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	大 塚 晃	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	岡 知 史	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	高 山 惠理子	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	伊 藤 富士江	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	藤 井 賢一郎	4				
299525	SOG404			社会福祉実践・理論総合演習	2	秋	笠 原 千 絵	4				
299530	SOG406			論文指導	2	春	社会福祉学科教員	4		学科長の許可がある場合のみ、履修可		
299530	SOG406			論文指導	2	秋	社会福祉学科教員	4				
299540	SOG405			レポート指導	2	春	社会福祉学科教員	4		学科長の許可がある場合のみ、履修可		
299540	SOG405			レポート指導	2	秋	社会福祉学科教員	4				
選択科目	他学部・学科講義科目群（H群）			154631	PSL236	発達心理学	2				(他) 心理学科	
		157610	PSL291	心理学的支援法	2				(他) 心理学科			
		154132	PSL331	生理心理学Ⅱ	2				(他) 心理学科			
		154133	PSL331	生理心理学Ⅰ（神経・生理心理学）	2				(他) 心理学科			
		153603	PSL207	精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療）	2				(他) 心理学科			
		153602	PSL307	精神医学Ⅱ	2				(他) 心理学科			
		157403	PSL272	児童精神医学	2				(他) 心理学科			
		282710	SOC210	組織社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科			
		282720	SOC316	組織社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科			
		284751	SOC205	家族社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科			

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選択科目	他学部・学科講義科目群（H群）	284752	SOC309	家族社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		288894	SOC311	格差と不平等の社会学	2				(他) 社会学科
		332800	SCL310	労働法	4				(他) 法学部
		330007	CVL211	民法総則Ⅰ (自然人, 物, 法律行為)	2				(他) 法学部
		330008	CVL212	民法総則Ⅱ (代理, 法人, 期間, 時効)	2				(他) 法学部
		332133	CVL213	物権法	2				(他) 法学部
		336020	SCL321	社会保障法	4				(他) 法学部
		402070	ECN281	PUBLIC ECONOMICSⅠ	2				(他) 経済学科
		408711	ECN207	公共経済学Ⅱ	2				(他) 経済学科
		408311	ECN213	労働経済学Ⅰ	2				(他) 経済学科
		408321	ECN214	労働経済学Ⅱ	2				(他) 経済学科
		438504	MRK242	マーケティング・リサーチ	2				(他) 経営学科
		854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 14年次生以降対象。履修要覧(共通編)の言語教育研究センター開講科目(p.212~)を参照
		854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1						
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1						
その他			他学部他学科科目(外国語を除く)・課程科目(実習を除く)・全学共通科目(必修を除く)		各開講科目担当表を参照				【16年次生以降】 他学部他学科科目・課程科目は8単位まで、全学共通科目は10単位まで選択科目に算入可 【11～15年次生以降】 他学部他学科科目・課程科目は10単位まで、全学共通科目は12単位まで選択科目に算入可

学部
共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

看護学科

〔教育研究上の目的〕

総合的教養教育と専門職業教育の融合（プラクティカル・リベラルアート）という視点にたつて、基本的看護実践力、自己学習推進力、ヒューマンケアリングの実践と人格と叡智の涵養に資する研究、教育を行うこと

〔人材養成の目的〕

多様な分野で貢献できる人材の養成を目指し、ヒューマンケアに関する理論・実践・研究を発展させ、他領域の知見・学術を学び、政策・サービスマネジメントなどを含めて広い視点に立脚した、リーダーシップを内外で発揮しうる看護人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、総合的教養教育と職業専門教育を融合した新たな看護教育（プラクティカル・リベラル）をおこなうことによって、基本的看護実践力、自己学習推進力、ヒューマンケアリングの実践とともに人格と叡智の涵養に努め、広く社会への視点を有し、人間の尊厳を基底にした、深い教養と研究・実践力を備えた人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 幅広い教養を見につけることによって、看護学を俯瞰的に捉え、社会に期待される新たな責務と役割を考える能力
2. 看護専門職としての必要な知識と技術を修得し、自らの手を通してヒューマンケアリングを実践する能力
3. 人間の尊厳について深い視座をもち、どのような状況にあっても相手の価値観を尊重し、共感的理解をもって接する能力
4. クリティカルシンキング力を備え、変化する社会と人々の健康問題を的確に捉え、対象にとって最善のケアの方向性を考える能力
5. 進歩する医療のただなかで、常に目的意識と目標を持ち、それにむけて専門職業人としての能力的、人格的成長をめざし自己学習を推進する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、キャリア形成に資する科目を履修し、ヒューマンケアに関する理論・実践・研究を発展させ、他領域の知見を学び、政策・サービスマネジメントなどを含めて看護をめぐる諸問題に対応しうる研究・実践力を備え、国際社会でも活躍できる資質を形成するよう、次のカリキュラムを編成しています。

1. 全学共通科目では、キリスト教人間学、外国語科目と、すべての学問領域を横断的に俯瞰できるような教養科目を履修させ、本学学生としての基本的姿勢を見につけさせ、看護を大局的に考えていく上での基礎を形成する。
2. 学部共通科目では、総合人間科学入門の他、総合人間科学部の他の4学科の専門科目を履修させ、人間の尊厳についてのさまざまなアプローチを学ばせ、人間理解を深める。
3. 1、2年次には、看護基礎科目を配置し、クリティカルシンキング力を育成しながら、健康と環境への看護的視点を養い、看護の基本となる知識、技術を育成する。
4. 3年次では、看護専門科目のうち「人間の発達と看護」、「人間の健康と看護」に関する専門的知識および実習を配置し、専門職としての能力と技術を修得させる。あわせてケアリング、看護倫理等の科目を配置し、ヒューマンケアリングの実践に向けた基礎力・実践力を培う。
5. 4年次では、看護専門科目のうち「場に応じた看護」に関する科目と看護管理に関する科目を配置し、より深く看護の専門性を深めると同時に、自立的な学習姿勢を養う。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

17年次生以降

全学共通科目	26単位	{ 必修 2単位 [体育 2単位] 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)	
語学科目	4単位		必修 4単位
学科科目	98単位		学部共通科目 6単位 (必修2単位, 選択必修4単位) 学科専門科目 92単位 (必修88単位, 選択4単位)
合計		128単位	

16年次生以前

全学共通科目	30単位	{ 必修 10単位 { 体育 2単位 外国語科目 8単位 選択必修 4単位 [キリスト教人間学] 選択 16単位	
学科科目	98単位		学部共通科目 6単位 (必修2単位, 選択必修4単位) 学科専門科目 92単位 (必修88単位, 選択4単位)
合計			128単位

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

2. 標準配当表

17年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※(2017年次生のみ) 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2					
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること						4
	必修 (88単位)	看護学概論 看護理論 生化学 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 保健統計学	2 1 2 2 2 2	薬理学 栄養学 生涯発達看護学Ⅰ 生涯発達看護学Ⅱ ケア技術Ⅰ ケア技術Ⅱ クリティカル・シンキングⅠ クリティカル・シンキングⅡA スキルズ・ラボ演習Ⅰ スキルズ・ラボ演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 地域看護学概論 免疫・感染症学 疾病・治療学Ⅰ 疾病・治療学Ⅱ 疾病・治療学Ⅲ 疾病・治療学Ⅳ 疾病・治療学Ⅴ	2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 2	看護倫理学 ケアリング論 成人ヘルスケア 老年ヘルスケア 小児ヘルスケア ウィメンズヘルスケア メンタルヘルスケア 地域生活支援/在宅看護 クリティカル・シンキングⅡB スキルズ・ラボ演習Ⅲ 成人ヘルス看護学実習 老年ヘルス看護学実習 小児ヘルス看護学実習 ウィメンズヘルス看護学実習 メンタルヘルス看護学実習 在宅看護実習 国際看護学概論	1 1 2 2 2 2 2 3 1 1 4 2 2 2 2 2 2 2	クリティカル・シンキングⅢ アドバンス成人看護学実習 アドバンス老年看護学実習 統合実習 リーダーシップ・マネジメント論 看護管理(医療安全含む) 卒業研究
選択 (4単位)	・選択科目から4単位以上を選択する。 ・①課程科目(実習を除く), ②他学部他学科の「学科科目」で充当することができる。							

16年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	看護英語 (1年次)	4	看護英語 (2年次)	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学部共通科目 (6単位)	必修 (2単位)	総合人間科学入門	2							
	選択必修 (4単位)	自学科以外の科目より選択すること							4	
学科科目 (98単位)	学科専門科目 (92単位)	必修 (88単位)	看護学概論	2	薬理学	2	カウンセリング論	1	アドバンス成人看護学実習	2
		看護理論	2	看護管理(医療安全含む)	2	成人・老年ヘルスケア	3	(統合実習含む)		
形態機能学Ⅰ		2	臨床栄養学	2	小児ヘルスケア	2	アドバンス老年看護学実習	2		
形態機能学Ⅱ		2	ケアリング論	2	ウィメンズヘルスケア	2	(統合実習含む)			
保健統計学		2	家族発達看護学	2	メンタルヘルスケア	2	リーダーシップ・マネジメント論	1		
生化学		2	生涯発達看護学	2	看護倫理学	2	看護リーダーシップ	2		
ケア技術Ⅰ		1	ケア技術Ⅰ	1	地域生活支援/在宅看護	3	卒業研究	2		
ケア技術Ⅱ		1	ケア技術Ⅱ	1	成人ヘルス看護学実習	4				
クリティカル・シンキングⅠ		1	クリティカル・シンキングⅠ	1	老年ヘルス看護学実習	2				
クリティカル・シンキングⅡA		1	クリティカル・シンキングⅡA	1	小児ヘルス看護学実習	2				
クリティカル・シンキングⅡB		1	クリティカル・シンキングⅡB	1	ウィメンズヘルス看護学実習	2				
スキルズ・ラボ演習Ⅰ		1	スキルズ・ラボ演習Ⅰ	1	メンタルヘルス看護学実習	2				
スキルズ・ラボ演習Ⅱ		1	スキルズ・ラボ演習Ⅱ	1	在宅看護実習	2				
基礎看護学実習Ⅰ		1	基礎看護学実習Ⅰ	1	クリティカル・シンキングⅢ	2				
基礎看護学実習Ⅱ		2	基礎看護学実習Ⅱ	2	国際看護学概論	2				
地域看護学概論	2	地域看護学概論	2							
地域看護学実習Ⅰ (保育園, 作業所)	2	地域看護学実習Ⅰ (保育園, 作業所)	2							
疾病・治療学とケアⅠA (社会保障制度含む)	2	疾病・治療学とケアⅠA (社会保障制度含む)	2							
疾病・治療学とケアⅠB	2	疾病・治療学とケアⅠB	2							
疾病・治療学とケアⅡA	2	疾病・治療学とケアⅡA	2							
疾病・治療学とケアⅡB	2	疾病・治療学とケアⅡB	2							
選択 (4単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種選択科目から4単位以上を選択する。 ・①課程科目(実習を除く), ②他学部他学科の「学科科目」で充当することができる。 									

学部共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

3. 履修上の注意

17年次生以降

① 全学共通科目について

選択コースで保健師コースを希望する学生で、かつ養護教諭2種免許状の取得を希望する場合は、全学共通科目／選択科目の「憲法」および「情報リテラシー」（該当科目は履修要覧（課程編）を参照のこと）を1年次に履修しておくこと。

② 語学科目について

語学科目（必修科目）については、すべて1年次の間に履修することがのぞましい。

③ 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目4単位（1～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し、履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）を参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め、卒業単位に算入する。

④ 学科科目について

- (1) 学科科目のうち、1年次対象の科目は四谷キャンパスで、2～4年次対象の科目は基本的に目白聖母キャンパスで開講される（4年次対象の秋学期開講科目は四谷キャンパス開講。該当科目は開講科目担当表参照のこと）。
- (2) 必修科目は必ず該当年次に履修すること。
- (3) 選択科目は本学科開講の各種選択科目から4単位以上履修すること。なお、選択科目は①課程科目（実習除く）、②他学部他学科の「学科科目」で充当することができる。
- (4) 「卒業研究」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（w）を認める。

⑤ 選択コースについて

- (1) 選択コースは、保健師コース、国際看護学コースの2コース。各選択コースには、実習受入施設等の関係で人数制限がある。

各コースの概要及び人数は以下のとおり。コースの詳細については、別途、学科ガイダンスで説明する。

選択コース	概要	人数
保健師コース	地域における看護・保健・医療・福祉のあり方を探究し、保健師の国家試験受験資格の取得を目指すコース	20名
国際看護学コース	途上国における保健医療を学び、途上国における看護のあり方を探究するコース	10名程度

- (2) 選択コースは、3年次の秋学期の後半に決定する。
- (3) 4年次の選択科目については、選択コースに応じた科目を履修すること。なお、自分の選択コース以外の科目を修得した場合も卒業に必要な単位として算入することができる。
- (4) 各コース別選択科目の他に、以下のとおりコース毎に1～4年次のうちに履修しておくべき資格要件科目、履修を推奨する科目の指定がある。履修計画を立てる際に注意すること。

<保健師コースの資格要件科目>

コース	年次	資格要件科目（*は履修推奨科目）
保健師	1年次	全学共通科目：*憲法 *情報リテラシー } 上記①全学共通科目について参照
	2年次	学科選択科目：疫学
	4年次	学科選択科目：地域看護学実習 地域保健活動論Ⅰ 地域保健活動論Ⅱ 地域ヘルス活動 社会福祉政策論 *学科必修科目の統合実習は地域領域を選択すること

<国際看護学コース履修推奨科目>

コース	年次	履修推奨科目 (*は「国際看護学実習 (アフリカ・アジア)」の履修前提科目である。)
国際看護学	1年次	学科選択科目：アフリカ文化理解と医療保健活動 生と死のケアリング・コロキウム
	2年次	学科選択科目：疫学
	4年次	学科選択科目：*国際感染症学 *国際保健看護学 *国際協力方法論 国際看護学実習 (アフリカ・アジア)

⑥ 養護教諭1種免許状取得について

教職課程科目については、時間割編成状況によって推奨学年が変わることがあるため、以下には掲載していない。履修が必要な科目に関し、1年次生は4月上旬開催の教職課程説明会、9月開催の新規履修者ガイダンスに必ず出席すること。2年次生以上は、3月下旬の教職課程の在校生ガイダンスに出席すること。

<養護教諭1種免許状取得のための資格要件科目>

コース	年次	資格要件科目
養護教諭	1年次	全学共通科目：憲法 情報リテラシー (該当科目は履修要覧 (課程編) を参照のこと) 学部共通科目：教育原理 教職課程科目：履修要覧 (課程編) を参照し、4月開催の教職課程説明会、9月開催の新規履修者ガイダンスに参加すること
	2年次	学部共通科目：学校教育社会学 学科選択科目：疫学 教職課程科目：教職課程の在校生ガイダンスに参加すること (3月下旬)
	3年次	学科選択科目：養護概論 教職課程科目：教職課程の在校生ガイダンスに参加すること (3月下旬)
	4年次	学科選択科目：学校保健 小児・学校救急看護演習 教職課程科目：1～3年次に未修得の科目

16年次生以前

① 全学共通科目について

- (1) 選択コースで保健師コースを希望する学生で、かつ養護教諭2種免許状の取得を希望する場合は、全学共通科目／選択科目の「憲法」および「情報リテラシー」（該当科目は履修要覧（課程編）を参照のこと）を1年次に履修しておくこと。
- (2) 選択コースで養護教諭コースを希望する学生は、全学共通科目／選択科目の「憲法」および「情報リテラシー」（該当科目は履修要覧（課程編）を参照のこと）を可能な限り1年次に履修しておくこと。

② 外国語科目について

- (1) 全学共通科目としての外国語は、学科指定の英語（「看護英語(1年次)」および「看護英語(2年次)」）8単位を1～2年次で履修すること。
- (2) 選択コースで国際看護学コースを希望する学生は、外国語科目の「フランス語」を1年次に履修しておくことを推奨する。外国語科目の履修については、履修要覧共通編p.181～を参照のこと。

③ 総合人間科学部共通科目について

- (1) 総合人間科学部共通科目は、必修の「総合人間科学入門」2単位（1年次に履修）と、選択必修科目4単位（1～4年次に履修）からなり、選択必修科目については、自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し、履修する。開講科目については、総合人間科学部のページ（p.162～）を参照のこと。
- (2) なお、学部共通科目の選択必修科目について、必要単位数（4単位）を超えて修得した場合は、自学科選択科目として認め、卒業単位数に算入する。
- (3) 選択コースで養護教諭コースを希望する学生は、「教育原理」および「学校教育社会学」を履修しておくこと。

④ 学科科目について

- (1) 学科科目のうち、1年次対象の科目は四谷キャンパスで、2～4年次対象の科目は基本的に目白聖母キャンパスで開講される（4年次対象の秋学期開講科目は四谷キャンパス開講。該当科目は開講科目担当表参照のこと）。
- (2) 必修科目は必ず該当年次に履修すること。
- (3) 自由科目については、卒業に必要な単位として算入することはできないので注意すること。
- (4) 選択科目は本学科開講の各種選択科目から4単位以上履修すること。なお、選択科目は①課程科目（実習除く）、②他学部他学科の「学科科目」で充当することができる。

⑤ 選択コースについて

- (1) 選択コースは、国際看護学コース、養護教諭コース、保健師コース。各選択コースには、実習受入施設等の関係で人数制限がある。各コースの概要及び人数は以下のとおり。コースの詳細については、別途、学科ガイダンスで説明する。

選択コース	概要	人数
国際看護学コース	途上国における保健医療を学び、途上国における看護のあり方を探究するコース	10名程度
養護教諭コース	学校教育の現場における看護のあり方を探究し、養護教諭1種免許状の取得を目指すコース	制限なし
保健師コース	地域における看護・保健・医療・福祉のあり方を探究し、保健師の国家試験受験資格の取得を目指すコース	20名

- (2) 保健師コースは3年次の春学期中旬に決定する。それ以外のコースは別途、学科ガイダンスで説明する。
- (3) 4年次の選択科目については、選択コースに応じた科目を履修すること。なお、自分の選択コース以外の科目を修得した場合も卒業に必要な単位として算入することができる。
- (4) 各コース別選択科目他に、以下のとおりコース毎に1～4年次のうちに履修しておくべき資格要件科目、履修を推奨する科目の指定がある。履修計画を立てる際に注意すること。
教職課程科目については、時間割編成状況によって推奨学年が変わることがあるため、以下には掲載していない。履修が必要な科目に関し、3月下旬の教職課程の在校生ガイダンスに出席すること。

<保健師・養護教諭コースの資格要件科目>

コース	年次	資格要件科目 (*は履修推奨科目)
保健師	1年次	全学共通科目：*憲法 *情報リテラシー } p.238①全学共通科目について(1) 参照
	2年次	学科選択科目：*免疫・感染症学 疫学
	3年次	学科選択科目：地域ヘルス活動
	4年次	学科選択科目：地域看護学実習Ⅱ 地域保健活動論（産業保健含む） 学校保健 社会福祉政策論
養護教諭	1年次	全学共通科目：憲法 情報リテラシー（該当科目は履修要覧（課程編）を参照のこと） 学部共通科目：教育原理 教職課程科目：履修要覧（課程編）を参照し、4月開催の教職課程説明会、9月開催の新規履修者ガイダンスに参加すること
	2年次	学部共通科目：学校教育社会学 学科選択科目：免疫・感染症学 疫学 教職課程科目：教職課程の在校生ガイダンスに参加すること（3月下旬）
	3年次	学科選択科目：養護概論 教職課程科目：教職課程の在校生ガイダンスに参加すること（3月下旬）
	4年次	学科選択科目：学校保健 小児・学校救急看護演習 教職課程科目：1～3年次に未修得の科目

<国際看護学履修推奨科目>

コース	年次	履修推奨科目 (*は、「国際看護学実習（アフリカ・アジア）」の履修前提科目である）
国際看護学	1年次	全学共通科目：フランス語 学科選択科目：生と死／痛みのかケアリング・コロキウム アフリカ文化理解と医療保健活動
	2年次	学科選択科目：免疫・感染症学 疫学
	3年次	学科選択科目：日常フランス語1
	4年次	学科選択科目：*国際感染症学 *国際保健看護学 *国際協力方法論 国際看護学実習（アフリカ・アジア）

学部
共通
教
育
心
理
社
会
社
会
福
祉
看
護

⑥ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目と見なす。

2016年度以前開講科目			2017年度以降開講科目		
科目コード	科目名	単位数	科目コード	科目名	単位数
270102	生と死／痛みへのケアリング・コロキウム	2	270124	生と死のケアリング・コロキウム	2
270016	クリティカル・シンキングⅡ A：問題解決技法	1	270052	クリティカル・シンキングⅡ A：看護過程の基礎	1
270009	臨床栄養学	2	270049	栄養学	2
270023	疾病・治療学とケアⅠA (社会保障制度含む)	2	270053	疾病・治療学Ⅰ(内科系医学)	3
270024	疾病・治療学とケアⅠB	2	270053	疾病・治療学Ⅰ(内科系医学)	3
270023	疾病・治療学とケアⅠA (社会保障制度含む)	2	270053	疾病・治療学Ⅰ(内科系医学)	3
270024	疾病・治療学とケアⅠB	2	270057	疾病・治療学Ⅴ(精神医学・ 老年医学)	2
270025	疾病・治療学とケアⅡA	2	270054	疾病・治療学Ⅱ(外科系医学)	3
270026	疾病・治療学とケアⅡB	2	270054	疾病・治療学Ⅱ(外科系医学)	3
270025	疾病・治療学とケアⅡA	2	270054	疾病・治療学Ⅱ(外科系医学)	3
270026	疾病・治療学とケアⅡB	2	270055	疾病・治療学Ⅲ(小児科学)	1
			270056	疾病・治療学Ⅳ(産科・婦人 科学)	1
270029	成人・老年ヘルスケア	3	270060	成人ヘルスケア	2
			270061	老年ヘルスケア	2
270043	アドバンス成人看護学実習 (統合実習を含む)	2	270062	アドバンス成人看護学実習	2
270044	アドバンス老年看護学実習 (統合実習を含む)	2	270063	アドバンス老年看護学実習	2
270114	地域保健活動論 (産業看護を含む)	2	270126	地域保健活動論Ⅰ	2
270115	学校保健<保健師コース>	2	270127	地域保健活動論Ⅱ	2
270113	地域看護学実習Ⅱ	4	270125	地域看護学実習	2
			270064	統合実習(地域領域)	2
270012	生涯発達看護学	2	270050	生涯発達看護学Ⅰ	2
			270051	生涯発達看護学Ⅱ	2
270011	家族発達看護学	2	270050	生涯発達看護学Ⅰ	2
			270051	生涯発達看護学Ⅱ	2
270012	生涯発達看護学	2	270050	生涯発達看護学Ⅰ	2
270011	家族発達看護学	2	270051	生涯発達看護学Ⅱ	2

全学年共通

① 実習について

実習の履修にあたっては、学科内で別途履修要件を定める。

また、実習を行うにあたっては「実習科目の前提条件」を満たしている場合でも、実習を実施するに際して健康状態等、何らかの事情により、本人ならびに対象者への危険が想定される場合、学科での審議を経て、実習科目の履修を認めない、または実習の中止を指示することがある。

実習の履修要件については、各年度の初めに開催される学科ガイダンスで説明する。

② 卒業研究について

卒業研究については、学科ガイダンスで説明する。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 通年科目の単位数は春と秋に按分(1/2)する。

(注2) 3年次は秋学期の臨地実習の科目が最大15単位の履修となり秋学期の履修限度に満たないため、春学期の履修は28単位まで認められる。

(注3) 教職課程履修申込者については、課程履修申込をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで(年間10単位まで)超過して履修することが認められる。手続き方法など詳細についてはLoyolaの課程センター掲示板で確認すること。(各学期ごとに案内)

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
24	24	48	24	24	48	28	24	48	24	24	48	192

④ 他学部・他学科及び全学共通科目の履修の促進について

本学は、履修要覧(共通編)p.64「全学共通科目の履修について」にあるように、総合大学として学際的な教育・研究を行っている。また、総合人間科学部では3つの知の形成を謳っている。したがって、看護の専門人材として幅広い知を獲得し、将来有為な人材となるよう、卒業までに看護学科開講科目以外の単位も積極的に修得するよう奨励する。

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧(共通編)p.26を参照すること。

分野名(アルファベット)	分野名(英語)	分野名(日本語)
NRS	Nursing	看護

4. 資格について

① 取得可能資格について

- (1) 所定の科目を修得し、本学科を卒業することにより取得できる資格は以下のとおり。

資格名	資格要件	
看護師	本学科の卒業要件を満たせば、看護師国家試験の受験資格が取得可能。	
保健師	本学科の卒業要件を満たし、所定の科目（※）を修得すれば、保健師国家試験の受験資格が取得可能	
	養護教諭2種 を取得する 場合	本学科の卒業要件を満たし、保健師免許を取得した者で、全学共通科目/ 選択科目の「憲法」および「情報リテラシー」を修得しておけば、養護教 諭2種免許状が取得可能。
養護教諭1種	本学科の卒業要件を満たし、所定の科目（※）を修得すれば、養護教諭1種免許状が取得 可能。詳細は各学年のガイダンスで確認すること。（4年次生除く）	

※所定の科目は、2017年次生以降は、p.236<保健師コースの資格要件科目> およびp.237<養護教諭1種免許状
取のための資格要件科目>を参照のこと。

2016年次生以前は、p.239<保健師・養護教諭コースの資格要件科目>を参照のこと。

- (2) 各資格の取得にあたっては、それぞれ指定された科目を履修する必要がある。指定科目等の詳細については、各年度の初めに開催される学科ガイダンスで説明する。
- (3) 養護教諭1種免許の履修方法については、履修要覧（課程編）を参照すること。
- (4) 養護教諭2種免許状の申請は卒業後に各自で行うこととなる。（問い合わせ先：居住地のある各都道府県教育委員会）

5. 開講科目担当表

学部共通科目・・・必修科目 2単位 ・ 選択必修科目 4単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目
学部共通科目	140001	HUS100	総合人間科学入門	2	春	コーディネータ 芳賀 学 総合人間科学部学科教員	1		輪講	○
			総合人間科学部共通科目			自学科以外の開講科目から2科目4単位を選択し履修すること。開講科目については総合人間科学部(p.162～)参照。	1～4			○

17年次生以降

看護専門科目（必修科目）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目
必修科目	270001	NRS100	看護学概論	2	春	塚本 尚子	1		[100名]看護学科優先	○
	270048	NRS102	看護理論：人と環境の相互作用	1	秋	草柳 浩子 島田 真理恵 塚本 尚子 船木 由香 小高 恵実 小渡 知映	1		輪講 秋学期後半	○
	270003	NRS110	形態機能学Ⅰ	2	春	*川瀬 弘一	1		[100名]看護学科優先	○
	270004	NRS111	形態機能学Ⅱ	2	秋	*川瀬 弘一	1		[100名]看護学科優先	○
	270005	NRS112	保健統計学	2	秋	*竹内 文乃	1		[90名]看護学科優先	○
	270006	NRS120	生化学	2	秋	藤原 誠 神澤 信行	1		輪講	○
	270007	NRS200	薬理学	2	春	*松本 直樹	2			
	270049	NRS202	栄養学	2	秋	*朝倉 比都美	2			
	270050	NRS205	生涯発達看護学Ⅰ	2	秋	島田 真理恵 草柳 浩子	2		輪講	
	270051	NRS206	生涯発達看護学Ⅱ	2	秋	小長谷 百絵 石川 ふみよ 小高 恵実	2		輪講	
	270013	NRS210	ケア技術Ⅰ：ヘルスケアとコミュニケーション	1	春	塚本 尚子 船木 由香 工藤 みき子	2		春学期前半 同時担当	
	270014	NRS211	ケア技術Ⅱ：生活の援助技術	1	春	船木 由香 塚本 尚子 工藤 みき子	2		春学期後半 同時担当	
	270015	NRS212	クリティカル・シンキングⅠ：ヘルスアセスメント	1	春	石川 ふみよ 塚本 尚子 船木 由香	2		春学期前半 同時担当あり	
	270052	NRS214	クリティカル・シンキングⅡA：看護過程の基礎	1	秋	塚本 尚子 船木 由香 工藤 みき子	2		輪講 秋学期 同時担当あり	
	270017	NRS215	スキルズ・ラボ演習Ⅰ：生活の援助	1	春	船木 由香 塚本 尚子 工藤 みき子	2		春学期後半 同時担当	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	四谷 キャンパス 開講科目
必修科目	270018	NRS216	スキルズ・ラボ演習Ⅱ： 診療の援助	1	秋	塚本尚子 舩木由香 工藤みき子	2		秋学期前半 同時担当	
	270019	NRS220	基礎看護学実習Ⅰ	1	春	塚本尚子 舩木由香 工藤みき子	2		同時担当	
	270020	NRS221	基礎看護学実習Ⅱ	2	秋	塚本尚子 舩木由香 工藤みき子	2		同時担当	
	270021	NRS230	地域看護学概論	2	秋	西山悦子	2		秋学期前半	
	270053	NRS240	疾病・治療学Ⅰ (内科系医学)	3	春	コーディネータ 小長谷百絵 *遊道雄 *清水潤	2		輪講	
	270054	NRS241	疾病・治療学Ⅱ (外科系医学)	3	秋	コーディネータ 渡邊知映 *川瀬弘一 *月川賢剛 *宮入	2		輪講	
	270055	NRS242	疾病・治療学Ⅲ (小児科学)	1	春	コーディネータ 草柳浩子 *北川博昭 *山本仁 *長江千愛 *石田王介	2		輪講 春学期前半	
	270056	NRS243	疾病・治療学Ⅳ (産科・婦人科学)	1	春	武井弥生 島田真理恵	2		輪講 春学期後半	
	270057	NRS244	疾病・治療学Ⅴ (精神医学・老年医学)	2	秋	コーディネータ 小高恵実 *福生泰久 *小宮山純 *松田隆秀 *家研	2		輪講	
	270104	NRS250	免疫・感染症学	2	春	コーディネータ 石川ふみよ *浅井大輔 *鈴木登	2		輪講 注1	
	270058	NRS322	看護倫理学	1	休講		3		2019年度開講	
	270059	NRS323	ケアリング論	1	休講		3		2019年度開講	
	270027	NRS214	クリティカル・シンキング ⅡB：看護過程演習	1	休講		3		学期後半 同時担当	
	270060	NRS300	成人ヘルスケア	2	休講		3		2019年度開講	
	270061	NRS301	老年ヘルスケア	2	休講		3		2019年度開講	
	270030	NRS302	小児ヘルスケア	2	春	草柳浩子 平塚克洋	3		輪講	
	270031	NRS303	ウィメンズヘルスケア	2	春	島田真理恵 磯山あけみ 稲田千晴	3		輪講	
	270032	NRS304	メンタルヘルスケア	2	春	小高恵実 *福生泰久	3		輪講	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	四谷 キャンパス 開講科目
必修科目	270034	NRS305	地域生活支援／在宅看護	3	春	西 山 悦 子 岡 本 菜穂子 山 口 淑 恵 * 吉 野 純 子 * 松 浦 志 野	3		輪講	
	270107	NRS350	スキルズ・ラボ演習Ⅲ	1	春	看護学科教員	3		春学期前半 同時担当	
	270035	NRS310	成人ヘルス看護学実習	4	秋	石 川 ふみよ 渡 邊 知 映	3		同時担当	
	270036	NRS311	老年ヘルス看護学実習	2	秋	小長谷 百 絵	3		同時担当	
	270037	NRS312	小児ヘルス看護学実習	2	秋	草 柳 浩 子 平 塚 克 洋	3		同時担当	
	270038	NRS213	ウイメンズヘルス看護学実習	2	秋	島 田 真理恵 礪 山 あけみ 稲 田 千 晴	3		同時担当	
	270039	NRS314	メンタルヘルス看護学実習	2	秋	小 高 恵 実	3		同時担当	
	270040	NRS315	在宅看護実習	2	秋	西 山 悦 子 岡 本 菜穂子 山 口 淑 恵 * 未 定	3		同時担当	
	270042	NRS323	国際看護学概論	2	春	コーディネータ 武 井 弥 生 瀬 本 正 之 * ニュンサハ フランソワ * 吉 野 八 重	3		輪講	
	270041	NRS322	クリティカル・シンキングⅢ： 研究方法	2	春	島 田 真理恵 小 高 恵 実 渡 邊 知 映	4		輪講	
	270008	NRS201	看護管理（医療安全含む）	2	春	コーディネータ * 高 橋 恵 * 本 館 教 子 * 和 田 由 樹	4		輪講 春学期集中	
	270062	NRS410	アドバンス成人看護学実習	2	休講		4		2020年度開講	
	270063	NRS411	アドバンス老年看護学実習	2	休講		4		2020年度開講	
	270064	NRS412	統合実習	2	休講		4		2020年度開講	
	270065	NRS402	リーダーシップ・マネジメント論	1	休講		4		2020年度開講	○
270047	NRS420	卒業研究	2	秋	看護学科担当教員	4		同時担当		

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

看護専門科目（選択科目）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目
選択科目	270101	NRS150	アフリカ文化理解と医療保健活動	2	春	コーディネータ 武井 弥生 *波佐間 逸博 *粉川 直樹 *ニヨンサハ フランソワ *小川 真吾	1		[100名] 輪講 注1	○
	270124	NRS151	生と死のケアリング・コロキウム	2	秋	石川 ふみよ 草柳 浩子 小長谷 百絵 礒山 あけみ 小高 恵実 武井 弥生 渡邊 知映	1		[100名] 看護学科優先 輪講 注1	○
	270105	NRS251	医学専門用語・原書講読	2	秋	*渡邊 知子	2	○		
	270106	NRS252	疫学	2	秋	武井 弥生	2		注1	
	270108	NRS351	人類・遺伝発生学	2	春	*井原 千琴	2			
	270121	NRS353	養護概論	2	秋	西山 悦子 *鎌塚 優子	3		輪講, 秋学期集中 注1	
	270122	NRS354	日常フランス語1	1	春	*武田 志保子	3			
	270123	NRS355	日常フランス語2	1	春	*武田 志保子	4		春学期前半	
	270125	NRS460	地域看護学実習	2	休講		4		注1 2020年度開講	
	270126	NRS461	地域保健活動論 I	2	休講		4		注1 2020年度開講	
	270127	NRS462	地域保健活動論 II	2	休講		4		注1 2020年度開講	
	270115	NRS451	学校保健	2	春	西山 悦子 岡本 菜穂子 山口 淑恵	4		春学期前半に週3 コマ計15回実施 する。輪講, 注1	
	270111	NRS453	小児・学校救急看護演習	1	春	コーディネータ 西山 悦子 船木 由香 *川瀬 弘一 *平野 貴章 *岡野 達郎 *小松崎 英樹	4		輪講 春学期前半 注1	
	270109	NRS352	地域ヘルス活動	1	秋	岡本 菜穂子 西山 悦子 山口 淑恵 *未	4		[24名]保健師コース 選択者優先 同時担当 注1	
	270116	NRS454	国際感染症学	2	春	武井 弥生	4	○	春学期前半 注1	
	270117	NRS455	国際保健看護学	2	春	コーディネータ 武井 弥生 水谷 裕佳 瀬本 正之 寺田 勇文 *ニヨンサハ フランソワ	4		輪講 春学期前半 注1	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	四谷 キャンパス 開講科目	
選択科目	270118	NRS456	国際協力方法論	2	秋	武井 弥生 *山本 志都	4		輪講 注1	○	
	270120	NRS457	国際看護学実習 (アフリカ・アジア)	2	春	武井 弥生	4		注1, 注2		
	290204	SPE301	社会福祉政策論	2					(他) 社会福祉学 科, 注1	○	
	854855	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究 センター 履修要覧(共通編) の言語教育研究 センター開講科目 (p.212~)を参照	○	
	854857	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH B	2							
	854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2							
	854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2							
	854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1							
	854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1							
	854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1							
	854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1							
	854812	ENG250	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1							
	854869	ENG260	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1							
	850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1							
	850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1							
		他学部他学科科目・課程科目	各開講科目担当表を参照					学科選択科目とし て算入可能			

注1 p.236~の<保健師コースの資格要件科目>および<国際看護学コース履修推奨科目>、<養護教諭1種免許状取得のための資格要件科目>を確認のこと。

注2 人数制限有り。

16年次生以前

看護基礎科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目		
人間と社会／環境	必修科目	270001	NRS100	看護学概論	2	春	塚本尚子	1		[100名], 看護学科優先	○	
		270003	NRS110	形態機能学Ⅰ	2	春	*川瀬弘一	1		[100名], 看護学科優先	○	
		270004	NRS111	形態機能学Ⅱ	2	秋	*川瀬弘一	1		[100名], 看護学科優先	○	
		270005	NRS112	保健統計学	2	秋	*竹内文乃	1		[90名], 看護学科優先	○	
		選択科目	270101	NRS150	アフリカ文化理解と医療保健活動	2	春	コーディネータ 武井弥生 *波佐間逸博 *粉川直樹 *ニヨンサハ フランソワ *小川真吾	1		[100名] 輪講 注1	○
		270124	NRS151	生と死のケアリング・コロキウム	2	秋	石川ふみよ 草柳浩子 小長谷百絵 礪山あけみ 小高恵実 武井弥生 渡邊知映	1		[100名] 輪講 看護学科優先 注1	○	

看護専門科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目			
人間の発達と健康	必修科目	270006	NRS120	生化学	2	秋	藤原 誠 神澤 信行	1		輪講	○		
		270007	NRS200	薬理学	2	春	*松本 直樹	2					
		270008	NRS201	看護管理（医療安全含む）	2	春	コーディネータ *高橋 恵 *本館 教子 *和田 由樹	2		輪講 春学期集中			
		270010	NRS203	ケアリング論	2	休講		2		輪講			
		270013	NRS210	ケア技術Ⅰ：ヘルスケアとコミュニケーション	1	春	塚本 尚子 舩木 由香 工藤 みき子	2		春学期前半 同時担当			
		270014	NRS211	ケア技術Ⅱ：生活の援助技術	1	春	舩木 由香 塚本 尚子 工藤 みき子	2		春学期後半 同時担当			
		270015	NRS212	クリティカル・シンキングⅠ：ヘルスアセスメント	1	春	石川 ふみよ 塚本 尚子 舩木 由香	2		春学期前半 同時担当あり			
		270017	NRS215	スキルズ・ラボ演習Ⅰ：生活の援助	1	春	舩木 由香 塚本 尚子 工藤 みき子	2		春学期後半 同時担当			
		270018	NRS216	スキルズ・ラボ演習Ⅱ：診療の援助	1	秋	塚本 尚子 舩木 由香 工藤 みき子	2		秋学期前半 同時担当			
		270019	NRS220	基礎看護学実習Ⅰ	1	春	塚本 尚子 舩木 由香 工藤 みき子	2		同時担当			
		270020	NRS221	基礎看護学実習Ⅱ	2	秋	塚本 尚子 舩木 由香 工藤 みき子	2		同時担当			
		270021	NRS230	地域看護学概論	2	秋	西山 悦子	2		秋学期前半			
		270022	NRS231	地域看護学実習Ⅰ（保育園・作業所）	2	秋	小高 恵実 草柳 浩子 平塚 克洋	2		同時担当			
		人間の発達と健康	選択科目	270104	NRS250	免疫・感染症学	2	春	コーディネータ 石川 ふみよ *浅井 大輔 *鈴木 登	2		輪講 注1	
				270105	NRS251	医学専門用語・原書講読	2	秋	*渡邊 知子	2	○		
270106	NRS252			疫学	2	秋	武井 弥生	2		注1			

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目	
人間の健康障害と看護	必修科目	270027	NRS214	クリティカル・シンキングⅡB：看護過程演習	1	休講		2	学期後半 同時担当		
		270028	NRS320	カウンセリング論	1	春	*川上華代	3	春学期前半		
		270029	NRS300	成人・老年ヘルスケア	3	春	石川ふみよ 小長谷百絵 渡邊知映	3	輪講		
		270030	NRS302	小児ヘルスケア	2	春	草柳浩子 平塚克洋	3	輪講		
		270031	NRS303	ウイメンズヘルスケア	2	春	島田真理恵 礒山あけみ 稲田千晴	3	輪講		
		270032	NRS304	メンタルヘルスケア	2	春	*小高恵実 福生泰久	3	輪講		
		270033	NRS321	看護倫理学	2	春	渡邊知映 *佐々木裕子	3	輪講		
		270034	NRS305	地域生活支援／在宅看護	3	春	西山悦子 岡本菜穂子 山口淑恵 *吉野純子 *松浦志野	3	輪講		
		270035	NRS310	成人ヘルス看護学実習	4	秋	石川ふみよ 渡邊知映	3	同時担当		
		270036	NRS311	老年ヘルス看護学実習	2	秋	小長谷百絵	3	同時担当		
		270037	NRS312	小児ヘルス看護学実習	2	秋	草柳浩子 平塚克洋	3	同時担当		
		270038	NRS313	ウイメンズヘルス看護学実習	2	秋	島田真理恵 礒山あけみ 稲田千晴	3	同時担当		
		270039	NRS314	メンタルヘルス看護学実習	2	秋	小高恵実	3	同時担当		
		270040	NRS315	在宅看護実習	2	秋	西山悦子 岡本菜穂子 山口淑恵 *未定	3	同時担当		
		270043	NRS410	アドバンス成人看護学実習 (統合実習含む)	2	春	石川ふみよ 渡邊知映	4	同時担当		
		270044	NRS411	アドバンス老年看護学実習 (統合実習含む)	2	春	小長谷百絵	4			
		選択科目	270107	NRS350	スキルズ・ラボ演習Ⅲ	1	春	看護学科教員	3	春学期前半 同時担当	
			270108	NRS351	人類・遺伝発生学	2	春	*井原千琴	3		

看護総合科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目	
場に応じた看護	必修科目	270041	NRS322	クリティカル・シンキングⅢ：研究方法	2	春	島田 真理恵 小高 恵実 渡邊 知映	3		輪講	
		270042	NRS323	国際看護学概論	2	春	コーディネータ 武井 弥生 瀬本 正之 *ニヨンサハ フランソワ *吉野 八重	3		輪講	
		270045	NRS400	リーダーシップ・マネジメント論	1	春	西山 悦子 *加藤 眞三	4		輪講，春学期前半	
		270046	NRS401	看護リーダーシップ	2	秋	コーディネータ 石川 ふみよ 塚本 尚子 藤井 賢一郎	4		輪講	○
		270047	NRS420	卒業研究	2	秋	看護学科担当教員	4		同時担当	
	選択科目	270109	NRS352	地域ヘルス活動	1	秋	岡本 菜穂子 西山 悦子 山口 淑恵 *未定	3		[24名]保健師コース 選択者優先， 同時担当，注1	
		270122	NRS354	日常フランス語1	1	春	*武田 志保子	3		注1	
		270123	NRS355	日常フランス語2	1	春	*武田 志保子	4		春学期前半	
		270116	NRS454	国際感染症学	2	春	武井 弥生	4	○	春学期前半 注1	
		270117	NRS455	国際保健看護学	2	春	コーディネータ 武井 弥生 水谷 裕佳 瀬本 正之 寺田 勇文 *ニヨンサハ フランソワ	4		輪講 春学期前半 注1	
		270118	NRS456	国際協力方法論	2	秋	武井 弥生 *山本 志都	4		輪講，注1	○
		270120	NRS457	国際看護学実習 (アフリカ・アジア)	2	春	武井 弥生	4		注1，注2	
		270121	NRS353	養護概論	2	秋	西山 悦子 *鎌塚 優子	3		輪講，秋学期集中 注1	
		270115	NRS451	学校保健	2	春	西山 悦子 岡本 菜穂子 山口 淑恵	4		春学期前半に週3 コマ計15回実施 する。輪講，注1	
270111	NRS453	小児・学校救急看護演習	1	春	コーディネータ 西山 悦子 舩木 由香 *川瀬 弘一 *平野 貴章 *岡野 達郎 *小松崎 英樹	4		輪講 春学期前半 注1			

学部共通
教
育
心
理
社
会
社会福祉
看
護

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	四谷キャンパス開講科目	
場に応じた看護	選択科目	270113	NRS452	地域看護学実習Ⅱ	4	春	山口淑恵 西山悦子 岡本菜穂子	4		同時担当, 注1, 注2	
		270114	NRS450	地域保健活動論 (産業保健含む)	2	春	山口淑恵 西山悦子 岡本菜穂子	4		輪講 春学期前半に週2 日(4コマ)計15 回実施する。注1	
		290204	SPE301	社会福祉政策論	2					(他) 社会福祉学科 注1	○
		337102	LAW361	医療と法	2					(他) 法学部, 注1	○
その他	科目選択		他学部他学科科目・課程科目	各開講科目担当表を参照					学科選択科目 として算入可能		

注1 p.239の<保健師・養護教諭コースの資格要件科目>および<国際看護学履修推奨科目>を確認のこと。

注2 人数制限有り。

4	法 学 部
---	-------

〔教育研究上の目的〕

法律学及びその関連科目を広く学ぶことを通じて、社会に生起するさまざまな問題について法的に考える力を養うこと

〔人材養成の目的〕

現代社会に対応できるような法的思考能力や問題分析能力を有し、かつ国内だけでなく国際社会でも活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部では、法的な基本知識や思考枠組とともに、広い視野と柔軟な思考をもって、主体的に問題の分析や解決にあたるような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を各学科で定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 法的な基本知識や思考枠組を修得し、広い視野と柔軟な思考をもって問題の分析や解決にあたることができるよう、法律基本科目を基礎に置きながら、その発展的・先端的な法律科目を配置するとともに、政治学・経済学・国際関係論といった隣接科目を揃え、学科横断的に学ぶ。
2. 問題意識と学問的な関心をもって、より主体的に、かつ、掘り下げた議論ができるよう、少人数制のゼミナール形式の演習を設ける。

法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通

1. 履修計画について

- ①この履修モデル案は、履修科目の選択に際して参考とすべきおおよそのガイドラインを示すものである。
- ②卒業に要する科目のうち、3学科共通の必修科目〔法学入門、導入演習、憲法（基本的人権）、憲法（統治機構）、民法総則Ⅰ（自然人、物、法律行為）、民法総則Ⅱ（代理、法人、期間、時効）、必修演習〕は記載していない。また、学科によって必修科目とされているもの（英語導入演習、債権法各論Ⅰ（契約）、債権法各論Ⅱ（事務管理、不当利得、不法行為）、刑法総論、国際法総論、行政法総論、環境法入門、環境法総論、環境法各論）については*記号を付けている。所属する学科に応じて、必修科目、選択必修科目、選択科目の別を確認されたい。なお、※印の科目は、他学部他学科科目Ⅰ（p.258参照）で、法学部学科科目C群（選択科目）として認められているものである。科目の性質上、他学部他学科科目Ⅱ、全学共通科目または語学科目で法学部学科科目C群（選択科目）として認められるものについては掲記していない。
- ③この履修モデル案は、法学部の学生が興味を抱くような領域に応じて区分している。複数の興味を抱いている場合には、それらを組み合わせることで考えてみるとよい。
- ④履修計画は、基本的には、所定の履修年次にそって立てることが望ましいが、年度毎の開講科目、授業時間割によっては、必ずしも履修モデル案どおりに履修できるわけではないことに留意されたい。

○法曹に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	*刑法総論 *行政法総論 物権法 担保物権法 債権法総論 刑法各論 刑事学・刑事政策 環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ	行政救済法 親族法 相続法 会社法Ⅰ・Ⅱ 手形・小切手法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法 商取引法 法医学 医療と法 倒産処理法 民事執行・保全法 憲法訴訟 新司法試験選択科目とされているもの（租税法 経済法 知的財産権法Ⅰ・Ⅱ 労働法 *環境法 総論 *国際法総論 国際法各論 国際私法 国 際取引法）のうちから少なくとも1～2科目

○行政に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
※ミクロ経済学A・B ※マクロ経済学A	*刑法総論 *行政法総論 行政救済法 物権法 債権法総論 刑法各論 現代日本 政治論 規制と法 政治学 ※国際経済学 1・2 ※マクロ経済学B ※ミクロ経済学C	現代行政学 社会保障法 労働法 地方自治法 租税法 規制と政治 法律学特殊講義Ⅰ（立法過 程の実務と理論） ※マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ

○国際関係に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	*国際法総論 国際政治学 国際法各論 ※国際政治史1・2 ※INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS（国際関係論入門）※国連研究 1・2 LEGAL WRITING	国際紛争処理法 EU法 国際組織法 国際関 係法特殊講義（外交と国際法） 国際関係特殊講 義（日中関係の歴史と展望） HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS) INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)

○環境に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
*環境法入門 *環境法総論	*環境法各論 *行政法総論 *刑法総論 環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政救済法 比較環境法 エネルギーと法 環境社会学 ※南アジア社会経済論	国際環境法 自治体環境法 自然保護法 ヨー ロッパ環境法 アジア環境法 地球温暖化と法 環境刑法 企業環境法 廃棄物・リサイクル法 規制と政治 まちづくりと法 企業環境マネジ メント論 環境問題特殊講義(企業活動と環境法 コンプライアンス) 環境法特殊講義(環境訴訟 の展開) アメリカ環境法

○経済活動に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
※ミクロ経済学A・B ※マクロ経済学A	物権法 担保物権法 債権法総論 ※マクロ経済学B ※国際経済学1・2 ※アジアとグローバル企業 NEGOTIATION WORKSHOP GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR ※ミクロ経済学C	会社法Ⅰ・Ⅱ 手形・小切手法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 商取引法 保険法 海商法 租税法 経済法 知的財産権法Ⅰ・Ⅱ 消費者法 国際取引法 国 際租税法 国際経済法 法律学特殊講義Ⅱ(信託 法) 法律学特殊講義Ⅳ(金融商品取引法) BUSINESS FUNDAMENTALS:ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS CONTRACTS CORPORATIONS TORTS PROPERTY

○法律の基礎理論に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	比較法Ⅰ・Ⅱ LAW AND SOCIETY INTRODUCTION TO US LAW (CONSTITUTION)Ⅰ・Ⅱ COMPARATIVE LAW SEMINAR	法哲学 英米法 ドイツ法Ⅰ・Ⅱ フランス法 アジア法 西洋法制史 法律学特殊講義Ⅲ(法思 想史) JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ・Ⅱ

○政治・国際政治に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	政治学 国際政治学 JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES ※国際政治史1・2 ※外交政策1・2 ※JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS (日本の政治) ※特講(国際機構)A ※国際協力論1・2 ※グローバル化と文化1・2	現代行政学 法哲学 規制と政治 比較憲法 国際関係特殊講義(日中関係の歴史と展望) 法律学特殊講義Ⅲ(法思想史) INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT 比較政治論 COMPARATIVE POLITICS INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER

2. 履修上の留意事項について

①最高履修限度

履修登録単位数は各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。また、春・秋各学期の履修登録単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

【2011年次生以降】

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

【2008～2010年次生】

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
24	24	48	24	24	48	24	24	48	24	24	48	192

なお、学期・年間別最高履修限度を超えて登録しなければならない場合は、事前に学科長に願い出ること。卒業にかかわるなど、特に理由がある場合には、審査のうえ、上記限度を超えた登録を認めることがある。

- ②下記の科目は変更前と変更後のものについて同一科目とみなすので、これらの科目を重複して履修しても卒業に必要な単位数に含まれるのは1科目のみである。

変更前			変更後			
科目コード	開講年度	科目名		科目コード	開講年度	科目名
311403	～2007	環境法特殊講義 I	→	311300	2008～	環境法特殊講義
333510	～2009	ドイツ法 (4単位)	→	333511	2010～	ドイツ法 I (2単位)
				333512	2010～	ドイツ法 II (2単位)
335810	～2012	知的財産権法 (4単位)	→	335811	2013～	知的財産権法 I (4単位)
				335812	2013～	知的財産権法 II (4単位)
337500	～2013	行政学 (4単位)	→	337501	2014～	現代行政学 (2単位)
336504	～2013	地域共同体法(EU法)	→	336505	2014～	EU法
310200	～2013	環境と法	→	310201	2014～	環境法入門
341300	～2013	環境公法	→	341301	2014～	環境法総論
310700	～2013	環境汚染防止法	→	310701	2014～	環境法各論
341100	～2013	環境私法	→	341102	2014～	環境訴訟法
341500	～2013	生活環境法	→	341501	2014～	廃棄物・リサイクル法
345025	～2013	国際関係法特殊講義 II (国際組織法)	→	345014	2014～	国際関係法特殊講義 I (国際組織法)
345037	～2013	国際関係法特殊講義 III (外交と国際法)	→	345026	2014～	国際関係法特殊講義 II (外交と国際法)
344803	～2013	国際関係法特殊講義 I (日中関係の歴史と展望)	→	344808	2014～	国際関係法特殊講義 (日中関係の歴史と展望)
330160	～2014	憲法 (統治機構) (4単位)	→	330161	2015～	憲法 (統治機構) (2単位)
336001	～2014	社会保障法総論 (2単位)	→	336020	2015～	社会保障法 (4単位)
336002	～2014	社会保障法各論 (2単位)				
347000	～2014	選択演習 (6単位)	→	347001	2015～	選択演習 I (3単位)
				347002		選択演習 II (3単位)
347200	～2014	必修演習 (6単位)	→	347003	2015～	必修演習 III (3単位)
				347004		必修演習 IV (3単位)
336202	～2015	国際私法 (4単位)	→	336203	2016～	国際私法 (2単位)
335812	～2015	知的財産権法 II (4単位)	→	335813	2016～	知的財産権法 II (2単位)

変更前			変更後			
科目コード	開講年度	科目名		科目コード	開講年度	科目名
341102	～2015	環境訴訟法 (2単位)	→	341103 341104	2016～	環境訴訟法Ⅰ (2単位) 環境訴訟法Ⅱ (2単位)
345014	～2015	国際関係法特殊講義Ⅰ (国際組織法) (2単位)	→	345015	2016～	国際組織法 (2単位)
345026	～2015	国際関係法特殊講義Ⅱ (外交と国際法) (2単位)	→	345027	2016～	国際関係法特殊講義 (外交と国際法) (2単位)
390320 390321	～2015	BUSINESS LAW SEMINARⅠ (2単位) BUSINESS LAW SEMINARⅡ (2単位)	→	390322	2016～	BUSINESS LAW SEMINAR (2単位)
390380	～2015	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES (2単位)	→	390382	2016～	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ (2単位)
390330	～2015	INTRODUCTION TO US LAW (2単位)	→	390331	2016～	INTRODUCTION TO US LAWⅠ (2単位)
336600	～2017	比較法 (4単位)	→	336602 336603	2018～	比較法Ⅰ (2単位) 比較法Ⅱ (2単位)
390381	～2017	LAW AND SOCIETYⅡ (2単位)	→	390304	2018～	LAW AND SOCIETY (2単位)
390382	～2017	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ (2単位)	→	390303	2018～	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ (1単位)
311101	～2017	規制と法 (2単位)	→	311102	2018～	エネルギーと法 (2単位)

③学科科目としての外国語について、14年次生以降は履修要覧（共通編）(p.161～)，13年次生以前は履修要覧（共通編）(p.235～)を参照すること。

④履修中止については、履修要覧（共通編）「6. 履修中止」(p.33～)を参照すること。なお、必修科目の履修中止は認められないが、法学部では「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」に限り履修中止を認める。

⑤「導入演習」は、所属クラスの指定されたAまたはBを履修すること。また、「英語導入演習」は、プレイスメントテスト(4月実施)の結果によりA～Dのクラス分けをする。所属クラスは、秋学期の履修登録前にLoyolaに掲示するので、各自確認すること。

⑥科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された開講科目のナンバリングは、下記のとおり、科目の分野等を示すものである。ナンバリングの趣旨については、履修要覧（共通編）「3. ナンバリング」(p.26)を参照されたい。

分野名(アルファベット)	分野名(英語)	分野名(日本語)
CML	COMMERCIAL LAW	商法系
CPL	CIVIL PROCEDURAL LAW	民事訴訟法系
CRL	CRIMINAL LAW	刑事法系
CVL	CIVIL LAW	民法法系
ENL	ENVIRONMENTAL LAW	環境法系
INL	INTERNATIONAL LAW	国際法系
JUR	JURISPRUDENCE	基礎法系
LAW	LAW IN GENERAL	法律一般
PBL	PUBLIC LAW	公法系
PIL	PRIVATE INTERNATIONAL LAW	国際私法・取引法系
POL	POLITICAL SCIENCE	政治学系
SCL	SOCIAL LAW	社会法・経済法系
LSA	LEGAL STUDY ABROAD	海外短期研修

3. 学科科目C群の取扱いについて

下記の他学部他学科科目Ⅰ，同Ⅱ全学共通科目および語学科目については，学科科目C群（選択科目）として取り扱う。ただし，26単位（このうち，他学部他学科科目Ⅱについては4単位，全学共通科目については12単位，語学科目については8単位）までしか認められない。

(1) 他学部他学科科目Ⅰ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考	
選択科目	学科科目C群	260710	JRN411	マスコミ倫理法制論Ⅰ	2	(他) 新聞学科
		260711	JRN412	マスコミ倫理法制論Ⅱ	2	(他) 新聞学科
		401103	ECN114	ミクロ経済学A	2	(他) 経済学科
		401202	ECN117	ミクロ経済学B	2	(他) 経済学科
		401203	ECN118	ミクロ経済学C	2	(他) 経済学科
		401110	ECN115	マクロ経済学A	2	(他) 経済学科
		401120	ECN120	マクロ経済学B	2	(他) 経済学科
		BGS54000	GIC310	国際経済学1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS54001	GIC311	国際経済学2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52800	GIP311	国連研究 1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52801	GIP312	国連研究 2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS57501	GIP401	特講（国際機構）A	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53800	GIC306	グローバル化と文化 1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53801	GIC307	グローバル化と文化 2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53900	GIC308	国際協力論 1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53901	GIC309	国際協力論 2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52400	GIP304	外交政策1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52401	GIP305	外交政策2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52500	GIP306	国際政治史1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52501	GIP307	国際政治史2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55500	GAA313	南アジア社会経済論	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55400	GAA312	南アジア史	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55900	GAA317	アジアとグローバル企業	2	(他) 総合グローバル学科
		POL321	POL321	JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS (日本の政治)	4	(他) 国際教養学科
		POL205	POL205	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS (国際関係論入門)	4	(他) 国際教養学科

(2) 他学部他学科科目Ⅱ (14年次生以降対象)

外国語学部(英語学科を除く)専門科目の履修については、下記の取扱いによる。

- ①ドイツ語学科・フランス語学科・イスパニア語学科開講科目の受講を希望する場合は、言語教育研究センターが開講する当該言語科目の「上級」2単位以上を修得済みであること。ロシア語学科・ポルトガル語学科開講科目の受講を希望する場合は、「中級」4単位以上を修得済みであること。
- ②事前に受講希望科目開講学科長の許可を受けたいうえで、みずからが所属する学科の学科長から外国語学部の当該学科長および受講希望科目担当教員に宛てた推薦状を用意すること。
- ③受講を希望する場合には、具体的な科目、履修の手続き等の詳細について、事前に法学部事務室に問い合わせたいうえで、下記の期日までに申し出ること。

【春学期科目の履修希望者：2018年3月30日(金)～4月3日(火)】

【秋学期科目の履修希望者：2018年9月14日(金)～9月20日(木)】

(3) 全学共通科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考	
選択科目	学 科 目 C 群	099114	GCE205	地球環境と科学技術Ⅰ	2	(他) 全学共通
		099115	GCE206	地球環境と科学技術Ⅱ	2	(他) 全学共通
		099186	GCE202	地球環境学Ⅰ	2	(他) 全学共通
		099187	GCE203	地球環境学Ⅱ	2	(他) 全学共通
		032702	GCI103	企業と社会	2	(他) 全学共通
		030601	GCI109	経済学	2	(他) 全学共通
		099189	GCI112	社会学	2	(他) 全学共通
		099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	(他) 全学共通
		099712	GCE205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	(他) 全学共通

(4) 語学科目 (14年次生以降対象)

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	備考	
選 択 科 目	学 科 目 C 群	854833	ENG260	LAW IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854868	ENG260	LAW IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854816	ENG250	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2	(他) 言語教育研究センター
		854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	(他) 言語教育研究センター
		854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	(他) 言語教育研究センター
		854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	(他) 言語教育研究センター
		854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	(他) 言語教育研究センター
		854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	(他) 言語教育研究センター
		854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	(他) 言語教育研究センター

4. 演習について

- ①在学期間（休学期間を除く）が2年以上の法学部生のみ、履修を認める。
- ②3・4年次以上における演習履修希望者は、前年度の秋（11月）におこなわれる法学部主催の「演習説明会」に出席し、そこでの指示に従って、演習選考の手続をおこなわなければならない（「演習概要」および「演習説明会」開催日時は、秋学期にLoyolaに掲載される）。次年度の履修登録の際は、必ず演習選考の結果に従っておこなうこと。
- ③「選択演習」は3年次以降の選択科目であり、春学期開講「選択演習Ⅰ」、秋学期開講「選択演習Ⅱ」（各3単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ3単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「選択演習Ⅰ」を修得しなければ「選択演習Ⅱ」を履修することはできない。「選択演習Ⅰ」の単位を取得し、同一年度内に「選択演習Ⅱ」の単位を取得していない者は、次年度以降に「選択演習Ⅱ」のみの履修はできないが、「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」を履修することはできる。ただし、その場合に、卒業に必要な単位として認められるのは、前年度に修得した「選択演習Ⅰ」の3単位のみである。
- ④必修演習は4年次の必修科目であり、春学期開講「必修演習Ⅲ」、秋学期開講「必修演習Ⅳ」（各3単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ3単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「必修演習Ⅲ」を修得しなければ「必修演習Ⅳ」を履修することはできない。ただし、特別の事情（休学・留学）がある場合には、「必修演習」に関する継続履修制度を利用することができるので、法学部事務室で詳細を確認すること。「必修演習Ⅲ」を履修しており、秋学期に休学・留学が決定した者は、必ず法学部事務室に申し出ること。また、「必修演習Ⅲ」の単位を取得し、同一年度内に「必修演習Ⅳ」の単位を取得していない者は、法学部事務室まで相談すること。
- ⑤3年次生は、原則として、「選択演習」の選考手続をおこなう。ただし、次の場合は、例外的な取扱いを認める。
- (a)早期卒業希望者
早期卒業を希望し、2年次終了時に早期卒業登録の要件（p.263の「早期卒業制度について」参照のこと。）を満たしている場合には、早期卒業登録申請をおこなうとともに、「必修演習」として履修登録する。この場合、学事センターでは「選択演習」で履修制限をかけているため、履修登録前に法学部事務室に連絡をすること。早期卒業登録の取消または早期卒業時期の変更をおこなった場合も、単位の認定を受けた「必修演習」は、そのまま卒業に要する単位として取り扱う。
- (b)交換留学・一般留学予定者
交換留学・一般留学予定者が、帰国後の年度中に卒業を希望する場合には、帰国手続後に「必修演習」に変更する。その際、一般留学者は、帰国後に、留学にかかる証明書の写しを法学部事務室に提出する（必要な証明書の種類については、法学部事務室に確認すること）。この証明書が提出されない場合、卒業に支障が生じるので、十分に留意されたい。3年次秋学期から留学する場合には、「必修演習」継続履修願を法学部事務室に提出することにより、3年次春学期と同じ教員の演習を4年次秋学期に履修することができる。留学しなかったり、一般留学で留学にかかる証明書を提出しなかったりした場合には、3年次春学期に取得した3単位しか卒業単位には認められない。また、留学を取り止めて、3年次秋学期に同一教員の演習を履修した場合には、「選択演習」の6単位が卒業単位として認められる。
- ⑥コースAQUILA登録者で一定の条件を満たすものが、「必修演習」を履修する場合、指定演習科目（各年度ごとの上記説明会で示される）を優先的に登録することができる。

〈演習〉

選択科目 (3年次生以上)			必修科目 (4年次生)			単位	開講期	担当者
ナンバリング	科目コード	授業科目名	ナンバリング	科目コード	授業科目名			
LAW430	347001	選択演習Ⅰ	LAW440	347003	必修演習Ⅲ	3	春秋	矢島基美 江藤祥平 小幡純子
	347002	選択演習Ⅱ		347004	必修演習Ⅳ			
		選択演習Ⅰ（憲法）			必修演習Ⅲ（憲法）			
		選択演習Ⅱ（憲法）			必修演習Ⅳ（憲法）			
		選択演習Ⅰ（憲法）			必修演習Ⅲ（憲法）			
		選択演習Ⅱ（憲法）			必修演習Ⅳ（憲法）			
		選択演習Ⅰ（行政法）			必修演習Ⅲ（行政法）			
		選択演習Ⅱ（行政法）			必修演習Ⅳ（行政法）			

選択科目 (3年次生以上)			必修科目 (4年次生)			単位	開講期	担当者
ナンバリング	科目コード	授業科目名	ナンバリング	科目コード	授業科目名			
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			奥 富 晃
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			佐 藤 岩 昭
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			羽 生 香 織
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)		休講	
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			大 塚 智 見
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)		休講	
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			安 西 明 子
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			甘 利 公 人
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			伊 藤 雄 司
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)		休講	
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			富 永 晃 一
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			永 野 仁 美
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			駒 田 泰 士
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			楠 茂 樹
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			伊 藤 涉
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			照 沼 亮 介
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			佐 藤 結 美
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			長 沼 範 良
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			加 藤 浩 三
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			三 浦 ま り
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			岡 部 み どり
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			江 藤 淳 一
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			堀 口 健 夫
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			兼 原 敦 子
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			川 瀬 剛 志
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			岩 田 太
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			松 本 尚 子
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			奥 田 純 一 郎
		選択演習Ⅰ(民法)			必修演習Ⅲ(民法)			出 口 耕 自
		選択演習Ⅱ(民法)			必修演習Ⅳ(民法)			

選択科目 (3年次生以上)			必修科目 (4年次生)			単 位	開講期	担 当 者
ナン バ リ ン グ	科 目 コ ー ド	授 業 科 目 名	ナン バ リ ン グ	科 目 コ ー ド	授 業 科 目 名			
		選択演習Ⅰ(国際取引法)			必修演習Ⅲ(国際取引法)			森 下 哲 朗
		選択演習Ⅱ(国際取引法)			必修演習Ⅳ(国際取引法)			北 村 喜 宣
		選択演習Ⅰ(環境法)			必修演習Ⅲ(環境法)			桑 原 勇 進
		選択演習Ⅱ(環境法)			必修演習Ⅳ(環境法)			梅 村 悠
		選択演習Ⅰ(企業環境法)			必修演習Ⅲ(企業環境法)			越 智 敏 裕
		選択演習Ⅱ(企業環境法)			必修演習Ⅳ(企業環境法)			
		選択演習Ⅰ(行政環境法)			必修演習Ⅲ(行政環境法)			
		選択演習Ⅱ(行政環境法)			必修演習Ⅳ(行政環境法)			
		選択演習Ⅰ(環境社会学)			必修演習Ⅲ(環境社会学)		休講	
		選択演習Ⅱ(環境社会学)			必修演習Ⅳ(環境社会学)			
		選択演習Ⅰ(AMERICAN LAW AND POLITICS)			必修演習Ⅲ(AMERICAN LAW AND POLITICS)			GIVENS Stephen
		選択演習Ⅱ(AMERICAN LAW AND POLITICS)			必修演習Ⅳ(AMERICAN LAW AND POLITICS)			

5. 早期卒業制度について

- ①早期卒業とは、在学期間が3年以上あり、所定の手続を経て、3年次終了時または4年次春学期の終了時をもって卒業することをいう（以下では、それぞれ3年次3月卒業または、4年次9月卒業という）。
- ②早期卒業をするためには、次の要件をすべて満たしていなければならない。
- 1) 本人が早期卒業を希望していること。
 - 2) 卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること。
 - 3) 修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下では、「GPA」という）が3.5以上であること。
- ③早期卒業をするためには**早期卒業登録**が必要になるが、その取扱いは次のとおりである。
- a) **早期卒業登録をするためには、2年次終了時において、次の要件を満たしていること。**
 - イ) 卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる修得済み総単位数が80単位以上(本学で修得した単位を62単位以上含む)である。
 - ロ) 修得済み総単位数に対するGPAが3.2以上である。
 - b) 早期卒業登録にあたっては、下記の別表の提出期間内に「早期卒業登録申請書」(法学部事務室で配布)を法学部事務室(2号館12階)に提出する。その際には、みずからが所属することとなる必修演習科目の教員(以下では、「指導教員」という)の承認印を得ること。
 - c) 早期卒業するためには、本来4年次に履修する「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」を3年次に履修しなければならないので、毎年秋学期に開催される「演習説明会」に2年次に出席し、その指示に従って手続をする必要がある。
- ④早期卒業登録をおこなった後でも次の手続により、卒業時期の変更、早期卒業登録の取消のいずれかを申請することができる。そのための提出書類は、法学部事務室で受け取ること。
- a) 卒業時期の変更は、3年次3月卒業から4年次9月卒業への変更のみに限られる。この場合は、早期卒業変更届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に学科長(法学部事務室)に提出すること。
 - b) 早期卒業登録の取消は、早期卒業取消届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に法学部事務室を通じて学科長まで届け出ること。
 - c) 早期卒業を取り消した場合、3年次に履修した「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」は、そのまま卒業単位として認められる。「必修演習(6単位)」の単位を取得した3年次生は、4年次にこれらの科目を履修することはできない。早期卒業に至らなかった場合も、これに準じて取り扱う。

〔別表〕

提出書類	提出期間
早期卒業登録申請書	2018年4月2日～4月12日（春学期履修登録期間）
早期卒業変更届出書（*変更希望者のみ）	2018年9月21日～9月28日（秋学期履修登録期間）
早期卒業取消届出書（*取消希望者のみ）	3月卒業の取消 → 3年次秋学期履修中止申請期間 (2018年12月3日～7日)
	4年次9月卒業の取消 → 4年次春学期履修中止申請期間 (2018年6月4日～8日)

6. 国際関係法学科 コースAQUILAについて

法学部では、2014年次生以降の国際関係法学科生を対象とした、コースAQUILAを設置している。「開講科目担当表」上、「授業科目名」が英語で表記されているものは、コースAQUILA認定対象科目である。これらの科目は法学部生であれば誰でも履修できるが、一部の科目は定員制限があり、定員超過の場合はAQUILA登録者が優先される。定員制限のある科目は、開講科目担当表の「備考」欄にそれぞれ明記しているので、注意すること。

また、法学部の海外短期研修(下記8参照)も、所定の募集人数を超えた場合はコースAQUILA登録者が優先される。

7. 地球環境法特修コース認定について

法学部では、地球環境法特修コースの認定をおこなっており、地球環境法学科以外の法学部生もその対象となる。コース申請の資格条件を満たす者は、環境法関係の演習（「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」または「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」）の履修登録をしたうえで、演習担当教員を通して上記特修コース修了認定の申請をすることができる。詳細については、(p.294)を参照すること。

8. 海外短期研修科目の科目について

法学部では、下記の研修を設けている。法学を学ぶ本学の学生のために開発したオリジナル・プログラムであり、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することもできるので、積極的な参加を推奨する。

なお、研修参加の条件などの詳細については、履修要覧（共通編）(p.48～49)を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともに、グローバル教育センターのホームページを参照すること。また、学科により履修度が異なるため、各学科の「開講科目担当表」を確認すること。

法学部の海外短期研修以外にも、本学の海外協定校等（共通編）(p.146参照)で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができるので、あらかじめ法学部事務室を通じて学科長と相談されたい。

- ・海外短期研修（西オーストラリア大学）
- ・海外短期研修（ジョージ・ワシントン大学）

法律学科

〔教育研究上の目的〕

法的判断枠組みの基本構造，実社会と法制度の関わりを重点的に学び，法律学の基礎的素養である問題解決能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

法律学に特有の利益調整方法や問題の発見方法を習得し，これを活用しうるような法的思考能力を備えた人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は，法の支配と公正な社会の更なる実現に向けて，次のような能力を修得した人材の養成を目的に，学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 社会におけるさまざまな問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力
2. 社会におけるさまざまな問題の法的な解決に資する提言をする能力
3. 法的な思考枠組を現実のさまざまな問題に応用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は，ディプロマ・ポリシーに沿って，次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法的な思考枠組を体得し，社会の問題を当該枠組を用いて検討する力を養うために，法律学の基本をなす憲法・民法・刑法をはじめとする実定法（法律基本科目）の講義を必修科目として配置する。
2. 問題の法的解決に資する力を養い高めるために，法律基本科目のみならず広くその他の実定法科目・基礎法学科目・隣接科目の講義を，選択必修科目または選択科目として配置する。
3. 法的な思考枠組を社会に生起する様々な問題に応用する力を養うために，少人数の演習を4年次の必修科目として（意欲ある学生のためには3年次以上での選択科目としても）配置する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	26単位	
選択必修	28単位	(語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	42単位	
合計	126単位	

11～13年次生

全学共通科目

必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	

学科科目

必修	36単位	[学科科目としての外国語8単位を含む]
選択必修	20単位	
選択	42単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

15年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修[英語] (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	語学選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (26単位)	法学入門 導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則I 民法総則II	1 1 4 2 2	憲法(統治機構) 債権法各論I 債権法各論II 刑法総論	2 2 2 4		必修演習III 必修演習IV	3 3
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)(p.161~)を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26 単位)	必修 (2 単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4 単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20 単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目) は4単位まで卒業単位に充当できる * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目		2	

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4 単位)	必修「英語」 (4 単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96 単位)	選択必修 (8 単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)						8	
	必修 (26 単位)	法学入門 導入演習 憲法 (基本的人権) 民法総則 I 民法総則 II	1 1 4 2 2	憲法 (統治機構) 債権法各論 I 債権法各論 II 刑法総論	2 2 2 4			必修演習 (注2)	6
	選択必修 (20 単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
	選択 (42 単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧 (共通編) (p.161~) を参照。

(注2) 「必修演習 (6 単位)」は、2015 年度以降の「必修演習Ⅲ (3 単位)」「必修演習Ⅳ (3 単位)」で充当すること。

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語 よりいずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一 外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	法学入門 導入演習	1	憲法(統治機構)(注1)	4			必修演習(注2)	6
	憲法(基本的人権)	4	債権法各論Ⅰ	2				
	民法総則Ⅰ	2	債権法各論Ⅱ	2				
	民法総則Ⅱ	2	刑法総論	4				
	学科科目としての 外国語 (英・ドイツ・フラン ス・イスパニア・ロシ ア・ポルトガル・中国・ コリア・インドネシ ア・フィリピン・アラ ビア・イタリア・ラテ ン・日本語のうち全学 共通科目としての外国 語で履修するものを除 く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ同 一外国語)	4				
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 2014年度以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.254以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.261を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.257を参照すること。

4. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・14年次生以降

8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1～4		履修については共通編p.161～を参照

学科科目A群（必修科目）・・・14年次生以降
11～13年次生

26単位

36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	学科科目A群	330009	LAW111	法学入門	1	春・群	佐藤 岩 昭	1		春学期前半（注1）
		330010	LAW121	導入演習【法律1クラスA】	1	春	梅村 悠	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【法律1クラスB】	1	春	梅村 悠	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【法律2クラスA】	1	春	大塚 智見	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【法律2クラスB】	1	春	大塚 智見	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【法律3クラスA】	1	春	甘利 公人	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【法律3クラスB】	1	春	甘利 公人	1		(注1) (注2)
		330140	PBL211	憲法（基本的人権）	4	秋	矢島 基美	1		
		330161	PBL212	憲法（統治機構）	2	秋	巻 美矢紀	2		(注3)
		330007	CVL211	民法総則Ⅰ【法律】 （自然人，物，法律行為）	2	春	小山 泰史	1		国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可
		330008	CVL212	民法総則Ⅱ【法律】 （代理，法人，期間，時効）	2	秋	佐藤 岩 昭	1		国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可
		330313	CVL214	債権法各論Ⅰ（契約）	2	春	大塚 智見	2		1年次生履修不可 経済学部「民法C」と合併科目
		330314	CVL215	債権法各論Ⅱ （事務管理，不当利得，不法行為）	2	秋	奥 富 晃	2		1年次生履修不可 経済学部「民法D」と合併科目
		330501	CRL211	刑法総論	4	春	伊藤 涉	2		
		347003	LAW440	必修演習Ⅲ	3	春	各 教 員	4・(3)		(注1) (注4) 演習№.261および履修上の注意を参照
		347004	LAW440	必修演習Ⅳ	3	秋	各 教 員	4・(3)		(注1) (注4) 演習№.261および履修上の注意を参照
			学科科目としての外国語	8			1・2		13年次生以前対象	

学科科目B群（選択必修科目）・・・

20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	学科科目B群	330171	PBL312	憲法訴訟	2	秋	江藤 祥平	3・4		(注3)
		333000	JUR311	法哲学	4	春	奥田 純一郎	3・4		
		332010	PBL221	行政法総論	4	春	小幡 純子	2		
		335110	PBL222	行政救済法	4	秋	古城 誠	2		
		332133	CVL213	物権法	2	春	小山 泰史	2		1年次生履修不可
		332102	CVL217	担保物権法	2	秋	小山 泰史	2		1年次生履修不可
		330334	CVL216	債権法総論	4	秋	佐藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
		332203	CVL311	親族法	2	春	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
		332303	CVL312	相続法	2	秋	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
		332680	CRL212	刑法各論	4	秋	照 沼 亮介	2		
		332405	CML311	会社法Ⅰ	4	春	甘利 公人	3・4		
		332406	CML312	会社法Ⅱ	4	秋	伊藤 雄司	3・4		
		356104	CML313	手形・小切手法	2	春	松 井 智 予	3・4		経済学部「商法Ⅱ」と合併科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	332503	CPL311	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安西明子	3・4	
		335604	CPL312	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	田頭章一	3・4	
		332703	CRL321	刑事訴訟法	4	春	長沼範良	3・4	
		332800	SCL310	労働法	4	春	富永晃一	3・4	
		336020	SCL321	社会保障法	4	春	永野仁美	3・4	(注4)
		339102	SCL330	経済法	4	春	楠茂樹	3・4	
		337501	POL311	現代行政学	2	秋	三浦まり	3・4	(注4)
		337502	POL211	現代日本政治論	2	春	三浦まり	2	

学科科目C群（選択科目）・・・ 42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科科目C群	347001	LAW430	選択演習Ⅰ	3	春	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習Ⅰ,2および履修上の注意を参照	
		347002	LAW430	選択演習Ⅱ	3	秋	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習Ⅰ,2および履修上の注意を参照	
		330012	LAW141	現代社会と法律実務	1	春・秋	コーディネータ 森下哲朗 岩崎政孝 対三好和夫 西好仁亮 西尾健太郎	1		春学期後半 輪講 (注1)
		339402	PBL311	比較憲法	2	秋	江藤祥平	3・4		
		336602	JUR201	比較法Ⅰ	2	春	*小林真紀	2		隔年開講 (注4)
		336603	JUR202	比較法Ⅱ	2	秋	*小林真紀	2		隔年開講 (注4)
		333410	JUR321	英米法	4	秋	岩田太	3・4		
		333511	JUR331	ドイツ法Ⅰ	2	秋	松本尚子	3・4		(注4)
		333512	JUR332	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松本尚子	3・4		(注4)
		333610	JUR341	フランス法	4	休講		3・4		隔年開講
		336505	INL322	E U法	2	休講		3・4		隔年開講 (注4)
		337011	JUR351	西洋法制史	2	春	松本尚子	3・4		
		337101	CRL331	法医学	2	春	*黒崎久仁彦	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先
		337102	LAW361	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐藤結美 矢島基美 奥田純一郎 奥富晃	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
		335202	PBL321	租税法	2	秋	小幡純子	3・4		隔年開講
		335250	PBL322	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講
		311200	CVL321	消費者法	2	休講		3・4		隔年開講 1・2年次生履修不可
		335305	CML314	商取引法	2	秋	松井智予	3・4		
		335401	CML315	保険法	2	秋	甘利公人	3・4		
		335503	CML316	海商法	2	休講		3・4		(注1)
		335627	CPL321	民事執行・保全法	2	秋	安西明子	3・4		
		336910	CPL331	倒産処理法	2	春	田頭章一	3・4		
		335703	CRL245	刑事学・刑事政策	2	秋	*金光旭	2・3		
		335811	SCL340	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4		隔年開講 (注4)
		335813	SCL341	知的財産権法Ⅱ	2	秋	駒田泰士	3・4		隔年開講 (注4)
		333304	SCL342	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒田泰士	3・4	○	隔年開講 (注1)

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選択科目 学 科 目 C 群	332910	INL211	国際法総論	4	春	兼原 敦子	2		
	336311	INL212	国際法各論	2	春	江藤 淳一	2		
	336405	INL311	国際紛争処理法	2	秋	江藤 淳一	3・4		
	345015	INL321	国際組織法	2	秋	*立松 美也子	3・4		隔年開講 (注4)
	366405	LAW342	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日)
	336203	PIL311	国際私法	2	秋	出口 耕自	3・4		(注4)
	333305	PIL338	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES	2	春	出口 耕自	3・4	○	(注1)
	361600	PIL321	国際取引法	4	春	森下 哲朗	3・4		
	340100	INL331	国際経済法	4	春	川瀬 剛志	3・4		1・2年次生履修不可
	340601	PBL323	国際租税法	2	休講		3・4		隔年開講
	333181	POL201	政治学	4	春	加藤 浩三	2		
	333303	POL223	比較政治論	2	春	*網谷 龍介	3・4		
	333306	POL327	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*MASLOW Sebastian	3・4	○	
	310402	POL312	規制と政治	2	春	*青木 一益	3・4		
	338001	POL221	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2		
	390400	POL324	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	
	390305	LAW221	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森下 哲朗 *HOWITT Peter	1～4	○	輪講
	390304	LAW222	LAW AND SOCIETY	2	春	コーディネータ GIVENS Stephen *MEHTA Nirav	2～4	○	輪講 (注4)
	390303	LAW231	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	秋前	コーディネータ 森下 哲朗 長沼 範良 羽生 香織 江藤 祥平	2～4	○	秋学期前半 輪講 隔年開講 (注4)
	390383	LAW232	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2～4	○	隔年開講 (注1) (注4)
	390310	INL351	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日)
	390311	INL352	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤 淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日)
	333307	POL326	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡部 みどり	3・4	○	
	337503	POL325	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦 まり	3・4	○	(注5)
	338010	POL323	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	○	
	361110	PIL337	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	春	GIVENS Stephen	3・4	○	
390323	PIL242	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	秋前	GIVENS Stephen	2～4	○	秋学期前半	
390331	PIL231	INTRODUCTION TO US LAW I (CONSTITUTION)	2	休講		2～4	○	隔年開講 (注4)	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選択科目	学 科 目 C 群	390332	PIL232	INTRODUCTION TO US LAW II (CONSTITUTION)	2	春	GIVENS Stephen	2~4	○	隔年開講 (注4)
		390340	PIL331	CONTRACTS	2	春	GIVENS Stephen	2~4	○	隔年開講
		390350	PIL332	CORPORATIONS	2	休講		2~4	○	隔年開講
		390360	PIL333	TORTS	2	秋	GIVENS Stephen	2~4	○	隔年開講
		390370	PIL334	PROPERTY	2	休講		2~4	○	隔年開講
		390390	PIL241	NEGOTIATION WORKSHOP	2	秋	GIVENS Stephen 森 下 哲 朗	2~4	○	同時担当
		366406	LAW341	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和 仁 亮 裕	3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日)
		333800	PIL341	アジア法	2	秋	*森 口 聡	3・4		
		310201	ENL211	環境法入門	2	春	コーディネータ 越 智 敏 裕 北 村 喜 宣 桑 原 勇 進 堀 口 健 夫 梅 村 悠	1		輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注4)
		341301	ENL212	環境法総論	2	春	古 城 誠	1		(注4)
		310701	ENL213	環境法各論	2	春	北 村 喜 宣	2		(注4)
		341103	ENL214	環境訴訟法 I	2	春	越 智 敏 裕	2		隔年開講 (注4)
		341104	ENL215	環境訴訟法 II	2	休講		2		隔年開講 (注4)
		311102	ENL216	エネルギーと法	2	秋	*佐 藤 佳 邦	2		(注4)
		311001	ENL311	自治体環境法	2	秋	北 村 喜 宣	3・4		
		341501	ENL312	廃棄物・リサイクル法	2	秋	筑 紫 圭 一	3・4		(注4)
		341400	ENL313	企業環境法	2	休講		3・4		
		311800	ENL314	企業環境マネジメント論	2	春	コーディネータ 桑 原 勇 進 *稲見 浩之・他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
		310800	ENL315	自然保護法	2	春	桑 原 勇 進	3・4		
		341722	ENL316	まちづくりと法	2	休講		3・4		
		341600	ENL221	比較環境法	2	秋	桑 原 勇 進	2		
		341720	ENL231	環境社会学	2	春	*西城戸 誠	2		
		341001	ENL321	国際環境法	2	春	堀 口 健 夫			
		310900	ENL322	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真 美	3・4		隔年開講
		311901	ENL323	アメリカ環境法	2	休講		3・4		
		312200	ENL324	アジア環境法	2	休講		3・4		隔年開講
		312100	ENL325	地球温暖化と法	2	秋	堀 口 健 夫	3・4		隔年開講
		311700	CRL351	環境刑法	2	秋	*今 井 康 介	3・4		
		342904	PBL312	法学特殊講義 I (立法過程の実務と理論)	2	秋	*茅 野 千 江 子	3・4		
		342914	CML317	法学特殊講義 II (信託法)	2	春	*杉 浦 宣 彦	3・4		
		342924	JUR312	法学特殊講義 III (法思想史)	2	秋	奥 田 純 一 郎	3・4		
		342941	CML318	法学特殊講義 IV (金融商品取引法)	2	春	梅 村 悠	3・4		
		345027	INL353	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱 本 幸 也	3・4		(注4)

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	344808	POL322	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊 志 輝	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311300	ENL317	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	秋	コーディネータ 越 智 敏 裕 *竹澤 克己・他	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311427	ENL331	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	休講		3・4		隔年開講

(E/日) …教材＝英語／使用言語＝日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、前年度と同じクラスのAを履修すること。

(注3) 2014年度以前の「憲法（統治機構）（4単位）」未履修者は、「憲法（統治機構）（2単位）」および「憲法訴訟（2単位）」の2科目で充当すること。

(注4) 科目名の変更ともなう重複不可の科目があるため、p.256～参照のこと。

(注5) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	N99219	LSA201	海外短期研修 (西オーストラリア大学)	4	秋	国際関係法学科教員	1～3		(注1) (注2) (注3)
	N99220	LSA301	海外短期研修 (ジョージ・ワシントン大学)	2	休講		2～4		(注1) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2019年3月卒業予定者はプログラムには参加することができないが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧（共通編）(p.48～49, p.146)を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

国際関係法学科

〔教育研究上の目的〕

法学・政治学を基礎とした国際関係の分析力とともに、国際舞台で不可欠な語学力や幅広い教養を身につけさせること

〔人材養成の目的〕

国連職員や外交官、その他一般企業において国際性ある職域をめざす者、国際的、渉外的な法律実務を考える者、さらに活発化する国際学術交流に貢献する研究者を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、人権の普遍性及び各国主権の平等並びに地域多様性を尊重する国際社会の構築に向けて、次のような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 国際社会の諸問題に対して幅広い関心をもち、それらを考察するうえで必要な知識を自力で探査・獲得する能力
2. 国際社会の諸問題について法的及び政治学的思考力を基礎とした分析する能力
3. 世界における各地域の特殊性を理解し、異なる法文化及び政治文化を背景とした諸々の規範に適応する能力
4. 国際的な舞台で、最先端の法的及び政治学的知識を活用しながらみずからの考えを的確に伝達する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法学及び政治学のリテラシーを身につけ、与えられた問題を法的及び政治学的に設定し考察するための基礎的な方法論を修得させる。
2. 国際社会の諸問題を考察するうえで足がかりとなる国内法及び国内政治の理論並びに国際関係法及び国際政治学の理論を体系的に学習させ、理解を深める。
3. 少人数の演習形式の授業の中で、身につけた理論と方法を国際社会の具体的な問題に応用し、その解決に向けた提言を模索する。
4. 各自の問題意識に基づいて設定した課題に係る研究の成果を、国際的な舞台で発信できる力を養成する。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	27単位	
選択必修	28単位	(語学科目(選択必修)8単位を含む)
選択	42単位	
合計	127単位	

11~13年次生

全学共通科目

必修	10単位	[体育2単位, 外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	

学科科目

必修	36単位	[学科科目としての外国語8単位を含む]
選択必修	20単位	
選択	42単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

15年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (27単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習Ⅲ	3
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			必修演習Ⅳ	3
		英語導入演習	1	債権法各論Ⅱ	2				
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4					
民法総則Ⅰ		2							
民法総則Ⅱ	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、履修要覧(共通編)(p.161~)を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
	必修 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (27単位)	法学入門 導入演習 英語導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則Ⅰ 民法総則Ⅱ	1 1 1 4 2 2	憲法(統治機構) 債権法各論Ⅰ 債権法各論Ⅱ 国際法総論	2 2 2 4			必修演習(注2)	6
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、履修要覧(共通編)(p.161~)を参照。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語 よりいずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一 外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門	1	憲法（統治機構）(注1)	4		必修演習(注2)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			
		憲法（基本的人権）	4	債権法各論Ⅱ	2			
		民法総則Ⅰ	2	国際法総論	4			
		民法総則Ⅱ	2					
	学科科目としての 外国語 (英・ドイツ・フラン ス・イスパニア・ロシ ア・ポルトガル・中国・ コリア・インドネシ ア・フィリピン・アラ ビア・イタリア・ラテ ン・日本語のうち全学 共通科目としての外国 語で履修するものを除 く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ同 一外国語)	4				
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 2014年度以前の「憲法（統治機構）(4単位)」未履修者は、2015年度以降の「憲法（統治機構）(2単位)」および「憲法訴訟 (2単位)」の2科目で充当すること。

(注2) 「必修演習 (6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ (3単位)」 「必修演習Ⅳ (3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.254以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.261を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.257を参照すること。

4. コースAQUILAについて（14年次生以降対象）

- ①2014年次生以降の国際関係法学科生は、コースAQUILAに登録することができる。コースAQUILAの登録をおこなった場合は、下記の科目群（以下では、「コースAQUILA科目」という）から10単位以上履修する必要があり、そのうち10単位分の平均GPAが3.0以上であればコースAQUILAの修了認定証が授与される。なお、コースAQUILA科目から12単位以上取得した場合の平均GPAは、成績の良い10単位分から算出する。**ただし、コース登録時より前に履修した単位は、コース認定対象科目としては認められない**（卒業単位としては認められる）。また、**下記の科目は、コースAQUILA科目としては1年次秋学期以降に履修すること**（1年次春学期に履修してもコース修了認定の対象とはならない）。

コース認定対象科目群	※隔年開講科目
LEGAL WRITING	
LAW AND SOCIETY	
INTRODUCTION TO US LAW (CONSTITUTION) I・II※	
JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I・II※	
NEGOTIATION WORKSHOP	
CONTRACTS※	
CORPORATIONS※	
TORTS※	
PROPERTY※	
INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	
RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES※	
HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	
INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	
JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	
INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	
BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	
INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS) (E/日)※	
INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW) (E/日)※	
GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR (E/日)※	
COMPARATIVE LAW SEMINAR (E/日)	
PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES	
COMPARATIVE POLITICS	
<ul style="list-style-type: none"> ・(E/日)とは、(English/日本語)つまり教材はすべて英語、授業中の使用言語は日本語の授業を意味する。それ以外の科目は、教材も授業中の使用言語も英語。 ・コース AQUILA 科目の受講にあたっては、TOEFL (PBT) :530, TOEFL (iBT) :71 相当の英語力があることが望ましい。 ・SEMINAR は原則として定員 30 名とする。定員超過の場合は、コース AQUILA 登録者を優先する。 	

- ②コース登録に関しては、1年次には、秋学期に登録用紙をロヨラに掲載するので、各自プリントアウトして提出すること。今年度のコース登録期間は10月を予定している。2年次生以上は、4月に登録期間を設ける。
- ③コースAQUILA登録生は修了認定時まで指定された「演習（6単位）」を履修しなければならない（必修、選択は問わない）。当該「演習」の詳細については秋学期に開催の演習説明会で説明するが、原則として「国際法」「国際私法」「国際取引法」「国際経済法」「外国法」「西洋法制史」「国際政治学」のそれはすべて対象となる。なお、p.261も参照のこと。
- ④コースAQUILAの修了認定証は、2016年度末以降、各学期末に授与する。修了見込者が所定用紙を法学部事務室に提出すると、成績が確定した段階で修了要件を満たしているか確認される。コース修了認定は、もっとも早いケースで3年次終了時となる。

5. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・14年次生以降

8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1~4		履修については共通編 p.161~を参照

学科科目A群（必修科目）・・・14年次生以降
11~13年次生

27単位
36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	学科科目A群	330009	LAW111	法学入門	1	春・群	佐藤 岩 昭	1		春学期前半（注1）
		330010	LAW121	導入演習【国関1クラスA】	1	春	岩 田 太	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【国関1クラスB】	1	春	岩 田 太	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【国関2クラスA】	1	春	松 本 尚 子	1		(注1) (注2)
		330010	LAW121	導入演習【国関2クラスB】	1	春	松 本 尚 子	1		(注1) (注2)
		330011	LAW131	英語導入演習【国関Aクラス(E/E)】	1	秋	GIVENS Stephen	1	○	(注1) (注2)
		330011	LAW131	英語導入演習【国関Bクラス(E/日)】	1	秋	GIVENS Stephen	1		(注1) (注2) (E/日)
		330011	LAW131	英語導入演習【国関Cクラス(E/日)】	1	秋	兼 原 敦 子	1		(注1) (注2) (E/日)
		330011	LAW131	英語導入演習【国関Dクラス(E/日)】	1	秋	兼 原 敦 子	1		(注1) (注2) (E/日)
		330140	PBL211	憲法（基本的人権）	4	秋	矢 島 基 美	1		
		330161	PBL212	憲法（統治機構）	2	秋	卷 美 矢 紀	2		(注3)
		330007	CVL211	民法総則Ⅰ【国関・環境】 （自然人，物，法律行為）	2	春	小 山 泰 史	1		法律学科生履修不可
		330008	CVL212	民法総則Ⅱ【国関・環境】 （代理，法人，期間，時効）	2	秋	大 塚 智 見	1		法律学科生履修不可
		330313	CVL214	債権法各論Ⅰ（契約）	2	春	大 塚 智 見	2		1年次生履修不可 経済学部「民法C」と合併科目
		330314	CVL215	債権法各論Ⅱ （事務管理，不当利得，不法行為）	2	秋	奥 富 晃	2		1年次生履修不可 経済学部「民法D」と合併科目
		332910	INL211	国際法総論	4	春	兼 原 敦 子	2		
		347003	LAW440	必修演習Ⅲ	3	春	各 教 員	4・(3)		(注1) (注4) 演習編261および履修上の注意を参照
		347004	LAW440	必修演習Ⅳ	3	秋	各 教 員	4・(3)		(注1) (注4) 演習編261および履修上の注意を参照
					学科科目としての外国語	8			1・2	

学科科目B群（選択必修科目）・・・

20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	学科科目B群	333000	JUR311	法哲学	4	春	奥 田 純 一 郎	3・4		
		336311	INL212	国際法各論	2	春	江 藤 淳 一	2		
		336405	INL311	国際紛争処理法	2	秋	江 藤 淳 一	3・4		
		336203	PIL311	国際私法	2	秋	出 口 耕 自	3・4		(注4)
		333305	PIL338	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES	2	春	出 口 耕 自	3・4	○	(注1) A
		361600	PIL321	国際取引法	4	春	森 下 哲 朗	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備 考
選択必修科目	学 科 目 B 群	333410	JUR321	英米法	4	秋	岩 田 太	3・4	
		333511	JUR331	ドイツ法Ⅰ	2	秋	松 本 尚 子	3・4	(注4)
		333512	JUR332	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松 本 尚 子	3・4	(注4)
		333610	JUR341	フランス法	4	休講		3・4	隔年開講
		336602	JUR201	比較法Ⅰ	2	春	*小 林 真 紀	2	隔年開講 (注4)
		336603	JUR202	比較法Ⅱ	2	秋	*小 林 真 紀	2	隔年開講 (注4)
		339402	PBL311	比較憲法	2	秋	江 藤 祥 平	3・4	
		366406	LAW341	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和 仁 亮 裕	3・4	隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
		336505	INL322	E U 法	2	休講		3・4	隔年開講 (注4)
		341001	ENL321	国際環境法	2	春	堀 口 健 夫	3・4	
		340100	INL331	国際経済法	4	春	川 瀬 剛 志	3・4	1・2年次生履修不可
		335811	SCL340	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4	隔年開講 (注4)
		335813	SCL341	知的財産権法Ⅱ	2	秋	駒 田 泰 士	3・4	隔年開講 (注4)
		333304	SCL342	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒 田 泰 士	3・4	○ 隔年開講 (注1) A
		390305	LAW221	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森 下 哲 朗 *HOWITT Peter	1～4	○ 輪講 A
		390304	LAW222	LAW AND SOCIETY	2	春	コーディネータ GIVENS Stephen *MEHTA Nirav	2～4	○ 輪講 A (注4)
		390310	INL351	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4	隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
		390311	INL352	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江 藤 淳 一	3・4	隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
		333307	POL326	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡 部 みどり	3・4	○ A
		338001	POL221	国際政治学	4	春	岡 部 みどり	2	
		333181	POL201	政治学	4	春	加 藤 浩 三	2	
		337502	POL211	現代日本政治論	2	春	三 浦 まり	2	
		337503	POL325	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三 浦 まり	3・4	○ (注5) A
		390331	PIL231	INTRODUCTION TO US LAW I (CONSTITUTION)	2	休講		2～4	○ 隔年開講 (注4) A
		390332	PIL232	INTRODUCTION TO US LAW II (CONSTITUTION)	2	春	GIVENS Stephen	2～4	○ 隔年開講 (注4) A
		390340	PIL331	CONTRACTS	2	春	GIVENS Stephen	2～4	○ 隔年開講 A
		390350	PIL332	CORPORATIONS	2	休講		2～4	○ 隔年開講 A
		390360	PIL333	TORTS	2	秋	GIVENS Stephen	2～4	○ 隔年開講 A
		390370	PIL334	PROPERTY	2	休講		2～4	○ 隔年開講 A
		366405	LAW342	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4	隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A

学科科目C群（選択科目）・・・

42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	347001	LAW430	選択演習Ⅰ	3	春	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習編,261および履修上の注意を参照
		347002	LAW430	選択演習Ⅱ	3	秋	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習編,261および履修上の注意を参照
		330012	LAW141	現代社会と法律実務	1	春・後半	コーディネータ 森下哲朗 岩崎政孝 対木和夫 三好幹夫 和西仁亮 西尾健太郎	1	春学期後半 輪講 (注1)
		337011	JUR351	西洋法制史	2	春	松本尚子	3・4	
		337101	CRL331	法医学	2	春	*黒崎久仁彦	3・4	[200名] 法学部3・4年次生優先
		337102	LAW361	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐藤結美 矢島基美 奥田純一郎 奥富晃	3・4	輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
		330171	PBL312	憲法訴訟	2	秋	江藤祥平	3・4	(注3)
		332010	PBL221	行政法総論	4	春	小幡純子	2	
		335202	PBL321	租税法	2	秋	小幡純子	3・4	隔年開講
		335250	PBL322	地方自治法	2	休講		3・4	隔年開講
		332800	SCL310	労働法	4	春	富永晃一	3・4	
		336020	SCL321	社会保障法	4	春	永野仁美	3・4	(注4)
		335110	PBL222	行政救済法	4	秋	古城誠	2	
		311200	CVL321	消費者法	2	休講		3・4	隔年開講 1・2年次生履修不可
		332405	CML311	会社法Ⅰ	4	春	甘利公人	3・4	
		332406	CML312	会社法Ⅱ	4	秋	伊藤雄司	3・4	
		356104	CML313	手形・小切手法	2	春	松井智予	3・4	経済学部「商法Ⅱ」と合併科目
		335305	CML314	商取引法	2	秋	松井智予	3・4	
		335401	CML315	保険法	2	秋	甘利公人	3・4	
		335503	CML316	海商法	2	休講		3・4	(注1)
		332133	CVL213	物権法	2	春	小山泰史	2	1年次生履修不可
		332102	CVL217	担保物権法	2	秋	小山泰史	2	1年次生履修不可
		330334	CVL216	債権法総論	4	秋	佐藤岩昭	2	1年次生履修不可
		332503	CPL311	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安西明子	3・4	
		335604	CPL312	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	田頭章一	3・4	
		332203	CVL311	親族法	2	春	羽生香織	3・4	1・2年次生履修不可
		332303	CVL312	相続法	2	秋	羽生香織	3・4	1・2年次生履修不可
		335627	CPL321	民事執行・保全法	2	秋	安西明子	3・4	
		336910	CPL331	倒産処理法	2	春	田頭章一	3・4	
		330501	CRL211	刑法総論	4	春	伊藤涉	2	
		332680	CRL212	刑法各論	4	秋	照沼亮介	2	
		332703	CRL321	刑事訴訟法	4	春	長沼範良	3・4	
		335703	CRL245	刑事学・刑事政策	2	秋	*金光旭	2・3	
		339102	SCL330	経済法	4	春	楠茂樹	3・4	
340601	PBL323	国際租税法	2	休講		3・4	隔年開講		
333800	PIL341	アジア法	2	秋	*森口聡	3・4			

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備 考
選択科目 学 科 目 C 群	345015	INL321	国際組織法	2	秋	*立 松 美也子	3・4		隔年開講 (注4)
	390303	LAW231	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	秋	コーディネータ 森 下 哲 朗 長 沼 範 良 羽 生 香 織 江 藤 祥 平	2～4	○	秋学期前半 輪講 隔年開講 (注4) A
	390383	LAW232	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2～4	○	隔年開講 (注1) (注4) A
	361110	PIL337	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	春	GIVENS Stephen	3・4	○	A
	390390	PIL241	NEGOTIATION WORKSHOP	2	秋	GIVENS Stephen 森 下 哲 朗	2～4	○	同時担当 A
	333303	POL223	比較政治論	2	春	*網 谷 龍 介	3・4		
	333306	POL327	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*MASLOW Sebastian	3・4	○	A
	337501	POL311	現代行政学	2	秋	三 浦 ま り	3・4		(注4)
	310402	POL312	規制と政治	2	春	*青 木 一 益	3・4		
	310201	ENL211	環境法入門	2	春	コーディネータ 越 智 敏 裕 北 村 喜 宣 桑 原 勇 進 堀 口 健 夫 梅 村 悠	1		輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注4)
	341301	ENL212	環境法総論	2	春	古 城 誠	1		13年次生以前は選択必修科目 (注4)
	310701	ENL213	環境法各論	2	春	北 村 喜 宣	2		(注4)
	341103	ENL214	環境訴訟法 I	2	春	越 智 敏 裕	2		隔年開講 (注4)
	341104	ENL215	環境訴訟法 II	2	休講		2		隔年開講 (注4)
	311102	ENL216	エネルギーと法	2	秋	*佐 藤 佳 邦	2		(注4)
	311001	ENL311	自治体環境法	2	秋	北 村 喜 宣	3・4		
	341501	ENL312	廃棄物・リサイクル法	2	秋	筑 紫 圭 一	3・4		(注4)
	341400	ENL313	企業環境法	2	休講		3・4		
	311800	ENL314	企業環境マネジメント論	2	春	コーディネータ 桑 原 勇 進 *稲見 浩之・他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
	310800	ENL315	自然保護法	2	春	桑 原 勇 進	3・4		
	341722	ENL316	まちづくりと法	2	休講		3・4		
	341600	ENL221	比較環境法	2	秋	桑 原 勇 進	2		
	341720	ENL231	環境社会学	2	春	*西城戸 誠	2		
	310900	ENL322	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真 美	3・4		隔年開講
	311901	ENL323	アメリカ環境法	2	休講		3・4		
	312200	ENL324	アジア環境法	2	休講		3・4		隔年開講
	312100	ENL325	地球温暖化と法	2	秋	堀 口 健 夫	3・4		隔年開講
	311700	CRL351	環境刑法	2	秋	*今 井 康 介	3・4		
	342904	PBL312	法学特殊講義 I (立法過程の実務と理論)	2	秋	*茅 野 千 江 子	3・4		
	342914	CML317	法学特殊講義 II (信託法)	2	春	*杉 浦 宣 彦	3・4		
	342924	JUR312	法学特殊講義 III (法思想史)	2	秋	奥 田 純 一 郎	3・4		
	342941	CML318	法学特殊講義 IV (金融商品取引法)	2	春	梅 村 悠	3・4		
	345027	INL353	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱 本 幸 也	3・4		(注4)

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	338010	POL323	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	○	A
	390400	POL324	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	
	344808	POL322	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊 志輝	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311300	ENL317	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	秋	コーディネータ 越智敏裕 *竹澤 克己・他	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311427	ENL331	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	休講		3・4		隔年開講
	390323	PIL242	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	秋・前	GIVENS Stephen	2~4	○	秋学期前半 A

A … コース AQUILA 認定対象科目

(E/日) … 教材=英語/使用言語=日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、前年度と同じクラスの A を履修すること。

(注3) 14年度以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注4) 科目名の変更にともなう重複不可の科目があるため、p.256~参照のこと。

(注5) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 学科科目B群	N99219	LSA201	海外短期研修 (西オーストラリア大学)	4	秋	国際関係法学科教員	1~3		(注1)(注2)(注3)
	N99220	LSA301	海外短期研修 (ジョージ・ワシントン大学)	2	休講		2~4		(注1)(注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2019年3月卒業予定者はプログラムには参加することができないが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧(共通編)(p.48~49, p.146)を参照したうえでグローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

地球環境法学科

〔教育研究上の目的〕

環境問題にかかわる世界と日本の法システムに関する素養を身につけ、環境問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

環境法研究者、企業活動に係る環境法のエキスパート、環境法の知見を有する実務家や環境NGOで活躍しうる人材、環境法の専門家として母国で活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けて、次のような資質・能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 法的な観点から環境問題を検討するため、日本の法制度に関する基本的な素養と問題解決のための思考枠組を修得し、現実の環境問題にそれを応用する能力
2. 個別の環境問題について発展しつつある日本の法制度の特徴を理解し、それぞれの問題領域の特殊性もふまえながら、適切な問題解決のあり方について考える能力
3. 環境問題に関する外国や国際社会の法制度を学び、よりグローバルな視野から問題を考える能力
4. 法学に限定されない学際的な視野から、環境問題の解決に資する今後の政策のあり方を考える能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 日本法に対する素養や思考枠組を養うため、憲法、民法といった法律基本科目について、特に基本的な講義を必修科目として提供するとともに、学生のニーズに応じて選択可能な講義を幅広く配置する。
2. 法学の知見や思考枠組を様々な環境問題に応用して考える力を養うため、日本の環境法に関わる基本的な講義を必修科目として提供するとともに、個別の環境法制度に関わる講義等を選択必修科目・選択科目として配置する。
3. 国際的な視野から発展的に問題を考える力を養うため、外国や国際社会における環境法等に関わる講義を選択必修科目・選択科目として配置する。
4. 適切な環境法政策のあり方をさらに学際的に考えるための視点を養うため、政治学、社会学等の隣接科目に関わる講義を、選択必修科目・選択科目として配置する。
5. 関連科目の理解を深めると同時に、討論・論述等の能力の向上を図り、現実の問題解決に資する思考力と発信力を養うため、1年次の導入的な科目として、また4年次の必修科目（3年次も履修可）として、少人数の演習を配置する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	28単位	
選択必修	28単位	(語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	40単位	
合計	126単位	

11～13年次生

全学共通科目

必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	

学科科目

必修	36単位	[学科科目としての外国語8単位を含む]
選択必修	20単位	
選択	42単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

15年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）は4単位まで卒業単位に充当できる（注2） * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる（注1）						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語（注1）						8
	必修 (28単位)	法学入門	1	憲法（統治機構）	2		必修演習Ⅲ 必修演習Ⅳ	3
		導入演習	1	行政法総論	4			3
		憲法（基本的人権）	4	環境法各論	2			
民法総則Ⅰ		2						
民法総則Ⅱ		2						
環境法入門		2						
環境法総論	2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (40単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

（注1）学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧（共通編）（p.161～）を参照。

（注2）18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						2
					高学年向け教養科目			

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
	必修 (英語) (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (28単位)	法学入門 導入演習	1	憲法(統治機構)	2			必修演習(注2)	6
		憲法(基本的人権)	4	行政法総論	4				
		民法総則Ⅰ	2	環境法各論	2				
	民法総則Ⅱ	2							
	環境法入門 環境法総論	2 2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (40単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)(p.161~)を参照。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語 よりいずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一 外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門	1	憲法（統治機構）(注3)	4		必修演習(注4)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			
		憲法（基本的人権）	4	債権法各論Ⅱ	2			
民法総則Ⅰ		2						
民法総則Ⅱ		2						
環境と法（注1）		2						
環境公法（注2）		2						
学科科目としての 外国語	4	学科科目としての外国語 （左記のものから選んだ同 一外国語）	4					
		（英・ドイツ・フラン ス・イスパニア・ロシ ア・ポルトガル・中国・ コリア・インドネシ ア・フィリピン・アラ ビア・イタリア・ラテ ン・日本語のうち全学 共通科目としての外国 語で履修するものを除 く同一外国語）						
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 （選択演習など）		学科科目C群	

(注1) 2014年度より「環境と法」は「環境法入門」に科目名変更。

(注2) 2014年度より「環境公法」は「環境法総論」に科目名変更。

(注3) 2014年度以前の「憲法（統治機構）（4単位）」未履修者は、2015年度以降の「憲法（統治機構）（2単位）」および「憲法訴訟（2単位）」の2科目で充当すること。

(注4) 「必修演習（6単位）」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ（3単位）」「必修演習Ⅳ（3単位）」で充当すること。

11・12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語 よりいずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一 外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)(注1)	4		必修演習(注4)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			
		憲法(基本的人権)	4	債権法各論Ⅱ	2			
		民法総則Ⅰ	2	環境と法(注2)	2			
		民法総則Ⅱ	2	環境公法(注3)	2			
	学科科目としての 外国語 (英・ドイツ・フラン ス・イスパニア・ロシ ア・ポルトガル・中国・ コリア・インドネシ ア・フィリピン・アラ ビア・イタリア・ラテ ン・日本語のうち全学 共通科目としての外国 語で履修するものを除 く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ同 一外国語)	4				
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 2014年度以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注2) 2014年度より「環境と法」は「環境法入門」に科目名変更。

(注3) 2014年度より「環境公法」は「環境法総論」に科目名変更。

(注4) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.254以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.261を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.257を参照すること。

4. 地球環境法特修コース認定について

- ①次のイ)およびロ)の条件を満たす者は、環境法関係の演習(「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」または「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」)の履修登録をしたうえで、特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる。また、すでに上記の「演習」を修得している者も認定を受けることができる。
 - イ) 2年次までの必修科目をすべて単位取得し、かつ、「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」の取得単位の平均GPAが3.0以上であること
 - ロ) 下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、その取得単位の平均GPAが3.0以上であること
- ②法学部他学科生であっても、次のイ)およびロ)の条件を満たす者は、環境法関係の演習(「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」)のいずれかの履修登録をしたうえで特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる。
 - イ) 当該学科の「必修演習」を除く必修科目をすべて単位取得していること
 - ロ) 「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」および下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、その取得単位の平均GPAが3.0以上であること

◀環境法関係科目>(すべて2単位)

環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ	国際環境法	自治体環境法	自然保護法
比較環境法	ヨーロッパ環境法	環境刑法	企業環境法
廃棄物・リサイクル法	環境社会学	まちづくりと法	地球温暖化と法
環境法特殊講義	環境問題特殊講義	アジア環境法	
アメリカ環境法	エネルギーと法	企業環境マネジメント論	

- ③上記①・②の手続については、所定の申請書(法学部事務室で配布)に記入のうえ、「演習」担当教員を通じて地球環境法学科長に申請する。

5. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・14年次生以降

8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1～4		履修については共通編p.161～を参照

学科科目A群（必修科目）・・・14年次生以降
11～13年次生

28単位
36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科科目A群	330009	LAW111	法学入門	1	春・群 佐藤 岩 昭	1		春学期前半(注1)
		330010	LAW121	導入演習【環境A】	1	春 北村 喜 宣	1		(注1)(注2)
		330010	LAW121	導入演習【環境B】	1	春 北村 喜 宣	1		(注1)(注2)
		330140	PBL211	憲法(基本的人権)	4	秋 矢島 基 美	1		
		330161	PBL212	憲法(統治機構)	2	秋 卷 美 矢 紀	2		(注3)
		332010	PBL221	行政法総論	4	春 小幡 純 子	2		13年次生以前は選択必修科目
		330007	CVL211	民法総則Ⅰ [国関・環境] (自然人, 物, 法律行為)	2	春 小山 泰 史	1		法律学科生履修不可
		330008	CVL212	民法総則Ⅱ [国関・環境] (代理, 法人, 期間, 時効)	2	秋 大塚 智 見	1		法律学科生履修不可
		310201	ENL211	環境法入門	2	春 コーディネータ 越智 敏 裕 北村 喜 宣 桑原 勇 進 堀口 夫 悠 梅 村	1		輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注4)
		341301	ENL212	環境法総論	2	春 古城 誠	1		(注4)
		310701	ENL213	環境法各論	2	春 北村 喜 宣	2		13年次生以前は選択必修科目 (注4)
		347003	LAW440	必修演習Ⅲ	3	春 各 教 員	4・(3)		(注1)(注4) 演習編261および履修上の注意を参照
		347004	LAW440	必修演習Ⅳ	3	秋 各 教 員	4・(3)		(注1)(注4) 演習編261および履修上の注意を参照
					学科科目としての外国語	8			1・2

学科科目B群（選択必修科目）・・・

20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	333000	JUR311	法哲学	4	春 奥田 純一郎	3・4		
		335110	PBL222	行政救済法	4	秋 古城 誠	2		
		330313	CVL214	債権法各論Ⅰ(契約)	2	春 大塚 智 見	2		1年次生は履修不可 経済学部「民法C」と合併科目 13年次生以前は必修科目
		330314	CVL215	債権法各論Ⅱ (事務管理, 不当利得, 不法行為)	2	秋 奥 富 晃	2		13年次生以前は必修科目 1年次生は履修不可 経済学部「民法D」と合併科目
		341103	ENL214	環境訴訟法Ⅰ	2	春 越智 敏 裕	2		隔年開講 (注4)
		341104	ENL215	環境訴訟法Ⅱ	2	休講	2		隔年開講 (注4)
		311102	ENL216	エネルギーと法	2	秋 *佐藤 佳 邦	2		(注4)
		311001	ENL311	自治体環境法	2	秋 北村 喜 宣	3・4		
		341501	ENL312	廃棄物・リサイクル法	2	秋 筑紫 圭 一	3・4		(注4)

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	341400	ENL313	企業環境法	2	休講		3・4	
		310800	ENL315	自然保護法	2	春	桑原勇進	3・4	
		341722	ENL316	まちづくりと法	2	休講		3・4	
		341600	ENL221	比較環境法	2	秋	桑原勇進		
		341720	ENL231	環境社会学	2	春	*西城戸誠	2	
		341001	ENL321	国際環境法	2	春	堀口健夫	3・4	
		310900	ENL322	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥真美	3・4	隔年開講
		311901	ENL323	アメリカ環境法	2	休講		3・4	
		312200	ENL324	アジア環境法	2	休講		3・4	隔年開講
		312100	ENL325	地球温暖化と法	2	秋	堀口健夫	3・4	隔年開講
		311700	CRL351	環境刑法	2	秋	*今井康介	3・4	
		337501	POL311	現代行政学	2	秋	三浦まり	3・4	(注4)
		337502	POL211	現代日本政治論	2	春	三浦まり	2	
		310402	POL312	規制と政治	2	春	*青木一益	3・4	
		333181	POL201	政治学	4	春	加藤浩三	2	
		338001	POL221	国際政治学	4	春	岡部みどり	2	

学科科目C群（選択科目）・・・14年次生以降
11～13年次生

40単位

42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	347001	LAW430	選択演習Ⅰ	3	春	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習№.261および履修上の注意を参照
		347002	LAW430	選択演習Ⅱ	3	秋	各教員	3・4	(注1)(注4) 演習№.261および履修上の注意を参照
		330012	LAW141	現代社会と法律実務	1	春・後半	コーディネータ 森下哲朗 岩崎政孝 対木和夫 三好幹夫 和仁亮裕 西尾健太郎	1	春学期後半 輪講 (注1)
		339402	PBL311	比較憲法	2	秋	江藤祥平	3・4	
		336602	JUR201	比較法Ⅰ	2	春	*小林真紀	2	隔年開講 (注4)
		336603	JUR202	比較法Ⅱ	2	秋	*小林真紀	2	隔年開講 (注4)
		333410	JUR321	英米法	4	秋	岩田太	3・4	
		333511	JUR331	ドイツ法Ⅰ	2	秋	松本尚子	3・4	(注4)
		333512	JUR332	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松本尚子	3・4	(注4)
		333610	JUR341	フランス法	4	休講		3・4	隔年開講
		336505	INL322	E U法	2	休講		3・4	隔年開講 (注4)
		333800	PIL341	アジア法	2	秋	*森口聡	3・4	
		337011	JUR351	西洋法制史	2	春	松本尚子	3・4	
		337101	CRL331	法医学	2	春	*黒崎久仁彦	3・4	[200名] 法学部3・4年次生優先
		337102	LAW361	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐藤結美 矢島基美 奥純一郎 奥富晃	3・4	輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
		330171	PBL312	憲法訴訟	2	秋	江藤祥平	3・4	(注3)

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 学 科 目 C 群	335202	PBL321	租税法	2	秋	小 幡 純 子	3・4		隔年開講
	335250	PBL322	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講
	330334	CVL216	債権法総論	4	秋	佐 藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
	332133	CVL213	物権法	2	春	小 山 泰 史	2		1年次生履修不可
	332102	CVL217	担保物権法	2	秋	小 山 泰 史	2		1年次生履修不可
	332203	CVL311	親族法	2	春	羽 生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
	332303	CVL312	相続法	2	秋	羽 生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
	311200	CVL321	消費者法	2	休講		3・4		隔年開講 1・2年次生履修不可
	332405	CML311	会社法Ⅰ	4	春	甘 利 公 人	3・4		
	332406	CML312	会社法Ⅱ	4	秋	伊 藤 雄 司	3・4		
	356104	CML313	手形・小切手法	2	春	松 井 智 予	3・4		経済学部「商法Ⅱ」と合併科目
	335305	CML314	商取引法	2	秋	松 井 智 予	3・4		
	335401	CML315	保険法	2	秋	甘 利 公 人	3・4		
	335503	CML316	海商法	2	休講		3・4		(注1)
	332503	CPL311	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安 西 明 子	3・4		
	335604	CPL312	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	田 頭 章 一	3・4		
	335627	CPL321	民事執行・保全法	2	秋	安 西 明 子	3・4		
	336910	CPL331	倒産処理法	2	春	田 頭 章 一	3・4		
	330501	CRL211	刑法総論	4	春	伊 藤 涉	2		
	332680	CRL212	刑法各論	4	秋	照 沼 亮 介	2		
	332703	CRL321	刑事訴訟法	4	春	長 沼 範 良	3・4		
	335703	CRL245	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光 旭	2・3		
	332800	SCL310	労働法	4	春	富 永 晃 一	3・4		
	336020	SCL321	社会保障法	4	春	永 野 仁 美	3・4		(注4)
	339102	SCL330	経済法	4	春	楠 茂 樹	3・4		
	335811	SCL340	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4		隔年開講 (注4)
	335813	SCL341	知的財産権法Ⅱ	2	秋	駒 田 泰 士	3・4		隔年開講 (注4)
	333304	SCL342	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒 田 泰 士	3・4	○	隔年開講 (注1)
	332910	INL211	国際法総論	4	春	兼 原 敦 子	2		
	336311	INL212	国際法各論	2	春	江 藤 淳 一	2		
	336405	INL311	国際紛争処理法	2	秋	江 藤 淳 一	3・4		
	345015	INL321	国際組織法	2	秋	*立 松 美也子	3・4		隔年開講 (注4)
	366405	LAW342	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日)
	336203	PIL311	国際私法	2	秋	出 口 耕 自	3・4		(注4)
	333305	PIL338	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES	2	春	出 口 耕 自	3・4	○	(注1)
	361600	PIL321	国際取引法	4	春	森 下 哲 朗	3・4		
	340100	INL331	国際経済法	4	春	川 瀬 剛 志	3・4		1・2年次生履修不可
	340601	PBL323	国際租税法	2	休講		3・4		隔年開講
	333303	POL223	比較政治論	2	春	*網 谷 龍 介	3・4		
	333306	POL327	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*MASLOW Sebastian	3・4	○	
311800	ENL314	企業環境マネジメント論	2	春	コーディネータ 桑 原 勇 進 *稲見 浩之 他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先	
342904	PBL312	法律学特殊講義Ⅰ (立法過程の実務と理論)	2	秋	*茅 野 千江子	3・4			

学
部
共
通

法

律

国
際
関
係
法

地
球
環
境
法

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選択科目 学科科目C群	342914	CML317	法学特殊講義II (信託法)	2	春	*杉浦宣彦	3・4		
	342924	JUR312	法学特殊講義III (法思想史)	2	秋	奥田純一郎	3・4		
	342941	CML318	法学特殊講義IV (金融商品取引法)	2	春	梅村悠	3・4		
	345027	INL353	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱本幸也	3・4		(注4)
	344808	POL322	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊志輝	3・4		[200名] 法学部3・4年生優先 (注4)
	311300	ENL317	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	秋	コーディネータ 越智敏裕 *竹澤克己他	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年生優先 (注4)
	311427	ENL331	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	休講		3・4		隔年開講
	390305	LAW221	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森下哲朗 *HOWITT Peter	1～4	○	輪講
	390304	LAW222	LAW AND SOCIETY	2	春	コーディネータ GIVENS Stephen *MEHTA Nirav	2～4	○	輪講 (注4)
	390303	LAW231	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	秋前	コーディネータ 森下哲朗 長沼範良 羽生香織 江藤藤祥	2～4	○	秋学期前半 輪講 隔年開講 (注4)
	390383	LAW232	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2～4	○	隔年開講 (注1) (注4)
	390310	INL351	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日)
	390311	INL352	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日)
	333307	POL326	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡部みどり	3・4	○	
	337503	POL325	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦まり	3・4	○	(注5)
	338010	POL323	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原真子	3・4	○	
	390400	POL324	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	
	361110	PII337	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	春	GIVENS Stephen	3・4	○	
	390323	PII242	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	秋前	GIVENS Stephen	2～4	○	秋学期前半
	390331	PII231	INTRODUCTION TO US LAW I (CONSTITUTION)	2	休講		2～4	○	隔年開講 (注4)
390332	PII232	INTRODUCTION TO US LAW II (CONSTITUTION)	2	春	GIVENS Stephen	2～4	○	隔年開講 (注4)	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	390340	PIL331	CONTRACTS	2	春	GIVENS Stephen	2～4	○	隔年開講
	390350	PIL332	CORPORATIONS	2	休講		2～4	○	隔年開講
	390360	PIL333	TORTS	2	秋	GIVENS Stephen	2～4	○	隔年開講
	390370	PIL334	PROPERTY	2	休講		2～4	○	隔年開講
	390390	PIL241	NEGOTIATION WORKSHOP	2	秋	GIVENS Stephen 森下哲朗	2～4	○	同時担当
	366406	LAW341	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和仁亮裕	3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日)

(E/日) … 教材＝英語／使用言語＝日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、【環境A】を履修すること。

(注3) 2014年度以前の「憲法（統治機構）（4単位）」未履修者は、「憲法（統治機構）（2単位）」および「憲法訴訟（2単位）」の2科目で充当すること。

(注4) 科目名の変更ともなう重複不可の科目があるため、p.256～参照のこと。

(注5) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	N99219	LSA201	海外短期研修 (西オーストラリア大学)	4	秋	国際関係法学科教員	1～3		(注1) (注2) (注3)
	N99220	LSA301	海外短期研修 (ジョージ・ワシントン大学)	2	休講		2～4		(注1) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続きが翌年度におこなわれるため、2019年3月卒業予定者はプログラムには参加することができるが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧（共通編）(p.48～49, p.146)を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

5	経 済 学 部
---	---------

〔教育研究上の目的〕

経済学と経営学及びその関連科目の幅広い学習を通じて、現代社会における経済的活動と社会的問題について論理的に考える力を養うこと

〔人材養成の目的〕

グローバル社会に即した感覚と社会的責任や倫理を備え、経済学と経営学の幅広い基礎的知識と専門的知識を基盤とする高度な問題解決能力を有し、国内外で活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

キリスト教ヒューマニズムの精神を基盤とし、「広い視野と先見性をもち、国際的なリーダーとなる人材を育成する」という学部教育理念のもと、21世紀の高度な知識基盤型の社会においてリーダーとして活躍し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的として、本学部は学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経済学と経営学の基礎および専門知識
2. 情報処理能力, コミュニケーション・スキル, 問題解決能力
3. 早期卒業においては、高い問題意識と自己管理能力をもち、早期に社会において活躍する力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「叡智が世界をつなぐ」という大学ミッションと学部教育理念のもと、クラスを単位とした導入教育、専門科目の基礎と関連づけた少人数教育、専門性を養う講義、および教員と学生が相互に顔の見える関係での演習を核とする基幹教育や外部機関と連携した多彩な実践的教育によって、理論と現実をバランスよく学ぶ目的で、次の趣旨を盛り込んだ科目からなるカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目・概論による導入教育を通じて、経済学と経営学の基礎的知識を修得させる。
2. 基礎セミナーやアクティブ・ラーニング・セミナーなどの少人数教育を通じて、経済学と経営学の理論的な知識を深く掘り下げて修得させる。
3. 専門科目と演習の基幹教育を通じて、学生の知的な関心に沿って専門性の到達度を向上させ、理論と現実のバランスのとれた知識と問題解決能力を高める。
4. 外部との連携講座を通じて、現実に即した多様な実践的知識を修得させる。
5. 英語特修プログラムを通じて、国際的な視野で議論できるようする。

経済学科

〔教育研究上の目的〕

演習・英語による講義などの少人数教育及びミクロ・マクロ経済学などの基礎教育において、経済理論の基礎知識を深く掘り下げながら習得し、現代社会の経済課題について論理的・実証的に分析すること

〔人材養成の目的〕

日々の社会問題・現象を経済学的な視点から分析し、自前の概念装置により社会を評価する能力を国際的な場で活かせる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経済学的な視点の根幹を成すミクロ経済学・マクロ経済学の考え方や概念について理解し、自分の言葉で説明する能力
2. 経済学の知識を土台として、概念装置としての「モデル」を自ら構築し、現代社会における現実的課題を理解し、課題解決の方法を考える能力
3. 多様な社会経済現象について、情報処理の知識と技能を駆使して、データに基づく統計的分析を遂行する能力
4. 高いレベルのコミュニケーション・スキルを身につけ、国際的な場でリーダーシップを発揮して課題解決に貢献する能力
5. 学生一人一人の個性（知識、能力、興味など）に応じて、現代社会で活躍できる高い専門性を修得する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、次のとおりカリキュラムを編成しています。

1. 複数の専任教員が担当する必修科目（A群科目：Introduction to Economics, ミクロ経済学 A, マクロ経済学 A・B）を通して、経済理論の基礎的知識を深く掘り下げながら修得させる。
2. モデル構築の基礎となる数理分析の知識を学ぶための経済数学科目「経済数学解析Ⅰ・Ⅱ」、ミクロ経済学あるいはマクロ経済学の応用科目である選択必修科目において社会経済現象を「モデル」として記述して分析する方法を学び、論理的思考能力を修得させる。
3. 情報処理に関する科目（統計学Ⅰ・Ⅱ, 計量経済学Ⅰ・Ⅱ, データ分析演習など）を通して、データに基づく統計的分析能力を修得させる。
4. アクティブ・ラーニング・セミナーと演習（ゼミ）では少人数のディスカッションやグループ学習を行い、他者と協力して課題を解決するためのコミュニケーション・スキルを修得させる。
5. 学生が国際的な場で活躍できる英語でのコミュニケーション・スキルを身につけられるように、英語で提供される専門科目（ECOЕ：Economics Courses Offered in English）を選択必修科目に設置し、また一定の条件を満たした学生にプログラム認定を行う経済学部・経済学英語特修プログラム（Faculty of Economics, Economics in English Program）を設ける。
6. ディプロマ・ポリシーで目標としている共通の基礎的な知識と能力を基盤として、さらにそれぞれの学生が自らの特性や興味にあった専門性を獲得することを支援するために、より専門性の高い経済学の科目に加え、経営学や他学部他学科科目を含む多様な専門科目を選択できるようにする。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目		
必 修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必 修	4単位	
学 科 科 目	94単位	(語学科目選択必修4単位，必修科目8単位，選択必修科目30単位，選択必修科目および選択科目52単位)
合 計	124単位	

11～13年次生

全学共通科目		
必 修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位（英語）]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	16単位	
学 科 科 目	94単位	(必修科目12単位，選択必修科目30単位，選択必修科目および選択科目52単位)
合 計	124単位	

2. 標準配当表

16年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注3) ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)	4					
	必修 (8単位)	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	マクロ経済学B	2			
		ミクロ経済学A	2					
		マクロ経済学A	2					
選択必修 (30単位)	選択必修科目から30単位以上を修得する。							
選択 (52単位)	選択必修科目および選択科目(分野1【専門科目・経済系】)から28単位以上、選択科目(分野1【専門科目・経済系】および分野2【専門科目・経営/法律系】)から24単位以上を修得する。他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・全学共通SAIMSプログラム科目(注2)の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。ただし、SAIMSプログラム科目以外の全学共通科目は除く。							

注1：学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)を参照。

注2：SAIMSプログラム科目については、履修要覧(共通編)を参照。

注3：18年次生は除く。

14・15年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
							高学年向け教養科目	2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	履修科目 選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)	4					
	必修 (8単位)	ミクロ経済学 I (注2)	4	マクロ経済学 (注3)	4			
	選択必修 (30単位)	選択必修科目から30単位以上を修得する。						
	選択 (52単位)	選択必修科目および選択科目(分野1【専門科目・経済系】)から28単位以上、選択科目(分野1【専門科目・経済系】)および分野2【専門科目・経営/法律系】から24単位以上を修得する。他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・全学共通SAIMSプログラム科目(注4)の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。ただし、SAIMSプログラム科目以外の全学共通科目は除く。						

注1: 学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)を参照。

注2: 2016年度からのカリキュラム変更により、未修得者は同一科目(「INTRODUCTION TO ECONOMICS」と「ミクロ経済学A」)の単位取得によってこれに充てる。

注3: 2016年度からのカリキュラム変更により、未修得者は、「マクロ経済学」あるいは同一科目(「マクロ経済学A」と「マクロ経済学B」)の単位取得によってこれに充てる。

注4: SAIMSプログラム科目については、履修要覧(共通編)を参照。

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (12単位)	学科科目としての外国語(英語以外の同一外国語) ミクロ経済学 I (注1)	4 4	マクロ経済学(注2)	4			
	選択必修 (30単位)	選択必修科目から30単位以上を修得する。						
	選択 (52単位)	選択必修科目および選択科目(分野1【専門科目・経済系】)から28単位以上、選択科目(分野1【専門科目・経済系】および分野2【専門科目・経営/法律系】)から24単位以上を修得する。他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・全学共通SAIMSプログラム科目(注3)の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。ただし、SAIMSプログラム科目以外の全学共通科目は除く。						

注1：2016年度からのカリキュラム変更により、未修得者は同一科目(「INTRODUCTION TO ECONOMICS」と「ミクロ経済学A」)の単位取得によってこれに充てる。

注2：2016年度からのカリキュラム変更により、未修得者は、「マクロ経済学」あるいは同一科目(「マクロ経済学A」と「マクロ経済学B」)の単位取得によってこれに充てる。

注3：SAIMSプログラム科目については、履修要覧(共通編)を参照。

3. 履修上の注意

卒業に要する科目、単位数の最低基準（必修科目、選択必修科目、選択科目）等についてはこの要覧を注意深く読み、各自の履修計画には十分気をつけること。

① 学科科目の所要単位数に関する注意

- (1) 選択必修科目に指定された学科科目はできるだけ多く履修することが望ましい。
- (2) 演習については、経済学科の演習の代わりに、経営学科の演習を選択必修科目として履修することができる。
- (3) 選択必修科目で、卒業に必要な指定単位数を修得した場合、その超過分は選択科目として認められる。また、選択科目分野1で卒業に必要な指定単位数を修得した場合、その超過分は分野2として認められる。
- (4) 同一科目は2度履修しても、卒業に必要な単位数として認められるのは、1科目分のみである。同一科目とは、①科目名が同じ、②科目名が違って要覧に同一科目とみなす等の記載があるものとする。

② 履修年次に関する注意

- (1) 2016年度からのカリキュラム変更により、2015年次生以前の学生が修得する必修科目は、以下の科目で読み替えることができることとする。

「マイクロ経済学Ⅰ」（4単位）：「INTRODUCTION TO ECONOMICS」（2単位）と「マイクロ経済学A」（2単位）

「マクロ経済学」（4単位）：「マクロ経済学A」（2単位）と「マクロ経済学B」（2単位）

- (2) 全学共通選択科目は、各年次において任意に履修してさしつかえない。

- (3) 外国語科目、語学科目について

〈13年次生以前の学生〉

全学共通科目としての外国語科目および学科科目としての外国語（英語以外の同一外国語）については少なくとも最低基準に相当する単位数は、1・2年次のうちに修得することが望ましい。

外国語の英語（必修）ならびに英語以外の外国語については、履修要覧（共通編）を参照して履修すること。

〈14年次生以降の学生〉

語学科目（必修）および語学科目（選択必修）は、1年次のうちに修得することが望ましい。

語学科目選択必修（英語以外の指定された同一言語）については、履修要覧（共通編）を参照して履修すること。

- (4) 選択必修および選択の学科科目の履修年次については、p.312以下の開講科目担当表の中に示されている履修年次およびナンバリングのレベルを標準とする。

- (5) 「演習」について

各演習の配当年次は以下の通りとする

	履修年次
演習 1	3年次
演習 2	3年次
演習 3	4年次
演習 4	4年次

演習は同じ教員が担当するものを履修すること。また、「演習 2」は「演習 1」を修得したものが履修できるものとする。

なお、「演習 3」「演習 4」についても、「演習 3」は「演習 2」を「演習 4」は「演習 3」を修得した者が履修できるものとする。

2014年度までに「演習Ⅰ」を修得した者は、「演習 3」「演習 4」を履修することができる。

③ 学科科目に関する注意

- (1) 開講科目担当表（p.312～321）に記載されている科目以外の科目の単位取得について
他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・全学共通SAIMSプログラム科目の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。ただし、SAIMSプログラム以外の全学共通科目は除く。

- (2) 下記の科目は経済学科の学生が履修することはできない。
経営学科必修科目のすべて、経営学科選択必修科目「経済学総論Ⅰ」「経済学総論Ⅱ」

- (3) 前提科目制について

経済学科の学生が前提科目を設けている科目を受講する場合には、履修登録までに次の条件を充たしていなければならない。この条件を充たしていない学生が、誤って前提科目を設けている科目を履修した場合、卒業要件に支障が生じることがあるので、履修登録には十分注意すること。

（16年次生以降の学生）

「INTRODUCTION TO ECONOMICS」「ミクロ経済学A」「ミクロ経済学B」「ミクロ経済学C」「マクロ経済学A」「マクロ経済学B」のうち4科目以上の単位を取得していること。

（15年次生以前の学生）

「ミクロ経済学Ⅰ」「ミクロ経済学Ⅱ」「マクロ経済学」のうち2科目以上の単位を取得していること。ただし、2016年度からのカリキュラム変更に伴い、この科目の未修得者は同一科目対照表を参考にし、変更前の科目と変更後の科目の中から合計8単位以上修得できれば、前提科目の条件を充たすこととする。

経営学科生は「経済学総論Ⅰ」「経済学総論Ⅱ」の2科目を修得していることが望ましい。

編入生・転部科生・再入学生・学士入学生には前提科目制は適用しない。これらの学生が以下の前提科目を設けている科目の履修登録を希望する場合には、事前に学事センターに申し出ること。

〔前提科目を設けている科目〕

選択必修科目 (B群)	計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 国際貿易論Ⅰ 国際貿易論Ⅱ 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 国際マクロ経済学 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 経済発展論 公共経済学Ⅱ 労働経済学Ⅰ 労働経済学Ⅱ 環境経済学	選択科目 (C-1群)	中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学 公共政策Ⅰ 公共政策Ⅱ
----------------	--	----------------	--

(4) A・B・C各群に関する注意事項：科目履修度（必修科目、選択必修科目、選択科目）は、単位修得年度の履修要覧にしたがう。また、p.310に記載の同一科目対照表を必ず参照して重複履修をしないように注意すること。なお、カリキュラム変更により、入学年次によって全学共通科目および学科科目において科目履修度が違う科目があるので、十分注意すること。

④ 転部科生が転部科以前に修得した経済学学科科目の単位認定に関する取扱基準

転部科以前に修得した経済学学科の学科科目の単位認定は20単位を限度とする。

⑤ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはいできない。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	26	44	26	26	44	26	26	44	26	26	44	176

前学期までに教職課程・学芸員課程の履修申込手続きをした3年次生以上の者で、課程科目の履修により、登録単位数が学期別および年間最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に許可を得ておかなければならない。履修登録前までに学科長に相談すること。

⑥ 科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された経済学科開講科目のナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
ECN	ECONOMICS	経済学系
MGT	MANAGEMENT	経営学系
LAW	LAW	法律学系
CAG	CAREER GUIDANCE	職業指導系

同一科目対照表

下記の科目は科目名、担当者が違っても変更前と変更後の科目は同一科目とみなすので重複履修しても卒業に必要な単位数の中に含まれるのは1科目のみである。

変更前				変更後			
科目コード	科目名	単位数	開講年度	科目コード	科目名	単位数	開講年度
467975	特別講義 (THE ECONOMICS OF HEALTH SYSTEMS)	2	2017	498005	GLOBAL HEALTH POLICIES	2	2018～
407001	中級ミクロ経済学	4	～2016	407002	中級ミクロ経済学	2	2017～
408860	金融制度と政策	2	～2016	467973	金融制度と金融政策	2	2017～
401101	ミクロ経済学 I	4	～2015	401102	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	2016～
				401103	ミクロ経済学A	2	2016～
400302	マクロ経済学	4	～2015	401110	マクロ経済学A	2	2016～
				401120	マクロ経済学B	2	2016～
401201	ミクロ経済学 II	4	～2015	401202	ミクロ経済学B	2	2016～
				401203	ミクロ経済学C	2	2016～
462110	国際貿易論	4	～2015	462111	国際貿易論 I	2	2016～
				462112	国際貿易論 II	2	2016～
403303	金融論	4	～2015	403304	金融論 I	2	2016～
				403305	金融論 II	2	2016～
407301	環境経済学 I	2	～2015	407303	環境経済学	2	2016～
407302	環境経済学 II	2	～2015				
407403	計量経済学	4	～2015	407404	計量経済学 I	2	2016～
				407405	計量経済学 II	2	2016～
403003	経済史 I	2	2013～2014	407733	国際経済史	2	2016～
407731	国際経済史 I	2	～2015				
407732	国際経済史 II	2	～2015				
408131	戦略的行動の経済分析 I	2	～2015	402100	GAME THEORY	2	2016～
408132	戦略的行動の経済分析 II	2	～2015	408140	応用ゲーム理論	2	2016～
408202	日本経済論 I	2	～2015	408206	日本経済論2	2	2016～
408203	日本経済論 II	2	～2015				
460400	演習 I	4	～2014	460501	演習1	2	2015～
				460502	演習2	2	2015～
460300	演習 II	4	～2014	460503	演習3	2	2015～
				460504	演習4	2	2015～
467971	特別講義 (農業政策の経済学)	2	～2014	408204	農業政策の経済学 I	2	2015～
602303	開発経済論1	2	～2013	602305	開発経済論	4	2014～
602304	開発経済論2	2	～2013				
650771	グローバル化と発展途上国1	2	～2013	650773	グローバル化と発展途上国	4	2014～
650772	グローバル化と発展途上国2	2	～2013				
403002	経済史	4	～2012	403003	経済史 I	2	2013～2014
				403004	経済史 II	2	2013～2014
407212	線形経済数学 I	2	～2012	407214	線形経済数学	2	2013～
407513	医療経済学 I	2	～2012	407515	医療経済学	2	2013～
407514	医療経済学 II	2	～2012				
440200	経営学基礎研究	2	～2012	440201	経営基礎研究セミナー I	2	2013～
462403	産業組織論	4	～2010	462404	産業組織論 I	2	2011～
				462405	産業組織論 II	2	2011～

4. 経済学部・経済学英語特修プログラム（Faculty of Economics, Economics in English Program）について（15年次生以降対象）

2015年度以降の経済学科入学者は、2年次以降に経済学部・経済学英語特修プログラムに登録することができる。登録は年1回とし、3年次以降に登録を行った場合でも、申請前に修得したプログラム該当科目の単位と成績は、プログラム申請により、修了要件に含めることができる。

以下の修了要件を満たした学生には、修了認定証（S）もしくは（A）を授与する。

修了認定証（S）は（1）（2）（3）の全ての要件を満たすことで授与される。

修了認定証（A）は（1）（2）の要件を満たすことで授与される。

- (1) 下記の対象科目（開講科目担当表にⒺもしくはⒺ／日と記載）から20単位以上履修する
- (2) そのうち成績の良い20単位の平均GPAが3.0以上あること
- (3) TOEFLiBT 72以上, TOEIC 750以上, TEAP 334以上, IELTS 5.5以上, 英検準1級以上のいずれかの英語修了要件を満たすこと

プログラム認定対象科目（全て2単位）

経済英語Ⅰ（INTERMEDIATE）

経済英語Ⅱ（INTERMEDIATE）

経済英語Ⅰ（SPECIALIZED）

経済英語Ⅱ（SPECIALIZED）

TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION

GLOBAL DEVELOPMENT GOALS

INTERNATIONAL ECONOMICS AND BUSINESS

PUBLIC ECONOMICSⅠ

ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS

GLOBAL ECONOMIC HISTORY

GAME THEORY

CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT

JAPANESE ECONOMYⅠ

特別講義（THE ECONOMICS OF HEALTH SYSTEMS）（2017年度のみ開講）

GLOBAL HEALTH POLISIES

HEALTH ECONOMICS

INTRODUCTION TO MICROECONOMICS

ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTYⅠ（Ⓔ／日）

ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTYⅡ（Ⓔ／日）

ECONOMICS IN ENGLISH A

ECONOMICS IN ENGLISH B

ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A

ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B

ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE

CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS（2017全学共通科目、高学年向け教養科目、2018～経営学科科目）

・（Ⓔ／日）とは、（English／日本語）で、教材はすべて英語、授業中使用言語は日本語の授業のこと。それ以外の科目は、教材も授業中使用言語も英語。

5. 開講科目担当表

語学科目選択必修（14年次生以降対象）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
選択必修科目			英語以外の指定された同一言語	4			1～4		14年次生以降の学生については、語学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を履修すること。

学科科目A群（必修科目）・・・13年次生以前は12単位，14年次生以降は8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考	
必修科目	学科科目A群	（基礎科目）								
				学科科目としての外国語 （英語以外の同一外国語）	4			1		13年次生以前の学生は学科科目としての外国語として、英語以外の同一言語を履修すること。
		401102	ECN113	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 釜賀浩平	1	○	輪講，E1-1クラス対象 注1参照，注6参照
		401102	ECN113	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 高橋和志	1	○	輪講，E1-2クラス対象 注1参照，注6参照
		401102	ECN113	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 堀江哲也	1	○	輪講，E1-3クラス対象 注1参照，注6参照
		401102	ECN113	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 南橋尚明	1	○	輪講，E1-4クラス対象 注1参照，注6参照
		401103	ECN114	ミクロ経済学A	2	春	蓬田守弘	1		経済学科1年次生対象 注6参照
		401103	ECN114	ミクロ経済学A	2	春	*岡崎哲郎	1		経済学科生再履修者， 経営学科生，他学部他 学科生対象，注6参照
		401110	ECN115	マクロ経済学A	2	秋	竹田陽介	1		経済学科1年次生対象 注6参照
		401110	ECN115	マクロ経済学A	2	秋	*服部孝洋	1		経済学科生再履修者， 経営学科生，他学部他 学科生対象，注6参照
		401120	ECN116	マクロ経済学B	2	春	近藤広紀	2		経済学科2年次生対象 注6参照
401120	ECN116	マクロ経済学B	2	春	*服部孝洋	2		経済学科生再履修者， 経営学科生，他学部他 学科生対象，注6参照		

学科科目B群（選択必修科目）・・・30単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
選択必修科目	(基本科目)								
	401202	ECN117	ミクロ経済学B	2	秋	青木 研	1		経済学科1年次生対象 注6参照
	401202	ECN117	ミクロ経済学B	2	秋	*阿武 秀和	2		経済学科生再履修者, 経営学科生,他学部他 学科生対象,注6参照
	401203	ECN118	ミクロ経済学C	2	春	釜賀 浩平	2		経済学科1年次生履修不可, 経済学科2年次生対象,注6 参照
	401203	ECN118	ミクロ経済学C	2	春	*阿武 秀和	2		経済学科1年次生履修不可, 経済学科再履修者,経営学 科生,他学部他学科生対象, 注6参照
	462111	ECN261	国際貿易論 I	2	秋	蓬田 守弘	2~4		隔年開講,前提科目あり (p.308参照)
	462112	ECN262	国際貿易論 II	2	休講		2~4		隔年開講,前提科目あり (p.308参照)
	403710	ECN202	国際マクロ経済学	4	春	竹田 陽介	2~4		前提科目あり(p.308参照)
	403404	ECN203	財政学 I	2	秋	中里 透	2~4		前提科目あり(p.308参照)
	403405	ECN204	財政学 II	2	休講		2~4		前提科目あり(p.308参照)
	403304	ECN263	金融論 I	2	春	川西 諭	2~4		[200名],経済学科 生優先,前提科目 あり(p.308参照)
	403305	ECN264	金融論 II	2	秋	川西 諭	2~4		[200名],経済学科 生優先,前提科目 あり(p.308参照)
	408711	ECN207	公共経済学 II	2	秋	近藤 広紀	2~4		前提科目あり(p.308参照)
	407303	ECN265	環境経済学	2	春	堀江 哲也	2~4		[200名],経済学科 生優先,前提科目 あり(p.308参照)
	407404	ECN266	計量経済学 I	2	春	竹内 明香	2~4		[85名],経済学科 生優先,前提科目 あり(p.308参照)
	407405	ECN267	計量経済学 II	2	秋	倉田 正充	2~4		[85名],経済学科 生優先,前提科目 あり(p.308参照)
	408505	ECN104	統計学 I	2	春	竹内 明香	1		E1-1, E1-2クラス,注1参照
	408604	ECN105	統計学 II	2	秋	來島 愛子	1		E1-3, E1-4クラス,注1参照
	408505	ECN104	統計学 I	2	春	*島根 哲哉	1		E1-3, E1-4クラス,注1参照
	408604	ECN105	統計学 II	2	秋	*島根 哲哉	1		E1-1, E1-2クラス,注1参照
	407113	ECN106	経済数学解析 I	2	春	來島 愛子	1		E1-1, E1-2クラス,注1参照
	407114	ECN107	経済数学解析 II	2	秋	來島 愛子	1		E1-1, E1-2クラス,注1参照
	407113	ECN106	経済数学解析 I	2	春	*小河 誠巳	1		E1-3, E1-4クラス,注1参照
	407114	ECN107	経済数学解析 II	2	秋	*小河 誠巳	1		E1-3, E1-4クラス,注1参照
	407231	ECN110	データ分析演習	2	春	*鶴田 利郎	1		[80名],経済学科1年次生優 先, E1-1, E1-2クラス,注1参照
	407231	ECN110	データ分析演習	2	春	竹内 明香	1		[85名] 経済学科1年次生優 先, E1-3, E1-4クラス,注1参照
	462404	ECN211	産業組織論 I	2	春	*相場 大樹	2~4		[200名],経済学科生優先,注2参照

経
済
営
学部共通

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履 修 年 次	外 国 語	備 考		
選択必修科目	学 科 目 B 群	462405	ECN212	産業組織論Ⅱ	2	秋 *相 場 大 樹	2～4		[200名], 経済学科生優先, 注2参照		
		408311	ECN213	労働経済学Ⅰ	2	春 出 島 敬 久	2～4		前提科目あり(p.308参照)		
		408321	ECN214	労働経済学Ⅱ	2	秋 出 島 敬 久	2～4		前提科目あり(p.308参照)		
		407733	ECN270	国際経済史	2	春 倉 田 正 充	2～4		[85名]		
		408140	ECN272	応用ゲーム理論	2	休講		2～4			
		408221	ECN219	経済政策	2	休講		2～4			
		409000	ECN244	法と経済学	2	休講		2～4		[200名], 経済学科生優先, 14年次生以前は選択科目C-1群となる	
		408403	ECN268	経済発展論	2	春 高 橋 和 志	2～4			前提科目あり(p.299参照)	
		462204	ECN269	国際金融論	2	休講		3・4			
		408206	ECN271	日本経済論2	2	春 南 橋 尚 明	2～4			[200名] 経済学科生優先, 15年次 生以前は選択科目C-1群となる	
		(EOOE : Economics Courses Offered in English)									
		402011	ECN220	経済英語Ⅰ(BASIC)	2	春 *SUZUKI Renate	2～4	○	[66名], 経済学科生優先		
		402012	ECN221	経済英語Ⅱ(BASIC)	2	秋 *SUZUKI Renate	2～4	○	[66名], 経済学科生優先		
		402021	ECN302	経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)	2	春 *SUZUKI Renate	2～4	○	[36名], 経済学科生優先, 経済学英語特修プログラム登録者優先, (E)		
		402022	ECN303	経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)	2	秋 *SUZUKI Renate	2～4	○	[36名], 経済学科生優先, 経済学英語特修プログラム登録者優先, (E)		
		402041	ECN304	経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)	2	春 *SUZUKI Renate	2～4	○	[36名], 経済学科生優先, 経済学英語特修プログラム登録者優先, (E)		
		402042	ECN305	経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)	2	秋 *SUZUKI Renate	2～4	○	[36名], 経済学科生優先, 経済学英語特修プログラム登録者優先, (E)		
		402050	ECN284	TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	春 *濱 野 正 樹	2～4	○	(E)		
		467969	ECN226	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	春 プテンカム ジョジョセフ	2～4	○	注4参照, (E)		
		402060	ECN280	INTERNATIONAL ECONOMICS AND BUSINESS	2	春 蓬 田 守 弘	2～4	○	(E)		
402070	ECN281	PUBLIC ECONOMICS I	2	春 近 藤 広 紀	2～4	○	(E)				
402080	ECN282	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	秋 堀 江 哲 也	2～4	○	(E)				
402090	ECN285	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	秋 倉 田 正 充	2～4	○	(E)				
402100	ECN289	GAME THEORY	2	春 釜 賀 浩 平	2～4	○	(E)				
402110	ECN283	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2	秋 高 橋 和 志	2～4	○	経済学部生対象, (E)				
402120	ECN286	JAPANESE ECONOMY 1	2	秋 南 橋 尚 明	2～4	○	(E)				
402130	ECN287	ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTY I	2	春 *江 頭 隆 治	2～4		(E) / 日				
402131	ECN288	ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTY II	2	秋 *江 頭 隆 治	2～4		(E) / 日				
498005	ECN291	GLOBAL HEALTH POLISIES	2	春 本 田 文 子	2～4	○	(E)				
498006	ECN292	HEALTH ECONOMICS	2	秋 本 田 文 子	2～4	○	(E)				
498007	ECN119	INTRODUCTION TO MICROECONOMICS	2	秋 本 田 文 子	1	○	(E)				

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考
選択必修科目	学 科 目 B 群	498003	ECN293	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH I	2	春	本 田 文 子	2	○ [20名] ⑤経済学科2年次生優先
		498004	ECN294	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH II	2	秋	本 田 文 子	2	○ [20名] ⑤経済学科2年次生優先
		850268	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		850269	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854800	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854801	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854820	ENG260	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854822	ENG260	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854816	ENG250	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
		854817	ENG260	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2				(他)言語教育研究センター注7参照, ⑤
(演習)									
	460501	ECN322	演習 1	2	春	竹 田 陽 介	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	ブテンカラム ジョンジョセフ	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	出 島 敬 久	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	青 木 研	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	川 西 論	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	中 里 透	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	蓬 田 守 弘	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	近 藤 広 紀	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	来 島 愛 子	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	竹 内 明 香	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	釜 賀 浩 平	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	倉 田 正 充	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	高 橋 和 志	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	堀 江 哲 也	3		3と合併
	460501	ECN322	演習 1	2	春	南 橋 尚 明	3		3と合併
	460601	BUS382	経営学科開講 演習 1 (p.330参照)	2					(他)経営学科
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	竹 田 陽 介	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	ブテンカラム ジョンジョセフ	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	出 島 敬 久	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	青 木 研	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	川 西 論	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	中 里 透	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	蓬 田 守 弘	3		4と合併
	460502	ECN323	演習 2	2	秋	近 藤 広 紀	3		4と合併

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考		
選択必修科目	学科 科目 B 群	460502	ECN323	演習 2	2	秋	来 島 愛 子	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	春	竹 内 明 香	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	春	釜 賀 浩 平	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	秋	倉 田 正 充	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	秋	高 橋 和 志	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	秋	堀 江 哲 也	3		4 と合併	
		460502	ECN323	演習 2	2	秋	南 橋 尚 明	3		4 と合併	
		460602	BUS383	経営学科開講 演習 2 (p.331参照)	2						(他) 経営学科
		460503	ECN422	演習 3	2	春	竹 田 陽 介	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	ブテンカラム ジョンジョセフ	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	出 島 敬 久	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	青 木 研	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	川 西 論	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	中 里 透	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	蓬 田 守 弘	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	近 藤 広 紀	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	来 島 愛 子	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	竹 内 明 香	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	釜 賀 浩 平	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	倉 田 正 充	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	高 橋 和 志	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	堀 江 哲 也	4			1 と合併
		460503	ECN422	演習 3	2	春	南 橋 尚 明	4			1 と合併
		460603	BUS422	経営学科開講 演習 3 (p.331参照)	2						(他) 経営学科
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	竹 田 陽 介	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	ブテンカラム ジョンジョセフ	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	出 島 敬 久	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	青 木 研	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	川 西 論	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	中 里 透	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	蓬 田 守 弘	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	近 藤 広 紀	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	来 島 愛 子	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	春	竹 内 明 香	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	春	釜 賀 浩 平	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	倉 田 正 充	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	高 橋 和 志	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	堀 江 哲 也	4			2 と合併
		460504	ECN423	演習 4	2	秋	南 橋 尚 明	4			2 と合併
		460604	BUS423	経営学科開講 演習 4 (p.331参照)	2						(他) 経営学科

学科科目 C 群 (選択科目)・・・52 単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考		
選択科目 (分野Ⅰ)	学科科目 C-1 群	【専門科目・経済系】									
		(中級理論)									
		462300	ECN306	中級マクロ経済学	4	春	川 西 論	2～4		前提科目あり(p.308参照)	
		407002	ECN307	中級ミクロ経済学	2	休講			2～4		前提科目あり(p.308参照)
		(情報・統計・数学)									
		407214	ECN227	線形経済数学	2	春	來 島 愛 子	2～4			
		407221	ECN228	経済分析の数理	2	休講			2～4		
		408011	ECN111	証券データ分析	2	休講			2～4		[70名], 経済学科生優先
		408021	ECN310	計量ファイナンス	2	休講			3・4		[70名], 経済学科生優先
		(政策・日本経済)									
		403208	ECN229	公共政策Ⅰ	2	休講			2～4		前提科目あり(p.308参照)
		403209	ECN230	公共政策Ⅱ	2	休講			2～4		前提科目あり(p.308参照)
		408204	ECN256	農業政策の経済学Ⅰ	2	休講			2～4		
		408205	ECN257	農業政策の経済学Ⅱ	2	休講			2～4		
		408210	ECN233	経済統計論Ⅰ	2	春	*伊 藤 伸 介	2～4			[70名], 経済学科生優先
		408211	ECN234	経済統計論Ⅱ	2	秋	*伊 藤 伸 介	2～4			[70名], 経済学科生優先
		498001	ECN258	少子化の経済分析	2	春	出 島 敬 久	2～4			
		498002	ECN259	人口と成長の経済分析	2	秋	出 島 敬 久	2～4			
		(労働・社会保障)									
		407515	ECN235	医療経済学	2	春	*長 根 裕 美	2～4			注2参照
		407516	ECN260	医療政策の経済分析	2	秋	*高 久 玲 音	2～4			
		(経済発展)									
		467920	ECN237	アジア開発経済論	2	春	ベンカム ジョンジョセフ	2～4			
		467921	ECN238	アジア経済成長論	2	秋	ベンカム ジョンジョセフ	2～4			
		BGS54200	GIC314	開発経済学	4						(他) 総合グローバル学科, 旧「開発経済論1」, 「開発経済論2」, 注2参照
		BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4						(他) 総合グローバル学科, 旧「グローバル化と発展途上国1」「グローバル化と発展途上国2」, 注2参照
		854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2						(他)言語教育研究センター注7参照
		854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2						(他)言語教育研究センター注7参照
		854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2						(他)言語教育研究センター注7参照
		854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2						(他)言語教育研究センター注7参照
		(その他)									
		467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミナー)	2	秋	竹 田 陽 介	2			[15名], 経済学科生優先, 経済学部2年次生のみ履修可, 注3参照
467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミナー)	2	秋	近 藤 広 紀	2			[20名], 経済学科生優先, 経済学部2年次生のみ履修可, 注3参照		

経
済
営
学
部
共
通

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考	
科目(分野1)	学科科目C-1群	467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミナー)	2	秋	中里 透	2		[20名], 経済学科生優先, 経済学部2年次生のみ履修可, 注3参照
		408850	ECN245	マクロ経済事情	2	春	*小野寺 敬	2~4		
		467973	ECN273	金融制度と金融政策	2	休講		2~4		注2参照
		467412	ECN247	特別講義(開発援助論)	2	秋	*福田 幸正 *小林 誉明	2~4		
		408122	ECN248	特別講義(都市と地域の経済Ⅰ)	2	春	*藤原 徹	2~4		
		408123	ECN249	特別講義(都市と地域の経済Ⅱ)	2	秋	*藤原 徹	2~4		
		467955	ECN250	特別講義(貧困とコミュニティの経済学Ⅰ)	2	春	*中西 徹	2~4		
		467956	ECN251	特別講義(貧困とコミュニティの経済学Ⅱ)	2	秋	*中西 徹	2~4		
		467972	ECN253	特別講義(政治の経済分析)	2	秋	*浅古 泰史	2~4		
		497974	ECN274	バンキング基礎演習	2	秋	*穂刈 俊彦	3・4		[30名], 経済学科生優先, あおぞら銀行連携講座
選択科目(分野2)	学科科目C-2群	【専門科目・経営/法律系】								
		(経営・管理)								
		409220	MGT112	経営学総論	2	春	*工藤 悟志	1~4		経済学科生のみ履修可
		430500	MGT221	経営管理論	2					(他) 経営学科
		434311	MGT222	経営戦略論Ⅰ	2					(他) 経営学科
		434312	MGT223	経営戦略論Ⅱ	2					(他) 経営学科
		434313	MGT321	経営戦略論Ⅲ	2					(他) 経営学科
		434316	MGT322	経営戦略論Ⅳ	2					(他) 経営学科
		434314	MGT224	事業創造論Ⅰ	2					(他) 経営学科
		434315	MGT225	事業創造論Ⅱ	2					(他) 経営学科
		407610	MGT226	経済・経営の倫理	2					(他) 経営学科
		439511	MGT227	国際経営論Ⅰ	2					(他) 経営学科
		439512	MGT228	国際経営論Ⅱ	2					(他) 経営学科
		439514	MGT323	国際経営論Ⅲ	2					(他) 経営学科
		439513	MGT229	グローバル時代の企業戦略	2					(他) 経営学科
		439520	MGT232	製品開発論	2					(他) 経営学科
		439530	MGT342	組織間関係論	2					(他) 経営学科
		437511	MGT241	経営組織論Ⅰ	2					(他) 経営学科
		437512	MGT242	経営組織論Ⅱ	2					(他) 経営学科
		437513	MGT343	経営組織論Ⅲ	2					(他) 経営学科
		468008	MGT324	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2					○ (他) 経営学科
		437514	MGT249	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR I	2					○ (他) 経営学科
		437515	MGT250	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR II	2					○ (他) 経営学科
		437611	MGT243	人的資源管理論Ⅰ	2					(他) 経営学科
		437612	MGT244	人的資源管理論Ⅱ	2					(他) 経営学科
		467900	MGT344	意思決定論	2					(他) 経営学科
		437311	MGT245	産業社会学Ⅰ	2					(他) 経営学科
		437312	MGT246	産業社会学Ⅱ	2					(他) 経営学科
		439900	MGT248	産業心理学	2					(他) 経営学科

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履 修 年 次	外 国 語	備 考		
選 択 科 目 (分 野 2)	学 科 科 目 C ー 2 群	437202	MGT261 企業経済論Ⅰ	2					(他) 経営学科		
		437203	MGT262 企業経済論Ⅱ	2					(他) 経営学科		
		438002	MGT263 経営財務論Ⅰ	2					(他) 経営学科		
		438003	MGT264 経営財務論Ⅱ	2					(他) 経営学科		
		434700	MGT361 技術経営論	2					(他) 経営学科		
		433600	MGT286 経営統計学	2					(他) 経営学科		
		433739	MGT287 ビジネスシステム設計論	2					(他) 経営学科		
		430600	MGT381 経営データ分析入門	2					(他) 経営学科		
		(マーケティング)									
		434501	MRK244	マーケティング・コミュニケーション論	2					(他) 経営学科	
		433450	MRK323	応用マーケティング	2					(他) 経営学科	
		433460	MRK221	マーケティング戦略論Ⅰ	2					(他) 経営学科	
		433461	MRK321	マーケティング戦略論Ⅱ	2					(他) 経営学科	
		467940	MRK324	ブランド・マネジメント論	2					(他) 経営学科	
		438504	MRK242	マーケティング・リサーチ	2					(他) 経営学科	
		438510	MRK243	マーケティング・リサーチ入門	2					(他) 経営学科	
		434410	MRK241	消費者行動論	2					(他) 経営学科	
		434420	MRK341	消費者行動分析	2					(他) 経営学科	
		433121	MRK262	流通経済論	2					(他) 経営学科	
		433301	MRK261	小売マーケティング	2					(他) 経営学科	
		433300	MRK361	ダイレクト・マーケティング	2					(他) 経営学科	
		467963	MRK322	インターネット・マーケティング	2					(他) 経営学科	
		468000	MRK223	GLOBAL MARKETING I	2					(他) 経営学科	
		468001	MRK224	GLOBAL MARKETING II	2					(他) 経営学科	
468003	MRK222	グローバルマーケティング	2					(他) 経営学科			
468002	MRK361	GLOBAL DISTRIBUTION	2					(他) 経営学科			
(会計)											
433010	ACC121	簿記Ⅰ	2					(他) 経営学科			
433020	ACC122	簿記Ⅱ	2					(他) 経営学科			
433030	ACC321	簿記Ⅲ	2					(他) 経営学科			
433040	ACC322	簿記Ⅳ	2					(他) 経営学科			
438050	ACC221	財務諸表論Ⅰ	2					(他) 経営学科			
438060	ACC222	財務諸表論Ⅱ	2					(他) 経営学科			
438070	ACC323	財務諸表論Ⅲ	2					(他) 経営学科			
439300	ACC324	会計学特講	2					(他) 経営学科			
439301	ACC325	環境会計論	2					(他) 経営学科			
439302	ACC326	環境マネジメント論	2					(他) 経営学科			
439310	ACC223	日本企業のディスクリージャー	2					(他) 経営学科			
438410	ACC327	監査論Ⅰ	2					(他) 経営学科			
438420	ACC328	監査論Ⅱ	2					(他) 経営学科			
438400	ACC329	英文会計	2				○	(他) 経営学科			
438211	ACC341	管理会計論Ⅰ	2					(他) 経営学科			
438212	ACC342	管理会計論Ⅱ	2					(他) 経営学科			
438113	ACC243	経営分析Ⅰ	2					(他) 経営学科			
438114	ACC244	経営分析Ⅱ	2					(他) 経営学科			

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履 修 年 次	外 国 語	備 考		
選択科目 (分野2)	学 科 目 C - 2 群	438310	ACC241	原価計算論Ⅰ	2				(他) 経営学科		
		438320	ACC242	原価計算論Ⅱ	2				(他) 経営学科		
		438004	ACC245	FINANCIAL MANAGEMENTⅠ	2				○	(他) 経営学科	
		438005	ACC246	FINANCIAL MANAGEMENTⅡ	2				○	(他) 経営学科	
		468004	ACC223	FUNDAMENTAL OF ACCOUNTINGⅠ	2					(他) 経営学科	
		468005	ACC224	FUNDAMENTAL OF ACCOUNTINGⅡ	2					(他) 経営学科	
		468006	ACC330	公会計Ⅰ	2					(他) 経営学科	
		468007	ACC331	公会計Ⅱ	2					(他) 経営学科	
		(法律)									
		467110	BUS354	民法A	2						(他) 経営学科
		467120	BUS355	民法B	2						(他) 経営学科
		467140	BUS356	民法C	2						(他) 経営学科
		467150	BUS357	民法D	2						(他) 経営学科
		467205	BUS358	商法Ⅰ	4						(他) 経営学科
		467307	BUS359	商法Ⅱ	2						(他) 経営学科
		332800	SCL310	労働法	4						(他) 法学部
		361600	PL321	国際取引法	4						(他) 法学部
		339102	SCL330	経済法	4						(他) 法学部
		467458	LAW101	法律学	2	春	*土屋志穂		2~4		教科に関する科目(教職履修者用の科目:公民)
		(その他)									
		432010	BUS222	経営英語Ⅰ	2					○	(他) 経営学科
		432011	BUS223	経営英語Ⅱ	2					○	(他) 経営学科
		467962	BUS221	経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2					○	(他) 経営学科
		432030	BUS224	経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS)	2					○	(他) 経営学科
		432040	BUS322	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENTⅠ	2					○	(他) 経営学科
		432041	BUS323	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENTⅡ	2					○	(他) 経営学科
		854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1						(他)言語教育研究センター,注7参照
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		
854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		
854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		
854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		
854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		
854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1						(他)言語教育研究センター,注7参照		

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考		
選択科目 (分野2)	学 科 科 目 C - 2 群	854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1				(他)言語教育研究センター、注7参照		
		440201	BUS225	経営基礎研究セミナーⅠ	2				(他)経営学科		
		440201	BUS225	経営基礎研究セミナーⅠ	2				(他)経営学科		
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2				(他)経営学科		
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2				(他)経営学科		
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2				(他)経営学科		
		468009	BUS231	外書講読	2				(他)経営学科		
		438803	BUS352	損害保険論	2				(他)経営学科		
		438805	BUS362	保険会社の現代的リスク管理経営(ERM)	2				(他)経営学科		
		441201	BUS351	リスクマネジメント	2				(他)経営学科		
		467454	BUS253	産業論特講Ⅰ	2				(他)経営学科		
		467455	BUS254	産業論特講Ⅱ	2				(他)経営学科		
		290210	SPA201	社会保障論Ⅰ	2				(他)社会福祉学科		
		467456	CAG200	職業指導Ⅰ	2	春	*望月厚司	2・3	隔年開講、教科に関する科目(教職履修者の科目:商業)。14年次生以前は課程科目の扱いとなり他学部他学科科目とあわせて、12単位まで選択科目分野2に算入可。		
		467457	CAG201	職業指導Ⅱ	2	秋	*望月厚司	2・3	隔年開講、教科に関する科目(教職履修者の科目:商業)。14年次生以前は課程科目の扱いとなり他学部他学科科目とあわせて、12単位まで選択科目分野2に算入可。		
		他学部他学科科目				他学部他学科開講科目担当表を参照			他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・全学共通SAIMSプログラム科目をあわせて12単位まで選択科目分野2に算入可		
		課程科目(実習を除く)				履修要覧(課程編)を参照			履修要覧(共通編)を参照		
		全学共通SAIMSプログラム科目				履修要覧(共通編)を参照			履修要覧(共通編)を参照		
Course:IBE (International Business and Economics) で開講されているすべての科目							2~4	(他)国際教養学部、前提科目あり(注5参照)			

*備考欄の(他)は他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことができる。

注1: 再履修者については、クラスを問わないで履修登録をすることができる。

注2: p.307~p.308の3. ③(4)A・B・C各群に関する注意事項をよく読むこと。

注3: 演習の前段階に位置する科目。担当教員が毎年度替わるので、内容はシラバスで確認すること。経済学科生優先。

注4: 上智らしい教育の推進、教育内容・方法の改善・向上を目的とする「教育イノベーション・プログラム」に採択された、時限的に開講される科目である。

注5: 前提科目があるので、Loyola上のシラバスを確認すること。受講資格や登録方法については、履修要覧(共通編p.32)をよく読むこと。

注6: 2016年度のカリキュラム変更による分割科目。15年次生以前の学生は同一科目対照表を確認して履修すること。

注7: 言語教育研究センター開講科目。履修にあたっては履修要覧(共通編)の言語教育研究センターに関するページをよく読むこと。

なお、これらの科目は13年次生以前の学生にとって自由科目としての扱いとなり、卒業に必要な単位とはならないので注意すること。

経営学科

〔教育研究上の目的〕

高度な専門知識及び幅広い教養を身につけ、社会とのかかわりにおいて多様な視角から経営を理解し、実践していく能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

ローカル及びグローバルな社会との関連で経営を理解し、専門知識に基づいた合理的な意思決定を行うことによって、企業経営だけでなく、地域社会・国際社会などに貢献できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. グローバル化・複雑化が進展していく経営環境を的確に分析するための知識や技能
2. 経営学の考え方や概念および専門的知識を理解し説明する能力
3. 現実社会における問題解決をリードするために、複雑で多様な情報を効率的に収集、処理し、問題解決へとリードする能力
4. 厳しい制約条件のもとで適切な意思決定をおこなうために、異質性や多様性を尊重する態度を持ち、オープンでフェアな議論、および情報発信する能力
5. 高いレベルのコミュニケーション・スキルを身につけ、国際的な場でリーダーシップを発揮する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 1年次 においては必修科目「経営学概論Ⅰ」および「経営学概論Ⅱ」において、専門的な学修を進めていく上で身に付けておかなければならない学修スキル、専門基礎知識、コミュニケーション能力、論理的な考え方、社会的な倫理観を修得させる。
2. 専門科目、および演習（ゼミ）において専門的知識を深め、現代社会の問題を解決するための能力を修得させる。
3. 1年次の「経営学概論」、2年次の「経営基礎研究セミナー」、3・4年次の演習と、4年間を通じた小人数科目で、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、コミュニケーション・スキルの向上を目指す。
4. 実務経験者や実務家による現実的な実務感覚を養う科目、および実際のビジネスの現場を学ぶ科目を開講する。
5. 国際的な場で活躍できるように、ネイティブによる英語科目、「経営英語」「Special Topics in Management」を通じて、ビジネスコミュニケーション・スキルを修得させる。
6. 専門的な知識を英語で理解する科目を選択必修科目に設置する。
7. 一定の条件を満たした学生にプログラム認定を行う経済学部・経営学英語特修プログラム（Faculty of Economics, Management in English Program）を設ける

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	[必修科目4単位，語学科目選択必修4単位，選択必修科目46単位，選択必修科目および選択科目40単位]
合 計	124単位	

11～13年次生

全学共通科目		
必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位（英語）]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	16単位	
学科科目	94単位	[必修科目8単位，選択必修科目46単位，選択必修科目および選択科目40単位]
合 計	124単位	

2. 標準配当表

14年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注3) ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	語学科目 選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)	4					
	必修 (4単位)	経営学概論Ⅰ 経営学概論Ⅱ	2 2					
	選択必修 (46単位)	選択必修科目から46単位以上を修得する。						
	選必修 (40単位)	選択必修科目および選択科目から40単位以上を修得する。 経営学科の開講科目担当表(p.330以下)に記載された科目以外の ①他学部他学科科目 ②課程科目(実習を除く) ③学科が指定した全学共通科目 ※全学共通SAIMSプログラム科目 ※データサイエンスプログラム基礎科目(ビジネスデータ分析理論, データ活用と経営戦略) の単位を修得した場合, 最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。(注2) ④語学科目は4単位まで卒業単位に充当できる。(注1)。						

(注1) 学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)を参照。

(注2) 全学共通科目については、履修要覧(共通編)を参照すること。

なお、他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・学科が指定した全学共通科目をあわせて20単位まで選択科目に算入できるが、学科が指定した全学共通科目については、12単位を算入の上限とするので注意すること。

(注3) 18年次生は除く。

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (8単位)	学科科目としての 外国語(英語以外の 同一外国語) 経営学概論Ⅰ 経営学概論Ⅱ	4 2 2					
	選択必修 (46単位)	選択必修科目から46単位以上を修得する。						
	選択および選択 (40単位)	選択必修科目および選択科目から40単位以上を修得する。 経営学科の開講科目担当表(p.330以下)に記載された科目以外の ①他学部他学科科目 ②課程科目(実習を除く) ③学科が指定した全学共通科目 ※全学共通SAIMSプログラム科目 ※データサイエンスプログラム基礎科目(ビジネスデータ分析理論, データ活用と経営戦略) の単位を修得した場合, 最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。(注1)						

(注1) 全学共通科目については、履修要覧(共通編)を参照すること。

なお、他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・学科が指定した全学共通科目をあわせて20単位まで選択科目に算入できるが、学科が指定した全学共通科目については、12単位を算入の上限とするので注意すること。

3. 履修上の注意

① 学科科目の所要単位数に関する注意

- (1) 選択必修科目に指定された学科科目は、できるだけ多く履修することが望ましい。
- (2) 演習については、経営学科の演習の代わりに経済学科の演習を選択必修科目として履修することができる。その場合「経済学総論Ⅰ」「経済学総論Ⅱ」の単位を修得していることが望ましい。
- (3) 同一科目を重複して修得しても、卒業要件として認められるのは、1科目のみである。同一科目であるという基準は原則として以下の通りである。(p.328の同一科目対照表参照)
 - 科目名(含サブタイトル)が同じである場合。
 - 備考欄に「同内容、同一講座」等の注記が記載されている場合。

② 履修年次に関する注意

- (1) 学科科目の選択必修科目および選択科目の履修年次については、p.324以下の開講科目担当表の中に示されている履修年次を標準とする。
- (2) 「演習」について

各演習の配当年次は以下のとおりとする。

	履修年次
演習 1	3年次
演習 2	3年次
演習 3	4年次
演習 4	4年次

演習は同じ教員が担当するものを履修すること。また、「演習 2」は「演習 1」を修得したものが履修できるものとする。

なお、「演習 3」「演習 4」についても、「演習 3」は「演習 2」を「演習 4」は「演習 3」を修得したものが履修できるものとする。

2014年度までに「演習Ⅰ」を修得したものは、「演習 3」「演習 4」を履修することができる。

③ 外国語科目、語学科目に関する注意

〈13年次生以前の学生〉

全学共通科目としての外国語科目および学科科目としての外国語(英語以外の同一外国語)については、少なくとも最低基準に相当する単位数を、1・2年次のうちに修得することが望ましい。

外国語の英語(必修)ならびに英語以外の外国語については、履修要覧(共通編)を参照して履修すること。

〈14年次生以降の学生〉

語学科目(必修)および語学科目(選択必修)は、1年次のうちに修得することが望ましい。

語学科目選択必修(英語以外の指定された同一言語)については、履修要覧(共通編)を参照して履修すること。

④ 学科科目に関する注意

- (1) 経営学科の開講科目担当表(p.330以下)に記載された科目以外の他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・学科が指定した全学共通科目(全学共通SAIMSプログラム科目とデータサイエンスプログラム基礎科目のみ)の単位を修得した場合、最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。ただし、学科が指定した全学共通科目を学科科目に算入する場合は、12単位を算入の上限とするので注意すること。
- (2) 14年次生以降の学生は、語学科目(必修)および(選択必修)の必要単位数を超えて単位を修得した場合、最高4単位までを学科選択科目の単位として算入することができる。
- (3) 選択必修科目については、卒業に必要な規定単位数(46単位)以上修得したとき、その超過分は選択科目として認められる。
- (4) 経済学科開講の「経営学総論」は、経営学科の学生は履修できない。
- (5) 選択科目(C群)のうち、以下の科目を履修する場合は、履修登録までに「経済学総論Ⅰ」「経済学総論Ⅱ」の2科目の単位を修得していることが望ましい。

国際貿易論Ⅰ 国際貿易論Ⅱ 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 国際マクロ経済学 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 公共経済学Ⅱ 環境経済学	計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学 労働経済学Ⅰ 労働経済学Ⅱ 経済発展論	公共政策Ⅰ 公共政策Ⅱ
---	---	----------------

(6) A・B・C各群に関する注意事項：科目履修度（必修科目，選択必修科目，選択科目）は，単位修得年度の履修要覧にしたがう。また，p.328に記載の同一科目対照表を必ず参照して重複履修をしないように注意すること。なお，カリキュラム変更により，入学年次によって科目履修度が違う科目があるので，十分注意すること。

⑤ 転部科学生が転部科以前に修得した経営学科学科科目の単位認定に関する取扱基準

転部科以前に修得した経営学科の学科科目の単位認定は20単位を限度とする。

⑥ 年間最高履修限度

履修登録単位数は，各年次・学期において次のとおり制限されているので，これを超えて履修することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても，両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回るとは出来ない。

【08年次生以降】

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	26	44	26	26	44	26	26	44	26	26	44	176

前学期までに教職課程・学芸員課程の履修申込手続きをした3年次生以上の者で，課程科目の履修により，登録単位数が学期別および年間最高履修限度を超えてしまう場合は，事前に許可を得ておかなければならない。履修登録前までに学科長に相談すること。

⑦ 科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された経営学科開講科目のナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては，履修要覧（共通編）を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
MGT	MANAGEMENT	経営学系
MRK	MARKETING	マーケティング系
ACC	ACCOUNTING	会計学系
BUS	BUSINESS	ビジネス系（MGT・MRK・ACCに属さない科目）
ECN	ECONOMICS	経済学系

同一科目対照表

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなし、これらの科目を重複して履修しても、卒業要件として認められるのは1科目のみである。

変更前				変更後			
科目コード	科目名	単位数	開講年度	科目コード	科目名	単位数	開講年度
440000	経営学基礎研究	2	～2012	440001	経営基礎研究セミナー I	2	2013～
407212	線形経済数学 I	2	～2012	407214	線形経済数学	2	2013～
403002	経済史	4	～2012	403003	経済史 I	2	2013～2014
				403004	経済史 II	2	2013～2014
462403	産業組織論	4	～2010	462404	産業組織論 I	2	2011～
				462405	産業組織論 II	2	2011～
407513	医療経済学 I	2	～2012	407515	医療経済学	2	2013～
407514	医療経済学 II	2	～2012				
403003	経済史 I	2	～2014	407731	国際経済史 I	2	2015～
467971	特別講義（農業政策の経済学）	2	～2014	408204	農業政策の経済学 I	2	2015～
460600	演習 I	4	～2014	460601	演習1	2	2015～
				460602	演習2	2	2015～
460500	演習 II	4	～2014	460603	演習3	2	2015～
				460604	演習4	2	2015～
467975	特別講義（THE ECONOMICS OF HEALTH SYSTEMS）	2	2017	498005	GLOBAL HEALTH POLICIES	2	2018～
407001	中級ミクロ経済学	4	～2016	407002	中級ミクロ経済学	2	2017～
408860	金融制度と政策	2	～2016	467973	金融制度と金融政策	2	2017～
401101	ミクロ経済学 I	4	～2015	401102	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	2016～
				401103	ミクロ経済学A	2	
400302	マクロ経済学	4	～2015	401110	マクロ経済学A	2	2016～
				401120	マクロ経済学B	2	2016～
401201	ミクロ経済学 II	4	～2015	401202	ミクロ経済学B	2	2016～
				401203	ミクロ経済学C	2	2016～
462110	国際貿易論	4	～2015	462111	国際貿易論 I	2	2016～
				462112	国政貿易論 II	2	2016～
403303	金融論	4	～2015	403304	金融論 I	2	2016～
				403305	金融論 II	2	2016～
407301	環境経済学 I	2	～2015	407303	環境経済学	2	2016～
407302	環境経済学 II	2	～2015				
407403	計量経済学	4	～2015	407404	計量経済学 I	2	2016～
				407405	計量経済学 II	2	2016～
403003	経済史 I	2	2013～2014	407733	国際経済史	2	2016～
407731	国際経済史 I	2	～2015				
407732	国際経済史 II	2	～2015				
408132	戦略的行動の経済分析 II	2	～2015	408140	応用ゲーム理論	2	2016～
408202	日本経済論 I	2	～2015	408206	日本経済論2	2	2016～
408203	日本経済論 II	2	～2015				
408131	戦略的行動の経済分析 I	2	～2015	402100	GAME THEORY	2	2016～

4. 経済学部・経営学英語特修プログラム (Faculty of Economics, Management in English Program) について (17年次生以降対象)

2017年度以降の経営学科入学者は2年次以降に経済学部・経営学英語プログラムに登録することができる。登録は年1回とし、3年次以降に登録を行った場合でも、申請前に修得したプログラム該当科目の単位と成績は、プログラム申請により、修了要件に含めることができる。

以下の修了要件を満たした学生には、修了認定証 (S) もしくは (A) を授与する。

修了認定証 (S) は (1) (2) (3) の全ての要件を満たすことで授与される。

修了認定証 (A) は (1) (2) の要件を満たすことで授与される。

- (1) 下記の対象科目 (開講科目担当表にⒺもしくはⒺ/日と記載) から20単位以上履修する
- (2) そのうち成績の良い20単位の平均GPAが3.0以上あること
- (3) TOEFLiBT 72以上, TOEIC 750以上, TEAP 334以上, IELTS 5.5以上, 英検準1級以上のいずれかの英語修了要件を満たすこと

プログラム認定対象科目

< 学科学目 >

経営英語 I (2単位)

経営英語 II (2単位)

経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY) (2単位)

経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS) (2単位)

SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT I (2単位)

SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT II (2単位)

英文会計 (2単位)

ORGANIZATIONAL BEHAVIOR I (2単位)

ORGANIZATIONAL BEHAVIOR II (2単位)

FINANCIAL MANAGEMENT I (2単位)

FINANCIAL MANAGEMENT II (2単位)

外書講読 (Ⓔ/日) 科目 (2単位)

GLOBAL MARKETING I (2単位)

GLOBAL MARKETING II (2単位)

CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS (2単位)

< 全学共通 (高学年向け教養科目) >

HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA (2単位)

< 言語教育研究センター科目 >

ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A (2単位)

ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B (2単位)

ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE (2単位)

ENGLISH FOR NEGOTIATIONS (1単位)

ENGLISH FOR PRESENTATIONS (1単位)

GENERAL BUSINESS ENGLISH (1単位)

WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION (1単位)

・ (Ⓔ/日) とは, (English/日本語) で, 教材はすべて英語, 授業中使用言語は日本語の授業のこと。それ以外の科目は, 教材も授業中使用言語も英語。

4. 開講科目担当表

語学科目選択必修（14年次生以降対象）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
選択必修科目	語学科目		英語以外の指定された同一言語	4			1～4		14年次生以降の学生については、語学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を履修すること。

学科科目A群（必修科目）・・・13年次生以前は8単位，14年次生以降は4単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考	
必修科目	学科科目A群		学科科目としての外国語（英語以外の同一外国語）	4			1		13年次生以前の学生は学科科目としての外国語として、英語以外の同一言語を履修すること。	
		430411	BUS111	経営学概論Ⅰ	2	春	王 志	1		M1-1クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。
		430411	BUS111	経営学概論Ⅰ	2	春	杉 谷 陽 子	1		M1-2クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。
		430411	BUS111	経営学概論Ⅰ	2	春	JOHNS Adam	1		M1-3クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。
		430411	BUS111	経営学概論Ⅰ	2	春	若 林 利 明	1		M1-4クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。
		430412	BUS112	経営学概論Ⅱ	2	秋	コーディネータ 石 井 昌 宏 JOHNS Adam 西 澤 茂	1		輪講，全クラス合同

学科科目B群（選択必修科目）・・・46単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考	
選択必修科目	学科科目B群	467962	BUS221	経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	秋	*GASPARI Paul	2～4	○	[50名]，経営学科生優先，㊦
		432010	BUS222	経営英語Ⅰ	2	春	*GASPARI Paul	2～4	○	[66名]，経営学科生優先，㊦
		432011	BUS223	経営英語Ⅱ	2	休講		2～4	○	[20名]，経営学科生優先，㊦
		432030	BUS224	経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS)	2	春	*GASPARI Paul	2～4	○	[50名]，経営学科生優先，㊦
		432040	BUS322	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT I	2	春	*DYLAN Scudder	2～4	○	㊦ [49名]
		432041	BUS323	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT II	2	秋	*DYLAN Scudder	2～4	○	㊦ [49名]
		460601	BUS382	演習 1	2	春	杉 本 徹 雄	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	春	網 倉 久 永	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	秋	山 田 幸 三	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	春	西 澤 茂	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	春	細 萱 伸 子	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	春	竹之内 秀 行	3		3と合併
		460601	BUS382	演習 1	2	春	杉 谷 陽 子	3		3と合併

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考	
選択必修科目 学 科 目 B 群	460601	BUS382	演習 1	2	春	新 井 範 子	3		3と合併	
	460601	BUS382	演習 1	2	春	石 井 昌 宏	3		3と合併	
	460601	BUS382	演習 1	2	春	小 阪 玄次郎	3		3と合併	
	460601	BUS382	演習 1	2	春	王 志	3		3と合併	
	460601	BUS382	演習 1	2	春	関 廷 媛	3		3と合併	
	460601	BUS382	演習 1	2	春	JOHNS Adam	3			
	460601	BUS382	演習 1	2	春	若 林 利 明	3			
	460501	ECN322	経済学科開講 演習 1 (p.315参照)	2						(他) 経済学科
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	杉 本 徹 雄	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	網 倉 久 永	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	山 田 幸 三	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	西 澤 茂	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	細 萱 伸 子	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	竹之内 秀 行	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	杉 谷 陽 子	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	新 井 範 子	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	石 井 昌 宏	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	小 阪 玄次郎	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	王 志	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	関 廷 媛	3		4と合併	
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	JOHNS Adam	3			
	460602	BUS383	演習 2	2	秋	若 林 利 明	3			
	460502	ECN323	経済学科開講 演習 2 (p.315参照)	2						(他) 経済学科
	460603	BUS422	演習 3	2	春	杉 本 徹 雄	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	網 倉 久 永	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	秋	山 田 幸 三	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	西 澤 茂	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	細 萱 伸 子	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	竹之内 秀 行	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	杉 谷 陽 子	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	新 井 範 子	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	石 井 昌 宏	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	小 阪 玄次郎	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	王 志	4		1と合併	
	460603	BUS422	演習 3	2	春	関 廷 媛	4		1と合併	
	460503	ECN422	経済学科開講 演習 3 (p.316参照)	2						(他) 経済学科
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	杉 本 徹 雄	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	網 倉 久 永	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	山 田 幸 三	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	西 澤 茂	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	細 萱 伸 子	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	竹之内 秀 行	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	杉 谷 陽 子	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	新 井 範 子	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	石 井 昌 宏	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	小 阪 玄次郎	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	王 志	4		2と合併	
	460604	BUS423	演習 4	2	秋	関 廷 媛	4		2と合併	
	460504	ECN423	経済学科開講 演習 4 (p.316参照)	2						(他) 経済学科

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履 修 年 次	外 国 語	備 考	
選択必修科目	学 科 目 B 群	440201	BUS225	経営基礎研究セミナーⅠ	2	春	杉 谷 陽 子	2～4	[20名], 経営学科2年次生優先, 1年次生履修不可	
		440201	BUS225	経営基礎研究セミナーⅠ	2	春	竹之内 秀行	2～4	[25名], 経営学科2年次生優先, 1年次生履修不可	
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2	休講		1～4	[20名], 経営学科2年次生優先	
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2	秋	王 志	1～4	[20名], 経営学科2年次生優先	
		440202	BUS226	経営基礎研究セミナーⅡ	2	秋	細 萱 伸 子	1～4	[20名], 経営学科2年次生優先	
		468009	BUS231	外書講読	2	秋	*橋 本 悟	2～4	[30名], 経営学科2年次生優先	
	【経営学系】 (経営管理・戦略)									
	430500	MGT221	経営管理論	2	秋	山 田 幸 三	2～4		[200名], 経営学科生優先	
	434311	MGT222	経営戦略論Ⅰ	2	春	網 倉 久 永	2～4		経営学科生対象	
	434311	MGT222	経営戦略論Ⅰ	2	秋	*新 津 泰 昭	2～4		他学部他学科生対象	
	434312	MGT223	経営戦略論Ⅱ	2	秋	網 倉 久 永	2～4			
	434313	MGT321	経営戦略論Ⅲ	2	秋	小 阪 玄 次 郎	2～4		[30名], 経営学科2年次生優先	
	434316	MGT322	経営戦略論Ⅳ	2	秋	山 田 幸 三	2～4			
	434314	MGT224	事業創造論Ⅰ	2	秋	山 田 幸 三	2～4		[200名], 経営学科生優先	
	434315	MGT225	事業創造論Ⅱ	2	休講		2～4			
	407610	MGT226	経済・経営の倫理	2	秋	ペンカラム ジョンジョセフ	2～4			
	439511	MGT227	国際経営論Ⅰ	2	春	竹之内 秀行	2～4		[150名], 経営学科生優先	
	439511	MGT227	国際経営論Ⅰ	2	秋	*平 賀 富 一	2～4		[150名], 経営学科生優先	
	439512	MGT228	国際経営論Ⅱ	2	春	*柳 田 志 学	2～4		[150名], 経営学科生優先	
	439514	MGT323	国際経営論Ⅲ	2	休講		2～4		[30名], 経営学科2年次生優先	
	439513	MGT229	グローバル時代の企業戦略	2	休講		2～4			
	439520	MGT232	製品開発論	2	春	小 阪 玄 次 郎	2～4			
	439530	MGT342	組織間関係論	2	秋	*松 嶋 一 成	2～4			
	468008	MGT324	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2	未定	コーディネータ 網 倉 久 永 *長谷川 知子	2～4			
	(経営組織)									
437511	MGT241	経営組織論Ⅰ	2	春	関 廷 媛	2～4				
437512	MGT242	経営組織論Ⅱ	2	秋	*佐々木 博之	2～4				
437513	MGT343	経営組織論Ⅲ	2	春	*二 宮 豊 志	2～4				
437514	MGT249	ORGANIZATIONAL BEHAVIORⅠ	2	休講		2～4	○	(E)		
437515	MGT250	ORGANIZATIONAL BEHAVIORⅡ	2	秋	関 廷 媛	2～4	○	(E)		
437611	MGT243	人的資源管理論Ⅰ	2	春	細 萱 伸 子	2～4		[200名], 経営学科生優先		
437612	MGT244	人的資源管理論Ⅱ	2	休講		2～4				
467900	MGT344	意思決定論	2	休講		2～4				
437311	MGT245	産業社会学Ⅰ	2	休講		2～4		[200名], 経営学科生優先		
437312	MGT246	産業社会学Ⅱ	2	秋	細 萱 伸 子	2～4		[200名], 経営学科生優先		
439900	MGT248	産業・組織心理学	2	春	*申 紅 仙	2～4				
(企業論)										
437202	MGT261	企業経済論Ⅰ	2	春	石 井 昌 宏	2～4				
437203	MGT262	企業経済論Ⅱ	2	秋	石 井 昌 宏	2～4				
438002	MGT263	経営財務論Ⅰ	2	春	石 井 昌 宏	2～4				
438003	MGT264	経営財務論Ⅱ	2	秋	石 井 昌 宏	2～4				
434700	MGT361	技術経営論	2	秋	*工 藤 悟 志	2～4				

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考		
選択必修科目	学 科 目 B 群	(経営科学)									
		433600	MGT286	経営統計学	2	秋	伊呂原 隆	2～4			
		430600	MGT381	経営データ分析入門	2	春	*花 尾 由香里	2～4		[70名], 経営学科生優先	
		【マーケティング系】 (マーケティング管理)									
		434501	MRK244	マーケティング・コミュニケーション論	2	休講			2～4		[200名], 他学部他学科生対象
		434501	MRK244	マーケティング・コミュニケーション論	2	休講			2～4		経営学科生対象
		433450	MRK323	応用マーケティング	2	春	新 井 範 子		2～4		[200名], 経済学部生優先 4年次生優先
		433460	MRK221	マーケティング戦略論Ⅰ	2	春	杉 谷 陽 子		2～4		[200名], 経営学科生対象
		433460	MRK221	マーケティング戦略論Ⅰ	2	秋	*竹 内 亮 介		2～4		他学部他学科生対象
		433461	MRK321	マーケティング戦略論Ⅱ	2	秋	杉 谷 陽 子		2～4		[200名], 経営学科生優先
		467940	MRK324	ブランド・マネジメント論	2	秋	杉 谷 陽 子		2～4		[200名], 経営学科生優先
		468003	MRK222	グローバルマーケティング	2	秋	JOHNS Adam		2～4		
		468000	MRK223	GLOBAL MARKETING I	2	春	JOHNS Adam		2～4	○	(E)
		468001	MRK224	GLOBAL MARKETING II	2	秋	JOHNS Adam		2～4	○	(E)
		(マーケティング・サイエンス)									
		438504	MRK242	マーケティング・リサーチ	2	休講			2～4		[30名], 経営学科2 年次生優先
		438510	MRK243	マーケティング・リサーチ入門	2	秋	*坂 上 眞 介		2～4		[200名], 経営学 科生優先
		434410	MRK241	消費者行動論	2	休講			2～4		1年次生履修不可
		434420	MRK341	消費者行動分析	2	休講			2～4		1年次生履修不可
		(流通・物流)									
		433121	MRK262	流通経済論	2	秋	*中 麻弥美		2～4		
		433301	MRK261	小売マーケティング	2	春	新 井 範 子		2～4		[200名], 経済学部生優先 4年次生優先
		433300	MRK361	ダイレクト・マーケティング	2	春	新 井 範 子		2～4		[200名], 経済学部生優先 4年次生優先
		467963	MRK322	インターネット・マーケティング	2	休講			2～4		[200名], 経営学科生優先 4年次生優先
		468002	MRK361	GLOBAL DISTRIBUTION	2	休講			2～4	○	(E)
		【会計学系】 (財務会計)									
		433010	ACC121	簿記Ⅰ	2	春	*鷹 野 宏 行		1		経営学科生対象
		433010	ACC121	簿記Ⅰ	2	春	*金 子 善 行		1		他学部他学科生 対象
		433020	ACC122	簿記Ⅱ	2	秋	*鷹 野 宏 行		1		
		433030	ACC321	簿記Ⅲ	2	春	*鷹 野 宏 行		2～4		
		433040	ACC322	簿記Ⅳ	2	秋	*鷹 野 宏 行		2～4		
		438050	ACC221	財務諸表論Ⅰ	2	春	西 澤 茂		2～4		
		438060	ACC222	財務諸表論Ⅱ	2	休講			2～4		
		438070	ACC323	財務諸表論Ⅲ	2	休講			2～4		
		468004	ACC223	FUNDAMENTAL OF ACCOUNTING I	2	春	若 林 利 明		2～4		

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考		
選択必修科目	学科科目B群	468005	ACC224	FUNDAMENTAL OF ACCOUNTING II	2	休講		2～4			
		439300	ACC324	会計学特講	2	秋	若 林 利 明	2～4			
		439302	ACC326	環境マネジメント論	2	秋	*守 屋 有	2～4	[200名], 経営学科生優先		
		439310	ACC223	日本企業のディスクロージャー	2	春	*桑 原 清 幸	2～4	[30名], 新日本有限責任監査法人連携講座		
		438410	ACC327	監査論Ⅰ	2	休講		2～4			
		438420	ACC328	監査論Ⅱ	2	秋	*町 田 祥 弘	2～4			
		438400	ACC329	英文会計	2	秋	上 西 順 子	2～4	○ (E)		
		468006	ACC330	公会計Ⅰ	2	春	若 林 利 明	2～4			
		468007	ACC331	公会計Ⅱ	2	秋	若 林 利 明	2～4			
		(管理会計)									
		438211	ACC341	管理会計論Ⅰ	2	春	王 志	2～4			
		438212	ACC342	管理会計論Ⅱ	2	休講		2～4			
		438113	ACC243	経営分析Ⅰ	2	休講		2～4			
		438114	ACC244	経営分析Ⅱ	2	秋	王 志	2～4			
		438310	ACC241	原価計算論Ⅰ	2	春	*福 山 倫 基	2～4		[85名], 経営学科生優先	
		438320	ACC242	原価計算論Ⅱ	2	秋	*福 山 倫 基	2～4		[48名], 経営学科生優先	
		438004	ACC245	FINANCIAL MANAGEMENT I	2	休講		2～4	○ (E)		
		438005	ACC246	FINANCIAL MANAGEMENT II	2	春	王 志	2～4	○ (E)		
		【経済学系】									
		431109	ECN121	経済学総論Ⅰ	2	春	中 里 透	1		経済学科生履修不可	
		431123	ECN122	経済学総論Ⅱ	2	秋	中 里 透	1		経済学科生履修不可	

学科科目C群 (選択科目)・・・40単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	438803	BUS352	損害保険論	2	春	コーディネータ 新 井 範 子	3～4	輪講, 一般社団法人日本損害保険協会連携講座
		441201	BUS351	リスクマネジメント	2	休講		2～4	
		438805	BUS362	保険会社の現代的リスク管理経営 (ERM)	2	春	コーディネータ 石 井 昌 宏	2～4	輪講, [150名], 経営学科生優先, 公益財団法人損害保険事業総合研究所連携講座
		467454	BUS253	産業論特講Ⅰ	2	春	*高 橋 透	2～4	
		467455	BUS254	産業論特講Ⅱ	2	秋	*坂 口 敏 行	2～4	[100名], 経済学部生優先
		467110	BUS354	民法A	2	春	*松 原 孝 明	2～4	
		467120	BUS355	民法B	2	秋	*松 原 孝 明	2～4	
		467140	BUS356	民法C	2	春	奥 富 晃	2～4	法学部「債権法各論Ⅰ(契約)」と合併
		467150	BUS357	民法D	2	秋	大 塚 智 見	2～4	法学部「債権法各論Ⅱ(事務管理, 不当利得, 不法行為)」と合併
		467205	BUS358	商法Ⅰ	4	秋	*小野寺 千世	2～4	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	学 科 目 C 群	467307	BUS359	商法Ⅱ	2	春	松井智予	3・4	法学部「手形・小切手法」と合併
		332800	SCL310	労働法	4				(他) 法学部
		361600	PIL321	国際取引法	4				(他) 法学部
		340100	INL331	国際経済法	4				(他) 法学部
		339102	SCL330	経済法	4				(他) 法学部
		341400	ENL313	企業環境法	2				(他) 法学部
		332405	CML311	会社法Ⅰ	4				(他) 法学部
		332406	CML312	会社法Ⅱ	4				(他) 法学部
		282710	SOC210	組織社会学Ⅰ	2				(他) 社会学科
		282720	SOC316	組織社会学Ⅱ	2				(他) 社会学科
		285110	SOC211	経済と文化	2				(他) 社会学科
		285120	SOC317	経済とネットワーク	2				(他) 社会学科
		265131	JRN365	メディアと社会Ⅲa (広告論)	2				(他) 新聞学科
		265132	JRN366	メディアと社会Ⅲb (広告論)	2				(他) 新聞学科
		149802	EDU225	企業内教育論	2				(他) 教育学科
		850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		850268	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		850269	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		854800	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		854801	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照
		854816	ENG250	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
		854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤		
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1				(他) 言語教育研究センター 注5参照, ⑤		
854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2				(他) 言語教育研究センター 注5参照		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履 修 年 次	外 国 語	備 考	
選択科目	学科科目C群	854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854874	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) A	2				(他)言語教育研究センター	
		854875	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) B	2				(他)言語教育研究センター	
		854850	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854851	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854852	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854853	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850264	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850266	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850265	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850267	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850260	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850262	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850261	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		850263	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2				(他)言語教育研究センター注5参照	
		854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1					(他)言語教育研究センター注5参照, (E)
		854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1					(他)言語教育研究センター注5参照, (E)
		【経済学系】 (基礎科目)								
	401103	ECN114	ミクロ経済学A	2					(他) 経済学科	
	401202	ECN117	ミクロ経済学B	2					(他) 経済学科	
	401203	ECN118	ミクロ経済学C	2					(他) 経済学科	
	401110	ECN115	マクロ経済学A	2					(他) 経済学科	
	401120	ECN116	マクロ経済学B	2					(他) 経済学科	
	462111	ECN261	国際貿易論Ⅰ	2					(他) 経済学科	
	462112	ECN262	国際貿易論Ⅱ	2					(他) 経済学科	
	403710	ECN202	国際マクロ経済学	4					(他) 経済学科, 注1参照	
	462204	ECN269	国際金融論	2					(他) 経済学科	
	403404	ECN203	財政学Ⅰ	2					(他) 経済学科, 注1参照	
	403405	ECN204	財政学Ⅱ	2					(他) 経済学科, 注1参照	
	403304	ECN263	金融論Ⅰ	2					(他) 経済学科, 注1参照	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考
選択科目	学 科 目 C 群	403305	ECN264	金融論Ⅱ	2				(他)経済学科,注1参照
		408711	ECN207	公共経済学Ⅱ	2				(他)経済学科,注1参照
		407303	ECN265	環境経済学	2				(他)経済学科
		407404	ECN266	計量経済学Ⅰ	2				(他)経済学科,注1参照
		407405	ECN267	計量経済学Ⅱ	2				(他)経済学科,注1参照
		408505	ECN104	統計学Ⅰ	2				(他)経済学科
		408604	ECN105	統計学Ⅱ	2				(他)経済学科
		407113	ECN106	経済数学解析Ⅰ	2				(他)経済学科
		407114	ECN107	経済数学解析Ⅱ	2				(他)経済学科
		408140	ECN272	応用ゲーム理論	2				(他)経済学科
(中級理論)									
	462300	ECN306	中級マクロ経済学	4					(他)経済学科,注1参照
	407002	ECN307	中級ミクロ経済学	2					(他)経済学科,注1参照
(情報・統計・数学)									
	407214	ECN227	線形経済数学	2					(他)経済学科
	407221	ECN228	経済分析の数理	2					(他)経済学科
	407231	ECN110	データ分析演習	2					(他)経済学科
	407231	ECN110	データ分析演習	2					(他)経済学科
	408011	ECN111	証券データ分析	2					(他)経済学科
	408021	ECN310	計量ファイナンス	2					(他)経済学科
(政策・日本経済)									
	403208	ECN229	公共政策Ⅰ	2					(他)経済学科,注1参照
	403209	ECN230	公共政策Ⅱ	2					(他)経済学科,注1参照
	408206	ECN271	日本経済論2	2					(他)経済学科
	408204	ECN256	農業政策の経済学Ⅰ	2					(他)経済学科
	408205	ECN257	農業政策の経済学Ⅱ	2					(他)経済学科
	498001	ECN258	少子化の経済分析	2					(他)経済学科
	498002	ECN259	人口と成長の経済分析	2					(他)経済学科
	408210	ECN233	経済統計論Ⅰ	2					(他)経済学科
	408211	ECN234	経済統計論Ⅱ	2					(他)経済学科
	462404	ECN211	産業組織論Ⅰ	2					(他)経済学科
	462405	ECN212	産業組織論Ⅱ	2					(他)経済学科
	408221	ECN219	経済政策	2					(他)経済学科
(労働・社会保障)									
	408311	ECN213	労働経済学Ⅰ	2					(他)経済学科,注1参照
	408321	ECN214	労働経済学Ⅱ	2					(他)経済学科,注1参照
	407515	ECN235	医療経済学	2					(他)経済学科
	407516	ECN260	医療政策の経済分析	2					(他)経済学科
(経済発展)									
	467920	ECN237	アジア開発経済論	2					(他)経済学科
	467921	ECN238	アジア経済成長論	2					(他)経済学科
	408403	ECN268	経済発展論	2					(他)経済学科,注1参照
(歴史)									
	407733	ECN270	国際経済史	2					(他)経済学科

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	履修 年次	外 国 語	備考
選択科目 学科目 C群	(ECOE : Economics Courses in English)								
	402011	ECN220	経済英語 I (BASIC)	2				○	(他)経済学科
	402012	ECN221	経済英語 II (BASIC)	2				○	(他)経済学科
	402021	ECN302	経済英語 I (INTERMEDIATE)	2				○	(他)経済学科
	402022	ECN303	経済英語 II (INTERMEDIATE)	2				○	(他)経済学科
	402041	ECN304	経済英語 I (SPECIALIZED)	2				○	(他)経済学科
	402042	ECN305	経済英語 II (SPECIALIZED)	2				○	(他)経済学科
	467969	ECN226	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2				○	(他)経済学科 注4参照
	402060	ECN280	INTERNATIONAL ECONOMICS AND BUSINESS	2				○	(他)経済学科
	402070	ECN281	PUBLIC ECONOMICS I	2				○	(他)経済学科
	402080	ECN282	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2				○	(他)経済学科
	498005	ECN291	GLOBAL HEALTH POLICIES	2				○	(他)経済学科
	498006	ECN292	HEALTH ECONOMICS	2				○	(他)経済学科
	498007	ECN119	INTRODUCTION TO MICROECONOMICS	2				○	(他)経済学科
	402110	ECN283	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2				○	(他)経済学科
	402050	ECN284	TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2				○	(他)経済学科
	402090	ECN285	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2				○	(他)経済学科
	402120	ECN286	JAPANESE ECONOMY 1	2				○	(他)経済学科
	402130	ECN287	ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTY I	2					(他)経済学科
	402131	ECN288	ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTY II	2					(他)経済学科
	402100	ECN289	GAME THEORY	2				○	(他)経済学科
	498003	ECN293	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH I	2				○	(他)経済学科
	498004	ECN294	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH II	2				○	(他)経済学科
	(その他)								
	467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミ ナー)	2					(他)経済学科
	467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミ ナー)	2					(他)経済学科
	467957	ECN243	ALS (アクティブ・ラーニング・セミ ナー)	2					(他)経済学科
	408850	ECN245	マクロ経済事情	2					(他)経済学科
	467973	ECN246	金融制度と金融政策	2					(他)経済学科
	467412	ECN247	特別講義 (開発援助論)	2					(他)経済学科
	408122	ECN248	特別講義 (都市と地域の経済 I)	2					(他)経済学科
	408123	ECN249	特別講義 (都市と地域の経済 II)	2					(他)経済学科
467955	ECN250	特別講義 (貧困とコミュニ ティの経済学 I)	2					(他)経済学科	
467956	ECN251	特別講義 (貧困とコミュニ ティの経済学 II)	2					(他)経済学科	
467972	ECN253	特別講義 (政治の経済分析)	2					(他)経済学科	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	履修 年次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	学 科 科 目 C 群	497974	ECN274	バンキング基礎演習	2				(他) 経済学科	
		409000	ECN244	法と経済学	2				(他) 経済学科	
		467456	CAG200	職業指導 I	2				(他) 経済学科, 隔年開講 教科に関する科目(教職履 修者用の科目: 商業) 14 年次生以前は課程科目の 扱いとなり, 他学部他学科 科目とあわせて, 20単位ま で選択科目に算入可。	
		467457	CAG201	職業指導 II	2				(他) 経済学科, 隔年開講 教科に関する科目(教職履 修者用の科目: 商業) 14 年次生以前は課程科目の 扱いとなり, 他学部他学科 科目とあわせて, 20単位ま で選択科目に算入可。	
		467458	LAW101	法律学	2				(他) 経済学科 教科に関する科 目(教職履修者用 の科目: 公民)	
		他学部他学科科目				他学部他学科開講科目担当表 を参照			他学部他学科科目 課程科目(実習を除く)	
		課程科目(実習を除く)				履修要覧(課程編)を参照			全学共通SAIMSプログラ ム科目	
		全学共通SAIMSプログラム科目				履修要覧(共通編)を参照				
		099514	GCI231	ビジネスデータ分析理論(デー タサイエンス基礎)	2	履修要覧(共通編)を参照			ビジネスデータ分析理論 (データサイエンス基礎) データ活用と経営戦略 (データサイエンス基礎) をあわせて20単位まで選 択科目に算入可。	
		099425	GCI232	データ活用と経営戦略(デー タサイエンス基礎)	2				ただし, SAIMSプログラム 科目, ビジネスデータ分析 入門, データ活用と経営戦 略は12単位を算入の上限 とする。	
Course:I BE (International Business and Economics) で開講されているすべての 科目							2~4	(他) 国際教養学 部, 注2参照		

*備考欄の(他)は他学部他学科開講科目であるが, 自学科の科目として扱うことのできるもの

注1: 履修登録までに「経済学総論 I」「経済学総論 II」の2科目を修得していることが望ましい。

注2: 受講資格や登録方法については, 履修要覧(共通編 p.32)をよく読むこと。

注3: 上智らしい教育の推進, 教育内容・方法の改善・向上を目的とする「教育イノベーション・プログラム」に採択された, 時限的に開講される科目である。

注4: 言語教育研究センター開講科目。履修にあたっては履修要覧(共通編)の言語教育研究センターに関するページをよく読むこと。

なお, これらの科目は13年次生以前の学生にとって自由科目としての扱いとなり, 卒業に必要な単位とはならないので注意すること。

経済学部早期卒業制度について

早期卒業とは、在学期間（休学期間を除く）が3年以上あり、所定の手続きを経て、3年次終了時または4年次春学期終了時をもって卒業すること（以下、それぞれ3年次3月卒業または4年次9月卒業という）をいいます。

1. 早期卒業をするためには、次の要件をすべて満たしていなければなりません。
 - (1) 本人が早期卒業を希望している。
 - (2) 早期卒業時、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得している。
 - (3) 早期卒業時に修得している総授業科目の成績評価が総合平均点（以下「GPA」という）で3.5以上ある。GPAは、上智大学学則55条に基づいて算出するものとします。
2. 早期卒業を希望する場合、早期卒業希望登録を行わなければなりません。
 - (1) 早期卒業希望登録をするためには、次の要件をすべて満たしていなければなりません。
 - イ) 2年次終了時において、卒業に必要な修得単位数に算入することができる単位として本学において62単位以上を修得している。
 - ロ) 前号の修得単位数に対するGPAが3.0以上である。
 - (2) 早期卒業希望登録の手続きは、次のとおりです。
 - イ) 経済学部事務室にて所定書式の「早期卒業希望登録申請書」を受け取る。
 - ロ) 所属演習の指導教員（演習を履修していない場合には、所属学科長：以下「指導教員」という）の承認印を受けた上で、提出期限内に所属学科長に提出する。
 - (3) 早期卒業希望登録後は、指導教員から履修指導を受けるとともに、学業の進捗状況を指導教員に随時報告し、適切な指導を受けなければなりません。
3. 早期卒業希望時期の変更および早期卒業希望登録そのものを取り消す場合は、次の手続きを行う必要があります。
 - (1) 卒業希望時期の変更は、所定の「早期卒業希望時期変更届出書」に指導教員の承認印を受けた上で、提出期限までに学科長に届け出る。
 - (2) 早期卒業希望登録の取消は、所定の「早期卒業希望登録取消届出書」に指導教員の承認印を受けた上で、期限までに学科長に届け出る。
4. 当初3年次3月卒業を希望し、その後登録取り消しを行った場合、特段の事情があると学科長が判断した場合には、4年次4月に4年次9月の早期卒業希望登録を行うことができます。再登録を希望する場合は、事前に学科長の認定を受けた上で、所定書式の「早期卒業希望再登録申請書」を学科長に提出してください。

* 詳細は経済学部事務室（2号館11階2-1115a室）に問い合わせること。

提出書類	提出時期	
早期卒業希望登録申請書	3年次の4月2日～4月27日	
早期卒業希望再登録申請書	4年次の4月2日～4月27日	
早期卒業希望時期変更届出書	3年次の秋学期履修登録期間（2018年9月28日）まで	
早期卒業希望登録取消届出書	3年次3月卒業取消の場合	3年次の秋学期履修中止期間（2018年12月7日）まで
	4年次9月卒業取消の場合	4年次の春学期履修中止期間（2018年6月8日）まで

6	外国語学部
---	-------

14年次生以降

13年次生以前はp.455～

〔教育研究上の目的〕

外国語の高度な運用能力を養い、それをもとに、9つの研究コースにおいて、各専攻語が使用されている地域に関する地域研究、また言語研究、国際政治論研究、市民社会・国際協力論研究を行うこと

〔人材養成の目的〕

各専攻語の運用能力、専門研究を通じて獲得した知識と複眼的な視点を基盤として、グローバル化する社会に貢献する人物、並びに地域研究、また言語研究、国際政治論研究、市民社会・国際協力論研究の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与する。

1. 人間に固有に備わる言語について多面的に考察する力
2. 日本語を含む諸言語の普遍性と多様性を理解し、さまざま言語事象について探求していく力
3. 社会、文化、教育など人間の生活における言語の幅広い役割を認識し、獲得した知識を積極的に活用できる力
4. 特定の国・社会・地域を、歴史・政治・経済・社会・文化など分野横断的に研究する力
5. 特定の国・社会・地域の事象や問題に関心をもち、専門的知識を駆使して深く分析する力
6. 日本を含む複数の国・社会・地域を比較することで、それぞれについて相対的に考察する力
7. 国際政治および市民社会・国際協力に関心をもち、専門的知識を駆使して深く分析する力
8. 日本語、英語を含む複数の言語で書かれた資料を読み、議論する力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、いずれも学生の能動的・積極的な参加を前提とする第一主専攻科目および研究コース科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・専攻語科目】1・2年次においては専攻外国語の基本的な運用能力を体系的・実践的に修得させる。それを土台に、3・4年次においては、より実践的、かつ専門研究に取り組む上で十分な運用能力を身につけさせる。オールラウンドな語学の基礎力が身につくように、口頭・筆記による練習を中心に授業を進める。
2. 【第一主専攻・語圏基礎科目】主に1・2年次において、専攻語が使用される地域における歴史・政治・経済・社会・文化・言語に関わる基礎的な知識を修得させる。講義形式を中心に、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。
3. 【研究コース・導入科目】2年次秋学期に学生は各自の興味関心や志向にしたがい研究コースを選択するが、その準備段階として1・2年次生において、研究に必要な基礎的知識と方法論を修得させる。講義形式を中心に、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。

学部共通

英

語

ドイツ語

フランス語

イスパニテ語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研ヨロコース

研ラテアス

研ユロコロシア

コ言語研究

研アコシ

研中東アリス

研国際政治論

研市民協社力

4. 【研究コース・コア科目】主に2年次以降、研究コースでの学びの中核として、それぞれの専門分野について知識と問題意識を深め、多角的に学ぶ。講義系科目では、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。語学系科目では、高度な言語運用能力を身につけさせるための練習も取り入れる。
5. 【研究コース・演習科目、卒業論文】3・4年次においては、それぞれの専門分野について自ら研究課題を設定し掘り下げることで、主体的な研究能力を養う。さらに、卒業論文・卒業研究を作成することにより、構想力・論理的思考力・表現力を身につけることができる。論文の書き方を修得させるとともに、プレゼンテーションとディスカッションを中心に授業を進める。

外国語学部について (自分が所属する学科、選択する研究コースのページと必ず合わせて読むこと)

1. 外国語学部の構成

外国語学部は英語学科・ドイツ語学科・フランス語学科・イスパニア語学科・ロシア語学科・ポルトガル語学科の6学科から構成される。学生はいずれかの学科に所属し、「第一主専攻」として各学科の専攻語の実践的な運用能力の修得をめざすとともに、その専攻語が使用される地域（語圏）について基本的なことがらを学ぶ。

2. 外国語学部の卒業要件

外国語学部の学生は、4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目」〈全学共通科目〉〈語学科目〉〈学科科目〉を修得し、必要な単位数の最低基準を満たすと、学位「学士（外国研究）」が授与され、外国語学部を卒業することができる。

*詳細は所属学科の「卒業に要する科目,単位数の最低基準」「標準配当表」「履修上の注意」を熟読すること。

3. 学科科目の構成

- ① 第一主専攻（専攻語、語圏）科目
- ② 第二主専攻（または副専攻）科目
- ③ その他 科目

注意

- (1) 科目によっては、履修に際して様々な条件（外国語運用能力や履修前提科目、受講者数など）を定めている場合がある。演習科目の中には、担当教員による試験やレポート、面接、成績などで選抜を行い、受講者数を制限する場合がある。所属学科、履修する研究コースの「履修上の注意」や開講科目担当表はもちろん、**履修科目のシラバス(講義概要)**を熟読し、自らの研究計画に沿って早期から履修の見通しを立てていくことが求められる。
- (2) 授業タイトルが英語で表記されている科目は、原則としてすべて英語で行われる。日本語タイトルの科目であっても、外国語で進められる授業もある。詳細はすべてシラバス(講義概要)を参照すること。

4. 研究コース制度について

制度の趣旨

外国語学部の学生は、以下に掲げる9つの〈研究コース〉の中から自らの興味・関心に沿って任意のものを1つ選択し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。

北米研究コース／ヨーロッパ研究コース／ラテンアメリカ研究コース／ロシア・ユーラシア研究コース／言語研究コース／アジア研究コース／中東・アフリカ研究コース／国際政治論研究コース／市民社会・国際協力論研究コース

「研究コース」は、それを「第二主専攻」または「副専攻」として履修する。体系的なカリキュラムに沿って、基礎から発展的な内容へと知識を吸収し、自らの問題関心に基づく研究を通して、世界諸地域の多様性、固有性を踏まえた地球的な視野を獲得することをめざす場合は、「第二主専攻」として履修する。多様な関心に基づく履修計画に合わせ、「副専攻」として履修することもできる。

研究コースおよび専攻の登録

「研究コース」および「第二主専攻/副専攻」の選択は、原則として2年次秋学期にLoyolaでの届出をもってなされる。具体的な日程は、Loyola掲示板（学科・専攻別）で届出要領を調べ、期日までに必ず届け出ること。卒業までの学びの根幹に関わるので、慎重に考えたうえで選択を行なうこと。なお、届出を怠った場合は、卒業に差し障ることがあるので、十分に注意すること。

学部
共通

英

語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

コ
北
米
研
究

研
ヨ
ロ
ッ
パ
研
究

研
ラ
テ
ン
ア
メ
リ
カ
研
究

研
コ
ロ
シ
ア
研
究

コ
言
語
研
究

研
ア
ジ
ア
研
究

研
中
東
ア
フリ
カ
研
究

研
国
際
政
治
論
研
究

研
国
際
協
力
論
研
究

「第二主専攻」から「副専攻」への変更について

研究コースを「第二主専攻」として登録し、「副専攻」への登録変更を希望する者は、正当な理由がある場合、変更を許可される。所属学科長（および履修中の演習科目の指導教員）と面談のうえ、3年次の1月8日～3月15日、または4年次の7月10日～9月14日に「専攻変更願」を自分の所属する学科の事務室に提出すること。期日までに手続きが完了すれば、次学期の履修登録時には「副専攻」としてLoyolaの自己判定画面が表示される。

なお、この変更後、再び「副専攻」から「第二主専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

*届出要領等はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

[秋学期の特別措置]

卒業論文・卒業研究の履修登録をした者で、特別な事情があり、卒業論文・卒業研究の作成を4年次の秋学期途中で中止せざるを得ない場合に限り、11月30日までに学科に願い出ることにより、副専攻への登録変更が特別に許可されることがある。

「副専攻」から「第二主専攻」への変更について

「副専攻」から「第二主専攻」への変更は原則として認められない。ただし、具体的な計画性と研究に対する強い意欲が認められた場合は、例外的に許可されることがある。変更を希望する者は、履修中または履修予定の演習科目の指導教員および所属学科長と面談すること。

なお、この変更後、再び「第二主専攻」から「副専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

研究コースの変更について

研究コースの変更は原則として認められない。

ただし、研究コースを「第二主専攻」として登録している者は、演習科目の指導教員が研究コースの変更をやるを得ないと判断し、かつ、変更後の指導教員の受入承諾が確認されている場合に限り、許可されることがある。

また、必ず学科長と面談すること。

なお、研究コースの変更が認められた場合、「第二主専攻」から「副専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

5. 外国語学部開講科目における科目記号について

外国語学部で開講される科目で使用している記号は、原則として以下の定義による。

- ・ ローマ数字のⅠ、Ⅱ… 各学科の必修語学科目と「卒業論文・卒業研究」で使用する。Ⅰを履修できなければⅡを履修できない。
- ・ アラビア（算用）数字の1と2 春学期を1、秋学期を2として使用する。
- ・ アルファベットの大文字A、B… 科目の内容区分：同じ名称の科目だが講義内容が異なる科目。
- ・ アルファベットの小文字a、b… 科目のクラス区分：同じ科目のなかでのクラス分け。
- ・ （他） 他学部・他学科等で開講される科目。時間割は開講元の学部・学科を参照すること。
- ・ （隔） 隔年で開講される科目。
- ・ （重） 重複履修が可能な科目（2回以上履修可能で、いずれも卒業に必要な単位として認められる）。

6. 留学、編入学に伴う科目および単位認定について

留学した学生は帰国後、また編入した学生は編入後すみやかに学事センターの所定用紙にて申請のうえ、単位認定を受けなければならない。第二主専攻または副専攻科目として充当することを希望する場合は、学科指導と研究コース主任の指導を受けたうえで、外国語学部長、所属学科長の認定を受けなければならない。

7. 卒業論文・卒業研究について

① 卒業論文と卒業研究の履修要件

研究コースを第二主専攻として履修する場合に限り「卒業論文・卒業研究」を履修できる。副専攻としては履修できないので注意すること。

② 卒業論文と卒業研究の違い

(1) 卒業論文

論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、注記、文献目録から成っていなければならない。指導教員は、

原則として、履修する研究コースの演習担当教員とする。

(2) 卒業研究

論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文と異なるが、内容と完成に要する知的努力において卒業論文と同等とみなせるものでなければならない。指導教員は、原則として、履修する研究コースの演習担当教員とする。卒業研究のテーマになり得るかどうかについては、指導教員と相談すること。卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等を文書化したもの（8,000字程度）から成る。

③ 履修登録と評価

- (1) 卒業予定年次の提出学期に、「卒業論文・卒業研究」（6単位）をLoyolaにて履修登録する。したがって、3年次生の登録は認められない。
- (2) 「卒業論文・卒業研究」の評価については、原則として指導教員が主査となって審査を行なう。なお、主査の判断により副査を置くことができる。
- (3) 2017年度に「卒業論文・卒業研究Ⅰ」（3単位）を履修している場合、余剰の3単位は卒業要件に算入されないもので注意すること。

④ 卒業論文執筆要領・卒業研究実施要領

履修する研究コースの履修上の注意を熟読し、かつ主査となる教員の指導を受けること。

⑤ 卒業研究提出要領

卒業研究の研究成果を紙以外の媒体で提出する場合は、上書きできないようにプロテクトした状態のもの（例：CD-ROMもしくはDVD等）を媒体としたうえで、文書化した解説資料と媒体を封筒等に入れ、必要事項を記入した提出票（学事センター（教務）にて配付）を封筒等の表面に貼付して提出すること。

⑥ 提出

秋学期の卒業論文・卒業研究の提出要領は下記のとおりである。（春学期の提出については別に定める。指導教員に確認すること。）

- ・ 期間／時間：Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- ・ 場所：Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- ・ 執筆要領等：研究コースのページを参照すること

8. 海外短期研修について

外国語学部の開講する「海外短期研修」は次ページの5種類である。本学で開講される事前指導を含む所定のプログラムを修了し、研修に参加して所定の成果を修めた者には、所定の単位が付与される。また、これらの科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。なお、履修要件や研修内容、換算される単位数や充当先が異なるため、それぞれの注記とともに、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」やグローバル教育センターのLoyola 掲示板、また外国語学部のシラバス（講義概要）を熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ 究Ⅰ コ ー ス バ
研ラ テ ア ス リ カ コ ー ス カ
研ユ ロ コ ラ コ ー ス ア シ ア
コ 言 語 研 究
研ア 究 コ ジ ー ス ア
研中 東 ア リ カ コ ー ス カ
研国 際 政 治 ス 論
研国 際 民 力 協 会 ス 論

[海外短期研修科目]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
N99221	FEX102	STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON)	4	春	英語学科教員	1~4		注1
N99217	FEX103	STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY)	2	春	英語学科教員	1~4	○	注1
N99202	FDX301	海外短期研修 (トリア大学)	2	春	ドイツ語学科教員	3・4		注2
N99201	FFX101	海外短期研修 (パリ政治学院)	4	秋	フランス語学科教員	1~4	○	注1,注3,注4
N99218	FHX201	海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学)	2	春	イスパニア語学科教員	2~4	○	注5

- 注1 付与される単位は、「全学共通科目(選択科目)」もしくは「学科科目：その他」に充当される。
- 注2 本研修を履修できるのは、ドイツ語学科生に限られる。付与される2単位は、ドイツ語学科生の第一専攻選択科目「ドイツ語Ⅲ」に充当される。
- 注3 本研修はすべて英語のプログラムである。
- 注4 2019年3月卒業予定者は、単位付与が翌年度に行われるため、プログラムには参加可能だが、単位は認められない。
- 注5 本研修は、全学部の2~4年次生が履修できるが、希望者数が募集定員を上回った場合は、イスパニア語学科生が優先される。付与される単位は、イスパニア語学科生については、第一専攻選択科目「総合イスパニア語」または「学科科目：その他」として、それ以外の学生については、所属学科長の指導に従い、「全学共通科目(選択科目)」または学科科目に充当される。なお、イスパニア語学科生以外の学生は、出願時に次の①②のいずれかを提出すること。
- ①言語教育研究センター開講イスパニア語科目の中級レベル履修済みを証明する成績表
- ②DELE・A2以上のイスパニア語能力を証明する書類のコピーまたは本学専任教員の推薦状

9. ナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは各アルファベットが分野等、3桁の数字がレベルを示している。ナンバリングについては、共通編p.26を参照すること。

- (1) アルファベットの意味
第一専攻科目

1文字目	2文字目	3文字目
F 外国語学部開講	E 学科/英語	B 1・2年次専攻語
	D 学科/ドイツ語	G 3・4年次専攻語
	F 学科/フランス語	A 語圏研究
	H 学科/イスパニア語	E 語科教育法
	R 学科/ロシア語	X 海外短期語学講座・研修
	P 学科/ポルトガル語	Z 卒業論文・卒業研究

研究コース科目

1文字目	2文字目	3文字目
F 外国語学部開講	K 研究コース/コース共通	H 歴史学
	N 研究コース/北米	P 政治学
	U 研究コース/ヨーロッパ	F 経済学
	I 研究コース/ラテンアメリカ	S 社会学
	Y 研究コース/ロシア・ユーラシア	I 人類学
	A 研究コース/アジア	C 文化
	M 研究コース/中東・アフリカ	K 言語
	X 研究コース/国際政治論	L 文学
	C 研究コース/市民社会・国際協力論	J その他
	L 研究コース/言語	M 理論言語学 注1
		N 応用言語学 注1
		O 言語聴覚障害学 注1
		T 翻訳・通訳 注1
	X 海外短期語学講座・研修 注2	
	Z 卒業論文・卒業研究 注2	

- 注1：言語研究コース(2文字目L)の分野を表す
- 注2：全研究コース共通で使用

旧カリキュラム科目

1文字目	2文字目		3文字目	
F 外国語学部開講	L	旧カリキュラム／言語学 (副専攻)	Z	卒業論文・卒業研究
	S	旧カリキュラム／国際関係 (副専攻)		
	B	旧カリキュラム／アジア文化 (副専攻)		

注3：2015年度以降に総合グローバル学部開講に変更予定の科目は、総合グローバル学部のナンバリングと共通のものを使用している。

(2) 3桁の数字の意味

第一主専攻科目の「語圏基礎科目」	100番台
研究コース科目の「導入科目」	200番台
研究コース科目の「コア科目」	300番台
研究コース科目の「演習科目」および「卒業論文・卒業研究」	400番台

学部共通

英

語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研ヨロツバ

研ラテアスリカ

研ユロシアジア

コ言語研究

研ア究コシスア

研中東アフリカ

研国際政治論

研国市際民協社力会ス論

英語学科

〔教育研究上の目的〕

卓越した英語運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（言語学、人文・社会科学、英語圏に関する基礎知識）を修得すること。

〔人材養成の目的〕

英語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠（CEFR）における C1 相当（海外の大学で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C2 相当（C1 を超えるレベル）に到達することを目標とします。

1. 英語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動（receptive activities）に関する能力
2. 英語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動（productive activities）に関する能力
3. 英語の会話や交渉に代表される相互行為活動（interactive activities）に関する能力
4. 英語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動（mediating activities）に関する能力
5. 英語圏の歴史・政治・経済・社会・文化について、世界での位置づけおよび日本との比較を通して理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修英語科目】1・2年次において集中的に学ぶこれらのクラス群では、様々なアクティビティや論文作成を通じて、英語「で」考え、発信し、議論できる4技能におけるアカデミックな英語運用能力の向上を目指す。また、英語が公用語とされている地域の文化・社会についての知識も身につけさせる。授業は、講義、グループワーク、ペアワークなど様々な授業形態を通して多角的に展開されるが、特にプレゼンテーションを重視する科目が多く、内容豊かな事例をいかに効果的に英語で理解、発信していけるかを追求する。
2. 【第一主専攻・英語圏基礎科目】主に2年次において、英語圏に関する歴史や文化、社会、また言語そのものに関するクラスで学ぶことを通じて、英語圏に関しての基礎知識を身につけさせる。授業は、講義、グループワーク、ペアワーク、またプレゼンテーションなどを織り交ぜて多角的に展開される。
3. 【第一主専攻・英語・英語圏研究科目】1年次から4年次にかけて、学生はそれぞれの興味や関心に応じて選択して取れる科目を通じて、英語運用能力をさらに伸ばすとともに、英語や英語圏に関する知識を深化させることができる。授業は、講義、グループワーク、ペアワーク、またプレゼンテーションなどを通して多角的に展開され、参加型で思考しながら学ぶことが強調される。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修	2単位	[体育]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	[高学年向け教養科目2単位含む]

〈語学科目〉

必修科目 8単位

〈学科科目〉

第一主専攻（専攻語）科目	36単位	┌ 必修科目 16単位 └ 選択科目 20単位
第二主専攻（または副専攻）科目・その他	58単位	

合計 124単位

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (8単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)
------------	---------------------

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (16単位)	必修 (16単位)	ENGLISH SKILLS A-1 ENGLISH SKILLS A-2 ENGLISH COMPOSITION A-1 ENGLISH COMPOSITION A-2 CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1 CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2 2 1 1 2 2	ENGLISH SKILLS B-1 ENGLISH SKILLS B-2 ENGLISH COMPOSITION B-1 ENGLISH COMPOSITION B-2	2 2 1 1				
	選択 (20単位)			[英語圏基礎科目]から4単位履修すること	4				
								[英語・英語圏研究科目] ([3・4年次英語科目] も含む)から16単位履修すること (注2)	16
第二主専攻または副専攻	第二主専攻として履修する場合								
	選択 (36単位)					導入科目		6	
						コア科目		20	
						演習科目		4	
						卒業論文・卒業研究		6	
副専攻として履修する場合									
選択 (16単位)						導入科目		6	
						コア科目		10	
(注3) その他	選択 (22または42単位)	①第一主専攻 (英語) 選択科目の [英語・英語圏研究科目] ([3・4年次英語科目] も含む) ②各研究コース開講科目 (全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目 (実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(英語・英語選択科目及び必修語学科目で選択した言語を除く。上限8単位), ⑦SAIMSプログラム科目 (上限4単位, 詳細は共通編p.93参照) で充当する。						22 / 42	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧 (共通編) p.165~を参照。

(注2) [英語・英語圏研究科目] ([3・4年次英語科目] も含む)は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

学部共通

英

語

ドイツ語

フランス語

イスパニア語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研究コース

研究コース

研究コース

言語研究

研究コース

研究コース

研究国際政治論

研国市究際民協社力会ス論

16・17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※学科学科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)
---------------	--------------------

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (16単位)	必修 (16単位)	ENGLISH SKILLS A-1 ENGLISH SKILLS A-2 ENGLISH COMPOSITION A-1 ENGLISH COMPOSITION A-2 CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1 CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2 2 1 1 2 2	ENGLISH SKILLS B-1 ENGLISH SKILLS B-2 ENGLISH COMPOSITION B-1 ENGLISH COMPOSITION B-2	2 2 1 1				
	選択 (20単位)		[英語圏基礎科目]から4単位履修すること	4					
			[英語・英語圏研究科目] ([3・4年次英語科目]も含む)から16単位履修すること(注2)					16	
第二主専攻または副専攻	第二主専攻として履修する場合								
	選択 (36 40※ 単位)	導入科目						6	
		コア科目						20	
		演習科目						4(8※)	
		卒業論文・卒業研究						6	
副専攻として履修する場合									
選択 (16単位)	導入科目						6		
	コア科目						10		
その他 (注3)	は42単位 (18※ また22 単位)	①第一主専攻(英語)選択科目の[英語・英語圏研究科目]([3・4年次英語科目]も含む) ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科学目」, ⑥語学科目(英語・英語選択科目及び必修語学科目で選択した言語を除く。上限8単位), ⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位, 詳細は共通編p.93参照)で充当する。						22 (18※) /42	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165~を参照。

(注2) [英語・英語圏研究科目]([3・4年次英語科目]も含む)は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

14・15年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)
---------------	--------------------

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学 科 目	第一主専攻 必修 (16単位)	ENGLISH SKILLS A-1	2	ENGLISH SKILLS B-1	2				
		ENGLISH SKILLS A-2	2	ENGLISH SKILLS B-2	2				
		ENGLISH COMPOSITION A-1	1	ENGLISH COMPOSITION B-1	1				
		ENGLISH COMPOSITION A-2	1	ENGLISH COMPOSITION B-2	1				
		CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2						
		CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2						
	選択 (20単位)			[英語圏基礎科目]から4単位履修すること					
						[3・4年次英語科目]から8単位履修すること(注2)		8	
						[英語・英語圏研究科目]から8単位履修すること(注2)		8	
	第二主専攻または副専攻 選択 (36(40※)単位)	第二主専攻として履修する場合							
		導入科目						6	
		コア科目						20	
				演習科目		4(8※)			
				卒業論文・卒業研究		6			
選択 (16単位)	副専攻として履修する場合								
			導入科目						6
			コア科目						10
(注3) その他 42単位	選択 (18※)または (22)	①第一主専攻(英語)選択科目の[英語・英語圏研究科目]と[3・4年次英語科目], ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(英語・英語選択科目及び必修語学科目で選択した言語を除く。上限8単位), ⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位, 詳細は共通編p.93参照)で充当する。						22 (18※) /42	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165~を参照。

(注2) [3・4年次英語科目][英語・英語圏研究科目]は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

学部共通
英

ドイツ語

フランス語

イスパニア語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研究ヨロコース

研究ラテアコース

研究ユロコロシア

言語研究

研究アジア

中東アフリカ

国際政治論

研国市
究際民
コ協社
リ力会
ス論・

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」 pp.343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」 p.344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一専攻必修科目について

- (1) 1年次において「ENGLISH SKILLS A-1, A-2」(4単位)、「ENGLISH COMPOSITION A-1, A-2」(2単位)、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1, 2」(4単位)、2年次において「ENGLISH SKILLS B-1, B-2」(4単位)、「ENGLISH COMPOSITION B-1, B-2」(2単位)を履修する。
- (2) 1・2年次必修科目は、英語を読む、書く、聴く、話す基礎力をつけることを目的とするため、すべてグループ指定である。グループ分けは、入学時の英語プレースメントテストの結果によって行う。

② 第一専攻選択科目について

- (1) 2年次に、開講科目担当表の〔英語圏基礎科目〕から必要な単位数(4単位)を満たすよう履修する。
- (2) 〔3・4年次英語科目〕は、英語の更に進んだ運用能力をつけることを目的とする科目群である。開講科目担当表に記載された科目から必要な単位数(8単位)を満たすよう履修する。**(14年次生・15年次生対象) 16年次生以降については、〔英語・英語圏研究科目〕(16単位)の一部として統合される。**
- (3) 〔英語・英語圏研究科目〕は、英語や英語圏に関する知識を深化することを目的とする科目群である。開講科目担当表に記載された科目から指定単位数**(14年次生・15年次生は8単位、16年次生以降は16単位)**を履修する。履修可能年次が科目ごとに異なるため、開講科目担当表で確認すること。
- (4) 履修にあたってのその他の注意
 1. 1・2年次「英語必修科目」(16単位)、2年次〔英語圏基礎科目〕(4単位)は、いずれも定められた単位を超えて修得しても卒業単位数に充当することはできない。
 2. **14年次生・15年次生は**、〔英語・英語圏研究科目〕(8単位)、〔3・4年次英語科目〕(8単位)を指定された要件以上に修得した場合、すべて「学科科目：その他」に充当する。
 3. **16年次生以降は**、〔英語・英語圏研究科目〕(〔3・4年次英語科目〕も含まれる)(16単位)を指定された要件以上に修得した場合、すべて「学科科目：その他」に充当する。
 4. 言語教育研究センターの英語及び英語選択科目を履修しても、卒業に必要な単位としては、認められない。

③ 第二専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

④ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二主専攻または副専攻が必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。

⑤ 時間割について

以下の「開講科目担当表」において備考欄に(コ)のある科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。それ以外の科目の開講曜日・時限については、「英語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 専攻語(英語)以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」は必修である。履修要覧(共通編) p.168～を参照し、専攻語(英語)以外の指定された言語の中から1つの言語を選択して8単位履修すること。8単位は全て同一の言語でなければならない。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがって英語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語(英語)以外にもう1つ、または複数の外国語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 標準配当表「語学科目」での必修8単位に加え、さらに専攻語(英語)以外の語学科目を履修し、「全学共通科目」の選択科目として8単位まで充当することができる。履修できる科目は履修要覧(共通編) p.169～を参照すること。なお、標準配当表「語学科目」で選択したものと同一言語を履修することもできる。
- (2) 上記(1)とは別に、学科が指定する言語(英語及び必修語学科目で選択した言語以外)の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目:その他」に8単位まで充当することができる。履修できる科目は履修要覧(共通編) p.169～を参照すること。

⑦ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、英語学科学生が参加できる研修は以下の3種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、上智大学の卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず履修要覧(共通編) p.146～を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにグローバル教育センターのホームページを参照すること。

- ・STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON)
- ・STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY)
- ・海外短期研修(パリ政治学院)

⑧ 英語学科「第一主専攻選択科目」と各研究コース「コア科目」のクロスリスティング(重複開講)について

英語学科「第一主専攻選択科目」の一部は研究コース「コア科目」としても開講されている。それらの科目を「第一主専攻選択科目」として履修するか「コア科目」として履修するか、どちらかを選ばなくてはならない。同一の科目を「第一主専攻選択科目」と「コア科目」の両方に算入することは出来ない。「第一主専攻選択科目」のどの科目が「コア科目」として開講されているかについては、開講科目表の備考欄の注記を参照のこと。

⑨ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一主専攻必修科目〕※英語学科生のみ履修可

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	520011	FEB101	ENGLISH SKILLS A-1	2	春	JACQUES Michael	1	○	Aグループ
						MORRELL Audrey			Bグループ
						EDWARDS Susan			Cグループ
						坂本光代			Dグループ
						OKIMOTO Kenneth			Eグループ
						MORRELL Audrey			Fグループ
						FURUKAWA Gavin			Gグループ
						OKIMOTO Kenneth			Hグループ
	520021	FEB102	ENGLISH SKILLS A-2	2	秋	JACQUES Michael	1	○	Aグループ
						MORRELL Audrey			Bグループ
						EDWARDS Susan			Cグループ
						坂本光代			Dグループ
						OKIMOTO Kenneth			Eグループ
						MORRELL Audrey			Fグループ
						FURUKAWA Gavin			Gグループ
						OKIMOTO Kenneth			Hグループ
	520111	FEA101	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	1	○	ABグループ
						MACINTYRE Robert			CDグループ
						ISHERWOOD Christopher			EFグループ
						KAUFMAN Marc			GHグループ
	520121	FEA102	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	1	○	ABグループ
						MACINTYRE Robert			CDグループ
						ISHERWOOD Christopher			EFグループ
						KAUFMAN Marc			GHグループ
	504011	FEB111	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	春	MORRELL Audrey	1	○	Aグループ
						KAUFMAN Marc			Bグループ
						FURUKAWA Gavin			Cグループ
						KAUFMAN Marc			Dグループ
WILLIAMS Laurence						Eグループ			
WILLIAMS Laurence						Fグループ			
MORRELL Audrey						Gグループ			
ISHERWOOD Christopher						Hグループ			
504012	FEB112	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	秋	MORRELL Audrey	1	○	Aグループ	
					KAUFMAN Marc			Bグループ	
					FURUKAWA Gavin			Cグループ	
					KAUFMAN Marc			Dグループ	
					WILLIAMS Laurence			Eグループ	
					WILLIAMS Laurence			Fグループ	
					MORRELL Audrey			Gグループ	
					ISHERWOOD Christopher			Hグループ	
520211	FEB201	ENGLISH SKILLS B-1	2	春	ISHERWOOD Christopher	2	○	Aグループ	
					WILLIAMS Laurence			Bグループ	
					WILLIAMS John			Cグループ	
					EDWARDS Susan			Dグループ	
					小川公代			Eグループ	
					FURUKAWA Gavin			Fグループ	
					石井紀子			Gグループ	
					大塚祐子			Hグループ	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	520221	FEB202	ENGLISH SKILLS B-2	2	秋	ISHERWOOD Christopher	2	○	Aグループ
						WILLIAMS Laurence			Bグループ
						WILLIAMS John			Cグループ
						EDWARDS Susan			Dグループ
						小川公代			Eグループ
						FURUKAWA Gavin			Fグループ
						石井紀子			Gグループ
						大塚祐子			Hグループ
	504021	FEB211	ENGLISH COMPOSITION B-1	1	春	MACINTYRE Robert	2	○	Aグループ
						MACINTYRE Robert			Bグループ
						EDWARDS Susan			Cグループ
						小塩和人			Dグループ
						ISHERWOOD Christopher			Eグループ
						大塚祐子			Fグループ
						北原真冬			Gグループ
						北原真冬			Hグループ
	504031	FEB212	ENGLISH COMPOSITION B-2	1	秋	MACINTYRE Robert	2	○	Aグループ
						MACINTYRE Robert			Bグループ
						EDWARDS Susan			Cグループ
						小塩和人			Dグループ
						ISHERWOOD Christopher			Eグループ
						大塚祐子			Fグループ
						北原真冬			Gグループ
						北原真冬			Hグループ

学科科目〔第一主専攻選択科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔英語圏基礎科目〕								
	521257	FEA121	AMERICAN STUDIES 1	2	春	石井紀子	2	○	注7
	521258	FEA122	AMERICAN STUDIES 2	2	秋	石井紀子	2	○	注7
	521275	FEA131	MIGRATION STUDIES	2	休講	飯島真里子	2	○	注7,旧「Asia-Pacific Studies 1」
	521274	FEA141	THEORETICAL PERSPECTIVES ON LITERATURE	2	春	小川公代	2	○	[80名], 注7,旧「Theoretical Perspectives on Literature 1」
	521261	FEA151	英文学講読	4	春	東郷公德	2		[50名], 注7
	521278	FEA177	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 1	2	春	北原真冬	2	○	[66名], 注7, 旧「ENGLISH LINGUISTICS 1」
	521279	FEA178	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 2	2	休講	北原真冬	2	○	注7,旧「ENGLISH LINGUISTICS 2」
	522901	FEA123	TOPICS IN LINGUISTICS 1	2	休講	大塚祐子	2	○	注7
	522902	FEA124	TOPICS IN LINGUISTICS 2	2	秋	大塚祐子	2	○	[60名], 注7
	〔英語・英語圏研究科目〕								
	501269	FEA196	INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	秋	吉田研作	1・2	○	[200名]
	501267	FEA176	シェイクスピア入門	4	春	東郷公德	1~4		[200名]

学部共通
英

ドイツ語

フランス語

イスパニア語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研究ヨロックスバ

研究ラテアスカ

研究ユロシコシア

言語研究

研究アソシア

研究中東アソシア

研究国際政治論

研国市
究際民
コ協社
力会
ス論

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	501300	FEA156	SKILLS FOR STUDY ABROAD 1	2	春	EDWARDS Susan	1~4	○	[30名],注10
	501301	FEA157	SKILLS FOR STUDY ABROAD 2	2	秋	EDWARDS Susan	1~4	○	[30名],注10
	501304	FEA186	DEBATE IN BUSINESS ENGLISH 1	2	休講		1~4	○	
	501305	FEA187	DEBATE IN BUSINESS ENGLISH 2	2	休講		1~4	○	
	690147	FNP321	THE U.S. IN INTERNATIONAL RELATIONS OF ASIA-PACIFIC	2	春	*佐 橋 亮	2~4	○	注4,注6,(コ)
	501381	FUH381	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 1	2	春	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名],(コ)
	501382	FUH382	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 2	2	秋	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名],(コ)
	501291	FAJ303	(重) INDIAN SOCIETY	4	休講		2~4	○	注6,(コ)
	501360	FEA341	SOCIAL VIOLENCE 1	2	春	ISHERWOOD Christopher	2~4	○	[80名]
	501361	FEA342	SOCIAL VIOLENCE 2	2	秋	ISHERWOOD Christopher	2~4	○	[80名]
	505400	FEA301	英語と社会1	2	春	コーディネータ 東 郷 公 徳	2~4		輪講
	505410	FEA302	英語と社会2	2	秋	コーディネータ 東 郷 公 徳	2~4		輪講
	523301	FEA301	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 1	2	春	EDWARDS Susan	2~4	○	注3,旧「ART AND COMMONWEALTH CULTURE 1」, (コ)
	523302	FEA302	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 2	2	秋	EDWARDS Susan	2~4	○	注3,旧「ART AND COMMONWEALTH CULTURE 2」, (コ)
	501338	FNC301	(隔) PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	休講	出 口 真紀子	2~4	○	注4,(コ)
	501340	FNC311	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	休講	出 口 真紀子	2~4	○	注4,注5,注12,(コ)
	501341	FNC312	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	休講	出 口 真紀子	2~4	○	注4,注5,注12,(コ)
	501295	FLN305	(重) INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	注5,(コ)
	501296	FLN306	(隔) (重) INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	注5,(コ)
	501379	FEA327	HUMANS, ANIMALS AND NATURE	2	春	MORRELL Audrey	2~4	○	注7
	501380	FEA328	ANIMALS AND SOCIETY	2	秋	MORRELL Audrey	2~4	○	
	501318	FNH321	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	春	石 井 紀 子	2~4	○	注4,(コ)
	501319	FNH322	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	秋	石 井 紀 子	2~4	○	注4,(コ)
	501286	FNH351	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	注4,注6,(コ)
	501287	FNH352	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	注4,注6,(コ)
	501356	FUC361	EUROPEAN CINEMA 1	2	春	WILLIAMS John	2~4	○	[50名],注3,旧「Contemporary European Cinema」,(コ)
	501357	FUC362	(隔) (重) EUROPEAN CINEMA 2	2	秋	WILLIAMS John	2~4	○	[50名],注3,旧「Contemporary European Cinema」,(コ)
	501354	FUS321	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	春	小 川 公 代	2~4	○	[80名],注3,旧「British Society and Literature 1」,(コ)
	501355	FUS322	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	秋	小 川 公 代	2~4	○	[80名],注3,旧「British Society and Literature 2」,(コ)
	501352	FEA321	FILM STUDIES 1	2	春	WILLIAMS John	2~4	○	[40名]
	501353	FEA322	FILM STUDIES 2	2	秋	WILLIAMS John	2~4	○	[40名]
	501280	FLN307	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	春	坂 本 光 代	3・4	○	(40名),注4,注5,注 13,(コ)
	501281	FLN308	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	秋	坂 本 光 代	3・4	○	(40名),注4,注5,注 13,(コ)
	501329	FEA337	(重) AUSTRALIAN SOCIETY 1	2	春	JACQUES Michael	3・4	○	注9
	501330	FEA338	(重) AUSTRALIAN SOCIETY 2	2	秋	JACQUES Michael	3・4	○	注9
	501336	FEA401	(重) SEMINAR(AUSTRALIAN STUDIES) 1	2	春	JACQUES Michael	3・4	○	注1,注11

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選 択 科 目	501337	FEA402	(重) SEMINAR (AUSTRALIAN STUDIES) 2	2	秋	JACQUES Michael	3・4	○	注8, 注11	
	501322	FNC411	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 1	2	春	OKIMOTO Kenneth	3・4	○	注4, (コ)	
	501323	FNC412	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 2	2	秋	OKIMOTO Kenneth	3・4	○	注4, (コ)	
	[3・4年次英語科目] ※16年次生以降については、[英語・英語圏研究科目]に含まれる。									
	501242	FEG301	ENGLISH CONVERSATION A	2	春	大塚 裕子	3・4	○	[30名]	
	501243	FEG311	ENGLISH CONVERSATION B	2	秋	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]	
	501258	FEG303	INTRODUCTION TO TRANSLATION	4	秋	*田 辺 希久子	3・4	○	[30名]	
	501244	FEG304	(重) FILM PRODUCTION	4	休講	WILLIAMS John	3・4	○		
	501248	FEG307	PRESENTATION SKILLS 1	2	春	KAUFMAN Marc	3・4	○	[70名]	
	501249	FEG308	PRESENTATION SKILLS 2	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[40名]	
	501245	FEG309	ACADEMIC WRITING 1	2	春	FURUKAWA Gavin	3・4	○	[30名]	
	501246	FEG310	ACADEMIC WRITING 2	2	秋	FURUKAWA Gavin	3・4	○	[30名]	
	501092	FEG313	CREATIVE WRITING 1	2	春	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]	
	501093	FEG314	CREATIVE WRITING 2	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]	
	501250	FEG315	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 1	2	春	WILLIAMS John	3・4	○	[40名]	
	501251	FEG316	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 2	2	秋	WILLIAMS John	3・4	○	[40名]	
	523001	FEG317	READING SKILLS A	2	春	小 塩 和 人	3・4	○	[30名], 旧「READING SKILLS 1」	
	523002	FEG318	READING SKILLS B	2	秋	小 塩 和 人	3・4	○	[30名], 旧「READING SKILLS 2」	
	523003	FEG333	READING SKILLS C	2	春	小 川 公 代	3・4	○	[70名]	
	523004	FEG334	READING SKILLS D	2	秋	小 川 公 代	3・4	○	[70名]	
	501106	FEG321	DISCUSSION AND DEBATE 1	2	春	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]	
	501107	FEG322	DISCUSSION AND DEBATE 2	2	秋	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]	
	501256	FEG323	BUSINESS COMMUNICATION 1	2	春	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名], 注9	
	501257	FEG324	BUSINESS COMMUNICATION 2	2	秋	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名], 注9	
	501254	FEG325	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 1	2	春	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名], 注9	
	501255	FEG326	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 2	2	秋	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名], 注9	
	501350	FEG327	VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 1	2	休講		3・4	○		
	501351	FEG328	VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 2	2	休講		3・4	○		
	522800	FEG332	GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[45名]	
	099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	春	丸 山 英 樹		○	(他) グローバル教育センター, [50名]	
099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	秋	丸 山 英 樹		○	(他) グローバル教育センター, [50名]		
099471	GCR238	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2	春	東 大 作		○	(他) グローバル教育センター, [100名]		

 学
部
共
通
英
語

 ド
イ
ツ
語

 フ
ラ
ン
ス
語

 イ
ス
パ
ニ
ア
語

 ロ
シ
ア
語

 ポ
ル
ト
ガ
ル
語

 コ
北
米
研
究

 研
究
1
ロ
ッ
ス
バ

 研
究
ラ
テ
ア
ム
ス
カ
コ
ー
ス

 研
究
1
コ
ラ
シ
ア
ス
パ
ニ
ア

 コ
言
語
1
研
究

 研
究
ア
ジ
ア

 研
究
中
東
ア
リ
ス
カ

 研
究
国
際
政
治
ス
論

 研
究
国
際
民
間
協
力
会
ス
論

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	099472	GCR239	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	秋	東 大 作		○	(他) グローバル教育セ ンター, [100名]	
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	春	東 大 作		○	(他) グローバル教育セ ンター, [120名]	
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	秋	東 大 作		○	(他) グローバル教育セ ンター, [120名]	
	099759	GFC302	CATHOLIC SOCIAL THOUGHT AND THE CATHOLIC CHURCH TODAY	2	秋	POLITO Michael		○	(他) グローバル教育セ ンター, [60名]	
	099741	GCR311	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY	2	春	伊 藤 毅		○	(他) グローバル教育セ ンター, [100名], LAP科目	
	099742	GCR312	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT	2	秋	浦 元 義 照		○	(他) グローバル教育セ ンター, [100名], LAP科目	
	ART201	ART201	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 1	4	春	HAYASHI Michio	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	ART250	ART250	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 2	4	秋	MURAI Noriko	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	LIT201	LIT201	LITERARY GENRES	4	秋	KONO Shion	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	LIT231	LIT231	INTRODUCTION TO JAPANESE LITERATURE	4	春	YIU Angela	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	RPH201	RPH201	INTRODUCTION TO PHILOSOPHY	4	春	ROBOUAM Thierry	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	IBE200	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	春	ASANO Akihito	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	IBE200	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	秋	STAFF	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	IBE201	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	春	ISAKA Naoto	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	IBE201	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	秋	KOSAKA Michiru	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	ANT202	ANT202	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	春	FAHY Sandra	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	ANT304	ANT304	TECHNOLOGY AND NATURE IN JAPAN	2	休講	WATANABE Takehiro	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	SOC201	SOC201	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	秋	WANK David	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	HST251	HST251	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 1	4	秋	GRAMLICH-OKA Bettina	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	HST252	HST252	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 2	4	春	SAALER Sven	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	POL201	POL201	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	秋	IONESCU Magdalena	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	POL205	POL205	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	春	ANNO Tadashi	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	POL210	POL210	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	休講	ITO Takeshi	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注2	
	[教職科目]									
	501259	FEE201	英語科教育法A	2	春	渡 部 良 典	2~4			注5
	501375	FEE205	METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	春	佐 藤 敬 典	2~4	○		注5, 旧「英語科教育法B」
	501261	FEE203	METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	春	和 泉 伸 一	2~4	○		[36名], 注5

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501349	FEE204	METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	秋	MACINTYRE Robert	2～4	○	[40名], 注5
	501376	FEE208	METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	秋	逸見シャンタル	2～4	○	[30名], 注5, 旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E(4単位)」

(コ) : この科目の開講曜日・時限については, Loyola の「外国語学部コース科目」の時間割を参照すること。

- 注1 : 「AUSTRALIAN SOCIETY 1」を履修した, もしくは履修している英語学科3・4年次生のみ履修可。
注2 : 国際教養学部の科目を履修する場合には, 学事センターの指示に従い, 所定の手続きをふむこと。
注3 : ヨーロッパ研究コースとのクロスリスティング科目
注4 : 北米研究コースとのクロスリスティング科目
注5 : 言語研究コースとのクロスリスティング科目
注6 : アジア研究コースとのクロスリスティング科目
注7 : 英語学科2年次生以上のみ履修可。
注8 : 「AUSTRALIAN SOCIETY 1」もしくは「AUSTRALIAN SOCIETY 2」を履修した英語学科3・4年次生のみ履修可。
注9 : 英語学科3・4年次生のみ履修可。
注10 : 英語学科生のみ履修可。
注11 : 各研究コースの演習科目にはならない。
注12 : 2017年次生以降の学生が履修する場合は, 言語研究コース科目にはならない。
注13 : 初回授業で授業内抽選が行われる。

} p.353 の⑧を参照すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロップコース
研ラテンアメリカ
研ユロップ
研ロシア
研言語研究
研アジア
研中東
研国際政治
研国際協力

ドイツ語学科

〔教育研究上の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ドイツ語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠 (CEFR) における B2 相当 (海外の大学で学べるレベル) に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C1 相当 (海外の大学院で学べるレベル) に到達することを目標とします。

1. ドイツ語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動(receptive activities)に関する能力
2. ドイツ語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動(productive activities)に関する能力
3. ドイツ語の会話や交渉に代表される相互行為活動(interactive activities)に関する能力
4. ドイツ語の通訳・翻訳などに代表される仲介(mediating activities)活動に関する能力
5. ドイツ語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）】1・2年次では、文法・読解を中心とする講義・演習形式の授業と、複数のネイティブスピーカーの教員と日本人教員が連携して「聞く、話す、読む、書く」の4技能をペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションなどを含む実践的練習によって伸ばす授業を通して、ドイツ語の基礎的運用能力の修得を目指す。コミュニケーションの授業においては、教員の授業における使用言語も主にドイツ語である。いずれの授業においても、能動的な授業参画が前提であり、授業中および授業外における主体的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（ドイツ語Ⅲ・専門読解準備コース）】1・2年次で修得したドイツ語の基礎学力を用いて、3・4年次では、実践的に語学力を運用する高度なスキルを学ぶ。口頭表現と聴解演習からなるドイツ語Ⅲでは、授業は主にドイツ語で進められ、ペアやグループでのコミュニケーションやプレゼンテーション、聴解能力を高める聞き取りや書き取りなど、多様な形式で学ばせる。また専門読解準備コースでは、言語、思想・文化、政治・社会の3領域について、より高度な内容の文献講読を通して、専門的な内容の読解をする力を身につけさせる。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目（ドイツ語圏研究）】1・2年次において、ドイツ語圏における歴史・政治・経済・社会・文化・言語など、ドイツ語を基盤として今後ドイツ語圏について学んでいくための基礎的知識を身につけることを目指す。また、文献検索やレポート作成などの基礎的な学術能力を身につけさせる。主に在外履修をはじめ留学に行く学生向けに、ドイツ語圏での生活や大学での学びのための準備も行う。授業では講義の他、グループワークやプレゼンテーションなども実施される。
4. 【在外履修に伴う履修科目】基礎ドイツ語Ⅱとドイツ語圏研究の一部およびドイツ語Ⅲは、2年次秋学期におけるドイツ語圏の協定校での在外履修によって、修得することができる。また在外履修や交換留学から帰国した学生は、学部の研究コース科目のうち、学科が「日独比較研究」科目として指定する科目（通訳・翻訳を含む）を履修し、ドイツ語圏からの留学生と共に学ぶことで、異文化間コミュニケーション能力を高めるとともに、各分野の比較研究を深める。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修 2単位 [体 育]
 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
 選 択 20単位 [高学年向け教養科目2単位含む]

〈語学科目〉

必修 4単位

〈学科科目〉

第一主専攻（専攻語）科目	40単位	{ 必修科目 32単位 〔 選択科目 8単位
--------------	------	---------------------------

第二主専攻（または副専攻）科目・その他54単位

合計 124単位

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 コ ロ ッ ス バ
研 究 ラ テ ン ア メ リ カ
研 究 ユ ロ シ ア コ ラ ス ア
コ 言 語 研 究
研 究 ア ジ ア
研 究 中 東 ア リ カ
研 究 国 際 政 治 学
研 究 国 際 社 会 学

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻 (32単位) 必修	基礎ドイツ語 I a-1	2	基礎ドイツ語 II a-1	2				
	基礎ドイツ語 I a-2	2	基礎ドイツ語 II a-2	2				
	基礎ドイツ語 I b-1	4	基礎ドイツ語 II b-1	6				
	基礎ドイツ語 I b-2	4	基礎ドイツ語 II b-2	2				
	ドイツ語圏研究A	2	ドイツ語圏研究C	2				
	ドイツ語圏研究B	2	ドイツ語圏研究D	2				
選択 (8単位)					選択科目「ドイツ語Ⅲ」の表現・聴解それぞれから2科目2単位を履修すること。		4	
					「専門読解準備コース」から履修する。		4	
第二主専攻または副専攻 (36単位) 選択	第二主専攻として履修する場合							
	導入科目							6
	コア科目					20		
	演習科目					4		
						卒業論文・卒業研究		
						6		
選択 (16単位)	副専攻として履修する場合							
	導入科目							6
コア科目					10			
その他 (注2) (18または38単位) 選択	①第一主専攻選択科目(ドイツ語Ⅲ, 専門読解準備コース), ②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く), ③各研究コース(自身で選択した研究コース以外のコースも含む)開講科目(全学共通科目を除く), ④コース共通導入科目, ⑤課程科目(実習を除く), ⑥外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑦語学科目(ドイツ語を除く。上限8単位), ⑧在外履修期間終了直前の春期休暇中の語学集中コースで取得した単位(最大2単位)で充当する。							18/38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165~を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (32単位) 必修	基礎ドイツ語 I a-1	2	基礎ドイツ語 II a-1	2					
	基礎ドイツ語 I a-2	2	基礎ドイツ語 II a-2	2					
	基礎ドイツ語 I b-1	4	基礎ドイツ語 II b-1	6					
	基礎ドイツ語 I b-2	4	基礎ドイツ語 II b-2	2					
	ドイツ語圏研究A	2	ドイツ語圏研究C	2					
	ドイツ語圏研究B	2	ドイツ語圏研究D	2					
	選択 (8単位)					選択科目「ドイツ語Ⅲ」の表現・聴解それぞれから2科目2単位を履修すること。(注3)		4	
					「専門読解準備コース」から履修する。		4		
第二主専攻または副専攻 (どちらかを選択) (36(40)※単位) 選択	第二主専攻として履修する場合								
	導入科目								6
	コア科目								20
	演習科目								4(8)※
	卒業論文・卒業研究								6
選択 (16単位)	副専攻として履修する場合								
	導入科目								6
コア科目								10	
その他(注2) (18(14)※または38単位) 選択	①第一主専攻選択科目(ドイツ語Ⅲ, 専門読解準備コース), ②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く), ③各研究コース(自身で選択した研究コース以外のコースも含む)開講科目(全学共通科目を除く), ④コース共通導入科目, ⑤課程科目(実習を除く), ⑥外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑦語学科目(ドイツ語を除く。上限8単位), ⑧在外履修期間終了直前の春期休暇中の語学集中コースで取得した単位(最大2単位)で充当する。							18(14)※ /38	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165～を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

注3 2018年度より「口頭表現」は「表現」に科目名変更。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究Ⅰ ロシアコース
研究Ⅱ アジアコース
研究Ⅲ ロシア・アジアコース
言語研究
研究Ⅳ アジアコース
中東・アフリカ研究
国際政治論
研国市 究際民 コ協社 リ力会 ス論・ ス論

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」pp.343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一専攻必修科目について

- (1) 本学科開講の必修および選択科目は、原則として指定年次に履修すること。
- (2) 1・2年次必修のドイツ語文法クラスは次の順に履修すること。
「基礎ドイツ語Ⅰa-1」→「基礎ドイツ語Ⅰa-2」→「基礎ドイツ語Ⅱa-1」→「基礎ドイツ語Ⅱa-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。また、連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する(学則40条)。なお、「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅱa-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
- (3) 1・2年次必修のドイツ語コミュニケーションクラスは次の順に履修すること。
「基礎ドイツ語Ⅰb-1」→「基礎ドイツ語Ⅰb-2」→「基礎ドイツ語Ⅱb-1」→「基礎ドイツ語Ⅱb-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。また、連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する(学則40条)。なお、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」、「基礎ドイツ語Ⅱb-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
- (4) 「基礎ドイツ語Ⅱa-2」および「基礎ドイツ語Ⅱb-2」の単位を未修得の者は、「ドイツ語Ⅲ」と「専門読解準備コース」を履修することはできない。
- (5) 必修の〔ドイツ語圏基礎科目〕群のうち「ドイツ語圏研究A」と「ドイツ語圏研究B」は1年次で、「ドイツ語圏研究C」と「ドイツ語圏研究D」は2年次で履修すること。単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修しなければならない。
- (6) ドイツ語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
- (7) 学則40条に基づき、連続する2年間において、学科が各年次に指定する科目を修得できなかった場合は、退学となる。学科が指定する科目とは以下のものを指す。
○1年次：「基礎ドイツ語Ⅰa-1」「基礎ドイツ語Ⅰa-2」(各2単位)
 「基礎ドイツ語Ⅰb-1」「基礎ドイツ語Ⅰb-2」(各4単位)
○2年次：「基礎ドイツ語Ⅱa-1」「基礎ドイツ語Ⅱa-2」(各2単位)
 「基礎ドイツ語Ⅱb-1」(6単位)「基礎ドイツ語Ⅱb-2」(2単位)

② 第一専攻選択科目について

- (1) 「ドイツ語Ⅲ」の4単位は、「表現」2単位と「聴解」2単位を修得すること(各科目の1, 2を続けて履修することが望ましい。例：表現A-1, 表現A-2)。
- (2) 「専門読解準備コース」は、開講されている科目の中から2科目4単位を修得すること。ただし、原則として同じ学期に2科目以上の「専門読解準備コース」を履修することはできない。
- (3) 「ドイツ語Ⅲ」と「専門読解準備コース」の修得単位の余剰分は、「学科科目：その他」の単位として充当する。

③ ドイツ語学科の「在外履修」について

- (1) 「在外履修」とは、全学的に実施されている従来の交換留学・一般留学に加え、ドイツ語学科独自に設定した交換留学制度である。2014年度入学生より(2)および(3)の条件を満たしたドイツ語学科生は、在外履修交換留学協定のあるドイツ語圏の大学で在外履修を行うことができる。
- (2) 在外履修の条件は、原則として「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」の成績が「C」以上であり、かつ「基礎ドイツ語Ⅱa-1」、「基礎ドイツ語Ⅱb-1」を修得していることである。
- (3) 在外履修を開始するまでに「ドイツ語圏研究A」「ドイツ語圏研究B」「ドイツ語圏研究C」のうち、最低2科目を修得すること。2015年次生以降は修得していることが在外履修の必須条件となる。
- (4) 在外履修希望者には「基礎ドイツ語Ⅰa」、「基礎ドイツ語Ⅰb」の成績および面接試験の結果をもとに留学先を決定する。
- (5) 在外履修は1学期間(原則として2年次秋学期)とする。
- (6) 在外履修期間の単位換算：留学先の大学でドイツ語の授業を受講することで10単位を一括して換算することができる。
充当科目名：
「基礎ドイツ語Ⅱa-2(在外履修)」(2単位)
「基礎ドイツ語Ⅱb-2(在外履修)」(2単位)

「ドイツ語圏研究D（在外履修）」(2単位)

「表現（在外履修）」(2単位)

「聴解（在外履修）」(2単位)

2年次秋学期履修登録期間に以上の科目を忘れずに履修登録すること。10単位の成績評価は、在外履修終了時期に実施するドイツ語の試験により確定する。また在外履修期間終了直前の春休み中に語学集中コースを受講し、そこで修得した単位は、2単位まで「学科科目：その他」に充当することができる（在外履修開始直前の夏休みに受講した語学集中コースは充当不可）。

- (7) (6)の単位とは別に、在外期間中に修得した科目の単位は、2単位まで「第二主専攻または副専攻」あるいは「学科科目：その他」に充当することができる。
- (8) 在外履修で取得した単位の認定は帰国後に行い、第一主専攻科目についてはドイツ語学科で認定し、第二主専攻および副専攻科目については、ドイツ語学科と該当するコースの主任により認定する。
- (9) 在外履修期間中に履修を中止して途中帰国した学科生には、原則として四谷キャンパスに在籍中の学科生と同等の試験などを課して成績評価をする。
- (10) 在外履修や従来からの交換留学から帰国した学科生は、原則として、学科が「日独比較研究」科目として指定する以下の科目群から最低4単位履修すること。これらの科目は「言語研究コース」、「ヨーロッパ研究コース」、「国際政治論研究コース」、「市民社会・国際協力論研究コース」で開講されているので、詳しくは各研究コースの開講科目担当表を参照すること。

科目コード	ナンバリング	開講期	科目名	担当者	各研究コース名
534623	FLT302	休講	独日翻訳入門A	浅見昇吾	言語研究コース
534624	FLT303	休講	独日翻訳入門B	浅見昇吾	言語研究コース
537215	FLM431	休講	演習（日独音声学・音韻論）1		言語研究コース
537216	FLM432	休講	演習（日独音声学・音韻論）2		言語研究コース
530530	FLM451	春	演習（語の意味と語法）1	高橋亮介	言語研究コース
530540	FLM452	秋	演習（語の意味と語法）2	高橋亮介	言語研究コース
530570	FLN431	春	演習（応用言語学・日本におけるドイツ語教育）1	LIPSKY Angela	言語研究コース
530580	FLN432	秋	演習（応用言語学・日本におけるドイツ語教育）2	LIPSKY Angela	言語研究コース
538701	FLN319	春	異文化間コミュニケーション1	*米山かおる	言語研究コース
538702	FLN320	秋	異文化間コミュニケーション2	*米山かおる	言語研究コース
537207	FUS411	春	演習（日独社会研究）1	木村護郎クリストフ	ヨーロッパ研究コース、市民社会・国際協力論研究コース
537208	FUS412	秋	演習（日独社会研究）2	木村護郎クリストフ	ヨーロッパ研究コース、市民社会・国際協力論研究コース
537211	FUC423	休講	演習（比較文化論）1	オペヒュルス鹿島ライノルト	ヨーロッパ研究コース
537212	FUC424	秋	演習（比較文化論）2	オペヒュルス鹿島ライノルト	ヨーロッパ研究コース
537213	FUP401	春	演習（日独比較政治）1	河崎健	ヨーロッパ研究コース、国際政治論研究コース
537214	FUP402	秋	演習（日独比較政治）2	河崎健	ヨーロッパ研究コース、国際政治論研究コース
539304	FUF301	秋	日独経済比較研究	*芳賀和恵	ヨーロッパ研究コース
539306	FUS311	秋	日独環境比較研究	*HITZER Eckhard	ヨーロッパ研究コース
539309	FLN361	秋	多言語社会としての日本とドイツ	COULMAS Florian	言語研究コース、ヨーロッパ研究コース

- (11) 在外履修で指定されている科目10単位（上記（6）参照）を修得済みであることを条件に、従来型の交換留学をすることが可能である（一般・休学留学の場合には在外履修が必須条件ではない。またドイツ語既習者などの飛び級生は在外履修なしで交換留学が可能である。）ただし、在外履修と交換留学もしくは一般留学とを合わせた期間は一年半を上限とする。交換留学もしくは一般留学(休学留学を除く)で修得した単位は、在外履修で換算した単位とは別に、30単位まで換算することができる。

学部
共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
コ
北
米
研
究
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
ラ
テ
ン
ア
ム
リ
カ
研
究
ユ
ロ
ッ
パ
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
コ
言
語
研
究
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
中
東
ア
リ
ア
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
研
究
イ
ン
タ
ー
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス

④ 第二専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

⑤ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。

⑥ 時間割について

以下の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「ドイツ語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑦ 専攻語(ドイツ語)以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってドイツ語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語(ドイツ語)以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は履修要覧(共通編) p.169～を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
- (2) 上記(1)とは別に、学科が指定する言語(ドイツ語以外)の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記(1)で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は履修要覧(共通編) p.169を参照すること。

⑧ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、ドイツ語学科学生が参加できる研修は以下の4種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず履修要覧(共通編) p.146～を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにグローバル教育センターのホームページを参照すること。

- ・ Study Abroad (SOAS, University of London)
- ・ Study Abroad (Oxford University)
- ・ 海外短期研修(トリア大学)
- ・ 海外短期研修(パリ政治学院)

⑨ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一専攻必修科目〕注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	530611	FDB101	基礎ドイツ語 I a-1	2	春	浅見昇吾	1		
	530616	FDB102	基礎ドイツ語 I a-2	2	秋	浅見昇吾	1		
	530612	FDB111	基礎ドイツ語 I b-1	4	春	LIPSKY Angela	1	aクラス	
						川名真矢		aクラス	
						高橋由美子		aクラス	
						*PFEIFER Matthias		aクラス	
						木村護郎クリストフ		bクラス	
						河崎健		bクラス	
						*新倉真矢子		bクラス	
						*WITTIG Matthias		bクラス	
						*猪刈由紀		cクラス	
						LIPSKY Angela		cクラス	
						木村護郎クリストフ		cクラス	
						川名真矢		cクラス	
	530617	FDB112	基礎ドイツ語 I b-2	4	秋	LIPSKY Angela	1	aクラス	
						川名真矢		aクラス	
						NIEWALDA Katrin		aクラス	
						*PFEIFER Matthias		aクラス	
						木村護郎クリストフ		bクラス	
						NIEWALDA Katrin		bクラス	
						*新倉真矢子		bクラス	
						NIEWALDA Katrin		bクラス	
						*猪刈由紀		cクラス	
						LIPSKY Angela		cクラス	
						木村護郎クリストフ		cクラス	
						*WITTIG Matthias		cクラス	
	530721	FDB201	基礎ドイツ語 II a-1	2	春	高橋亮介	2		
	530726	FDB202	基礎ドイツ語 II a-2	2	秋	高橋由美子 高橋亮介	2		
	530732	FDB202	基礎ドイツ語 II a-2 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○注3	
530730	FDB213	基礎ドイツ語 II b-1	6	春	河崎健	2	aクラス		
					川名真矢		aクラス		
					浅見昇吾		aクラス		
					*藤沢 David		aクラス		
					*PFEIFER Matthias		aクラス		
					*PFEIFER Matthias		aクラス		
					*水野真紀子		bクラス		
					高橋由美子		bクラス		
					LIPSKY Angela		bクラス		
					*小笠原藤子		bクラス		
					川名真矢		bクラス		
					CONSTANTINESCU Cezar		bクラス		
					*HEIN Patrick		cクラス		
					CONSTANTINESCU Cezar		cクラス		
					河崎健		cクラス		
					*猪刈由紀		cクラス		
					*WITTIG Matthias		cクラス		
					*WITTIG Matthias		cクラス		

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北一研究
研ヨ一ロツバ
研ラテアス
研コ一ス
研ユ一シ
研コ一シ
言語研究
研ア一
研コ一
研中東ア
研コ一
研国
研国市

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考	
必修科目	530731	FDB212	基礎ドイツ語Ⅱb-2	2	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト 川名 真 矢	2			
	530733	FDB212	基礎ドイツ語Ⅱb-2 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3	
	[ドイツ語圏基礎科目]									
	532025	FDA101	ドイツ語圏研究A	2	春	コーディネータ 木村 護郎クリストフ	1		輪講	
	532026	FDA111	ドイツ語圏研究B	2	秋	コーディネータ 川名 真 矢	1		輪講	
	532027	FDA121	ドイツ語圏研究C	2	春	コーディネータ 川名 真 矢	2		輪講	
	532028	FDA131	ドイツ語圏研究D	2	秋	コーディネータ 高橋 亮 介	2		輪講	
	532029	FDA131	ドイツ語圏研究D (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2		注3	

学科科目〔第一主専攻選択科目〕

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考	
選択科目	[専門読解準備コース] 注1									
	532100	FDG301	(重) 言語A-1	2	春	高橋 由美子	3・4			
	532101	FDG302	(重) 言語A-2	2	秋	高橋 由美子	3・4			
	532102	FDG311	(重) 言語B-1	2	休講		3・4			
	532103	FDG312	(重) 言語B-2	2	休講		3・4			
	532110	FDG321	(重) 思想・文化A-1	2	春	浅見 昇 吾	3・4			
	532111	FDG322	(重) 思想・文化A-2	2	秋	浅見 昇 吾	3・4			
	532112	FDG331	(重) 思想・文化B-1	2	休講	浅見 昇 吾	3・4			
	532113	FDG332	(重) 思想・文化B-2	2	休講	浅見 昇 吾	3・4			
	532120	FDG341	(重) 政治・社会A-1	2	春	河崎 健	3・4			
	532121	FDG342	(重) 政治・社会A-2	2	秋	河崎 健	3・4			
	532122	FDG351	(重) 政治・社会B-1	2	休講	河崎 健	3・4			
	532123	FDG352	(重) 政治・社会B-2	2	休講	河崎 健	3・4			
	[ドイツ語Ⅲ] 注1, 4									
	532078	FDG401	(重) 表現A-1	1	春	*KARRER Thomas	3・4	○	旧「口頭表現A-1」	
	532079	FDG402	(重) 表現A-2	1	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4	○	旧「口頭表現A-2」	
	532080	FDG411	(重) 表現B-1	1	春	*藤沢・NIEWALDA	3・4	○	旧「口頭表現B-1」	
	532081	FDG412	(重) 表現B-2	1	秋	NIEWALDA Katrin	3・4	○	旧「口頭表現B-2」	
	532082	FDG423	表現 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3, 旧「口頭表現 (在外履修)」	
	532036	FDG431	(重) 聴解A-1	1	春	*DRASCHANJürgen	3・4	○		
	532037	FDG432	(重) 聴解A-2	1	秋	*DRASCHANJürgen	3・4	○		
	532038	FDG441	(重) 聴解B-1	1	春	CONSTANTINESCU Cezar	3・4	○		
	532039	FDG442	(重) 聴解B-2	1	秋	CONSTANTINESCU Cezar	3・4	○		
532077	FDG453	聴解 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3		

学科科目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[教職科目]								
	538912	FDE201	ドイツ語科教育法A-1	2	春	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱa」と合併、注2
	538913	FDE202	ドイツ語科教育法A-2	2	秋	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱb」と合併、注2
	538914	FDE211	(隔) ドイツ語科教育法B	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱc」と合併、注2
538915	FDE221	(隔) ドイツ語科教育法C	2	休講	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱd」と合併、注2	

注1 ドイツ語学科生のみ履修可（「ドイツ語圏研究A」、「同B」、「同C」、「同D」を除く）

注2 言語研究コースとのクロスリスティング科目である。

注3 在外履修へ参加の学生のみが履修する科目である。

注4 2018年度より「口頭表現」は「表現」に科目名変更。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	N99202	FDX301	海外短期研修（トリア大学）	2	春	ドイツ語学科教員	3・4		注1, 2, 3

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：上記科目は、学科第一専攻選択科目「ドイツ語Ⅲ」に算入することができる。

注3：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロコバ
研ラオス
研ユロコシ
コ言語研究
研アコシ
研中東
研国際政治
研国市

フランス語学科

〔教育研究上の目的〕

フランス語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、フランス語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

フランス語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）における B2 相当（海外の大学で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C1 相当（海外の大学院で学べるレベル）に到達することを目標とする。

1. フランス語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動(receptive activities)に関する能力
2. フランス語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動(productive activities)に関する能力
3. フランス語の会話や交渉に代表される相互行為活動(interactive activities)に関する能力
4. フランス語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動(mediating activities)に関する能力
5. フランス語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ）】1・2年次を通して、「聞く、話す、読む、書く」の4技能にわたって、フランス語の基礎的運用能力の修得を目指す。授業では、複数の教員(日本人およびネイティブ)でチーム・ティーチングを行い、講義、グループワーク、ペアワーク、プレゼンテーションなど授業の目的に合わせて展開されるが、学生の授業への積極的な参画とともに、毎日の予習・復習を含む計画的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（総合フランス語）】1・2年次で修得したフランス語の基礎学力を用いて、3年次対象の聴解・表現・講読演習では実践的に語学力を運用する高度なスキルを学ぶこと、4年次対象の総合演習では総合的なフランス語運用能力を応用的に身につけさせることを目指す。授業はグループワークやプレゼンテーションなどを中心に多角的に展開される。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】1・2年次において、フランス語圏の国々や地域における歴史・政治・経済・社会・文化・言語など、フランス語を基盤として今後フランス語圏について学んでいくための基礎的教養を身につけることを目指す。また、レポートやプレゼンテーションなどの大学での学びにおいて不可欠なアカデミック・スキルズの基礎を修得させる。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修	2単位	[体育]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

〈語学科目〉

必修	4単位
----	-----

〈学科科目〉

第一主専攻（専攻語）科目	40単位	〔必修科目 32単位 選択科目 8単位〕
第二主専攻（または副専攻）科目・その他	54単位	

合計	124単位
----	-------

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻 (32単位) 必修	基礎フランス語 I-1	6	基礎フランス語 II-1	6				
	基礎フランス語 I-2	6	基礎フランス語 II-2	6				
第一主専攻 (8単位) 選択	フランス語圏研究 A	2	フランス語圏研究 C	2	[総合フランス語科目]の「表現演習Ⅲ」, 「聴解演習Ⅲ」,「講読演習Ⅲ」の科目 から6科目6単位,「総合演習Ⅳ」から2 科目2単位を履修すること			8
	フランス語圏研究 B	2	フランス語圏研究 D	2				
第二主専攻または副専攻 (36単位) 選択	第二主専攻として履修する場合							
	導入科目							6
	コア科目							20
	演習科目							4
	卒業論文・卒業研究							6
	副専攻として履修する場合							
第二主専攻 (16単位) 選択	導入科目							6
	コア科目							10
その他 (注2) (18または38単位) 選択	①第一主専攻(フランス語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(フランス語を除く上限8単位)で充当する。							18 / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については, 履修要覧(共通編) p.165~を参照。

注2 「その他」の単位数は, 研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位, 副専攻として履修した場合には38単位となる。

学部
共通

英
語

ドイ
ツ語

フ
ラン
ス語

イ
ス
パ
ニ
ア語

ロ
シ
ア語

ポ
ルト
ガ
ル語

コ
北
米
研
究

研
究
ヨ
ー
ロ
ッ
パ

研
究
ラ
テ
ア
ム
ス
カ

研
究
ユ
ー
ロ
シ
ア
・
コ
シ
ア

コ
言
語
研
究

研
究
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ア

研
究
中
東
ア
フリ
カ

研
究
国
際
政
治
学

研
究
国
際
民
協
社
力
会
ス
論

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻	必修 (32単位)	基礎フランス語Ⅰ-1 基礎フランス語Ⅰ-2	6 6	基礎フランス語Ⅱ-1 基礎フランス語Ⅱ-2	6 6			
	選択 (8単位)	フランス語圏研究A フランス語圏研究B	2 2	フランス語圏研究C フランス語圏研究D	2 2	[総合フランス語科目]の「表現演習Ⅲ」, 「聴解演習Ⅲ」,「講読演習Ⅲ」の科目 から6科目6単位,「総合演習Ⅳ」から2 科目2単位を履修すること		8
第二主専攻 (どちらかを選択) または副専攻	第二主専攻として履修する場合							
	導入科目							6
	コア科目							20
	演習科目							4(8)※
	卒業論文・卒業研究							6
副専攻として履修する場合	副専攻として履修する場合							
	導入科目							6
コア科目							10	
その他 (注2)	選択 (18単位) または (14単位)※	①第一主専攻(フランス語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(フランス語を除く上限8単位)で充当する。						18 (14) ※ / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165～を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」 pp. 343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」 p. 344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一主専攻必修科目について

- (1) 「基礎フランス語Ⅰ-1」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅰ-2」を履修することはできない。
- (2) 「基礎フランス語Ⅰ-2」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅱ-1」および「基礎フランス語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (3) 「基礎フランス語Ⅱ-1」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (4) 学則40条に基づき、連続する2年間において、学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は、退学とする。学科が指定する科目とは以下のものを指す。
 - 「基礎フランス語Ⅰ-1」「基礎フランス語Ⅰ-2」(1年次対象科目)
 - 「基礎フランス語Ⅱ-1」「基礎フランス語Ⅱ-2」(2年次対象科目)
- (5) フランス語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
- (6) 「基礎フランス語Ⅰ」の履修者を「文法」と「コミュニケーション」でグループ分けを行う。グループ分け指導は学期の最初に学科で行うので、それに従って履修登録を行うこと。
- (7) 「基礎フランス語Ⅱ」の履修者を「専門研究へのフランス語」と「コミュニケーション」でグループ分けを行う。グループ分け指導は前年度末の在校生学科別ガイダンスで行うので、必ず出席し、それに従って履修登録を行うこと。
- (8) 「フランス語圏基礎科目」として開講される「フランス語圏研究A～D」は指定された年次に履修することが望ましい。

② 第一主専攻選択科目の「総合フランス語科目」について

- (1) 「基礎フランス語Ⅱ-2」を修得していなければ、総合フランス語科目を履修することはできない。
- (2) 総合フランス語科目は3年次に「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」の科目から6科目6単位、4年次に「総合演習Ⅳ」の科目から2科目2単位の計8科目8単位を履修すること。
- (3) 登録手続に際して、3年次生に関しては、履修登録期間前（前年度3月末の在校生学科別ガイダンス時）にA, B, Cのグループ分けをした名簿を提示するので、各自が指定されたグループの「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」を履修すること。4年次生に関しては、グループ分けはしない。なお、4年次春学期のうちに「総合演習Ⅳ」2科目2単位を履修し終えることが望ましい。また、「特別演習」は「総合演習Ⅳ」に代えることができる。
- (4) 総合フランス語科目について8単位を超えて修得した場合の単位余剰分は、「学科科目：その他」の単位として充当する。

③ 第二主専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
 - *北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

④ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。

⑤ 時間割について

次ページ以降の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「フランス語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ 究Ⅰ コ ロ ス バ
研ラ テ ア メ リ カ
研ユ ロ コ ラ シ ア ・ ア ス ・
コ 言 語 Ⅰ 研 究
研ア ラ ブ コ ー ス ア
研中 東 ア フ リ カ
研国 際 コ ー ス ア
研国 際 政 治 論
研国 際 協 力 論

⑥ 専攻語(フランス語)以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってフランス語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（フランス語）以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
- (2) 上記(1)とは別に、学科が指定する言語（フランス語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記(1)で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。

⑦ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、フランス語学科学生が参加できる研修は以下の3種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず履修要覧（共通編）p.146～を参照した上で、グローバル教育推進室発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにグローバル教育推進室のホームページを参照すること。

- ・ Study Abroad (SOAS, University of London)
- ・ Study Abroad (Oxford University)
- ・ 海外短期研修(パリ政治学院)

⑧ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超過して履修登録することはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一主専攻必修科目〕

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
必修科目	〔基礎フランス語科目〕注1								
	540410	FFB101	基礎フランス語 I-1	6	春	COUCHOT Hervé	1		コミュニケーション Aグループ
						*CARIO Vincent			
						高橋 暁生			
						*BIELKA Julien			
						COUCHOT Hervé			
						高橋 暁生			
						牧 陽子			
						*BIELKA Julien			
						*GAILLARD Nicolas			
						*CARIO Vincent			
						高橋 暁生			
						*BIELKA Julien			
	*増田 都希	文法Xグループ							
	岩崎 えり奈								
	*増田 都希	文法Yグループ							
	岩崎 えり奈								
	540420	FFB102	基礎フランス語 I-2	6	秋	COUCHOT Hervé	1		コミュニケーション Aグループ
*CARIO Vincent									
高橋 暁生									
*BIELKA Julien									
COUCHOT Hervé									
高橋 暁生									
牧 陽子									
*BIELKA Julien									
*GAILLARD Nicolas									
*CARIO Vincent									
高橋 暁生									
*BIELKA Julien									
*増田 都希	文法Xグループ								
岩崎 えり奈									
*増田 都希	文法Yグループ								
岩崎 えり奈									
540510	FFB201	基礎フランス語 II-1	6	春	*塩田 明子	2		コミュニケーション Aグループ	
					*MEHRENBERGER 眞紀				
					TUCHAIS Simon				
					*塩田 明子				
					*MEHRENBERGER 眞紀				
					TUCHAIS Simon				
					*塩田 明子				
					*FAYOLLE Simon				
					TUCHAIS Simon				
					MONFORT Brieuc				
					*渡邊 淳也				専門研究へのフランス 語Xグループ
					牧 陽子				
COUCHOT Hervé	専門研究へのフランス 語Yグループ								
福崎 裕子									
*渡邊 淳也									

学部 共通
英 語
ドイ ツ語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 1 コ ー ス B
研 究 1 コ ー ス C
研 究 1 コ ー ス D
研 究 1 コ ー ス E
研 究 1 コ ー ス F
研 究 1 コ ー ス G
研 究 1 コ ー ス H
研 究 1 コ ー ス I
研 究 1 コ ー ス J
研 究 1 コ ー ス K
研 究 1 コ ー ス L
研 究 1 コ ー ス M
研 究 1 コ ー ス N
研 究 1 コ ー ス O
研 究 1 コ ー ス P
研 究 1 コ ー ス Q
研 究 1 コ ー ス R
研 究 1 コ ー ス S
研 究 1 コ ー ス T
研 究 1 コ ー ス U
研 究 1 コ ー ス V
研 究 1 コ ー ス W
研 究 1 コ ー ス X
研 究 1 コ ー ス Y
研 究 1 コ ー ス Z

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	540520	FFB202	基礎フランス語II-2	6	秋	*塩田明子	2		コミュニケーションAグループ
						*MEHRENBERGER 眞紀			
						TUCHAIS Simon			
						*塩田明子			
						*MEHRENBERGER 眞紀			コミュニケーションBグループ
						TUCHAIS Simon			
						*塩田明子			
						*FAYOLLE Simon			
						TUCHAIS Simon			コミュニケーションCグループ
						COUCHOT Hervé			
						福崎裕子			
						*渡邊淳也			
						MONFORT Briec			専門研究へのフランス語Xグループ
*渡邊淳也									
牧陽子									
[フランス語圏基礎科目] 注1									
	540630	FFA101	フランス語圏研究A(歴史と文化)	2	春	高橋暁生	1		
	540640	FFA102	フランス語圏研究B(政治と宗教)	2	秋	伊達聖伸	1		
	547868	FFA103	フランス語圏研究C(社会と経済)	2	春	牧陽子	2		
	547869	FFA104	フランス語圏研究D(総論)	2	秋	コーディネータ 福崎裕子	2		輪講

注1：フランス語学科生のみ履修可

学科科目〔第一主専攻選択科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[総合フランス語科目] 注1								
	542425	FFG301	(重)表現演習Ⅲ A-1	1	春	COUCHOT Hervé	3		
	542426	FFG302	(重)表現演習Ⅲ A-2	1	秋	COUCHOT Hervé	3		
	542427	FFG303	(重)表現演習Ⅲ B-1	1	春	*FAYOLLE Simon	3		
	542428	FFG304	(重)表現演習Ⅲ B-2	1	秋	*FAYOLLE Simon	3		
	542429	FFG305	(重)表現演習Ⅲ C-1	1	春	*JOLIVET Muriel	3		
	542430	FFG306	(重)表現演習Ⅲ C-2	1	秋	*JOLIVET Muriel	3		
	542431	FFG311	(重)聴解演習Ⅲ A-1	1	春	福崎裕子	3		
	542432	FFG312	(重)聴解演習Ⅲ A-2	1	秋	福崎裕子	3		
	542433	FFG313	(重)聴解演習Ⅲ B-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542434	FFG314	(重)聴解演習Ⅲ B-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542435	FFG315	(重)聴解演習Ⅲ C-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542436	FFG316	(重)聴解演習Ⅲ C-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542437	FFG321	(重)講読演習Ⅲ A-1	1	春	*MEHRENBERGER 眞紀	3		
	542438	FFG322	(重)講読演習Ⅲ A-2	1	秋	*MEHRENBERGER 眞紀	3		
	542439	FFG323	(重)講読演習Ⅲ B-1	1	春	*増田都希	3		
	542440	FFG324	(重)講読演習Ⅲ B-2	1	秋	*増田都希	3		
	542441	FFG325	(重)講読演習Ⅲ C-1	1	春	牧陽子	3		
	542442	FFG326	(重)講読演習Ⅲ C-2	1	秋	牧陽子	3		
	542452	FFG401	(重)総合演習Ⅳ A-1	1	春	*JOLIVET Muriel	4		
	542453	FFG402	(重)総合演習Ⅳ A-2	1	秋	*JOLIVET Muriel	4		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	542454	FFG403	(重) 総合演習IV B-1	1	春	MONFORT Brieuc	4			
	542455	FFG404	(重) 総合演習IV B-2	1	秋	MONFORT Brieuc	4			
	542456	FFG405	(重) 総合演習IV C-1	1	春	*FAYOLLE Simon	4			
	542457	FFG406	(重) 総合演習IV C-2	1	秋	*FAYOLLE Simon	4			
	542451	FFG412	(重) 特別演習S S-1	1	春	*DELORME Pierre	3・4			
	[既習者用科目] ※学科から指定を受けた学生のみ履修可									
	542507	FFG351	(重) 既習者用フランス語A-1	1	春	MONFORT Brieuc	1～4		既習者のみ履修可	
	542508	FFG352	(重) 既習者用フランス語A-2	1	秋	MONFORT Brieuc	1～4		既習者のみ履修可	
	542509	FFG356	(重) 既習者用フランス語B-1	1	春	福崎 裕子	1～4		既習者のみ履修可	
	542510	FFG357	(重) 既習者用フランス語B-2	1	秋	福崎 裕子	1～4		既習者のみ履修可	
240603	FLG251	(重) 既習者用フランス語C-1	1	春	博多 かおる	1～4		(他) フランス文学科, 既習者のみ履修可		
240604	FLG252	(重) 既習者用フランス語C-2	1	秋	小倉 博孝	1～4		(他) フランス文学科, 既習者のみ履修可		

注1: 原則として他学部・他学科生は履修不可だが、人数に余裕がある場合に限ってフランス文学科3・4年次生も履修することができる。

学科科目【その他】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[教職科目]								
	547342	FFE201	フランス語科教育法A	2	秋	*室井 幾世子	2～4		注1
	547343	FFE301	フランス語科教育法B	2	春	*常盤 僚子	3・4		注1
	547344	FFE302	フランス語科教育法C	2	秋	*常盤 僚子	3・4		注1
	547345	FFE303	フランス語科教育法D	2	休講	原田 早苗	3・4		注1

注1: 言語研究コースとのクロスリスティング科目

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究ヨ
ロップ
スバ
研究ラ
テン
アメリ
カ
研究ユ
ロ
コ
ラ
シ
ア
ス
ア
コ
言
語
研
究
研
究
ア
ジ
ア
中
東
ア
フリ
カ
研
究
国
際
政
治
論
研
究
市
民
協
会
力
を
結
ぶ

イスパニア語学科

〔教育研究上の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、イスパニア語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠 (CEFR) における B2 相当 (海外の大学で学べるレベル) に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C1 相当 (海外の大学院で学べるレベル) に到達することを目標とします。

1. イスパニア語の「聞く」「読む」に代表される受容的言語活動(receptive activities)に関する能力
2. イスパニア語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動(productive activities)に関する能力
3. イスパニア語の会話や交渉に代表される相互行為活動(interactive activities)に関する能力
4. イスパニア語の通訳・翻訳などに代表される仲介(mediating activities)活動に関する能力
5. イスパニア語圏の歴史・政治・経済・社会・文化・文学・言語について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎イスパニア語 I, II）】1 年次、2 年次を通してイスパニア語の 4 技能「聞く、読む、話す、書く」の基礎を学ぶ。「読む」「書く」能力の養成を中心とした、文法、講読、作文の講義・演習形式の授業と、「聞く」「話す」力を身につけさせることに主眼を置いた口頭での実践的練習に重きを置いた授業を通して、イスパニア語の運用能力の土台を作る。ネイティブスピーカーの教員と日本人教員とが協働してあたるため、初修言語修得に効率的な学習が可能である。学生はいずれの授業においても、能動的な授業参画が前提であり、授業中および授業外における主体的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（総合イスパニア語）】3・4 年次では、「話す・聞く」「読む」「読む・話す」「書く」「読む・書く」といったスキル別に各自が強化したい分野を選択して履修し、イスパニア語の運用能力をさらに高める。1・2 年次で修得したイスパニア語の基礎的能力を用いて、さらに実践的かつ応用的なイスパニア語の運用能力を身につけさせる。授業は実践的な教材を用いた講義形式の読解や、視聴覚教室を活用した聴解能力を高める聞き取りや書き取り、グループでのコミュニケーションやプレゼンテーション、ディベートなど、多様な形式で行われる。ネイティブスピーカーの教員の授業における使用言語はイスパニア語が中心であり、学術的内容をイスパニア語で学習させる。日本人教員の授業では、より高度な内容の文献講読などを通して、上級文法への目配りや語彙力の強化にも重きが置かれる。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】主に 1・2 年次において、イスパニア語が使用される国や地域(=イスパニア語圏)における歴史・政治・経済・社会・文化・文学・言語に関わる基礎的な知識の修得をめざす。授業形式は講義が中心であるが、グループワークやプレゼンテーションなども実施される。また本科目群に含まれる「イスパニア語圏研究入門」では、文献検索やレポート作成などの基礎的リテラシーを身につけさせる。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修	2単位	[体 育]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

〈語学科目〉

必修	4単位
----	-----

〈学科科目〉

第一主専攻（専攻語）科目	40単位	{ 必修科目 32単位 選択科目 8単位 }
第二主専攻（または副専攻）科目・その他	54単位	
合計	124単位	

学部共通
英 語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロックスバ
研ラテアメリカ
研ユロコロシア
コ言語研究
研アコシ
研中東アフリカ
研国際政治論
研国際市民協社力会

2. 標準配当表

18年次生

○全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
		選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4				
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	第一専攻 必修 (32単位)	基礎イスパニア語ⅠA-1	4	基礎イスパニア語ⅡA-1	4				
		基礎イスパニア語ⅠB-1	2	基礎イスパニア語ⅡB-1	2				
		基礎イスパニア語ⅠA-2	4	基礎イスパニア語ⅡA-2	4				
		基礎イスパニア語ⅠB-2	2	基礎イスパニア語ⅡB-2	2				
		イスパニア語圏研究入門	2	西概史	2				
		西米概史	2	西・西米文学史	2				
	選択 (8単位)				「総合イスパニア語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること		8		
	第二専攻または副専攻(どちらかを選択)	第二専攻として履修する場合							
	選択 (36単位)	導入科目							6
		コア科目							20
	演習科目							4	
	卒業論文・卒業研究							6	
副専攻として履修する場合	導入科目							6	
選択 (16単位)	コア科目							10	
その他(注2) 38単位 選択 (18単位または)	①第一専攻(イスパニア語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(イスパニア語を除く。上限8単位), ⑦DELE(外国語としてのスペイン語検定試験)(上限2単位), ⑧グローバルインターンシップ(長期)[派遣先: 智利三菱商事会社]で充当する。							18 / 38	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165~を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

14～17年次生

○全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	第一主専攻	必修 (32単位)	基礎イスパニア語 IA-1	4	基礎イスパニア語 II A-1	4			
			基礎イスパニア語 IB-1	2	基礎イスパニア語 II B-1	2			
			基礎イスパニア語 IA-2	4	基礎イスパニア語 II A-2	4			
			基礎イスパニア語 IB-2	2	基礎イスパニア語 II B-2	2			
			イスパニア語圏研究入門	2	西概史	2			
			西米概史	2	西・西米文学史	2			
		選択 (8単位)					「総合イスパニア語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること	8	
	第二主専攻または副専攻(どちらかを選択)	選択 (36(40)※単位)	第二主専攻として履修する場合						
			導入科目						6
			コア科目						20
演習科目						4(8)※			
	選択 (16単位)	副専攻として履修する場合							
導入科目						6			
コア科目						10			
卒業論文・卒業研究						6			
その他(注2)	または (18(14)※単位)	①第一主専攻(イスパニア語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(イスパニア語を除く。上限8単位), ⑦DELE(外国語としてのスペイン語検定試験)(上限2単位), ⑧グローバルインターンシップ(長期)[派遣先: 智利三菱商事会社]						18(14)※/38	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165～を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究1 ロシア語
研究2 ロシア語
研究3 ロシア語
研究4 ロシア語
研究5 ロシア語
研究6 ロシア語
研究7 ロシア語
研究8 ロシア語
研究9 ロシア語
研究10 ロシア語
研究11 ロシア語
研究12 ロシア語
研究13 ロシア語
研究14 ロシア語
研究15 ロシア語
研究16 ロシア語
研究17 ロシア語
研究18 ロシア語
研究19 ロシア語
研究20 ロシア語
研究21 ロシア語
研究22 ロシア語
研究23 ロシア語
研究24 ロシア語
研究25 ロシア語
研究26 ロシア語
研究27 ロシア語
研究28 ロシア語
研究29 ロシア語
研究30 ロシア語
研究31 ロシア語
研究32 ロシア語
研究33 ロシア語
研究34 ロシア語
研究35 ロシア語
研究36 ロシア語
研究37 ロシア語
研究38 ロシア語
研究39 ロシア語
研究40 ロシア語
研究41 ロシア語
研究42 ロシア語
研究43 ロシア語
研究44 ロシア語
研究45 ロシア語
研究46 ロシア語
研究47 ロシア語
研究48 ロシア語
研究49 ロシア語
研究50 ロシア語
研究51 ロシア語
研究52 ロシア語
研究53 ロシア語
研究54 ロシア語
研究55 ロシア語
研究56 ロシア語
研究57 ロシア語
研究58 ロシア語
研究59 ロシア語
研究60 ロシア語
研究61 ロシア語
研究62 ロシア語
研究63 ロシア語
研究64 ロシア語
研究65 ロシア語
研究66 ロシア語
研究67 ロシア語
研究68 ロシア語
研究69 ロシア語
研究70 ロシア語
研究71 ロシア語
研究72 ロシア語
研究73 ロシア語
研究74 ロシア語
研究75 ロシア語
研究76 ロシア語
研究77 ロシア語
研究78 ロシア語
研究79 ロシア語
研究80 ロシア語
研究81 ロシア語
研究82 ロシア語
研究83 ロシア語
研究84 ロシア語
研究85 ロシア語
研究86 ロシア語
研究87 ロシア語
研究88 ロシア語
研究89 ロシア語
研究90 ロシア語
研究91 ロシア語
研究92 ロシア語
研究93 ロシア語
研究94 ロシア語
研究95 ロシア語
研究96 ロシア語
研究97 ロシア語
研究98 ロシア語
研究99 ロシア語
研究100 ロシア語

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」 pp.343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」 p.344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一主専攻必修科目について

- (1) 「基礎スペイン語ⅠA-1」を修得していない場合は、「基礎スペイン語ⅠA-2」を履修することはできない。また、「基礎スペイン語ⅠB-1」を修得していない場合は、「基礎スペイン語ⅠB-2」を履修することはできない。
- (2) 「基礎スペイン語ⅠA-2」および「基礎スペイン語ⅠB-2」を修得していない場合は、「基礎スペイン語ⅡA-1」および「基礎スペイン語ⅡB-1」を履修することはできない。
- (3) 「基礎スペイン語ⅡA-1」を修得していない場合は、「基礎スペイン語ⅡA-2」を履修することはできない。また、「基礎スペイン語ⅡB-1」を修得していない場合は、「基礎スペイン語ⅡB-2」を履修することはできない。
- (4) 「基礎スペイン語ⅠA-1」「基礎スペイン語ⅠB-1」「基礎スペイン語ⅠA-2」「基礎スペイン語ⅠB-2」「基礎スペイン語ⅡA-1」「基礎スペイン語ⅡB-1」「基礎スペイン語ⅡA-2」「基礎スペイン語ⅡB-2」の各科目は、共通編p.41の評価基準にかかわらず、正当な理由なくして i) 出席率85%未満の場合、または、ii) 試験欠席で評価不能の場合、不合格(評価F)となる。
- (5) 学則40条に基づき、連続する2年間において、学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は、退学とする。学科が指定する科目とは以下のものを指す。
 - (ア) 「基礎スペイン語ⅠA-1」「基礎スペイン語ⅠB-1」「基礎スペイン語ⅠA-2」「基礎スペイン語ⅠB-2」なお、この点については「ガイドページ 8. 学力の評価・成績 単位修得不足者の扱い(共通編p.43)」を併せて参照すること。
 - (イ) 「基礎スペイン語ⅡA-1」「基礎スペイン語ⅡB-1」「基礎スペイン語ⅡA-2」「基礎スペイン語ⅡB-2」
- (6) スペイン語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
- (7) 「スペイン語圏基礎科目」として開講される「スペイン語圏研究入門」「西米概史」「西概史」「西・西米文学史」は原則として指定された年次に履修すること。
- (8) 選択する研究コースによっては、一部の科目が第一主専攻(スペイン語)必修科目の「スペイン語圏基礎科目」と重複している場合がある。スペイン語学科の学生がこれらの科目を履修する場合、研究コースの「導入科目」や「コア科目」として充当されることはなく、第一主専攻必修科目に充当される。該当する研究コースの履修上の注意を熟読すること。

② 第一主専攻選択科目の「総合スペイン語」について

- (1) 「基礎スペイン語ⅡA-2」および「基礎スペイン語ⅡB-2」を修得していない場合は、「総合スペイン語」を履修することができない。
- (2) 「総合スペイン語」で必要とされている単位数を超えて習得した単位は、「学科科目：その他」の選択科目の単位として充当する。

③ 第二主専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部が開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
 - *北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

④ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。

(3) 入学後にDELE (外国語としてのスペイン語検定試験) のB2レベル以上に合格した場合、1回に限り「学科科目：その他」の2単位分に充当することができる。単位認定には合格証明書もしくは合格通知 (WEBからダウンロードしプリントアウトしたもの) が必要である。春学期の単位として認定を希望する場合は7月23日までに、秋学期の単位として認定を希望する場合は1月30日までにイスパニア語学科事務室に提出すること。

⑤ 時間割について

以下の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「イスパニア語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 専攻語(イスパニア語)以外の語学科目の履修について

標準相当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってイスパニア語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語 (イスパニア語) 以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準相当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は履修要覧 (共通編) p.169を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
- (2) 上記(1)とは別に、学科が指定する言語 (イスパニア語以外) の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記(1)で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は履修要覧 (共通編) p.169を参照すること。

⑦ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、イスパニア語学科生は以下の研修に参加することができる。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず履修要覧 (共通編) p.146~を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにグローバル教育センターのホームページを参照すること。なお、「海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学)」における取得単位は、(1) 3・4年次生でB1レベル以上の科目を履修してきた場合は「総合イスパニア語」、(2) 2年次生の場合または3・4年次生でA2レベル以下の科目を履修してきた場合は「学科科目：その他」の単位としてそれぞれ充当される。

- ・ Study Abroad (SOAS, University of London)
- ・ Study Abroad (Oxford University)
- ・ 海外短期研修 (パリ政治学院)
- ・ 海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学)

⑧ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはいできない。

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一主専攻必修科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	〔基礎イスパニア語科目〕注1								
	550513	FHB101	基礎イスパニア語 I A-1	4	春	西村君代	1		文法a/bクラス
						西村君代			文法aクラス
						西村君代			文法bクラス
						谷洋之			講読・作文a/bクラス
						*加藤伸吾			講読・作文aクラス
						*加藤伸吾			講読・作文bクラス
	550515	FHB111	基礎イスパニア語 I B-1	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	1	○	会話1クラス
						MARTÍ OROVAL Bernat			会話2クラス
						MARTÍ OROVAL Bernat			会話3クラス
						*CENZANO Cristina			会話1クラス
						*CENZANO Cristina			会話2クラス
						*CENZANO Cristina			会話3クラス
	550514	FHB102	基礎イスパニア語 I A-2	4	秋	西村君代	1		文法a/bクラス
						西村君代			文法aクラス
						西村君代			文法bクラス
						谷洋之			講読・作文a/bクラス
						*加藤伸吾			講読・作文aクラス
						*加藤伸吾			講読・作文bクラス
	550516	FHB112	基礎イスパニア語 I B-2	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	1	○	会話1クラス
						MARTÍ OROVAL Bernat			会話2クラス
MARTÍ OROVAL Bernat						会話3クラス			
*CENZANO Cristina						会話1クラス			
*CENZANO Cristina						会話2クラス			
*CENZANO Cristina						会話3クラス			
550641	FHB201	基礎イスパニア語 II A-1	4	春	吉川恵美子	2		文法・応用a/bクラス	
					内村俊太			文法・応用aクラス	
					内村俊太			文法・応用bクラス	
					谷洋之			講読・作文a/bクラス	
					RUIZ TINOCO Antonio			講読・作文aクラス	
					MARTÍ OROVAL Bernat			講読・作文bクラス	
550643	FHB211	基礎イスパニア語 II B-1	2	春	長谷川ニナ	2	○	会話1クラス	
					長谷川ニナ			会話2クラス	
					長谷川ニナ			会話3クラス	
					*GARCÍA Carlos			会話1クラス	
					*GARCÍA Carlos			会話2クラス	
					*GARCÍA Carlos			会話3クラス	
550642	FHB202	基礎イスパニア語 II A-2	4	秋	吉川恵美子	2		文法・応用a/bクラス	
					内村俊太			文法・応用aクラス	
					内村俊太			文法・応用bクラス	
					谷洋之			講読・作文a/bクラス	
					MARTÍ OROVAL Bernat			講読・作文aクラス	
					RUIZ TINOCO Antonio			講読・作文bクラス	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	550644	FHB212	基礎スペイン語ⅡB-2	2	秋	長谷川 ニ ナ	2	○	会話1クラス
						長谷川 ニ ナ			会話2クラス
						長谷川 ニ ナ			会話3クラス
						* GARCÍA Carlos			会話1クラス
						* GARCÍA Carlos			会話2クラス
						* GARCÍA Carlos			会話3クラス
	[スペイン語圏基礎科目]								
550010	FHA101	イスパニア語圏研究入門	2	春	コーディネータ 内村俊太	1		輪講, 注1	
552200	FHA111	西米概史	2	秋	*鳥塚 あゆち	1		注2, 注4, 注5	
552100	FHA121	西概史	2	春	内村俊太	2		注3, 注4	
555809	FHA131	西・西米文学史	2	秋	吉川 恵美子	2			

注1 イスパニア語学科生のみ履修可

注2 ラテンアメリカ研究コース同名科目との合併科目

注3 ヨーロッパ研究コース同名科目との合併科目

注4 この科目の開講曜日・時限・登録コードについて、イスパニア語学科生は Loyola の「イスパニア語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注5 外国語学部、総合グローバル学部、史学科生のみ履修可

学科科目〔第一主専攻選択科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[総合イスパニア語] 注1								
	550550	FHG301	(重) 総合イスパニア語A-1	1	春	* PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	[45名], 作文
	550551	FHG302	(重) 総合イスパニア語A-2	1	秋	* PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	[45名], 作文
	550552	FHG311	(重) 総合イスパニア語B-1	1	春	内村俊太	3・4		読解
	550553	FHG312	(重) 総合イスパニア語B-2	1	秋	内村俊太	3・4		読解
	550554	FHG401	(重) 総合イスパニア語C-1	1	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[45名], 口頭表現
	550555	FHG402	(重) 総合イスパニア語C-2	1	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[45名], 口頭表現
	550556	FHG321	(重) 総合イスパニア語D-1	1	春	* LÓPEZ Nuria	3・4	○	[60名], 口頭表現
	550557	FHG322	(重) 総合イスパニア語D-2	1	秋	* LÓPEZ Nuria	3・4	○	[60名], 口頭表現
	550558	FHG331	(重) 総合イスパニア語E-1	1	春	* MOYANO LÓPEZ Juan Carlos	3・4	○	[65名], 読解・口頭表現
	550559	FHG412	(重) 総合イスパニア語E-2	1	秋	西村君代	3・4		読解・口頭表現
	550560	FHG341	(重) 総合イスパニア語F-1	1	春	谷 洋之	3・4		読解
	550561	FHG332	(重) 総合イスパニア語F-2	1	秋	谷 洋之	3・4		読解
	550562	FHG351	(重) 総合イスパニア語G-1	1	春	西村君代	3・4		[65名], 聴解・口頭表現
550563	FHG422	(重) 総合イスパニア語G-2	1	秋	* MARTÍNEZ ASTUDILLO Jesús	3・4	○	[65名], 聴解・口頭表現	

注1 イスパニア語学科生のみ履修可

学科科目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[教職科目]								
	554121	FHE301	イスパニア語科教育法A	2	春	*大森 洋子	3・4		注1
	554122	FHE302	イスパニア語科教育法B	2	秋	*大森 洋子	3・4		注1

注1 言語研究コースとのクロスリスティング科目

ロシア語学科

〔教育研究上の目的〕

ロシア語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ロシア・ユーラシア地域に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ロシア語の高度な運用能力を基礎として、国際社会に貢献しうる人材、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠 (CEFR) における B2 相当 (海外の大学で学べるレベル) に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C1 相当 (海外の大学院で学べるレベル) に到達することを目標とします。

1. ロシア語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動(receptive activities)に関する能力
2. ロシア語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動(productive activities)に関する能力
3. ロシア語の会話や交渉に代表される相互行為活動(interactive activities)に関する能力
4. ロシア語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動(mediating activities)に関する能力
5. ロシア語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目 (基礎ロシア語 I・II)】1,2 年次を通して、ロシア語の基礎的運用能力の修得を目指す。1 年生では、「文法」「会話」「総合 (文法と会話を総合したクラス)」のクラスに分かれ、複数の教員が授業を受け持つ。すべてのクラスでほぼ毎回宿題が課され、年間を通じて 25 回ほどの試験が実施される。2 年生では、「ドリル (文法)」「会話」「講読」のクラスに分かれる。「ドリル」「会話」のクラスでは、ほぼ毎回宿題が課され、年間を通じて 20 回ほどの試験が実施される。1,2 年次を通して、口頭形式の練習と筆記、作文形式の練習が繰り返され、「会話」の授業では、ロールプレイやプレゼンテーションも取り入れる。学生には、積極的な授業参加と日々の予習、復習が求められる。
2. 【第一主専攻・選択科目】1,2 年次で修得したロシア語の基礎能力を用いて、読解、聴解、会話、作文などの能力の向上を目指す。将来通訳者を目指す学生のために、通訳法のクラスも準備されている。それぞれのクラスが「上級」「中級」に分かれるが、上級者が中級クラスを受講すること、中級者が上級クラスを受講することも認められている。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】ロシア・ユーラシア地域の文化や歴史、社会や経済などについての基礎的な知識を提供するための科目が、1,2 年生向けの必修科目として開講されている。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修	2単位	[体育]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

〈語学科目〉

必修	4単位
----	-----

〈学科科目〉

第一主専攻科目	42単位	〔必修科目 30単位 選択科目 12単位〕
第二主専攻（または副専攻）科目・その他	52単位	
合計	124単位	

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロコッスバ
研ラテアスリカ
研ユロコロシア
コ言語研究
研アコシ
研中東アフリカ
研国際政治論
研国際市民協社力会

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	第一主専攻	必修 (30単位)	基礎ロシア語 I-1	6	基礎ロシア語 II-1	6			
			基礎ロシア語 I-2	6	基礎ロシア語 II-2	6			
			ロシア地域研究方法論	2					
			ロシア・ユーラシア文化入門1	2					
			ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2					
		選択 (12単位)	ロシア語研究科目						12
	第二主専攻または副専攻 (36単位)	選択	第二主専攻として履修する場合						
			導入科目						6
			コア科目						20
			演習科目						4
その他(注2)	選択 (16単位)	副専攻として履修する場合							
		導入科目						6	
		コア科目						10	
その他(注2)	選択 (16または36単位)	① 第一主専攻(ロシア語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(ロシア語を除く。上限8単位)で充当する。⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位, 詳細は共通編p.93参照)						16/ 36	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.165~を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には16単位、副専攻として履修した場合には36単位となる

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる。 ※語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	第一主専攻	必修 (30単位)	基礎ロシア語 I-1	6	基礎ロシア語 II-1	6				
			基礎ロシア語 I-2	6			基礎ロシア語 II-2	6		
			ロシア地域研究方法論	2						
			ロシア・ユーラシア文化入門1	2						
			ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2						
	第二主専攻または副専攻(どちらかを選択)	選択 (12単位)	ロシア語研究科目						12	
			第二主専攻として履修する場合							
			導入科目							6
			コア科目							20
第二主専攻または副専攻(どちらかを選択)	選択 (40)※単位	演習科目						4(8)※		
		卒業論文・卒業研究						6		
		副専攻として履修する場合								
		導入科目							6	
その他(注2)	選択 (16単位)	コア科目						10		
		① 第一主専攻(ロシア語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(ロシア語を除く。上限8単位)で充当する。⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位, 詳細は共通編p.93参照)							16(12)※/36	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165～を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には16単位、副専攻として履修した場合には36単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究コース
研究コース
研究コース
研究コース
言語研究
研究コース
研究コース
研究コース
国際政治論
国際協力論

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」pp.343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については「外国語学部について」p.344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一主専攻科目の必修科目について

- (1) 「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」は、ローマ数字（Ⅰ～Ⅱ）の順に従って、順番に履修していかなければならない。したがって、たとえば「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」の単位を修得できなかった場合には、翌年「基礎ロシア語Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」を履修することはできず、「基礎ロシア語Ⅰ-1」「基礎ロシア語Ⅰ-2」を再履修しなければならない。
また、学則40条にもとづき、連続する2年間において、当該年次に配当された必修科目「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」が修得できなかった場合は退学となる。
- (2) 「ロシア・ユーラシア文化入門1」「ロシア・ユーラシア地域研究入門1」はロシア・ユーラシア研究コースの導入科目としてクロスリスティングされているが、ロシア語学科生はこれらを第一主専攻（ロシア語）の必修科目として履修するので、ロシア語学科生がロシア・ユーラシア研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合は、この2つの科目以外を「導入科目」として履修すること。

② 第一主専攻科目の選択科目について

- (1) 第一主専攻科目の選択科目の12単位は、2年次に配当されている「ロシア語通訳法入門」および3年次以上に配当されているその他のロシア語研究科目のなかから選択しなければならない。なお、3年次以上に配当されているロシア語研究科目はいずれも重複履修可能な科目で、重複して履修しても、卒業に必要な単位として認められる。
- (2) 第一主専攻科目の選択科目のロシア語研究科目に関しての履修年次とは、その前年次に配当された第一主専攻科目〔必修科目〕の「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」を取得した者を対象とすることを意味する。例えば、「ロシア語通訳法入門」の履修年次は2年次であるので、「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」を取得したものを対象とする。また例えば、「ロシア語文法研究」の履修年次は3年次以上であるので、「基礎ロシア語Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」を取得した者を対象とすることを意味する。

③ 第二主専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

④ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。

⑤ 時間割について

以下の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「ロシア語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

なお、第一主専攻選択科目の「ロシア語研究科目」は、ロシア・ユーラシア研究コースまたは言語研究コースのコア科目としても開講されている。同じ科目をロシア・ユーラシア研究コースおよび言語研究コースのコア科目として履修する場合は、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 専攻語(ロシア語)以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってロシア語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（ロシア語）以外の言語，特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し，標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。なお，英語の実践的運用能力向上のため，英語科目の履修を強く勧める。
- (2) 上記(1)とは別に，学科が指定する言語（ロシア語以外）の中から，自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し，「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記(1)で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。

⑦ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち，ロシア語学科学生が参加できる研修は以下の3種類である。多様で充実したプログラムが用意されており，研修先で取得した単位は，卒業に必要な単位として換算することもできるので，積極的な参加を推奨する。なお，研修参加の条件などの詳細は，まず履修要覧（共通編）p.146を参照した上で，グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」やグローバル教育センターのホームページを熟読すること。

- ・ Study Abroad (SOAS, University of London)
- ・ Study Abroad (Oxford University)
- ・ 海外短期研修(パリ政治学院)

⑧ 最高履修限度について

履修登録単位数は，各年次・学期において次のとおり制限されているので，これを超えて履修登録することはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても，両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロイスバ
研ラテアメリカ
研ユロコロシア
コ言語研究
研アコロシア
研中東アメリカ
研国際政治論
研国市協社力会

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一主専攻必修科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	〔基礎ロシア語科目〕注1								
	570110	FRB101	基礎ロシア語 I -1	6	春	原 求 作	1		文法
						秋 山 真 一			総合 (aグループ)
						佐 山 豪 太			総合 (bグループ)
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (1グループ)
						MUKHINA Varvara			会話 (2グループ)
						* GAVRILOVA Maria			会話 (3グループ)
	* GUTOVA Ekaterina	会話 (4グループ)							
	570120	FRB102	基礎ロシア語 I -2	6	秋	原 求 作	1		文法
						佐 山 豪 太			総合 (aグループ)
						秋 山 真 一			総合 (bグループ)
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (3グループ)
						MUKHINA Varvara			会話 (4グループ)
						* GAVRILOVA Maria			会話 (1グループ)
	* GUTOVA Ekaterina	会話 (2グループ)							
	570210	FRB201	基礎ロシア語 II -1	6	春	秋 山 真 一	2		講読
						佐 山 豪 太			講読
						原 求 作			ドリル (aグループ)
						安 達 祐 子			ドリル (bグループ)
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (2グループ)
MUKHINA Varvara						会話 (1グループ)			
* GAVRILOVA Maria	会話 (4グループ)								
* GUTOVA Ekaterina	会話 (3グループ)								
570220	FRB202	基礎ロシア語 II -2	6	秋	秋 山 真 一	2		講読	
					佐 山 豪 太			講読	
					安 達 祐 子			ドリル (aグループ)	
					原 求 作			ドリル (bグループ)	
					LATYSHEVA Svetlana			会話 (4グループ)	
					MUKHINA Varvara			会話 (3グループ)	
* GAVRILOVA Maria	会話 (2グループ)								
* GUTOVA Ekaterina	会話 (1グループ)								
〔ロシア語圏基礎科目〕									
575021	FRA121	ロシア地域研究方法論	2	秋	佐 山 豪 太	1			
571003	FRA101	ロシア・ユーラシア文化入門1	2	春	原 求 作	1		注2	
572003	FRA111	ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2	春	上 野 俊 彦	1		注2	

注1 ロシア語学科生のみ履修可

注2 ロシア・ユーラシア研究コースの同名科目との合併科目。他学科生で履修を希望する場合、Loyolaの各研究コースの時間割表を参照すること

学科科目〔第一専攻選択科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔ロシア語研究科目〕								
	577910	FRB222	ロシア語通訳法入門	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	2	○	注1, 注3, 注4
	578043	FRG301	(重) ロシア語文法研究1	2	春	秋 山 真 一	3・4		注1, 注3
	578044	FRG302	(重) ロシア語文法研究2	2	秋	秋 山 真 一	3・4		注1, 注3
	578035	FRG481	(重) ロシア語翻訳基礎研究1	2	春	* KOBERNYK Nadiya	3・4		注1, 注3
	578036	FRG482	(重) ロシア語翻訳基礎研究2	2	秋	* 原 ダリア	3・4		注1, 注3
	578021	FRG311	(重) ロシア語翻訳法1	2	春	* 原 ダリア	3・4	○	注1, 注3
	578022	FRG312	(重) ロシア語翻訳法2	2	秋	* 原 ダリア	3・4	○	注1, 注3
	575514	FRG321	(重) ロシア語通訳法1	2	春	* 原 ダリア	3・4		[40名], 注1, 注3
	575515	FRG322	(重) ロシア語通訳法2	2	秋	* 原 ダリア	3・4		[40名], 注1, 注3
	578071	FRG331	(重) ロシア語アカデミック・コミュニケーション1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4	○	注1, 注3, 注4
	578072	FRG332	(重) ロシア語アカデミック・コミュニケーション2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4	○	注1, 注3, 注4
	577941	FRG341	(重) ロシア語原書講読1	2	春	* 井 上 幸 義	3・4		注2, 注3
	577942	FRG342	(重) ロシア語原書講読2	2	秋	* 井 上 幸 義	3・4		注2, 注3
	578011	FRG351	(重) 現代ロシア語研究1	2	春	村 田 真 一	3・4		注2, 注3
	578012	FRG352	(重) 現代ロシア語研究2	2	秋	村 田 真 一	3・4		注2, 注3
	577923	FRG361	(重) ロシア語文献研究A-1	2	春	上 野 俊 彦	3・4		注2, 注3
577924	FRG362	(重) ロシア語文献研究A-2	2	秋	上 野 俊 彦	3・4		注2, 注3	
577933	FRG371	(重) ロシア語文献研究B	2	春	* 平 野 恵美子	3・4		注2, 注3	

注1 言語研究コースの同名科目との合併科目

注2 ロシア・ユーラシア研究コースの同名科目との合併科目

注3 他学科生で履修を希望する場合、Loyolaの「ロシア・ユーラシア研究コース」の時間割表を参照すること。

注4 初回授業時に教室定員以上の受講希望者がいた場合は、授業内抽選とする。

学科科目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔教職科目〕								
	576156	FRE201	ロシア語科教育法A	2	春	* 小 林 潔	2~4		注1
	576157	FRE202	ロシア語科教育法B	2	秋	* 小 林 潔	2~4		注1

注1 言語研究コースとのクロスリスティング科目

学部共通
英
語
ドイ
ツ語
フラン
ス語
イス
パニ
テ語
ロシア
語
ポルト
ガル
語
コ北
米研
究
研ヨ
ロコ
ース
バ
研ラ
テ
ア
ス
カ
コー
ス
研ユ
ロ
シ
ア
コ
ー
ス
コ
ー
ス
コ
ー
ス
研中
東
ア
フ
リ
カ
コー
ス
カ
研国
際
政
治
論
コ
ー
ス
研国
際
民
主
義
協
力
会
ス
論

ポルトガル語学科

〔教育研究上の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ポルトガル語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠 (CEFR) における B2 相当 (海外の大学で学べるレベル) に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同 C1 相当 (海外の大学院で学べるレベル) に到達することを目標とします。

1. ポルトガル語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動(receptive activities)に関する能力
2. ポルトガル語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動(productive activities)に関する能力
3. ポルトガル語の会話や交渉に代表される相互行為活動(interactive activities)に関する能力
4. ポルトガル語の通訳・翻訳などに代表される仲介(mediating activities)活動に関する能力
5. ポルトガル語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎ポルトガル語 I,II）】1 年次、2 年次を通してポルトガル語の基礎を学ぶ。会話・作文、文法、読解(講読と速読)などを通して、ポルトガル語における 4 技能「聴く、読む、話す、書く」の運用能力の向上を目指す。授業は、講義、口頭での反復練習、グループワーク、プレゼンテーションなど、それぞれの授業目的に合わせて様々な形で展開されるが、いずれの授業においても学生の主体的な学びが重要となる。
2. 【第一主専攻・必修科目（総合ポルトガル語）】1 年次、2 年次で修得したポルトガル語の基礎学力を用いて、さらに実践的かつ応用的なポルトガル語の運用能力を身につけさせる。授業は主にコミュニケーションやプレゼンテーション、ディベート形式で行われる。担当する教員はネイティブスピーカーが多く、したがって使用言語もポルトガル語が中心となる。一方、日本人教員のクラスでは、より高度な内容の文献講読や上級文法に関する講義なども行われる。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】主に 1・2 年次において、ポルトガル語が使用される国や地域(=ポルトガル語圏)における歴史・政治・経済・社会・文化・言語に関わる基礎的な知識を学ぶ。授業形式は講義が中心であるが、授業内でグループワークやプレゼンテーションなども実施される。また本科目群の一つの科目「ポルトガル語圏研究入門」では、地域研究の手法を用いた 8000 字レポートの執筆に取り組むことで、大学での学びにおいて不可欠であるレポート・論文の書き方を修得する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉

必修	2単位	[体 育]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選 択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

〈語学科目〉

必修	4単位
----	-----

〈学科科目〉

第一主専攻科目	42単位	{ 必修科目 34単位 選択科目 8単位
第二主専攻 (または副専攻) 科目・その他	52単位	
合 計	124単位	

学部共通
英 語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロックスバ
研ラテアメリカ
研ユロコロシア
コ言語研究
研アコシ
研中東アフリカ
研国際政治論
研国際市民協社力会

2. 標準配当表

18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2				

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	第一主専攻 (42単位)	(34単位) 必修	基礎ポルトガル語 I-1	6	基礎ポルトガル語 II-1	6				
			基礎ポルトガル語 I-2	6	基礎ポルトガル語 II-2	6				
			ポルトガル語圏研究入門	2	ポルトガル語圏アフリカ史	2				
			ポルトガル史	2	アジアとポルトガル語圏	2				
			ブラジル史	2						
		(8単位) 選択					「総合ポルトガル語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること		8	
	第二主専攻または副専攻 (どちらかを選択)	第二主専攻として履修する場合								
		(36単位) 選択	導入科目							6
			コア科目							20
			演習科目							4
卒業論文・卒業研究							6			
(16単位) 選択	副専攻として履修する場合									
	導入科目							6		
	コア科目							10		
(注2) その他	36(16単位または36単位)選択	①第一主専攻(ポルトガル語)選択科目, ②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く), ③コース共通導入科目, ④課程科目(実習を除く), ⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科科目」, ⑥語学科目(ポルトガル語を除く。上限8単位)で充当する。						16 / 36		

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165~を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には16単位、副専攻として履修した場合には36単位となる。

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	※学科学科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学必修科目 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2				

○ 学科学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (42単位)	(34単位) 必修	基礎ポルトガル語 I-1	6	基礎ポルトガル語 II-1	6				
		基礎ポルトガル語 I-2	6	基礎ポルトガル語 II-2	6				
		ポルトガル語圏研究入門	2	ポルトガル語圏アフリカ史	2				
		ポルトガル史	2	アジアとポルトガル語圏	2				
		ブラジル史	2						
	(8単位) 選択	「総合ポルトガル語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること						8	
学科学科目 (94単位)	(36単位) 第二主専攻または副専攻 (どちらかを選択)	第二主専攻として履修する場合							
		導入科目							6
		コア科目							20
		演習科目							4(8)※
		卒業論文・卒業研究							6
		副専攻として履修する場合							
	(16単位) 選択	導入科目							6
		コア科目							10
(注2) その他	(16単位) 選択	①第一主専攻(ポルトガル語)選択科目、②各研究コース開講科目(全学共通科目を除く)、③コース共通導入科目、④課程科目(実習を除く)、⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する「学科学科目」、⑥語学科目(ポルトガル語を除く。上限8単位)で充当する。							16 (12) ※ / 36

注1 学科学科目の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編)p.165～を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には16単位、副専攻として履修した場合には36単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究1
研究2
研究3
研究4
研究5
研究6
研究7
研究8
研究9
研究10
研究11
研究12
研究13
研究14
研究15
研究16
研究17
研究18
研究19
研究20
研究21
研究22
研究23
研究24
研究25
研究26
研究27
研究28
研究29
研究30
研究31
研究32
研究33
研究34
研究35
研究36
研究37
研究38
研究39
研究40
研究41
研究42
研究43
研究44
研究45
研究46
研究47
研究48
研究49
研究50
研究51
研究52
研究53
研究54
研究55
研究56
研究57
研究58
研究59
研究60
研究61
研究62
研究63
研究64
研究65
研究66
研究67
研究68
研究69
研究70
研究71
研究72
研究73
研究74
研究75
研究76
研究77
研究78
研究79
研究80
研究81
研究82
研究83
研究84
研究85
研究86
研究87
研究88
研究89
研究90
研究91
研究92
研究93
研究94
研究95
研究96
研究97
研究98
研究99
研究100

3. 履修上の注意

- * 「外国語学部について」 pp. 343～347と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」 p.344に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 第一主専攻必修科目について

- (1) 1年次において「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」(6単位)と「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」(6単位)を、2年次において「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」(6単位)と「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」(6単位)を履修する。前年度までに「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」と「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を修得していなければ「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」および「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を履修できない。
- (2) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を修得していない場合(評価F)は、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を履修することはできない。
- (3) 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を修得していない場合(評価F)は、「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (4) 「基礎ポルトガル語Ⅰ」、「基礎ポルトガル語Ⅱ」は、学年の初めにそれぞれ履修者のクラス分けを学科で行うので、必ず指定されたクラスで履修登録を行うこと。
- (5) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」、「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」の各科目は共通編 p.41の評価基準にかかわらず、正当な理由なくして、i)出席率80%未満の場合、またはii)試験欠席で評価不能の場合、不合格(評価F)とする。
- (6) 学則40条にもとづく退学措置については履修要覧(共通編) p.43を参照すること。また本学科の指定するポルトガル語必修科目の単位を2年連続して修得できなかった場合も、同条に基づき退学となる。本学科の指定するポルトガル語必修科目とは、「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」(1年次/各6単位)、「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」(2年次/各6単位)を指す。
- (7) 「ポルトガル語圏基礎科目」として開講される「ポルトガル語圏研究入門」(2単位)、「ポルトガル史」(2単位)、「ブラジル史」(2単位)、「ポルトガル語圏アフリカ史」(2単位)および「アジアとポルトガル語圏」(2単位)は原則として指定された年次に履修すること。
- (8) 選択する研究コースによっては、一部の科目が「ポルトガル語圏基礎科目」と重複している場合がある。ポルトガル語学科の学生がこれらの科目を履修する場合、研究コースの「導入科目」や「コア科目」として充当されることはなく、第一主専攻必修科目に充当される。該当する研究コースの履修上の注意を熟読すること。

② 第一主専攻選択科目の「総合ポルトガル語科目」について

- (1) 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を修得していない場合は、「総合ポルトガル語科目」を履修することはできない。
- (2) 3、4年次生は「総合ポルトガル語科目」から8単位を修得しなければならない。8単位のうちの2単位は4年次で修得する必要がある。よって、3年次で卒業に必要な8単位すべてを修得することはできない。ただし基礎ポルトガル語再履修者はこの限りではない。
- (3) 「総合ポルトガル語科目」(8単位)の余剰単位は「学科科目：その他」の単位に充当する。

③ 第二主専攻、副専攻科目の履修について

- (1) 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
- (2) 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ハンドブック』を熟読すること。

④ 「学科科目：その他」について

- (1) 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
- (2) 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の学科科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の担当教員の許可を必要とする。
- (3) 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を修得していない場合は、履修年次が「3・4」と指定されている本学科選択科目を履修することができない。

⑤ 時間割について

以下の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「ポルトガル語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 専攻語(ポルトガル語)以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってポルトガル語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（ポルトガル語）以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

- (1) 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
- (2) 上記(1)とは別に、学科が指定する言語（ポルトガル語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記(1)で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は履修要覧（共通編）p.169を参照すること。

⑦ 海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、ポルトガル語学科学生が参加できる研修は以下の3種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず履修要覧（共通編）p.146を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにグローバル教育センターのホームページを参照すること。

- ・ Study Abroad (SOAS, University of London)
- ・ Study Abroad (Oxford University)
- ・ 海外短期研修(パリ政治学院)

⑧ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニテ語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨコイスバ
研ラテアメリカ
研ユロコロシアス
コ言語研究
研ア究コロシア
研中東アフリカ
研国際政治ス論
研国市究際民コ協社力会ス論

4. 開講科目担当表

学科科目〔第一主専攻必修科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	580013	FPB101	基礎ポルトガル語 I-1	6	春	子安 昭子	1		文法 a/b合同クラス
						TOIDA Helena			会話・作文 aクラス
						GIBO Lucila			会話・作文 bクラス
						GIBO Lucila			語彙・表現 a/b合同クラス
	子安 昭子	文法 a/b合同クラス							
	GIBO Lucila	会話・作文 aクラス							
	TOIDA Helena	会話・作文 bクラス							
	TOIDA Helena	講読とダイアログ a/b合同クラス							
	580014	FPB102	基礎ポルトガル語 I-2	6	秋	NEVES Mauro	2		会話・作文 aクラス
						DIAS Nilta			会話・作文 bクラス
						田村 梨花			講読 aクラス
						矢澤 達宏			講読 bクラス
						子安 昭子			文法 aクラス
						田村 梨花			文法 bクラス
	田村 梨花	主題研究 a/b合同クラス							
	580034	FPB202	基礎ポルトガル語 II-2	6	秋	DIAS Nilta			会話・作文 aクラス
						NEVES Mauro			会話・作文 bクラス
						矢澤 達宏			講読 aクラス
田村 梨花						講読 bクラス			
田村 梨花						速読 aクラス			
子安 昭子						速読 bクラス			
矢澤 達宏	主題研究 a/b合同クラス								
580071	FPA111	ポルトガル史	2	春	*荻野 恵	1		注2, 注6	
582016	FPA112	ブラジル史	2	秋	NEVES Mauro	1		注3, 注6, 注7	
581126	FPA101	ポルトガル語圏研究入門	2	春	コーディネータ 田村 梨花	1		輪講, 注1	
580061	FPA122	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢澤 達宏	2		注2, 注4, 注6	
582017	FPA121	アジアとポルトガル語圏	2	秋	コーディネータ TOIDA Helena	2		輪講, 注3, 注5, 注6	

注1 ポルトガル語学科生のみ履修可

注2 ヨーロッパ研究コースの同名科目との合併科目

注3 ラテンアメリカ研究コースの同名科目との合併科目

注4 中東・アフリカ研究コースの同名科目との合併科目

注5 アジア研究コースの同名科目との合併科目

注6 この科目の開講曜日・時限・登録コードについてポルトガル語学科生は、Loyolaの「ポルトガル語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注7 外国語学部、総合グローバル学部、史学科の学生のみ履修可

学科科目〔第一主専攻選択科目〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔総合ポルトガル語科目〕 注1								
	580511	FPG301	(重) 総合ポルトガル語A-1	1	春	DIAS Nilta	3・4	○	
	580512	FPG302	(重) 総合ポルトガル語A-2	1	秋	DIAS Nilta	3・4	○	
	580513	FPG311	(重) 総合ポルトガル語B-1	1	春	*内藤 理佳	3・4	○	
	580514	FPG312	(重) 総合ポルトガル語B-2	1	秋	*内藤 理佳	3・4	○	[40名]
	580515	FPG321	(重) 総合ポルトガル語C-1	1	春	NEVES Mauro	3・4	○	
	580516	FPG322	(重) 総合ポルトガル語C-2	1	秋	*荻野 恵	3・4	○	
	580517	FPG331	(重) 総合ポルトガル語D-1	1	春	*REIS GOMES Paula	3・4	○	[35名]
	580518	FPG332	(重) 総合ポルトガル語D-2	1	秋	*REIS GOMES Paula	3・4	○	[35名]
	580519	FPG341	(重) 総合ポルトガル語E-1	1	春	*HANDA Hilda	3・4	○	
	580520	FPG342	(重) 総合ポルトガル語E-2	1	秋	GIBO Lucila	3・4	○	[40名]
	580521	FPG351	(重) 総合ポルトガル語F-1	1	春	矢澤 達宏	3・4	○	[50名]
	580522	FPG352	(重) 総合ポルトガル語F-2	1	秋	矢澤 達宏	3・4	○	[50名]
	580523	FPG361	(重) 総合ポルトガル語G-1	1	春	*RIBEIRO Geraldo	3・4	○	
580524	FPG362	(重) 総合ポルトガル語G-2	1	秋	*BRANDÃO Renato	3・4	○		

注1 ポルトガル語学科生のみ履修可

学科科目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔教職科目〕								
	586006	FPE201	ポルトガル語科教育法A	2	春	GIBO Lucila	2~4		注1
	586007	FPE202	ポルトガル語科教育法B	2	秋	*拝野 寿美子	2~4		注1
	587200	FUK381	欧州ボ語	2	春	*REIS GOMES Paula	2~4	○	[50名]
	585100	FLM391	日ポ対照研究	2	秋	GIBO Lucila	3・4		
	585043	FLN345	ポルトガル語表現法	2	春	TOIDA Helena	2~4		[40名]

注1 言語研究コースとのクロスリスティング科目である。

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロコースバ
研ラテアメリカ
研ユロコロシアス
コ言語研究
研アコロシア
研中東アフリカ
研国際政治論
研国市協社力会ス論

北米研究コース

本研究コースは、以下の視点をもって北米地域について研究することを主たる目的とする。なお、北米地域とは、主としてアメリカ合衆国、カナダを指す。

- * 北米地域を多角的かつ学際的な視点（政治学、経済学、社会学、文学、歴史学、心理学、メディア学、表象文化を含む）から考察し、専門的知識を修得する。
- * 中南米・アジア・太平洋地域などとの比較検討を通して、北米地域の特異性とそれらの地域との共通性・関連性を見出し、北米地域に対する理解を深化させるとともに批判的に考察する能力を伸ばす。
- * 北米研究と「自分」との繋がりを学問的に理解することによって、世界および地域社会における自らの役割について考察できる能力を養う。

1. 北米研究コースの開講科目は、次のように分類される。

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

*** 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。**

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

北米研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし、備考欄に（他）の記号のある科目については、該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで北米研究コースを登録すること。
* 詳細は、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。
- (4) 英語学科の学生は、本研究コースのコア科目のうちの一部が、第一主専攻選択科目（[英語・英語圏研究科目]）として開講されていることに注意すること。本研究コースのコア科目のうち、どの科目がこれに該当するかについては、開講科目担当表の備考欄に記されている。なお、第一主専攻選択科目として履修した科目は、本研究コースのコア科目としては算入できない。
- (5) コア科目、演習科目の各科目群のサブカテゴリー「国際政治・経済系」「文学・思想・歴史系」「多文化社会系」「メディア・表象系」は、学習を進める際の目安である。したがって、履修に際してこれらのカテゴリーに縛られる必要はない。

① 第二主専攻として履修する場合

- | | |
|--------------|------|
| (1) 必要な科目と単位 | |
| 導入科目 | 6単位 |
| コア科目 | 20単位 |
| 演習科目 | 4単位 |
| 卒業論文・卒業研究 | 6単位 |
| 合計 | 36単位 |

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

導入科目の3科目6単位は、北米研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

○演習科目

演習科目は2科目4単位を修得しなければならない。また、この2科目は原則として、同一担当者の科目を履修すること。

演習科目の履修に関しては、履修条件が設けられているため、よく注意すること。

*詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板(学科・専攻別)等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4判・横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：原則として英語、あるいは指導教員と相談のうえ、日本語・その他の外国語での執筆も可能である。

分量：英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式に関しては、指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を英語で執筆する場合は、日本語（A4版1枚程度）の要約、日本語で執筆する場合は、英語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。その他の言語については、指導教員に相談すること。

(3) 履修証明の交付

研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板(学科・専攻別)にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

導入科目の3科目6単位は、北米研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニテ語
ロシア語
ポルトガル語
北米研究
研究1 ロイスバ
研究1 ラテアス・メクスコ
研究1 ヨロコラシア・スア
言語研究
研究1 コジニア
研究1 中東アフリカ
研究1 国際政治論
研究1 国際市民協社力会ス論

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501264	FNJ201	北米地域研究入門A-1	2	春	コーディネータ 石井紀子	1~4		輪講, 注1
	690112	FNJ202	北米地域研究入門A-2	2	秋	*庭山雄吉	1~4		[60名],注1
	501265	FNJ211	北米地域研究入門B-1	2	春	小塩和人	1~4		
	501266	FNJ212	北米地域研究入門B-2	2	秋	小塩和人	1~4		

注1 外国語学部生及び総合グローバル学部生のみ履修可。

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋暁生	1・2		輪講, [100名],注1,旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田昌教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間Ⅰ	2	春	コーディネータ 高橋亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間Ⅱ	2	秋	コーディネータ 高橋亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田研作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[国際政治・経済系科目]								
	690147	FNP321	THE U.S. IN INTERNATIONAL RELATIONS OF ASIA-PACIFIC	2	春	*佐橋亮	2~4	○	注1
	519950	FNF301	経済入門1	2	春	*江頭隆治	2~4		
	519951	FNF302	経済入門2	2	秋	*江頭隆治	2~4		
	558801	FIF301	ラ米経済概論	2	春	谷洋之	2~4		
	558850	FIF314	(隔重)ラ米経済特論	2	秋	谷洋之	2~4		
	BGS53100	GIP317	アメリカ政治外交1	2	春	前嶋和弘	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53101	GIP318	アメリカ政治外交2	2	秋	前嶋和弘	2~4		(他)総合グローバル学科
	523400	FNP312	難民とアメリカ	4	秋	*佐原彩子	2~4		
	BGS52500	GIP306	国際政治史1	2	春	宮城大蔵	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS52501	GIP307	国際政治史2	2	休講	宮城大蔵	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS52400	GIP304	外交政策1	2	春	樋渡由美	2~4		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS52401	GIP305	外交政策2	2	秋	樋渡由美	2~4		(他)総合グローバル学科, [190名]
	[文学・思想・歴史系科目]								
	501362	FNS302	ISSUES IN AMERICAN SOCIETY	2	秋	*今野裕子	2~4	○	
	501314	FNH301	(隔重)INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 1	2	春	小塩和人	2~4	○	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501315	FNH302	(隔) INTRODUCTION TO (重) HISTORY OF U.S.A. 2	2	秋	小 塩 和 人	2~4	○	
	501367	FNH312	(隔) TOPICS IN (重) AMERICAN HISTORY	2	休講	小 塩 和 人	2~4	○	旧「Topics in American History 1」, 「Topics in American History 2」
	501318	FNH321	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	春	石 井 紀 子	2~4	○	注1
	501319	FNH322	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	秋	石 井 紀 子	2~4	○	注1
	522100	FNH324	(隔) 海を越える女性史	2	休講	石 井 紀 子	2~4		
	523500	FNH332	アメリカ社会史	4	秋	*兼 子 歩	2~4		
	501368	FNH353	(隔) 食のグローバル・ヒストリー	2	休講	飯 島 真里子	2~4		
	501313	FNJ311	北米風土論	4	秋	*生 井 英 考	2~4		[50名]
	548326	FUS340	(隔) フランス語圏宗教研究概論	2	休講	伊 達 聖 伸	2~4		
	548327	FUS342	(隔) (重) フランス語圏宗教研究特論	2	秋	伊 達 聖 伸	2~4		
	548328	FUS343	(隔) フランス宗教社会学	2	春	伊 達 聖 伸	2~4		
	170480	HST344	(重) 歴史学特講(国際関係史)	4	春	長 田 彰 文	2~4		(他)史学科, 旧「日本史特講(東アジア国際関係史)」
	200407	ELT204	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1	2	春	増 井 志 津 代	2~4		(他) 英文学科, [135名], 英文学科生優先
	200408	ELT205	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2	2	秋	大 塚 寿 郎	2~4		(他) 英文学科, [135名], 英文学科生優先
	200409	ELT207	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3	2	春	*辻 秀 雄	2~4		(他) 英文学科, [135名], 英文学科生優先
	200410	ELT208	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4	2	秋	山 口 和 彦	2~4		(他) 英文学科, [135名], 英文学科生優先
	LIT320	LIT320	(隔) AMERICAN POETRY	4	休講	WITMER Robert	2~4	○	(他)国際教養学部
	LIT322	LIT322	CONTEMPORARY LITERATURE	4	休講	STRECHER, Matthew	2~4	○	(他)国際教養学部
[多文化社会系科目]									
501280	FLN307	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	春	坂 本 光 代	3・4	○	(40名), 注1, 注2	
501281	FLN308	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	秋	坂 本 光 代	3・4	○	(40名), 注1, 注2	
501338	FNC301	(隔) PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	休講	出 口 真 紀 子	2~4	○	注1	
501340	FNC311	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	休講	出 口 真 紀 子	2~4	○	注1	
501341	FNC312	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	休講	出 口 真 紀 子	2~4	○	注1	
501286	FNH351	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	注1	
501287	FNH352	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	注1	
[メディア・表象系科目]									
501272	FNC302	(重) AMERICAN THEATER AND FILM	4	秋	*増 田 光	3・4	○	[60名]	
264402	JRN327	外国ジャーナリズムⅢa	2	秋	*買 曦	2~4		(他)新聞学科, [110名], 新聞学科生優先	
264403	JRN328	外国ジャーナリズムⅢb	2	春	音 好 宏	2~4		(他)新聞学科, [110名], 新聞学科生優先	

注1 英語学科とのクロスリスティング科目。英語学科の学生がこれらの科目を「英語・英語圏研究科目」または「3・4年次英語科目」として履修する場合は、これらを北米研究コースの科目とすることはできない。

注2 初回授業にて授業内抽選が行われる。

学部
共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
コ
北
米
研
究
研
究
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
ラ
テ
ン
ア
ン
グ
リ
ア
ン
研
究
コ
ー
ス
ユ
ロ
シ
ア
コ
ー
ス
コ
言
語
研
究
研
究
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ョ
ナ
ル
コ
ー
ス
中
東
ア
リ
ア
研
究
コ
ー
ス
研
究
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ョ
ナ
ル
政
治
学
研
究
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ョ
ナ
ル
協
会
力
を
結
ぶ

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501365	FNH401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY)1	2	春	石井紀子	3・4	○	旧「Seminar (American History)1」
	501366	FNH402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY)2	2	秋	石井紀子	3・4	○	旧「Seminar (American History)2」
	501363	FNJ401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES)1	2	春	小塩和人	3・4	○	旧「Seminar (American Studies)1」
	501364	FNJ402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES)2	2	秋	小塩和人	3・4	○	旧「Seminar (American Studies)2」
	501334	FNH421	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	休講	飯島真里子	3・4	○	
	501335	FNH422	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	休講	飯島真里子	3・4	○	
	501320	FNC401	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	休講	出口真紀子	3・4	○	
	501321	FNC402	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	休講	出口真紀子	3・4	○	
	501322	FNC411	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 1	2	春	OKIMOTO Kenneth	3・4	○	
	501323	FNC412	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 2	2	秋	OKIMOTO Kenneth	3・4	○	
	548363	FUS431	(重) 演習 (フランス宗教学) 1	2	春	伊達聖伸	3・4		
	548364	FUS432	(重) 演習 (フランス宗教学) 2	2	秋	伊達聖伸	3・4		
	559027	FIF401	(重) 演習 (ラ米経済研究) 1	2	春	谷洋之	3・4		
	559028	FIF402	(重) 演習 (ラ米経済研究) 2	2	秋	谷洋之	3・4		

【卒業論文・卒業研究】注 4年次生のみ履修可

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690922	FNZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690922	FNZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

ヨーロッパ研究コース

本研究コースは、以下の事象をその研究の対象とする。

- * ヨーロッパ地域の国ないしはサブリージョンに関わる事象
- * ヨーロッパ地域全域に関わる事象
- * ヨーロッパ地域の国ないしはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象
- * EUないしはEUと構成国との関係に関わる事象

また、本研究コースは以下をその教育および研究上の基本理念とする。

- * 「ヨーロッパ」という概念とそれによって表される地域の地理的、歴史的成り立ちを正しく理解し、国境、国家といった既存の枠組みに捉われない柔軟な発想と俯瞰的視点を培う。
- * ヨーロッパ地域の宗教、社会、文化、政治、経済などについて幅広く学び、教養を深める。
- * ヨーロッパ地域に関わる歴史的、今日的事象について、確かな外国語運用能力に基づく的確な調査と分析を行う力を養う。
- * ヨーロッパ地域に対する包括的理解を深めると同時に、日本にあってその域外からヨーロッパを眺めるという立ち位置を常に自覚し、客観的、批判的研究態度を身につける。

1. ヨーロッパ研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

*** 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。**

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

ヨーロッパ研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にある全ての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし備考欄に（他）の記号のある科目については該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaでヨーロッパ研究コースを登録すること。
*詳細は、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

① 第二主専攻として履修する場合

(1) 必要な科目と単位

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	36単位

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

* 開講科目担当表のコア科目、演習科目のサブカテゴリー「歴史系」「宗教・社会・文化系」「芸術系」「政治・経済系」は、学習を進める際の目安である。したがって、履修に際してこれらのカテゴリーに縛られる必要はない。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロツパ
研ラテアスカ
研ユロコリアシア
コ言語研究
研ア研究
研中東ア
研国際政治
研国市

○導入科目

- ・導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべてヨーロッパ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位までは他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。
- ・「ヨーロッパ史概論」と「ヨーロッパ史の諸問題」は、ヨーロッパ研究をはじめににあたって必要な基本的知識を提供する科目である。したがって、少なくともいずれか1科目は履修することを強く推奨する。
- ・「ヨーロッパの宗教と社会」（2015年度までは「ヨーロッパの宗教・社会・文化」）もしくは「ヨーロッパの芸術と文化」（2015年度までは「ヨーロッパの芸術」）のいずれか1科目を履修することを推奨する。

○コア科目

- ・「西概史」について、**イスパニア語学科生は、第一主専攻必修の「イスパニア語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならないので、この科目をヨーロッパ研究コースの「コア科目」には充当できない。**
- ・「ポルトガル史」と「ポルトガル語圏アフリカ史」について、**ポルトガル語学科生は、第一主専攻必修の「ポルトガル語圏基礎科目」としてこれらの科目を履修しなければならないので、これらの科目をヨーロッパ研究コースの「コア科目」としては充当できない。**

○演習科目について

- ・演習科目は、原則として、同一担当者の科目を履修すること。
- ・演習科目の履修に際しては、履修条件が設けられている場合があるため、よく注意すること。
*詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板（学科・専攻別）等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合は、外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合は、日本語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。使用する外国語に関しては、指導教員に相談すること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

②副専攻として履修する場合

必要な科目と単位

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

*開講科目担当表のコア科目、演習科目のサブカテゴリー「歴史系」「宗教・社会・文化系」「芸術系」「政治・経済系」は、学習を進める際の目安である。したがって、履修に際してこれらのカテゴリーに縛られる必要はない。

○導入科目

- ・導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべてヨーロッパ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位までは他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。

○コア科目

- ・「西概史」について、イスパニア語学科生は、第一主専攻必修の「イスパニア語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならないので、この科目をヨーロッパ研究コースの「コア科目」には充当できない。
- ・「ポルトガル史」と「ポルトガル語圏アフリカ史」について、ポルトガル語学科生は、第一主専攻必修の「ポルトガル語圏基礎科目」としてこれらの科目を履修しなければならないので、これらの科目をヨーロッパ研究コースの「コア科目」には充当できない。

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 コ ー ス イ タ リ ア
研 究 コ ー ス ラ テ ン ア メ リ カ
研 究 コ ー ス ユ ロ シ ア コ ラ ス ア
コ 言 語 研 究
研 究 コ ー ス ア ジ ア
研 究 コ ー ス 中 東 ア フリ カ
研 究 コ ー ス 国 際 政 治 学
研 究 コ ー ス 国 際 社 会 学

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	575030	FYJ231	中東欧地域研究入門	2	春	*末澤 恵美	1~4		注1
	690117	FUH201	(隔) ヨーロッパ史概論	2	休講	内村 俊太 高橋 暁生	1~4		注2
	690170	FUH202	(隔) ヨーロッパ史の諸問題	2	春	内村 俊太 *竹下 和	1~4		輪講, [250名], 外国語学部生優先, 注2
	537510	FUK201	(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	春	木村護郎クリストフ	1~4		[200名], 注1
	548329	FUS201	(隔) ヨーロッパの宗教と社会	2	秋	コーディネータ 伊達 聖伸	1~4		輪講, [120名], 外国語学部生・総合グローバル学部生優先, 旧「ヨーロッパの宗教・社会・文化」
	558840	FUC201	(隔) ヨーロッパの芸術と文化	2	休講		1~4		輪講, 注1, 旧「ヨーロッパの芸術」
	537918	FUP201	(隔) ヨーロッパ政治経済入門	2	休講	河崎 健	1~4		注1

注1 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可

注2 外国語学部生と総合グローバル学部生, 文学部史学科生のみ履修可

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田 昌教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田 研作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[歴史系科目]								
	501381	FUH381	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 1	2	春	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名]
	501382	FUH382	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 2	2	秋	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名]
	501368	FNH353	(隔) 食のグローバル・ヒストリー	2	休講	飯島 真里子	2~4		
	539302	FUH301	ドイツ近現代史	2	春	*尾崎 修治	2~4		旧「ドイツ近現代史1」「同2」
	549412	FUH311	フランス近現代史研究	2	春	高橋 暁生	2~4		
	549413	FUH312	(隔)(重) フランス語圏の歴史研究	2	秋	高橋 暁生	2~4		
	690123	FUH361	西概史	2	春	内村 俊太	2~4		注1
	557027	FUH321	(隔)(重) 西史特講A	2	秋	内村 俊太	2~4		
	557028	FUH322	(隔) 西史特講B	2	休講	内村 俊太	2~4		
	557029	FUH332	近現代スペイン研究	2	秋	*加藤 伸吾	2~4		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	575408	FYH321	(隔) ロシア史1	2	春	*草野佳矢子	2~4			
	575409	FYH322	(隔) ロシア史2	2	秋	*草野佳矢子	2~4			
	690143	FUH371	ポルトガル史	2	春	*荻野恵	2~4		注2	
	690146	FUH350	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢澤達宏	2~4		注2	
	588618	FUH342	(隔) 近現代ポルトガル研究	2	休講	市之瀬 敦	2~4			
	161700	HST241	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅰ	2	春	中川 亜 希	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史概説Ⅰ」	
	161710	HST242	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅱ	2	秋	藤崎 衛	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史概説Ⅱ」	
	161720	HST243	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅲ	2	秋	坂野 正 則	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史概説Ⅲ」	
	161730	HST244	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅳ	2	春	井上 茂 子	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史概説Ⅳ」	
	170520	HST335	(重) 歴史学特講(西洋古代史)	2	春	中川 亜 希	2~4	○	(他) 史学科, 旧「西洋史特講(古代史)」	
	170530	HST336	(重) 歴史学特講(西洋中世史)	2	春	藤崎 衛	2~4	○	(他) 史学科, 旧「西洋史特講(中世・ルネサンスの歴史と美術)」	
	170540	HST339	(重) 歴史学特講(フランス史の諸問題)	2	秋	坂野 正 則	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史特講(フランス史の諸問題)」	
	170560	HST337	(重) 歴史学特講(西洋近現代政治社会史)	2	春	井上 茂 子	2~4		(他) 史学科, 旧「西洋史特講(近現代政治社会史)」	
	[宗教・社会・文化系科目]									
		501354	FUS321	(隔) BRITISH CULTURE AND FICTION 1 (重)	2	春	小川 公 代	2~4	○	[80名], 注3, 旧「British Society and Literature 1」
	501355	FUS322	(隔) BRITISH CULTURE AND FICTION 2 (重)	2	秋	小川 公 代	2~4	○	[80名], 注3, 旧「British Society and Literature 2」	
	523100	FUS323	(隔) イギリス文化史概論	2	休講	小川 公 代	2~4			
	517605	FUS301	(隔) アイルランド研究A	2	秋	小 山 英 之	2~4		[100名], 旧「アイルランド研究1」	
	517606	FUS302	(隔) アイルランド研究B	2	休講	小 山 英 之	2~4		旧「アイルランド研究2」	
	538705	FUS331	ヨーロッパ思想	2	秋	*石田 安 実	2~4			
	538706	FUJ311	スイス社会事情	2	秋	*KARRER Thomas	2~4	○		
	539306	FUS311	(重) 日独環境比較研究	2	秋	*HITZER Eckhard	2~4	○	注4	
	539309	FLN361	多言語社会としての日本とドイツ	2	秋	COULMAS Florian	2~4	○	注4, 海外招聘客員教員担当科目	
	537511	FUS303	(隔) ヨーロッパの社会と言語A (重)	2	休講	木村 護郎クリストフ	2~4			
	547212	FUS304	ヨーロッパの社会と言語B	2	秋	*石 部 尚 登	2~4		[80名], 外国語学部生優先	
	547211	FUS311	フランス語圏の社会と言語	2	春	*古 石 篤 子	3・4			
	537509	FUS312	(隔) ドイツ語圏の社会と言語 (重)	2	休講	木村 護郎クリストフ	3・4			
	548326	FUS340	(隔) フランス語圏宗教研究概論	2	休講	伊 達 聖 伸	2~4			
	548327	FUS342	(隔) フランス語圏宗教研究特論 (重)	2	秋	伊 達 聖 伸	2~4			
	548328	FUS343	(隔) フランス宗教社会学	2	春	伊 達 聖 伸	2~4			
	548273	FUL331	(重) フランス哲学の会話	2	秋	COUCHOT Hervé	3・4	○		
	549417	FUS302	(隔) 福祉国家とジェンダー (重)	2	休講	牧 陽 子	2~4			
	548587	FLM381	(隔) フランス語学の諸問題A	2	春	TUCHAIS Simon	2~4	○		
	548588	FLM382	(隔) フランス語学の諸問題B	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○		
	548589	FLM383	(隔) フランス語学の諸問題C (重)	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○		
	554643	FUS392	イスパニア語圏社会文化概論	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○		
	554644	FUS393	(隔) イスパニア語圏社会文化特論 (重)	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○		
	588632	FUK396	(隔) イベリア半島の社会と言語	2	休講		2~4			
	575303	FYH331	(隔) ロシア文化史	2	休講		2~4		旧「ロシア文化史1」「同2」	

学部共通
英 語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロツバ
研ラテアスカ
研ユロシコリアス
コ言語研究
研ア研究
研コジョ
研中東ア
研コリスカ
研国際政治論
研国民協社力会
ス論

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	583410	FIC321	ポップカルチャー論	2	春	NEVES Mauro	2～4	○	[100名]	
	585200	FUK395	マカオの言葉と文化	2	秋	*内藤 理佳	2～4		[60名]	
	588619	FUS341	ポルトガルの文化と社会	2	秋	*REIS GOMES Paula	2～4	○	[50名]	
	950930	THE203	キリスト教の歴史Ⅰ	2	秋	川村 信三	1		(他) 神学部	
	950931	THE204	キリスト教の歴史Ⅱ	2	春	川村 信三	2		(他) 神学部	
	121400	PHL233	(隔) (重) キリスト教思想史	2	秋	長町 裕司	2～4		(他) 哲学科	
	125701	PHL240	古代哲学史	4	秋	荻野 弘之	2～4		(他) 哲学科	
	128301	PHL241	中世哲学史	4	春	佐藤 直子	2～4		(他) 哲学科	
	128110	PHL242	近世哲学史	4	秋	大橋 容一郎	2～4		(他) 哲学科	
	125302	PHL374	(隔) 政治哲学Ⅰ	2	春	*山脇 直司	3・4		(他) 哲学科	
	127404	PHL372	(隔) 社会哲学Ⅰ	2	休講		3・4		(他) 哲学科	
	[芸術系科目]									
	501370	FUL312	シェイクスピア演劇	2	秋	東郷 公德	2～4			[50名]
	523301	FEA301	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 1	2	春	EDWARDS Susan	2～4	○		注3
	523302	FEA302	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 2	2	秋	EDWARDS Susan	2～4	○		注3
	501356	FUC361	EUROPEAN CINEMA 1	2	春	WILLIAMS John	2～4	○		[50名], 注3, 旧「Contemporary European Cinema」
	501357	FUC362	(隔) (重) EUROPEAN CINEMA 2	2	秋	WILLIAMS John	2～4	○		[50名], 注3, 旧「Contemporary European Cinema」
	538501	FUC312	ドイツ語圏美術	2	秋	*水野 真紀子	2～4			
	539303	FUC321	ドイツ音楽	2	春	*横山 淳子	2～4			[150名], 旧「ドイツ音楽1」「同2」
	539305	FUC331	オーストリア文化史	2	秋	CONSTANTINESCU Cezar	2～4	○		旧「オーストリア文化史1」「同2」
	547870	FUC341	フランス近代芸術の歴史と理論	2	春	*松浦 寿夫	3・4			[60名], 外国語学部生優先
	555810	FIL301	西・西米文学特講	2	春	吉川 恵美子	3・4			
	558880	FUC351	西美術史概論	2	休講	松原 典子	2～4			旧「西・西米美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」「西美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」
	558890	FUC355	(隔) (重) 西美術史特論	2	休講	松原 典子	2～4			
	575260	FYC311	(隔) ロシア演劇A	2	休講	村田 真一	3・4			旧「ロシア演劇A-1」「同A-2」
	575240	FYC321	(隔) ロシア演劇B-1	2	春	村田 真一	3・4			
	575250	FYC322	(隔) ロシア演劇B-2	2	秋	村田 真一	3・4			
	575111	FYC301	(隔) ロシア芸術(音楽) A	2	休講		2～4			
	575131	FYC302	(隔) ロシア芸術(音楽) B	2	秋	*大嶋 かず路	2～4			
587321	FUL321	ポルトガル文学	2	春	*内藤 理佳	2～4				
970745	THE238	キリスト教の美術Ⅰ	2	春	*保坂 ひろみ	2～4			(他) 神学部,[100名]	
970746	THE239	キリスト教の美術Ⅱ	2	秋	*保坂 ひろみ	2～4			(他) 神学部,[100名]	
174004	HST317	(重) 西洋美術史	2	春	*金沢 百枝	2～4			(他) 史学科	
247720	FCL301	(隔) フランス美術論Ⅰ	2	春	吉村 和明	2～4			(他) フランス文学科,[120名]	
247721	FCL302	(隔) フランス美術論Ⅱ	2	休講		2～4			(他) フランス文学科,[120名]	
247705	FCL304	フランス映画論Ⅰ	2	春	*兼子 正勝	2～4			(他) フランス文学科,[80名]	
247706	FCL305	フランス映画論Ⅱ	2	秋	*兼子 正勝	2～4			(他) フランス文学科,[80名]	
ART301	ART301	(隔) SURVEY OF WESTERN ART1 西洋美術概論Ⅰ	4	秋	林 道郎	2～4	○		(他) 国際教養学部, 注5	
ART302	ART302	(隔) SURVEY OF WESTERN ART2 西洋美術概論Ⅱ	4	秋	林 道郎	2～4	○		(他) 国際教養学部, 注5	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	[政治・経済系科目]								
	537919	FUP302	(隔 重) ヨーロッパ政治経済論	2	秋	河 崎 健	2~4		[200名]
	538308	FUP312	E U-法と社会	2	秋	*吉 田 元 子	2~4		
	539307	FUP321	(隔 重) ドイツ政治研究	2	休講	河 崎 健	2~4		旧「ドイツ政治研究1」「同2」
	549414	FMS301	フランス語圏アフリカの 社会と経済	2	春	岩 崎 えり奈	2~4		
	549415	FMS302	(隔 重) 北アフリカ社会開発論	2	休講	岩 崎 えり奈	2~4		
	549416	FUF301	経済学概論~フランスと ヨーロッパ	2	春	MONFORT Briec	3・4		
	548456	FUP301	EUの現在と過去	2	春	*若 林 広	2~4		
	579101	FYP301	(隔) ロシア政治・外交A-1	2	春	上 野 俊 彦	2~4		
	579102	FYP302	(隔) ロシア政治・外交A-2	2	秋	上 野 俊 彦	2~4		
	579105	FYP311	(隔) ロシア政治・外交B	2	休講	上 野 俊 彦	2~4		旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」
	579232	FYP321	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	休講		2~4		旧「ロシア・ユーラシアの 国際関係A-1」「同A-2」
	579242	FYP331	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	春	*中 馬 瑞 貴	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの 国際関係B-1」「同B-2」
	539304	FUF301	(重) 日独経済比較研究	2	秋	*芳 賀 和 恵	2~4	○	注4,旧「ドイツの経済1」 「同2」
	539308	FUF302	日独経済概論	2	春	*芳 賀 和 恵	2~4		
	579480	FYF301	ロシア・ユーラシア経済概論	2	春	安 達 祐 子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの 経済A-1」「同A-2」
	579481	FYF311	(隔 重) ロシア・ユーラシア経済特論	2	休講	安 達 祐 子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの 経済B-1」
	588622	FMJ311	(隔 重) 現代アフリカ研究特講	2	休講	矢 澤 達 宏	2~4		
	337011	JUR351	西洋法制史	2	春	松 本 尚 子	3・4		(他)法学部
	333511	JUR331	ドイツ法Ⅰ	2	秋	松 本 尚 子	3・4		(他)法学部
	333512	JUR332	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松 本 尚 子	3・4		(他)法学部
	333610	JUR341	(隔) フランス法	4	休講		3・4		(他)法学部
	310900	ENL323	(隔) ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真 美	3・4		(他)法学部
	336505	INL322	(隔) EU法	2	休講		3・4		(他)法学部
	338001	POL221	国際政治学	4	春	岡 部 みどり	2		(他)法学部
	BGS57503	GIP403	特講(EU研究)	2	春	*佐 藤 俊 輔	3・4		(他)総合グローバル学科
284815	SOC212	SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	春	吉 野 耕 作	2~4	○	(他)社会学科, [100名], 社会学科生優先	

注1 イスパニア語学科の同名科目との合併科目。イスパニア語学科生はこの科目をヨーロッパ研究コースの科目として履修することはできない。

注2 ポルトガル語学科の同名科目との合併科目。ポルトガル語学科生はこの科目をヨーロッパ研究コースの科目として履修することはできない。

注3 英語学科とのクロスリスティング科目。英語学科の学生がこれらの科目を「英語・英語圏研究科目」または「3・4年次英語科目」として履修する場合は、これらをヨーロッパ研究コースの科目とすることはできない。

注4 ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目。

注5 国際教養学部はすべて英語で行われる。また、これらの科目を履修する場合には、学事センターの指示に従い、所定の手続をふむこと。

学部
共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
コ
北
米
研
究
研
究
コ
ー
ス
ラ
テ
ン
ア
ス
カ
研
究
コ
ー
ス
ユ
ロ
ピ
ア
研
究
コ
ー
ス
コ
言
語
研
究
研
究
コ
ー
ス
中
東
ア
リ
カ
研
究
コ
ー
ス
国
際
政
治
学
論
研
究
コ
ー
ス
研
究
コ
ー
ス
研
究
コ
ー
ス
研
究
コ
ー
ス

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	【歴史系科目】								
	501334	FNH421	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	休講	飯島 真里子	3・4	○	
	501335	FNH422	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	休講	飯島 真里子	3・4	○	
	549465	FUH401	(重) 演習(フランス語圏の歴史)1	2	春	高橋 暁生	3・4		
	549466	FUH402	(重) 演習(フランス語圏の歴史)2	2	秋	高橋 暁生	3・4		
	556215	FUH411	(重) 演習(西史)1	2	春	内村 俊太	3・4		
	556216	FUH412	(重) 演習(西史)2	2	秋	内村 俊太	3・4		
	【宗教・社会・文化系科目】								
	538204	FUS401	(重) 演習(ドイツ思想)1	2	春	浅見 昇吾	3・4		
	538205	FUS402	(重) 演習(ドイツ思想)2	2	秋	浅見 昇吾	3・4		
	537207	FUS411	(重) 演習(日独社会研究)1	2	春	木村 護郎クリストフ	3・4		注1
	537208	FUS412	(重) 演習(日独社会研究)2	2	秋	木村 護郎クリストフ	3・4	○	注1
	548363	FUS431	(重) 演習(フランス宗教学)1	2	春	伊達 聖伸	3・4		
	548364	FUS432	(重) 演習(フランス宗教学)2	2	秋	伊達 聖伸	3・4		
	548271	FUL411	(重) 演習(日本の哲学:フランス哲学入門)1	2	春	COUCHOT Hervé	3・4	○	
	548272	FUL412	(重) 演習(日本の哲学:フランス哲学入門)2	2	秋	COUCHOT Hervé	3・4	○	
	547353	FLN401	(重) 演習(フランス語教育と異文化コミュニケーション)1	2	休講	原田 早苗	3・4		
	547354	FLN402	(重) 演習(フランス語教育と異文化コミュニケーション)2	2	休講	原田 早苗	3・4		
	546923	FLM481	(重) 演習(フランス語学)1	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	○	
	546924	FLM482	(重) 演習(フランス語学)2	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	○	
	549471	FUS441	(重) 演習(日仏社会研究)1	2	春	牧 陽子	3・4		旧「演習(フランス社会研究)1」
	549472	FUS442	(重) 演習(日仏社会研究)2	2	秋	牧 陽子	3・4		旧「演習(フランス社会研究)2」
	548577	FUK483	(重) 演習(通訳とフランス文化理解)1	2	春	福崎 裕子	3・4		
	548578	FUK484	(重) 演習(通訳とフランス文化理解)2	2	秋	福崎 裕子	3・4		
	559036	FUS490	(重) 演習(イスパニア語圏社会文化)1	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	3・4	○	
	559037	FUS491	(重) 演習(イスパニア語圏社会文化)2	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	3・4	○	
	587453	FIC401	(重) 演習(ポップカルチャー研究)1	2	春	NEVES Mauro	3・4		
	587454	FIC402	(重) 演習(ポップカルチャー研究)2	2	秋	NEVES Mauro	3・4		
	587443	FLN461	(重) 演習(ルゾフォニア研究)1	2	休講	市之瀬 敦	3・4		
	587444	FLN462	(重) 演習(ルゾフォニア研究)2	2	休講	市之瀬 敦	3・4		
	579227	FYS401	(重) 演習(ロシア社会)1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4		
	579228	FYS402	(重) 演習(ロシア社会)2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4		
	【芸術系科目】								
	501371	FUC401	(重) 演習(英文学)1	2	春	東郷 公德	3・4		
	501372	FUC402	(重) 演習(英文学)2	2	秋	東郷 公德	3・4		
	501284	FUC411	(重) 演習(イギリス文化・文学研究)1	2	春	小川 公代	3・4		
	501285	FUC412	(重) 演習(イギリス文化・文学研究)2	2	秋	小川 公代	3・4		
	501377	FUC441	(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 1	2	春	WILLIAMS John	3・4	○	
	501378	FUC442	(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 2	2	秋	WILLIAMS John	3・4	○	
	534707	FUC421	(重) 演習(現代ドイツ文化論)1	2	休講	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		
	534708	FUC422	(重) 演習(現代ドイツ文化論)2	2	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	537211	FUC423	(重) 演習(比較文化論)1	2	休講	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		注1	
	537212	FUC424	(重) 演習(比較文化論)2	2	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		注1	
	556211	FUC431	(重) 演習(西美術)1	2	休講	松原典子	3・4			
	556212	FUC432	(重) 演習(西美術)2	2	休講	松原典子	3・4			
	556217	FIL411	(重) 演習(西・西米演劇研究)1	2	春	吉川恵美子	3・4			
	556218	FIL412	(重) 演習(西・西米演劇研究)2	2	秋	吉川恵美子	3・4			
	578425	FYL401	(重) 演習(ロシア文学)1	2	春	原求作	3・4			
	578426	FYL402	(重) 演習(ロシア文学)2	2	秋	原求作	3・4			
	575322	FYC401	(重) 演習(ロシア文化)1	2	春	村田真一	3・4			
	575323	FYC402	(重) 演習(ロシア文化)2	2	秋	村田真一	3・4			
	【政治・経済系科目】									
		537213	FUP401	(重) 演習(日独比較政治)1	2	春	河崎健	3・4		注1
		537214	FUP402	(重) 演習(日独比較政治)2	2	秋	河崎健	3・4		注1
		549463	FMS401	(重) 演習(北アフリカ社会経済)1	2	春	岩崎えり奈	3・4		
	549464	FMS402	(重) 演習(北アフリカ社会経済)2	2	秋	岩崎えり奈	3・4			
	549469	FUF401	(重) 演習(経済学)1	2	春	MONFORT Brieuc	3・4			
	549470	FUF402	(重) 演習(経済学)2	2	秋	MONFORT Brieuc	3・4			
	579223	FYP401	(重) 演習(ロシア政治・外交)1	2	春	上野俊彦	3・4			
	579224	FYP402	(重) 演習(ロシア政治・外交)2	2	秋	上野俊彦	3・4			
	579225	FYF401	(重) 演習(ロシア経済)1	2	春	安達祐子	3・4			
	579226	FYF402	(重) 演習(ロシア経済)2	2	秋	安達祐子	3・4			

注1 ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目。

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690923	FUZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690923	FUZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロツバ
研テアスカ
研ユロシア
コ言語研究
研アコシ
研中東アフリカ
研国際政治論
研国市協社力会ス論

ラテンアメリカ研究コース

本研究コースは、以下の視点をもってラテンアメリカ地域について研究し、同地域の総合的理解をめざすことを主たる目的とする。

- * 人文・社会科学の分野を中心にラテンアメリカ地域を研究し、地域の特徴および多様性を探求する。
- * 地域の特徴を踏まえつつ、ラテンアメリカ地域の特定の国やサブリージョンに固有の事象を考察し、その事象の持つ普遍の意味を問う。
- * 他の地域、国際社会との関わり、または比較の観点から、ラテンアメリカ地域の特徴を探求し、グローバル化時代における同地域の国家と社会、文化が生み出す新しいダイナミクスに迫る。

1. ラテンアメリカ研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

*以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp. 343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p. 344に説明があるので参照すること。

ラテンアメリカ研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にある全ての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで研究コースを登録すること。詳細は「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

① 第二主専攻として履修する場合

- (1) 必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	36単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、それらの単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

「ラテンアメリカ地域研究入門」は、本研究コースの基礎となる科目なので、本研究コースを第二主専攻とする場合も、副専攻とする場合も、履修することを強く薦める。

「西米概史」が本研究コースの「導入科目」として開講されているが、イスパニア語学科生は、第一主専攻必修の「イスパニア語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならない。この場合、この科目をラテンアメリカ研究コースの「導入科目」としては充当できないことに注意すること。

「ブラジル史」が本研究コースの「導入科目」として開講されているが、ポルトガル語学科生は、第一主専攻必修の「ポルトガル語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならない。この場合、この科目をラテンアメリカ研究コースの「導入科目」に充当できないことに注意すること。

導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべてラテンアメリカ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位については他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。

○コア科目

コア科目の中には、その科目を履修するために必要な前提条件を定めている科目もある。本履修要覧とともに、各科目のシラバスを熟読すること。

○演習科目

演習科目は原則として同一担当者の科目を履修すること。また、演習科目の履修に際しては必要な語学要件等が設定されている場合があるので、よく注意すること。

*詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板（学科・専攻別）等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究は、本研究コースを第二主専攻として登録している場合に限り、履修できる。

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、

その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合は外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合は、日本語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。使用する外国語に関しては、指導教員に相談すること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、それらの単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

「ラテンアメリカ地域研究入門」は、本研究コースの基礎となる科目なので、本研究コースを第二主専攻とする場合も、副専攻とする場合も、履修することを強く薦める。

「西米概史」が本研究コースの「導入科目」として開講されているが、イスパニア語学科生は、第一主専攻必修の「イスパニア語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならない。この場合、この科目をラテンアメリカ研究コースの「導入科目」に充当できないことに注意すること。

「ブラジル史」が本研究コースの「導入科目」として開講されているが、ポルトガル語学科生は、第一主専攻必修の「ポルトガル語圏基礎科目」としてこの科目を履修しなければならない。この場合、この科目をラテンアメリカ研究コースの「導入科目」に充当できないことに注意すること。

導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべてラテンアメリカ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位については他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。

○コア科目

コア科目の中には、その科目を履修するために必要な前提条件を定めている科目もある。本履修要覧とともに、各科目のシラバスを熟読すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ 究 コ ロ ッ ス バ
研 ラ テ ン ア メ リ カ 研 究 コ ー ス
研ユ ロ シ コ ラ シ ア ・ ス ア
コ 言 語 研 究
研 ア シ ア 研 究 コ ー ス
研中 東 ア フリ カ
研 国 際 政 治 学 論
研 国 民 協 力 会 論

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690116	FIJ201	ラテンアメリカ地域研究入門	2	春	コーディネータ 幡谷 則子	1~4		輪講, 注1
	558860	FIJ203	ラ米現代史概論	2	春	幡谷 則子	1~4		注1
	690124	FIH211	西米概史	2	秋	*鳥塚 あゆち	1~4		注2, 注3
	690144	FIH221	ブラジル史	2	秋	NEVES Mauro	1~4		注2, 注4

注1 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

注2 外国語学部生, 総合グローバル学部生, 文学部史学科生のみ履修可。

注3 イスパニア語学科の同名科目との合併科目。イスパニア語学科生は, この科目をラテンアメリカ研究コースの科目としては履修できない。

注4 ポルトガル語学科の同名科目との合併科目。ポルトガル語学科生は, この科目をラテンアメリカ研究コースの科目としては履修できない。

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田 昌教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田 研作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	[人文科学系科目]									
	555810	FIL301	西・西米文学特講	2	春	吉川 恵美子	3・4			
	558930	FIL303	(隔) ラ米文学特講	2	春	*久野 量一	3・4			
	588631	FIL306	(隔) ブラジル現代文学特講	2	休講	コーディネータ TOIDA Helena	2~4		輪講	
	558940	FIL305	(重) 日本・ラテンアメリカ比較演習 (比較文学)	2	春	長谷川 ニナ	3・4	○	本科目は演習科目ではないので注意すること	
	554643	FUS392	イスパニア語圏社会文化概論	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○		
	554644	FUS393	(隔) イスパニア語圏社会文化特論	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○		
	557029	FUH332	近現代スペイン研究	2	秋	*加藤 伸吾	2~4			
	559039	FIC301	(隔) ラテンアメリカ音楽と社会	2	休講		2~4			
	690111	FIS341	ラ米先住民の歴史と社会	2	春	*鳥塚 あゆち	2~4			

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	690145	FIJ322	アジアとポルトガル語圏	2	秋	コーディネータ TOIDA Helena	2～4		輪講、注1	
	588310	FIL311	ブラジル文学	2	春	TOIDA Helena	2～4			
	587103	FIK301	商業ポルトガル語	2	春	DIAS Nilta	3・4	○		
	[社会科学系科目]									
	558801	FIF301	ラミ経済概論	2	春	谷 洋 之	2～4			
	558850	FIF314	(隔) (重) ラミ経済特論	2	秋	谷 洋 之	2～4			
	588629	FIF315	(重) 日本・ラテンアメリカ比較演習(日本とブラジルの経済)	2	春	*山 崎 圭 一	3・4	○	本科目は演習科目ではないので注意すること	
	558950	FIF316	(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ比較演習(経済発展)	2	秋	谷 洋 之	3・4	○	本科目は演習科目ではないので注意すること	
	558951	FIF317	(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ比較演習(社会開発と社会運動)	2	休講	幡 谷 則 子	3・4	○	本科目は演習科目ではないので注意すること	
	588639	FIS332	日本・ラテンアメリカ比較演習(在日ブラジル人教育事情)	2	秋	DIAS Nilta	3・4	○	本科目は演習科目ではないので注意すること、旧「在日ブラジル人教育事情」	
	558870	FIP304	(重) ラミ政治社会特論	2	秋	幡 谷 則 子	2～4			
	588625	FIP313	ブラジル政治概論	2	春	子 安 昭 子	2～4		旧「ブラジル政治論」	
	588624	FIP324	(隔) 特講現代ブラジル国際関係	2	秋	子 安 昭 子	2～4		旧「現代ブラジル国際関係研究」	
	581020	FIF321	ブラジル経済論	2	春	*竹 下 幸治郎	2～4			
	587607	FIF331	ラミ産業論	2	秋	*竹 下 幸治郎	2～4			
	588730	FIS302	ブラジル社会開発協力	2	秋	*蠟 山 はるみ	2～4		[80名]	
	588627	FIS324	(隔) 特講ブラジル社会開発論	2	秋	田 村 梨 花	2～4		旧「ブラジルの教育と開発」	
	588628	FIS323	ブラジル社会概論	2	春	田 村 梨 花	2～4			
	583410	FIC321	ポップカルチャー論	2	春	NEVES Mauro	2～4	○	[100名]	
	584840	FIC312	アフロ・ブラジル文化論	2	秋	矢 澤 達 宏	2～4			
588634	FIF333	グローバリゼーションにおけるブラジルの政治経済	2	春	BOTELHO Antonio	3・4	○	海外招聘客員教員担当科目		
588635	FIP334	現代ラテンアメリカにおける政治経済発展	2	秋	BOTELHO Antonio	3・4	○	海外招聘客員教員担当科目		
559038	FIS306	(隔) カリブ地域文化論	2	秋	*松 本 八重子	2～4				
BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸 川 毅	2～4		(他)総合グローバル学科		
BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸 川 毅	2～4		(他)総合グローバル学科		

注1 ポルトガル語学科の同名科目との合併科目。ポルトガル語学科生は、この科目をラテンアメリカ研究コースの科目としては履修できない。

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	[人文科学系科目]									
	555312	FIL401	(重) 演習(西米文学研究)1	1	2	春	長谷川 ニ ナ	3・4	○	
	555313	FIL402	(重) 演習(西米文学研究)2	2	2	秋	長谷川 ニ ナ	3・4	○	
	556217	FIL411	(重) 演習(西・西米演劇研究)1	1	2	春	吉 川 恵美子	3・4		
	556218	FIL412	(重) 演習(西・西米演劇研究)2	2	2	秋	吉 川 恵美子	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選 択 科 目	559036	FUS490	(重) 演習 (イスパニア語圏 社会文化) 1	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	3・4	○		
	559037	FUS491	(重) 演習 (イスパニア語圏 社会文化) 2	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	3・4	○		
	587445	FIL421	(重) 演習 (ブラジル文学研究) 1	2	春	TOIDA Helena	3・4			
	587446	FIL422	(重) 演習 (ブラジル文学研究) 2	2	秋	TOIDA Helena	3・4			
	[社会科学系科目]									
	559034	FIS401	(重) 演習 (ラ米社会研究) 1	2	春	幡 谷 則 子	3・4			
	559035	FIS402	(重) 演習 (ラ米社会研究) 2	2	秋	幡 谷 則 子	3・4			
	559027	FIF401	(重) 演習 (ラ米経済研究) 1	2	春	谷 洋 之	3・4			
	559028	FIF402	(重) 演習 (ラ米経済研究) 2	2	秋	谷 洋 之	3・4			
	587449	FIP401	(重) 演習 (ブラジル政治経済研究) 1	2	春	子 安 昭 子	3・4			
	587450	FIP402	(重) 演習 (ブラジル政治経済研究) 2	2	秋	子 安 昭 子	3・4			
	587451	FIS411	(重) 演習 (ブラジル社会研究) 1	2	春	田 村 梨 花	3・4			
	587452	FIS412	(重) 演習 (ブラジル社会研究) 2	2	秋	田 村 梨 花	3・4			
	587453	FIC401	(重) 演習 (ポップカルチャー研究) 1	2	春	NEVES Mauro	3・4			
587454	FIC402	(重) 演習 (ポップカルチャー研究) 2	2	秋	NEVES Mauro	3・4				
587447	FIH401	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 1	2	春	矢 澤 達 宏	3・4				
587448	FIH402	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 2	2	秋	矢 澤 達 宏	3・4				

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	690919	FIZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690919	FIZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

ロシア・ユーラシア研究コース

本コースは、以下の視点をもってロシア・ユーラシア地域について研究することを主たる目的とする。なお、ロシア・ユーラシア地域とは、主として旧ソ連地域を指すものとする。

- * ロシア・ユーラシア地域の国ないしはサブリージョンに関わる事象
- * ロシア・ユーラシア地域全域に関わる事象
- * ロシア・ユーラシア地域の国ないしはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象

1. ロシア・ユーラシア研究コースの開講科目は、次のように分類される。

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

* 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

ロシア・ユーラシア研究コースを第二主専攻ないし副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 以下の「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「ロシア・ユーラシア研究コース」の時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。
- (3) 導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべてロシア・ユーラシア研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位までは他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。
- (4) コア科目および演習科目の科目群の中には、その科目を履修するために必要な前提条件を定めている科目もある。本履修要覧とともに、各科目のシラバスを熟読すること。特に演習科目の場合、担当教員の判断で、面接その他の選考方法によって受講者数を制限することがあるので、よく注意すること。
- (5) 演習科目について
 - 演習科目は原則として同一担当者の科目を履修すること。
 - 演習科目の履修に際しては**選抜が実施される場合がある**のでよく注意すること。詳細は、「ゼミガイダンス」等で確認のこと。
- (6) 本研究コースのコア科目のうち、以下の「開講科目担当表」の「備考欄」に「注1」が付された科目は、同名の科目がロシア語学科生にとっての第一主専攻選択科目「ロシア語研究科目」としても開講されている。本研究コースのコア科目としてこれらの科目を履修したい場合は、「ロシア・ユーラシア研究コース」の時間割表に記載されている登録コードで登録すること。これらの科目を「ロシア語研究科目」として履修したい場合は、「ロシア語学科」の時間割表に記載されている登録コードで登録すること。「ロシア・ユーラシア研究コース」の科目として履修した科目を「ロシア語学科」の科目に移すこと（あるいはその逆）は認められない。
- (7) コア科目、演習科目における各科目群のサブカテゴリー「共通科目」「人文科学系科目」「社会科学系科目」は、学習を進める際の目安である。したがって、履修に際してこれらのカテゴリーに縛られる必要はない。なお、「共通科目」は人文科学および社会科学の双方にまたがる科目であることを意味する。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ研究1ロシア
研ラテアス
研ユロシア
コ言語研究
研アロシア
研中東
研国際政治
研国市

① 第二主専攻として履修する場合に必要な単位と科目

(1) 必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	36単位

* 第二主専攻として指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

(2) 卒業論文・卒業研究

- (1) 卒業論文・卒業研究の履修要件：本研究コースを第二主専攻として登録している場合に限り、履修できる。副専攻として登録している場合には、卒業論文・卒業研究の履修はできないので注意すること。なお、副専攻から第二主専攻への専攻変更が認められた場合には、履修が可能となる。より詳細な説明が「外国語学部について」pp.343～347にあるので、必ず熟読すること。
- (2) 外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。
規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。
執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。
分量：日本語で執筆する場合20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。
要約：卒業論文を日本語で執筆する場合は外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合は、日本語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。

② 副専攻として履修する場合に必要な単位と科目

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合 計	16単位

* 副専攻として指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690139	FYJ201	ロシア・ユーラシア文化入門1	2	春	原 求 作	1~4		注1
	571004	FYJ202	ロシア・ユーラシア文化入門2	2	秋	原 求 作	1~4		
	690140	FYJ211	ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2	春	上 野 俊 彦	1~4		注1
	572004	FYJ212	ロシア・ユーラシア地域研究入門2	2	秋	安 達 祐 子	1~4		
	575030	FYJ231	中東欧地域研究入門	2	春	*末 澤 恵 美	1~4		注2
	579479	FYJ221	中央アジア地域研究入門	2	秋	*中 馬 瑞 貴	1~4		注2

注1 ロシア語学科の同名科目との合併科目。ロシア語学科生は、この科目をロシア・ユーラシア研究コースの科目として履修することはできない。

注2 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

【コース共通導入科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高 橋 暁 生	1・2		輪講, [100名], 注1,旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小 田 昌 教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉 田 研 作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	【共通科目】								
	575008	FYJ301	ロシア・ユーラシア地域研究方法論	2	春	安 達 祐 子	2		
	【人文科学系科目】								
	573411	FYH301	(隔) ロシア語史1	2	休講	原 求 作	2~4		
	573412	FYH302	(隔) ロシア語史2	2	休講	原 求 作	2~4		
	575408	FYH321	(隔) ロシア史1	2	春	*草 野 佳 矢 子	2~4		
	575409	FYH322	(隔) ロシア史2	2	秋	*草 野 佳 矢 子	2~4		
	575303	FYH331	(隔) ロシア文化史	2	休講		2~4		旧「ロシア文化史1」「同2」
	575111	FYC301	(隔) ロシア芸術(音楽)A	2	休講		2~4		
	575131	FYC302	(隔) ロシア芸術(音楽)B	2	秋	*大 嶋 か ず 路	2~4		
	575260	FYC311	(隔) ロシア演劇A	2	休講	村 田 真 一	2~4		旧「ロシア演劇A-1」「同A-2」
	575240	FYC321	(隔) ロシア演劇B-1	2	春	村 田 真 一	3・4		
	575250	FYC322	(隔) ロシア演劇B-2	2	秋	村 田 真 一	3・4		
	690129	FYJ321	(重) ロシア語原書講読1	2	春	*井 上 幸 義	3・4		注1
	690130	FYJ322	(重) ロシア語原書講読2	2	秋	*井 上 幸 義	3・4		注1
	690131	FYJ331	(重) 現代ロシア語研究1	2	春	村 田 真 一	3・4		注1
	690132	FYJ332	(重) 現代ロシア語研究2	2	秋	村 田 真 一	3・4		注1
	690128	FYJ313	(重) ロシア語文獻研究B	2	春	*平 野 恵 美 子	3・4		注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[社会科学系科目]								
	579101	FYP301	(隔) ロシア政治・外交A-1	2	春	上野俊彦	2~4		
	579102	FYP302	(隔) ロシア政治・外交A-2	2	秋	上野俊彦	2~4		
	579105	FYP311	(隔) ロシア政治・外交B	2	休講	上野俊彦	2~4		旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」
	579232	FYP321	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	休講		2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係A-1」「同A-2」
	579242	FYP331	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	春	*中馬瑞貴	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係B-1」「同B-2」
	579480	FYP301	ロシア・ユーラシア経済概論	2	春	安達祐子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの経済A-1」「同A-2」
	579481	FYP311	(隔)(重) ロシア・ユーラシア経済特論	2	休講	安達祐子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの経済B-1」
	690126	FYJ311	(重) ロシア語文献研究A-1	2	春	上野俊彦	3・4		注1
690127	FYJ312	(重) ロシア語文献研究A-2	2	秋	上野俊彦	3・4		注1	

注1 ロシア語学科の同名科目との合併科目。ロシア語学科の学生は、基礎ロシア語Ⅱの単位を修得していないと履修できない。

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[人文科学系科目]								
	577323	FYH401	(重) 演習 (古代ロシア語) 1	2	春	原求作	3・4		
	577324	FYH402	(重) 演習 (古代ロシア語) 2	2	秋	原求作	3・4		
	575333	FYK401	(重) 演習 (ロシア語学) 1	2	春	秋山真一	3・4		
	575334	FYK402	(重) 演習 (ロシア語学) 2	2	秋	秋山真一	3・4		
	578425	FYL401	(重) 演習 (ロシア文学) 1	2	春	原求作	3・4		
	578426	FYL402	(重) 演習 (ロシア文学) 2	2	秋	原求作	3・4		
	575322	FYC401	(重) 演習 (ロシア文化) 1	2	春	村田真一	3・4		
	575323	FYC402	(重) 演習 (ロシア文化) 2	2	秋	村田真一	3・4		
	578065	FLT421	(重) 演習 (ロシア語通訳・翻訳研究) 1	2	春	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	
	578066	FLT422	(重) 演習 (ロシア語通訳・翻訳研究) 2	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	
	[社会科学系科目]								
	579223	FYP401	(重) 演習 (ロシア政治・外交) 1	2	春	上野俊彦	3・4		
	579224	FYP402	(重) 演習 (ロシア政治・外交) 2	2	秋	上野俊彦	3・4		
	579225	FYP401	(重) 演習 (ロシア経済) 1	2	春	安達祐子	3・4		
	579226	FYP402	(重) 演習 (ロシア経済) 2	2	秋	安達祐子	3・4		
	579227	FYS401	(重) 演習 (ロシア社会) 1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4		
	579228	FYS402	(重) 演習 (ロシア社会) 2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4		

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690925	FYZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690925	FYZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

言語研究コース

本研究コースは、以下の視点をもって言語について研究することを主たる目的とする。

- * 人間にのみ与えられている言語能力を科学的に研究することを通して人間精神（人間の心の仕組み）の本質に迫る。
- * 日本語および諸外国語に関する経験的・記述的研究を通して言語の普遍性と多様性を深く考える。
- * 社会、歴史、文化、教育などの様々な人間の営みにおける言語の機能・役割を考察する。

1. 言語研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

*** 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。**

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
 - * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。
- 言語研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意**

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にある全ての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし、「開講科目担当表」のコア科目の「備考欄」で注2及び注5～9が記された科目は、各学科とのクロスリスティング科目であり、開講曜日・時限は、それぞれ示された学科の時間割表(Loyola)を参照し、そこに記載された登録コードで登録すること。備考欄に(他)の記号のある科目については該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで言語研究コースを登録すること。
*詳細については、「研究コースガイド」等で確認のこと。
- (4) 本研究コースのコア科目のうち、以下の「開講科目担当表」の「備考欄」で「注1」が付された科目は、同名の科目がロシア語学科生にとっての第一主専攻選択科目「ロシア語研究科目」としても開講されている。ロシア語学科の学生が本研究コースのコア科目としてこれらの科目を履修したい場合は、上記(2)にあるように、Loyolaの「ロシア・ユーラシア研究コース」の時間割表に記載されている登録コードで登録すること。ロシア語学科生が、これらの科目を「ロシア語研究科目」として履修したい場合は、Loyolaの「ロシア語学科」の時間割表を参照し、そこに記載されている登録コードで登録すること。
- (5) コア科目、演習科目における各科目群のサブカテゴリー「理論言語学」「応用言語学」「言語聴覚障害学」「翻訳・通訳科目」は、極めて広範な言語研究の下位領域について、学習を進める際の目安としてまとめたものである。履修に際してこれらのカテゴリーに縛られる必要はない。

① 第二主専攻として履修する場合

(1) 必要な科目と単位

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	36単位

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 1 コ ー ス B
研 究 2 コ ー ス C
研 究 3 コ ー ス D
言語 研究
研 究 コ ー ス A
研 究 中 東 ア リ カ
研 究 国 際 政 治 学
研 究 市 民 協 会 力 会 ス 論

○導入科目

導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべて言語研究コースの科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位までは他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。なお、本コースでは特に、1・2年次にコース共通導入科目「言語と人間Ⅰ」「言語と人間Ⅱ」の履修を強く勧める。

○演習科目

演習科目は原則として同一担当者の科目を履修すること。

演習科目の履修に関しては、履修条件が設けられている場合があるので注意すること。詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板（学科・専攻別）等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長 A4 版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長 A4 版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：指導教員と相談の上決定すること。

分量：日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合は、外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合は、日本語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。使用する外国語に関しては、指導教員と相談すること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合 計	16単位

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

導入科目で必要とされる3科目6単位は、すべて言語研究コースの科目群から履修することが望ましいが、1科目2単位までは他の研究コースで開講される導入科目や外国語学部が開講するコース共通導入科目から履修することもできる。なお、本コースでは特に、1・2年次にコース共通導入科目「言語と人間Ⅰ」「言語と人間Ⅱ」の履修を強く勧める。

3. 日本語教授法履修証明について

日本語教授法履修証明は、本学において日本語教授法に関する一定の系統的な学習が修了したことを証明するものである。また、本履修証明の取得をもって、本学大学院言語科学研究科博士前期課程日本語教育学コースの出願資格を満たすことができる（詳細は大学院入試要項を確認のこと）。

① 履修証明の交付について

(1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。

(2) 交付希望者は、「日本語教授法履修証明申請書」と「日本語教授法履修単位計算表」に記入し、3月卒業の場合は同年1月末日までに、9月卒業の場合は同年7月末日までに外国語学部事務室まで提出すること。用紙はLOYOLA掲示板（学科・専攻別）にて配布する。

(3) 「日本語教授法履修証明」は卒業式当日に発行され、学科別集会で交付される。出席できない場合は、外国語学部事務室まで郵送希望の連絡をすること。

(4) 「日本語教授法履修証明」の発行は一度に限る。

② 履修証明取得に必要な単位と学科

必修科目		4単位
選択必修科目	I 8単位 II 8単位	16単位
選択科目		4単位
合計		24単位

*外国語学部以外の学生も上記の条件を満たせば日本語教授法履修証明を取得できる。

③ 科目

(1) 必修科目(4単位)

日本語教育入門1	2
日本語教育入門2	2

*上記2科目は2年次終了までに履修することを強く推奨する。

(2) 選択必修科目(16単位)

I 日本語教育学科目群から4科目(8単位), II 日本語教授法科目群から4科目(8単位)をそれぞれ履修すること。ただし同じ科目名の1, 2は必ず合わせて履修すること。

I 日本語教育学科目群

日本語教育学A(文法)1	2
日本語教育学A(文法)2	2
日本語教育学B(言語習得)1	2
日本語教育学B(言語習得)2	2
日本語教育学C(社会言語学)1	2
日本語教育学C(社会言語学)2	2

II 日本語教授法科目群

日本語教授法A(初級)1	2
日本語教授法A(初級)2	2
日本語教授法B(中上級)1	2
日本語教授法B(中上級)2	2
日本語教授法C(技能別)1	2
日本語教授法C(技能別)2	2

(3) 選択科目(4単位)

上記I・II科目群のうち選択必修科目としなかった2科目, または以下の科目のうち2科目を履修すること。ただし同じ科目名の1, 2は必ず合わせて履修すること。

言語学概論1	2
言語学概論2	2
日本語学概説1	2
日本語学概説2	2
応用言語学研究入門1	2
応用言語学研究入門2	2

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 イ ン タ ル ナ シ ョ ン
研 究 ラ テ ン ア ム リ カ
研 究 ユ ロ シ ア コ ラ ス タ ス ア
コ 言 語 研 究
研 究 ア ジ ア
研 究 中 東 ア フリ カ
研 究 国 際 政 治 学
研 究 国 際 民 間 協 力 学

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	660105	FLM211	言語学概論 1	2	休講	加藤孝臣	1~4		
	660106	FLM212	言語学概論 2	2	休講	加藤孝臣	1~4		
	661005	FLM221	日本語学概説 1	2	春	加藤孝臣	1~4		[120名]
	661006	FLM222	日本語学概説 2	2	秋	加藤孝臣	1~4		[120名]
	501270	FLN201	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 1	2	春	和泉伸一	1~4	○	
	501271	FLN202	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 2	2	秋	和泉伸一	1~4	○	
	671111	FLN211	応用言語研究入門 1	2	春	渡部良典	1~4		
671121	FLN212	応用言語研究入門 2	2	秋	渡部良典	1~4			

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁 生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田 昌 教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田 研 作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[理論言語学]								
	650302	FLM301	一般音声学1	2	春	*前川 喜久雄	2~4		
	650303	FLM302	一般音声学2	2	秋	*前川 喜久雄	2~4		
	503804	FLM304	英語音声学	2	秋	北原 真 冬	2~4		[70名]
	660222	FLM311	文法論1	2	春	福井 直 樹	2~4		
	660223	FLM312	文法論2	2	秋	福井 直 樹	2~4		
	660231	FLM321	音韻論1	2	春	北原 真 冬	2~4		
	660232	FLM322	音韻論2	2	休講	北原 真 冬	2~4		
	660404	FLM331	意味論1	2	休講	加藤孝臣	2~4		
	660405	FLM332	意味論2	2	休講	加藤孝臣	2~4		
	523201	FLM337	(隔) GRAMMATICAL THEORY A	2	秋	大塚 祐 子	2~4	○	[50名], 旧「GRAMMATICAL THEORY」
	523202	FLM338	(隔) GRAMMATICAL THEORY B	2	休講	大塚 祐 子	2~4	○	
	671411	FLM314	比較文法論(日英語比較)	2	秋	*成田 広 樹	2~4		
	662120	FLM341	言語学史1	2	休講		2~4		
	662121	FLM342	(隔) 言語学史2	2	休講		2~4		
	660107	FLM351	言語と認知1	2	春	*成田 広 樹	2~4		
	660108	FLM352	言語と認知2	2	秋	*成田 広 樹	2~4		
539301	FLM304	ドイツ文法	2	秋	高橋 亮 介	2~4		旧「ドイツ文法1」「同2」	
548587	FLM381	(隔) フランス語学の諸問題A	2	春	TUCHAIS Simon	2~4	○		

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	548588	FLM382	(隔) フランス語学の諸問題B	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○	
	548589	FLM383	(隔)(重) フランス語学の諸問題C	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○	
	554610	FLM307	西語学概論	2	春	西村 君代	2~4		
	588621	FLM323	ポルトガル語統語論	2	秋	*黒澤 直俊	2~4		
	672014	FLM361	言語学特殊講義1 (ロマンス語研究)	2	春	*小川 定義	2~4		
	672015	FLM362	言語学特殊講義2 (ロマンス語研究)	2	秋	*小川 定義	2~4		
	690135	FLM371	(重) ロシア語文法研究1	2	春	秋山 真一	3・4		注1
	690136	FLM372	(重) ロシア語文法研究2	2	秋	秋山 真一	3・4		注1
	573411	FYH301	(隔) ロシア語史1	2	休講	原 求作	2~4		
	573412	FYH302	(隔) ロシア語史2	2	休講	原 求作	2~4		
	671203	FLM315	(隔) 日本語史1	2	休講		2~4		
	671204	FLM316	(隔) 日本語史2	2	休講		2~4		
	154032	PSL226	認知心理学Ⅰ (知覚・認知心理学)	2	春	*実吉 綾子	2~4		(他)心理学科, [180名], 旧「認知心理学Ⅰ」
154022	PSL326	認知心理学Ⅱ	2	休講		2~4		(他)心理学科, 原則として「認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学)」, あるいは「認知心理学Ⅰ」を既に履修していること	
[応用言語学]									
662306	FLN335	言語処理入門	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	2~4			[19名]
501294	FLN304	(重) BILINGUAL EDUCATION	4	秋	吉田 研作	2~4	○		
501297	FLN301	SECOND LANGUAGE ACQUISITION 1	2	春	和泉 伸一	2~4	○		
501298	FLN302	SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	2	秋	和泉 伸一	2~4	○		
501280	FLN307	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	春	坂本 光代	3・4	○		(40名), 注2, 注10
501281	FLN308	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	秋	坂本 光代	3・4	○		(40名), 注2, 注10
501295	FLN305	(重) INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○		注2
501296	FLN306	(隔)(重) INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○		注2
522006	FLN343	SOCIOLINGUISTICS 1	2	春	FURUKAWA Gavin	2~4	○		
522007	FLN344	(隔) SOCIOLINGUISTICS 2	2	秋	FURUKAWA Gavin	2~4	○		
501340	FNC311	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	休講	出口 真紀子	2~4	○		注2, 注3
501341	FNC312	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	休講	出口 真紀子	2~4	○		注2, 注3
538701	FLN319	(重) 異文化間コミュニケーション1	2	春	*米山 かおる	2~4	○		ドイツ文学科との合併科目, 注4
538702	FLN320	(重) 異文化間コミュニケーション2	2	秋	*米山 かおる	2~4	○		注4
537511	FUS303	(隔)(重) ヨーロッパの社会と言語A	2	休講	木村 護郎クリストフ	2~4			
547212	FUS304	ヨーロッパの社会と言語B	2	秋	*石部 尚登	2~4			[80名], 外国語学部生優先
547211	FUS311	フランス語圏の社会と言語	2	春	*古石 篤子	3・4			
537509	FUS312	(隔)(重) ドイツ語圏の社会と言語	2	休講	木村 護郎クリストフ	2~4			
539309	FLN361	多言語社会としての日本とドイツ	2	秋	COULMAS Florian	2~4	○		海外招聘客員教員担当科目
554620	FLN339	(隔) 西語学特論A	2	休講	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○		
554630	FLN340	(隔) 西語学特論B	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○		[19名]
588632	FUK396	(隔) イベリア半島の社会と言語	2	休講		2~4			
588633	FLN346	ポルトガル語とクレオール	2	休講	市之瀬 敦	2~4			
585200	FUK395	マカオの言葉と文化	2	秋	*内藤 理佳	2~4			[60名], 外国語学部生優先
585300	FLN344	言語接触と日本語	2	秋	GIBO Lucila	2~4			
501259	FEE201	英語科教育法A	2	春	渡部 良典	2~4			注5
501375	FEE205	METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	春	佐藤 敬典	2~4	○		注5, 旧「英語科教育法B」
501261	FEE203	METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	春	和泉 伸一	2~4	○		[36名], 注5

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロ
コー
スバ
研ラ
テ
ア
ス
カ
コー
ス
研ユ
ロ
シ
ア
コ
ラ
シ
ア
ス
・
コ
言
語
研
究
研
ア
研
究
コ
シ
ア
ス
研
中
東
ア
リ
ス
カ
研
国
際
政
治
論
研
国
市
究
際
民
コ
協
社
力
会
ス
論

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	501349	FEE204	METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	秋	MACINTYRE Robert	2~4	○	[40名], 注5	
	501376	FEE208	METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	秋	逸見シャントール	3・4	○	[30名], 注5, 旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E (単位)」	
	538912	FDE201	ドイツ語科教育法A-1	2	春	高橋亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱa」との合併科目	
	538913	FDE202	ドイツ語科教育法A-2	2	秋	高橋亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱb」との合併科目	
	538914	FDE211	(隔) ドイツ語科教育法B	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱc」との合併科目	
	538915	FDE221	(隔) ドイツ語科教育法C	2	休講	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱd」との合併科目	
	547342	FFE201	フランス語科教育法A	2	秋	*室井幾世子	2~4		注6	
	547343	FFE301	フランス語科教育法B	2	春	*常盤僚子	3・4		注6	
	547344	FFE302	フランス語科教育法C	2	秋	*常盤僚子	3・4		注6	
	547345	FFE303	フランス語科教育法D	2	休講	原田早苗	3・4		注6	
	554121	FHE301	イスパニア語科教育法A	2	春	*大森洋子	3・4		注7	
	554122	FHE302	イスパニア語科教育法B	2	秋	*大森洋子	3・4		注7	
	576156	FRE201	ロシア語科教育法A	2	春	*小林潔	2~4		注8	
	576157	FRE202	ロシア語科教育法B	2	秋	*小林潔	2~4		注8	
	586006	FPE201	ポルトガル語科教育法A	2	春	GIBO Lucila	2~4		注9	
	586007	FPE202	ポルトガル語科教育法B	2	秋	*拝野寿美子	2~4		注9	
	660109	FLN311	日本語教育入門1	2	春	清水崇文	2~4			
	660110	FLN312	日本語教育入門2	2	秋	清水崇文	2~4			
	660111	FLN313	日本語教育学A(文法)1	2	春	村田水恵	2~4			
	660112	FLN314	日本語教育学A(文法)2	2	秋	村田水恵	2~4			
	660113	FLN315	日本語教育学B(言語習得)1	2	春	小柳かおる	2~4			
	660114	FLN316	日本語教育学B(言語習得)2	2	休講	小柳かおる	2~4			
	660115	FLN317	日本語教育学C(社会言語学)1	2	春	清水崇文	2~4			
	660116	FLN318	日本語教育学C(社会言語学)2	2	秋	清水崇文	2~4			
	660117	FLN321	日本語教授法A(初級)1	2	春	峯布由紀	2~4			
	660118	FLN322	日本語教授法A(初級)2	2	秋	峯布由紀	2~4			
	660119	FLN323	日本語教授法B(中上級)1	2	春	峯布由紀	2~4			
	660120	FLN324	日本語教授法B(中上級)2	2	秋	峯布由紀	2~4			
	660121	FLN325	日本語教授法C(技能別)1	2	春	小柳かおる	2~4			
	660122	FLN326	日本語教授法C(技能別)2	2	休講	小柳かおる	2~4			
	[言語聴覚障害学]									
		652131	FLO301	言語聴覚障害学概論	2	春	コーディネータ 吉畑博代 原 恵子	2~4		輪講
	672101	FLO311	言語聴覚障害学特殊講義A (失語症)	2	春	吉畑博代	2~4			
	672151	FLO312	言語聴覚障害学特殊講義B (言語発達遅滞)	2	秋	コーディネータ 原 恵子 *青木 さつき *大伴 潔	2~4		輪講	
[翻訳・通訳科目]										
	660810	FLT301	翻訳論	4	春	*谷口由美子 *唐野亜明 *河野万里子 *野坂悦子 *若松宣子 *宇野和美 *南平 かおり	2~4		輪講, [70名]	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	534623	FLT302	(隔)(重) 独日翻訳入門A	2	休講	浅見昇吾	2~4		注4
	534624	FLT303	(隔)(重) 独日翻訳入門B	2	休講	浅見昇吾	2~4		注4
	690137	FLT331	(重) ロシア語アクティヴ・コミュニケーション1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4	○	注10
	690138	FLT332	(重) ロシア語アクティヴ・コミュニケーション2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4	○	注10
	690133	FLT333	(重) ロシア語翻訳法1	2	春	*原 ダリア	3・4	○	注1
	690134	FLT334	(重) ロシア語翻訳法2	2	秋	*原 ダリア	3・4	○	注1
	671511	FLT311	英語通訳基礎 1	2	春	*安 保 尚 子	2・3		[20名], 旧「通訳入門(日英)B-1」
	671512	FLT312	英語通訳基礎 2	2	秋	*安 保 尚 子	2・3		[20名], 旧「通訳入門(日英)B-2」
	671905	FLT319	(隔) フランス語通訳入門	2	春	*宇都宮 彰 子	3・4		
	501302	FLT305	INTRODUCTION TO INTERPRETING A-1	2	春	*国 井 信 一	2~4	○	[40名]
	501303	FLT306	INTRODUCTION TO INTERPRETING A-2	2	秋	*国 井 信 一	2~4	○	[40名]
	508511	FLT307	通訳入門B-1	2	春	*国 井 信 一	2~4		[40名]
	508512	FLT308	通訳入門B-2	2	秋	*国 井 信 一	2~4		[40名]
	508513	FLT309	通訳入門C-1	2	春	*高 橋 絹 子	2~4		(34名), 注10
	508514	FLT310	通訳入門C-2	2	秋	*高 橋 絹 子	2~4		(34名), 注10
	534621	FLT317	(隔)(重) ドイツ語通訳入門A	2	春	*中 山 純	3・4		(32名), ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅲb」との合併科目, 注10
	534622	FLT318	(隔)(重) ドイツ語通訳入門B	2	休講		3・4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅲc」との合併科目
	558910	FLT352	イスパニア語通訳入門	2	秋	*吉 田 理 加	3・4		[30名]
	690125	FLT340	ロシア語通訳法入門	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	2	○	注1, 注10
	690141	FLT341	(重) ロシア語通訳法1	2	春	*原 ダリア	3・4	○	[40名], 注1
	690142	FLT342	(重) ロシア語通訳法2	2	秋	*原 ダリア	3・4	○	[40名], 注1
	690151	FLT343	(重) ロシア語翻訳基礎研究1	2	春	*KOBERNYK Nadiya	3・4		注1
	690152	FLT344	(重) ロシア語翻訳基礎研究2	2	秋	*原 ダリア	3・4		注1
	588630	FLT360	(隔) 日ポ翻訳通訳入門	2	秋	TOIDA Helena	3・4		旧「ポルトガル語翻訳通訳入門」
	JPN405	JPN405	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE :THEORY AND PRACTICE 1	4	春	*香 取 芳 和	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注11
	JPN406	JPN406	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE :THEORY AND PRACTICE 2	4	秋	*香 取 芳 和	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注11
JPN407	JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH :THEORY AND PRACTICE	4	春	*高 橋 絹 子	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注11	
JPN407	JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH :THEORY AND PRACTICE	4	秋	*高 橋 絹 子	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注11	

注1 ロシア語学科の同名科目との合併科目

注2 英語学科とのクロスリスティング科目。英語学科の学生がこれらの科目を「英語・英語圏研究科目」または「3・4年次英語科目」として履修する場合は、これらを言語研究コースの科目とすることはできない。

注3 17年次生以降の学生が履修する場合は、言語研究コース科目にはならない。

注4 ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目

注5 英語学科とのクロスリスティング科目

注6 フランス語学科とのクロスリスティング科目

注7 イスパニア語学科とのクロスリスティング科目

注8 ロシア語学科とのクロスリスティング科目

注9 ポルトガル語学科とのクロスリスティング科目

注10 初回授業時に教室定員以上の受講希望者がいた場合は、授業内抽選とする。

注11 言語教育研究センター開講科目。履修にあたっては、「4.語学科目」「日本語」(要覧 pp.202~205)に従うこと。

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ
研究
コース
バ
研ラ
テ
ア
ス
カ
研究
ユ
コ
シ
ア
ス
コ
リ
ア
ス
ア
コ
言
語
研
究
研
究
コ
ジ
ア
ス
中
東
ア
リ
カ
研
究
コ
リ
ス
カ
研
究
国
際
政
治
学
論
研
究
国
際
政
治
学
論
研
究
国
際
政
治
学
論

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[理論言語学]								
	670926	FLM401	(重) 演習 (文法論・意味論) 1	2	春	福井直樹	3・4		
	670927	FLM402	(重) 演習 (文法論・意味論) 2	2	秋	福井直樹	3・4		
	670923	FLM411	(重) 演習 (日本語学) 1	2	春	加藤孝臣	3・4		
	670924	FLM412	(重) 演習 (日本語学) 2	2	秋	加藤孝臣	3・4		
	670925	FLM421	(重) 演習 (音声学・音韻論) 1	2	春	北原真冬	3・4		
	670928	FLM422	(重) 演習 (音声学・音韻論) 2	2	秋	北原真冬	3・4		
	501373	FLM429	(重) SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 1	2	春	大塚祐子	3・4	○	
	501374	FLM430	(重) SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 2	2	秋	大塚祐子	3・4	○	
	537215	FLM431	(重) 演習 (日独音声学・音韻論) 1	2	休講		3・4		注1
	537216	FLM432	(重) 演習 (日独音声学・音韻論) 2	2	休講		3・4		注1
	530530	FLM451	(重) 演習 (語の意味と語法) 1	2	春	高橋亮介	3・4		注1
	530540	FLM452	(重) 演習 (語の意味と語法) 2	2	秋	高橋亮介	3・4		注1
	546923	FLM481	(重) 演習 (フランス語学) 1	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	○	
	546924	FLM482	(重) 演習 (フランス語学) 2	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	○	
	554708	FLM471	(重) 演習 (西語学B) 1	2	春	西村君代	3・4		
	554709	FLM472	(重) 演習 (西語学B) 2	2	秋	西村君代	3・4		
	575333	FYK401	(重) 演習 (ロシア語学) 1	2	春	秋山真一	3・4		
	575334	FYK402	(重) 演習 (ロシア語学) 2	2	秋	秋山真一	3・4		
	577323	FYH401	(重) 演習 (古代ロシア語) 1	2	春	原求作	3・4		
	577324	FYH402	(重) 演習 (古代ロシア語) 2	2	秋	原求作	3・4		
	[応用言語学]								
	670962	FLN427	(重) SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	和泉伸一	3・4	○	
	670963	FLN428	(重) SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	和泉伸一	3・4	○	
	501310	FLN421	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	
	501311	FLN422	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	
	670965	FLN411	(重) 演習 (外国語教育学) 1	2	春	渡部良典	3・4		
	670964	FLN412	(重) 演習 (外国語教育学) 2	2	秋	渡部良典	3・4		
	501308	FLN423	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	坂本光代	3・4	○	
	501309	FLN424	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	坂本光代	3・4	○	
	501320	FNC401	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	休講	出口真紀子	3・4	○	注2
	501321	FNC402	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	休講	出口真紀子	3・4	○	注2
	530570	FLN431	(重) 演習 (応用言語学・日本におけるドイツ語教育) 1	2	春	LIPSKY Angela	3・4	○	注1
	530580	FLN432	(重) 演習 (応用言語学・日本におけるドイツ語教育) 2	2	秋	LIPSKY Angela	3・4	○	注1
	547353	FLN401	(重) 演習 (フランス語学と異文化コミュニケーション) 1	2	休講	原田早苗	3・4		
	547354	FLN402	(重) 演習 (フランス語学と異文化コミュニケーション) 2	2	休講	原田早苗	3・4		
554706	FLN451	(重) 演習 (西語学A) 1	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[19名]	
554707	FLN452	(重) 演習 (西語学A) 2	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[36名]	
587443	FLN461	(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	休講	市之瀬 敦	3・4			
587444	FLN462	(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	休講	市之瀬 敦	3・4			

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	[言語聴覚障害学]								
	670960	FLO401	(重) 演習 (言語聴覚障害学) 1	2	春	吉 畑 博 代 原 焯 恵 子	3・4		
	670961	FLO402	(重) 演習 (言語聴覚障害学) 2	2	秋	吉 畑 博 代 原 焯 恵 子	3・4		
	[翻訳・通訳科目]								
	548577	FUK483	(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 1	2	春	福 崎 裕 子	3・4		
	548578	FUK484	(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 2	2	秋	福 崎 裕 子	3・4		
	555305	FLT411	(重) 演習 (翻訳論) 1	2	休講		3・4	○	
	555306	FLT412	(重) 演習 (翻訳論) 2	2	休講		3・4	○	
	578065	FLT421	(重) 演習 (ロシア語通訳・翻訳研 究) 1	2	春	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	
	578066	FLT422	(重) 演習 (ロシア語通訳・翻訳研 究) 2	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	

注1：ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目

注2 17年次生以降の学生が履修する場合は、言語研究コース科目にはならない。

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	690920	FLZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690920	FLZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

学 部 共 通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 1 コ ロ ッ ス バ
研 究 コ ー ス ラ テ ン ア ス リ カ
研 究 1 コ ロ シ ア ス パ ニ ア
コ 言 語 研 究
研 究 コ ー ス ア
研 究 コ ー ス 中 東 ア フリ カ
研 究 コ ー ス 国 際 政 治 論
研 究 コ ー ス 市 民 協 会 力 会 ス 論

アジア研究コース

本研究コースは、以下の事象をその研究の対象とする。

- * アジア地域の国ないしはサブリージョンに関わる事象
- * アジア地域全域に関わる事象
- * アジア地域の国ないしはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象
- * ASEANないしはASEANと構成国との関係に関わる事象

また、本研究コースは以下をその教育および研究上の基本理念とする。

- * 「アジア」という概念とそれによって表される地域の地理的、歴史的成り立ちを正しく理解し、国境、国家といった既成の枠組みに捉われない柔軟な発想と俯瞰的視点を培う。
- * アジア地域の宗教、社会、文化、政治、経済などについて幅広く学び、教養を深める。
- * アジア地域に関わる歴史的、今日的な事象について、確かな外国語運用能力に基づいた確かな調査と分析を行う力を養う。
- * アジア地域に対する包括的理解を深めると同時に、日本とアジアの歴史的関係性を常に自覚し、客観的、批判的研究態度を身につける。

1. アジア研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

* 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

アジア研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コース科目の時間割表に掲載されているので、そちらを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし備考欄に（他）の記号のある科目については該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaでアジア研究コースを登録すること。
総合グローバル学科開講の演習科目の履修を希望する場合は、アジア研究コースを選択し、かつ「第二主専攻」として登録すること。「副専攻」として登録した場合は、当該演習科目の履修はできない。
* 詳細については、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

①第二主専攻として履修する場合

(1) 必要な科目と単位

【2018年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	36単位

【2014年次生～2017年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	8単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	40単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

「東南アジア研究概説」「南アジア研究概説」「東アジア研究概説」のいずれか2単位を履修することを勧める。導入科目の3科目6単位は、アジア研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

○演習科目

アジア研究コースの演習科目のうち、総合グローバル学科開講の演習科目については、2年次秋学期に行われる選抜に合格した者のみが、履修することができる。外国語学部生には演習ごとに各学年最大3名の枠が付与されている。また、外国語学部開講の演習科目についても、履修条件が設けられている場合があるので注意すること。

演習科目は4科目8単位を修得しなければならない。また、この4科目は原則として全て同一教員が担当する演習科目であることが望ましい。(2014年次～2017年次生)

演習科目は2科目4単位を修得しなければならない。演習科目は同一教員が担当する4科目8単位を修得することを強く勧める。(2018年次生)

*以上の詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板(学科・専攻別)等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格:縦長A4版横書き(パソコン使用が望ましい)、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語:日本語、あるいは指導教員と相談のうえ、外国語での執筆も可能である。

分量:日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。

要約:卒業論文を日本語で執筆する場合には、外国語(A4版1枚程度)、外国語で執筆する場合には、日本語(A4版1枚程度)の要約をそれぞれつけること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板(学科・専攻別)にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

導入科目の3科目6単位は、アジア研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨ 究1 コ リス バ
研ラ テ コ ア イス カ
研ユ ロ シ コ ラ ア シ ア
コ 言 語 研 究
研ア 究 コ ジ ス ア
研中 東 ア リ ス カ
研国 際 コ リ 治 ス 論
研国 際 民 協 力 会 ス 論

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS50400	GBG204	グローバル化の人類学	2	休講	赤堀 雅幸	1・2		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2	秋	根本 敬	1・2		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS51200	GBG213	フィールドワーク論	2	春	福武 慎太郎	1・2		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS51600	GBA230	東南アジア研究概説	2	春	コーディネータ 川島 緑	1・2		(他)総合グローバル学科,輪講,[190名]
	BGS51700	GBA231	南アジア研究概説	2	春	田中 雅子	1・2		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS51800	GBA232	東アジア研究概説	2	秋	渡辺 紫乃	1・2		(他)総合グローバル学科,[190名]

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁生	1・2		輪講,[100名],注1,旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田 昌教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間Ⅰ	2	春	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目,輪講,[250名]
	002172	GHL105	言語と人間Ⅱ	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目,輪講,[250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田 研作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生,総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[人文科学系科目]								
	501291	FAJ303	(重) INDIAN SOCIETY	4	休講		2~4	○	注1
	501286	FNH351	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	休講	飯島 真里子	2~4	○	注1
	501287	FNH352	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯島 真里子	2~4	○	注1
	522100	FNH324	(隔) 海を越える女性史	2	休講	石井 紀子	2~4		
	501368	FNH353	(隔) 食のグローバル・ヒストリー	2	休講	飯島 真里子	2~4		
	BGS54500	GAA300	東南アジア考古学	2	春	丸井 雅子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54600	GAA301	東南アジア史(前近代)	2	春	*松浦 史明	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54700	GAA302	東南アジア史(近現代)1	2	春	根本 敬	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54701	GAA303	東南アジア史(近現代)2	2	秋	根本 敬	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS55000	GAA306	東南アジア文化論A	2	春	寺田 勇文	2~4	○	(他)総合グローバル学科
	BGS55001	GAA307	東南アジア文化論B	2	秋	寺田 勇文	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS55400	GAA312	南アジア史	2	春	*竹中 千春	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS55600	GAA314	アジア文化遺産研究	2	休講	丸井 雅子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS57508	GAA402	特講(アジアの文化と社会)	2	秋	*米野 みちよ	3・4	○	(他)総合グローバル学科
	BGS57509	GAA403	特講(東南アジアの宗教)	2	秋	寺田 勇文	3・4		(他)総合グローバル学科

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	[社会科学系科目]								
	690147	FNP321	THE U.S. IN INTERNATIONAL RELATIONS OF ASIA-PACIFIC	2	春	*佐 橋 亮	2～4	○	注1
	690145	FIJ322	アジアとポルトガル語圏	2	秋	コーディネータ TOIDA Helena	2～4		輪講, 注2
	BGS55100	GAA308	東南アジア社会とジェンダー	2	休講		2～4	○	(他) 総合グローバル学科
	BGS55900	GAA317	アジアとグローバル企業	2	春	*平 賀 富 一	2～4		(他) 総合グローバル学科,[190名]
	BGS54800	GAA304	東南アジア政治社会論	2	春	川 島 緑	2～4		(他) 総合グローバル学科,[190名]
	BGS54900	GAA305	東南アジア政治文化論	2	秋	川 島 緑	2～4		(他) 総合グローバル学科,[190名]
	BGS57900	GAA318	南アジアの社会と政治	2	秋	AUGUSTINE Sali	2～4	○	(他) 総合グローバル学科
	BGS57910	GAA319	アジアの人権問題	2	春	AUGUSTINE Sali	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS55500	GAA313	南アジア社会経済論	2	秋	*日下部 尚 徳	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS55700	GAA315	アジアの環境と開発	2	春	福 武 慎太郎	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS55800	GAA316	NGOと社会運動の人類学	2	休講	福 武 慎太郎	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53300	GIP320	中国政治外交1	2	春	渡 辺 紫 乃	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53301	GIP321	中国政治外交2	2	秋	渡 辺 紫 乃	2～4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53900	GIC308	国際協力論1	2	春	田 中 雅 子	2～4		(他) 総合グローバル学科,[190名]
	BGS53901	GIC309	国際協力論2	2	秋	田 中 雅 子	2～4		(他) 総合グローバル学科,[190名]
	BGS57506	GAA400	特講 (文化財保存と国際協力)	2	休講	丸 井 雅 子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57507	GAA401	特講 (現代アジア社会)	2	春	*堀 場 明 子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57510	GAA404	特講 (通地域研究)	2	秋	岸 川 毅	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論(経済学的アプローチ) 2	2	秋	下 川 雅 嗣	2～4		(他) 総合グローバル学科, 旧「国際政治経済論 2」
BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸 川 毅	2～4		(他) 総合グローバル学科	
BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸 川 毅	2～4		(他) 総合グローバル学科	

注1 英語学科とのクロスリスティング科目。英語学科の学生がこれらの科目を「英語・英語圏研究科目」または「3・4年次英語科目」として履修する場合は、これらをアジア研究コースの科目とすることはできない。

注2 ポルトガル語学科の同名科目との合併科目。ポルトガル語学科生は、この科目をアジア研究コースの科目として履修することはできない。

学部
共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
コ
北
米
研
究
研
ヨ
ロ
コ
ス
バ
研
ラ
テ
ア
メ
リ
カ
研
ユ
ロ
シ
ア
コ
ラ
ブ
ス
ア
コ
言
語
研
究
研
ア
研
究
コ
シ
ア
研
中
東
ア
リ
カ
研
究
コ
リ
ス
カ
研
国
際
政
治
研
究
コ
リ
ス
カ
研
国
際
政
治
研
究
コ
リ
ス
カ
研
国
際
政
治
研
究
コ
リ
ス
カ

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[人文科学系科目]								
	501334	FNH421	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	休講	飯島 真里子	3・4	○	
	501335	FNH422	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	休講	飯島 真里子	3・4	○	
	BGS57630	GAA450	(重) 演習 (アジア研究A) 1	2	春	丸井 雅子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57631	GAA451	(重) 演習 (アジア研究A) 2	2	秋	丸井 雅子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57634	GAA454	(重) 演習 (アジア研究C) 1	2	春	根本 敬	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57635	GAA455	(重) 演習 (アジア研究C) 2	2	秋	根本 敬	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57636	GAA456	(重) 演習 (アジア研究D) 1	2	春	寺田 勇文	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57637	GAA457	(重) 演習 (アジア研究D) 2	2	秋	寺田 勇文	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57640	GAA460	(重) 演習 (アジア研究F) 1	2	春	AUGUSTINE Sali	3・4	○	(他) 総合グローバル学科
	BGS57641	GAA461	(重) 演習 (アジア研究F) 2	2	秋	AUGUSTINE Sali	3・4	○	(他) 総合グローバル学科
	[社会科学系科目]								
	BGS57632	GAA452	(重) 演習 (アジア研究B) 1	2	春	福武 慎太郎	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57633	GAA453	(重) 演習 (アジア研究B) 2	2	休講	福武 慎太郎	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57638	GAA458	(重) 演習 (アジア研究E) 1	2	春	川島 緑	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57639	GAA459	(重) 演習 (アジア研究E) 2	2	秋	川島 緑	3・4		(他) 総合グローバル学科
	501320	FNC401	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY)1	2	休講	出口 真紀子	3・4	○	
	501321	FNC402	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY)2	2	休講	出口 真紀子	3・4	○	

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690917	FAZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690917	FAZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

中東・アフリカ研究コース

本研究コースは、以下の事象をその研究の対象とする。

- * 中東地域・アフリカ地域の国あるいはサブリージョンに関わる事象
- * 中東地域全域あるいはアフリカ地域全域に関わる事象
- * 中東地域・アフリカ地域の国家間あるいはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象
- * 中東地域・アフリカ地域と国際社会との関係、あるいは他の地域との関係、比較に関わる事象

また、本研究コースは以下をその教育および研究上の基本理念とする。

- * 中東地域・アフリカ地域について、その歴史的成り立ちと地域的特質を踏まえた総合的理解をめざす。
- * 中東地域・アフリカ地域の社会、文化、宗教、政治、経済などを幅広く学び、教養を深める。
- * 確かな外国語運用能力を活かしたフィールドワーク、文献調査などを通じ、既存の学問では十分説明できないような中東地域・アフリカ地域の事象に対しても、解明に資するような新たな知見を得ることに挑む。
- * 中東地域・アフリカ地域の研究を通じ、欧米や日本を相対化する視点を獲得することを意識し、また将来にわたる中東地域・アフリカ地域、さらにはこれら地域と日本との関係に貢献することをめざす。

1. 中東・アフリカ研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

* 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

中東・アフリカ研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 以下の「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、それを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし、備考欄に(他)の記号のある科目については、該当する他学部・他学科の時間割を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで中東・アフリカ研究コースを登録すること。
総合グローバル学科開講の演習科目の履修を希望する場合は、中東・アフリカ研究コースを選択し、かつ「第二主専攻」として登録すること。「副専攻」として登録した場合は、当該演習科目の履修はできない。
* 詳細については、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

①第二主専攻として履修する場合

- (1) 必要な科目と単位

【2018年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	36単位

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロイスバ
研ラテアムカ
研ユロシコリアス
コ言語研究
研アゴイスア
研中東アフリカ
研国際政治論
研国際協力論

【2014年次生～2017年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	8単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	40単位

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

「中東研究概説」「アフリカ研究概説」のいずれか2単位を履修することを勧める。

導入科目の3科目6単位は、中東・アフリカ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

○演習科目

中東・アフリカ研究コースの演習科目のうち、総合グローバル学科開講の演習科目については、2年次秋学期に行われる選抜に合格した者のみが履修することができる。外国語学部生には演習ごとに各学年最大3名の枠が付与されている。また、外国語学部開講の演習科目についても、履修条件が設けられている場合があるので注意すること。

演習科目は4科目8単位を修得しなければならない。また、この4科目は原則として全て同一教員が担当する演習科目であることが望ましい。(2014年次～2017年次生)

演習科目は2科目4単位を修得しなければならない。演習科目は同一教員が担当する4科目8単位を修得することを強く勧める。(2018年次生)

* 詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板(学科・専攻別)等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格:縦長A4判横書き(パソコン使用が望ましい)、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語:日本語、あるいは指導教員と相談のうえ、外国語での執筆も可能である。

分量:日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、外国語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な書式については、指導教員の指示に従うこと。

要約:卒業論文を日本語で執筆する場合には、外国語(A4版1枚程度)、外国語で執筆する場合には、日本語(A4版1枚程度)の要約を、それぞれつけること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板(学科・専攻別)にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合 計	16単位

* 指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

「中東研究概説」「アフリカ研究概説」のいずれか2単位を履修することを勧める。

導入科目の3科目6単位は、中東・アフリカ研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS50400	GBG204	グローバル化の人類学	2	休講	赤堀雅幸	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS50600	GBG206	グローバル化と宗教	2	秋	赤堀雅幸	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS50900	GBG209	平和学	2	春	都留康子	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS51200	GBG213	フィールドワーク論	2	春	福武慎太郎	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS51900	GBA233	中東研究概説	2	秋	辻上奈美江	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS51210	GBG214	環境と人間	2	春	戸田美佳子	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS52001	GBA235	アフリカ研究概説1	2	秋	戸田美佳子	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS52002	GBA236	アフリカ研究概説2	2	秋	*椎野若菜	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名], 旧「アフリカ研究概説」

【コース共通導入科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田昌教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田研作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可

【コア科目】

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸川 毅	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸川 毅	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54102	GIC313	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 1	2	春	下川 雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科, 旧「国際政治経済論1」
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 2	2	秋	下川 雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科, 旧「国際政治経済論2」
	BGS54200	GIC314	開発経済学	4	春	高島 亮	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4	休講	高島 亮	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56000	GAM300	中東イスラーム史(前近代)	2	春	*松尾 有里子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56200	GAM302	中東政治論	2	春	澤江 史子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS58300	GAM318	現代中東社会論	2	休講	辻上 奈美江	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56100	GAM301	中東政治史	2	秋	小牧 昌平	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56400	GAM304	東方イスラーム世界論	2	春	小牧 昌平	2~4		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS56500	GAM305	現代シリア派社会論	2	秋	小牧 昌平	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56600	GAM306	民衆イスラーム論	2	春	赤堀 雅幸	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56700	GAM307	イスラームとジェンダー	2	休講	赤堀 雅幸	2~4		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS56800	GAM308	中東イスラーム思想論	2	秋	*加藤 瑞絵	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS56900	GAM309	中東芸術論	2	春	*小林 一枝	2~4		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS57100	GAM311	アフリカ史	2	春	眞城 百華	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS57200	GAM312	アフリカ政治論	2	秋	眞城 百華	2~4		(他)総合グローバル学科

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS57301	GAM313	アフリカ開発論	2	春	コーディネータ 赤堀雅幸 *森下拓道	2~4		(他) 総合グローバル学科, 輪講, 旧「アフリカ国際協力論」
	BGS57400	GAM314	アフリカ社会経済論	2	秋	*吉田 敦	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS58800	GAM318	アフリカの諸宗教とキリスト教	2	春	*MAYEMBA Bienve	2~4	○	(他) 総合グローバル学科, イエスズ会招聘教員
	549412	FUH311	フランス近現代史研究	2	春	高橋 暁生	2~4		
	549413	FUH312	(隔) フランス語圏の歴史研究 (重)	2	秋	高橋 暁生	2~4		
	549414	FMS301	フランス語圏アフリカの社会と経済	2	春	岩崎 えり奈	2~4		
	549415	FMS302	(隔) 北アフリカ社会開発論 (重)	2	休講	岩崎 えり奈	2~4		
	690146	FUH350	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢澤 達宏	2~4		注1
	584840	FIC312	アフロ・ブラジル文化論	2	秋	矢澤 達宏	2~4		
	588622	FMJ311	(隔) 現代アフリカ研究特講 (重)	2	休講	矢澤 達宏	2~4		
	BGS57512	GAM401	特講 (アフリカの社会と文化)	2	秋	戸田 美佳子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57513	GAM402	特講 (現代アフリカ)	2	春	*佐藤 千鶴子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	270101	NRS150	アフリカ文化理解と医療保健活動	2	春	コーディネータ 武井 弥生	1		(他) 看護学科, 輪講, [100名]

注1 ポルトガル語学科の同名科目との合併科目。ポルトガル語学科生は、この科目を中東・アフリカ研究コースの科目として履修することはできない。

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS57642	GAM450	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 1	2	休講	辻上 奈美江	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57643	GAM451	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 2	2	秋	辻上 奈美江	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57644	GAM452	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 1	2	春	赤堀 雅幸	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57645	GAM453	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 2	2	秋	赤堀 雅幸	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57646	GAM454	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 1	2	春	小牧 昌平	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57647	GAM455	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 2	2	秋	小牧 昌平	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57648	GAM456	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 1	2	春	澤江 史子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57649	GAM457	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 2	2	秋	澤江 史子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57650	GAM458	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 1	2	春	眞城 百華	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57651	GAM459	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 2	2	秋	眞城 百華	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57652	GAM460	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 1	2	春	戸田 美佳子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57653	GAM461	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 2	2	秋	戸田 美佳子	3・4		(他) 総合グローバル学科
	549465	FUH401	(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 1	2	春	高橋 暁生	3・4		
	549466	FUH402	(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 2	2	秋	高橋 暁生	3・4		
	587443	FLN461	(重) 演習 (ルソフォニア研究) 1	2	休講	市之瀬 敦	3・4		
	587444	FLN462	(重) 演習 (ルソフォニア研究) 2	2	休講	市之瀬 敦	3・4		
	587447	FIH401	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 1	2	春	矢澤 達宏	3・4		
	587448	FIH402	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 2	2	秋	矢澤 達宏	3・4		
	549463	FMS401	(重) 演習 (北アフリカ社会経済) 1	2	春	岩崎 えり奈	3・4		
	549464	FMS402	(重) 演習 (北アフリカ社会経済) 2	2	秋	岩崎 えり奈	3・4		

【卒業論文・卒業研究・専門論文】

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
選 択 科 目	690921	FMZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690921	FMZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

学 部 共 通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 コ ー ス バ
研 究 コ ー ス ラ テ ア メ リ カ
研 究 コ ー ス ユ ロ シ ア コ ラ シ ア ス ア
コ 言 語 研 究
研 究 コ ー ス ア ジ ア
研 究 コ ー ス 中 東 ア フ リ カ
研 究 コ ー ス 国 際 政 治 論
研 究 コ ー ス 国 際 社 会 力 論

国際政治論研究コース

本研究コースは、以下の事象をその研究の対象とする

- * グローバル化が進行する中できわめて複雑化した世界を理解するツールとしての国際政治・国際関係論
- * 国際政治論とそれに隣接する諸分野（国際経済、国際政治史など）や国内的事象との連関
- * 第一主専攻とする地域の事象と関連づけたうえでの国際政治・国際関係の理解

また、本研究コースは以下をその教育および研究上の基本理念とする。

- * 国際政治のダイナミズムを理解し、分析するうえで必要となる基本的な概念や理論、歴史を理解すること。
- * そのうえで、自由かつ果敢な発想を発展させ、既存の知識や視角を乗り越えるようなチャレンジングな知的活力を培うこと。
- * 各自が専門とする地域と国際政治とのあいだを知的に自由に往復し、柔軟かつ幅広い視座を身につけること。
- * 国際政治の研究を通して、自らが国際社会の一員であることを認識し、主体性、積極性を備えた職業人、知識人として社会に貢献することを意識すること。

1. 国際政治論研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

*** 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。**

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

国際政治論研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 以下の「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyola上の各研究コースの時間割表に掲載されているので、それを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし、備考欄に（他）の記号のある科目については該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで国際政治論研究コースを登録すること。
総合グローバル学科開講の演習科目の履修を希望する場合は、国際政治論研究コースを選択し、かつ「第二主専攻」として届けること。
「副専攻」として登録した場合は、当該演習科目の履修はできない。
* 詳細については、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

①第二主専攻として履修する場合

- (1) 必要な科目と単位

【2018年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	36単位

【2014年次生～2017年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	8単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	40単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

「国際関係論概説」「国際関係論入門」2科目4単位を履修することを強く勧める。

導入科目の3科目6単位は、国際政治論研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

○演習科目

国際政治論研究コースの演習科目のうち、総合グローバル学科開講の演習科目については、2年次秋学期に行われる選抜に合格した者のみが履修することができる。外国語学部生には演習ごとに各学年最大3名の枠が付与されている。また、外国語学部開講の演習科目についても、履修条件が設けられている場合があるので注意すること。

演習科目は4科目8単位を修得しなければならない。また、この4科目は原則として全て同一教員が担当する演習科目であることが望ましい。(2014年次～2017年次生)

演習科目は2科目4単位を修得しなければならない。演習科目は同一教員が担当する4科目8単位を修得することを強く勧める。(2018年次生)

*詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板(学科・専攻別)等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き(パソコン使用が望ましい)、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合には、外国語(A4版1枚程度)、外国語で執筆する場合には、日本語(A4版1枚程度)の要約をそれぞれつけること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板(学科・専攻別)にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目:その他」に充当される。

○導入科目

導入科目の3科目6単位は、国際政治論研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研ヨロコイスバ
研ラテアスカ
研ヨロコイスバ
研コラシニア
コ言語研究
研アコース
研中東イスカ
研国際政治論
研国際政治論

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690101	FXP200	国際関係論入門	2	春	*宇田川 光 弘	1・2		注1
	690120	FXP201	国際関係論概説	2	秋	*新 川 匠 郎	1・2		注1
	BGS50100	GBG200	グローバル化と政治学	2	春	岸 川 毅	1・2		(他) 総合グローバル学科, [190名]
	BGS50300	GBG203	グローバル社会学	2	春	*八 尾 祥 平	1・2		(他) 総合グローバル学科, [190名]
	BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2	秋	根 本 敬	1・2		(他) 総合グローバル学科, [190名]
	BGS50900	GBG209	平和学	2	春	都 留 康 子	1・2		(他) 総合グローバル学科, [190名]

注1 外国語学部生のみ履修可

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高 橋 暁 生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小 田 昌 教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉 田 研 作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[理論・国際系科目]								
	BGS58400	GIP322	国際政治学	2	春	渡 辺 紫 乃	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS58500	GIP323	国際政治理論	2	秋	鈴 木 一 敏	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS52400	GIP304	外交政策1	2	春	樋 渡 由 美	2~4		(他) 総合グローバル学科, [190名]
	BGS52401	GIP305	外交政策2	2	秋	樋 渡 由 美	2~4		(他) 総合グローバル学科, [190名]
	BGS52500	GIP306	国際政治史1	2	春	宮 城 大 蔵	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS52501	GIP307	国際政治史2	2	休講	宮 城 大 蔵	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS52600	GIP308	日本外交論	2	休講	宮 城 大 蔵	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS52702	GIP309	グローバル・ガバナンス論3	2	春	都 留 康 子	2~4		(他) 総合グローバル学科, 旧「国際制度論1」
	BGS52703	GIP310	グローバル・ガバナンス論4	2	秋	都 留 康 子	2~4		(他) 総合グローバル学科, 旧「国際制度論2」
	BGS52800	GIP311	国連研究1	2	春	植 木 安 弘	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS52801	GIP312	国連研究2	2	秋	植 木 安 弘	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸 川 毅	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸 川 毅	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53400	GIC300	グローバル化と市民社会1	2	春	稲 葉 奈々子	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53401	GIC301	グローバル化と市民社会2	2	秋	稲 葉 奈々子	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53500	GIC302	比較社会学	2	秋	稲 葉 奈々子	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53600	GIC303	国際社会学1	2	春	蘭 信 三	2~4		(他) 総合グローバル学科
	BGS53601	GIC304	国際社会学2	2	秋	蘭 信 三	2~4		(他) 総合グローバル学科

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	BGS53900	GIC308	国際協力論1	2	春	田中雅子	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]	
	BGS53901	GIC309	国際協力論2	2	秋	田中雅子	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]	
	BGS54102	GIC312	国際政治経済論(経済学的アプローチ)1	2	春	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科,旧「国際政治経済論1」	
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論(経済学的アプローチ)2	2	秋	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科,旧「国際政治経済論2」	
	BGS54200	GIC314	開発経済学	4	春	高島亮	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4	休講	高島亮	2~4		(他)総合グローバル学科	
	332910	INL211	国際法総論	4	春	兼原敦子	2		(他)法学部	
	336311	INL212	国際法各論	4	春	江藤淳一	2		(他)法学部	
	BGS57501	GIP401	特講(国際機構)A	2	春	植木安弘	3・4	○	(他)総合グローバル学科	
	BGS57505	GIC401	特講(国際機構)B	2	春	廣里恭史	3・4	○	(他)総合グローバル学科,[40名]	
	BGS57502	GIP402	特講(地域統合の政治経済学)	2	秋	*渡邊頼純	3・4		(他)総合グローバル学科	
	BGS57504	GIC400	特講(国際人口移動)	2	秋	蘭信三	3・4		(他)総合グローバル学科	
	[地域系科目]									
	BGS53100	GIP317	アメリカ政治外交1	2	春	前嶋和弘	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS53101	GIP318	アメリカ政治外交2	2	秋	前嶋和弘	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS53200	GIP319	アメリカ研究	2	春	前嶋和弘	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS53300	GIP320	中国政治外交1	2	春	渡辺紫乃	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS53301	GIP321	中国政治外交2	2	秋	渡辺紫乃	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS57200	GAM312	アフリカ政治論	2	秋	眞城百華	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS57301	GAM313	アフリカ開発論	2	春	コーディネータ 赤堀雅幸 *森下拓	2~4		(他)総合グローバル学科,輪講,旧「アフリカ国際協力論」	
	BGS54800	GAA304	東南アジア政治社会論	2	春	川島緑	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]	
	BGS54900	GAA305	東南アジア政治文化論	2	秋	川島緑	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]	
	BGS56100	GAM301	中東政治史	2	秋	小牧昌平	2~4		(他)総合グローバル学科	
	BGS56200	GAM302	中東政治論	2	春	澤江史子	2~4		(他)総合グローバル学科	
	558870	FIP304	(重)ラ米政治社会特論	2	秋	幡谷則子	2~4			
	588625	FIP313	ブラジル政治概論	2	春	子安昭子	2~4		旧「ブラジル政治論」	
	588624	FIP324	(隔)特講現代ブラジル国際関係	2	秋	子安昭子	2~4		旧「現代ブラジル国際関係研究」	
	579101	FYP301	(隔)ロシア政治・外交A-1	2	春	上野俊彦	2~4			
	579102	FYP302	(隔)ロシア政治・外交A-2	2	秋	上野俊彦	2~4			
	579105	FYP311	(隔)ロシア政治・外交B	2	休講	上野俊彦	2~4		旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」	
	579232	FYP321	(隔)ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	休講		2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係A-1」「同A-2」	
	579242	FYP331	(隔)ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	春	*中馬瑞貴	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係B-1」「同B-2」	
537919	FUP302	(隔)(重)ヨーロッパ政治経済論	2	秋	河崎健	2~4		[200名]		
538308	FUP312	EU-法と社会	2	秋	*吉田元子	2~4				

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究1
研究2
研究3
研究4
研究5
研究6
研究7
研究8
研究9
研究10
研究11
研究12
研究13
研究14
研究15
研究16
研究17
研究18
研究19
研究20
研究21
研究22
研究23
研究24
研究25
研究26
研究27
研究28
研究29
研究30
研究31
研究32
研究33
研究34
研究35
研究36
研究37
研究38
研究39
研究40
研究41
研究42
研究43
研究44
研究45
研究46
研究47
研究48
研究49
研究50
研究51
研究52
研究53
研究54
研究55
研究56
研究57
研究58
研究59
研究60
研究61
研究62
研究63
研究64
研究65
研究66
研究67
研究68
研究69
研究70
研究71
研究72
研究73
研究74
研究75
研究76
研究77
研究78
研究79
研究80
研究81
研究82
研究83
研究84
研究85
研究86
研究87
研究88
研究89
研究90
研究91
研究92
研究93
研究94
研究95
研究96
研究97
研究98
研究99
研究100

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	539307	FUP321	(隔) (重) ドイツ政治研究	2	休講	河崎 健	2~4		旧「ドイツ政治研究1」「同2」
	548456	FUP301	EUの現在と過去	2	春	*若林 広	2~4		
	588622	FMJ311	(隔) (重) 現代アフリカ研究特講	2	休講	矢澤 達宏	2~4		
	523400	FNP312	難民とアメリカ	4	秋	*佐原 彩子	2~4		
	BGS57503	GIP403	特講 (EU研究)	2	春	*佐藤 俊輔	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57513	GAM402	特講 (現代アフリカ)	2	春	*佐藤 千鶴子	3・4		(他) 総合グローバル学科

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[理論・国際系科目]								
	BGS57658	GIP468	(重) 演習 (国際政治経済論・政治学的アプローチ) 1	2	春	鈴木 一敏	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57659	GIP469	(重) 演習 (国際政治経済論・政治学的アプローチ) 2	2	春	鈴木 一敏	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57604	GIP454	(重) 演習 (外交政策) 1	2	春	樋渡 由美	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57605	GIP455	(重) 演習 (外交政策) 2	2	秋	樋渡 由美	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57606	GIP456	(重) 演習 (国際政治史) 1	2	春	宮城 大蔵	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57607	GIP457	(重) 演習 (国際政治史) 2	2	休講	宮城 大蔵	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57656	GIP458	(重) 演習 (グローバル・ガバナンス論) 1	2	春	都留 康子	3・4		(他) 総合グローバル学科, 旧「国際制度論1」
	BGS57657	GIP459	(重) 演習 (グローバル・ガバナンス論) 2	2	秋	都留 康子	3・4		(他) 総合グローバル学科, 旧「国際制度論2」
	BGS57610	GIP460	(重) 演習 (比較政治学) 1	2	春	岸川 毅	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57611	GIP461	(重) 演習 (比較政治学) 2	2	秋	岸川 毅	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57612	GIP462	(重) 演習 (国連と紛争解決) 1	2	春	植木 安弘	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57613	GIP463	(重) 演習 (国連と紛争解決) 2	2	秋	植木 安弘	3・4		(他) 総合グローバル学科
	[地域系科目]								
	BGS57614	GIP464	(重) 演習 (アメリカ政治外交) 1	2	春	前嶋 和弘	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57615	GIP465	(重) 演習 (アメリカ政治外交) 2	2	秋	前嶋 和弘	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57616	GIP466	(重) 演習 (中国政治外交) 1	2	春	渡辺 紫乃	3・4		(他) 総合グローバル学科
	BGS57617	GIP467	(重) 演習 (中国政治外交) 2	2	秋	渡辺 紫乃	3・4		(他) 総合グローバル学科
	559034	FIS401	(重) 演習 (ラ米社会研究) 1	2	春	幡谷 則子	3・4		
	559035	FIS402	(重) 演習 (ラ米社会研究) 2	2	秋	幡谷 則子	3・4		
	587449	FIP401	(重) 演習 (ブラジル政治経済研究) 1	2	春	子安 昭子	3・4		
	587450	FIP402	(重) 演習 (ブラジル政治経済研究) 2	2	秋	子安 昭子	3・4		
	587447	FIH401	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 1	2	春	矢澤 達宏	3・4		
	587448	FIH402	(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究) 2	2	秋	矢澤 達宏	3・4		
	579223	FYP401	(重) 演習 (ロシア政治・外交) 1	2	春	上野 俊彦	3・4		
	579224	FYP402	(重) 演習 (ロシア政治・外交) 2	2	秋	上野 俊彦	3・4		
	537213	FUP401	(重) 演習 (日独比較政治) 1	2	春	河崎 健	3・4		注1
	537214	FUP402	(重) 演習 (日独比較政治) 2	2	秋	河崎 健	3・4		注1

注1 ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目

【卒業論文・卒業研究】

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
選 択 科 目	690924	FXZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690924	FXZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

学 部 共 通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
コ 北 米 研 究
研 究 コ ー ス バ
研 究 コ ー ス ラ テ ア メ リ カ
研 究 コ ー ス ユ ロ シ ア コ ラ シ ア ス ア
コ 言 語 研 究
研 究 コ ー ス ア
研 究 コ ー ス 中 東 ア リ カ
研 究 コ ー ス 国 際 政 治 論
研 究 コ ー ス 市 民 協 会 力 会 ス 論

市民社会・国際協力論研究コース

本研究コースは、以下の事象をその研究の対象とする。

- * 国際政治経済：経済のグローバル化、貧困・開発・発展、経済的格差など
- * 開発経済：開発に関わる経済状況の変化と人々の生活など
- * グローバル市民社会：ボランティア活動、社会運動、人々の自発的な活動など
- * 国際社会：移民、残留帰国者、難民など
- * 国際協力：経済開発、社会開発、開発援助、NGO、ジェンダーなど
- * 国際教育開発：途上国の教育政策、教育開発、その評価手法など

また、本研究コースは以下をその教育および研究上の基本理念とする。

- * 人びとの生活の現状、そしてそれがどのような条件のもとで営まれているか、客観的に理解する能力を養う。
- * グローバル世界の様々な問題を理解し、その構造的要因を探求・分析していく能力を養う。
- * 人びとの生活が困難な状態にある場合、その解決策を模索する力を養う。
- * 世界各地の人々の生活や考え方に対して敏感になる感性を養う。
- * 困難を外から眺めるのみならず、その解決のために動ける人を育てる。

1. 市民社会・国際協力論研究コースの開講科目は、次のように分類される

- I 導入科目
- II コア科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

* 以下に示す履修上の注意に指定されたかたちで第二主専攻または副専攻として履修要件を満たさなければ卒業できない。

2. 履修上の注意

- * 必ず「外国語学部について」pp.343～347や所属学科の説明箇所と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」p.344に説明があるので参照すること。

市民社会・国際協力論研究コースを第二主専攻または副専攻として履修する場合の諸注意

- (1) 各科目の履修可能年次を尊重して履修すること。
- (2) 「開講科目担当表」にあるすべての科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割表に掲載されているので、それを参照すること。また履修登録の際は、そこに記載されている登録コードで登録すること。ただし、備考欄に（他）の記号のある科目については該当する他学部・他学科の時間割表を参照すること。
- (3) 2年次秋学期にLoyolaで市民社会・国際協力論研究コースを登録すること。
総合グローバル学科開講の演習科目の履修を希望する場合は、市民社会・国際協力論研究コースを選択し、かつ「第二主専攻」として登録すること。「副専攻」として登録した場合は、当該演習科目の履修はできない。
*詳細については、「研究コースガイダンス」等で確認のこと。

①第二主専攻として履修する場合

(1) 必要な科目と単位

【2018年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	36単位

【2014年次生～2017年次生】

導入科目	6単位
コア科目	20単位
演習科目	8単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	40単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

「市民社会・国際協力論概説」「市民が関わる国際協力」の2科目4単位を履修することを強く勧める。導入科目の3科目6単位は、市民社会・国際協力論研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

○演習科目

市民社会・国際協力論研究コースの演習科目のうち、総合グローバル学科開講の演習科目については、2年次秋学期に行われる選抜に合格した者のみが履修することができる。外国語学部生には演習ごとに各学年最大3名の枠が付与されている。また、外国語学部開講の演習科目についても、履修条件が設けられている場合があるので注意すること。

演習科目は4科目8単位を修得しなければならない。また、この4科目は原則として全て同一教員が担当する演習科目であることが望ましい。(2014年次～2017年次生)

演習科目は2科目4単位を修得しなければならない。演習科目は同一教員が担当する4科目8単位を修得することを強く勧める。(2018年次生)

*詳細については、「ゼミガイダンス」やLoyola掲示板（学科・専攻別）等で確認のこと。

(2) 卒業論文・卒業研究

外国語学部における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談のうえ、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合、20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合、10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は、上記に相当する量を基準とする。いずれも、表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については、指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合には、外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合には、日本語（A4版1枚程度）の要約をそれぞれつけること。

(3) 履修証明の交付

本研究コースを「第二主専攻」として履修した者に履修証明を交付する。

詳細はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

② 副専攻として履修する場合

必要な単位と科目

導入科目	6単位
コア科目	10単位
合計	16単位

*指定される要件を超えて本研究コース開講の科目を履修した場合、その単位は標準配当表「学科科目：その他」に充当される。

○導入科目

「市民社会・国際協力論概説」「市民が関わる国際協力」の2科目4単位を履修することを強く勧める。

導入科目の3科目6単位は、市民社会・国際協力論研究コース開講の科目群から履修することが望ましいが、2単位までは他の研究コースの導入科目やコース共通導入科目から履修することも認める。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
コ北米研究
研究1 コロシア
研究1 ラテンアメリカ
研究1 コロシア
研究1 言語学
研究1 コロシア
研究1 中東アフリカ
研究1 国際政治論

研国市
究際民
コ協社
リ力会
ス論・

3. 開講科目担当表

【導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690121	FCS201	市民社会・国際協力論概説	2	春	*日下部 尚 徳	1・2		注1
	690104	FCS200	市民が関わる国際協力	2	秋	コーディネータ 田 村 梨 花	1・2		輪講,注1
	BGS50200	GBG201	グローバル化と経済学1	2	春	*矢 野 誠	1・2		(他)総合グローバル学科, 春学期集中
	BGS50201	GBG202	グローバル化と経済学2	2	春	高 島 亮	1・2	○	(他)総合グローバル学科
	BGS50300	GBG203	グローバル社会学	2	春	*八 尾 祥 平	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2	秋	根 本 敬	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS50600	GBG206	グローバル化と宗教	2	秋	赤 堀 雅 幸	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]
	BGS50700	GBG207	グローバル化と情報	2	秋	*遠 藤 薫	1・2		(他)総合グローバル学科, [190名]

注1 外国語学部生のみ履修可。

【コース共通導入科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高 橋 暁 生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小 田 昌 教	1~4		注2
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高 橋 亮 介	1~4		全学共通科目, 輪講, [250名]
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉 田 研 作	1・2	○	[200名]

注1 外国語学部生, 総合グローバル学部生及び史学科生のみ履修可。

注2 外国語学部生のみ履修可。

【コア科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	549414	FMS301	フランス語圏アフリカの社会と経済	2	春	岩 崎 えり奈	2~4		
	549415	FMS302	(隔) (重) 北アフリカ社会開発論	2	休講	岩 崎 えり奈	2~4		
	558870	FIP304	(重) ラ米政治社会特論	2	秋	幡 谷 則 子	2~4		
	558801	FIF301	ラ米経済概論	2	春	谷 洋 之	2~4		
	588730	FIS302	ブラジル社会開発協力	2	秋	*蛭 山 はるみ	2~4		[80名]
	588627	FIS324	(隔) 特講ブラジル社会開発論	2	秋	田 村 梨 花	2~4		旧「ブラジルの教育と開発」
	588628	FIS323	ブラジル社会概論	2	春	田 村 梨 花	2~4		
	588622	FMJ311	(隔) (重) 現代アフリカ研究特講	2	休講	矢 澤 達 宏	2~4		
	270101	NRS150	アフリカ文化理解と医療保健活動	2	春	コーディネータ 武 井 弥 生	1		(他)看護学科, 輪講, [100名]
	BGS53400	GIC300	グローバルゼーションと市民社会1	2	春	稲 葉 奈々子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53401	GIC301	グローバルゼーションと市民社会2	2	秋	稲 葉 奈々子	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53600	GIC303	国際社会学1	2	春	蘭 信 三	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53601	GIC304	国際社会学2	2	秋	蘭 信 三	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53700	GIC305	フィールドワークの技法と実践	2	春	蘭 信 三	2~4		(他)総合グローバル学科, [50名]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS53800	GIC306	グローバル化と文化1	2	春	*川崎賢一	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS53801	GIC307	グローバル化と文化2	2	秋	*川崎賢一	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS57301	GAM313	アフリカ開発論	2	春	コーディネータ 赤堀雅幸 *森下拓道	2~4		(他)総合グローバル学科,輪講,旧「アフリカ国際協力論」
	BGS57400	GAM314	アフリカ社会経済論	2	秋	*吉田敦	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS53900	GIC308	国際協力論1	2	春	田中雅子	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS53901	GIC309	国際協力論2	2	秋	田中雅子	2~4		(他)総合グローバル学科,[190名]
	BGS54000	GIC310	国際経済学1	2	春	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54001	GIC311	国際経済学2	2	秋	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54102	GIC312	国際政治経済論 (経済学的アプローチ)1	2	春	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科, 旧「国際政治経済論1」
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論 (経済学的アプローチ)2	2	秋	下川雅嗣	2~4		(他)総合グローバル学科, 旧「国際政治経済論2」
	BGS54200	GIC314	開発経済学	4	春	高島亮	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4	休講	高島亮	2~4		(他)総合グローバル学科
	BGS54400	GIC316	国際教育開発論1	2	春	廣里恭史	2~4		(他)総合グローバル学科,[70名]
	BGS54401	GIC317	国際教育開発論2	2	秋	廣里恭史	2~4		(他)総合グローバル学科,[70名]
	BGS57504	GIC400	特講(国際人口移動)	2	秋	蘭信三	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57505	GIC401	特講(国際機構)B	2	春	廣里恭史	3・4	○	(他)総合グローバル学科,[40名]
BGS57513	GAM402	特講(現代アフリカ)	2	春	*佐藤千鶴子	3・4		(他)総合グローバル学科	

学部共通

英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

ロシア語

ポルトガル語

コ北米研究

研究ヨロイスバ

研究ラオイスカ

研究ユロイスバ

研究コイスバ

研究アロイスバ

研究コイスバ

研究コイスバ

研究コイスバ

研究コイスバ

【演習科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	559034	FIS401	(重)演習(ラ米社会研究)1	2	春	幡谷則子	3・4		
	559035	FIS402	(重)演習(ラ米社会研究)2	2	秋	幡谷則子	3・4		
	587451	FIS411	(重)演習(ブラジル社会研究)1	2	春	田村梨花	3・4		
	587452	FIS412	(重)演習(ブラジル社会研究)2	2	秋	田村梨花	3・4		
	537207	FUS411	(重)演習(日独社会研究)1	2	春	木村護郎 クリストフ	3・4		注1
	537208	FUS412	(重)演習(日独社会研究)2	2	秋	木村護郎 クリストフ	3・4	○	注1
	549463	FMS401	(重)演習(北アフリカ社会経済)1	2	春	岩崎えり奈	3・4		
	549464	FMS402	(重)演習(北アフリカ社会経済)2	2	秋	岩崎えり奈	3・4		
	BGS57654	GIC450	(重)演習(国際政治経済論・経済学的アプローチ)1	2	春	下川雅嗣	3・4		(他)総合グローバル学科,旧「演習(国際政治経済論)1」
	BGS57655	GIC451	(重)演習(国際政治経済論・経済学的アプローチ)2	2	秋	下川雅嗣	3・4		(他)総合グローバル学科,旧「演習(国際政治経済論)2」
	BGS57620	GIC452	(重)演習(開発経済学)1	2	春	高島亮	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57621	GIC453	(重)演習(開発経済学)2	2	休講	高島亮	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57622	GIC454	(重)演習(国際社会学)1	2	春	蘭信三	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57623	GIC455	(重)演習(国際社会学)2	2	秋	蘭信三	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57624	GIC456	(重)演習(グローバル市民社会論)1	2	春	稲葉奈々子	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57625	GIC457	(重)演習(グローバル市民社会論)2	2	秋	稲葉奈々子	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57626	GIC458	(重)演習(国際協力論)1	2	春	田中雅子	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57627	GIC459	(重)演習(国際協力論)2	2	秋	田中雅子	3・4		(他)総合グローバル学科
	BGS57628	GIC460	(重)演習(国際教育開発論)1	2	春	廣里恭史	3・4		(他)総合グローバル学科
BGS57629	GIC461	(重)演習(国際教育開発論)2	2	秋	廣里恭史	3・4		(他)総合グローバル学科	

注1 ドイツ語学科が指定する「日独比較研究」科目

【卒業論文・卒業研究・専門論文】

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	690918	FCZ401	卒業論文・卒業研究	6	春	演習科目担当教員	4		
	690918	FCZ401	卒業論文・卒業研究	6	秋	演習科目担当教員	4		

7	外国語学部
---	-------

13年次生以前

14年次生以降はp.341～

◎教育研究上の目的，人材養成の目的，カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは，p.341 を参照のこと。

学部
共通

英

語

ド

イ

ツ

語

フ

ラ

ン

ス

語

イ

ス

バ

ニ

ャ

語

ロ

シ

ア

語

ポ

ル

ト

ガ

ル

ガ

ル

語

専

言

門

語

分

野

学

専

国

門

際

分

関

野

係

係

専

ア

ジ

ア

門

分

文

化

専

ヨ

ロ

ッ

分

野

パ

専

ア

ラ

メ

ネ

ア

リ

分

野

カン

外国語学部説明 (学生は自分が所属する学科のページと必ず合わせて読むこと)

学科科目の構成について

外国語学部の学科科目は、以下の部分で構成される。

- ・ 外国語学部基礎科目：外国研究に必要なディシプリン（専門学問領域）の基礎知識の習得を目的とする学部共通の科目群からなり、原則として1, 2年次に修得すること。いずれも選択科目である。開講科目についてはpp.459～460参照のこと。
- ・ 必修科目：卒業要件を満たすために学生が必ず履修しなければならない指定科目。
- ・ 選択科目：卒業要件に応じて特定の科目群から学生が自由に選択できる科目。

なお、「卒業に要する科目」の「学科科目」には、専門分野科目のほかに学科選択科目、他学部他学科科目、課程科目等で充当することもできる。学科によって充当できる内容が異なるので該当ページを参照すること。また、**専門分野科目については、各自が選択した専門分野以外の専門分野科目も履修することができる。**

専門分野について

- (1) 外国語学部各学科の学生は、下記の表に記載された各学科ごとに指定されている専門分野のうちから1つを2年次春学期末に選択し、外国語学部事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。

所属学科	各学科が指定する専門分野				
英語学科	英語研究	アメリカ研究 英国・英語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ドイツ語学科	ドイツ語研究	ドイツ語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
フランス語学科	フランス語研究	フランス語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
イスパニア語学科	イスパニア語研究	イスパニア語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ロシア語学科	ロシア語研究	ロシア・ユーラシア研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ポルトガル語学科	ポルトガル語研究	ポルトガル語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究

- (2) 専門分野の届出

届出：外国語学部の学生は、2年次春学期終了時に、所属学科が指定する専門分野のうちのいずれか1つを選択し、所定の用紙によって外国語学部事務室に届け出なければならない。届出要領等はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

変更：届け出た専門分野は、2年次秋学期以降、卒業直前の学期を除き、変更することができる。ただし、変更によって各専門分野の所定の科目・単位を履修できない場合があるから、変更は慎重に行なうこと。

- (3) 専門分野の履修証明

取得：4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得し、かつ履修した専門分野が定める所定の単位を修得した学生は、4年次の12月に本人が申請することにより、履修した専門分野の履修証明の交付を受け、また翌年3月以降、履修証明を取得した者は、本人の申請により、成績証明書にその旨を記載することができる(申請から発行まで数日を要する)。自学科の卒業単位として認められる科目が、専門分野の科目リストに入っていれば、卒業単位としても、履修証明取得のための単位としてもカウントされる。**履修証明の交付を受けようとする学生は、「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「Ⅱ」を同一の専門分野の科目として登録しなければならない。なお、専門分野の「履修証明」の取得は、卒業要件ではない。**

申請：履修証明の申請は、成績証明書を添付のうえ、卒業論文または卒業研究の指導教員の所属する学科、または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究に提出する。申請の時期・申請要領等はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて伝達する。

外国語学部開講科目における科目記号について

外国語学部で開講される科目で使用している記号は、原則として、以下の定義による。ただし学科、専門分野によっては例外的な記載があるので、各学科の該当ページを参照すること。

- ・ ローマ数字のⅠ，Ⅱ… 科目段階区分：各学科の専攻外国語、卒業論文のようにⅠの科目を履修できなければⅡの科目を履修できない科目。
- ・ アルファベットの大文字A，B… 科目の内容区分：同じ名称の科目だが講義内容が異なる科目。
- ・ アラビア（算用）数字の1，2 春学期，秋学期に区分される科目。
- ・ アルファベットの小文字a，b… 科目のクラス区分：同じ科目のなかでのクラス分け。
- ・ （他） 他学科開講科目
- ・ （隔） 隔年開講
- ・ （重） 重複履修可能科目（2回以上履修した場合、いずれも卒業に必要な単位として認められる。）

※備考欄に旧「○○○」と記載された科目は、科目名および上記の科目記号を変更したものである。これらの科目は新科目と同一科目とみなすので、既に旧科目名で修得した科目は新科目名で履修しても、卒業に必要な単位として認められない。

なお、授業タイトルが英語で表記されている科目は、原則としてすべて英語で行われる。日本語タイトルの科目であっても、外国語で進められる授業もある。詳細はすべてシラバス（講義概要）を参照すること。

留学、編入学に伴う科目および単位認定について

留学した学生は帰国後、また編入した学生は編入後すみやかに、学事センターの所定用紙にて申請のうえ、単位認定を受けなければならない。認定を受けた科目を専門分野科目に充当したい場合は、外国語学部事務室に備え付けの用紙により、申請しなければならない。履修証明の申請の際は、その用紙と手続き完了後の単位認定願コピーを添付すること。

卒業論文・卒業研究について

(1) 卒業論文と卒業研究の違い

卒業論文は、論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、注記、文献目録からなっていなければならない。指導は主査1人、または主査と主査の指名する副査の2人による。

卒業研究は、論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文とは異なるが、内容と完成に要する知的努力においては卒業論文と同等とみなせるものでなければならない。卒業研究のテーマになり得るかどうかについては、登録した専門分野の演習担当教員と相談すること。卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等の文書化されたもの（8,000字程度）からなる。指導は主査と副査の2人による。

(2) 履修登録

① 卒業論文または卒業研究を提出しようとする学生は、卒業予定年次に「卒業論文・卒業研究Ⅰ」（3単位）「同Ⅱ」（3単位）を履修しなければならない。したがって、3年次生の登録は認められない。

「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、届け出た専門分野においてそれを履修しなければならない。専門分野の履修証明を取得するためには、「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」は必修であり、同一の専門分野であること。（以下Ⅰ，Ⅱと表記）

原則として、4年次の春学期にⅠを、秋学期にⅡを登録し、この2つの科目を、各々1科目ずつ2つの学期にまたがって、セットで履修すること。春学期に在学しているにもかかわらず、Ⅰを履修していない者は、秋学期でのⅠとⅡの同時履修は認められない。

ただし、以下の場合については同時履修を認めることがあるので、外国語学部事務室に申し出ること。その場合、指導教員の許可をもらい、秋学期履修登録期間最終日までに外国語学部事務室に「卒業論文・卒業研究Ⅰ及びⅡの同時履修願」を提出する。同時履修を希望するにあたっては、十分な学習時間を取ることが前提である。

- ・ 留学、休学の理由で秋学期から戻った学生が卒業論文・卒業研究を提出し、当該学期末での卒業を希望する場合
- ・ 留学、休学の理由で春学期から戻った学生が卒業論文・卒業研究を提出し、その年の9月の卒業を希望する場合。

また、Ⅰを登録してから、留学、休学により、次学期よりあとにⅡを登録する場合は、別途指導教員の許可をもらうこと。

Ⅰはその後、Ⅱの履修を中止した場合、もしくは卒業論文（卒業研究）を提出しなかった場合も単位として記録されるので、十分注意して履修すること。

- ② 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、卒業年次にLoyolaにて、指導教員の所属する学科または言語学研究, 国際関係研究, アジア文化研究の各専門分野の登録番号で履修登録しなければならない。ただし、言語学研究所の学生は、指導教員の所属にかかわらず、言語学研究所の登録番号にて履修登録する。
- ③ 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、Loyolaでの履修登録とは別に、「卒業論文・卒業研究作成届」を所属学科（「ヨーロッパ研究」「ラテンアメリカ研究」を含む）事務室に提出すること。ただし「言語学研究」の場合、言語学副専攻事務担当者（2号館8F外国語学部事務室内）、「国際関係研究」「アジア文化研究」の場合は、それぞれの事務担当者（2号館6F総合グローバル学部事務室内）に、4月27日（金）までに提出する必要がある。
- ④ 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」の評価には、P（合格）・X（不合格）を使用する。

*4年次生以上で9月卒業を希望し、卒業論文・卒業研究を作成したいケースについては、手続詳細を履修登録時にLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

(3) 提出

卒業論文・卒業研究の提出要領は下記のとおりである。

- ・ 期間/時間：Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- ・ 場所：Loyola学事センター（教務）掲示板に掲示します。
- ・ 執筆要領等：指導を受ける担当教員が所属する学科・専門分野のページを参照すること。なお、卒業研究の研究成果を紙以外の媒体で提出する場合は、上書きできないようにプロテクトした状態のもの（例：CD-ROMもしくはDVD等）を媒体としたうえで、文書化した解説資料と媒体を封筒等に入れ、提出票（学事センター（教務）にて配付）を封筒等の表面に貼付して提出すること。

卒業

外国語学部の学生は、4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得すると、学位「学士（外国研究）」が授与され、外国語学部を卒業することができる。

ナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは各アルファベットが分野等、3桁の数字がレベルを示している。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

(1) アルファベットの意味

専攻語・学科基礎科目

1文字目	2文字目	学科	3文字目	学科科目の種類
F 外国語学部開講	E	英語	B	1・2年次専攻語
	D	ドイツ語	G	3・4年次専攻語
	F	フランス語	A	語圏研究
	H	イスパニア語	E	語科教育法
	R	ロシア語	X	海外短期語学講座・研修
	P	ポルトガル語	Z	卒業論文・卒業研究

専門分野科目等

1文字目	2文字目	地域、専門分野等	3文字目	
F 外国語学部開講	K	外国語学部基礎科目	H	歴史学
	N	北米	P	政治学
	U	ヨーロッパ	F	経済学
	I	ラテンアメリカ	S	社会学
	Y	ロシア・ユーラシア	I	人類学
	A	アジア	C	文化
	M	中東・アフリカ	J	その他
	X	国際政治論	L	文学
	C	市民社会・国際協力論	K	言語

1 文字目	2 文字目 地域, 専門分野等		3 文字目		
F 外国語学部開講	S	国際関係	M	理論言語学 注1	
	B	アジア文化		N	応用言語学 注1
	L	言語		O	言語聴覚障害学 注1
				T	翻訳・通訳 注1
				X	海外短期語学講座・研修 注2
				Z	卒業論文・卒業研究 注2

注1: 言語学系科目(2文字目L)の分野を表す

注2: 全分野共通で使用

注3: 2014年度以降総合グローバル学部開講に変更された科目は、総合グローバル学部のナンバリングと共通のものを使用している。

(2) 3桁の数字の意味

導入レベル科目	100番台
基礎から専門的レベルへの橋渡しとなる科目	200番台
専門領域の科目, もしくは専門的な知識を踏まえ社会との接点を探る科目	300番台
専門領域の科目(上級レベル, 専門領域の演習)	400番台

外国語学部基礎科目・・・8単位

※以下の表に掲載されている外国語学部基礎科目については、Loyolaの時間割「全学共通科目」、「外国語学部基礎科目」を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	690122	FKH202	グローバル・ヒストリー入門	2	秋	コーディネータ 高橋 暁 生	1・2		輪講, [100名], 注1, 旧「歴史学研究入門」
	690101	FXP200	国際関係論入門	2	春	*宇田川 光 弘	1~4		注2
	690104	FCS200	市民が関わる国際協力	2	秋	コーディネータ 田村 梨花	1・2		輪講, 注2
	690102	FKJ231	グローバルスタディーズ入門	2	秋	*小田 昌 教	1~4		注2
	099349	GTR101	(隔) 諸宗教における自然と人間	2	秋	コーディネータ 高山 貞 美	1・2		全学共通科目, 輪講, [100名], 注3
	002171	GHL104	言語と人間 I	2	春	コーディネータ 高橋 亮 介	1・2		全学共通科目, 輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間 II	2	秋	コーディネータ 高橋 亮 介	1・2		全学共通科目, 輪講, [250名]
	099149	GCI101	メディア・対話・レトリック I	2	春	コーディネータ 浅見 昇 吾	1・2		全学共通科目, 輪講, [300名]
	099150	GCI102	メディア・対話・レトリック II	2	秋	コーディネータ 浅見 昇 吾	1・2		全学共通科目, 輪講, [300名]
	099151	GCI201	メディア・対話・レトリック III	2	春	コーディネータ 浅見 昇 吾	1・2		全学共通科目, 輪講, [50名], 演習
	011001	GHH108	西洋美術史 I	2	春	*阿部 真 弓	1・2		全学共通科目, [200名]
	011003	GHH202	西洋美術史 II	2	秋	*阿部 真 弓	1・2		全学共通科目, [200名]
	099167	GHH101	東南アジア史入門 I	2	春	根 本 敬	1・2		全学共通科目, [120名]
	010816	GHH102	東南アジア史入門 II	2	秋	丸 井・川 島	1・2		全学共通科目, 輪講, [200名]
	099451	GHH119	東南アジア研究入門	2	春	*桐ヶ谷 賢 一	1・2		全学共通科目, [150名] 旧「東南アジア研究入門 I」
	010828	GHH104	南アジア研究入門	2	春	AUGUSTINE Sali	1・2		全学共通科目, [100名]
	010829	GHH107	アフリカ研究入門	2	春	眞 城 百 華	1・2		全学共通科目, [200名]
	099449	GHH117	中東イスラーム研究入門 I	2	春	小 牧 昌 平	1・2		全学共通科目, [200名] 旧「中東研究入門」

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
選 択 科 目	099450	GHH118	中東イスラーム研究入門Ⅱ	2	秋	澤 江 史 子	1・2		全学共通科目, [200名]
	099086	GHH109	歴史学Ⅰ (日本史)	2	春	未 定	1・2		全学共通科目, [200名]
	099087	GHH110	歴史学Ⅱ (東洋史)	2	春	笹 川 裕 史	1・2		全学共通科目, [200名]
	099088	GHH111	歴史学Ⅲ (西洋史)	2	秋	中 川 亜 希	1・2		全学共通科目, [200名]
	030601	GCI109	経済学	2	春	青 木 研	1・2		全学共通科目, [250名]
	030601	GCI109	経済学	2	秋	蓬 田 守 弘	1・2		全学共通科目, [250名]
	099107	GCI110	社会学A	2	春	藤 村 正 之	1・2		全学共通科目, [200名]
	099194	GCI111	社会学B	2	秋	藤 村 正 之	1・2		全学共通科目, [250名]
	099189	GCI112	社会学	2	秋	*金 崎 一 郎	1・2		全学共通科目, [350名]
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰa	2	春	*綾 部 真 雄	1・2		全学共通科目, [250名]
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰb	2	秋	*綾 部 真 雄	1・2		全学共通科目, [250名]
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰa	2	春	*大 川 真 由 子	1・2		全学共通科目, [250名]
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰb	2	秋	*大 川 真 由 子	1・2		全学共通科目, [250名]

注1：外国語学部生，総合グローバル学部生，史学科生のみ履修可。

注2：外国語学部生のみ履修可。

注3：2010年度までの「環境と人間」を履修したものは重複履修不可。

英語学科

〔教育研究上の目的〕

卓越した英語運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（言語学、人文・社会科学、英語圏に関する基礎知識）を修得すること。

〔人材養成の目的〕

英語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること。

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME>学部・大学院>学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

11～13年次生

〈全学共通科目〉

必修 10単位

{	体育	2単位
	外国語科目	8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]

選択 16単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位

専攻科目 86単位

{ 必修
選択

16単位
70単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

学部
共通

英

語

ドイツ
語

フランス
語

イスパ
ニア語

ロシア
語

ポルト
ガル語

専門
語分
野学

専門
際分
野係

専門
アジ
ア分
野文
化

専門
ヨーロッパ
分
野

専門
アラ
ブ分
野

2. 標準配当表

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	ドイツ語・フランス語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・コリア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語・日本語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (16単位)	イングリッシュ・スキルズ01(注1) 2 イングリッシュ・スキルズ02(注2) 2 英作文101(注3) 1 英作文102(注4) 1 英米文化入門101(注5) 2 英米文化入門102(注6) 2	イングリッシュ・スキルズ201(注8) 2 イングリッシュ・スキルズ202(注9) 2 英作文201(注10) 1 英作文202(注11) 1				
		選択 (70単位)		[2年次英文講読] から4単位履修すること	4	[3・4年次選択科目] から16単位以上履修すること(注7)	16	
				[1・2年次選択科目] から8単位以上履修すること(注7)	8			
		選択科目は以下の①～⑦から履修すること。 ①1・2年次選択科目 ②3・4年次選択科目 ③専門分野科目(全学共通科目を除く) ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部・他学科の「学科科目」 ⑥学科科目としての外国語(英語・英語選択科目を除く)。ただし、⑥は全学共通科目として選択したものは異なる1言語を4単位までとする。 ⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位)。詳細は、履修要覧(共通編)p.93を参照のこと。				42		

- (注1) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。
(注2) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。
(注3) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。
(注4) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。
(注5) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。
(注6) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。
(注7) 履修上の注意および開講科目担当表(pp.469～472)を参照のこと。
(注8) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。
(注9) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。
(注10) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。
(注11) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。

11・12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・コア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語・日本語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (16単位)	イングリッシュ・スキルズ01(注1) 2 イングリッシュ・スキルズ02(注2) 2 英作文101(注3) 1 英作文102(注4) 1 英米文化入門101(注5) 2 英米文化入門102(注6) 2	イングリッシュ・スキルズ01(注3) 2 イングリッシュ・スキルズ02(注3) 2 英作文201(注10) 1 英作文202(注11) 1				
		選択 (70単位)		[2年次英文講読] から4単位履修すること	4	[3・4年次英語科目] から8単位履修すること	8	
				[1・2年次選択科目] から8単位以上履修すること(注7)	8	[3・4年次選択科目] から8単位以上履修すること(注7)	8	
		選択科目は以下の①～⑦から履修すること。 ①1・2年次選択科目 ②3・4年次選択科目 ③専門分野科目(全学共通科目を除く) ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部・他学科の「学科科目」 ⑥学科科目としての外国語(英語・英語選択科目を除く)。ただし、⑥は全学共通科目として選択したものと異なる1言語を4単位までとする。 ⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位)。詳細は、履修要覧(共通編)p.93を参照のこと。				42		

- (注1) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。
 (注2) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。
 (注3) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。
 (注4) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。
 (注5) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。
 (注6) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。
 (注7) 履修上の注意および開講科目担当表 (pp.471～472)を参照のこと。
 (注8) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。
 (注9) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。
 (注10) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。
 (注11) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア分文化
専門ヨーロッパ分文化
専門アラビア分文化

10年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体	2					
		情報リテラシー演習	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (14単位)							
外国語科目必修 (8単位)		4	左記のものから選んだ同一の外国語を1か国語	4				

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)				8			
		必修 (16単位)	イングリッシュ・スキルズ01(注1) イングリッシュ・スキルズ02(注2) 英作文101(注3) 英作文102(注4) 英米文化入門101(注5) 英米文化入門102(注6)	2 2 1 1 2 2	イングリッシュ・スキルズ201(注8) イングリッシュ・スキルズ202(注9) 英作文201(注10) 英作文202(注11)	2 2 1 1		
	専攻科目 (86単位)	選択 (70単位)		[2年次英文講読] から4単位履修すること	4	[3・4年次英語科目] から8単位履修すること	8	
				[1・2年次選択科目] から8単位以上履修すること(注7)	8	[3・4年次選択科目] から8単位以上履修すること(注7)	8	
				選択科目は以下の①～⑦から履修すること。 ①1・2年次選択科目 ②3・4年次選択科目 ③専門分野科目(全学共通科目を除く) ④課程科目(実習を除く) ⑤他学部・他学科の「学科科目」 ⑥学科科目としての外国語(英語・英語選択科目を除く)。ただし、⑥は全学共通科目として選択したものは異なる1言語を4単位までとする。 ⑦SAIMSプログラム科目(上限4単位)。詳細は、履修要覧(共通編)p.93を参照のこと。			42	

- (注1) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。
(注2) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。
(注3) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。
(注4) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。
(注5) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。
(注6) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。
(注7) 履修上の注意および開講科目担当表(pp.471～472)を参照のこと。
(注8) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。
(注9) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。
(注10) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。
(注11) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。

3. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

1年次，2年次履修の2種類から成る。

1・2年次必修科目は、英語を読み、書き、聴く、話す基礎力をつけることを目的とするため、すべてグループ指定である。

③ 学科「選択科目」について

(1) 1・2年次選択科目

各専門分野の入門的な科目で、開講科目担当表に記載された科目から指定単位数（8単位）以上を履修する。

(2) 2年次英文講読

開講科目担当表に記載された科目から必要な単位数（4単位）を満たすよう履修する。

(3) 3・4年次英語科目（12年次生以前対象）

英語の更に進んだ運用能力をつけることを目的とする科目群である。開講科目担当表に記載された科目から必要な単位数（8単位）を満たすよう履修する。

(4) 3・4年次選択科目

各専門分野の英語で講義が行われる科目で、開講担当表に記載された科目から指定単位数（**12年次生以前は8単位、13年次生は16単位**）以上を履修する。

(5) 専門分野科目（全学共通科目を除く）

(6) 課程科目（実習を除く）

(7) 他学部・他学科の「学科科目」

(8) 学科科目としての外国語（11年次生～13年次生対象）

11年次生～13年次生は、全学共通科目としての外国語科目で選択したものと異なる1言語（英語及び英語選択科目以外）を4単位まで「学科科目としての外国語」として「選択科目（42単位）」に充当する。

(9) SAIMSの科目（上限4単位）

④ 専門分野について

- (1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。

- I. 英語研究
- II. アメリカ研究
- III. 英国・英語圏研究
- IV. ヨーロッパ研究
- V. 言語学研究
- VI. 国際関係研究
- VII. アジア文化研究

- (2) 本学科が提供する専門分野（「英語研究」「アメリカ研究」「英国・英語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目，演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の履修証明取得に必要な単位および指定する科目は、それぞれのページに記載されている。

⑤ 履修にあたっての注意

- (1) 同じ名称の科目は2度目を履修しても卒業に必要な単位としては認められない。ただし開講科目担当表の(重)の科目は例外とする。
- (2) 学科科目のうち「1・2年次英語必修科目」(16単位)、「2年次英文講読」(4単位)および「3・4年次英語科目(※12年次生以前対象)」(8単位)は、いずれも定められた単位を超えて履修しても選択科目として卒業単位に充当することはできない。また、これらの単位の超過分は、3・4年次選択科目、専門分野科目にも充当することはできない。
- (3) 1・2年次選択科目および3・4年次選択科目を必要以上に履修した場合は、すべて「選択科目(42単位)」に充当する。
- (4) 他学部・他学科の「学科科目」を履修する場合は、その科目を担当する教員の許可を必要とする。
 1. 国際教養学部の科目履修の場合には、学事センターの指示に従い、所定の手続きをふむこと。
 2. 言語教育研究センターの英語及び英語選択科目を履修しても、卒業に必要な単位としては、認められない。
- (5) 必修科目の科目名が2014年度より変更したため、以下の点に注意すること。
 1. 「イングリッシュ・スキルズ101」未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。
 2. 「イングリッシュ・スキルズ102」未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。
 3. 「英米文化入門101」未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。
 4. 「英米文化入門102」未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。
 5. 「英作文101」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。
 6. 「英作文102」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。
 7. 「イングリッシュ・スキルズ201」未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。
 8. 「イングリッシュ・スキルズ202」未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。
 9. 「英作文201」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。
 10. 「英作文202」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。
- (6) 備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コース時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「英語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。
卒業論文の装丁は、A4判・横書き(パソコン使用が望ましい)、黒表紙で左綴じにすること。

⑦ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

【2011-2013年次生】

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	[1・2年次英語必修科目] ※英語学科生のみ履修可								
	520011	FEB101	ENGLISH SKILLS A-1	2	春	JACQUES Michael	1	○	Aグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						MORRELL Audrey			Bグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						EDWARDS Susan			Cグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						坂本光代			Dグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						OKIMOTO Kenneth			Eグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						MORRELL Audrey			Fグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						FURUKAWA Gavin			Gグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
						OKIMOTO Kenneth			Hグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ101」
	520021	FEB102	ENGLISH SKILLS A-2	2	秋	JACQUES Michael	1	○	Aグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」
						MORRELL Audrey			Bグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」
						EDWARDS Susan			Cグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」
						坂本光代			Dグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」
						OKIMOTO Kenneth			Eグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」
MORRELL Audrey						Fグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」			
FURUKAWA Gavin						Gグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」			
OKIMOTO Kenneth						Hグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ102」			
520111	FEA101	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	1	○	ABグループ, 旧「英米文化入門101」	
					MACINTYRE Robert			CDグループ, 旧「英米文化入門101」	
					ISHERWOOD Christopher			EFグループ, 旧「英米文化入門101」	
					KAUFMAN Marc			GHグループ, 旧「英米文化入門101」	
520121	FEA102	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	1	○	ABグループ, 旧「英米文化入門102」	
					MACINTYRE Robert			CDグループ, 旧「英米文化入門102」	
					ISHERWOOD Christopher			EFグループ, 旧「英米文化入門102」	
					KAUFMAN Marc			GHグループ, 旧「英米文化入門102」	
504011	FEB111	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	春	MORRELL Audrey	1	○	Aグループ, 旧「英作文101」	
					KAUFMAN Marc			Bグループ, 旧「英作文101」	
					FURUKAWA Gavin			Cグループ, 旧「英作文101」	
					KAUFMAN Marc			Dグループ, 旧「英作文101」	
					WILLIAMS Laurence			Eグループ, 旧「英作文101」	
					WILLIAMS Laurence			Fグループ, 旧「英作文101」	
					MORRELL Audrey			Gグループ, 旧「英作文101」	
					ISHERWOOD Christopher			Hグループ, 旧「英作文101」	
504012	FEB112	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	秋	MORRELL Audrey	1	○	Aグループ, 旧「英作文102」	
					KAUFMAN Marc			Bグループ, 旧「英作文102」	
					FURUKAWA Gavin			Cグループ, 旧「英作文102」	
					KAUFMAN Marc			Dグループ, 旧「英作文102」	
					WILLIAMS Laurence			Eグループ, 旧「英作文102」	
					WILLIAMS Laurence			Fグループ, 旧「英作文102」	
					MORRELL Audrey			Gグループ, 旧「英作文102」	
					ISHERWOOD Christopher			Hグループ, 旧「英作文102」	

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専国際分野係
専アジア分文化
専ヨーロッパ分野
専アラビア分野

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	520211	FEB201	ENGLISH SKILLS B-1	2	春	ISHERWOOD Christopher	2	○	Aグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						WILLIAMS Laurence			Bグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						WILLIAMS John			Cグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						EDWARDS Susan			Dグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						小川公代			Eグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						FURUKAWA Gavin			Fグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						石井紀子			Gグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
						大塚祐子			Hグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ201」
	520221	FEB202	ENGLISH SKILLS B-2	2	秋	ISHERWOOD Christopher	2	○	Aグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						WILLIAMS Laurence			Bグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						WILLIAMS John			Cグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						EDWARDS Susan			Dグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						小川公代			Eグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						FURUKAWA Gavin			Fグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						石井紀子			Gグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
						大塚祐子			Hグループ, 旧「イングリッシュ・スキルズ202」
	504021	FEB211	ENGLISH COMPOSITION B-1	1	春	MACINTYRE Robert	2	○	Aグループ, 旧「英作文201」
						MACINTYRE Robert			Bグループ, 旧「英作文201」
						EDWARDS Susan			Cグループ, 旧「英作文201」
						小塩和人			Dグループ, 旧「英作文201」
						ISHERWOOD Christopher			Eグループ, 旧「英作文201」
						大塚祐子			Fグループ, 旧「英作文201」
						北原真冬			Gグループ, 旧「英作文201」
						北原真冬			Hグループ, 旧「英作文201」
504031	FEB212	ENGLISH COMPOSITION B-2	1	秋	MACINTYRE Robert	2	○	Aグループ, 旧「英作文202」	
					MACINTYRE Robert			Bグループ, 旧「英作文202」	
					EDWARDS Susan			Cグループ, 旧「英作文202」	
					小塩和人			Dグループ, 旧「英作文202」	
					ISHERWOOD Christopher			Eグループ, 旧「英作文202」	
					大塚祐子			Fグループ, 旧「英作文202」	
					北原真冬			Gグループ, 旧「英作文202」	
					北原真冬			Hグループ, 旧「英作文202」	

学科科目〔専攻科目（選択科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[1・2年次選択科目]								
	501264	FNJ201	北米地域研究入門A-1	2	春	コーディネータ 石井紀子	1・2		輪講, 注8, (コ)
	690112	FNJ202	北米地域研究入門A-2	2	秋	*庭山雄吉	1・2		[60名], 注8, (コ)
	501265	FNJ211	北米地域研究入門B-1	2	春	小塩和人	1・2		旧「アメリカ研究入門B」, 旧「アメリカ研究入門B-I」, (コ)
	501266	FNJ212	北米地域研究入門B-2	2	秋	小塩和人	1・2		旧「アメリカ研究入門B」, 旧「アメリカ研究入門B-II」, (コ)
	501267	FEA176	シェイクスピア入門	4	春	東郷公德	1・2		[200名], 旧「英国研究入門」
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田研作	1・2	○	[200名], 旧「言語習得入門」, (コ)
	501269	FEA196	INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	秋	吉田研作	1・2	○	[200名], 旧「心理言語学入門」

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	501270	FLN201	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 1	2	春	和 泉 伸 一	1・2	○	旧「英語学入門1」,(コ)	
	501271	FLN202	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 2	2	秋	和 泉 伸 一	1・2	○	旧「英語学入門2」,(コ)	
	503804	FLM304	英語音声学	2	秋	北 原 真 冬	2		[70名],(コ)	
	[2 年次英文講読]									
	521257	FEA121	AMERICAN STUDIES 1	2	春	石 井 紀 子	2	○	注4,旧「英文講読(アメリカ研究)Ⅰ」	
	521258	FEA122	AMERICAN STUDIES 2	2	秋	石 井 紀 子	2	○	注4,旧「英文講読(アメリカ研究)Ⅱ」	
	521275	FEA131	MIGRATION STUDIES	2	休講	飯 島 真 里 子	2	○	注4,旧「Asia-Pacific Studies 1」, 「英文講読(社会史)Ⅰ」	
	521274	FEA141	THEORETICAL PERSPECTIVES ON LITERATURE	2	春	小 川 公 代	2	○	[80名],注4,旧「英文講読(英国文化思想研究Ⅰ)」, 旧「Theoretical Perspectives on Literature 1」	
	521261	FEA151	英文学講読	4	春	東 郷 公 徳	2		[50名],注4,旧「英文講読(シェイクスピア)」	
	521278	FEA177	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 1	2	春	北 原 真 冬	2	○	[66名],注4,旧「ENGLISH LINGUISTICS 1」	
	521279	FEA178	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 2	2	休講	北 原 真 冬	2	○	注4,旧「ENGLISH LINGUISTICS 2」	
	522901	FEA123	TOPICS IN LINGUISTICS 1	2	休講	大 塚 祐 子	2	○	注4	
	522902	FEA124	TOPICS IN LINGUISTICS 2	2	秋	大 塚 祐 子	2	○	[60名],注4	
	[3・4 年次英語科目] ※13 年次生は, [3・4 年次選択科目] に算入される。									
	501242	FEG301	ENGLISH CONVERSATION A	2	春	大 塚 祐 子	3・4	○	[30名],旧「英会話A」	
	501243	FEG311	ENGLISH CONVERSATION B	2	秋	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]	
	501244	FEG304	(重) FILM PRODUCTION	4	休講	WILLIAMS John	3・4	○	旧「英語上級(映画制作)」	
	501248	FEG307	PRESENTATION SKILLS 1	2	春	KAUFMAN Marc	3・4	○	[70名],旧「Presentation Skills」	
	501249	FEG308	PRESENTATION SKILLS 2	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[40名],旧「Presentation Skills」	
	501258	FEG303	INTRODUCTION TO TRANSLATION	4	秋	*田 辺 希 久 子	3・4	○	[30名]	
	501245	FEG309	ACADEMIC WRITING 1	2	春	FURUKAWA Gavin	3・4	○	[30名],旧「Academic Writing I」	
	501246	FEG310	ACADEMIC WRITING 2	2	秋	FURUKAWA Gavin	3・4	○	[30名],旧「Academic Writing II」	
	501092	FEG313	CREATIVE WRITING 1	2	春	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]	
	501093	FEG314	CREATIVE WRITING 2	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]	
	501250	FEG315	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 1	2	春	WILLIAMS John	3・4	○	[40名],旧「和文英訳」, 旧「和文英訳1」	
	501251	FEG316	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 2	2	秋	WILLIAMS John	3・4	○	[40名],旧「和文英訳」, 旧「和文英訳2」	
	523001	FEG317	READING SKILLS A	2	春	小 塩 和 人	3・4	○	[30名],旧「リーディング・スキルズ1」, 「READING SKILLS 1」	
523002	FEG318	READING SKILLS B	2	秋	小 塩 和 人	3・4	○	[30名],旧「リーディング・スキルズ2」, 「READING SKILLS 2」		
523003	FEG333	READING SKILLS C	2	春	小 川 公 代	3・4	○	[70名]		

学
部
共
通

英
語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
言
門
語
分
野
学

専
国
際
分
野
係

専
ア
ジ
ア
分
文
野
化

専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野
パ

専
ア
ラ
ブ
分
文
野
カ
ン

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	523004	FEG334	READING SKILLS D	2	秋	小 川 公 代	3・4	○	[70名]
	501106	FEG321	DISCUSSION AND DEBATE 1	2	春	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]
	501107	FEG322	DISCUSSION AND DEBATE 2	2	秋	WILLIAMS Laurence	3・4	○	[30名]
	501256	FEG323	BUSINESS COMMUNICATION 1	2	春	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名],注4,旧「ビジネス・コミュニケーション1」
	501257	FEG324	BUSINESS COMMUNICATION 2	2	秋	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名],注4,旧「ビジネス・コミュニケーション2」
	501254	FEG325	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 1	2	春	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名],注4,旧「時事問題ディスカッション」,「時事問題ディスカッション1」
	501255	FEG326	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 2	2	秋	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名],注4,旧「時事問題ディスカッション2」
	522800	FEG332	GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[45名]
	501350	FEG327	VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 1	2	休講		3・4	○	
	501351	FEG328	VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 2	2	休講		3・4	○	
	099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	春	丸 山 英 樹		○	(他) グローバル教育センター,[50名]
	099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	秋	丸 山 英 樹		○	(他) グローバル教育センター,[50名]
	099471	GCR238	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2	春	東 大 作		○	(他) グローバル教育センター,[100名]
	099472	GCR239	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	秋	東 大 作		○	(他) グローバル教育センター,[100名]
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	春	東 大 作		○	(他) グローバル教育センター,[120名]
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	秋	東 大 作		○	(他) グローバル教育センター,[120名]
	099759	GFC302	CATHOLIC SOCIAL THOUGHT AND THE CATHOLIC CHURCH TODAY	2	秋	POLITO Michael		○	(他) グローバル教育センター,[60名],注11
	099741	GCR311	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY	2	春	伊 藤 毅		○	(他) グローバル教育センター,[100名],注11,LAP科目
	099742	GCR312	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT	2	秋	浦 元 義 照		○	(他) グローバル教育センター,[100名],注11,LAP科目
	[教職科目]								
	501259	FEE201	英語科教育法A	2	春	渡 部 良 典	2~4		旧「英語科教育法I」
	501375	FEE205	METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	春	佐 藤 敬 典	2~4	○	旧「英語科教育法B」,「英語科教育法II」
	501261	FEE203	METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	春	和 泉 伸 一	2~4	○	[36名],旧「英語科教育法III」
	501349	FEE204	METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	秋	MACINTYRE Robert	2~4	○	[40名]
	501376	FEE208	METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	秋	逸見シャントール	2~4	○	[30名],旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E (4単位)」,「英語科教育法」

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	[3・4年次選択科目]								
	501318	FNH321	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	春	石井紀子	2~4	○	注2,旧「アメリカ女性史Ⅰ」, 「アメリカ女性史Ⅰ」,(コ)
	501319	FNH322	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	秋	石井紀子	2~4	○	注2,旧「アメリカ女性史Ⅱ」, 「アメリカ女性史Ⅱ」,(コ)
	501354	FUS321	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	春	小川公代	2~4	○	[80名],旧「英国研究B」, 「British Society and Literature 1」,(コ)
	501355	FUS322	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	秋	小川公代	2~4	○	[80名],旧「英国研究B」, 「British Society and Literature 2」,(コ)
	501340	FNC311	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	休講	出口真紀子	2~4	○	旧「文化心理学 1」,(コ)
	501341	FNC312	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	休講	出口真紀子	2~4	○	旧「文化心理学 2」,(コ)
	501379	FEA327	HUMANS, ANIMALS AND NATURE	2	春	MORRELL Audrey	2~4	○	注4
	501380	FEA328	ANIMALS AND SOCIETY	2	秋	MORRELL Audrey	2~4	○	
	501286	FNH351	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	休講	飯島真里子	2~4	○	旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史Ⅰ」,(コ)
	501287	FNH352	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯島真里子	2~4	○	旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史Ⅱ」,(コ)
	501291	FAJ303	(重) INDIAN SOCIETY	4	休講		2~4	○	旧「インド社会」,(コ)
	501294	FLN304	(重) BILINGUAL EDUCATION	4	秋	吉田研作	2~4	○	旧「バイリンガル教育」,(コ)
	501295	FLN305	(重) INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	旧「異文化交渉と英語 Ⅰ」,(コ)
	501296	FLN306	(重) (隔) INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	旧「異文化交渉と英語 Ⅱ」,(コ)
	501360	FEA341	SOCIAL VIOLENCE 1	2	春	ISHERWOOD Christopher	2~4	○	[80名],旧「社会暴力問 題Ⅰ」
	501361	FEA342	SOCIAL VIOLENCE 2	2	秋	ISHERWOOD Christopher	2~4	○	[80名],旧「社会暴力問 題Ⅱ」
	501272	FNC302	(重) AMERICAN THEATER AND FILM	4	秋	*増田光	3・4	○	[60名],旧「アメリカ演 劇・映画論」,(コ)
	501363	FNJ401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 1	2	春	小塩和人	3・4	○	旧「演習(アメリカ研究Ⅰ)」, 「Seminar (American Studies)1」,(コ)
	501364	FNJ402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 2	2	秋	小塩和人	3・4	○	旧「演習(アメリカ研究Ⅱ)」, 「Seminar (American Studies)2」,(コ)
	501365	FNH401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 1	2	春	石井紀子	3・4	○	旧「演習(アメリカ史Ⅰ)」, 「Seminar (American History) 1」,(コ)
	501366	FNH402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 2	2	秋	石井紀子	3・4	○	旧「演習(アメリカ史Ⅱ)」, 「Seminar (American History) 2」,(コ)
	501280	FLN307	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	春	坂本光代	3・4	○	(40名),注1,注10,旧「マイ ノリティ教育Ⅰ」,(コ)
	501281	FLN308	(隔) MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	秋	坂本光代	3・4	○	(40名),注1,注10,旧「マイ ノリティ教育Ⅱ」,(コ)
	ART201	ART201	INTRODUCTION TO ART HISTORY/ VISUAL CULTURE 1	4	春	HAYASHI Michio	3・4	○	(他)国際教養学部,注9
	ART250	ART250	INTRODUCTION TO ART HISTORY/ VISUAL CULTURE 2	4	秋	MURAI Noriko	3・4	○	(他)国際教養学部,注9
	LIT201	LIT201	LITERARY GENRES	4	秋	KONO Shion	3・4	○	(他)国際教養学部,注9
	LIT231	LIT231	INTRODUCTION TO JAPANESE LITERATURE	4	春	YIU Angela	3・4	○	(他)国際教養学部,注9
RPH201	RPH201	INTRODUCTION TO PHILOSOPHY	4	春	ROBOUAM Thierry	3・4	○	(他)国際教養学部,注9	
IBE200	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	春	ASANO Akihito	3・4	○	(他)国際教養学部,注9	
IBE200	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	秋	STAFF	3・4	○	(他)国際教養学部,注9	

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専
門
語
分
野
学
専
門
際
分
野
係
専
門
分
野
文
化
専
門
分
野
ロ
ッ
ク
分
野
パ
ー
ティ
分
野
カ
ン

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	IBE201	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	春	ISAKA Naoto	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	IBE201	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	秋	KOSAKA Michiru	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	ANT202	ANT202	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	春	FAHY Sandra	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	ANT304	ANT304	TECHNOLOGY AND NATURE IN JAPAN	2	休講	WATANABE Takehiro	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	SOC201	SOC201	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	秋	WANK David	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	HST251	HST251	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 1	4	秋	GRAMLICH-OKA Bettina	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	HST252	HST252	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 2	4	春	SAALER Sven	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	POL201	POL201	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	秋	IONESCU Magdalena	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	POL205	POL205	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	春	ANNO Tadashi	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
	POL210	POL210	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	休講	ITO Takeshi	3・4	○	(他) 国際教養学部, 注9
[専門分野]									
I. 英語研究 (文献研究)									
501338	FNC301	(隔)	PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	休講	出口 真紀子	2~4	○	旧「差別の心理学」, (コ)
501297	FLN301		SECOND LANGUAGE ACQUISITION 1	2	春	和泉 伸一	2~4	○	旧「第2言語習得研究1」, (コ)
501298	FLN302		SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	2	秋	和泉 伸一	2~4	○	旧「第2言語習得研究2」, (コ)
501280	FLN307	(隔)	MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	春	坂本 光代	3・4	○	(40名), 注1, 注10, 旧「マイノリティ教育Ⅰ」, (コ)
501281	FLN308	(隔)	MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	秋	坂本 光代	3・4	○	(40名), 注1, 注10, 旧「マイノリティ教育Ⅱ」, (コ)
(英語学)									
501259	FEE201		英語科教育法A	2	春	渡部 良典	2~4		旧「英語科教育法Ⅰ」
501375	FEE205		METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	春	佐藤 敬典	2~4	○	旧「英語科教育法B」, 「英語科教育法Ⅱ」
501261	FEE203		METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	春	和泉 伸一	2~4	○	[36名], 旧「英語科教育法Ⅲ」
501349	FEE204		METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	秋	MACINTYRE Robert	2~4	○	[40名]
501376	FEE208		METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	秋	逸見 シャンタール	2~4	○	[30名], 旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E(4単位)」, 「英語科教育法」
523201	FLM337	(隔)	GRAMMATICAL THEORY A	2	秋	大塚 祐子	2~4	○	[50名], 旧「GRAMMATICAL THEORY」, (コ)
523202	FLM338	(隔)	GRAMMATICAL THEORY B	2	休講	大塚 祐子	2~4	○	(コ)
(コミュニケーション)									
501304	FEA186		DEBATE IN BUSINESS ENGLISH 1	2	休講		1~4	○	旧「ディベート(ビジネス英語) 1」
501305	FEA187		DEBATE IN BUSINESS ENGLISH 2	2	休講		1~4	○	旧「ディベート(ビジネス英語) 2」
501300	FEA156		SKILLS FOR STUDY ABROAD 1	2	春	EDWARDS Susan	1~4	○	[30名], 注4
501301	FEA157		SKILLS FOR STUDY ABROAD 2	2	秋	EDWARDS Susan	1~4	○	[30名], 注4
501294	FLN304	(重)	BILINGUAL EDUCATION	4	秋	吉田 研作	2~4	○	旧「バイリンガル教育」, (コ)
501295	FLN305	(重)	INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	旧「異文化交渉と英語Ⅰ」, (コ)

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	501296	FLN306	(隔 (重) INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	旧「異文化交渉と英語 II」, (コ)	
	501302	FLT305	INTRODUCTION TO INTERPRETING A-1	2	春	*国井 信一	2~4	○	[40名], 旧「通訳入門A-1」, (コ)	
	501303	FLT306	INTRODUCTION TO INTERPRETING A-2	2	秋	*国井 信一	2~4	○	[40名], 旧「通訳入門A-2」, (コ)	
	508511	FLT307	通訳入門B-1	2	春	*国井 信一	2~4		[40名], (コ)	
	508512	FLT308	通訳入門B-2	2	秋	*国井 信一	2~4		[40名], (コ)	
	508513	FLT309	通訳入門C-1	2	春	*高橋 絹子	2~4		(34名), 注10, (コ)	
	508514	FLT310	通訳入門C-2	2	秋	*高橋 絹子	2~4		(34名), 注10, (コ)	
	522006	FLN343	SOCIOLINGUISTICS 1	2	春	FURUKAWA Gavin	2~4	○	(コ)	
	522007	FLN344	(隔) SOCIOLINGUISTICS 2	2	秋	FURUKAWA Gavin	2~4	○	(コ)	
	505400	FEA301	英語と社会 1	2	春	コーディネータ 東郷 公德	2~4		輪講	
	505410	FEA302	英語と社会 2	2	秋	コーディネータ 東郷 公德	2~4		輪講	
	501258	FEG303	INTRODUCTION TO TRANSLATION	4	秋	*田辺 希久子	3・4	○	[30名]	
	(演習)									
	501373	FLM429	(重) SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 1	2	春	大塚 祐子	3・4	○	(コ)	
	501374	FLM430	(重) SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 2	2	秋	大塚 祐子	3・4	○	(コ)	
	670962	FLN427	(重) SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	和泉 伸一	3・4	○	(他) 言語学研究専門分野, 注7, 旧「演 習 (応用言語学 I)」, (コ)	
	670963	FLN428	(重) SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	和泉 伸一	3・4	○	(他) 言語学研究専門分野, 注7, 旧「演 習 (応用言語学 II)」, (コ)	
	501308	FLN423	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	坂本 光代	3・4	○	旧「演習 (批判応用言語学 I)」, (コ)	
	501309	FLN424	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	坂本 光代	3・4	○	旧「演習 (批判応用言語学 II)」, (コ)	
	501310	FLN421	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	旧「演習 (社会言語学 I)」, (コ)	
	501311	FLN422	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	旧「演習 (社会言語学 II)」, (コ)	
	670925	FLM421	(重) 演習 (音声学・音韻論) 1	2	春	北原 真冬	3・4		(他) 言語学研究専門分野, 注7, 旧「演習 (音声学・音韻論 I)」, (コ)	
	670928	FLM422	(重) 演習 (音声学・音韻論) 2	2	秋	北原 真冬	3・4		(他) 言語学研究専門分野, 注7, 旧「演習 (音声学・音韻論 II)」, (コ)	
	501320	FNC401	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	休講	出口 真紀子	3・4	○	(コ)	
	501321	FNC402	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	休講	出口 真紀子	3・4	○	(コ)	
	513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注3	
	513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注3	
	513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注3	
	513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注3	
	II. アメリカ研究 (歴史・政治)									
	690147	FNP321	THE U.S. IN INTERNATIONAL RELATIONS OF ASIA-PACIFIC	2	春	*佐橋 亮	2~4	○	(コ)	
	501314	FNH301	(隔 (重) INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 1	2	春	小塩 和人	2~4	○	旧「米国史概説 I」, (コ)	
	501315	FNH302	(隔 (重) INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 2	2	秋	小塩 和人	2~4	○	旧「米国史概説 II」, (コ)	

学
部
共
通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
門
語
分
野
学
専
門
際
分
野
係
専
門
分
野
文
化
専
門
分
野
ロ
ッ
ク
分
野
パ
専
門
分
野
ア
ラ
ブ
分
野
カ
ン

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	501367	FNH312	(隔) (重) TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2	休講	小 塩 和 人	2~4	○	旧「Topics in American History 1」, 「Topics in American History 2」, 「米 国史特講Ⅰ」, 「米国史特講Ⅱ」, (コ)	
	523400	FNP312	難民とアメリカ	4	秋	*佐 原 彩 子	2~4		(コ)	
	523500	FNH332	アメリカ社会史	4	秋	*兼 子 歩	2~4		(コ)	
	501368	FNH353	(隔) 食のグローバル・ヒストリー	2	休講	飯 島 真里子	2~4		(コ)	
	501286	FNH351	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	旧「太平洋日系移民史」, 「太 平洋日系移民史Ⅰ」, (コ)	
	501287	FNH352	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯 島 真里子	2~4	○	旧「太平洋日系移民史」, 「太 平洋日系移民史Ⅱ」, (コ)	
	501318	FNH321	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	春	石 井 紀 子	2~4	○	注2, 旧「アメリカ女性史Ⅰ」, 「アメリカ女性史Ⅰ」, (コ)	
	501319	FNH322	(隔) AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	秋	石 井 紀 子	2~4	○	注2, 旧「アメリカ女性史 Ⅱ」, 「アメリカ女性史2」, (コ)	
	522100	FNH324	(隔) 海を越える女性史	2	休講	石 井 紀 子	2~4		(コ)	
	(文化・芸術)									
	501313	FNJ311	北米風土論	4	秋	*生 井 英 考	2~4			[50名], (コ)
	501272	FNC302	(重) AMERICAN THEATER AND FILM	4	秋	*増 田 光	3・4	○		[60名], 旧「アメリカ演劇・ 映画論」, (コ)
	(経済・社会)									
	501362	FNS302	ISSUES IN AMERICAN SOCIETY	2	秋	*今 野 裕 子	2~4	○		(コ)
	519950	FNF301	経済入門 1	2	春	*江 頭 隆 治	2~4			(コ)
	519951	FNF302	経済入門 2	2	秋	*江 頭 隆 治	2~4			(コ)
	(演習)									
	501365	FNH401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 1	2	春	石 井 紀 子	3・4	○		旧「演習 (アメリカ史Ⅰ)」, 「Seminar (American History) 1」, (コ)
	501366	FNH402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 2	2	秋	石 井 紀 子	3・4	○		旧「演習 (アメリカ史Ⅱ)」, 「Seminar (American History) 2」, (コ)
501363	FNJ401	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 1	2	春	小 塩 和 人	3・4	○		旧「演習 (アメリカ研究Ⅰ)」, 「Seminar (American Studies) 1」, (コ)	
501364	FNJ402	(重) SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 2	2	秋	小 塩 和 人	3・4	○		旧「演習 (アメリカ研究Ⅱ)」, 「Seminar (American Studies) 2」, (コ)	
501320	FNC401	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	休講	出 口 真紀子	3・4	○		(コ)	
501321	FNC402	(重) SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	休講	出 口 真紀子	3・4	○		(コ)	
501334	FNH421	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	休講	飯 島 真里子	3・4	○		旧「演習 (移民と帝国1)」, (コ)	
501335	FNH422	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	休講	飯 島 真里子	3・4	○		旧「演習 (移民と帝国2)」, (コ)	
501322	FNC411	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 1	2	春	OKIMOTO Kenneth	3・4	○		旧「演習 (アメリカメディア ・フィルムⅠ)」, (コ)	
501323	FNC412	(重) SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 2	2	秋	OKIMOTO Kenneth	3・4	○		旧「演習 (アメリカメディア ・フィルムⅡ)」, (コ)	
513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4			注3	
513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4			注3	
513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4			注3	
513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4			注3	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	Ⅲ. 英国・英語圏研究 (イギリス)								
	501370	FUL312	シェイクスピア演劇	2	秋	東 郷 公 徳	2～4		[50名], (コ)
	501354	FUS321	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	春	小 川 公 代	2～4	○	[80名], 旧「英国研究B」, 「英国研究B-I」, 「British Society and Literature 1」, (コ)
	501355	FUS322	(隔) (重) BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	秋	小 川 公 代	2～4	○	[80名], 旧「英国研究B」, 「英国研究B-II」, 「British Society and Literature 2」, (コ)
	523100	FUS323	(隔) イギリス文化史概論	2	休講	小 川 公 代	2～4		(コ)
	501352	FEA321	FILM STUDIES 1	2	春	WILLIAMS John	2～4	○	[40名]
	501353	FEA322	FILM STUDIES 2	2	秋	WILLIAMS John	2～4	○	[40名]
	501356	FUC361	EUROPEAN CINEMA 1	2	春	WILLIAMS John	2～4	○	[50名], 旧「Contemporary European Cinema」, (コ)
	501357	FUC362	(隔) (重) EUROPEAN CINEMA 2	2	秋	WILLIAMS John	2～4	○	[50名], 旧「Contemporary European Cinema」, (コ)
	(英語文化圏)								
	501381	FUH381	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 1	2	春	WILLIAMS Laurence	2～4	○	[80名], (コ)
	501382	FUH382	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 2	2	秋	WILLIAMS Laurence	2～4	○	[80名], (コ)
	501291	FAJ303	(重) INDIAN SOCIETY	4	休講		2～4	○	旧「インド社会」, (コ)
	517605	FUS301	(隔) アイルランド研究 A	2	秋	小 山 英 之	2～4		[100名], 旧「アイルランド研究1」, (コ)
	517606	FUS302	(隔) アイルランド研究 B	2	休講	小 山 英 之	2～4		旧「アイルランド研究2」, (コ)
	501368	FNH353	(隔) 食のグローバル・ヒ ストリー	2	休講	飯 島 真 里 子	2～4		(コ)
	523301	FEA301	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 1	2	春	EDWARDS Susan	2～4	○	旧「ART AND COMMONWEALTH CULTURE 1」, (コ)
	523302	FEA302	BRITISH COLONIAL AND POST-COLONIAL CULTURE IN ART 2	2	秋	EDWARDS Susan	2～4	○	旧「ART AND COMMONWEALTH CULTURE 2」, (コ)
	519950	FNF301	経済入門 1	2	春	*江 頭 隆 治	2～4		(コ)
	519951	FNF302	経済入門 2	2	秋	*江 頭 隆 治	2～4		(コ)
	501329	FEA337	(重) AUSTRALIAN SOCIETY 1	2	春	JACQUES Michael	3・4	○	注4, 旧「オーストラリア社会1」
	501330	FEA338	(重) AUSTRALIAN SOCIETY 2	2	秋	JACQUES Michael	3・4	○	注4, 旧「オーストラリア社会2」
	(演習)								
	501336	FEA401	(重) SEMINAR (AUSTRALIAN STUDIES) 1	2	春	JACQUES Michael	3・4	○	注5, 旧「演習(オーストラリア研究)」, 「演習(オーストラリア研究1)」
	501337	FEA402	(重) SEMINAR (AUSTRALIAN STUDIES) 2	2	秋	JACQUES Michael	3・4	○	注6, 旧「演習(オーストラリア研究)」, 「演習(オーストラリア研究2)」
	501334	FNH421	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	休講	飯 島 真 里 子	3・4	○	旧「演習(移民と帝国1)」, (コ)
	501335	FNH422	(重) SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	休講	飯 島 真 里 子	3・4	○	旧「演習(移民と帝国2)」, (コ)
	501371	FUC401	(重) 演習(英文学) 1	2	春	東 郷 公 徳	3・4		旧「演習(英文学) 1 (4単位)」, (コ)
	501372	FUC402	(重) 演習(英文学) 2	2	秋	東 郷 公 徳	3・4		旧「演習(英文学) 2 (4単位)」, (コ)
	501377	FUC441	(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 1	2	春	WILLIAMS John	3・4	○	(コ)

学
部
共
通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
門
語
分
野
学
専
門
際
分
野
係
専
門
ア
ジ
ア
分
文
野
化
専
門
ロ
ッ
ク
分
野
パ
専
門
メ
ディ
ア
分
野
カ
ン

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	501378	FUC442	(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE)2	2	秋	WILLIAMS John	3・4	○	(コ)
	501284	FUC411	(重) 演習 (イギリス文化・文学研究) 1	2	春	小川公代	3・4		旧「演習 (イギリス文化・文学研究1)」, (コ)
	501285	FUC412	(重) 演習 (イギリス文化・文学研究) 2	2	秋	小川公代	3・4		旧「演習 (イギリス文化・文学研究2)」, (コ)
	513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注3
	513207	FEZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注3
	513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注3
	513208	FEZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注3
IV. ヨーロッパ研究									
ヨーロッパ研究専門分野のページを参照のこと									
V. 言語学研究									
言語学研究専門分野のページを参照のこと									
VI. 国際関係研究									
国際関係研究専門分野のページを参照のこと									
VII. アジア文化研究									
アジア文化研究専門分野のページを参照のこと									

(コ) : この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyola の各研究コースの時間割を参照すること。

注 1 : 2012 年度より、重複履修不可。

注 2 : 11 年次生以前が履修しても、3・4 年次選択科目としては充当されない。

注 3 : 最終年次生のみ履修可。

注 4 : 英語学科生のみ履修可。

注 5 : 「AUSTRALIAN SOCIETY 1」を履修した、もしくは、履修している英語学科 3・4 年次生のみ履修可。

注 6 : 「AUSTRALIAN SOCIETY 1」もしくは「AUSTRALIAN SOCIETY 2」を履修した英語学科 3・4 年次生のみ履修可。

注 7 : 演習科目 2 の履修は、1 を既に履修したか、1 相当の学力があることを前提とする。

注 8 : 外国語学部生及び総合グローバル学部生のみ履修可。

注 9 : 国際教養学部の科目を履修する場合には、学事センターの指示に従い、所定の手続きをふむこと。

注 10 : 初回授業にて授業内抽選が行われる。

注 11 : 全学共通科目には、ならない。

海外短期研修科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	N99221	FEX102	STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON)	4	春	英語学科教員	1～4	○	注1, 2, 3, 4
	N99217	FEX103	STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY)	2	春	英語学科教員	1～4	○	注1, 2, 3, 4, 旧「海外短期研修 (オックスフォード大学)」

注1：上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：上記科目は、学科科目（必修科目）に算入することは出来ないので注意すること。

注3：短期研修に係る参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

注4：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

学
部
共
通

英

語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
言
門
語
分
野
学

専
国
門
際
分
関
野
係

専
ア
ジ
ア
分
文
野
化

専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野

専
ア
ラ
ブ
分
リ
野
カン

ドイツ語学科

〔教育研究上の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ドイツ語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME＞学部・大学院＞学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

12・13年次生

〈全学共通科目〉

必修 10単位

{ 体育 2単位
外国語科目 8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]

選択 16単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位

専攻科目 86単位

{ 必修科目 30単位
選択科目 24単位
専門分野科目その他 32単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門アラビア

2. 標準配当表

12・13年次生

○全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・フランス語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・韓国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (30単位)	基礎科目： 基礎ドイツ語Ⅰa-1	2	基礎科目： 基礎ドイツ語Ⅱa-1	2		
			基礎ドイツ語Ⅰa-2	2	基礎ドイツ語Ⅱa-2	2		
			基礎ドイツ語Ⅰb-1	4	基礎ドイツ語Ⅱb-1	4		
			基礎ドイツ語Ⅰb-2	4	基礎ドイツ語Ⅱb-2	4		
		ドイツ語圏入門1(注1)	2	ドイツ語圏入門2(注2)	2			
				ドイツ語圏入門3(注3)	2			
専攻科目 (24単位)	選択					選択科目「ドイツ語Ⅲ」の表現・聴解のそれぞれから2科目2単位を履修すること。(注4)	4	
						選択科目「専門読解準備コース」から履修する。	4	
専攻科目 (32単位)	専門分野科目その他					選択科目[専門分野] 本学科開講Ⅰ・Ⅱまたは文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く)から履修する。	16	
						①選択科目[専門分野] 本学科開講Ⅰ・Ⅱおよび各専門分野開講Ⅲ-VI(全学共通科目を除く), ②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く), ③課程科目(実習を除く), ④他学部・他学科の「学科科目」, ⑤学科科目としての外国語(ドイツ語以外で全学共通科目として選択したものと異なる1言語を4単位まで)で充当する。	32	

注1 「ドイツ語圏入門1」を未修得の者は「ドイツ語圏研究A」を履修すること。

注2 「ドイツ語圏入門2」を未修得の者は「ドイツ語圏研究C」を履修すること。

注3 「ドイツ語圏入門3」を未修得の者は「ドイツ語圏研究D」を履修すること。

注4 2018年度より「口頭表現」は「表現」に科目名変更。

3. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

- (1) 本学科開講の必修および選択科目は、指定学年次に履修すること。
- (2) 1・2年次必修のドイツ語文法クラスは次の順に履修をすること。
「基礎ドイツ語 I a-1」→「基礎ドイツ語 I a-2」→「基礎ドイツ語 II a-1」→「基礎ドイツ語 II a-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。また、同一科目を2年連続修得できなかった場合には退学となる(学則40条)。なお、「基礎ドイツ語 I a-2」、「基礎ドイツ語 II a-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
- (3) 1・2年次必修のドイツ語コミュニケーションクラスは次の順に履修をすること。
「基礎ドイツ語 I b-1」→「基礎ドイツ語 I b-2」→「基礎ドイツ語 II b-1」→「基礎ドイツ語 II b-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。また、同一科目を2年連続修得できなかった場合には退学となる(学則40条)。なお、「基礎ドイツ語 I b-2」、「基礎ドイツ語 II b-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
- (4) 「基礎ドイツ語 II a-2」および「基礎ドイツ語 II b-2」の単位を未修得の者は、「ドイツ語Ⅲ」と「専門読解準備コース」を履修することはできない。
- (5) 必修科目「ドイツ語圏入門1」は1年次で、「ドイツ語圏入門2」と「ドイツ語圏入門3」は2年次で履修すること。単位が修得できなかった場合は、翌年再履修しなければならない。なお、「ドイツ語圏入門1」を未修得の者は「ドイツ語圏研究A」、「ドイツ語圏入門2」を未修得のものは「ドイツ語圏研究C」、「ドイツ語圏入門3」を未修得の者は「ドイツ語圏研究D」を履修すること。
- (6) ドイツ語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
- (7) 標準配当表の改訂がなされた場合、必修科目等の再履修者に関しては入学年度の履修要覧に記載された標準配当表が適用される。
- (8) 学則40条に基づき、連続する2年間において、学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は退学となる。学科が指定する科目とは以下のものを指す。
○1年次：「基礎ドイツ語 I a-1」「基礎ドイツ語 I a-2」(各2単位)
「基礎ドイツ語 I b-1」「基礎ドイツ語 I b-2」(各4単位)
○2年次：「基礎ドイツ語 II a-1」「基礎ドイツ語 II a-2」(各2単位)
「基礎ドイツ語 II b-1」「基礎ドイツ語 II b-2」(各4単位)

③ 学科「選択科目」について

- (1) 選択科目【専門分野】本学科開講 I・II の修得単位の余剰分は、「専門分野科目その他」の単位に充当できる。
- (2) 「ドイツ語Ⅲ」の4単位は、「表現」2単位と「聴解」2単位を修得すること(各科目の1, 2を続けて履修することが望ましい。例：表現A-1, 表現A-2)。
- (3) 「専門読解準備コース」は、開講されている科目の中から2科目4単位を修得すること。ただし、原則として同じ学期に2科目以上の「専門読解準備コース」を履修することはできない。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門アラビア

④ 専門分野について

- (1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない(届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること)。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。

- I. ドイツ語研究
- II. ドイツ語圏研究
- III. ヨーロッパ研究
- IV. 言語学研究
- V. 国際関係研究
- VI. アジア文化研究

- (2) 本学科が提供する専門分野(「I.ドイツ語研究」「II.ドイツ語圏研究」)の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目, 演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の各専門分野の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑤ 「専門分野科目その他」について

- (1) 「専門分野科目その他」は、①選択科目[専門分野](全学共通科目を除く)、②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A群および(3)の中のドイツ語学科との合併科目を除くB群、③課程科目(実習を除く)、④他学部・他学科開講の「学科科目」、⑤学科科目としての外国語(ドイツ語を除く)の中から履修すること。
- (2) ⑤として全学共通科目として選択したものは異なる1言語を4単位まで卒業要件に算入することができる。
- (3) 他学部・他学科の「学科科目」を履修する場合は、担当教員の許可を必要とする。

⑥ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「ドイツ語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。

本学科の専門分野における卒業論文の装丁は、A4判・横書き(パソコン使用が望ましい)、黒表紙で左綴じにすること。

執筆要領の詳細については、ドイツ語学科で定めた「卒業論文執筆に関する内規」を参照すること。

⑧ 外国語科目について

下記の1か国語(初級, 中級あるいは上級, 計8単位)を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、履修要覧(共通編)p.236～を参照すること。

英語, フランス語, イスパニア語, ロシア語, ポルトガル語, 中国語, コリア語, インドネシア語, フィリピン語, アラビア語, イタリア語, ラテン語

注) 但し, ラテン語は11年次生以降のみ履修可。

⑨ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	530611	FDB101	基礎ドイツ語Ⅰa-1	2	春	浅見昇吾	1		
	530616	FDB102	基礎ドイツ語Ⅰa-2	2	秋	浅見昇吾	1		
	530612	FDB111	基礎ドイツ語Ⅰb-1	4	春	LIPSKY Angela	1	aクラス	
						川名真矢		aクラス	
						高橋由美子		aクラス	
						*PFEIFER Matthias		aクラス	
						木村護郎クリストフ		bクラス	
						河崎健		bクラス	
						*新倉真矢子		bクラス	
						*WITTIG Matthias		bクラス	
						*猪刈由紀		cクラス	
						LIPSKY Angela		cクラス	
	木村護郎クリストフ	cクラス							
	川名真矢	cクラス							
	530617	FDB112	基礎ドイツ語Ⅰb-2	4	秋	LIPSKY Angela	1	aクラス	
						川名真矢		aクラス	
						NIEWALDA Katrin		aクラス	
						*PFEIFER Matthias		aクラス	
						木村護郎クリストフ		bクラス	
						NIEWALDA Katrin		bクラス	
						*新倉真矢子		bクラス	
						NIEWALDA Katrin		bクラス	
						*猪刈由紀		cクラス	
						LIPSKY Angela		cクラス	
	木村護郎クリストフ	cクラス							
	*WITTIG Matthias	cクラス							
	530721	FDB201	基礎ドイツ語Ⅱa-1	2	春	高橋亮介	2		
530726	FDB202	基礎ドイツ語Ⅱa-2	2	秋	高橋由美子 高橋亮介	2			
530730	FDB213	基礎ドイツ語Ⅱb-1	6	春	河崎健	2	aクラス		
					川名真矢		aクラス		
					浅見昇吾		aクラス		
					*藤沢 David		aクラス		
					*PFEIFER Matthias		aクラス		
					*PFEIFER Matthias		aクラス		
					*水野真紀子		bクラス		
					高橋由美子		bクラス		
					LIPSKY Angela		bクラス		
					*小笠原藤子		bクラス		
					川名真矢		bクラス		
					CONSTANTINESCU Cezar		bクラス		
					*HEIN Patrick		cクラス		
					CONSTANTINESCU Cezar		cクラス		
					河崎健		cクラス		
*猪刈由紀	cクラス								
*WITTIG Matthias	cクラス								
*WITTIG Matthias	cクラス								
530731	FDB212	基礎ドイツ語Ⅱb-2	2	秋	オプヒュルス 嶋 ライノルト 川名真矢	2			

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分
野学
専門国際分
野係
専門アジア
文化
専門ヨーロッパ
専門アラブ
文化分
野カ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	532025	FDA101	ドイツ語圏研究A	2	春	コーディネータ 木村 護郎 クリストフ	1		輪講, 旧「ドイツ語圏入門1」
	532027	FDA121	ドイツ語圏研究C	2	春	コーディネータ 川名 真矢	2		輪講, 旧「ドイツ語圏入門2」
	532028	FDA131	ドイツ語圏研究D	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介	2		輪講, 旧「ドイツ語圏入門3」

学科科目〔専攻科目（選択科目）・（専門分野科目その他）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	選択科目「専門読解準備コース」[12・13年次生対象] 注1									
	532100	FDG301	(重) 言語A-1	2	春	高橋 由美子	3・4			
	532101	FDG302	(重) 言語A-2	2	秋	高橋 由美子	3・4			
	532102	FDG311	(重) 言語B-1	2	休講		3・4			
	532103	FDG312	(重) 言語B-2	2	休講		3・4			
	532110	FDG321	(重) 思想・文化A-1	2	春	浅見 昇 吾	3・4			
	532111	FDG322	(重) 思想・文化A-2	2	秋	浅見 昇 吾	3・4			
	532112	FDG331	(重) 思想・文化B-1	2	休講	浅見 昇 吾	3・4			
	532113	FDG332	(重) 思想・文化B-2	2	休講	浅見 昇 吾	3・4			
	532120	FDG341	(重) 政治・社会A-1	2	春	河崎 健	3・4			
	532121	FDG342	(重) 政治・社会A-2	2	秋	河崎 健	3・4			
	532122	FDG351	(重) 政治・社会B-1	2	休講	河崎 健	3・4			
	532123	FDG352	(重) 政治・社会B-2	2	休講	河崎 健	3・4			
	選択科目「ドイツ語Ⅲ」注1, 2									
	532078	FDG401	(重) 表現A-1	1	春	*KARRER Thomas	3・4	○	旧「口頭表現A-1」	
	532079	FDG402	(重) 表現A-2	1	秋	オプヒュルス魏騰 ライノルト	3・4	○	旧「口頭表現A-2」	
	532080	FDG411	(重) 表現B-1	1	春	*藤沢・NIEWALDA	3・4	○	旧「口頭表現B-1」	
	532081	FDG412	(重) 表現B-2	1	秋	NIEWALDA Katrin	3・4	○	旧「口頭表現B-2」	
	532036	FDG431	(重) 聴解A-1	1	春	*DRASCHANJürgen	3・4			
	532037	FDG432	(重) 聴解A-2	1	秋	*DRASCHANJürgen	3・4			
	532038	FDG441	(重) 聴解B-1	1	春	CONSTANTINESCU Cezar	3・4			
	532039	FDG442	(重) 聴解B-2	1	秋	CONSTANTINESCU Cezar	3・4			
	[教職科目]									
	538912	FDE201		ドイツ語科教育法A-1	2	春	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱa」と合併, 旧「ドイツ語科教育法Ⅰ-1」
	538913	FDE202		ドイツ語科教育法A-2	2	秋	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱb」と合併, 旧「ドイツ語科教育法Ⅰ-2」
	538914	FDE211	(隔)	ドイツ語科教育法B	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱc」と合併, 旧「ドイツ語科教育法Ⅱ」
	538915	FDE221	(隔)	ドイツ語科教育法C	2	休講	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅱd」と合併
[専門分野]										
I. ドイツ語研究										
539301	FLM304		ドイツ文法	2	秋	高橋 亮介	2~4		旧「ドイツ文法1」「同2」, (コ)	
534621	FLT317	(隔) (重)	ドイツ語通訳入門A	2	春	*中山 純	3・4		(32名), ドイツ文学科「ドイツ語学研究Ⅲb」と合併, 注5, (コ)	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	534622	FLT318	(隔) (重) ドイツ語通訳入門B	2	休講		3・4		(32名), ドイツ文学科「ドイツ語学Ⅲc」と合併, 注3, (コ)	
	534623	FLT302	(隔) (重) 独日翻訳入門A	2	休講	浅見昇吾	2~4		注4, 旧「ドイツ語翻訳入門A」, (コ)	
	534624	FLT303	(隔) (重) 独日翻訳入門B	2	休講	浅見昇吾	2~4		注4, 旧「ドイツ語翻訳入門B」, (コ)	
	537509	FUS312	(隔) (重) ドイツ語圏の社会と言語	2	休講	木村護郎クリストフ	2~4		(コ)	
	537511	FUS303	(隔) (重) ヨーロッパの社会と言語A	2	休講	木村護郎クリストフ	2~4		旧「ヨーロッパ言語社会論3」, (コ)	
	537510	FUK201	(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	春	木村護郎クリストフ	1~4		[200名], 注3, 旧「ヨーロッパ言語社会論1」, (コ)	
	539308	FUF302	日独経済概論	2	春	*芳賀和恵	2~4		(コ)	
	539304	FUF301	(重) 日独経済比較研究	2	秋	*芳賀和恵	2~4	○	注4, 旧「ドイツの経済1」 「同2」, (コ)	
	539306	FUS311	(重) 日独環境比較研究	2	秋	*HITZER Eckhard	2~4	○	注4, (コ)	
	538701	FLN319	(重) 異文化間コミュニケーション1	2	春	*米山かおる	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅲa」と合併, 注4, (コ)	
	538702	FLN320	(重) 異文化間コミュニケーション2	2	秋	*米山かおる	2~4	○	注4, (コ)	
	538706	FUJ311	スイス社会事情	2	秋	*KARRER Thomas	2~4	○	旧「スイス事情1」, (コ)	
	538912	FDE201	ドイツ語科教育法A-1	2	春	高橋亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅱa」と合併, 旧「ドイツ語 科教育法Ⅰ-1」	
	538913	FDE202	ドイツ語科教育法A-2	2	秋	高橋亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅱb」と合併, 旧「ドイツ語 科教育法Ⅰ-2」	
	538914	FDE211	(隔) ドイツ語科教育法B	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅱc」と合併, 旧「ドイツ語 科教育法Ⅱ」	
	538915	FDE221	(隔) ドイツ語科教育法C	2	休講	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅱd」と合併	
	537215	FLM431	(重) 演習(日独音声学・音韻論)1	2	休講		3・4		注4, 旧「演習(日独対照音声学・音韻論)1」, (コ)	
	537216	FLM432	(重) 演習(日独音声学・音韻論)2	2	休講		3・4		注4, 旧「演習(日独対照音声学・音韻論)2」, (コ)	
	530570	FLN431	(重) 演習(応用言語学・日本にお けるドイツ語教育)1	2	春	LIPSKY Angela	3・4	○	注4, 旧「演習(一般・応用言語学)1」, (コ)	
	530580	FLN432	(重) 演習(応用言語学・日本にお けるドイツ語教育)2	2	秋	LIPSKY Angela	3・4	○	注4, 旧「演習(一般・応用言語学)2」, (コ)	
	530530	FLM451	(重) 演習(語の意味と語法)1	2	春	高橋亮介	3・4		注4, (コ)	
	530540	FLM452	(重) 演習(語の意味と語法)2	2	秋	高橋亮介	3・4		注4, (コ)	
	ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く)から履修する。					文学部ドイツ文学科開講科目担当表を参照				
	539911	FDZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	539911	FDZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	539912	FDZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	539912	FDZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	Ⅱ. ドイツ語圏研究									
537509	FUS312	(隔) (重) ドイツ語圏の社会と言語	2	休講	木村護郎クリストフ	2~4			(コ)	
538705	FUS331	ヨーロッパ思想	2	秋	*石田安実	2~4			(コ)	
538706	FUJ311	スイス社会事情	2	秋	*KARRER Thomas	2~4	○		旧「スイス事情1」, (コ)	
539308	FUF302	日独経済概論	2	春	*芳賀和恵	2~4			(コ)	
539304	FUF301	(重) 日独経済比較研究	2	秋	*芳賀和恵	2~4	○		注4, 旧「ドイツの経済1」 「同2」, (コ)	
539306	FUS311	(重) 日独環境比較研究	2	秋	*HITZER Eckhard	2~4	○		注4, (コ)	
538701	FLN319	(重) 異文化間コミュニケーション1	2	春	*米山かおる	2~4	○		ドイツ文学科「ドイツ語学研 究Ⅲa」と合併, 注4, (コ)	
538702	FLN320	(重) 異文化間コミュニケーション2	2	秋	*米山かおる	2~4	○		注4, (コ)	
539302	FUH301	ドイツ近現代史	2	春	*尾崎修治	2~4			旧「ドイツ近現代史1」 「同2」, (コ)	

学
部
共
通

英

語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
門
語
分
野
学

専
門
際
分
野
係

専
門
分
野
文
化

専
門
分
野
パ

専
門
分
野
カ
ン

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	537511	FUS303	(隔) (重) ヨーロッパの社会と言語A	2	休講	木村 護郎クリストフ	2~4		旧「ヨーロッパ言語社会論3」,(コ)	
	537510	FUK201	(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	春	木村 護郎クリストフ	1~4		[200名],注3,旧「ヨーロッパ言語社会論1」,(コ)	
	539303	FUC321	ドイツ音楽	2	春	*横山 淳子	2~4		[150名],旧「ドイツ音楽1」「同2」,(コ)	
	539307	FUP321	(隔) (重) ドイツ政治研究	2	休講	河崎 健	2~4		旧「ドイツ政治研究1」「同2」,(コ)	
	538308	FUP312	EU-法と社会	2	秋	*吉田 元子	2~4		旧「EU法」,(コ)	
	538501	FUC312	ドイツ語圏美術	2	秋	*水野 真紀子	2~4		旧「ドイツ語圏研究特講」,(コ)	
	539305	FUC331	オーストリア文化史	2	秋	CONSTANTINESCU Cezar	2~4	○	旧「オーストリア文化史1」「同2」,(コ)	
	537918	FUP201	(隔) ヨーロッパ政治経済入門	2	休講	河崎 健	1~4		注3,旧「ヨーロッパ政治論1」,(コ)	
	537919	FUP302	(隔) (重) ヨーロッパ政治経済論	2	秋	河崎 健	2~4		[200名],旧「ヨーロッパ政治論2」,(コ)	
	337011	JUR351	西洋法制史	2	春	松本 尚子	3・4		(他)法学部	
	333511	JUR331	ドイツ法Ⅰ	2	秋	松本 尚子	3・4		(他)法学部	
	333512	JUR332	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松本 尚子	3・4		(他)法学部	
	170560	HST337	(重) 歴史学特講(西洋近現代政治社会史)	2	春	井上 茂子	2~4		(他)史学科,旧「西洋史特講(近現代政治社会史)」	
	539309	FLN361	多言語社会としての日本とドイツ	2	秋	COULMAS Florian	2~4		注4,(コ),海外招聘客員教員担当科目	
	534707	FUC421	(重) 演習(現代ドイツ文化論)1	2	休講	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		(コ)	
	534708	FUC422	(重) 演習(現代ドイツ文化論)2	2	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		(コ)	
	537213	FUP401	(重) 演習(日独比較政治)1	2	春	河崎 健	3・4		注4,旧「演習(日本とドイツの政治)1」,(コ)	
	537214	FUP402	(重) 演習(日独比較政治)2	2	秋	河崎 健	3・4		注4,旧「演習(日本とドイツの政治)2」,(コ)	
	538204	FUS401	(重) 演習(ドイツ思想)1	2	春	浅見 昇吾	3・4		(コ)	
	538205	FUS402	(重) 演習(ドイツ思想)2	2	秋	浅見 昇吾	3・4		(コ)	
	537207	FUS411	(重) 演習(日独社会研究)1	2	春	木村 護郎クリストフ	3・4		注4,旧「演習(ドイツ社会研究)1」,(コ)	
	537208	FUS412	(重) 演習(日独社会研究)2	2	秋	木村 護郎クリストフ	3・4	○	注4,旧「演習(ドイツ社会研究)2」,(コ)	
	537211	FUC423	(重) 演習(比較文化論)1	2	休講	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		注4,旧「演習(比較現代文化論)1」,(コ)	
	537212	FUC424	(重) 演習(比較文化論)2	2	秋	オプヒュルス鹿島 ライノルト	3・4		注4,旧「演習(比較現代文化論)2」,(コ)	
	ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く)から履修する。					文学部ドイツ文学科開講科目担当表を参照				
	539911	FDZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	539911	FDZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
	539912	FDZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可	
539912	FDZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		4年次生のみ履修可		
Ⅲ. ヨーロッパ研究										
ヨーロッパ研究専門分野のページを参照のこと										
Ⅳ. 言語学研究										
言語学研究専門分野のページを参照のこと										
Ⅴ. 国際関係研究										
国際関係研究専門分野のページを参照のこと										
Ⅵ. アジア文化研究										
アジア文化研究専門分野のページを参照のこと										

(コ) この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照すること。

注1：ドイツ語学科生のみ履修可(「ドイツ語圏研究A」,「同C」,「同D」を除く)

注2：2018年度より「口頭表現」は「表現」に科目名変更。

注3：外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可

注4：ドイツ語学科との交換留学制度により留学生が履修できる「日独比較研究」科目

注5：初回授業時に教室定員以上の受講希望者がいた場合は授業内抽選とする。

海外短期研修科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
選 択 科 目	N99202	FDX301	海外短期研修（トリア大学）	2	春	ドイツ語学科教員	3・4		注1, 2, 3

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：上記科目は、学科選択科目「ドイツ語Ⅲ」に算入することができる。

注3：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

学 部 共 通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
専 言 門 語 分 野 学
専 国 際 分 野 係
専 ア ジ ア 分 野 化
専 ヨ ー ロ ッ パ
専 ア ラ ブ 分 野 カン

フランス語学科

〔教育研究上の目的〕

フランス語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、フランス語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

フランス語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME＞学部・大学院＞学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

1. 卒業に要する科目, 単位数の最低基準

11~13年次生

〈全学共通科目〉

必修 10単位 { 体育 2単位
外国語科目 8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
選択 16単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位
専攻科目 86単位 { 必修科目 28単位
選択科目 58単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

10年次生

〈全学共通科目〉

必修 12単位 { 体育 2単位
情報 2単位
外国語科目 8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
選択 14単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位
専攻科目 86単位 { 必修科目 26単位
選択科目 60単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

学 部 共 通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
専 言 門 語 分 野 学
専 門 際 分 関 野 係
専 ア ジ ア 分 文 野 化
専 ヨ ー ロ ッ パ 分 野 学
専 ア ラ ブ 分 リ ア ン 分 野 学

2. 標準配当表

11～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・韓国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語のうち1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (28単位)	基礎フランス語Ⅰ-1 基礎フランス語Ⅰ-2 フランス研究入門1 フランス研究入門2(注1)	6 6 2 2	基礎フランス語Ⅱ-1 基礎フランス語Ⅱ-2	6 6		
		選択 (58単位)					<総合フランス語科目>の「表現演習Ⅲ」,「聴解演習Ⅲ」,「講読演習Ⅲ」の各科目から2科目2単位(計6科目6単位),「総合演習Ⅳ-P」「総合演習Ⅳ-S」(注2)から2科目2単位を履修すること。	8
								[専門分野]のⅠ.フランス語研究,Ⅱ.フランス語圏研究,【教職科目】(注3)から20単位以上,また各専門分野で開講される演習(注4)から4単位以上を修得すること。
						①<総合フランス語科目>,②[専門分野](全学共通科目をのぞく),③演習科目,④課程科目(実習をのぞく),⑤他学部・他学科の「学科科目」,⑥学科科目としての外国語(種類は限られるので,詳細は「履修上の注意」を参照)から選択履修する科目によって最低26単位以上を修得すること(課程科目(実習をのぞく)および外国語学部以外の学部・学科が開講している科目で充当できる単位数は12単位までとする)。	26	

注1:「フランス研究入門1・2」を未修得の者は「フランス語圏研究A・B」を履修する。

注2:2014年度からは「総合演習Ⅳ-P」「総合演習Ⅳ-S」に代わって,「総合演習Ⅳ」のいずれかの科目から2科目2単位を履修すること。

注3:[教職科目]とは,「フランス語科教育法A」,「フランス語科教育法B」,「フランス語科教育法C」および「フランス語科教育法D」を指す。

注4:2015年度まで開講されていた「フランス語学演習1・2」,「フランスの文学・思想演習1・2」および「フランス哲学演習」はここでいう卒業のために必要な演習科目とはならないので注意すること。

10年次生

○ 全学共通科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2 2						
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4						
	選択 (14単位)								
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・イ スパニア語・ロシア 語・ポルトガル語・ 中国語・コリア語・ インドネシア語・ フィリピン語・アラ ビア語・イタリア語 のうち1か国語	4	左記と同一の外国 語	4				

○ 学科科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)				8				
	必修 (26単位)	基礎フランス語 I-1 基礎フランス語 I-2 フランス研究入門 (注1)	6 6 2	基礎フランス語 II-1 基礎フランス語 II-2	6 6				
	専攻科目 (86単位) 選択 (60単位)					<総合フランス語科目>の「表現演習Ⅲ」, 「聴解演習Ⅲ」,「講読演習Ⅲ」の各科目か ら2科目2単位 (計6科目6単位),「総合演習 Ⅳ-P」「総合演習Ⅳ-S」(注2)から2科目 2単位を履修すること。		8	
						[専門分野]の I.フランス語研究, II.フラン ス語圏研究, [教職科目] (注3) から20単位 以上, また各専門分野で開講される演習 (注4) から4単位以上を修得すること。		24	
						①<総合フランス語科目>, ② [専門分野] (全学共通科目をのぞく), ③演習科目, ④課程科 目 (実習をのぞく), ⑤他学部・他学科の「学科科目」, ⑥学科科目としての外国語 (種類は 限られるので, 詳細は「履修上の注意」を参照) から選択履修する科目によって最低28単位 以上を修得すること (課程科目 (実習をのぞく) および外国語学部以外の学部・学科が開講 している科目で充当できる単位数は12単位までとする)。		28	

注1: 「フランス研究入門」を未修得の者は, 「フランス語圏研究 A」を履修すること。

注2: 2014年度からは「総合演習Ⅳ-P」「総合演習Ⅳ-S」に代わって, 「総合演習Ⅳ」のいずれかの科目から2科目2単位を履修すること。

注3: [教職科目]とは, 「フランス語科教育法 A」, 「フランス語科教育法 B」, 「フランス語科教育法 C」および「フランス語科教育法 D」を指す。

注4: 2015年度まで開講されていた「フランス語学演習 1・2」, 「フランスの文学・思想演習 1・2」および「フランス哲学演習」はここでいう卒業のために必要な演習科目とはならないので注意すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア分野化
専門ヨーロッパ
専門メリア分野カ

3. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

- (1) 本学科開講の必修科目は指定学年次に履修すること。
- (2) 1年次において「基礎フランス語Ⅰ-1」(6単位)と「基礎フランス語Ⅰ-2」(6単位)を、2年次において「基礎フランス語Ⅱ-1」(6単位)と「基礎フランス語Ⅱ-2」(6単位)を履修する。さらに1年次において「フランス研究入門1」(2単位)および「フランス研究入門2」(2単位)を履修する。(ただし2010年次生は「フランス研究入門2」(2単位)を履修する。)

前年度までに「基礎フランス語Ⅰ-1」と「基礎フランス語Ⅰ-2」を修得していなければ「基礎フランス語Ⅱ-1」および「基礎フランス語Ⅱ-2」を履修できない。また、「基礎フランス語Ⅱ-1」と「基礎フランス語Ⅱ-2」を修得していなければ、3・4年次に履修すべき<総合フランス語科目>を履修することはできない。

- (3) フランス語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
- (4) 学則40条にもとづき、連続する2年間に合計32単位以上を修得できなかった者は、退学となる。また本学科の指定するフランス語必修科目の単位を2年連続して修得できなかった場合も、同条に基づき退学となる。本学科の指定するフランス語必修科目とは、「基礎フランス語Ⅰ-1」「基礎フランス語Ⅰ-2」(1年次/各6単位)、「基礎フランス語Ⅱ-1」「基礎フランス語Ⅱ-2」(2年次/各6単位)を指す。
- (5) 「基礎フランス語Ⅰ」の履修者を、「文法」の授業においては2つのグループ(X及びY)に、「コミュニケーション」の授業においては3つのグループ(A, B, C)に分けることとする。

また、2013年度より、「基礎フランス語Ⅱ」の履修者を、「専門研究へのフランス語」の授業においては2つのグループ(X及びY)に、「コミュニケーション」の授業においては3つのグループ(A, B, C)に分けることとする。従って、学科に指定された組分けにより、各々下記のグループの授業に出席すること。

1年次【基礎フランス語Ⅰ-1】【基礎フランス語Ⅰ-2】

登録コード分類 (FFS)	「文法」	「コミュニケーション」
X/Aグループ	Xグループ	Aグループ
X/Bグループ	Xグループ	Bグループ
Y/Bグループ	Yグループ	Bグループ
Y/Cグループ	Yグループ	Cグループ

2年次【基礎フランス語Ⅱ-1】【基礎フランス語Ⅱ-2】

登録コード分類 (FFS)	「専門研究へのフランス語」	「コミュニケーション」
X/Aグループ	Xグループ	Aグループ
X/Bグループ	Xグループ	Bグループ
Y/Bグループ	Yグループ	Bグループ
Y/Cグループ	Yグループ	Cグループ

③ 学科「選択科目」について

- (1) ①<総合フランス語科目>、②〔専門分野〕(全学共通科目を除く)、③演習科目、④課程科目(実習を除く)、⑤他学部・他学科の「学科学目」、⑥学科学目としての外国語(4単位まで。種類は年次により異なるので注意すること。)から選択履修した科目によって10年次生は最低60単位以上、11年次生以降は最低58単位以上を修得すること。(課程科目(実習をのぞく)および外国語学部以外の学部・学科が開講している科目で充当できる単位数は12単位までとする)。
- (2) 本学科開講の選択科目は指定学年次に履修すること。専門分野の「フランス語研究」および「フランス語圏研究」を履修するためには、「基礎フランス語Ⅱ-1」と「基礎フランス語Ⅱ-2」を修得していなければならない。ただし、「基礎フランス語Ⅱ-1」と「基礎フランス語Ⅱ-2」の履修を終了できなかった場合、日本語のみでおこなわれる「フランス語研究」および「フランス語圏研究」の開講科目に限り、担当教員の許可があれば履修することができる。
- (3) 10年次生以降については、〔専門分野〕のⅠ.フランス語研究、Ⅱ.フランス語圏研究、〔教職科目〕から20単位以上、また学科が指定する専門分野で開講される演習4単位(計24単位)以上を修得すること。
- (4) 〔専門分野〕で履修する科目は、各自が2年次に届け出た〔専門分野〕の科目群から選択することが望ましい。

- (5) 本学科開講科目のうち、副題が変更された場合には、異なる科目として履修できる。
- (6) 「演習」については次の点に留意すること。
 - ・「演習」は4単位を履修、修得すること。
 - ・履修を希望する「演習」の担当教員と事前に面談の上、履修登録すること。
 - ・フランス語学科に所属しない教員の「演習」を履修する者は、その担当教員の指導・指示を受けること。
 - ・「演習」について4単位を超えて修得した場合、超過分のうちのフランス語学科開講科目の演習の単位は「I. フランス語研究, II. フランス語圏研究」(20単位)のカテゴリに算入される。超過分のうちのフランス語学科以外で開講する演習科目の単位は、「学科科目：選択(標準相当表の最下欄)」に算入される。
- (7) 「学科科目としての外国語」は全学共通科目で選択したものと異なる1言語を4単位まで「選択科目(10年次生は28単位, 11年次生は26単位)」に含めることができる。ただし、種類は年次により異なり、以下の言語に限る。(履修要覧(共通編)p.236~も参照すること。)
 - ・10年次生：英語・ドイツ語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・タイ語・ペルシア語・ラテン語・カンボジア語・ビルマ語
 - ・11年次生以降：英語・ドイツ語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・コリア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・タイ語・ペルシア語・ラテン語・カンボジア語・ビルマ語・トルコ語・ベトナム語・ヒンディー語・スワヒリ語

④ <総合フランス語科目>について

- (1) 総合フランス語科目は3年次に「表現演習Ⅲ」, 「聴解演習Ⅲ」, 「講読演習Ⅲ」の各科目から2科目2単位(計6科目6単位), 4年次に「総合演習Ⅳ」のいずれかの科目から2科目2単位, 合計8科目8単位を履修すること。
- (2) 3年次生の登録手続きに際しては、履修登録期間前にA, B, Cの3つのグループ分けをした名簿を掲示するので、各自が指定されたグループの「表現演習Ⅲ」, 「聴解演習Ⅲ」, 「講読演習Ⅲ」を、それぞれ2科目2単位ずつ(計6科目6単位)履修すること。
- (3) 「総合演習Ⅳ」2科目の同時履修も可能である。1科目だけの登録では不合格の場合に卒業要件を満たせなくなるので、むしろ2科目の同時履修が望ましい。
- (4) 「特別演習S」を「総合演習Ⅳ」のかわりに履修することもできる。

⑤ 専門分野について

- (1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し、学科事務室に届け出なければならない(届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること)。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。
 - I. フランス語研究
 - II. フランス語圏研究
 - III. ヨーロッパ研究
 - IV. 言語学研究
 - V. 国際関係研究
 - VI. アジア文化研究
- (2) 本学科が提供する専門分野(「フランス語研究」「フランス語圏研究」)の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

 専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。
 「ヨーロッパ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑥ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コース時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「フランス語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457~458を読むこと。
 本学科の専門分野における卒業論文の執筆要領については、「卒業論文についてのフランス語学科内規」を参照すること。

⑧ 外国語科目について

下記の1か国語（初級，中級あるいは上級，計8単位）を履修する。ただし，8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては，履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。

英語，ドイツ語，スペイン語，ロシア語，ポルトガル語，中国語，韓国語，インドネシア語，フィリピン語，アラビア語，イタリア語，ラテン語。

注) 但し，ラテン語は11年次生以降のみ履修可。

⑨ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は，各年次・学期において次のとおり制限されているので，これを超えて履修登録することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても，両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

【2011年次生以降】

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

【2010年次生】

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	540410	FFB101	基礎フランス語 I-1	6	春	COUCHOT Hervé	1		コミュニケーション Aグループ
						*CARIO Vincent			
						高橋 暁生			
						*BIELKA Julien			
						COUCHOT Hervé			
						高橋 暁生			
						牧 陽子			
						*BIELKA Julien			
						*GAILLARD Nicolas			
						*CARIO Vincent			
						高橋 暁生			
						*BIELKA Julien			
						*増田 都希			
						岩崎 えり奈			
						*増田 都希			
	岩崎 えり奈								
	COUCHOT Hervé	1	コミュニケーション Aグループ						
	*CARIO Vincent								
	高橋 暁生								
	*BIELKA Julien								
	COUCHOT Hervé								
	高橋 暁生								
	牧 陽子								
	*BIELKA Julien								
	*GAILLARD Nicolas								
	*CARIO Vincent								
	高橋 暁生								
*BIELKA Julien									
*増田 都希									
岩崎 えり奈									
*増田 都希									
岩崎 えり奈									
*塩田 明子	2	コミュニケーション Aグループ							
*MEHRENBERGER 眞紀									
TUCHAIS Simon									
*塩田 明子									
*MEHRENBERGER 眞紀									
TUCHAIS Simon									
*塩田 明子									
*FAYOLLE Simon									
TUCHAIS Simon									
MONFORT Briec									
*渡邊 淳也									
牧 陽子									
COUCHOT Hervé									
福崎 裕子									
*渡邊 淳也									

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野
専門国際分野
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メキシコ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	540520	FFB202	基礎フランス語Ⅱ-2	6	秋	*塩田明子	2		コミュニケーション Aグループ
						*MEHRENBERGER 眞紀			
						TUCHAIS Simon			
						*塩田明子			コミュニケーション Bグループ
						*MEHRENBERGER 眞紀			
						TUCHAIS Simon			
						*塩田明子			コミュニケーション Cグループ
						*FAYOLLE Simon			
						TUCHAIS Simon			
						COUCHOT Hervé			専門研究へのフランス語 Xグループ
						福崎裕子			
						*渡邊淳也			
						MONFORT Brieuc			専門研究へのフランス語 Yグループ
						*渡邊淳也			
牧陽子									
540630	FFA101	フランス語圏研究A (歴史と文化)	2	春	高橋 暁生	1		旧「フランス研究入門1」	
540640	FFA102	フランス語圏研究B (政治と宗教)	2	秋	伊達 聖伸	1		旧「フランス研究入門2」	

注1：フランス語学科生のみ履修可

学科科目〔専攻科目（選択科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	＜総合フランス語科目＞注1								
	542425	FFG301	(重) 表現演習Ⅲ A-1	1	春	COUCHOT Hervé	3		
	542426	FFG302	(重) 表現演習Ⅲ A-2	1	秋	COUCHOT Hervé	3		
	542427	FFG303	(重) 表現演習Ⅲ B-1	1	春	*FAYOLLE Simon	3		
	542428	FFG304	(重) 表現演習Ⅲ B-2	1	秋	*FAYOLLE Simon	3		
	542429	FFG305	(重) 表現演習Ⅲ C-1	1	春	*JOLIVET Muriel	3		
	542430	FFG306	(重) 表現演習Ⅲ C-2	1	秋	*JOLIVET Muriel	3		
	542431	FFG311	(重) 聴解演習Ⅲ A-1	1	春	福崎 裕子	3		
	542432	FFG312	(重) 聴解演習Ⅲ A-2	1	秋	福崎 裕子	3		
	542433	FFG313	(重) 聴解演習Ⅲ B-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542434	FFG314	(重) 聴解演習Ⅲ B-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542435	FFG315	(重) 聴解演習Ⅲ C-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542436	FFG316	(重) 聴解演習Ⅲ C-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542437	FFG321	(重) 講読演習Ⅲ A-1	1	春	*MEHRENBERGER 眞紀	3		
	542438	FFG322	(重) 講読演習Ⅲ A-2	1	秋	*MEHRENBERGER 眞紀	3		
	542439	FFG323	(重) 講読演習Ⅲ B-1	1	春	*増田 都希	3		
	542440	FFG324	(重) 講読演習Ⅲ B-2	1	秋	*増田 都希	3		
	542441	FFG325	(重) 講読演習Ⅲ C-1	1	春	牧 陽子	3		
	542442	FFG326	(重) 講読演習Ⅲ C-2	1	秋	牧 陽子	3		
	542452	FFG401	(重) 総合演習Ⅳ A-1	1	春	*JOLIVET Muriel	4		
	542453	FFG402	(重) 総合演習Ⅳ A-2	1	秋	*JOLIVET Muriel	4		
	542454	FFG403	(重) 総合演習Ⅳ B-1	1	春	MONFORT Brieuc	4		
	542455	FFG404	(重) 総合演習Ⅳ B-2	1	秋	MONFORT Brieuc	4		
	542456	FFG405	(重) 総合演習Ⅳ C-1	1	春	*FAYOLLE Simon	4		
	542457	FFG406	(重) 総合演習Ⅳ C-2	1	秋	*FAYOLLE Simon	4		
	542451	FFG412	(重) 特別演習S S-1	1	春	*DELORME Pierre	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	[既習者用科目] ※フランス語学科生及びフランス文学科生のみ履修可								
	542507	FFG351	(重) 既習者用フランス語A-1	1	春	MONFORT Brieuc	1~4		既習者のみ履修可
	542508	FFG352	(重) 既習者用フランス語A-2	1	秋	MONFORT Brieuc	1~4		既習者のみ履修可
	542509	FFG356	(重) 既習者用フランス語B-1	1	春	福崎 裕子	1~4		既習者のみ履修可
	542510	FFG357	(重) 既習者用フランス語B-2	1	秋	福崎 裕子	1~4		既習者のみ履修可
	240603	FLG251	(重) 既習者用フランス語C-1	1	春	博多 かおる	1~4		(他) フランス文学科, 既習者のみ履修可
	240604	FLG252	(重) 既習者用フランス語C-2	1	秋	小倉 博孝	1~4		(他) フランス文学科, 既習者のみ履修可
	[教職科目]								
	547342	FFE201	フランス語科教育法A	2	秋	*室井 幾世子	2~4		旧「フランス語科教育法Ⅲ」
	547343	FFE301	フランス語科教育法B	2	春	*常盤 僚子	3・4		旧「演習1(フランス語科教育法Ⅰ)」を履修した者は重複履修できない
	547344	FFE302	フランス語科教育法C	2	秋	*常盤 僚子	3・4		旧「演習2(フランス語科教育法Ⅱ)」を履修した者は重複履修できない
	547345	FFE303	フランス語科教育法D	2	休講	原田 早苗	3・4		
	[専門分野]								
	I. フランス語研究								
	548587	FLM381	(隔)フランス語学の諸問題A	2	春	TUCHAIS Simon	2~4	○	(コ)
	548588	FLM382	(隔)フランス語学の諸問題B	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○	(コ)
	548589	FLM383	(隔)(重)フランス語学の諸問題C	2	休講	TUCHAIS Simon	2~4	○	(コ)
	537510	FUK201	(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	春	木村 護郎クリストフ	1~4		(他) ドイツ語学科, [200名], 注5, 旧「ヨーロッパ言語社会論1」, (コ)
	547211	FUS311	フランス語圏の社会と言語	2	春	*古石 篤子	3・4		旧「ヨーロッパ言語社会論2」, (コ)
	547212	FUS304	ヨーロッパの社会と言語B	2	秋	*石部 尚登	2~4		[80名], 注4, 旧「ヨーロッパ言語社会論4」, (コ)
	660105	FLM211	言語学概論1	2	休講	加藤 孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660106	FLM212	言語学概論2	2	休講	加藤 孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660231	FLM321	音韻論1	2	春	北原 真冬	2~4		(他) 言語学研究専門分野, 旧「音韻論」, (コ)
	660232	FLM322	音韻論2	2	休講	北原 真冬	2~4		(他) 言語学研究専門分野, 旧「音韻論」, (コ)
	660404	FLM331	意味論1	2	休講	加藤 孝臣	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660405	FLM332	意味論2	2	休講	加藤 孝臣	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	661005	FLM221	日本語学概説1	2	春	加藤 孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, [120名], (コ)
	661006	FLM222	日本語学概説2	2	秋	加藤 孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, [120名], (コ)
	660810	FLT301	翻訳論	4	春	*谷口 由美子 *唐 亜明 *河野 万里子 *野坂 悦子 *若松 宣子 *宇野 和美 *南平 かおり	2~4		(他) 言語学研究専門分野, 輪講, [70名], (コ)
671905	FLT319	(隔) フランス語通訳入門	2	春	*宇都宮 彰子	3・4		(他) 言語学研究専門分野, 旧「通訳入門(日仏)」, (コ)	
547342	FFE201	フランス語科教育法A	2	秋	*室井 幾世子	2~4		旧「フランス語科教育法Ⅲ」	
547343	FFE301	フランス語科教育法B	2	春	*常盤 僚子	3・4		旧「演習1(フランス語科教育法Ⅰ)」を履修した者は重複履修できない	

学
部
共
通

英
語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
門
語
分
野
学

専
門
際
分
野
係

専
門
ア
ジ
ア
分
野
化

専
門
イ
ン
テ
ル
ナ
シ
ョ
ン
分
野
化

専
門
ア
ラ
ブ
分
野
化

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選 択 科 目	547344	FFE302	フランス語科教育法C	2	秋	*常盤 僚子	3・4		旧「演習2(フランス語科教育法Ⅱ)」 を履修した者は重複履修できない	
	547345	FFE303	フランス語科教育法D	2	休講	原田 早苗	3・4			
	547353	FLN401	(重) 演習(フランス語教育と異文化 コミュニケーション)1	2	休講	原田 早苗	3・4		注2, (コ)	
	547354	FLN402	(重) 演習(フランス語教育と異文化 コミュニケーション)2	2	休講	原田 早苗	3・4		注2, (コ)	
	546923	FLM481	(重) 演習(フランス語学)1	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	○	注2, (コ)	
	546924	FLM482	(重) 演習(フランス語学)2	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	○	注2, (コ)	
	548131	FFZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注3	
	548131	FFZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注3	
	548132	FFZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注3	
	548132	FFZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注3	
	Ⅱ. フランス語圏研究									
	549416	FUF301	経済学概論～フランスと ヨーロッパ	2	春	MONFORT Briec	3・4	○	(コ)	
	549417	FUS302	(隔) (重) 福祉国家とジェンダー	2	休講	牧 陽子	2～4		(コ)	
	548273	FUL331	(重) フランス哲学の会話	2	秋	COUCHOT Hervé	3・4	○	(コ)	
549412	FUH311	フランス近現代史研究	2	春	高橋 暁生	2～4		(コ)		
549413	FUH312	(隔) (重) フランス語圏の歴史研究	2	秋	高橋 暁生	2～4		(コ)		
549414	FMS301	フランス語圏アフリカの 社会と経済	2	春	岩崎 えり奈	2～4		(コ)		
549415	FMS302	(隔) (重) 北アフリカ社会開発論	2	休講	岩崎 えり奈	2～4		(コ)		
548326	FUS340	(隔) フランス語圏宗教研究概論	2	休講	伊達 聖伸	3・4		(コ)		
548327	FUS342	(隔) (重) フランス語圏宗教研究特論	2	秋	伊達 聖伸	3・4		(コ)		
548328	FUS343	(隔) フランス宗教社会学	2	春	伊達 聖伸	3・4		(コ)		
547870	FUC341	フランス近代芸術の歴史と理論	2	春	*松浦 寿夫	3・4		[60名], 注4, 旧「フランス文化研 究A-1(近代芸術の歴史と理論)」, (コ)		
537510	FUK201	(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	春	木村 護郎クリストフ	1～4		(他) ドイツ語学科, [200名], 注5, 旧「ヨーロッパ言語社会論1」, (コ)		
547211	FUS311	フランス語圏の社会と言語	2	春	*古石 篤子	3・4		旧「ヨーロッパ言語社会論2」, (コ)		
547212	FUS304	ヨーロッパの社会と言語B	2	秋	*石部 尚登	2～4		[80名], 注4, 旧「ヨーロッパ言語社 会論4」, (コ)		
548456	FUP301	EUの現在と過去	2	春	*若林 広	2～4		(コ)		
125302	PHL374	(隔) 政治哲学Ⅰ	2	春	*山脇 直司	3・4		(他) 哲学科		
127404	PHL372	(隔) 社会哲学Ⅰ	2	休講		3・4		(他) 哲学科		
161720	HST243	ヨーロッパ・アメリカ 史系概説Ⅲ	2	秋	坂野 正則	2～4		(他) 史学科, 旧「西洋史概説Ⅲ」		
170540	HST339	(重) 歴史学特講(フランス史 の諸問題)	2	秋	坂野 正則	2～4		(他) 史学科, 旧「西洋史特講 (フランス史の諸問題)」		
174004	HST317	(重) 西洋美術史	2	春	*金沢 百枝	2～4		(他) 史学科		
247720	FCL301	(隔) フランス美術論Ⅰ	2	春	吉村 和明	2～4		(他) フランス文学科, [120名]		
247721	FCL302	(隔) フランス美術論Ⅱ	2	休講		2～4		(他) フランス文学科		
247705	FCL304	フランス映画論Ⅰ	2	春	*兼子 正勝	2～4		(他) フランス文学科, [80名]		
247706	FCL305	フランス映画論Ⅱ	2	秋	*兼子 正勝	2～4		(他) フランス文学科, [80名]		
284815	SOC212	SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	春	吉野 耕作		○	(他) 社会学科, [100名], 社会学 科生優先		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	333610	JUR341	(隔) フランス法	4	休講		3・4		(他) 法学部
	336505	INL322	(隔) EU法	2	休講		3・4		(他) 法学部
	549471	FUS441	(重) 演習 (日仏社会研究) 1	2	春	牧 陽 子	3・4		注2, 旧「演習 (フランス社会研究) 1」, (コ)
	549472	FUS442	(重) 演習 (日仏社会研究) 2	2	秋	牧 陽 子	3・4		注2, 旧「演習 (フランス社会研究) 2」, (コ)
	548363	FUS431	(重) 演習 (フランス宗教学) 1	2	春	伊 達 聖 伸	3・4		注2, (コ)
	548364	FUS432	(重) 演習 (フランス宗教学) 2	2	秋	伊 達 聖 伸	3・4		注2, (コ)
	549463	FMS401	(重) 演習 (北アフリカ社会経済) 1	2	春	岩 崎 えり奈	3・4		注2, (コ)
	549464	FMS402	(重) 演習 (北アフリカ社会経済) 2	2	秋	岩 崎 えり奈	3・4		注2, (コ)
	546923	FLM481	(重) 演習 (フランス語学) 1	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	○	注2, (コ)
	546924	FLM482	(重) 演習 (フランス語学) 2	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	○	注2, (コ)
	548271	FUL411	(重) 演習 (日々の哲学: フランス哲学入門) 1	2	春	COUCHOT Hervé	3・4	○	注2, (コ)
	548272	FUL412	(重) 演習 (日々の哲学: フランス哲学入門) 2	2	秋	COUCHOT Hervé	3・4	○	注2, (コ)
	549469	FUF401	(重) 演習 (経済学) 1	2	春	MONFORT Brieuc	3・4	○	注2, (コ)
	549470	FUF402	(重) 演習 (経済学) 2	2	秋	MONFORT Brieuc	3・4	○	注2, (コ)
	549465	FUH401	(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 1	2	春	高 橋 暁 生	3・4		注2, (コ)
	549466	FUH402	(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 2	2	秋	高 橋 暁 生	3・4		注2, (コ)
	548577	FUK483	(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 1	2	春	福 崎 裕 子	3・4		注2, (コ)
	548578	FUK484	(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 2	2	秋	福 崎 裕 子	3・4		注2, (コ)
	548131	FFZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注3
	548131	FFZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注3
548132	FFZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注3	
548132	FFZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注3	
Ⅲ. ヨーロッパ研究									
ヨーロッパ研究専門分野のページを参照									
Ⅳ. 言語学研究									
言語学研究専門分野のページを参照									
Ⅴ. 国際関係研究									
国際関係研究専門分野のページを参照									
Ⅵ. アジア文化研究									
アジア文化研究専門分野のページを参照									

- (コ) : この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照すること。
- 注1 : 原則として他学部・他学科生は履修不可だが、人数に余裕がある場合に限ってフランス文学科3・4年次生も履修することができる。
- 注2 : 「演習1」, 「演習2」は原則として同一担当者によるものを履修すること。
- 注3 : 4年次生のみ履修可。
- 注4 : 外国語学部生優先。
- 注5 : 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

学
部
共
通

英

語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
言
門
語
分
野
学

専
国
際
分
野
係

専
ア
ジ
ア
分
文
野
化

専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野

専
ア
ラ
ブ
分
野
カ
ン

海外短期研修科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
科 選 目 採	N99201	FFX101	海外短期研修 (パリ政治学院)	4	秋	フランス語学科教員	1～4		注1, 2, 3, 4, 5

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：2019年3月卒業予定者は、単位付与が翌年度に行われるため、プログラムには参加可能だが、単位は認められない。

注3：「海外短期研修（パリ政治学院）」は、英語で実施されるため、学科選択科目＜総合フランス語科目＞に参入することは出来ないので注意すること。

注4：短期研修に係る参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

注5：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する

イスパニア語学科

〔教育研究上の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、イスパニア語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME>学部・大学院>学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メキシコ

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

11年～13年次生

〈全学共通科目〉

必修 10単位 { 体育 2単位
外国語科目 8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]

選択 16単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位

専攻科目 86単位

{ 必修科目 30単位

選択科目 22単位

その他の選択科目 34単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

10年次生

〈全学共通科目〉

必修 12単位 { 体育 2単位
情報 2単位
外国語科目 8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]

選択 14単位

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目* 8単位

専攻科目 86単位

{ 必修科目 32単位

選択科目 22単位

その他の選択科目 32単位

合計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

2. 標準配当表

11年～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・ポルトガル語・韓国語・中国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記のものから選んだ同一の外国語を1か国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (30単位)	基礎イスパニア語 I-1 基礎イスパニア語 I-2 イスパニア語圏研究入門 西概史 西米概史	5 5 2 2 2	基礎イスパニア語 II-1 基礎イスパニア語 II-2 西・西米文学史1 西・西米文学史2 (注1)(注2)	5 5 2 2		
		選択 (22単位)						「総合イスパニア語」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること。
	その他の選択科目 (34単位)			学科指定の専門分野科目「イスパニア語研究」「イスパニア語圏研究」から14単位を修得すること。(ただし、開講科目担当表の備考欄で(他)となっている科目を除く)	14			
			(1) 専門分野科目 (全学共通科目を除く), (2) 本学科開講科目, (3) 課程科目 (実習を除く), (4) 他学部・他学科の「学科科目」, (5) 学科科目としての外国語 (イスパニア語を除く), (6) DELE(外国語としてのスペイン語検定試験) (上限2単位), (7) グローバルインターンシップ (長期) [派遣先: 智利三菱商事会社] で充当する。ただし, (5) は全学共通科目として選択したものとは異なる1言語を4単位までとする。	34				

注1: 「西・西米文学史1」, 「西・西米文学史2」のいずれかを未修得の者は, 「西・西米文学史」を必ず履修すること。
 注2: 「西・西米文学史1」, 「西・西米文学史2」の両方を未修得の者は, 「西・西米文学史」に加え, 「西・西米文学特講」を必ず履修すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門分野
専門国際分野
専門アジア分野
専門ヨーロッパ分野
専門メキシコ分野

10年次生

○ 全学共通科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2 2						
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4						
	選択 (14単位)								
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・ポルトガル語・コリア語・中国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記のものから選んだ同一の外国語を1か国語	4				

○ 学科科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)					8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (32単位)	基礎イスパニア語 I-1 基礎イスパニア語 I-2 西・西米文化入門1 西・西米文化入門2	5 5 2 2	基礎イスパニア語 II-1 基礎イスパニア語 II-2 西・西米文学史1 西・西米文学史2 (注1)(注2) 西概史 西米概史	5 5 2 2 2 2				
		選択 (22単位)					「総合イスパニア語」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること。		8	
	その他の選択科目 (32単位)					学科指定の専門分野科目「イスパニア語研究」「イスパニア語圏研究」から14単位を修得すること。(ただし、開講科目担当表の備考欄で(他)となっている科目を除く)		14		
		(1) 専門分野科目 (全学共通科目を除く), (2) 本学科開講科目, (3) 課程科目 (実習を除く), (4) 他学部・他学科の「学科科目」, (5) 学科科目としての外国語 (イスパニア語を除く) (6) DELE(外国語としてのスペイン語検定試験) (上限2単位), (7) グローバルインターンシップ (長期) [派遣先: 智利三菱商事会社] で充当する。ただし, (5) は全学共通科目として選択したものとは異なる1言語を4単位までとする。				32				

- 注1: 「西・西米文学史1」, 「西・西米文学史2」のいずれかを未修得の者は, 「西・西米文学史」を必ず履修すること。
 注2: 「西・西米文学史1」, 「西・西米文学史2」の両方を未修得の者は, 「西・西米文学史」に加え, 「西・西米文学特講」を必ず履修すること。

3. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

- (1) 「基礎イスパニア語Ⅰ-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語Ⅰ-2」を履修することはできない。
- (2) 「基礎イスパニア語Ⅰ-2」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語Ⅱ-1」および「基礎イスパニア語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (3) 「基礎イスパニア語Ⅱ-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (4) 「基礎イスパニア語Ⅰ-1」「基礎イスパニア語Ⅰ-2」「基礎イスパニア語Ⅱ-1」「基礎イスパニア語Ⅱ-2」の各科目は、履修要覧（共通編）p.41の評価基準にかかわらず、正当な理由なくして試験を欠席し評価不能の場合、または正当な理由なくして出席率85%未満の場合、不合格（評価F）となる。
- (5) 学則40条に基づき、連続する2年間において、学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は、退学とする。学科が指定する科目とは以下のものを指す。
 - (ア) 「基礎イスパニア語Ⅰ-1」「基礎イスパニア語Ⅰ-2」
 - (イ) 「基礎イスパニア語Ⅱ-1」「基礎イスパニア語Ⅱ-2」
 なお、この点については、「ガイドページ 8. 学力の評価・成績 単位修得不足者の扱い（履修要覧（共通編）p.43）」を併せて参照すること。

③ 学科「選択科目」について

- (1) 「基礎イスパニア語Ⅱ-2」を修得していない場合は、「総合イスパニア語」および履修年次が「3・4」と指定されている本学科選択科目を履修することができない。
- (2) 「総合イスパニア語」の修得単位の余剰分は、「学科指定の専門分野科目」、または「その他の選択科目」の単位として充当する。
- (3) 演習科目を履修する場合は、原則として同一担当者による2科目4単位を春学期・秋学期を通じて履修すること。

④ 専門分野について

- (1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。
 - I. イスパニア語研究
 - II. イスパニア語圏研究
 - III. ヨーロッパ研究
 - IV. ラテンアメリカ研究
 - V. 言語学研究
 - VI. 国際関係研究
 - VII. アジア文化研究
- (2) 本学科が提供する専門分野（「イスパニア語研究」「イスパニア語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

 専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。
 「ヨーロッパ研究」「ラテンアメリカ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑤ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号（コ）の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「イスパニア語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。

⑥ 「その他の選択科目」について

- (1) 選択科目（「総合イスパニア語」「学科指定の専門分野科目」）の修得単位の余剰分は、「その他の選択科目」の単位に充当する。

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
専 言 門 語 分 野 学
専 国 門 際 分 野 係
専 ア ジ ア 分 文 野 化
専 ヨ ロ ッ パ 分 野 バ
専 ア ラ ブ 分 野 カ ン

- (2) 専門分野の履修証明取得希望者は、それぞれの専門分野履修規定にしたがって履修すること。
- (3) 「学科科目としての外国語（スペイン語以外）」は、全学共通科目としての外国語科目で選択したものと異なる1言語を4単位まで「その他の選択科目」の単位に充当する。
- (4) 入学後にDELE（外国語としてのスペイン語検定試験）のB2レベル以上に合格した場合、1回に限り「学科科目：その他」の2単位分に充当することができる。単位認定には合格証書もしくは合格通知（WEBからダウンロードしプリントアウトしたもの）が必要である。春学期の単位として認定を希望する場合は7月23日までに、秋学期の単位として認定を希望する場合は1月30日までにスペイン語学科事務室に提出すること。

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。

本学科の専門分野における卒業論文の提出要領は下記のとおりである。

- ・装丁：A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、簡易製本で左綴じとすること。
- ・執筆言語：スペイン語または日本語
- ・執筆字数：スペイン語の場合、A4版・25枚程度（表紙、目次、注記、図表、文献目録等を除く）。日本語による要約（1枚程度）を添えること。
日本語の場合、A4版・25枚程度（表紙、目次、注記、図表、文献目録等を除く）。スペイン語による要約（1枚程度）を添えること。
なお、書式は以下の指示に従うこととする。
- スペイン語：12ポイント文字、25行
- 日本語：10.5ポイント文字、40字×25行
- ここに記載のない事項については主査と相談すること。

⑧ 外国語科目について

下記の1か国語（初級、中級あるいは上級、計8単位）を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、ポルトガル語、コリア語、中国語、インドネシア語、フィリピン語、アラビア語、イタリア語、ラテン語。

⑨ 年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

（注）春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	550010	FHA101	イスパニア語圏研究入門	2	春	コーディネータ 内村俊太	1		輪講
	555809	FHA131	西・西米文学史	2	秋	吉川恵美子	2		旧「西・西米文学史1」
	552100	FHA121	西概史	2	春	内村俊太	1		注1,10年次生以前は2年次必修科目
	552200	FHA111	西米概史	2	秋	*鳥塚あゆち	1		注1,注2,10年次生以前は2年次必修科目

注1：この科目の開講曜日・時間・登録コードについて、イスパニア語学科生は Loyola の「イスパニア語学科」の時間割を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注2：外国語学部生，総合グローバル学部生，史学科生のみ履修可。

学科科目〔専攻科目（選択科目）・（その他の選択科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	550550	FHG301	(重) 総合イスパニア語A-1	1	春	* PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	作文 [45名], 注1
	550551	FHG302	(重) 総合イスパニア語A-2	1	秋	* PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	作文 [45名], 注1
	550552	FHG311	(重) 総合イスパニア語B-1	1	春	内村俊太	3・4		読解 注1
	550553	FHG312	(重) 総合イスパニア語B-2	1	秋	内村俊太	3・4		読解 注1
	550554	FHG401	(重) 総合イスパニア語C-1	1	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	口頭表現 [45名], 注1
	550555	FHG402	(重) 総合イスパニア語C-2	1	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	口頭表現 [45名], 注1
	550556	FHG321	(重) 総合イスパニア語D-1	1	春	* LÓPEZ Nuria	3・4	○	口頭表現 [60名], 注1
	550557	FHG322	(重) 総合イスパニア語D-2	1	秋	* LÓPEZ Nuria	3・4	○	口頭表現 [60名], 注1
	550558	FHG331	(重) 総合イスパニア語E-1	1	春	* MOYANO LÓPEZ Juan Carlos	3・4	○	読解・口頭表現 [65名], 注1
	550559	FHG412	(重) 総合イスパニア語E-2	1	秋	西村君代	3・4		読解・口頭表現 注1
	550560	FHG341	(重) 総合イスパニア語F-1	1	春	谷洋之	3・4		読解 注1
	550561	FHG332	(重) 総合イスパニア語F-2	1	秋	谷洋之	3・4		読解 注1
	550562	FHG351	(重) 総合イスパニア語G-1	1	春	西村君代	3・4		聴解・口頭表現 [65名], 注1
	550563	FHG422	(重) 総合イスパニア語G-2	1	秋	* MARTÍNEZ ASTUDILLO Jesús	3・4	○	聴解・口頭表現 [65名], 注1
	554121	FHE301	イスパニア語科教育法A	2	春	*大森洋子	3・4		旧「イスパニア語科教育法I」
	554122	FHE302	イスパニア語科教育法B	2	秋	*大森洋子	3・4		旧「イスパニア語科教育法II」

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野
専門国際関係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メキシコ

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
選 択 科 目	[専門分野] I. イスパニア語研究								
	554610	FLM307	西語学概論	2	春	西村君代	2~4		(コ)
	554620	FLN339	(隔) 西語学特論A	2	休講	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	(コ)
	554630	FLN340	(隔) 西語学特論B	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[19名], (コ)
	558910	FLT352	イスパニア語通訳入門	2	秋	*吉田理加	3・4		[30名], (コ)
	554121	FHE301	イスパニア語科教育法A	2	春	*大森洋子	3・4		旧「イスパニア語科教育法」
	554122	FHE302	イスパニア語科教育法B	2	秋	*大森洋子	3・4		旧「イスパニア語科教育法II」
	554706	FLN451	(重) 演習(西語学A) 1	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[19名], (コ)
	554707	FLN452	(重) 演習(西語学A) 2	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	[36名], (コ)
	554708	FLM471	(重) 演習(西語学B) 1	2	春	西村君代	3・4		(コ)
	554709	FLM472	(重) 演習(西語学B) 2	2	秋	西村君代	3・4		(コ)
	588632	FUK396	(隔) イベリア半島の社会と言語	2	休講		2~4		(他) ボルトガル語学科,(コ)
	660105	FLM211	言語学概論1	2	休講	加藤孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660106	FLM212	言語学概論2	2	休講	加藤孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	650302	FLM301	一般音声学1	2	春	*前川喜久雄	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	650303	FLM302	一般音声学2	2	秋	*前川喜久雄	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660222	FLM311	文法論1	2	春	福井直樹	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660223	FLM312	文法論2	2	秋	福井直樹	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660231	FLM321	音韻論1	2	春	北原真冬	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660232	FLM322	音韻論2	2	休講	北原真冬	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660404	FLM331	意味論1	2	休講	加藤孝臣	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	660405	FLM332	意味論2	2	休講	加藤孝臣	2~4		(他) 言語学研究専門分野, (コ)
	661005	FLM221	日本語学概説1	2	春	加藤孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, [120名], (コ)
	661006	FLM222	日本語学概説2	2	秋	加藤孝臣	1~4		(他) 言語学研究専門分野, [120名], (コ)
	660810	FLT301	翻訳論	4	春	*谷口由美子 *唐垂明 *河野万里子 *野坂悦子 *若松宣子 *宇野和美 *南平かおり	2~4		(他) 言語学研究専門分野, 輪講, [70名], (コ)
	662306	FLN335	言語処理入門	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	2~4		(他) 言語学研究専門分野, [19名], (コ)
	671111	FLN211	応用言語研究入門1	2	春	渡部良典	1~4		(他) 言語学研究専門分野, 旧「応用言語学1」, (コ)
671121	FLN212	応用言語研究入門2	2	秋	渡部良典	1~4		(他) 言語学研究専門分野, 旧「応用言語学2」, (コ)	
672014	FLM361	言語学特殊講義1(ロマンス語研究)	2	春	*小川定義	2~4		(他) 言語学研究専門分野,(コ)	
672015	FLM362	言語学特殊講義2(ロマンス語研究)	2	秋	*小川定義	2~4		(他) 言語学研究専門分野,(コ)	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	558621	FHZ401	卒業論文・卒業研究I	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	558621	FHZ401	卒業論文・卒業研究I	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	558622	FHZ402	卒業論文・卒業研究II	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	558622	FHZ402	卒業論文・卒業研究II	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	II. イスパニア語圏研究									
	557029	FUH332	近現代スペイン研究	2	秋	*加藤 伸吾	2~4		(コ)	
	690111	FIS341	ラ米先住民の歴史と社会	2	春	*鳥塚 あゆち	2~4		(コ)	
	558801	FIF301	ラ米経済概論	2	春	谷 洋之	2~4		(コ)	
	558850	FIF314	(隔) (重) ラ米経済特論	2	秋	谷 洋之	2~4		(コ)	
	558940	FIL305	(重) 日本・ラテンアメリカ 比較演習(比較文学)	2	春	長谷川 ニナ	3・4	○	*本科目は演習科目ではない ので注意すること。(コ)	
	558950	FIF316	(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ 比較演習(経済発展)	2	秋	谷 洋之	3・4	○	*本科目は演習科目ではない ので注意すること。(コ)	
	558951	FIF317	(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ 比較演習(社会開発と 社会運動)	2	休講	幡谷 則子	3・4	○	*本科目は演習科目ではない ので注意すること。(コ)	
	554643	FUS392	イスパニア語圏社 会文化概論	2	秋	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○	(コ)	
	554644	FUS393	(隔) (重) イスパニア語圏社 会文化特論	2	春	MARTÍ OROVAL Bernat	2~4	○	(コ)	
	558860	FIJ203	ラ米現代史概論	2	春	幡谷 則子	2~4		注3, 旧「ラ米政治社会概論 1」(コ)	
	558870	FIP304	(重) ラ米政治社会特論	2	秋	幡谷 則子	2~4		(コ)	
	558880	FUC351	西美術史概論	2	休講	松原 典子	2~4		旧「西・西米美術史A-1」「西・西米美 術史A-2」「西・西米美術史B-1」「西・ 西米美術史B-2」「西美術史A-1」「西美 術史A-2」「西美術史B-1」「西美術史 B-2」,(コ)	
	558890	FUC355	(隔) (重) 西美術史特論	2	休講	松原 典子	2~4		(コ)	
	559039	FIC301	(隔) ラテンアメリカ 音楽と社会	2	休講		2~4		(コ)	
	557027	FUH321	(隔) (重) 西史特講A	2	秋	内村 俊太	2~4		(コ)	
557028	FUH322	(隔) 西史特講B	2	休講	内村 俊太	2~4		(コ)		
555810	FIL301	西・西米文学特講	2	春	吉川 恵美子	3・4		(コ)		
558930	FIL303	(隔) ラ米文学特講	2	春	*久野 量一	3・4		(コ)		
559038	FIS306	(隔) カリブ地域文化論	2	秋	*松本 八重子	3・4		(コ)		
587607	FIF331	ラ米産業論	2	秋	*竹下 幸治郎	2~4		(他) ボルトガル語学科, 旧「ラ米 産業論A」, 「ラ米産業論B」,(コ)		

学
部
共
通

英

語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
門
語
分
野
学

専
門
際
分
野
係

専
門
分
野
文
化

専
門
分
野
ロ
ッ
ク

専
門
分
野
パ

専
門
分
野
ア
ラ
ブ
語
学
科
カ
ン

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選 択 科 目	581020	FIF321	ブラジル経済論	2	春	*竹下 幸治郎	2~4		(他) ポルトガル語学科,(コ)	
	588730	FIS302	ブラジル社会開発協力	2	秋	*蠟山 はるみ	2~4		(他) ポルトガル語学科, [80名], (コ)	
	588632	FUK396	(隔) イベリア半島の社会と言語	2	休講		2~4		(他) ポルトガル語学科,(コ)	
	537918	FUP201	(隔) ヨーロッパ政治経済入門	2	休講	河崎 健	2~4		(他) ドイツ語学科, 旧「ヨーロッパ政治論1」, (コ)	
	537919	FUP302	(隔) (重) ヨーロッパ政治経済論	2	秋	河崎 健	2~4		(他) ドイツ語学科, [200名], 旧「ヨーロッパ政治論2」,(コ)	
	548456	FUP301	EUの現在と過去	2	春	*若林 広	2~4		(他) フランス語学科,(コ)	
	559034	FIS401	(重) 演習(ラ米社会研究)1	2	春	幡谷 則子	3・4		旧「演習(ラ米社会1)」,(コ)	
	559035	FIS402	(重) 演習(ラ米社会研究)2	2	秋	幡谷 則子	3・4		旧「演習(ラ米社会2)」,(コ)	
	559027	FIF401	(重) 演習(ラ米経済研究)1	2	春	谷 洋之	3・4		旧「演習(ラ米経済1)」,(コ)	
	559028	FIF402	(重) 演習(ラ米経済研究)2	2	秋	谷 洋之	3・4		旧「演習(ラ米経済2)」,(コ)	
	556215	FUH411	(重) 演習(西史)1	2	春	内村 俊太	3・4		(コ)	
	556216	FUH412	(重) 演習(西史)2	2	秋	内村 俊太	3・4		(コ)	
	556211	FUC431	(重) 演習(西美術)1	2	休講	松原 典子	3・4		(コ)	
	556212	FUC432	(重) 演習(西美術)2	2	休講	松原 典子	3・4		(コ)	
	556217	FIL411	(重) 演習(西・西米演劇研究)1	2	春	吉川 恵美子	3・4		旧「演習(西・西米演劇1)」,(コ)	
	556218	FIL412	(重) 演習(西・西米演劇研究)2	2	秋	吉川 恵美子	3・4		旧「演習(西・西米演劇2)」,(コ)	
	555312	FIL401	(重) 演習(西米文学研究)1	2	春	長谷川 ニナ	3・4	○	旧「演習(西・西米文学1)」,(コ)	
	555313	FIL402	(重) 演習(西米文学研究)2	2	秋	長谷川 ニナ	3・4	○	旧「演習(西・西米文学2)」,(コ)	
	559036	FUS490	(重) 演習(イスパニア語圏 社会文化)1	2	春	MARTÍ OROVAL Bemat	3・4	○	(コ)	
	559037	FUS491	(重) 演習(イスパニア語圏 社会文化)2	2	秋	MARTÍ OROVAL Bemat	3・4	○	(コ)	
	555305	FLT411	(重) 演習(翻訳論)1	2	休講		3・4	○	(コ)	
	555306	FLT412	(重) 演習(翻訳論)2	2	休講		3・4	○	(コ)	
	558621	FHZ401	卒業論文・卒業研究I	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	558621	FHZ401	卒業論文・卒業研究I	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	558622	FHZ402	卒業論文・卒業研究II	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	558622	FHZ402	卒業論文・卒業研究II	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	Ⅲ. ヨーロッパ研究									
	ヨーロッパ研究専門分野のページを参照									
Ⅳ. ラテンアメリカ研究										
ラテンアメリカ研究専門分野のページを参照										
Ⅴ. 言語学研究										
言語学研究専門分野のページを参照										
Ⅵ. 国際関係研究										
国際関係研究専門分野のページを参照										

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	VII. アジア文化研究								
	アジア文化研究専門分野のページを参照								

(コ)：この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyola の各研究コースの時間割を参照すること。

注1：イスパニア語学科生のみ履修可。

注2：4年次生のみ履修可。

注3：外国語学部生，総合グローバル学部生のみ履修可。

海外短期研修科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	N99218	FHX201	海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学)	2	春	イスパニア語学科教員	2~4	○	注1, 注2, 注3

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し，上記研修に参加して所定の成果を修めたものは，上記科目の単位が付与される。なお，上記科目は，履修登録の必要はなく，学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：上記科目における取得単位は，(1)3・4年次生でB1 レベル以上の科目を履修してきた場合は「総合イスパニア語」，(2)2年次生の場合または3・4年次生でA2 レベル以下の科目を履修してきた場合は「学科科目：その他」の単位としてそれぞれ充当される。

注3：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する

学
部
共
通

英

語

ド

イ

ツ

語

フ

ラ

ン

ス

語

イ

ス

パ

ニ

ャ

語

ロ

シ

ア

語

ポ

ル

ト

ガ

ル

語

専

言

門

語

分

野

学

専

国

際

分

野

係

専

ア

ジ

ロシア語学科

〔教育研究上の目的〕

ロシア語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ロシア・ユーラシア地域に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ロシア語の高度な運用能力を基礎として、国際社会に貢献しうる人材、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME>学部・大学院>学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

12・13年次生

〈全学共通科目〉

必修	10単位	〔体 育 外国語科目 〔キリスト教人間学〕	2単位
			8単位
選択必修	4単位		
選 択	16単位		

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目*	8単位	〔必修科目 26単位 選択科目 34単位 専門分野科目その他 26単位
専攻科目	86単位	
合 計	124単位	

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

2. 標準配当表

12・13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 (8単位)			8				
	必修科目 (26単位)	基礎ロシア語Ⅰ-1 基礎ロシア語Ⅰ-2 ロシア地域研究方法論1 (注1)	6 6 2	基礎ロシア語Ⅱ-1 基礎ロシア語Ⅱ-2	6 6			
	専攻科目 (34単位)	「ロシア文化入門1」「同2」「ロシア地域研究入門1」「同2」の4科目を履修することが望ましい。(注2)		3年次以上に配当されているロシア語研究科目のうち、開講科目担当表の科目名に#がついているものから選択した16単位を含む。			34	
	専門分野科目 その他 (26単位)	④ 専門分野科目（全学共通科目を除く）、②本学科開講科目、③課程科目（実習を除く）、④他学部・他学科の「学科科目」、⑤学科科目としての外国語科目（ロシア語を除く）で充当する。⑥SAIMSプログラム科目（上限4単位、詳細は履修要覧（共通編）p.93参照）ただし、⑤の学科科目としての外国語は同一種類の外国語を4単位まで。						

注1：「ロシア地域研究方法論1」を未履修の者は、「ロシア地域研究方法論」を履修すること。

注2：「ロシア文化入門1」「同2」「ロシア地域研究入門1」「同2」を未履修の者は、「ロシア・ユーラシア文化入門1」「同2」「ロシア・ユーラシア地域研究入門1」「同2」を履修することが望ましい。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メア分野カ

3. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。
- * 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

(1) 12～13年次生に対する注意

「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」は、ローマ数字（Ⅰ～Ⅱ）の順に従って、1年ずつ順番に履修していかなければならない。したがって、たとえば「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」の単位を修得できなかった場合には、翌年「基礎ロシア語Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」を履修することはできず、「基礎ロシア語Ⅰ-1」「基礎ロシア語Ⅰ-2」を再履修しなければならない。

また、学則40条にもとづき、連続する2年間において、当該年次に配当された必修科目「基礎ロシア語Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」の単位を修得できなかった場合は退学となる。

③ 学科「選択科目」について

(1) 1年次で「ロシア文化入門1」「同2」,「ロシア地域研究入門1」「同2」を履修することが望ましい。「ロシア文化入門1」「同2」「ロシア地域研究入門1」「同2」を未履修の者は、「ロシア・ユーラシア文化入門1」「同2」「ロシア・ユーラシア地域研究入門1」「同2」を履修することが望ましい。

(2) 学科「選択科目」のロシア語研究科目のうち、「開講科目担当表」で#がついている全ての科目,「ロシア語通訳法入門」,「ロシア語科教育法A」「同B」に関しての履修年次とは、その前年次に配当された必修科目（「基礎ロシア語Ⅰ」「同Ⅱ」）を取得した者を対象とすることを意味する。

他方、上記以外の科目については、必修科目の修得に関わりなく、履修年次が1であれば、在学1年目に履修できるということ（ただし、在学2年目以降で履修することも可能）、また、履修年次が2～4年であれば、在学2年目から、履修年次が3・4であれば、在学3年目から履修できるということを、それぞれ意味している。

(3) 学科「選択科目」36単位(12年次生以降の場合、34単位)には、3年次以上に配当されているロシア語研究科目のうち、「開講科目担当表」で#がついている科目のなかから選択した16単位を含まなければならない。なお、これらの科目はいずれも重複履修可能な科目で、重複して履修しても、卒業に必要な単位と認められる。

④ 専門分野について

(1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。

- I. ロシア語研究
- II. ロシア・ユーラシア研究
- III. ヨーロッパ研究
- IV. 言語学研究
- V. 国際関係研究
- VI. アジア文化研究

(2) 本学科が提供する専門分野（「ロシア語研究」「ロシア・ユーラシア研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」および副専攻が提供する「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑤ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「ロシア語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 専門分野科目その他

- (1) 外国語学部で開講されている科目以外の科目（実習を除く）を履修する場合は、担当教員の許可を必要とする。
- (2) 本学科開講の選択科目は、「選択科目（34単位）」の修得単位の余剰分を「専門分野科目その他」の単位に充当する。
- (3) ヨーロッパ研究、国際関係、言語学、アジア文化各専門分野の履修証明取得希望者は、それぞれの専門分野履修規定にしたがって履修すること。
- (4) 本学科開講科目のうち、言語学専門分野履修証明取得のための単位として充当できる科目については、言語学専門分野の科目表「Ⅱ.3個別語学科目」を参照のこと。
- (5) 学科科目としての外国語（ロシア語以外）は同一種類の外国語を4単位までを「専門分野科目その他」の単位に充当する。（全学共通科目の外国語科目として履修したものと同一外国語を「専門分野科目その他」の単位とすることはできない。）

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。
本学科の専門分野における卒業論文の装丁は、A4判・横書き（パソコン使用が望ましい）、黒表紙で左綴じとすること。執筆要領の詳細については、『ロシア語学科便覧』を参照すること。

⑧ 外国語科目について

下記の1か国語（初級、中級あるいは上級、計8単位）を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。
英語、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ポルトガル語、中国語、ロシア語、インドネシア語、フィリピン語、アラビア語、イタリア語、ラテン語。

⑨ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することは出来ない。
（注）春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

【2012-2013年次生】

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

学部共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
門
語
分
野
学
専
門
際
分
野
係
専
門
分
野
文
化
専
門
分
野
ロ
ッ
パ
専
門
分
野
ア
ラ
ブ
分
野
カン

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	570110	FRB101	基礎ロシア語Ⅰ-1	6	春	原 求 作	1		文法, 注1
						秋 山 真 一			総合 (aグループ), 注1
						佐 山 豪 太			総合 (bグループ), 注1
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (1グループ), 注1
						MUKHINA Varvara			会話 (2グループ), 注1
						* GAVRILOVA Maria			会話 (3グループ), 注1
						* GUTOVA Ekaterina			会話 (4グループ), 注1
	570120	FRB102	基礎ロシア語Ⅰ-2	6	秋	原 求 作	1		文法, 注1
						佐 山 豪 太			総合 (aグループ), 注1
						秋 山 真 一			総合 (bグループ), 注1
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (3グループ), 注1
						MUKHINA Varvara			会話 (4グループ), 注1
						* GAVRILOVA Maria			会話 (1グループ), 注1
						* GUTOVA Ekaterina			会話 (2グループ), 注1
	570210	FRB201	基礎ロシア語Ⅱ-1	6	春	秋 山 真 一	2		講読, 注1
						佐 山 豪 太			講読, 注1
						原 求 作			ドリル (aグループ), 注1
						安 達 祐 子			ドリル (bグループ), 注1
						LATYSHEVA Svetlana			会話 (2グループ), 注1
						MUKHINA Varvara			会話 (1グループ), 注1
* GAVRILOVA Maria						会話 (4グループ), 注1			
* GUTOVA Ekaterina						会話 (3グループ), 注1			
570220	FRB202	基礎ロシア語Ⅱ-2	6	秋	秋 山 真 一	2		講読, 注1	
					佐 山 豪 太			講読, 注1	
					安 達 祐 子			ドリル (aグループ), 注1	
					原 求 作			ドリル (bグループ), 注1	
					LATYSHEVA Svetlana			会話 (4グループ), 注1	
					MUKHINA Varvara			会話 (3グループ), 注1	
					* GAVRILOVA Maria			会話 (2グループ), 注1	
					* GUTOVA Ekaterina			会話 (1グループ), 注1	
575021	FRA121	ロシア地域研究方法論	2	秋	佐 山 豪 太	1		旧「ロシア地域研究方法論I」	

学科科目〔専攻科目（選択科目）・（専門分野科目その他）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	〔教職科目〕								
	576156	FRE201	ロシア語科教育法A	2	春	*小 林 潔	2~4		旧「ロシア語科教育法I」
	576157	FRE202	ロシア語科教育法B	2	秋	*小 林 潔	2~4		旧「ロシア語科教育法II」
	〔専門分野〕								
	I. ロシア語研究								
	577910	FRB222	ロシア語通訳法入門	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	2	○	注3, 注5
	573411	FYH301	(隔) ロシア語史1	2	休講	原 求 作	2~4		春学期集中, (コ)
	573412	FYH302	(隔) ロシア語史2	2	休講	原 求 作	2~4		秋学期集中, (コ)
	575260	FYC311	(隔) ロシア演劇A	2	休講	村 田 真 一	2~4		旧「ロシア演劇A-1」 「同A-2」, (コ)
	575240	FYC321	(隔) ロシア演劇B-1	2	春	村 田 真 一	3・4		(コ)

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	575250	FYC322	(隔) ロシア演劇B-2	2	秋	村田真一	3・4		(コ)
	577923	FRG361	(重) #ロシア語文献研究A-1	2	春	上野俊彦	3・4		注3, 旧「ロシア語文献研究1」
	577924	FRG362	(重) #ロシア語文献研究A-2	2	秋	上野俊彦	3・4		注3, 旧「ロシア語文献研究2」
	577933	FRG371	(重) #ロシア語文献研究B	2	春	*平野恵美子	3・4		注3, 旧「ロシア語講読1」
	577941	FRG341	(重) #ロシア語原書講読1	2	春	*井上幸義	3・4		注3
	577942	FRG342	(重) #ロシア語原書講読2	2	秋	*井上幸義	3・4		注3
	578011	FRG351	(重) #現代ロシア語研究1	2	春	村田真一	3・4		注3
	578012	FRG352	(重) #現代ロシア語研究2	2	秋	村田真一	3・4		注3
	578035	FRG381	(重) #ロシア語翻訳基礎研究1	2	春	*KOBERNYK Nadiya	3・4		注3, 旧「ロシア語翻訳法基礎1」
	578036	FRG382	(重) #ロシア語翻訳基礎研究2	2	秋	*原ダリア	3・4		注3, 旧「ロシア語翻訳法基礎2」
	578021	FRG311	(重) #ロシア語翻訳法1	2	春	*原ダリア	3・4	○	注3
	578022	FRG312	(重) #ロシア語翻訳法2	2	秋	*原ダリア	3・4	○	注3
	578043	FRG301	(重) #ロシア語文法研究1	2	春	秋山真一	3・4		注3, 旧「応用ロシア語文法1」
	578044	FRG302	(重) #ロシア語文法研究2	2	秋	秋山真一	3・4		注3, 旧「応用ロシア語文法2」
	578071	FRG331	(重) #ロシア語アクティブ・コミュニケーション1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4	○	注3, 注5
	578072	FRG332	(重) #ロシア語アクティブ・コミュニケーション2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4	○	注3, 注5
	575514	FRG321	(重) #ロシア語通訳法1	2	春	*原ダリア	3・4		[40名], 注3, 旧「ロシア語通訳法基礎1」
	575515	FRG322	(重) #ロシア語通訳法2	2	秋	*原ダリア	3・4		[40名], 注3, 旧「ロシア語通訳法基礎2」
	578065	FLT421	(重) 演習(ロシア語通訳・翻訳研究)1	2	春	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	(コ)
	578066	FLT422	(重) 演習(ロシア語通訳・翻訳研究)2	2	秋	LATYSHEVA Svetlana	3・4	○	(コ)
	578425	FYL401	(重) 演習(ロシア文学)1	2	春	原求作	3・4		(コ)
	578426	FYL402	(重) 演習(ロシア文学)2	2	秋	原求作	3・4		(コ)
	575322	FYC401	(重) 演習(ロシア文化)1	2	春	村田真一	3・4		(コ)
	575323	FYC402	(重) 演習(ロシア文化)2	2	秋	村田真一	3・4		(コ)
	577323	FYH401	(重) 演習(古代ロシア語)1	2	春	原求作	3・4		(コ)
	577324	FYH402	(重) 演習(古代ロシア語)2	2	秋	原求作	3・4		(コ)
	575333	FYK401	(重) 演習(ロシア語学)1	2	春	秋山真一	3・4		(コ)
	575334	FYK402	(重) 演習(ロシア語学)2	2	秋	秋山真一	3・4		(コ)
	579707	FRZ401	卒業論文・卒業研究I	3	春	演習科目担当教員	4		注2
	579707	FRZ401	卒業論文・卒業研究I	3	秋	演習科目担当教員	4		注2
	579708	FRZ402	卒業論文・卒業研究II	3	春	演習科目担当教員	4		注2
	579708	FRZ402	卒業論文・卒業研究II	3	秋	演習科目担当教員	4		注2
II. ロシア・ユーラシア研究									
571003	FRA101	ロシア・ユーラシア文化入門1	2	春	原求作	1~4		注3, 旧「ロシア文化入門1」	
571004	FYJ202	ロシア・ユーラシア文化入門2	2	秋	原求作	1~4		旧「ロシア文化入門2」,(コ)	
572003	FRA111	ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2	春	上野俊彦	1~4		注3, 旧「ロシア地域研究入門1」	
572004	FYJ212	ロシア・ユーラシア地域研究入門2	2	秋	安達祐子	1~4		旧「ロシア地域研究入門2」,(コ)	
575030	FYJ231	中東欧地域研究入門	2	春	*末澤恵美	1~4		注4, (コ)	
579479	FYJ221	中央アジア地域研究入門	2	秋	*中馬瑞貴	1~4		注4, (コ)	
575008	FYJ301	ロシア・ユーラシア地域研究方法論	2	春	安達祐子	2~4		旧「ロシア地域研究方法論2」,(コ)	
573411	FYH301	(隔) ロシア語史1	2	休講	原求作	2~4		(コ)	
573412	FYH302	(隔) ロシア語史2	2	休講	原求作	2~4		(コ)	
575111	FYC301	(隔) ロシア芸術(音楽)A	2	休講		2~4		旧「ロシア芸術(音楽)A-2」,(コ)	
575131	FYC302	(隔) ロシア芸術(音楽)B	2	秋	*大嶋かず路	2~4		旧「ロシア芸術(音楽)B-2」,(コ)	
575408	FYH321	(隔) ロシア史1	2	春	*草野佳矢子	2~4		(コ)	
575409	FYH322	(隔) ロシア史2	2	秋	*草野佳矢子	2~4		(コ)	
575303	FYH331	(隔) ロシア文化史	2	休講		2~4		旧「ロシア文化史1」「同2」,(コ)	
579101	FYP301	(隔) ロシア政治・外交A-1	2	春	上野俊彦	2~4		(コ)	
579102	FYP302	(隔) ロシア政治・外交A-2	2	秋	上野俊彦	2~4		(コ)	
579105	FYP311	(隔) ロシア政治・外交B	2	休講	上野俊彦	2~4		旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」,(コ)	

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専国国際分野係
専アジア文化
専ヨーロッパ
専アラビア分野カ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	579232	FYP321	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	休講		2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係A-1」「同A-2」,(コ)	
	579242	FYP331	(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	春	*中馬瑞貴	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係B-1」「同B-2」,(コ)	
	579480	FYP301	ロシア・ユーラシア経済概論	2	春	安達祐子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの経済A-1」「同A-2」,(コ)	
	579481	FYP311	(隔)(重) ロシア・ユーラシア経済特論	2	休講	安達祐子	2~4		旧「ロシア・ユーラシアの経済B-1」,(コ)	
	575260	FYC311	(隔) ロシア演劇A	2	休講	村田真一	2~4		旧「ロシア演劇A-1」「同A-2」,(コ)	
	575240	FYC321	(隔) ロシア演劇B-1	2	春	村田真一	3・4		(コ)	
	575250	FYC322	(隔) ロシア演劇B-2	2	秋	村田真一	3・4		(コ)	
	578425	FYL401	(重) 演習(ロシア文学)1	2	春	原求作	3・4		(コ)	
	578426	FYL402	(重) 演習(ロシア文学)2	2	秋	原求作	3・4		(コ)	
	575322	FYC401	(重) 演習(ロシア文化)1	2	春	村田真一	3・4		(コ)	
	575323	FYC402	(重) 演習(ロシア文化)2	2	秋	村田真一	3・4		(コ)	
	577323	FYH401	(重) 演習(古代ロシア語)1	2	春	原求作	3・4		(コ)	
	577324	FYH402	(重) 演習(古代ロシア語)2	2	秋	原求作	3・4		(コ)	
	579225	FYP401	(重) 演習(ロシア経済)1	2	春	安達祐子	3・4		(コ)	
	579226	FYP402	(重) 演習(ロシア経済)2	2	秋	安達祐子	3・4		(コ)	
	579223	FYP401	(重) 演習(ロシア政治・外交)1	2	春	上野俊彦	3・4		(コ)	
	579224	FYP402	(重) 演習(ロシア政治・外交)2	2	秋	上野俊彦	3・4		(コ)	
	579227	FYS401	(重) 演習(ロシア社会)1	2	春	MUKHINA Varvara	3・4		(コ)	
	579228	FYS402	(重) 演習(ロシア社会)2	2	秋	MUKHINA Varvara	3・4		(コ)	
	579707	FRZ401	卒業論文・卒業研究I	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	579707	FRZ401	卒業論文・卒業研究I	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	579708	FRZ402	卒業論文・卒業研究II	3	春	演習科目担当教員	4		注2	
	579708	FRZ402	卒業論文・卒業研究II	3	秋	演習科目担当教員	4		注2	
	Ⅲ. ヨーロッパ研究									
	ヨーロッパ研究専門分野のページを参照									
Ⅳ. 言語学研究										
言語学研究専門分野のページを参照										
Ⅴ. 国際関係研究										
国際関係研究専門分野のページを参照										
Ⅵ. アジア文化研究										
アジア文化研究専門分野のページを参照										

(コ) この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照すること。

注1: ロシア語学科生のみ履修可。

注2: 4年次生のみ履修可。

注3: この科目の開講曜日・時限・登録コードについて、ロシア語学科生はLoyolaの「ロシア語学科」の時間割表を、他学科生は「ロシア・ユーラシア研究コース」の時間割表を参照すること。

注4: 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

注5: 初回授業時に教室定員以上の受講希望者がいた場合は、授業内抽選とする。

ポルトガル語学科

〔教育研究上の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ポルトガル語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME>学部・大学院>学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

学部 共通
英 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
専 言 門 語 分 野 学
専 国 門 際 分 関 野 係
専 ア ジ ア 分 文 野 化
専 ヨ ー ロ ッ パ 分 野
専 ア ラ ブ 分 メ ン タ リ 分 野 カン

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

12・13年次生

〈全学共通科目〉
必修 10単位

{	体 育	2単位
	外国語科目	8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
選 択 16単位

〈学科科目〉
外国語学部基礎科目* 8単位
専 攻 科 目 86単位

{	必 修 科 目	30単位
	選 択 科 目	26単位
	専 門 分 野 其 他	30単位

合 計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

10年次生

〈全学共通科目〉
必修 12単位

{	体 育	2単位
	情 報	2単位
	外国語科目	8単位

選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
選 択 14単位

〈学科科目〉
外国語学部基礎科目* 8単位
専 攻 科 目 86単位

{	必 修 科 目	41単位
	選 択 科 目	16単位
	専 門 分 野 其 他	29単位

合 計 124単位

* 外国語学部基礎科目についてはp.459参照。

2. 標準配当表

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語・イスパニア語・ロシア語・中国語・韓国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)			8				
	専攻科目 (86単位)	必修 (30単位)	基礎ポルトガル語 I-1 (注1)	5	基礎ポルトガル語 II-1 (注3)	5		
		基礎ポルトガル語 I-2 (注2)	5	基礎ポルトガル語 II-2 (注4)	5			
		ポルトガル語圏研究入門	2	ポルトガル語圏アフリカ史	2			
		ポルトガル史	2	アジアとポルトガル語圏	2			
選択 (26単位)				総合ポルトガル語から8単位修得すること。但しそのうち2単位は4年次に修得すること。		8		
専門分野科目その他 (30単位)				本学科開講選択科目から履修すること。		18		
				①専門分野科目(全学共通科目を除く)、②本学科開講選択科目、③課程科目(実習を除く)、④他学部・他学科の「学科科目」、⑤学科科目としての外国語(ポルトガル語を除く。ただし、全学共通科目として選択したものは異なる1言語を4単位までとする。)で充当する。		30		

注1:「基礎ポルトガル語 I-1」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 I-1 (再履修者用)」を履修すること。

注2:「基礎ポルトガル語 I-2」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 I-2 (再履修者用)」を履修すること。

注3:「基礎ポルトガル語 II-1」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 II-1 (再履修者用)」を履修すること。

注4:「基礎ポルトガル語 II-2」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 II-2 (再履修者用)」を履修すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門分野学
専門国際関係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メリアカ

12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30 単位)	必修 (2 単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4 単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16 単位)							
	外国語科目必修 (8 単位)	英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語・韓国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94 単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8 単位)			8					
	専攻科目 (86 単位)	必修 (30 単位)	基礎ポルトガル語 I-1 基礎ポルトガル語 I-2 地域研究入門(注1) ポルトガル史 ブラジル史	5 5 2 2 2	基礎ポルトガル語 II-1 (注2) 基礎ポルトガル語 II-2 (注3) ポルトガル語圏アフリカ史 アジアとポルトガル語圏	5 5 2 2			
		選択 (26 単位)					総合ポルトガル語から8単位修得すること。但しそのうち2単位は4年次に修得すること。	8	
							本学科開講選択科目から履修すること。	18	
		専門分野科目その他 (30 単位)					①専門分野科目(全学共通科目を除く), ②本学科開講選択科目, ③課程科目(実習を除く), ④他学部・他学科の「学科科目」, ⑤学科科目としての外国語(ポルトガル語を除く。ただし、全学共通科目として選択したものと異なる1言語を4単位までとする。)で充当する。	30	

注1: 「地域研究入門」を未修得の者は「ポルトガル語圏研究入門」を必ず履修すること。

注2: 「基礎ポルトガル語 II-1」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 II-1 (再履修者用)」を履修すること。

注3: 「基礎ポルトガル語 II-2」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語 II-2 (再履修者用)」を履修すること。

10年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2					
			2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
選択 (14単位)								
外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4				

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科学目 (94単位)	外国語学部 基礎科目 選択 (8単位)									
	専攻科目 (86単位)	必修 (41単位)	基礎ポルトガル語 I-1	5	基礎ポルトガル語 II-1	5	コミュニケーションA(注5)	2	コミュニケーションC (注5)	2
			基礎ポルトガル語 I-2	5	基礎ポルトガル語 II-2	5	コミュニケーションB(注5)	2		
			地域研究入門 I	2	ポルトガル語圏の歴史C(注3)	2	プレゼンテーションA(注5)	1	プレゼンテーションC (注5)	1
地域研究入門 II			2	ポルトガル語圏の歴史D(注4)	2	プレゼンテーションB(注5)	1			
	選択 (16単位)			本学科開講選択科目から履修すること。				16		
	専門分野科目その他 (29単位)	①専門分野科目(外国語科目及び全学共通科目を除く), ②本学科開講選択科目, ③課程科目(実習を除く), ④他学部・他学科の「学科学目」(外国語科目を除く)で充当する。						29		

注1: 「ポルトガル語圏の歴史A」を未修得の者は「ポルトガル語圏アフリカ史」を必ず履修すること。

注2: 「ポルトガル語圏の歴史B」を未修得の者は「ポルトガル史」を必ず履修すること。

注3: 「ポルトガル語圏の歴史C」を未修得の者は「ブラジル史」を必ず履修すること。

注4: 「ポルトガル語圏の歴史D」を未修得の者は「アジアとポルトガル語圏」を必ず履修すること。

注5: 当該科目を未修得の者は代替科目として総合ポルトガル語を履修するが、事前に学科指導を受けること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門分野学
専攻分野
専攻分野
専門分野
専門分野

3. 履修上の注意

12・13年次生

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

(1) 本学科の必修語学カリキュラムの基本構成は次のとおり。

1年次 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」(春学期必修5単位), 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」(秋学期必修5単位)

2年次 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」(春学期必修5単位), 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」(秋学期必修5単位)

※「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅰ-1(再履修者用)」を, 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅰ-2(再履修者用)」を履修すること。

※「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅱ-1(再履修者用)」を, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅱ-2(再履修者用)」を履修すること。

(2) 履修規則

a. 上記1～2年次の必修語学科目は, 順を追って指定学年次に履修することを原則とし, 単位が取得できない場合は, 翌年再履修しなければならない。

b. 「学則第40条」にもとづき, 連続する2年間において, 学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は, 退学とする。学科が指定する科目とは, 上記(1)の各必修語学科目を指す。なおこの点については, 本要覧の「ガイドページ 8. 学力の評価・成績 単位修得不足の者の扱い」(履修要覧(共通編)p.43)を併せて参照すること。

(3) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を修得していない場合(評価F)は, 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を履修することはできない。

(4) 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を修得していない場合(評価F)は, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を履修することはできない。

(5) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」の各科目は共通編 p.41の評価基準にかかわらず, 正当な理由なくして, i)出席率80%未満の場合, またはii)試験欠席で評価不能の場合, 不合格(評価F)とする。

(6) 「地域研究入門」を未修得の者は, 「ポルトガル語圏研究入門」を履修すること。

③ 学科「選択科目」について

(1) 「総合ポルトガル語」(8単位)

a. 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を修得していない場合は, 「総合ポルトガル語」および履修年次が「3・4」と指定されている本学科選択科目を履修することができない。

b. 3, 4年次生は「総合ポルトガル語科目」から8単位を修得しなければならない。8単位のうちの2単位は4年次で修得する必要がある。よって, 3年次で卒業に必要な8単位すべてを修得することはできない。ただし基礎ポルトガル語再履修者はこの限りではない。

c. 「総合ポルトガル語」の修得単位の余剰分は, 「学科指定の専門分野科目」(「ポルトガル語研究」及び「ポルトガル語圏研究」)の単位として充当する。

(2) 「学科開講選択科目」(18単位)の余剰単位は「専門分野科目その他」の単位に充当する。

④ 専門分野について

(1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない(届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること)。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。

- I. ポルトガル語研究
- II. ポルトガル語圏研究
- III. ヨーロッパ研究
- IV. ラテンアメリカ研究
- V. 言語学研究
- VI. 国際関係研究
- VII. アジア文化研究

(2) 本学科が提供する専門分野（「ポルトガル語研究」「ポルトガル語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「ラテンアメリカ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」各専門分野の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑤ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「ポルトガル語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 「専門分野科目その他」について

- (1) 他学部・他学科開講学科科目を履修する場合は、担当教員の許可を必要とする。
- (2) 「専門分野」の履修証明書取得希望者は、それぞれの専門分野履修規定にしたがって履修すること。

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。本学科の専門分野における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は上記相当量を基準とする。いずれも表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合には外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合には日本語（A4版1枚程度）の要約を、それぞれつけること。使用する外国語に関しては指導教員に相談すること。

⑧ 外国語科目について

下記の1か国語（初級、中級あるいは上級、計8単位）を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、インドネシア語、フィリピン語、アラビア語、イタリア語、ラテン語。

⑨ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

学部共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
言
門
語
分
野
学
専
門
国
際
分
野
係
専
ア
ジ
ア
分
文
野
化
専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野
専
ア
ラ
ブ
分
野
カ
ン

10年次生

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.456および外国語学部基礎科目担当表pp.459～460を参照すること。

② 学科「必修科目」について

(1) 語学科目（必修）【10年次生】

本学科の必修語学カリキュラムの基本構成は次のとおり。

- 1年次 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」（春学期必修5単位）、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」（秋学期必修5単位）
- 2年次 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」（春学期必修5単位）、「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」（秋学期必修5単位）
- 3年次 「コミュニケーションA」「同B」および「プレゼンテーションA」「同B」（必修6単位）
- 4年次 「コミュニケーションC」および「プレゼンテーションC」（必修3単位）

※「コミュニケーションA」「同B」および「プレゼンテーションA」「同B」は2013年度を以って廃止となった。これらの単位を取得していない者は、学科の指定する「総合ポルトガル語」を履修することになるので、履修登録期間前に、学科に相談すること。

※「コミュニケーションC」および「プレゼンテーションC」は2014年度を以って廃止となった。これらの単位を取得していない者は、学科の指定する「総合ポルトガル語」を履修することになるので、履修登録期間前に、学科に相談すること。

(2) 履修規則

- a. 上記1～4年次の必修語学科目は、順を追って指定学年次に履修することを原則とし、単位が取得できない場合は、翌年再履修しなければならない。
- b. 「ポルトガル語圏の歴史A」を未修得の者は「ポルトガル語圏アフリカ史」を、「ポルトガル語圏の歴史B」を未修得の者は「ポルトガル史」を、「ポルトガル語圏の歴史C」を未修得の者は「ブラジル史」を、「ポルトガル語圏の歴史D」を未修得の者は「アジアとポルトガル語圏」を履修すること。
- c. 「学則第40条」にもとづき、連続する2年間において、学科が各年次で指定する科目を修得できなかった場合は、退学とする。学科が指定する科目とは、上記(1)の各必修語学科目を指す。なおこの点については、本要覧の「ガイドページ 8. 学力の評価・成績 単位修得不足者の扱い」（要覧p.43）を併せて参照すること。
- d. 4年次に在籍し、2013年度の「基礎ポルトガル語Ⅱ」の「1」と「2」ともにその成績が「A」「B」であった者に限り（「C」「D」があってはならない）、「コミュニケーションA」「同B」および「プレゼンテーションA」「同B」の代替科目としての「総合ポルトガル語」6単位分および「コミュニケーションC」「プレゼンテーションC」3単位分の同時履修が可能になる。
- e. 3年次の必修語学「コミュニケーションA」「同B」および「プレゼンテーションA」「同B」を全て未履修の者は、4年次で「コミュニケーションB」および「プレゼンテーションB」の3単位分に相当する「総合ポルトガル語」および「コミュニケーションC」「プレゼンテーションC」の3単位分に相当する「総合ポルトガル語」を同時履修することはできない。

③ 専門分野について

- (1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.456を参照のこと。

- I. ポルトガル語研究
- II. ポルトガル語圏研究
- III. ヨーロッパ研究
- IV. ラテンアメリカ研究
- V. 言語学研究
- VI. 国際関係研究
- VII. アジア文化研究

- (2) 本学科が提供する専門分野（「ポルトガル語研究」「ポルトガル語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「開講科目担当表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「ラテンアメリカ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」各専門分野の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

④ 時間割表について

「開講科目担当表」の備考欄に記号(コ)の付された科目の開講曜日・時限については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録を行うこと。この記号のない科目の開講曜日・時限については、「ポルトガル語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑤ 「専門分野科目その他」について

- (1) 他学部・他学科開講学科科目を履修する場合は、担当教員の許可を必要とする。
- (2) 学科「選択科目」(16単位)の余剰単位は「専門分野科目その他」の単位に充当する。
- (3) 「専門分野」の履修証明書取得希望者は、それぞれの専門分野履修規定にしたがって履修すること。

⑥ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。
本学科の専門分野における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版横書き（パソコン使用が望ましい）、縦長A4版の黒表紙で左綴じとすること。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は上記相当量を基準とする。いずれも表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合には外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合には日本語（A4版1枚程度）の要約を、それぞれつけること。使用する外国語に関しては指導教員に相談すること。

⑦ 外国語科目について

下記の1か国語（初級、中級あるいは上級、計8単位）を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、履修要覧（共通編）p.236～を参照すること。

英語、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、中国語、コリア語、インドネシア語、フィリピン語、アラビア語、イタリア語、ラテン語。

⑧ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回することは出来ない。

【2011年次生】

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

【2010年次生】

1年次		2年次		3年次		4年次		合計
春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
24	24	24	24	24	24	24	24	192

学部共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
言
門
語
分
野
学
専
国
門
際
分
関
野
係
専
ア
ジ
ア
分
文
野
化
専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
野
パ
専
ア
ラ
ブ
分
リ
ア
野
カ
ン

4. 開講科目担当表

学科科目〔専攻科目（必修科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	580046	FPB212	基礎ポルトガル語Ⅱ-2 (再履修者用) 会話・作文	5	秋	DIAS Nilta	2		aクラス, 注1
			NEVES Mauro			bクラス, 注1			
			矢澤達宏			aクラス, 注1			
			田村梨花			bクラス, 注1			
				講読			田村梨花		aクラス, 注1
				速読			子安昭子		bクラス, 注1
	580071	FPA111	ポルトガル史	2	春	*荻野 恵	1		注2, 旧「ポルトガル語圏の歴史B」
	582016	FPA112	ブラジル史	2	秋	NEVES Mauro			注2, 注3, 旧「ポルトガル語圏の歴史C」
	581126	FPA101	ポルトガル語圏研究入門	2	春	コーディネータ 田村梨花	2		輪講, 注1, 旧「地域研究入門」
	580061	FPA122	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢澤達宏			注2, 旧「ポルトガル語圏の歴史A」
582017	FPA121	アジアとポルトガル語圏	2	秋	コーディネータ TOIDA Helena			輪講, 注2, 旧「ポルトガル語圏の歴史D」	

学科科目〔専攻科目（選択科目）・（副専攻科目その他）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	〔総合ポルトガル語科目〕〈12年次生以降対象〉									
	580511	FPG301	(重) 総合ポルトガル語A-1	1	春	DIAS Nilta	3・4	○	注1	
	580512	FPG302	(重) 総合ポルトガル語A-2	1	秋	DIAS Nilta	3・4	○	注1	
	580513	FPG311	(重) 総合ポルトガル語B-1	1	春	*内藤 理佳	3・4	○	注1	
	580514	FPG312	(重) 総合ポルトガル語B-2	1	秋	*内藤 理佳	3・4	○	[40名], 注1	
	580515	FPG321	(重) 総合ポルトガル語C-1	1	春	NEVES Mauro	3・4	○	注1	
	580516	FPG322	(重) 総合ポルトガル語C-2	1	秋	*荻野 恵	3・4	○	注1	
	580517	FPG331	(重) 総合ポルトガル語D-1	1	春	*REIS GOMES Paula	3・4	○	[35名], 注1	
	580518	FPG332	(重) 総合ポルトガル語D-2	1	秋	*REIS GOMES Paula	3・4	○	[35名], 注1	
	580519	FPG341	(重) 総合ポルトガル語E-1	1	春	*HANDA Hilda	3・4	○	注1	
	580520	FPG342	(重) 総合ポルトガル語E-2	1	秋	GIBO Lucila	3・4	○	[40名], 注1	
	580521	FPG351	(重) 総合ポルトガル語F-1	1	春	矢澤達宏	3・4	○	[50名], 注1	
	580522	FPG352	(重) 総合ポルトガル語F-2	1	秋	矢澤達宏	3・4	○	[50名], 注1	
	580523	FPG361	(重) 総合ポルトガル語G-1	1	春	*RIBEIRO Geraldo	3・4	○	注1	
	580524	FPG362	(重) 総合ポルトガル語G-2	1	秋	*BRANDÃO Renato	3・4	○	注1	
	〔教職科目〕									
	586006	FPE201		ポルトガル語科教育法A	2	春	GIBO Lucila	2~4		旧「ポルトガル語科教育法Ⅰ」
	586007	FPE202		ポルトガル語科教育法B	2	秋	*拝野 寿美子	2~4		旧「ポルトガル語科教育法Ⅱ」
	〔専門分野〕 ※ (コ) この科目の開講曜日・時限については、 I. ポルトガル語研究 Loyolaの「外国語学部コース科目」の時間割を参照すること。									
	588618	FUH342	(隔)	近現代ポルトガル研究	2	休講	市之瀬 敦	2~4		旧「ポルトガル語圏研究特講B」, (コ)
	585043	FLN345		ポルトガル語表現法	2	春	TOIDA Helena	2~4		[40名]
	587200	FUK381		欧州ポ語	2	春	*REIS GOMES Paula	2~4	○	[50名]
	585100	FLM391		日ポ対照研究	2	秋	GIBO Lucila	3・4		
585200	FUK395		マカオの言葉と文化	2	秋	*内藤 理佳	2~4		[60名], 外国語学部優先, (コ)	
588632	FUK396	(隔)	イベリア半島の社会と言語	2	休講		2~4		(コ)	
588621	FLM323		ポルトガル語統語論	2	秋	*黒澤 直俊	2~4		(コ)	

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	587321	FUL321	ポルトガル文学	2	春	*内 藤 理 佳	2~4		(コ)
	588630	FLT360	(隔) 日ポ翻訳通訳入門	2	秋	TOIDA Helena	3・4		旧「ポルトガル語翻訳通訳入門」, (コ)
	588310	FIL311	ブラジル文学	2	春	TOIDA Helena	2~4		(コ)
	588631	FIL306	(隔) ブラジル現代文学特講	2	休講	コーディネータ TOIDA Helena	2~4		輪講, (コ)
	587103	FIK301	商業ポルトガル語	2	春	DIAS Nilta	3・4	○	(コ)
	585300	FLN344	言語接触と日本語	2	秋	GIBO Lucila	2~4		(コ)
	588633	FLN346	ポルトガル語とクレオール	2	休講	市之瀬 敦	2~4		(コ)
	586006	FPE201	ポルトガル語科教育法A	2	春	GIBO Lucila	2~4		旧「ポルトガル語科教育法Ⅰ」
	586007	FPE202	ポルトガル語科教育法B	2	秋	*拝 野 寿美子	2~4		旧「ポルトガル語科教育法Ⅱ」
	587443	FLN461	(重) 演習(ルゾフォニア研究)1	2	休講	市之瀬 敦	3・4		旧「演習(ルゾフォニア研究1)」, (コ)
	587444	FLN462	(重) 演習(ルゾフォニア研究)2	2	休講	市之瀬 敦	3・4		旧「演習(ルゾフォニア研究2)」, (コ)
	587445	FIL421	(重) 演習(ブラジル文学研究)1	2	春	TOIDA Helena	3・4		旧「演習(文学研究1)」, (コ)
	587446	FIL422	(重) 演習(ブラジル文学研究)2	2	秋	TOIDA Helena	3・4		旧「演習(文学研究1)」, (コ)
	584606	FPZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注4
	584606	FPZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注4
	584607	FPZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注4
584607	FPZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注4	
Ⅱ. ポルトガル語圏研究									
	548456	FUP301	EUの現在と過去	2	春	*若 林 広	3・4		(他) フランス語学科, (コ)
	537918	FUP201	(隔) ヨーロッパ政治経済入門	2	休講	河 崎 健	2~4		(他) ドイツ語学科, 旧「ヨーロッパ政治論1」, (コ)
	537919	FUP302	(隔) (重) ヨーロッパ政治経済論	2	秋	河 崎 健	2~4		(他) ドイツ語学科, [200名], 旧「ヨーロッパ政治論2」, (コ)
	558801	FIF301	ラ米経済概論	2	春	谷 洋 之	2~4		(他) スペニア語学科, (コ)
	558860	FIJ203	ラ米現代史概論	2	春	幡 谷 則 子	2~4		(他) スペニア語学科, (コ)
	558870	FIP304	(重) ラ米政治社会特論	2	秋	幡 谷 則 子	2~4		(他) スペニア語学科, (コ)
	585200	FUK395	マカオの言葉と文化	2	秋	*内 藤 理 佳	2~4		[60名], 外国語学部優 先, (コ)
	588624	FIP324	(隔) 特講現代ブラジル国際関係	2	秋	子 安 昭 子	2~4		旧「ポルトガル語圏研究特講A」旧「現 代ブラジル国際関係研究」, (コ)
	588618	FUH342	(隔) 近現代ポルトガル研究	2	休講	市之瀬 敦	2~4		旧「ポルトガル語圏研究特講B」, (コ)
	588622	FMJ311	(隔) (重) 現代アフリカ研究特講	2	休講	矢 澤 達 宏	2~4		旧「ポルトガル語圏研究特講 D」, (コ)
	583410	FIC321	ポップカルチャー論	2	春	NEVES Mauro	2~4	○	[100名], 外国語学部, 総合グローバル学部優 先, (コ)
	588628	FIS323	ブラジル社会概論	2	春	田 村 梨 花	2~4		(コ)
	581020	FIF321	ブラジル経済論	2	春	*竹 下 幸 治 郎	2~4		(コ)
	588625	FIP313	ブラジル政治概論	2	春	子 安 昭 子	2~4		旧「ブラジル政治論」, (コ)
	584840	FIC312	アフロ・ブラジル文化論	2	秋	矢 澤 達 宏	2~4		(コ)
	587607	FIF331	ラ米産業論	2	秋	*竹 下 幸 治 郎	2~4		旧「ラ米産業論A」, 「ラ米産業論B」, (コ)

学
部
共
通

英
語

ド
イ
ツ
語

フ
ラ
ン
ス
語

イ
ス
パ
ニ
ア
語

ロ
シ
ア
語

ポ
ル
ト
ガ
ル
語

専
言
門
語
分
野
学

専
門
際
分
野
係

専
ア
ジ
ア
分
文
野
化

専
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野
係

専
ア
ラ
ブ
分
野
係

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目	588629	FIF315	日本・ラテンアメリカ比較 演習(日本とブラジルの経 済)	2	春	*山崎圭一	3・4	○	本科目は演習科目では ないので注意すること (コ)
	588639	FIS332	日本・ラテンアメリカ比較 演習(在日ブラジル人教育 事情)	2	秋	DIAS Nilta	3・4	○	本科目は演習科目では ないので注意すること 旧「在日ブラジル人教育事 情」,(コ)
	588730	FIS302	ブラジル社会開発協力	2	秋	*蛭山はるみ	2~4		[80名] ,(コ)
	588627	FIS324	(隔) 特講ブラジル社会開発論	2	秋	田村梨花	2~4		旧「ブラジルの教育と開 発」,(コ)
	587200	FUK381	欧州ボ語	2	春	*REIS GOMES Paula	2~4	○	[50名]
	588619	FUS341	ポルトガルの文化と社会	2	秋	*REIS GOMES Paula	2~4	○	[50名] ,(コ)
	587321	FUL321	ポルトガル文学	2	春	*内藤理佳	2~4		(コ)
	588310	FIL311	ブラジル文学	2	春	TOIDA Helena	2~4		(コ)
	588631	FIL306	(隔) ブラジル現代文学 特講	2	休講	コーディネータ TOIDA Helena	2~4		輪講,(コ)
	588634	FIF333	グローバリゼーションに おけるブラジルの政治経 済	2	春	BOTELHO Antonio	3・4	○	(コ), 海外招聘客員教員担当 科目
	588635	FIP334	現代ラテンアメリカにお ける政治経済発展	2	秋	BOTELHO Antonio	3・4	○	(コ), 海外招聘客員教員担当 科目
	587447	FIH401	(重) 演習(アフロ・ブラジル研究)1	2	春	矢澤達宏	3・4		旧「演習(アフロ・ブラジル研究1)」, (コ)
	587448	FIH402	(重) 演習(アフロ・ブラジル研究)2	2	秋	矢澤達宏	3・4		旧「演習(アフロ・ブラジル研究2)」, (コ)
	587451	FIS411	(重) 演習(ブラジル社会研究)1	2	春	田村梨花	3・4		旧「演習(開発協力研究1)」,(コ)
	587452	FIS412	(重) 演習(ブラジル社会研究)2	2	秋	田村梨花	3・4		旧「演習(開発協力研究2)」,(コ)
	587453	FIC401	(重) 演習(ポップカルチャー研究)1	2	春	NEVES Mauro	3・4		旧「演習(ポップカルチャー1)」,(コ)
	587454	FIC402	(重) 演習(ポップカルチャー研究)2	2	秋	NEVES Mauro	3・4		旧「演習(ポップカルチャー2)」,(コ)
	587445	FIL421	(重) 演習(ブラジル文学研究)1	2	春	TOIDA Helena	3・4		旧「演習(文学研究1)」,(コ)
	587446	FIL422	(重) 演習(ブラジル文学研究)2	2	秋	TOIDA Helena	3・4		旧「演習(文学研究2)」,(コ)
	587443	FLN461	(重) 演習(ルゾフォニア研究)1	2	休講	市之瀬 敦	3・4		旧「演習(ルゾフォニア研 究1)」,(コ)
	587444	FLN462	(重) 演習(ルゾフォニア研究)2	2	休講	市之瀬 敦	3・4		旧「演習(ルゾフォニア研 究2)」,(コ)
	587449	FIP401	(重) 演習(ブラジル政治経済研究)1	2	春	子安昭子	3・4		旧「演習(政治経済研究1)」,(コ)
	587450	FIP402	(重) 演習(ブラジル政治経済研究)2	2	秋	子安昭子	3・4		旧「演習(政治経済研究2)」,(コ)
	584606	FPZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注4
	584606	FPZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注4
	584607	FPZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注4
	584607	FPZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注4
	Ⅲ. ヨーロッパ研究								
	ヨーロッパ研究専門分野のページを参照								
Ⅳ. ラテンアメリカ研究									
	ラテンアメリカ研究専門分野のページを参照								
Ⅴ. 言語学研究									
	言語学研究専門分野のページを参照								
Ⅵ. 国際関係研究									
	国際関係研究専門分野のページを参照								

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考
VII. アジア文化研究									
アジア文化研究専門分野のページを参照									

(コ) この記号の付された科目の開演曜日・時限については、Loyola の各研究コースの時間割を参照すること。

注 1：ポルトガル語学科生（12 年次生および 13 年次生）のみ履修可。

注 2：この科目の開講曜日・時限・登録コードについて、ポルトガル語学科生は Loyola の「ポルトガル語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注 3：外国語学部，総合グローバル学部及び史学科の学生のみ履修可。

注 4：4 年次生のみ履修可。

学部 共通
英
語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ ス パ ニ ア 語
ロ シ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語
専 言 門 語 分 野 学
専 国 門 際 分 関 野 係
専 ア ジ ア 分 文 野 化
専 ヨ ー ロ ッ パ 分 野
専 ア ラ メ リ カ 分 野

言語学研究専門分野（言語学副専攻）

1. 言語学研究専門分野（言語学副専攻）の開講科目は、次のように分類される。

- I 全学共通科目（外国語学部基礎科目）
- II 研究科目
 - 1. 中心科目
 - 2. 関連科目
 - 3. 個別語学科目
 - 4. 通訳科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

- * 上記の科目は外国語学部の学生には言語学研究専門分野科目として、他学部の学生には言語学副専攻科目として開講される。
- * 履修上の注意に指定された要件を満たした場合は、履修証明が交付される。
- * 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない限り、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生については言語学研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

2. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明p.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 履修証明取得に必要な単位と科目

研究科目	16単位（うち中心科目8単位、関連科目4単位、個別語学科目4単位）
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位（言語学研究（副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」各3単位）
合計	26単位

この他に全学共通科目（外国語学部基礎科目）「言語と人間Ⅰ、Ⅱ」4単位を履修しておくことが望ましい。

- (1) 外国語学部以外の学生は上記の条件を満たせば履修証明（言語学副専攻履修証明）を取得できる。
- (2) 外国語学部の学生が履修証明（言語学研究履修証明）を取得するためには「専門分野」として「言語学研究」を届出なければならない。届出手続きについては、外国語学部の説明p.456を参照のこと。
- (3) 個別語学科目に充当できるのは、科目表「個別語学科目」で指定した科目のうち、所属学科開講科目のみである。

② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生の申請手続きについては、外国語学部の説明p.456を参照すること。
- (3) 外国語学部以外の学生は、1月末日までに所定用紙に必要事項を記入の上、言語学研究専門分野（副専攻）に提出すること。手続きの詳細については12月にLoyola掲示板（学科・専攻別）で通知する。

③ 時間割表について

言語学研究専門分野に関する開講科目については、Loyolaの各研究コース時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

④ その他の注意

- (1) 演習科目については、旧科目名で既に修得した科目を新科目名で履修した場合には、2回までの重複履修を認める。ただし、他学科開講の演習科目については、当該学科のページを参照し、その指示に従うこと。
- (2) 言語学特殊講義は担当者が変更になった場合のみ重複履修を認める。
- (3) 個別語学科目については、各学科のカリキュラムを参照すること。

⑤ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は①「履修証明取得に必要な単位と科目」のうち、卒業論文・卒業研究以外の条件を既に満たすか、または卒業年度内に満たすことが予想される者に限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 登録
言語学研究専門分野（言語学副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」、「同Ⅱ」を履修登録すること。また履修登録とは別に、「卒業論文・卒業研究作成届」を4月末日までに主査教授・言語学研究専門分野（副専攻）にそれぞれ提出すること。届出用紙はLoyola掲示板（学科・専攻別）に掲示する。
- (3) 卒業論文 装丁・規格について
規格：A4判、縦書き・横書きどちらでも可
綴じ方：製本（簡易製本可）
その他：原則としてパソコンで書く。指導教員と相談の上、日本語以外での執筆も可
詳細については指導教員の指示に従うこと。
- (4) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、外国語学部の説明p.457～458を読むこと。
上記の要領で卒業論文（正本）を学事センターに提出の上、副本1部を同一期限内に外国語学部事務室（言語学副専攻）に提出すること。

3. 科目表（数字は単位数）

I 全学共通科目		言語聴覚障害学特殊講義A（失語症）	2
言語と人間Ⅰ（外国語学部基礎科目）	2	言語聴覚障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	2
言語と人間Ⅱ（外国語学部基礎科目）	2	日本語教育入門1	2
		日本語教育入門2	2
II 研究科目		日本語教育学A（文法）1	2
1. 中心科目		日本語教育学A（文法）2	2
言語学概論1	2	日本語教育学B（言語習得）1	2
言語学概論2	2	日本語教育学B（言語習得）2	2
一般音声学1	2	日本語教育学C（社会言語学）1	2
一般音声学2	2	日本語教育学C（社会言語学）2	2
文法論1	2	日本語教授法A（初級）1	2
文法論2	2	日本語教授法A（初級）2	2
音韻論1	2	日本語教授法B（中上級）1	2
音韻論2	2	日本語教授法B（中上級）2	2
意味論1	2	日本語教授法C（技能別）1	2
意味論2	2	日本語教授法C（技能別）2	2
日本語学概説1	2		
日本語学概説2	2	3. 個別語学科目	
2. 関連科目		INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2
翻訳論	4	INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2
言語処理入門	2	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 1	2
認知心理学Ⅰ	2	INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 2	2
認知心理学Ⅱ	2	BILINGUAL EDUCATION	4
言語と認知1（知覚・認知心理学）	2	SECOND LANGUAGE ACQUISITION 1	2
言語と認知2	2	SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	2
SOCIOLINGUISTICS 1	2	GRAMMATICAL THEORY A	2
SOCIOLINGUISTICS 2	2	GRAMMATICAL THEORY B	2
応用言語学研究入門1	2	英語音声学	2
応用言語学研究入門2	2	英語科教育法A	2
言語学史1	2	METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2
言語学史2	2	METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2
言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	2	METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2
言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	2	METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2
日本語史1	2	ドイツ文法	2
日本語史2	2	独日翻訳入門A	2
比較文法論（日英語比較）	2	独日翻訳入門B	2
言語聴覚障害学概論	2	ドイツ語通訳入門A	2
		ドイツ語通訳入門B	2

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メソッド分野

ヨーロッパ言語社会論	2	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE	4
ヨーロッパの社会と言語A	2	: THEORY AND PRACTICE 1	
ドイツ語圏の社会と言語	2	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE	4
ドイツ語科教育法A-1	2	: THEORY AND PRACTICE 2	
ドイツ語科教育法A-2	2	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH	4
ドイツ語科教育法B	2	: THEORY AND PRACTICE	
ドイツ語科教育法C	2		
フランス語学の諸問題A	2	III 演習科目	
フランス語学の諸問題B	2	演習(文法論・意味論) 1	2
フランス語学の諸問題C	2	演習(文法論・意味論) 2	2
ヨーロッパの社会と言語B	2	SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 1	2
フランス語圏の社会と言語	2	SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 2	2
フランス語科教育法A	2	演習(日本語学) 1	2
フランス語科教育法B	2	演習(日本語学) 2	2
フランス語科教育法C	2	演習(音声学・音韻論) 1	2
フランス語科教育法D	2	演習(音声学・音韻論) 2	2
西語学概論	2	演習(言語聴覚障害学) 1	2
西語学特論A	2	演習(言語聴覚障害学) 2	2
西語学特論B	2	演習(外国語教育学) 1	2
イスパニア語通訳入門	2	演習(外国語教育学) 2	2
イスパニア語科教育法A	2	SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 1	2
イスパニア語科教育法B	2	SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 2	2
ロシア語文法研究 1	2	SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 1	2
ロシア語文法研究 2	2	SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 2	2
ロシア語史 1	2	演習(日独音声学・音韻論) 1	2
ロシア語史 2	2	演習(日独音声学・音韻論) 2	2
ロシア語科教育法A	2	演習(語の意味と語法) 1	2
ロシア語科教育法B	2	演習(語の意味と語法) 2	2
ポルトガル語統語論	2	演習1(フランス語学) 1	2
イベリア半島の社会と言語	2	演習2(フランス語学) 2	2
近現代ポルトガル研究	2	演習(フランス語教育と異文化コミュニケーション) 1	2
日ポ対照研究	2	演習(フランス語教育と異文化コミュニケーション) 2	2
言語接触と日本語	2	演習(西語学A) 1	2
マカオの言葉と文化	2	演習(西語学A) 2	2
日ポ翻訳通訳入門	2	演習(西語学B) 1	2
ポルトガル語科教育法A	2	演習(西語学B) 2	2
ポルトガル語科教育法B	2	演習(ロシア語学) 1	2
日本語史	4	演習(ロシア語学) 2	2
(HISTORY OF THE JAPANESE LANGUAGE)		演習(古代ロシア語) 1	2
言語学諸論特講	4	演習(古代ロシア語) 2	2
(TOPICS IN LINGUISTICS)		演習(ルゾフォニア研究) 1	2
		演習(ルゾフォニア研究) 2	2
4. 通訳科目		IV 卒業論文・卒業研究	
英語通訳基礎 1	2	卒業論文・卒業研究 I	3
英語通訳基礎 2	2	卒業論文・卒業研究 II	3
フランス語通訳入門	2		

4. 開講科目担当表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[研究科目] (中心科目)								
	660105	FLM211	言語学概論1	2	休講	加藤孝臣	1~4		(コ)
	660106	FLM212	言語学概論2	2	休講	加藤孝臣	1~4		(コ)
	650302	FLM301	一般音声学1	2	春	*前川喜久雄	2~4		(コ)
	650303	FLM302	一般音声学2	2	秋	*前川喜久雄	2~4		(コ)
	660222	FLM311	文法論1	2	春	福井直樹	2~4		(コ)
	660223	FLM312	文法論2	2	秋	福井直樹	2~4		(コ)
	660231	FLM321	音韻論1	2	春	北原真冬	2~4		(コ)
	660232	FLM322	音韻論2	2	休講	北原真冬	2~4		(コ)
	660404	FLM331	意味論1	2	休講	加藤孝臣	2~4		(コ)
	660405	FLM332	意味論2	2	休講	加藤孝臣	2~4		(コ)
	661005	FLM221	日本語学概説1	2	春	加藤孝臣	1~4		[120名], (コ)
	661006	FLM222	日本語学概説2	2	秋	加藤孝臣	1~4		[120名], (コ)
	(関連科目)								
	660810	FLT301	翻訳論	4	春	*谷口由美子 *唐 亜明 *河野万里子 *野坂悦子 *若松宣子 *宇野和美 *南平かおり	2~4		輪講, [70名], (コ)
	662306	FLN335	言語処理入門	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	2~4		[19名]
	154032	PSL226	認知心理学 I (知覚・認知心理学)	2	春	*実吉綾子	2~4		(他)心理学科, [180名] 旧「認知心理学 I」
	154022	PSL326	認知心理学 II	2	休講		2~4		(他)心理学科,原則として「認知心理学 I (知覚・認知心理学)」,あるいは「認知心理学 I」を既に履修していること
	660107	FLM351	言語と認知1	2	春	*成田広樹	2~4		(コ)
	660108	FLM352	言語と認知2	2	秋	*成田広樹	2~4		(コ)
	522006	FLN343	SOCIOLINGUISTICS 1	2	春	FURUKAWA Gavin	2~4	○	(他)英語学科, (コ)
	522007	FLN344 (隔)	SOCIOLINGUISTICS 2	2	秋	FURUKAWA Gavin	2~4	○	(他)英語学科, (コ)
	671111	FLN211	応用言語研究入門1	2	春	渡部良典	1~4		旧「応用言語学1」, (コ)
	671121	FLN212	応用言語研究入門2	2	秋	渡部良典	1~4		旧「応用言語学2」, (コ)
	662120	FLM341	言語学史1	2	休講		2~4		(コ)
	662121	FLM342 (隔)	言語学史2	2	休講		2~4		(コ)
	672014	FLM361	言語学特殊講義1 (ロマンス語研究)	2	春	*小川定義	2~4		(コ)
	672015	FLM362	言語学特殊講義2 (ロマンス語研究)	2	秋	*小川定義	2~4		(コ)
	671203	FLM315 (隔)	日本語史1	2	休講		2~4		(コ)
	671204	FLM316 (隔)	日本語史2	2	休講		2~4		(コ)
	671411	FLM314	比較文法論 (日英語比較)	2	秋	*成田広樹	2~4		(コ)
	652131	FLO301	言語聴覚障害学概論	2	春	コーディネータ 吉畑博代 コーディネータ 原 恵子	2~4		輪講, 旧「言語障害学概論」, (コ)
	672101	FLO311	言語聴覚障害学特殊講義A (失語症)	2	春	吉畑博代	2~4		旧「言語障害学特殊講義A (失語症)」, (コ)

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門アラビア分野カ

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	672151	FLO312	言語聴覚障害学特殊講義B (言語発達遅滞)	2	秋	コーディネータ 原 恵 子 *青 木 さつき *大 伴 潔	2~4		輪講, 旧「言語障害学特殊 講義B (言語発達遅滞)」, (コ)
	660109	FLN311	日本語教育入門 1	2	春	清 水 崇 文	2~4		(コ)
	660110	FLN312	日本語教育入門2	2	秋	清 水 崇 文	2~4		(コ)
	660111	FLN313	日本語教育学A (文法) 1	2	春	村 田 水 恵	2~4		(コ)
	660112	FLN314	日本語教育学A (文法) 2	2	秋	村 田 水 恵	2~4		(コ)
	660113	FLN315	日本語教育学B (言語習得) 1	2	春	小 柳 かおる	2~4		(コ)
	660114	FLN316	日本語教育学B (言語習得) 2	2	休講	小 柳 かおる	2~4		(コ)
	660115	FLN317	日本語教育学C (社会言語学) 1	2	春	清 水 崇 文	2~4		(コ)
	660116	FLN318	日本語教育学C (社会言語学) 2	2	秋	清 水 崇 文	2~4		(コ)
	660117	FLN321	日本語教授法A (初級) 1	2	春	峯 布由紀	2~4		(コ)
	660118	FLN322	日本語教授法A (初級) 2	2	秋	峯 布由紀	2~4		(コ)
	660119	FLN323	日本語教授法B (中上級) 1	2	春	峯 布由紀	2~4		(コ)
	660120	FLN324	日本語教授法B (中上級) 2	2	秋	峯 布由紀	2~4		(コ)
	660121	FLN325	日本語教授法C (技能別) 1	2	春	小 柳 かおる	2~4		(コ)
	660122	FLN326	日本語教授法C (技能別) 2	2	休講	小 柳 かおる	2~4		(コ)
(個別語学科目) 各学科参照 (通訳科目)									
	671511	FLT311	英語通訳基礎 1	2	春	*安 保 尚 子	2・3		[20名], 旧「通訳入門 (日 英) B-1」, (コ)
	671512	FLT312	英語通訳基礎 2	2	秋	*安 保 尚 子	2・3		[20名], 旧「通訳入門 (日 英) B-2」, (コ)
	671905	FLT319 (隔)	フランス語通訳入門	2	春	*宇都宮 彰 子	3・4		旧「通訳入門(日仏)」, (コ)
	JPN405	JPN405	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 1	4	春	*香 取 芳 和	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注4, 注5
	JPN406	JPN406	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 2	4	秋	*香 取 芳 和	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注4, 注5
	JPN407	JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH : THEORY AND PRACTICE	4	春	*高 橋 絹 子	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注4, 注5
	JPN407	JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH : THEORY AND PRACTICE	4	秋	*高 橋 絹 子	1~4		(他) 言語教育研究センター, 注4, 注5
(演習科目)									
	670926	FLM401	(重) 演習 (文法論・意味論) 1	2	春	福 井 直 樹	3・4		注2, (コ)
	670927	FLM402	(重) 演習 (文法論・意味論) 2	2	秋	福 井 直 樹	3・4		注2, (コ)
	670962	FLN427	(重) SEMINAR(APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	和 泉 伸 一	3・4	○	注2, (コ)
	670963	FLN428	(重) SEMINAR(APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	和 泉 伸 一	3・4	○	注2, (コ)
	670923	FLM411	(重) 演習 (日本語学) 1	2	春	加 藤 孝 臣	3・4		注2, (コ)
	670924	FLM412	(重) 演習 (日本語学) 2	2	秋	加 藤 孝 臣	3・4		注2, (コ)
	670925	FLM421	(重) 演習 (音声学・音韻論) 1	2	春	北 原 真 冬	3・4		注2, (コ)
	670928	FLM422	(重) 演習 (音声学・音韻論) 2	2	秋	北 原 真 冬	3・4		注2, (コ)
	670960	FLO401	(重) 演習 (言語聴覚障害学) 1	2	春	吉 畑 博 代子 原 恵	3・4		同時担当, 注2, (コ)

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	670961	FLO402	(重) 演習 (言語聴覚障害学) 2	2	秋	吉畑博代 原 惠子	3・4		同時担当, 注2, (コ)	
	670965	FLN411	(重) 演習 (外国語教育学) 1	2	春	渡部良典	3・4		注2, (コ)	
	670964	FLN412	(重) 演習 (外国語教育学) 2	2	秋	渡部良典	3・4		注2, (コ)	
	501310	FLN421	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	(他) 英語学科, (コ)	
	501311	FLN422	(重) SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	3・4	○	(他) 英語学科, (コ)	
	501308	FLN423	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 1	2	春	坂本光代	3・4	○	(他) 英語学科, (コ)	
	501309	FLN424	(重) SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 2	2	秋	坂本光代	3・4	○	(他) 英語学科, (コ)	
	546923	FLM481	(重) 演習 (フランス語学) 1	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	○	(他) フランス語学科, (コ)	
	546924	FLM482	(重) 演習 (フランス語学) 2	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	○	(他) フランス語学科, (コ)	
	547353	FLN401	(重) 演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 1	2	休講	原田早苗	3・4		(他) フランス語学科, (コ)	
	547354	FLN402	(重) 演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 2	2	休講	原田早苗	3・4		(他) フランス語学科, (コ)	
	537215	FLM431	(重) 演習 (日独音声学・音韻論) 1	2	休講		3・4		(他) ドイツ語学科, 注3, (コ)	
	537216	FLM432	(重) 演習 (日独音声学・音韻論) 2	2	休講		3・4		(他) ドイツ語学科, 注3, (コ)	
	530530	FLM451	(重) 演習 (語の意味と語法) 1	2	春	高橋亮介	3・4		(他) ドイツ語学科, 注3, (コ)	
	530540	FLM452	(重) 演習 (語の意味と語法) 2	2	秋	高橋亮介	3・4		(他) ドイツ語学科, 注3, (コ)	
	554706	FLN451	(重) 演習 (西語学A) 1	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	(他) イスパニア語学科, [19名], (コ)	
	554707	FLN452	(重) 演習 (西語学A) 2	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	○	(他) イスパニア語学科, [36名], (コ)	
	554708	FLM471	(重) 演習 (西語学B) 1	2	春	西村君代	3・4		(他) イスパニア語学科, (コ)	
	554709	FLM472	(重) 演習 (西語学B) 2	2	秋	西村君代	3・4		(他) イスパニア語学科, (コ)	
	575333	FYK401	(重) 演習 (ロシア語学) 1	2	春	秋山真一	3・4		(他) ロシア語学科, (コ)	
	575334	FYK402	(重) 演習 (ロシア語学) 2	2	秋	秋山真一	3・4		(他) ロシア語学科, (コ)	
	577323	FYH401	(重) 演習 (古代ロシア語) 1	2	春	原求作	3・4		(他) ロシア語学科, (コ)	
	577324	FYH402	(重) 演習 (古代ロシア語) 2	2	秋	原求作	3・4		(他) ロシア語学科, (コ)	
	587443	FLN461	(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	休講	市之瀬 敦	3・4		(他) ポルトガル語学科, (コ)	
	587444	FLN462	(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	休講	市之瀬 敦	3・4		(他) ポルトガル語学科, (コ)	
	[論文]									
		605911	FLZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注1
		605911	FLZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注1
		605912	FLZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注1
		605912	FLZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注1

(コ) この記号の付された科目の開講曜日・時限については、Loyola の各研究コースの時間割を参照すること。

注 1 4 年次生のみ履修可。

注 2 演習科目の 2 の履修は、1 を既に履修したか、1 相当の学力があることを前提とする。

注 3 ドイツ語学科との交換留学制度により留学生が履修できる「日独比較研究」科目。

注 4 履修にあたっては、「5. 外国語科目」「日本語」(要覧共通編 p.255) に従うこと。

注 5 外国語学部の学生がこの科目を履修する場合は「他学部・他学科の学科科目」に分類される。

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メカニクス分野

国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）

13年次生以前

1. 国際関係論に関する開講科目は、次のように分類される。

- I 全学共通科目
- II 研究科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

- * 上記の科目は外国語学部の学生には国際関係研究専門分野科目として、他学部の学生には国際関係副専攻科目として開講される。
- * 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- * 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない場合、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生については国際関係研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

2. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 履修証明取得に必要な単位と科目

全学共通科目	2単位
研究科目	10単位
演習科目	8単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	26単位

- (1) 外国語学部の学生が履修証明（国際関係研究履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「国際関係研究」を届け出なければならない。届出手続きについては外国語学部説明p.456を参照のこと。
- (2) 外国語学部以外の学生も上記の要件を満たせば履修証明（国際関係副専攻履修証明）を取得できる。

② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生の申請手続きについては、外国語学部の説明p.456を参照すること。
- (3) 外国語学部以外の学生は、国際関係副専攻主任宛に手続きをとること。手続きの詳細については、Loyola掲示板で告知する。

③ 時間割表について

国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）に関する開講科目については、Loyolaの時間割「総合グローバル学部」と「外国語学部各研究コース科目」を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

④ 演習科目について

- (1) 3・4年次にそれぞれ各1演習（半期集中4単位、または1・2に分割されているものは2単位・2単位の合計4単位）ずつ履修することが望ましい。但し、同一演習科目を2度履修しても単位として認める。
- (2) 「4.開講科目担当表」備考欄の旧科目は、新科目と同一であるので注意すること。
- (3) 初回参加年次は3年次が望ましい。
- (4) 1・2に分割されている演習科目の2の履修は、1を既に履修したか、1相当の学力があることを前提とする。以上のことを考慮に入れ、シラバスを参照するほか、担当教員の指導を受けることが大切である。

⑤ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は①の条件を既に満たすか、または卒業年度内に満たすことが予想されるもの限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 卒業論文・卒業研究は、演習担当教員の指導のもとに在学最終年度に国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」（3単位）、「同Ⅱ」（3単位）（合計6単位）を履修し、卒業論文・卒業研究を定められた期限内に学事センターに提出すること。
- (3) 登録
登録期間内にLoyolaで履修登録をし、演習担当教員と相談の上、所定の用紙3通に記入し、4月末日までに指導教員、所属学科長、国際関係副専攻主任にそれぞれ1通ずつ提出する。手続きの詳細については、Loyola掲示板（学科・専攻別）で告知する。
- (4) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。
 - ・ 卒業論文の規格については下記の通り。その他、詳細について指導教授の指示に従うこと。
規格：A4判・横書き
綴じ方：簡易製本（左綴じ）
枚数：20枚前後
その他：・ワープロ：字数40字／行 行数30行／頁
・指導教員と相談の上、日本語以外の言語での執筆も可

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際関係分野
専門アジア文化分野
専門ヨーロッパ
専門メリアン

3. 科目表（数字は単位数）

I 全学共通科目			
現代日本の国際関係	2	グローバル化と発展途上国	4
現代日本の安全保障	2	国際教育開発論 1	2
国際政治史入門	2	国際教育開発論 2	2
INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	特講（国際機構）A	2
INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	特講（地域統合の政治経済学）	2
		特講（EU 研究）	2
		特講（国際人口移動）	2
		特講（国際機構）B	2
II 研究科目			
国際政治学	2		
国際政治理論	2		
国際政治経済論（政治学的アプローチ）1	2		
国際政治経済論（政治学的アプローチ）2	2	III 演習科目	
外交政策 1	2	演習（国際政治経済論・政治学的アプローチ）1	2
外交政策 2	2	演習（国際政治経済論・政治学的アプローチ）2	2
国際政治史 1	2	演習（外交政策）1	2
国際政治史 2	2	演習（外交政策）2	2
日本外交論	2	演習（国際政治史）1	2
グローバル・ガバナンス論 3	2	演習（国際政治史）2	2
グローバル・ガバナンス論 4	2	演習（グローバル・ガバナンス論）1	2
国連研究 1	2	演習（グローバル・ガバナンス論）2	2
国連研究 2	2	演習（比較政治学）1	2
比較政治学 1	2	演習（比較政治学）2	2
比較政治学 2	2	演習（国連と紛争解決）1	2
アメリカ政治外交 1	2	演習（国連と紛争解決）2	2
アメリカ政治外交 2	2	演習（アメリカ政治外交）1	2
アメリカ研究	2	演習（アメリカ政治外交）2	2
中国政治外交 1	2	演習（中国政治外交）1	2
中国政治外交 2	2	演習（中国政治外交）2	2
グローバリゼーションと市民社会 1	2	演習（国際政治経済論・経済学的アプローチ）1	2
グローバリゼーションと市民社会 2	2	演習（国際政治経済論・経済学的アプローチ）2	2
比較社会学	2	演習（開発経済学）1	2
国際社会学 1	2	演習（開発経済学）2	2
国際社会学 2	2	演習（国際社会学）1	2
フィールドワークの技法と実践	2	演習（国際社会学）2	2
グローバル化と文化 1	2	演習（グローバル市民社会論）1	2
グローバル化と文化 2	2	演習（グローバル市民社会論）2	2
国際協力論 1	2	演習（国際協力論）1	2
国際協力論 2	2	演習（国際協力論）2	2
国際経済学 1	2	演習（国際教育開発論）1	2
国際経済学 2	2	演習（国際教育開発論）2	2
国際政治経済論（経済学的アプローチ）1	2		
国際政治経済論（経済学的アプローチ）2	2	IV 卒業論文・卒業研究	
開発経済学	4	卒業論文・卒業研究 I	3
		卒業論文・卒業研究 II	3

4. 開講科目担当表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[研究科目]								
	BGS58400	GIP322	国際政治学	2	春	渡辺 紫乃	2~4		注1
	BGS58500	GIP323	国際政治理論	2	秋	鈴木 一敏	2~4	○	注1
	BGS58600	GIP324	国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 1	2	春	鈴木 一敏	2~4		注1
	BGS58700	GIP325	国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 2	2	秋	鈴木 一敏	2~4		注1
	BGS52400	GIP304	外交政策1	2	春	樋渡 由美	2~4		[190名], 注1, 注4
	BGS52401	GIP305	外交政策2	2	秋	樋渡 由美	2~4		[190名], 注1, 注4
	BGS52500	GIP306	国際政治史1	2	春	宮城 大蔵	2~4		注1
	BGS52501	GIP307	国際政治史2	2	休講	宮城 大蔵	2~4		注1
	BGS52600	GIP308	日本外交論	2	休講	宮城 大蔵	2~4		注1
	BGS52700	GIP309	グローバル・ガバナンス論3	2	春	都留 康子	2~4		注1, 旧「国際制度論1」
	BGS52701	GIP310	グローバル・ガバナンス論4	2	秋	都留 康子	2~4		注1, 旧「国際制度論2」
	BGS52800	GIP311	国連研究1	2	春	植木 安弘	2~4		[190名], 注1
	BGS52801	GIP312	国連研究2	2	秋	植木 安弘	2~4		注1
	BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸川 毅	2~4		注1
	BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸川 毅	2~4		注1
	BGS53100	GIP317	アメリカ政治外交1	2	春	前嶋 和弘	2~4		注1
	BGS53101	GIP318	アメリカ政治外交2	2	秋	前嶋 和弘	2~4		注1
	BGS53200	GIP319	アメリカ研究	2	春	前嶋 和弘	2~4		注1
	BGS53300	GIP320	中国政治外交1	2	春	渡辺 紫乃	2~4		注1
	BGS53301	GIP321	中国政治外交2	2	秋	渡辺 紫乃	2~4		注1
	BGS53400	GIC300	グローバル化と市民社会1	2	春	稲葉 奈々子	2~4		注1, 旧「グローバル化と市民社会」
	BGS53401	GIC301	グローバル化と市民社会2	2	秋	稲葉 奈々子	2~4		注1, 旧「グローバル化と市民社会」
	BGS53500	GIC302	比較社会学	2	秋	稲葉 奈々子	2~4		注1, 旧「比較社会学1」「比較社会学2」
	BGS53600	GIC303	国際社会学1	2	春	蘭 信三	2~4		注1
	BGS53601	GIC304	国際社会学2	2	秋	蘭 信三	2~4		注1
	BGS53700	GIC305	フィールドワークの技法と実践	2	春	蘭 信三	2~4		[50名], 注1, 注4
	BGS53800	GIC306	グローバル化と文化1	2	春	*川崎 賢一	2~4		[190名], 注1, 注4
	BGS53801	GIC307	グローバル化と文化2	2	秋	*川崎 賢一	2~4		注1
	BGS53900	GIC308	国際協力論1	2	春	田中 雅子	2~4		[190名], 注1, 注4
	BGS53901	GIC309	国際協力論2	2	秋	田中 雅子	2~4		[190名], 注1, 注4
	BGS54000	GIC310	国際経済学1	2	春	下川 雅嗣	2~4		注1
	BGS54001	GIC311	国際経済学2	2	秋	下川 雅嗣	2~4		注1
	BGS54102	GIC312	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 1	2	春	下川 雅嗣	2~4		注1, 旧「国際政治経済論1」
	BGS54103	GIC313	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 2	2	秋	下川 雅嗣	2~4		注1, 旧「国際政治経済論2」
	BGS54200	GIC314	開発経済学	4	春	高島 亮	2~4		注1, 旧「開発経済論」「開発経済論2」
	BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4	休講	高島 亮	2~4		注1, 旧「グローバル化と発展途上国1」「グローバル化と発展途上国2」
	BGS54400	GIC316	国際教育開発論1	2	春	廣里 恭史	2~4		[70名], 注1, 注4
	BGS54401	GIC317	国際教育開発論2	2	秋	廣里 恭史	2~4		[70名], 注1, 注4
	BGS57501	GIP401	特講 (国際機構) A	2	春	植木 安弘	3・4	○	注1
BGS57502	GIP402	特講 (地域統合の政治経済学)	2	秋	*渡邊 頼純	3・4		注1	
BGS57503	GIP403	特講 (EU研究)	2	春	*佐藤 俊輔	3・4		注1	
BGS57504	GIC400	特講 (国際人口移動)	2	秋	蘭 信三	3・4		注1	
BGS57505	GIC401	特講 (国際機構) B	2	春	廣里 恭史	3・4	○	[40名], 注1, 注4	

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メキシコ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	[演習科目] 演習は同一科目を2年間履修しても単位として認める									
	BGS57658	GIP468	(重) 演習(国際政治経済論・政治学助7ブローチ)1	2	春	鈴木 一 敏	3・4		注1	
	BGS57659	GIP469	(重) 演習(国際政治経済論・政治学助7ブローチ)2	2	秋	鈴木 一 敏	3・4		注1, 注2	
	BGS57604	GIP454	(重) 演習(外交政策)1	2	春	樋 渡 由 美	3・4		注1, 旧「演習(国際関係論B-1)」	
	BGS57605	GIP455	(重) 演習(外交政策)2	2	秋	樋 渡 由 美	3・4		注1, 注2, 旧「演習(国際関係論B-2)」	
	BGS57606	GIP456	(重) 演習(国際政治史)1	2	春	宮 城 大 蔵	3・4		注1, 旧「演習(国際政治史1)」	
	BGS57607	GIP457	(重) 演習(国際政治史)2	2	休講	宮 城 大 蔵	3・4		注1, 注2, 旧「演習(国際政治史2)」	
	BGS57656	GIP458	(重) 演習(グローバル・ガバナンス論)1	2	春	都 留 康 子	3・4		注1, 旧「演習(国際制度論)1)」	
	BGS57657	GIP459	(重) 演習(グローバル・ガバナンス論)2	2	秋	都 留 康 子	3・4		注1, 注2, 旧「演習(国際制度論)2)」	
	BGS57610	GIP460	(重) 演習(比較政治学)1	2	春	岸 川 毅	3・4		注1, 旧「演習(比較政治学1)」	
	BGS57611	GIP461	(重) 演習(比較政治学)2	2	秋	岸 川 毅	3・4		注1, 注2, 旧「演習(比較政治学2)」	
	BGS57612	GIP462	(重) 演習(国連と紛争解決)1	2	春	植 木 安 弘	3・4		注1	
	BGS57613	GIP463	(重) 演習(国連と紛争解決)2	2	秋	植 木 安 弘	3・4		注1, 注2	
	BGS57614	GIP464	(重) 演習(アメリカ政治外交)1	2	春	前 嶋 和 弘	3・4		注1	
	BGS57615	GIP465	(重) 演習(アメリカ政治外交)2	2	秋	前 嶋 和 弘	3・4		注1, 注2	
	BGS57616	GIP466	(重) 演習(中国政治外交)1	2	春	渡 辺 紫 乃	3・4		注1	
	BGS57617	GIP467	(重) 演習(中国政治外交)2	2	秋	渡 辺 紫 乃	3・4		注1, 注2	
	BGS57654	GIC450	(重) 演習(国際政治経済論・経済学助7ブローチ)1	2	春	下 川 雅 嗣	3・4		注1, 旧「演習(国際政治経済論)1)」	
	BGS57655	GIC451	(重) 演習(国際政治経済論・経済学助7ブローチ)2	2	秋	下 川 雅 嗣	3・4		注1, 注2, 旧「演習(国際政治経済論)2)」	
	BGS57620	GIC452	(重) 演習(開発経済学)1	2	春	高 島 亮	3・4		注1, 旧「演習(開発経済論1)」	
	BGS57621	GIC453	(重) 演習(開発経済学)2	2	休講	高 島 亮	3・4		注1, 注2, 旧「演習(開発経済論2)」	
	BGS57622	GIC454	(重) 演習(国際社会学)1	2	春	蘭 信 三	3・4		注1, 旧「演習(国際社会学1)」	
	BGS57623	GIC455	(重) 演習(国際社会学)2	2	秋	蘭 信 三	3・4		注1, 注2, 旧「演習(国際社会学2)」	
	BGS57624	GIC456	(重) 演習(グローバル市民社会論)1	2	春	稲 葉 奈々子	3・4		注1, 旧「演習(比較社会学1)」	
	BGS57625	GIC457	(重) 演習(グローバル市民社会論)2	2	秋	稲 葉 奈々子	3・4		注1, 注2, 旧「演習(比較社会学2)」	
	BGS57626	GIC458	(重) 演習(国際協力論)1	2	春	田 中 雅 子	3・4		注1	
	BGS57627	GIC459	(重) 演習(国際協力論)2	2	秋	田 中 雅 子	3・4		注1, 注2	
	BGS57628	GIC460	(重) 演習(国際教育開発論)1	2	春	廣 里 恭 史	3・4		注1	
	BGS57629	GIC461	(重) 演習(国際教育開発論)2	2	秋	廣 里 恭 史	3・4		注1, 注2	
	[論文]									
		605913	FSZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注3, 注5
		605913	FSZ401	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注3, 注5
		605914	FSZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注3, 注5
	605914	FSZ402	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注3, 注5	

注1：(他) 総合グローバル学科

注2：演習科目の2の履修は、1を既に履修したか、1相当の学力があることを前提とする。

注3：卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱは、「2.履修上の注意」、とくに⑤をよく読んで上で作成にとりかかること。

注4：備考欄で定員数を[]で囲んだ科目は総合グローバル学部生・外国語学部生優先の抽選科目である。詳細については、履修要覧(共通編)p.29～を参照すること。

注5：4年次生のみ履修可。

アジア文化研究専門分野（アジア文化副専攻）

13年次生以前

1. アジア文化研究専門分野の開講科目は、次のように分類される。

I 全学共通科目（外国語学部基礎科目）

II 地域研究科目

1. 東南アジア
2. 南アジア
3. 中東
4. アフリカ
5. 通地域

III 演習科目

IV 卒業論文・卒業研究

（科目表参照）

- * 上記の科目は、外国語学部の学生にはアジア文化研究専門分野科目として、他学部の学生にはアジア文化副専攻科目として開講される。
- * 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- * 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない限り、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生についてアジア文化研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

2. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生が履修証明（アジア文化研究専門分野履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「アジア文化研究」を届け出なければならない。届出手続きについては、外国語学部の説明p.456を参照のこと。
- (3) 外国語学部以外の学生が履修証明（アジア文化副専攻履修証明）を取得するためには、卒業論文提出後に所定用紙に必要事項を記入の上、アジア文化副専攻主任宛てに手続きを取ること。手続きの詳細については11月にLoyola掲示板（学科・専攻別）にて告知する。

② 履修証明取得に必要な単位と科目

地域研究科目	12単位	一覧にある地域研究科目以外に、言語教育研究センターが開講するアラビア語、インドネシア語、カンボジア語、スワヒリ語、タイ語、ヒンディー語、フィリピン語、ビルマ語、ベトナム語、ペルシア語、トルコ語の中から、2単位以上を修得することが望ましい。要覧の外国語科目履修要覧（共通編）p.236～を参照のこと。アジア・アフリカ諸語の単位は最大4単位まで地域研究科目として認められる。
演習科目	8単位	演習科目は1・2年次に履修することはできない。同一の演習科目を3・4年次に重ねて履修することができる。同一教員の担当する演習科目を、3・4年次の春学期・秋学期にそれぞれ1演習2単位ずつ、2年間にわたり履修するのが望ましい。
卒業論文・卒業研究	6単位	
合計	26単位	

- (1) 上記26単位のほかに、全学共通科目（外国語学部基礎科目）より、東南アジア、南アジア、中東、アフリカ関係の科目を4単位以上修得することが望ましい。
- (2) 外国語学部以外の学生がアジア文化副専攻履修証明の取得を希望する場合は、所属学部の単位から最大6単位まで単位の読み替えをすることができる。ただし、どの科目の単位が読み替え可能であるかについては、アジア文化副専攻主任に相談すること。

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メソッド分野

③ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は、原則として演習科目を8単位以上修得した者、または卒業までに修得が見込まれる者に限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 卒業論文・卒業研究を作成しようとする者は、春学期履修登録期間中に必ず卒業論文・卒業研究Ⅰの履修登録をし、指導教員（原則として2年間にわたり履修する演習科目の担当教員）と相談の上、所定の届出用紙3通に記入し、4月末日までに指導教員、所属学科長、アジア文化副専攻主任にそれぞれ1通ずつ提出する。手続の詳細については4月にLoyola掲示板（学科・専攻別）にて告知する。また、秋学期に卒業論文・卒業研究Ⅱの履修登録を怠らないよう注意すること。秋学期卒業予定等の学生は、副専攻主任に相談すること。
- (3) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。
 - * 卒業論文は縦長A4判横書き・左綴じ、縦長A4判の黒表紙をつける。日本語により執筆するが、指導教員と相談の上で、他の言語を使用してもよい。長さの目安については日本語の場合、20,000字～40,000字、英語（欧語）の場合、8,000語～12,000語を標準とする。
 - * 卒業研究について外国語学部の説明p.458に書かれている形式でも提出が困難な成果物については、あらかじめ指導教員およびアジア文化副専攻主任に相談すること。

④ 時間割表について

アジア文化研究専門分野（アジア文化副専攻）に関する開講科目については、Loyolaの時間割「総合グローバル学部」と「外国語学部各研究コース科目」を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

3. 科目表（数字は単位数）

I 全学共通科目		アフリカ社会論	2
東南アジア史入門 I	2	アフリカ文化論	2
東南アジア史入門 II	2	アフリカ・ジェンダー論	2
東南アジア研究入門	2	特講（アフリカの社会と文化）	2
東南アジアと日本	2	特講（現代アフリカ）	2
南アジア研究入門	2	5.通地域	
中東イスラーム研究入門 I	2	アジア文化遺産研究	2
中東イスラーム研究入門 II	2	アジアの環境と開発	2
アフリカ研究入門	2	NGOと社会運動の人類学	2
II 地域研究科目		アジアとグローバル企業	2
1. 東南アジア		アジアの人権問題	2
東南アジア考古学	2	特講（文化財保存と国際協力）	2
東南アジア史（前近代）	2	特講（現代アジア社会）	2
東南アジア史（近現代）1	2	特講（アジアの文化と社会）	2
東南アジア史（近現代）2	2	特講（通地域研究）	2
東南アジア政治社会論	2	III 演習科目	
東南アジア政治文化論	2	演習（アジア研究A）1	2
東南アジア文化論A	2	演習（アジア研究A）2	2
東南アジア文化論B	2	演習（アジア研究B）1	2
東南アジア社会とジェンダー	2	演習（アジア研究B）2	2
特講（東南アジアの宗教）	2	演習（アジア研究C）1	2
2. 南アジア		演習（アジア研究C）2	2
南アジアの社会と政治	2	演習（アジア研究D）1	2
南アジア史	2	演習（アジア研究D）2	2
南アジア社会経済論	2	演習（アジア研究E）1	2
3. 中東		演習（アジア研究E）2	2
中東イスラーム史（前近代）	2	演習（アジア研究F）1	2
中東政治史	2	演習（アジア研究F）2	2
中東政治論	2	演習（中東・アフリカ研究A）1	2
現代中東社会論	2	演習（中東・アフリカ研究A）2	2
東方イスラーム世界論	2	演習（中東・アフリカ研究B）1	2
現代シーア派社会論	2	演習（中東・アフリカ研究B）2	2
民衆イスラーム論	2	演習（中東・アフリカ研究C）1	2
イスラームとジェンダー	2	演習（中東・アフリカ研究C）2	2
中東イスラーム思想論	2	演習（中東・アフリカ研究D）1	2
中東芸術論	2	演習（中東・アフリカ研究D）2	2
4. アフリカ		演習（中東・アフリカ研究E）1	2
アフリカ史	2	演習（中東・アフリカ研究E）2	2
アフリカ政治論	2	演習（中東・アフリカ研究F）1	2
アフリカ開発論	2	演習（中東・アフリカ研究F）2	2
アフリカ社会経済論	2	IV 卒業論文・卒業研究	
		卒業論文・卒業研究 I	3
		卒業論文・卒業研究 II	3

学部共通
英語
ドイツ語
フランス語
スペイン語
ロシア語
ポルトガル語
専門分野学
専門分野
国際関係
文化
専門分野
国際関係
文化

4. 開講科目担当表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[地域研究科目] (東南アジア)								
	BGS54500	GAA300	東南アジア考古学	2	春	丸井 雅子	2~4		注1, 旧「東南アジア考古学1」
	BGS54600	GAA301	東南アジア史(前近代)	2	春	*松浦 史明	2~4		注1
	BGS54700	GAA302	東南アジア史(近現代)1	2	春	根本 敬	2~4		注1, 旧「東南アジア史1」
	BGS54701	GAA303	東南アジア史(近現代)2	2	秋	根本 敬	2~4		注1, 「東南アジア史(近現代)1」または旧「東南アジア史1」の単位を取得していることが望ましい。
	BGS54800	GAA304	東南アジア政治社会論	2	春	川島 緑	2~4		[190名], 注1, 注3
	BGS54900	GAA305	東南アジア政治文化論	2	秋	川島 緑	2~4		[190名], 注1, 注3
	BGS55000	GAA306	東南アジア文化論A	2	春	寺田 勇文	2~4	○	注1, 旧「東南アジア民族誌1」
	BGS55001	GAA307	東南アジア文化論B	2	秋	寺田 勇文	2~4		[190名], 注1, 注3, 旧「東南アジア民族誌2」
	BGS55100	GAA308	東南アジア社会とジェンダー	2	休講			2~4	○ 注1
	BGS57509	GAA403	特講 (東南アジアの宗教)	2	秋	寺田 勇文	2~4		注1, 旧「東南アジア地域研究B」, 旧「東南アジア文化論5」
	[地域研究科目] (南アジア)								
	BGS57900	GAA318	南アジアの社会と政治	2	秋	AUGUSTINE Sali	2~4	○	注1
	BGS55400	GAA312	南アジア史	2	春	*竹中 千春	2~4		注1
	BGS55500	GAA313	南アジア社会経済論	2	秋	*日下部 尚徳	2~4		注1
	[地域研究科目] (中東)								
	BGS56000	GAM300	中東イスラーム史(前近代)	2	春	*松尾 有里子	2~4		注1
	BGS56100	GAM301	中東政治史	2	秋	小牧 昌平	2~4		注1, 旧「中東政治史1」, 旧「中東イスラーム史B(近現代)1」
	BGS56200	GAM302	中東政治論	2	春	澤江 史子	2~4		注1
	BGS58300	GAM318	現代中東社会論	2	休講	辻上 奈美江	2~4		注1
	BGS56400	GAM304	東方イスラーム世界論	2	春	小牧 昌平	2~4		[190名], 注1, 注3, 旧「東方イスラーム世界論」, 旧「中東イスラーム研究特講A」
	BGS56500	GAM305	現代シーア派社会論	2	秋	小牧 昌平	2~4		注1, 旧「中東イスラーム地域研究B」
	BGS56600	GAM306	民衆イスラーム論	2	春	赤堀 雅幸	2~4		注1, 旧「民衆イスラーム論」, 旧「中東イスラーム研究特講C」
	BGS56700	GAM307	イスラームとジェンダー	2	休講	赤堀 雅幸	2~4		[190名], 注1, 旧「中東文化論A」, 旧「中東文化人類学A」
	BGS56800	GAM308	中東イスラーム思想論	2	秋	*加藤 瑞絵	2~4		注1, 旧「中東イスラーム思想論1」
	BGS56900	GAM309	中東芸術論	2	秋	*小林 一枝	2~4		[190名], 注1, 注3
	[地域研究科目] (アフリカ)								
	BGS57100	GAM311	アフリカ史	2	春	眞城 百華	2~4		注1
	BGS57200	GAM312	アフリカ政治論	2	秋	眞城 百華	2~4		注1
	BGS57301	GAM313	アフリカ開発論	2	春	コーディネータ 赤堀 雅幸 *森下 拓道	2~4		輪講, 注1, 旧「アフリカ国際協力論」
	BGS57400	GAM314	アフリカ社会経済論	2	秋	*吉田 敦	2~4		注1
	BGS58000	GAM315	アフリカ社会論	2	春	戸田 美佳子	2~4		注1
	BGS58100	GAM316	アフリカ文化論	2	秋	戸田 美佳子	2~4		注1
BGS58200	GAM317	アフリカ・ジェンダー論	2	秋	眞城 百華	2~4		注1	
BGS57512	GAM401	特講 (アフリカの社会と文化)	2	秋	戸田 美佳子	3・4		注1	
BGS57513	GAM402	特講 (現代アフリカ)	2	春	*佐藤 千鶴子	3・4		注1	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[地域研究科目] (通地域)								
	BGS55600	GAA314	アジア文化遺産研究	2	休講	丸井雅子	2~4		注1, 旧「アジア文化遺産研究1」
	BGS55700	GAA315	アジアの環境と開発	2	春	福武慎太郎	2~4		[190名], 注1, 注3
	BGS55800	GAA316	NGOと社会運動の人類学	2	休講	福武慎太郎	2~4		注1
	BGS55900	GAA317	アジアとグローバル企業	2	春	*平賀富一	2~4		[190名], 注1, 注3
	BGS57910	GAA319	アジアの人権問題	2	春	AUGUSTINE Sali	2~4		注1
	BGS57506	GAA400	特講 (文化財保存と国際協力)	2	休講	丸井雅子	3・4		注1, 旧「アジア文化財保存と国際協力」, 旧「アジア文化遺産研究2」
	BGS57507	GAA401	特講 (現代アジア社会)	2	春	*堀場明子	3・4	○	注1
	BGS57508	GAA402	特講 (アジアの文化と社会)	2	秋	*米野みちよ	3・4	○	注1
	BGS57510	GAA404	特講 (通地域研究)	2	秋	岸川毅	3・4		注1
	[演習科目]								
	BGS57630	GAA450	(重) 演習 (アジア研究A) 1	2	春	丸井雅子	3・4		注1, 旧「演習 (東南アジア地域研究A) 1」
	BGS57631	GAA451	(重) 演習 (アジア研究A) 2	2	秋	丸井雅子	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (東南アジア地域研究A) 2」
	BGS57632	GAA452	(重) 演習 (アジア研究B) 1	2	春	福武慎太郎	3・4		注1, 旧「演習 (東南アジア地域研究B) 1」
	BGS57633	GAA453	(重) 演習 (アジア研究B) 2	2	休講	福武慎太郎	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (東南アジア地域研究B) 2」
	BGS57634	GAA454	(重) 演習 (アジア研究C) 1	2	春	根本敬	3・4		注1, 旧「演習 (東南アジア地域研究C) 1」
	BGS57635	GAA455	(重) 演習 (アジア研究C) 2	2	秋	根本敬	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (東南アジア地域研究C) 2」
	BGS57636	GAA456	(重) 演習 (アジア研究D) 1	2	春	寺田勇文	3・4		注1, 旧「演習 (東南アジア地域研究D) 1」
	BGS57637	GAA457	(重) 演習 (アジア研究D) 2	2	秋	寺田勇文	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (東南アジア地域研究D) 2」
	BGS57638	GAA458	(重) 演習 (アジア研究E) 1	2	春	川島緑	3・4		注1, 旧「演習 (東南アジア地域研究E) 1」
	BGS57639	GAA459	(重) 演習 (アジア研究E) 2	2	秋	川島緑	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (東南アジア地域研究E) 2」
	BGS57640	GAA460	(重) 演習 (アジア研究F) 1	2	春	AUGUSTINE Sali	3・4	○	注1
	BGS57641	GAA461	(重) 演習 (アジア研究F) 2	2	秋	AUGUSTINE Sali	3・4	○	注1, 注2
	BGS57642	GAM450	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 1	2	休講	辻上奈美江	3・4		注1, 旧「演習 (中東イスラム地域研究A) 1」
	BGS57643	GAM451	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 2	2	秋	辻上奈美江	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (中東イスラム地域研究A) 2」
	BGS57644	GAM452	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 1	2	春	赤堀雅幸	3・4		注1, 旧「演習 (中東イスラム地域研究B) 1」
	BGS57645	GAM453	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 2	2	秋	赤堀雅幸	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (中東イスラム地域研究B) 2」
	BGS57646	GAM454	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 1	2	春	小牧昌平	3・4		注1, 旧「演習 (中東イスラム地域研究C) 1」
	BGS57647	GAM455	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 2	2	秋	小牧昌平	3・4		注1, 注2, 旧「演習 (中東イスラム地域研究C) 2」
	BGS57648	GAM456	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 1	2	春	澤江史子	3・4		注1
	BGS57649	GAM457	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 2	2	秋	澤江史子	3・4		注1, 注2
	BGS57650	GAM458	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 1	2	春	眞城百華	3・4		注1
	BGS57651	GAM459	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 2	2	秋	眞城百華	3・4		注1, 注2
	BGS57652	GAM460	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 1	2	春	戸田美佳子	3・4		注1
BGS57653	GAM461	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 2	2	秋	戸田美佳子	3・4		注1, 注2	
[卒業論文・卒業研究]									
605915	FBZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		注4	
605915	FBZ401	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		注4	
605916	FBZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		注4, 注5	
605916	FBZ402	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		注4	

注1: (他) 総合グローバル学科開講。

注2: 演習2の履修は演習1の単位を修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。

注3: 備考欄で定員数を[]で囲んだ科目は総合グローバル学部生・外国語学部生優先の抽選科目である。詳細については、履修要覧(共通編) p.29~を参照すること。

注4: 4年次生のみ履修可。

注5: 9月卒業予定学生のみ履修可。

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専門国際分野係
専門アジア文化
専門ヨーロッパ
専門メジャー分野

ヨーロッパ研究専門分野

本専門分野は、外国語学部6学科所属の学生を対象とするもので、以下の視点をもってヨーロッパ地域について研究することを主たる目的とする。

- * ヨーロッパ地域全域に関わる事象
- * ヨーロッパ地域の国ないしはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象
- * EUないしはEUと構成国との関係に関わる事象

1. ヨーロッパ研究専門分野に関する開講科目は、次のように分類される。

- I 研究科目
- II 演習科目
- III 卒業論文・卒業研究

- * 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- * 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない場合、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生についてヨーロッパ研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

2. 履修上の注意

- * 外国語学部の説明pp.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 履修証明取得に必要な単位と科目

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	26単位

外国語学部の学生が履修証明（ヨーロッパ研究専門分野履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「ヨーロッパ研究」を届け出なければならない。届出手続きについては外国語学部説明p.456を参照のこと。

② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 履修証明の申請手続きについては、外国語学部の説明p.456を参照すること。申請の時期・申請要領等は、Loyola 掲示板（学科・専攻別）にて伝達する。

③ 時間割表について

ヨーロッパ研究専門分野に関する開講科目については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

④ 研究科目について

- (1) 一般外国語科目のうちの、全学共通科目で選択した必修外国語（8単位）以外の言語のうち、英語、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ポルトガル語、ロシア語、イタリア語の単位は2単位を限度として研究科目に含めることができる（各自の所属学科の専攻言語は除く）。ただし、全ての学科で卒業要件に含まれるわけではないので、卒業要件として算入できるかどうかは各自の学科の「履修上の注意 外国語科目について」を参照すること。
- (2) 【研究科目】は、[基礎科目]、[共通科目]、[中心科目]に下位分類する。
- (3) [基礎科目]は、2科目4単位が必修である。
- (4) [共通科目]と[中心科目]から12単位を履修すること。その中には少なくとも4単位の他学科開講科目が含まれていなければならない。これらの科目をヨーロッパ研究として履修する場合は、各学科が指定する「履修年次」に拘束されない。

3. 科目表

[基礎科目] ※2010年度から

原則として、外国語学部生でヨーロッパ研究専門分野を履修する学生のための科目である。

外国語学部基礎科目ではないので注意すること。

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
ヨーロッパ地域研究入門	2	外国語学部			2017年度まで
(隔) ヨーロッパの宗教と社会	2	外国語学部	(コーディネータ) 伊達 聖 伸		輪講, [120名], 旧「ヨーロッパ社会文化論」, 「ヨーロッパの宗教・社会・文化」
(隔) INTRODUCTION TO EUROPEAN STUDIES	2	英語学科			2015年度まで
(隔) ヨーロッパ政治経済入門	2	ドイツ語学科	河 崎 健		(休講), 注1, 旧「ヨーロッパ政治論1」
(隔) ヨーロッパ言語社会論	2	ドイツ語学科	木村 護郎クリストフ		[200名], 注1, 旧「ヨーロッパ言語社会論1」
(隔) ヨーロッパの芸術と文化	2	外国語学部			(休講), 輪講, 注1, 旧「ヨーロッパの芸術」
中東欧地域研究入門	2	ロシア語学科	*末 澤 恵 美		注1
ヨーロッパ世界とキリスト教	2	外国語学部			2010年度のみ

[共通科目]

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(隔)(重)ヨーロッパ政治経済論	2	ドイツ語学科	河 崎 健		[200名], 旧「ヨーロッパ政治論2」
ヨーロッパ統合の政治と経済	2	フランス語学科			2013年度まで
EUの現在と過去	2	フランス語学科	*若 林 広		
フランス文化研究C-2 (フランスとヨーロッパ)	2	フランス語学科			2013年度まで
(隔)(重)ヨーロッパの社会と言語A	2	ドイツ語学科	木村 護郎クリストフ		(休講), 旧「ヨーロッパ言語社会論3」
ヨーロッパの社会と言語B	2	フランス語学科	*石 部 尚 登		[80名], 旧「ヨーロッパ言語社会論4」
(隔)(重)ドイツ語圏の社会と言語	2	ドイツ語学科	木村 護郎クリストフ		(休講)
フランス語圏の社会と言語	2	フランス語学科	*古 石 篤 子		旧「ヨーロッパ言語社会論2」
(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係B-2	2	ロシア語学科			2015年度まで
(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	ロシア語学科	*中 馬 瑞 貴		旧「ロシア・ユーラシアの国際関係B-1」「同B-2」
(隔) ロシア・ユーラシアの経済A-1	2	ロシア語学科			2015年度まで
ロシア・ユーラシア経済概論	2	ロシア語学科	安 達 祐 子		旧「ロシア・ユーラシアの経済A-1」「同A-2」
ポップカルチャー論	2	ポルトガル語学科	NEVES Mauro	○	[100名]

学
部
共
通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
門
語
分
野
学
専
門
語
分
野
系
専
門
語
分
野
系
専
門
語
分
野
系
専
門
語
分
野
系
専
門
語
分
野
系

[中心科目]

I. 文化・文学

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
西洋美術史	2	史学科	未定		
(隔) 西洋美術概論 I (SURVEY OF WESTERN ART 1)	4	国際教養学部	林 道 郎	○	
(隔) 西洋美術概論 II (SURVEY OF WESTERN ART 2)	4	国際教養学部	林 道 郎	○	
シェイクスピア入門	4	英語学科	東 郷 公 徳		[200名],旧「英国研究入門」
シェイクスピア演劇A	4	英語学科			2015年度まで,旧「英国演劇」
(重) シェイクスピア演劇B	4	英語学科			2015年度まで,旧「英国研究A」
シェイクスピア演劇	2	英語学科	東 郷 公 徳		[50名]
(隔)(重)BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	英語学科	小 川 公 代	○	[80名],旧「英国研究B」, 旧「英国研究B-I」, 旧「British Society and Literature 1」
(隔)(重)BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	英語学科	小 川 公 代	○	[80名],旧「英国研究B」, 旧「英国研究B-II」, 旧「British Society and Literature 2」
EUROPEAN CINEMA 1	2	英語学科	WILLIAMS John	○	[50名],旧「Contemporary European Cinema」
(隔)(重)EUROPEAN CINEMA 2	2	英語学科	WILLIAMS John	○	[50名],旧「Contemporary European Cinema」
(隔) アイルランド研究A	2	英語学科	小 山 英 之		[100名],旧「アイルランド研究1」
(隔) アイルランド研究B	2	英語学科	小 山 英 之		(休講),旧「アイルランド研究2」
オーストリア文化史1	2	ドイツ語学科		○	2015年度まで
オーストリア文化史2	2	ドイツ語学科		○	2015年度まで

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
オーストリア文化史	2	ドイツ語学科	CONSTANTINESCU Cezar	○	旧「オーストリア文化史1」「同2」
ドイツ音楽1	2	ドイツ語学科			2015年度まで
ドイツ音楽2	2	ドイツ語学科			2015年度まで
ドイツ音楽	2	ドイツ語学科	*横山 淳子		[150名], 旧「ドイツ音楽1」「同2」
ドイツ語圏美術	2	ドイツ語学科	*水野 真紀子		旧「ドイツ語圏研究特講」
フランス近代芸術の歴史と理論	2	フランス語学科	*松浦 寿夫		[60名], 旧「フランス文化研究A-1(近代芸術の歴史と理論)」
フランス文化研究F-1(フランスのシャンソン)	2	フランス語学科			2013年度まで
西・西米文学史1	2	イスパニア語学科			2014年度まで
西・西米文学特講	2	イスパニア語学科	吉川 恵美子		
(隔) 西美術史A-1	2	イスパニア語学科			2015年度まで, 旧「西・西米美術史A-1」
(隔) 西美術史A-2	2	イスパニア語学科			2015年度まで, 旧「西・西米美術史A-2」
(隔) 西美術史B-1	2	イスパニア語学科			2015年度まで, 旧「西・西米美術史B-1」
(隔) 西美術史B-2	2	イスパニア語学科			2015年度まで, 旧「西・西米美術史B-2」
西美術史概論	2	イスパニア語学科	松原 典子		(休講), 旧「西・西米美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」「西美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」
(隔)(重)西美術史特論	2	イスパニア語学科	松原 典子		(休講)
イスパニア語圏研究入門	2	イスパニア語学科	コ)内村 俊太		輪講, 注2
ロシア・ユーラシア文化入門1	2	ロシア語学科	原 求 作		旧「ロシア文化入門1」
ロシア・ユーラシア文化入門2	2	ロシア語学科	原 求 作		旧「ロシア文化入門2」
(隔) ロシア演劇A-1	2	ロシア語学科			2015年度まで
(隔) ロシア演劇A	2	ロシア語学科	村田 真一		(休講), 旧「ロシア演劇A-1」「同A-2」
(隔) ロシア演劇B-1	2	ロシア語学科	村田 真一		
欧州ボ語	2	ポルトガル語学科	*REIS GOMES Paula	○	[50名]
ポルトガル文学	2	ポルトガル語学科	*内藤 理佳		
ポルトガルの文化と社会	2	ポルトガル語学科	*REIS GOMES Paula	○	[50名]

II. 歴史・思想

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(隔) ヨーロッパ現代史 (HISTORY OF MODERN EUROPE)	4	国際教養学部		○	2013年度まで
ヨーロッパ思想	2	ドイツ語学科	*石田 安実		
ドイツ近現代史1	2	ドイツ語学科			2015年度まで
ドイツ近現代史2	2	ドイツ語学科			2015年度まで
ドイツ近現代史	2	ドイツ語学科	*尾崎 修治		旧「ドイツ近現代史1」「同2」
フランス語圏の歴史研究1	2	フランス語学科			2015年度まで, 旧「フランス史研究1」

学部共通
英
語
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
ロシア語
ポルトガル語
専門語分野学
専国際分野係
専アジア文化
専ヨーロッパ
専アラビア分野カ

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
フランス語圏の歴史研究2	2	フランス語学科			2015年度まで, 旧「フランス史研究2」
(隔)(重)フランス語圏の歴史研究	2	フランス語学科	高橋 暁生		
フランス近現代史研究	2	フランス語学科	高橋 暁生		
(重) フランス哲学の会話	2	フランス語学科	COUCHOT Hervé	○	
(隔) フランスの文学と思想1	2	フランス語学科		○	2016年度まで
フランスの文学と思想2	2	フランス語学科			2016年度まで
西概史	2	イスパニア語学科	内村 俊太		注3
(隔) イベリア半島の社会と言語A	2	イスパニア語学科		○	2016年度まで, 旧「西語史A」
(隔)(重)西史特講A	2	イスパニア語学科	内村 俊太		
(隔) 西史特講B	2	イスパニア語学科	内村 俊太		(休講)
近現代スペイン研究	2	イスパニア語学科	*加藤 伸吾		
ポルトガル語圏アフリカ史	2	ポルトガル語学科	矢澤 達宏		注4, 旧「ポルトガル語圏の歴史A」
ポルトガル史	2	ポルトガル語学科	*荻野 恵		注4, 旧「ポルトガル語圏の歴史B」
(隔) 近現代ポルトガル研究	2	ポルトガル語学科	市之瀬 敦		(休講), 旧「ポルトガル語圏研究特講B」

Ⅲ. 社会・政治・経済

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 1	2			○	2015年度まで, 旧「Special Topics in Globalization 1」
INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 2	2			○	2015年度まで, 旧「Special Topics in Globalization 2」
(重) 英国地理1	2	英語学科			2013年度まで
(重) 英国地理2	2	英語学科			2013年度まで
(隔) ドイツ政治研究1	2	ドイツ語学科			2015年度まで
(隔) ドイツ政治研究2	2	ドイツ語学科			2015年度まで
(隔)(重)ドイツ政治研究	2	ドイツ語学科	河崎 健		(休講), 旧「ドイツ政治研究1」「同2」
EU—法と社会	2	ドイツ語学科	*吉田 元子		旧「EU法」
スイス社会事情	2	ドイツ語学科	*KARRER Thomas	○	旧「スイス事情1」
スイス事情2	2	ドイツ語学科		○	2013年度まで
国際関係論A (フランスとEU)	2	フランス語学科			2015年度まで, 旧「フランス文化研究B-1 (フランス政治研究)」
国際関係論B (フランスとEU)	2	フランス語学科			2015年度まで, 旧「フランス文化研究B-2 (国際関係論—フランスとEU—)」
現代フランス社会研究1	2	フランス語学科		○	2016年度まで
(隔) 現代フランス社会研究2	2	フランス語学科		○	2016年度まで
(隔) フランス語圏宗教研究概論	2	フランス語学科	伊達 聖伸		(休講)
(隔)(重)フランス語圏宗教研究特論	2	フランス語学科	伊達 聖伸		
(隔) フランス宗教社会学	2	フランス語学科	伊達 聖伸		
(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係A-2	2	ロシア語学科			2015年度まで
(隔) ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	ロシア語学科			(休講), 旧「ロシア・ユーラシアの国際関係A-1」「同A-2」

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(隔) ロシア政治・外交A-2	2	ロシア語学科	上野俊彦		
(隔) ロシア政治・外交B-2	2	ロシア語学科			2015年度まで
(隔) ロシア政治・外交B	2	ロシア語学科	上野俊彦		(休講),旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」
(隔) ヨーロッパ環境法	2	法学部	*奥真美		
多言語社会としての日本とドイツ	2	ドイツ語学科	COULMAS Florian	○	海外招聘客員教員担当科目

【演習科目】

I. 文化・文学

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(重) 演習 (英文学) 1	2	英語学科	東郷公德		
(重) 演習 (英文学) 2	2	英語学科	東郷公德		
(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 1	2	英語学科	WILLIAMS John	○	
(重) SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 2	2	英語学科	WILLIAMS John	○	
(重) 演習 (イギリス文化・文学研究) 1	2	英語学科	小川公代		旧「演習 (イギリス文化・文学研究1)」
(重) 演習 (イギリス文化・文学研究) 2	2	英語学科	小川公代		旧「演習 (イギリス文化・文学研究2)」
(重) 演習 (現代ドイツ文化論) 1	2	ドイツ語学科	オプヒュルス魏島 ライノルト		(休講)
(重) 演習 (現代ドイツ文化論) 2	2	ドイツ語学科	オプヒュルス魏島 ライノルト		
(重) 演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 1	2	フランス語学科	原田早苗		(休講)
(重) 演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 2	2	フランス語学科	原田早苗		(休講)
(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 1	2	フランス語学科	福崎裕子		
(重) 演習 (通訳とフランス文化理解) 2	2	フランス語学科	福崎裕子		
(重) 演習 (西美術) 1	2	イスパニア語学科	松原典子		(休講)
(重) 演習 (西美術) 2	2	イスパニア語学科	松原典子		(休講)
(重) 演習 (西・西米演劇研究) 1	2	イスパニア語学科	吉川恵美子		旧「演習 (西・西米演劇1)」
(重) 演習 (西・西米演劇研究) 2	2	イスパニア語学科	吉川恵美子		旧「演習 (西・西米演劇2)」
(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	ポルトガル語学科	市之瀬 敦		(休講)
(重) 演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	ポルトガル語学科	市之瀬 敦		(休講)
(重) 演習 (ポップカルチャー研究) 1	2	ポルトガル語学科	NEVES Mauro		旧「演習(ポップカルチャー1)」
(重) 演習 (ポップカルチャー研究) 2	2	ポルトガル語学科	NEVES Mauro		旧「演習(ポップカルチャー2)」

II. 歴史・思想

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(重) 演習 (ドイツ思想) 1	2	ドイツ語学科	浅見昇吾		
(重) 演習 (ドイツ思想) 2	2	ドイツ語学科	浅見昇吾		
(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 1	2	フランス語学科	高橋暁生		
(重) 演習 (フランス語圏の歴史) 2	2	フランス語学科	高橋暁生		
(重) 演習 (フランス近代思想・文化) 1	2	フランス語学科			2016年度まで

学部共通
英
語
ド
イ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
ス
パ
ニ
ア
語
ロ
シ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
専
門
語
分
野
学
専
門
際
分
野
係
専
門
ア
ジ
ア
分
野
文
化
専
門
ヨ
ー
ロ
ッ
パ
分
野
専
門
アラ
ブ
分
野
カン

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(重) 演習 (フランス近代思想・文化) 2	2	フランス語学科			2016年度まで
(重) 演習 (日々の哲学: フランス哲学入門) 1	2	フランス語学科	COUCHOT Hervé	○	
(重) 演習 (日々の哲学: フランス哲学入門) 2	2	フランス語学科	COUCHOT Hervé	○	
(重) 演習 (西史) 1	2	イスパニア語学科	内村 俊太		
(重) 演習 (西史) 2	2	イスパニア語学科	内村 俊太		

Ⅲ. 社会・政治

科目名	単位	開講元	担当教員	外国語	備考
(重) SEMINAR (INTERNATIONAL LOVE-HATE RELATIONS) 1	2	外国語学部		○	2015年度まで, 旧「Seminar (Global Politics) 1」
(重) SEMINAR (INTERNATIONAL LOVE-HATE RELATIONS) 2	2	外国語学部		○	2015年度まで, 旧「Seminar (Global Politics) 2」
(重) SÉMINAIRE (APPRENDRE LE MONDE EN FRANÇAIS)	2	外国語学部		○	2015年度まで, 旧「Séminaire (Études Sur Les Relations Internationales)」
(重) 演習 (日独社会研究) 1	2	ドイツ語学科	木村 護郎クリストフ		旧「演習 (ドイツ社会研究) 1」
(重) 演習 (日独社会研究) 2	2	ドイツ語学科	木村 護郎クリストフ	○	旧「演習 (ドイツ社会研究) 2」
(重) 演習 (日独比較政治) 1	2	ドイツ語学科	河崎 健		旧「演習 (日本とドイツの政治) 1」
(重) 演習 (日独比較政治) 2	2	ドイツ語学科	河崎 健		旧「演習 (日本とドイツの政治) 2」
(重) 演習 (フランス宗教学) 1	2	フランス語学科	伊達 聖 伸		
(重) 演習 (フランス宗教学) 2	2	フランス語学科	伊達 聖 伸		
(重) 演習 (フランス社会) 1	2	フランス語学科		○	2016年度まで
(重) 演習 (フランス社会) 2	2	フランス語学科		○	2016年度まで
(重) 演習 (ロシア政治・外交) 1	2	ロシア語学科	上野 俊彦		
(重) 演習 (ロシア政治・外交) 2	2	ロシア語学科	上野 俊彦		

注1: 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

注2: この科目の開講曜日・時限については, Loyolaの「イスパニア語学科」の時間割表を参照すること。

注3: この科目の開講曜日・時限については, イスパニア語学科生はLoyolaの「イスパニア語学科」の時間割表を, 他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注4: この科目の開講曜日・時限については, ポルトガル語学科生はLoyolaの「ポルトガル語学科」の時間割表を, 他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

【卒業論文・卒業研究】

科目名	単位	開講元	外国語	備考
卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	※備考欄参照		指導教員のいる学科に登録すること
卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	※備考欄参照		指導教員のいる学科に登録すること

※科目コード, 開講期, 担当者等の詳細は開講元の「開講科目担当表」を参照すること。

ラテンアメリカ研究専門分野

本専門分野は、イスパニア語学科およびポルトガル語学科所属の学生を対象とするもので、以下の視点をもってラテンアメリカ地域について研究することを主たる目的としている。

- * ラテンアメリカ地域全域に関わる事象
- * 複数の国にまたがるサブリージョン（亜地域）の事象
- * ラテンアメリカ地域の国ないしはサブリージョン間の諸関係、比較に関わる事象

履修上の注意

- * 外国語学部の説明p.456～460と合わせて読むこと。
- * 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.457に解説があるので参照すること。

① 履修証明取得に必要な単位と科目

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	26単位

〔研究科目は各専門分野が指定する
講義科目、演習科目はゼミ形式の科目〕

- * 本専門分野の指定科目は下記の一覧に掲載されたものである。科目の詳細および使用言語については提供学科のページおよび講義概要を見ること。
- * 研究科目16単位のうち4単位は「研究入門科目」の単位で充当しなければならない。
- * イスパニア語学科の学生は「ポルトガル語圏アフリカ史」（旧「ポルトガル語圏の歴史A」（2単位））、ポルトガル語学科の学生は「西・西米文化入門2」（2011年度からは「イスパニア語圏研究入門」（2単位））を履修しなければならない。これらの科目をラテンアメリカ研究として履修する場合は、各学科が指定する「履修年次」に拘束されないが、できるだけ早く履修すること。

② 時間割表について

ラテンアメリカ研究専門分野に関する開講科目については、Loyolaの各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

③ 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.457～458を読むこと。

卒業論文・卒業研究を履修する学生はLoyolaにて指導教員のいる学科に履修登録をする。登録している学科の卒業論文・卒業研究についての説明も参照すること。さらにこの履修登録とは別に、卒業論文・卒業研究作成届（各学科所定）を登録した学科と自分の所属する学科の両方に提出すること。

留学を予定している学生で卒業論文・卒業研究の履修を希望する学生は、留学前に上記の届け出を行い、帰国後最初の履修登録期間に履修登録すること。

ラテンアメリカ研究専門分野科目名リスト

【研究科目】

【研究入門科目】

科目名	単位	開講元	外国語	備考
イスパニア語圏研究入門	2	イスパニア語学科		注1
西・西米文化入門1	2	イスパニア語学科		2010年度まで
西・西米文化入門2	2	イスパニア語学科		2010年度まで
ポルトガル語圏アフリカ史	2	ポルトガル語学科		注2, 旧「ポルトガル語圏の歴史A」
ラテンアメリカ地域研究入門	2	イスパニア語学科		注3, 注6

【基礎科目】

科目名	単位	開講元	外国語	備考
イスパニア語圏社会文化概論	2	イスパニア語学科	○	
ラ米経済概論	2	イスパニア語学科		

科目名	単位	開講元	外国語	備考
ラ米政治社会概論1	2	イスパニア語学科		2015年度まで
ラ米政治社会概論2	2	イスパニア語学科		2015年度まで
ラ米現代史概論	2	イスパニア語学科		注3
西米先住民研究概論	2	イスパニア語学科		2011年度まで
ラ米産業論A	2	ポルトガル語学科		2014年度まで
ラ米産業論B	2	ポルトガル語学科		2014年度まで
ラ米産業論	2	ポルトガル語学科		
ポップカルチャー論	2	ポルトガル語学科	○	[100名]

[中心科目]

科目名	単位	開講元	外国語	備考
(隔) (重) イスパニア語圏社会文化特論	2	イスパニア語学科	○	
(隔) イベリア半島の社会と言語A	2	イスパニア語学科	○	2016年度まで,旧「西語史A」
(隔) イベリア半島の社会と言語B	2	イスパニア語学科	○	2016年度まで,旧「西語史B」
(隔) カリブ地域文化論	2	イスパニア語学科		
(隔) 西語史B	2	イスパニア語学科		2013年度まで
西米概史	2	イスパニア語学科		注4, 注5
ラ米先住民の歴史と社会	2	イスパニア語学科		
(隔) 西米美術特講	2	イスパニア語学科		2016年度まで
(隔) ラテンアメリカ 音楽と社会	2	イスパニア語学科		(休講)
西・西米文学史2	2	イスパニア語学科		2014年度まで
西・西米文学特講	2	イスパニア語学科		
(隔) ラ米経済特論A	2	イスパニア語学科		2015年度まで
(隔) ラ米経済特論B	2	イスパニア語学科		2015年度まで
(隔) (重) ラ米経済特論	2	イスパニア語学科		
(重) ラ米政治社会特論	2	イスパニア語学科		
(隔) ラ米文学特講	2	イスパニア語学科		
(重) 日本・ラテンアメリカ比較演習 (比較文学)	2	イスパニア語学科	○	本科目は演習科目ではないので注意すること
(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ比較演習 (経済発展)	2	イスパニア語学科	○	本科目は演習科目ではないので注意すること
(隔) (重) 日本・ラテンアメリカ比較演習 (社会開発と社会運動)	2	イスパニア語学科	○	(休講),本科目は演習科目ではないので注意すること
(重) 日本・ラテンアメリカ比較演習 (日本とブラジルの経済)	2	ポルトガル語学科	○	本科目は演習科目ではないので注意すること
日本・ラテンアメリカ比較演習 (在日ブラジル人教育事情)	2	ポルトガル語学科	○	本科目は演習科目ではないので注意すること, 旧「在日ブラジル人教育事情」
ブラジル社会論	2	ポルトガル語学科		2010年度まで
ブラジル社会論1	2	ポルトガル語学科		2016年度まで
ブラジル社会論2	2	ポルトガル語学科		2015年度まで
ブラジル社会概論	2	ポルトガル語学科		
ブラジル経済論	2	ポルトガル語学科		
ブラジル政治論	2	ポルトガル語学科		2015年度まで
ブラジル政治概論	2	ポルトガル語学科		旧「ブラジル政治論」
ブラジルの教育と開発	2	ポルトガル語学科		2015年度まで
(隔) 特講ブラジル社会開発論	2	ポルトガル語学科		旧「ブラジルの教育と開発」
ブラジル対外関係論	2	ポルトガル語学科		2015年度まで
ブラジル文学	2	ポルトガル語学科		

科目名	単位	開講元	外国語	備考
(隔) ブラジル現代文学特講	2	ポルトガル語学科		(休講)
ブラジルの社会運動	2	ポルトガル語学科		2016年度まで
ブラジル社会開発協力	2	ポルトガル語学科		[80名]
ブラジル史	2	ポルトガル語学科		注2, 注4, 旧「ポルトガル語圏の歴史C」
アジアとポルトガル語圏	2	ポルトガル語学科		注2, 旧「ポルトガル語圏の歴史D」
現代ブラジル国際関係研究	2	ポルトガル語学科		2015年度まで, 旧「ポルトガル語圏研究特講A」
(隔) 特講現代ブラジル国際関係	2	ポルトガル語学科		旧「現代ブラジル国際関係研究」
(隔) ポルトガル語圏研究特講C	2	ポルトガル語学科		2013年度まで
ブラジル国際労働力移動論	2	ポルトガル語学科		2013年度まで
(隔) ポルトガル語圏研究特講D	2	ポルトガル語学科		2013年度まで
(隔) 現代アフリカ研究特講 (重)	2	ポルトガル語学科		(休講), 旧「ポルトガル語圏研究特講D」
アフロ・ブラジル文化論	2	ポルトガル語学科		
グローバリゼーションにおけるブラジルの政治経済	2	ポルトガル語学科	○	海外招聘客員教員担当科目
現代ラテンアメリカにおける政治経済発展	2	ポルトガル語学科	○	海外招聘客員教員担当科目
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	2	グローバル教育センター		2015年度まで, 旧「グローバリゼーション特講1」
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 2	2	グローバル教育センター		2015年度まで, 旧「グローバリゼーション特講2」

注1: この科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「イスパニア語学科」の時間割表を参照すること。

注2: この科目の開講曜日・時限については、ポルトガル語学科生はLoyolaの「ポルトガル語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注3: 外国語学部生と総合グローバル学部生のみ履修可。

注4: 外国語学部生と総合グローバル学部生、史学科生のみ履修可。

注5: この科目の開講曜日・時限・登録コードについて、イスパニア語学科生はLoyolaの「イスパニア語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。

注6: この科目の開講科目担当表は、ラテンアメリカ研究コースの開講科目担当表 p.418 を参照すること。

【演習科目】

科目名	単位	開講元	外国語	備考
(重) 演習 (イスパニア語圏社会文化)1	2	イスパニア語学科	○	
(重) 演習 (イスパニア語圏社会文化)2	2	イスパニア語学科	○	
(重) 演習 (ラ米社会研究)1	2	イスパニア語学科		旧「演習 (ラ米社会1)」
(重) 演習 (ラ米社会研究)2	2	イスパニア語学科		旧「演習 (ラ米社会2)」
(重) 演習 (ラ米経済研究)1	2	イスパニア語学科		旧「演習 (ラ米経済1)」
(重) 演習 (ラ米経済研究)2	2	イスパニア語学科		旧「演習 (ラ米経済2)」
(重) 演習 (西米文学研究)1	2	イスパニア語学科	○	旧「演習 (西・西米文学1)」
(重) 演習 (西米文学研究)2	2	イスパニア語学科	○	旧「演習 (西・西米文学2)」
(重) 演習 (西・西米演劇研究)1	2	イスパニア語学科		旧「演習 (西・西米演劇1)」
(重) 演習 (西・西米演劇研究)2	2	イスパニア語学科		旧「演習 (西・西米演劇2)」
(重) 演習 (ブラジル政治経済研究)1	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (政治経済研究1)」
(重) 演習 (ブラジル政治経済研究)2	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (政治経済研究2)」
(重) 演習 (ポップカルチャー研究)1	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (ポップカルチャー1)」
(重) 演習 (ポップカルチャー研究)2	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (ポップカルチャー2)」

科目名	単位	開講元	外国語	備考
(重) 演習 (ブラジル文学研究)1	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (文学研究1)」
(重) 演習 (ブラジル文学研究)2	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (文学研究2)」
(重) 演習 (ブラジル社会研究)1	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (開発協力研究1)」
(重) 演習 (ブラジル社会研究)2	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (開発協力研究2)」
(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究)1	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (アフロ・ブラジル研究1)」
(重) 演習 (アフロ・ブラジル研究)2	2	ポルトガル語学科		旧「演習 (アフロ・ブラジル研究2)」
(重) 演習 (アメリカ先住民研究)1	2	外国語学部		2015年度まで
(重) 演習 (アメリカ先住民研究)2	2	外国語学部		2015年度まで

【卒業論文・卒業研究】

科目名	単位	開講元	外国語	備考
卒業論文・卒業研究I	3	※備考欄参照		指導教員のいる学科に登録すること
卒業論文・卒業研究II	3	※備考欄参照		指導教員のいる学科に登録すること

※：科目コード，開講期，担当者等の詳細は開講元の「開講科目担当表」を参照すること。

8 総合グローバル学部

〔教育研究上の目的〕

国際関係論と地域研究の二つに大別された科目群の双方を体系的に履修することで、1) グローバリティの理解、2) ローカリティの理解、3) 複言語（英語、地域言語）の運用能力、4) 倫理観に裏付けられた交渉能力を習得させる。

〔人材養成の目的〕

グローバル化の正負の側面に対処して、世界の人々が共に歩む共生社会の構築に貢献しようとする人材（国際的公共知識人）を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、グローバル化の進行する現代にあって、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向け、国際的公共知識人たることを目指す学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 安全保障、紛争、貧困、開発、移民、難民、地球環境などに関心を持ち、それらがなぜグローバルに解決を要する問題であるか説明する能力
2. グローバル・スタディーズを支える国際関係論と地域研究の考え方や理論の全体像を理解し、双方の視点を組み合わせる能力
3. グローバル化の正負の側面について、具体的な事例に即し、基礎的な理論と実証的な方法を用いて分析を行い、問題解決の方法を構想する能力
4. 国際政治論と市民社会・国際協力論のうち1領域、アジア研究と中東・アフリカ研究（ないしその他の地域の研究）のうち1領域を専門として選択し、2領域を組み合わせた主題を設定し、調べる能力
5. 世界の諸地域に生活する多様な他者と対話し、共存する社会の形成に向けて、協力して問題解決に当たる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. グローバル・スタディーズと、これを支える国際関係論および地域研究の基礎について講義を通じて学び、基幹となる理論と方法を修得させると共に、研究の基礎的な技能と姿勢を身につけさせる。

【100 番台科目】

2. 国際政治や経済の動態を把握し、国際協力や市民社会のメカニズムについて講義を通じて学び、専門の選択に備える。

【200 番台科目】

3. アジア、中東、アフリカ等について、歴史、文化、政治、経済他の諸側面から講義を通じて学び、専門の選択に備える。

【200 番台科目】

4. 国際政治論、市民社会・国際協力論から1領域、アジア研究、中東・アフリカ研究等から1領域を専門とし、講義等を通じてグローバルな問題の解決策を構想し、実践する力を養う。

【300, 400 番台講義科目】

5. グローバル化の諸問題について、個別の課題を主体的に設定し、その研究成果を論文等の明確な形にして示す。
【200 番台自主研究, 400 番台演習, 400 番台卒業論文・研究等】
6. 少人数の演習を通して、議論によって相互の理解を深め、各自の課題研究を支えあう姿勢を身に付けさせる。
【100 番台基礎演習, 400 番台演習】
7. 英語で講義される科目の受講などを通じて、国際共通語である英語の力を高めると共に、英語以外の外国語修得を心がけて複言語能力を獲得させる。
【200 番台以降の講義科目】

総合グローバル学科

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

14年次生以降

〈全学共通科目〉	26単位	必修	2単位 [体育2単位]
		選択必修	4単位 [キリスト教人間学]
		選択	20単位
〈語学科目〉	4単位	必修	4単位
〈学科科目〉	94単位	必修	8単位
		選択必修	52単位から60単位
		選択	26単位から34単位
合 計	124単位		

2. メジャー領域，サブメジャー（マイナー）領域について

専攻分野は以下のとおり国際関係論系の2領域と地域研究系の2領域がある。学生は下記の領域のうち、いずれかを「メジャー領域」として選び、もう一つの系から「サブメジャー領域」または「マイナー領域」を選択する。

国際関係論系：「国際政治論」領域 / 「市民社会・国際協力論」領域

地域研究系：「アジア研究」領域 / 「中東・アフリカ研究」領域

※組み合わせ例) メジャー → 「国際政治論」領域（国際関係論系）
サブメジャーまたはマイナー → 「中東・アフリカ研究」領域（地域研究系）

なお、サブメジャー、マイナーとして地域研究系の領域を選択する場合は、アジア研究、中東・アフリカ研究以外に、外国語学部の北米研究コース、ヨーロッパ研究コース、ラテンアメリカ研究コース、ロシア・ユーラシア研究コースのいずれかを充てることもできる。

3. 学位記等へ専攻分野の記載について

- ① 選択したメジャー領域により「学士（国際関係論）」または「学士（地域研究）」の学位を授与する。
- ② 専攻分野の名称は学位記，卒業証明書および成績証明書に記載される。
- ③ 選択したメジャー領域およびサブメジャー（マイナー）領域については成績証明書に記載される。

4. 標準配当表

14年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ (2014～2017年次生のみ) 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※ 語学科目は8単位まで卒業要件に充当できる(注1)						

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

注1: 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.170～を参照。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (8単位)	100シリーズ グローバル・スタ ディーズ入門	2					
		国際関係論入門	2					
		地域研究入門	2					
		グローバル・スタ ディーズ基礎演習	2					
		200シリーズ グローバル研究共通科目群		6				
	国際関係論共通科目群		4					
選択必修科目 (52～60単位)	地域研究共通科目群		4					
	メジャー、マイナーを選択の場合		300シリーズ、400シリーズの講義科目から28単位 (メジャー領域より18単位、マイナー領域より10単位)		演習8単位		卒業論文・卒業研究6 単位 または専門論 文・専門研究2単位	38 又は 42 (注1)
選択科目 (26～34単位)	メジャー、サブメジャーを選択の場合		300シリーズ、400シリーズの講義科目から32単位 (メジャー領域より18単位、サブメジャー領域より14単位)		演習8単位		卒業論文・卒業研究6 単位 または専門論 文・専門研究2単位	42 又は 46 (注2)
	① 本学科開講科目、② 外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目(実習を除く)、 ③ 上記②以外の他学部・他学科の学科科目は8単位まで卒業単位に充当できる。						26 ～ 34 (注3)	

注1: 卒業論文・卒業研究を履修した者は42単位、専門論文・専門研究を履修した者は38単位となる。

注2: 卒業論文・卒業研究を履修した者は46単位、専門論文・専門研究を履修した者は42単位となる。

注3: 選択科目における必要単位数は以下の通りである。

メジャー、マイナーを選択し、卒業論文・卒業研究を履修する者 30単位

メジャー、マイナーを選択し、専門論文・専門研究を履修する者 34単位

メジャー、サブメジャーを選択し、卒業論文・卒業研究を履修する者 26単位

メジャー、サブメジャーを選択し、専門論文・専門研究を履修する者 30単位

5. 履修上の注意

① 語学科目について

(1) 英語の履修について

語学科目の英語（必修）については、履修要覧（共通編）p.163～を参照すること。

英語の高い運用能力を求める本学科においては、必修の4単位に加えて英語で行われる全学共通科目などを、1年次から積極的に履修することを推奨する。

(2) 英語以外の言語の履修について

メジャー、サブメジャー・マイナーとして選択した領域にかかわらず、英語以外の言語を履修することを強く推奨する。

② 学科学目について

(1) メジャー、サブメジャー・マイナーの選択について

メジャーとして選んだ領域の科目群（学部専門科目および学部応用科目）から最低18単位、サブメジャーまたはマイナーとして選んだ領域の科目群からサブメジャーの場合は最低14単位、マイナーの場合は最低10単位を取得する必要がある。メジャー、サブメジャー・マイナーの申請時期は、2年次の11月とする。

【申請・登録】

ア. 2年次11月に希望する演習（第8希望まで）とともにメジャー領域およびマイナー領域を、Loyolaで申請する。

イ. 単位取得状況に応じて在学最終年度春学期履修登録期間前にマイナーからサブメジャーに変更することができる。ただし、卒業要件も変わることになるので注意すること。

ウ. メジャー領域は、演習申請後に決定した演習の領域と同一になる。演習の申請から決定までの流れについては(6)で説明する。

エ. マイナー領域から選択した演習に決定した場合は申請したメジャー領域がマイナー領域となる。

オ. 決定したメジャー領域およびマイナー領域は、3年次春学期履修登録期間前までに、学事センターが確定登録し、これにより各学生の卒業要件も確定する。

【変更】

ア. メジャー領域の変更は、相当な理由がある場合のみ学部教授会の決定を経たうえで、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、3年次の演習指導教員および4年次に予定する演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前に学部事務室に提出しなければならない。

イ. メジャー領域の変更前に修得した演習の単位は卒業に必要な単位（学科選択科目に充当）となるが、学科選択必修科目としての演習8単位分には数えられない。したがって変更後のメジャー領域から2学年度にわたって演習8単位を修得するか、または1学年度に変更後のメジャー領域から演習2科目を同時履修すること。

ウ. マイナーからサブメジャーへの変更及びマイナー領域の変更は、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前に学部事務室に提出すること。

(2) 外国語学部の4研究コースのうち、マイナー（サブメジャー）領域科目として指定する科目について：

ア. マイナー（サブメジャー）領域に該当する科目は学部が指定したものに限る。

イ. 指定科目は「2018FGSハンドブック」参照のこと。

(3) 履修年次について：標準配当表および開講科目担当表に記載の履修年次を遵守すること。1年次生は300、400シリーズの科目を履修できない。

(4) グローバル・スタディーズ基礎演習について：各自が所属するクラスはあらかじめ指定される。

(5) 自主研究について：2年次から4年次のどの段階でも各学期2単位、通算では最大12単位履修できる。

【登録】

ア. 履修を希望する者は研究を実施する前学期中に指導教員と面談し、研究計画について許可を得ること。

イ. 所定の申請書に指導教員の押印を受け、実施学期履修登録期間内に学部事務室に提出すること。

ウ. 各学期の履修登録期間中にLoyolaで履修登録を行うこと。

エ. 本科目は指導教員ごとに登録コードが異なるため、履修登録の際は自身の指導教員の登録コードで登録すること。

(6) 演習について：

ア. 総合グローバル学部生は原則として同一教員の演習を3年次より2年間続けて履修しなければならない。ただし、教員の特別研修及び退職などにより同一教員の演習を履修できない場合がある。この場合、他の教員の演習を履修する等の措置を講ずる。

イ. 演習には定員が設けられ、選考が行われる場合があるので、2年次9月末に開催される学科集會に必ず出席して説明を受けること。

【Loyola での申請・登録】

ア. 申請期間等は下記のとおりである。

期間・時間：2018年11月6日（火）0：00～11月8日（木）23：59

イ. 希望する演習を希望するメジャー領域から5つおよびマイナー領域から3つ選択し、希望順位を付け、申請すること。順位は領域を跨っても良い。ただし、メジャー領域が「国際政治論」または「市民社会・国際協力論」で、マイナー領域が外国語学部4研究コースを選択した者は、「アジア研究」または「中東・アフリカ研究」のいずれかを『第2マイナー領域』（ゼミ申請時に限って使用する語句）として選択し、その領域から3つの演習を選択すること。

ウ. 自身の研究課題（40字以内）および、その詳細説明（400字～600字）を入力すること。

エ. 選考があった場合には、研究課題、科目履修状況、成績などの総合的判断にもとづいて行われる。

オ. 決定した演習を、3年次春の履修登録期間中に忘れずに登録すること。

カ. 演習の履修中止（W）を行う場合は事前に学科長の承認を得ること。

キ. 各演習の1学年の定員は11名、これに加えて外国語学部より3人を上限に受け入れる。外国語学部以外の他学部生の履修は原則として認められない。

【変更】

ア. 演習の変更はメジャー領域の変更を認められた者、および相当の理由のある場合のみ最終在学年度の春学期履修登録期間前に一度だけ認められる。なお、相当の理由のある場合の演習の変更は、同一メジャー領域内のみ認められる。

イ. 変更希望者は、所定の申請書に3年次演習の指導教員および4年次に予定する演習の指導教員2名の承認を受けて、最終在学年度の春学期履修登録期間約1ヶ月前に学部事務室に提出すること。

【特例措置】

ア. 留学、早期卒業、メジャー領域の変更等特段の事情がある場合は2つの演習を同一学期に履修することを認める場合がある（事前に学科長の承認が必要）。留学および早期卒業の場合は「メジャー領域から2つ」または「メジャー領域から1つ、マイナー領域から1つ」の演習を履修するものとし、メジャー領域変更の場合は「変更後のメジャー領域から2つ」の演習を履修するものとする。ただし、履修中止は原則として認めない。

イ. 留学出発前に演習2科目を同時履修した者が留学を取り消した場合、3・4年次全学期にわたり演習を履修しなければならない。この時、8単位を超えて修得した場合の超過単位は学科選択科目に算入できる。

(7) 卒業論文・卒業研究/専門論文・専門研究について：

総合グローバル学部生は卒業論文・卒業研究/専門論文・専門研究（以下、卒論・卒研/専論・専研という）のうち、いずれかを選択し、原則として4年次春学期に「卒論・卒研1/専論・専研1」を、秋学期に「卒論・卒研2/専論・専研2」を他の学科目と同様にLoyolaにて履修登録し、論文または成果物を作成しなければならない。

ア. 卒論・専論の執筆は日本語または英語によるものとし、卒論は日本語 36,000 字（英語 11,000 words）以上、専論は日本語 12,000 字（英語 3,500 words）以上の論文とする。

イ. 卒研・専研は上記アと同等の知的活動を必要とする論文形式以外の成果物とする。

ウ. 指導教員は演習担当教員と同一となる。

エ. 「卒論・卒研1/専論・専研1」の評価はP（合格）、X（不合格）を使用する。

オ. 「卒論・卒研1/専論・専研1」を履修する学期に「題目届」（日本語 200～400 字、英語 60～120words）および「研究計画書」（2,000 字以上-英語 600 words 以上）を指導教員に提出すること。

□卒論等を2019年1月に提出する者：

題目届提出締切日 2018年5月31日（木）

計画書提出締切日 2018年7月20日（金）

□卒論等を2019年7月に提出する者：

題目届提出締切日 2018年11月30日（金）

計画書提出締切日 2019年1月31日（木）

カ. 「卒論・卒研 1,2/専論・専研 1,2」の履修中止は「履修中止申請期間」の開始前までに所定の願書を学科長に提出し、認められた場合のみできる。

キ. 「卒論・卒研 1/専論・専研 1」の単位取得ができない場合は「卒論・卒研 2/専論・専研 2」の履修はできない。ただし、留学等特段の理由がある場合は1学期に「卒論・卒研 1/専論・専研 1」「卒論・卒研 2/専論・専研 2」の同時履修を認める場合がある（事前に学科長の承認が必要）。

認められるケースは原則として4年間の修業年限内で卒業予定の者のうち、3年次秋学期～4年次春学期（または4年次春学期）に「留学（休学を除く）」し、4年次秋学期に同時履修する場合のみである。

なお、1学期に「卒論・卒研 1,2」もしくは「専論・専研 1,2」を同時履修する者は「題目届」および「研究計画書」の提出期限を各指導教員と相談すること。

ク. 「卒論・卒研 1」の成績が「P」（合格）の者は次学期に「専論・専研」に変更申請することができる。この場合、申請書を最終学年次の最終学期履修登録期間約1ヶ月前に学部事務室に提出しなければならない。許可された場合「専論・専研 1」及び「専論・専研 2」を同時に履修登録する必要がある。なお、取得済みの卒論・卒研の単位は卒業に必要な単位とはならない。

ケ. 「卒論・卒研 1」の成績が「X」（不合格）の者は次学期に「卒論・卒研 1」を再履修するか、または「専論・専研 1」を履修し、その次の学期に「卒論・卒研 2」または「専論・専研 2」を履修すること。

コ. 専論・専研から卒論・卒研への変更はできない。

サ. 早期卒業をする場合は「卒論・卒研 1/専論・専研 1」と「卒論・卒研 2/専論・専研 2」を3年次春学期および秋学期または3年次秋学期および4年次春学期に履修すること。

シ. 卒論等の提出（「卒論・卒研 2/専論・専研 2」の履修学期）の条件：

- 卒論等の提出は休学期間を除き在学8学期目以降（早期卒業者は6学期目または7学期目）とする。
- 卒論等の提出は提出学期までに「演習」8単位取得済み、または取得見込みであること。

ス. 2018年7月の卒論等の提出期間、対象者等は下記のとおりである。

対象者： 在学継続者のうち、「シ」の条件を満たした者（卒業時期は問わない）

2018年9月早期卒業予定者のうち、「シ」の条件を満たした者

期間：2018年7月11日（水）・12日（木）

時間：12：30～13：30

場所：2号館603（総合グローバル学部会議室）

セ. 2019年3月卒業予定者の卒論等の提出期間等は下記のとおりである。

期間：2019年1月9日（水）・10日（木）

時間：12：30～13：30

場所：2号館603（総合グローバル学部会議室）

*以下は1月10日までに行うこと。

a. 卒論等の題目をLoyolaに入力すること。

b. 【任意】卒論等を電子データで担当教員に送付すること。

③ 他学部等の開講科目について

外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目（実習を除く）については26単位から34単位の範囲内で卒業要件の「学科科目（選択）」に算入できる。その他の他学部・他学科の開講科目については、8単位を上限として卒業に必要な単位として認められる。

④ 学期年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

（注）春・秋各学期の履修単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

履修登録をする前学期までに教職課程の履修申し込み手続きをした3年次以上の者で、教員免許状取得に必要な科目の履修により、登録単位数が学期別および年間の最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に学科長に相談し、履修登録前に許可を得ておくこと。なお、必要な手続書類等については、課程センター（2号館1階）にて確認すること。

⑤ 他大学で修得した授業科目の単位認定・換算について

入学前既修得単位認定および留学による単位換算については、履修要覧（共通編）p.46を参照すること。

⑥ 他学部生履修不可等の科目について

- 1) 100シリーズの科目および、200シリーズのうち国際関係論共通科目群は他学部生履修不可の科目である。
- 2) 200シリーズのうちのグローバル研究共通科目群および地域研究共通科目群は、総合グローバル学部の学生を優先する抽選科目である。
- 3) 400シリーズの演習については、外国語学部生に限り各演習1学年3名を上限として受け入れる。外国語学部以外の他学部生は原則として履修不可である。

⑦ 『FGSハンドブック』について

履修に関する詳細は『FGSハンドブック2018』を参照すること。

⑧ 科目の分野について

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

略 字	英 語 表 記	日 本 語 表 記
GIM	GLOBAL STUDIES: INTRODUCTION: MANDATORY	学部入門科目：必修
GBG	GLOBAL STUDIES: BASIC: GLOBAL STUDIES	学部基礎科目：グローバル研究
GBI	GLOBAL STUDIES: BASIC: INTERNATIONAL RELATIONS	学部基礎科目：国際関係論
GBA	GLOBAL STUDIES: BASIC: AREA STUDIES	学部基礎科目：地域研究
GIP	GLOBAL STUDIES: INTERNATIONAL RELATIONS: INTERNATIONAL POLITICS	学部専門応用科目：国際関係領域：国際政治論
GIC	GLOBAL STUDIES: INTERNATIONAL RELATIONS: CIVIL SOCIETY & INTERNATIONAL COOPERATION	学部専門応用科目：国際関係領域：市民社会・国際協力論
GAA	GLOBAL STUDIES: AREA STUDIES: ASIA	学部専門応用科目：地域研究領域：アジア研究
GAM	GLOBAL STUDIES: AREA STUDIES: MIDDLE EAST & AFRICA	学部専門応用科目：地域研究領域：中東・アフリカ研究
GCS	GLOBAL COMMON SUBJECTS	学部専門応用科目：共通
GGZ	GLOBAL STUDIES: GLOBAL STUDIES: Z	学部応用科目：論文・研究

6. 総合グローバル学部早期卒業制度について

1. 早期卒業とは在学期間が3年以上あり、所定の手続きを経て3年次終了時または4年次春学期終了時をもって卒業することをいい、前者を3年次3月卒業、後者を4年次9月卒業という。
2. 早期卒業をするためには次の要件をすべて満たしていなければならない。
 - (1) 本人が早期卒業を希望していること。
 - (2) 卒業時に、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること。
 - (3) 修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下「GPA」という）が3.5以上であること。
3. 早期卒業を希望する場合、早期卒業希望登録を行わなければならない。
 - (1) 早期卒業希望登録を行うためには2年次終了時において、卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる単位として80単位以上（本学で修得した単位を62単位以上含む）を修得し、かつ、修得済み総単位数に対するGPAが3.2以上でなければならない。
 - (2) 早期卒業の登録を行った者は、卒業時までに演習科目8単位を必ず履修しなければならない。この場合、3年次3月卒業希望の者は3年次の春学期・秋学期にそれぞれ2つの演習科目を同時履修する。4年次9月卒業希望の者は原則として3年次春学期または4年次春学期に2つの演習科目を同時履修する。同時履修は「メジャー領域から2つ」または「メジャー領域から1つ、マイナー領域から1つ」の演習を履修するものとする。
 - (3) 早期卒業を希望する者は、3年次春の履修登録期間に早期卒業登録申請書を学部事務室に提出しなければならない。申請書には自らが所属することとなる2つの演習科目の指導教員の承認印をもらうこと。
 - (4) 早期卒業の登録を行おうとする者は、あらかじめ学科長または演習の指導教員に相談し、適切な指導を受けなければならない。また、随時、学業の進捗状況を指導教員に報告し、指導を受けなければならない。
 - (5) 早期卒業の登録を行った者は原則として休学することはできない。
4. 早期卒業希望時期の変更および早期卒業希望登録そのものの取り消しについては、次のような手続きが必要

となる。

- (1) 早期卒業の登録を行った者のうち、3年次3月卒業を希望していたときに限り、早期卒業の時期を変更することができる。この場合は、早期卒業学期変更届出書に演習指導教員2名の承認印を受けて、3年次秋学期の履修登録期間に学部事務室まで届け出なければならない。
- (2) 早期卒業の登録を行った者が、早期卒業の登録を取り消す場合は、「早期卒業取消届出書」に演習指導教員2名の承認印を受けて、別途定める期日までに学部事務室まで届け出なければならない。
- (3) 早期卒業を取り消した場合、4年次に履修しなければならない科目で3年次に履修済みの科目は卒業に必要な単位に算入される。

提出書類	提出期間
早期卒業登録申請書	3年次春学期履修登録期間
早期卒業学期変更届出書	3年次秋学期履修登録期間
3年次3月早期卒業取消届出書	3年次秋学期履修登録期間
4年次9月早期卒業取消届出書	4年次春学期履修登録期間

7. 開講科目担当表

学科科目〔学部入門科目（必修科目）〕100シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	BGS10100	GIM100	グローバル・スタディーズ入門	2	春	コーディネータ 都留康子	1		輪講
	BGS10200	GIM101	国際関係論入門	2	春	鈴木一敏	1		
	BGS10300	GIM102	地域研究入門	2	春	コーディネータ 赤堀雅幸	1		輪講
	BGS10400	GIM150	グローバル・スタディーズ基礎演習	2	秋	赤堀雅幸	1		
						蘭 信三			
						廣里恭史			
						樋渡由美			
						稲葉奈々子			
						岸川毅			
						小牧昌平			
						前嶋和弘			
						眞城百華			
						丸井雅子			
						根本敬			
澤江史子									
下川雅嗣									
鈴木一敏									
田中雅子									
辻上奈美江									
都留康子									
戸田美佳子									
植木安弘									
渡辺紫乃									
AUGUSTINE Sali									

(注) 学生各自のグローバル・スタディーズ基礎演習の所属先は予め指定される。

学科科目〔学部基礎科目（選択必修科目）〕200シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	〔グローバル研究共通科目群〕								
	BGS50100	GBG200	グローバル化と政治学	2	春	岸川毅	1・2		[190名], 注1
	BGS50200	GBG201	グローバル化と経済学1	2	春	*矢野誠	1・2		集中講義, 1曜日2時限開講
	BGS50201	GBG202	グローバル化と経済学2	2	春	高島亮	1・2	○	
	BGS50300	GBG203	グローバル社会学	2	春	*八尾祥平	1・2		[190名], 注1
	BGS50400	GBG204	グローバル化の人類学	2	休講	赤堀雅幸	1・2		[190名], 注1
	BGS50500	GBG205	グローバル・ヒストリー	2	秋	根本敬	1・2		[190名], 注1
	BGS50600	GBG206	グローバル化と宗教	2	秋	赤堀雅幸	1・2		[190名], 注1
	BGS50700	GBG207	グローバル化と情報	2	秋	*遠藤薫	1・2		[190名], 注1
	BGS50800	GBG208	アメリカとグローバル化	2	秋	前嶋和弘	1・2		[190名], 注1
	BGS50900	GBG209	平和学	2	春	都留康子	1・2		[190名], 注1
	BGS51100	GBG211	統計学1	2	春	*杉野勇	1・2		
	BGS51101	GBG212	統計学2	2	休講		1・2		
	BGS51200	GBG213	フィールドワーク論	2	春	福武慎太郎	1・2		[190名], 注1
	BGS51210	GBG214	環境と人間	2	春	戸田美佳子	1・2		[190名], 注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	[国際関係論共通科目群]								
	BGS51300	GBI220	国際関係論概説	2	秋	都留康子	1・2		
	BGS51400	GBI221	市民社会論概説	2	春	稲葉奈々子	1・2		
	BGS51500	GBI222	国際協力論概説	2	秋	田中雅子	1・2		
	[地域研究共通科目群]								
	BGS51600	GBA230	東南アジア研究概説	2	春	コーディネータ 川島 緑	1・2		[190名], 輪講, 注1
	BGS51700	GBA231	南アジア研究概説	2	春	田中雅子	1・2		[190名], 注1
	BGS51800	GBA232	東アジア研究概説	2	秋	渡辺紫乃	1・2		[190名], 注1
	BGS51900	GBA233	中東研究概説	2	秋	辻上奈美江	1・2		[190名], 注1
	BGS52001	GBA235	アフリカ研究概説1	2	春	戸田美佳子	1・2		[190名], 注1
	BGS52002	GBA236	アフリカ研究概説2	2	秋	*椎野若菜	1・2		[190名], 注1, 旧「アフリカ研究概説」

学科科目〔学部基礎科目（選択科目）〕200シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	[自主研究]								
	BGS52100	GIR250	自主研究1	2	春	総合グローバル学科教員	2		川島, 寺田, 辻上は担当しない
	BGS52101	GIR251	自主研究2	2	秋	総合グローバル学科教員	2		川島, 寺田, 福武, 宮城, 高島は担当しない
	BGS52102	GIR252	自主研究3	2	春	総合グローバル学科教員	3		川島, 寺田, 辻上は担当しない
	BGS52103	GIR253	自主研究4	2	秋	総合グローバル学科教員	3		川島, 寺田, 福武, 宮城, 高島は担当しない
	BGS52104	GIR254	自主研究5	2	春	総合グローバル学科教員	4		川島, 寺田, 辻上は担当しない
	BGS52105	GIR255	自主研究6	2	秋	総合グローバル学科教員	4		川島, 寺田, 福武, 宮城, 高島は担当しない

学科科目〔学部専門科目（選択必修科目）〕300シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	[国際政治論科目群]								
	BGS58400	GIP322	国際政治学	2	春	渡辺紫乃	2~4		
	BGS58500	GIP323	国際政治理論	2	秋	鈴木一敏	2~4	○	
	BGS58600	GIP324	国際政治経済論(政治学的アプローチ)1	2	春	鈴木一敏	2~4		
	BGS58700	GIP325	国際政治経済論(政治学的アプローチ)2	2	秋	鈴木一敏	2~4		
	BGS52400	GIP304	外交政策1	2	春	樋渡由美	2~4		[190名], 注1
	BGS52401	GIP305	外交政策2	2	秋	樋渡由美	2~4		[190名], 注1
	BGS52500	GIP306	国際政治史1	2	春	宮城大蔵	2~4		
	BGS52501	GIP307	国際政治史2	2	休講	宮城大蔵	2~4		
	BGS52600	GIP308	日本外交論	2	休講	宮城大蔵	2~4		
	BGS52702	GIP309	グローバル・ガバナンス論3	2	春	都留康子	2~4		旧「国際制度論1」
	BGS52703	GIP310	グローバル・ガバナンス論4	2	秋	都留康子	2~4		旧「国際制度論2」
	BGS52800	GIP311	国連研究1	2	春	植木安弘	2~4		[190名], 注1
	BGS52801	GIP312	国連研究2	2	秋	植木安弘	2~4		
	BGS53000	GIP315	比較政治学1	2	春	岸川毅	2~4		
	BGS53001	GIP316	比較政治学2	2	秋	岸川毅	2~4		

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	BGS53100	GIP317	アメリカ政治外交1	2	春	前嶋和弘	2~4		
	BGS53101	GIP318	アメリカ政治外交2	2	秋	前嶋和弘	2~4		
	BGS53200	GIP319	アメリカ研究	2	春	前嶋和弘	2~4		
	BGS53300	GIP320	中国政治外交1	2	春	渡辺紫乃	2~4		
	BGS53301	GIP321	中国政治外交2	2	秋	渡辺紫乃	2~4		
[市民社会・国際協力論科目群]									
BGS53400	GIC300	グローバル化と市民社会1	2	春	稲葉奈々子	2~4			
BGS53401	GIC301	グローバル化と市民社会2	2	秋	稲葉奈々子	2~4			
BGS53500	GIC302	比較社会学	2	秋	稲葉奈々子	2~4			
BGS53600	GIC303	国際社会学1	2	春	蘭信三	2~4			
BGS53601	GIC304	国際社会学2	2	秋	蘭信三	2~4			
BGS53700	GIC305	フィールドワークの技法と実践	2	春	蘭信三	2~4			[50名], 注1
BGS53800	GIC306	グローバル化と文化1	2	春	*川崎賢一	2~4			[190名], 注1
BGS53801	GIC307	グローバル化と文化2	2	秋	*川崎賢一	2~4			
BGS53900	GIC308	国際協力論1	2	春	田中雅子	2~4			[190名], 注1
BGS53901	GIC309	国際協力論2	2	秋	田中雅子	2~4			[190名], 注1
BGS54000	GIC310	国際経済学1	2	春	下川雅嗣	2~4			
BGS54001	GIC311	国際経済学2	2	秋	下川雅嗣	2~4			
BGS54102	GIC312	国際政治経済論(経済学的アプローチ)1	2	春	下川雅嗣	2~4			旧「国際政治経済論1」
BGS54103	GIC313	国際政治経済論(経済学的アプローチ)2	2	秋	下川雅嗣	2~4			旧「国際政治経済論2」
BGS54200	GIC314	開発経済学	4	春	高島亮	2~4			
BGS54300	GIC315	グローバル化と発展途上国	4	休講	高島亮	2~4			
BGS54400	GIC316	国際教育開発論1	2	春	廣里恭史	2~4			[70名], 注1
BGS54401	GIC317	国際教育開発論2	2	秋	廣里恭史	2~4			[70名], 注1
[アジア研究科目群]									
BGS54500	GAA300	東南アジア考古学	2	春	丸井雅子	2~4			
BGS54600	GAA301	東南アジア史(前近代)	2	春	*松浦史明	2~4			
BGS54700	GAA302	東南アジア史(近現代)1	2	春	根本敬	2~4			
BGS54701	GAA303	東南アジア史(近現代)2	2	秋	根本敬	2~4			
BGS54800	GAA304	東南アジア政治社会論	2	春	川島緑	2~4			[190名], 注1
BGS54900	GAA305	東南アジア政治文化論	2	秋	川島緑	2~4			[190名], 注1
BGS55000	GAA306	東南アジア文化論A	2	春	寺田勇文	2~4		○	
BGS55001	GAA307	東南アジア文化論B	2	秋	寺田勇文	2~4			[190名], 注1
BGS55100	GAA308	東南アジア社会とジェンダー	2	休講		2~4		○	
BGS57900	GAA318	南アジアの社会と政治	2	秋	AUGUSTINE Sali	2~4		○	
BGS57910	GAA319	アジアの人権問題	2	春	AUGUSTINE Sali	2~4			
BGS55400	GAA312	南アジア史	2	春	*竹中千春	2~4			
BGS55500	GAA313	南アジア社会経済論	2	秋	*日下部尚徳	2~4			
BGS55600	GAA314	アジア文化遺産研究	2	休講	丸井雅子	2~4			
BGS55700	GAA315	アジアの環境と開発	2	春	福武慎太郎	2~4			[190名], 注1
BGS55800	GAA316	NGOと社会運動の人類学	2	休講	福武慎太郎	2~4			
BGS55900	GAA317	アジアとグローバル企業	2	春	*平賀富一	2~4			[190名], 注1
[中東・アフリカ研究科目群]									
BGS56000	GAM300	中東イスラーム史(前近代)	2	春	*松尾有里子	2~4			
BGS56100	GAM301	中東政治史	2	秋	小牧昌平	2~4			
BGS56200	GAM302	中東政治論	2	春	澤江史子	2~4			
BGS58300	GAM318	現代中東社会論	2	休講	辻上奈美江	2~4			
BGS56400	GAM304	東方イスラーム世界論	2	春	小牧昌平	2~4			[190名], 注1
BGS56500	GAM305	現代シリア派社会論	2	秋	小牧昌平	2~4			
BGS56600	GAM306	民衆イスラーム論	2	春	赤堀雅幸	2~4			
BGS56700	GAM307	イスラームとジェンダー	2	休講	赤堀雅幸	2~4			[190名], 注1
BGS56800	GAM308	中東イスラーム思想論	2	秋	*加藤瑞絵	2~4			

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	BGS56900	GAM309	中東芸術論	2	秋	*小林一枝	2~4		[190名], 注1
	BGS57100	GAM311	アフリカ史	2	春	眞城百華	2~4		
	BGS57200	GAM312	アフリカ政治論	2	秋	眞城百華	2~4		
	BGS57301	GAM313	アフリカ開発論	2	春	コーディネータ (コ)赤堀雅幸道 *森下拓道	2~4		輪講, 旧「アフリカ国際協力論」
	BGS57400	GAM314	アフリカ社会経済論	2	秋	*吉田敦	2~4		
	BGS58000	GAM315	アフリカ社会論	2	春	戸田美佳子	2~4		
	BGS58100	GAM316	アフリカ文化論	2	秋	戸田美佳子	2~4		
	BGS58200	GAM317	アフリカ・ジェンダー論	2	秋	眞城百華	2~4		
	BGS58800	GAM318	アメリカの諸宗教とキリスト教	2	春	MAYEMBA Bienvenu	2~4	○	

学科科目〔学部応用科目（選択必修科目）〕400シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	〔国際政治論科目群〕								
	BGS57501	GIP401	特講（国際機構）A	2	春	植木安弘	3・4	○	
	BGS57502	GIP402	特講（地域統合の政治経済学）	2	秋	*渡邊頼純	3・4		
	BGS57503	GIP403	特講（EU研究）	2	春	*佐藤俊輔	3・4		
	〔市民社会・国際協力論科目群〕								
	BGS57504	GIC400	特講（国際人口移動）	2	秋	蘭信三	3・4		
	BGS57505	GIC401	特講（国際機構）B	2	春	廣里恭史	3・4	○	[40名], 注1
	〔アジア研究科目群〕								
	BGS57506	GAA400	特講（文化財保存と国際協力）	2	休講	丸井雅子	3・4		
	BGS57507	GAA401	特講（現代アジア社会）	2	春	*堀場明子	3・4	○	
	BGS57508	GAA402	特講（アジアの文化と社会）	2	秋	*米野みちよ	3・4	○	
	BGS57509	GAA403	特講（東南アジアの宗教）	2	秋	寺田勇文	3・4		
	BGS57510	GAA404	特講（通地域研究）	2	秋	岸川毅	3・4		
	〔中東・アフリカ研究科目群〕								
	BGS57512	GAM401	特講（アフリカの社会と文化）	2	秋	戸田美佳子	3・4		
	BGS57513	GAM402	特講（現代アフリカ）	2	春	*佐藤千鶴子	3・4		

学科科目〔学部応用科目（選択科目）〕400シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	BGS57920	GCS400	ケースディスカッション「キャリアと組織」	2	春	*宇野健司, *岡野武志, *松村史樹, *鈴木毅	3・4		[60], 注1, 大和総研連携講座, 輪講, 受講者数によりクラス分けの上, 授業を実施する。

学科科目〔学部応用科目（選択必修科目）〕演習・400 シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	[国際政治論科目群演習]								
	BGS57658	GIP468	(重) 演習(国際政治論・経済学アプローチ)1	2	春	鈴木 一 敏	3・4		注2
	BGS57659	GIP469	(重) 演習(国際政治論・経済学アプローチ)2	2	秋	鈴木 一 敏	3・4		注2
	BGS57604	GIP454	(重) 演習(外交政策)1	2	春	樋 渡 由 美	3・4		注2
	BGS57605	GIP455	(重) 演習(外交政策)2	2	秋	樋 渡 由 美	3・4		注2
	BGS57606	GIP456	(重) 演習(国際政治史)1	2	春	宮 城 大 蔵	3・4		注2
	BGS57607	GIP457	(重) 演習(国際政治史)2	2	休講	宮 城 大 蔵	3・4		注2
	BGS57656	GIP458	(重) 演習(グローバル・ガバナンス論)1	2	春	都 留 康 子	3・4		注2,旧「演習(国際制度論)1」
	BGS57657	GIP459	(重) 演習(グローバル・ガバナンス論)2	2	秋	都 留 康 子	3・4		注2,旧「演習(国際制度論)2」
	BGS57610	GIP460	(重) 演習(比較政治学)1	2	春	岸 川 毅	3・4		注2
	BGS57611	GIP461	(重) 演習(比較政治学)2	2	秋	岸 川 毅	3・4		注2
	BGS57612	GIP462	(重) 演習(国連と紛争解決)1	2	春	植 木 安 弘	3・4		注2
	BGS57613	GIP463	(重) 演習(国連と紛争解決)2	2	秋	植 木 安 弘	3・4		注2
	BGS57614	GIP464	(重) 演習(アメリカ政治外交)1	2	春	前 嶋 和 弘	3・4		注2
	BGS57615	GIP465	(重) 演習(アメリカ政治外交)2	2	秋	前 嶋 和 弘	3・4		注2
	BGS57616	GIP466	(重) 演習(中国政治外交)1	2	春	渡 辺 紫 乃	3・4		注2
	BGS57617	GIP467	(重) 演習(中国政治外交)2	2	秋	渡 辺 紫 乃	3・4		注2
	[市民社会・国際協力論科目群演習]								
	BGS57654	GIC450	(重) 演習(国際政治論・経済学アプローチ)1	2	春	下 川 雅 嗣	3・4		注2,旧「演習(国際政治経済論)1」
	BGS57655	GIC451	(重) 演習(国際政治論・経済学アプローチ)2	2	秋	下 川 雅 嗣	3・4		注2,旧「演習(国際政治経済論)2」
	BGS57620	GIC452	(重) 演習(開発経済学)1	2	春	高 島 亮	3・4		注2
	BGS57621	GIC453	(重) 演習(開発経済学)2	2	休講	高 島 亮	3・4		注2
	BGS57622	GIC454	(重) 演習(国際社会学)1	2	春	蘭 信 三	3・4		注2
	BGS57623	GIC455	(重) 演習(国際社会学)2	2	秋	蘭 信 三	3・4		注2
	BGS57624	GIC456	(重) 演習(グローバル市民社会論)1	2	春	稲 葉 奈々子	3・4		注2
	BGS57625	GIC457	(重) 演習(グローバル市民社会論)2	2	秋	稲 葉 奈々子	3・4		注2
	BGS57626	GIC458	(重) 演習(国際協力論)1	2	春	田 中 雅 子	3・4		注2
	BGS57627	GIC459	(重) 演習(国際協力論)2	2	秋	田 中 雅 子	3・4		注2
	BGS57628	GIC460	(重) 演習(国際教育開発論)1	2	春	廣 里 恭 史	3・4		注2
	BGS57629	GIC461	(重) 演習(国際教育開発論)2	2	秋	廣 里 恭 史	3・4		注2
	[アジア研究科目群演習]								
	BGS57630	GAA450	(重) 演習(アジア研究A)1	2	春	丸 井 雅 子	3・4		注2
	BGS57631	GAA451	(重) 演習(アジア研究A)2	2	秋	丸 井 雅 子	3・4		注2
	BGS57632	GAA452	(重) 演習(アジア研究B)1	2	春	福 武 慎太郎	3・4		注2
	BGS57633	GAA453	(重) 演習(アジア研究B)2	2	休講	福 武 慎太郎	3・4		注2
	BGS57634	GAA454	(重) 演習(アジア研究C)1	2	春	根 本 敬	3・4		注2
	BGS57635	GAA455	(重) 演習(アジア研究C)2	2	秋	根 本 敬	3・4		注2
	BGS57636	GAA456	(重) 演習(アジア研究D)1	2	春	寺 田 勇 文	3・4		注2
	BGS57637	GAA457	(重) 演習(アジア研究D)2	2	秋	寺 田 勇 文	3・4		注2
	BGS57638	GAA458	(重) 演習(アジア研究E)1	2	春	川 島 緑	3・4		注2
BGS57639	GAA459	(重) 演習(アジア研究E)2	2	秋	川 島 緑	3・4		注2	
BGS57640	GAA460	(重) 演習(アジア研究F)1	2	春	AUGUSTINE Sali	3・4	○	注2	
BGS57641	GAA461	(重) 演習(アジア研究F)2	2	秋	AUGUSTINE Sali	3・4	○	注2	
[中東・アフリカ研究科目群演習]									
BGS57642	GAM450	(重) 演習(中東・アフリカ研究A)1	2	休講	辻 上 奈美江	3・4		注2	
BGS57643	GAM451	(重) 演習(中東・アフリカ研究A)2	2	秋	辻 上 奈美江	3・4		注2	
BGS57644	GAM452	(重) 演習(中東・アフリカ研究B)1	2	春	赤 堀 雅 幸	3・4		注2	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	BGS57645	GAM453	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 2	2	秋	赤堀雅幸	3・4		注2
	BGS57646	GAM454	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 1	2	春	小牧昌平	3・4		注2
	BGS57647	GAM455	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 2	2	秋	小牧昌平	3・4		注2
	BGS57648	GAM456	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 1	2	春	澤江史子	3・4		注2
	BGS57649	GAM457	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 2	2	秋	澤江史子	3・4		注2
	BGS57650	GAM458	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 1	2	春	眞城百華	3・4		注2
	BGS57651	GAM459	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 2	2	秋	眞城百華	3・4		注2
	BGS57652	GAM460	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 1	2	春	戸田美佳子	3・4		注2
	BGS57653	GAM461	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 2	2	秋	戸田美佳子	3・4		注2

学科科目〔学部応用科目（選択必修科目）〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	[論文・研究]								
	BGS90300	GGZ460	卒業論文・卒業研究1	3	春	演習担当教員	4		
	BGS90400	GGZ461	卒業論文・卒業研究1	3	秋	演習担当教員	4		
	BGS90301	GGZ462	卒業論文・卒業研究2	3	春	演習担当教員	4		
	BGS90401	GGZ463	卒業論文・卒業研究2	3	秋	演習担当教員	4		
	BGS90100	GGZ464	専門論文・専門研究1	1	春	演習担当教員	4		
	BGS90200	GGZ465	専門論文・専門研究1	1	秋	演習担当教員	4		
	BGS90101	GGZ466	専門論文・専門研究2	1	春	演習担当教員	4		
	BGS90201	GGZ467	専門論文・専門研究2	1	秋	演習担当教員	4		

注1：備考欄で定員数を[]で囲んだ科目は総合グローバル学部生・外国語学部生優先の抽選科目である。詳細については、履修要覧（共通編）p.29～を参照すること。

注2：(重)は重複履修可能科目である。演習科目は同一科目を複数回履修しても卒業に必要な単位として認める。

9

国際教養学部

〔教育研究上の目的〕

英語で行われる教養教育を通じ、比較文化・社会科学・国際経営経済の各専門分野の科目を隣接領域と有機的に関連させつつ学ぶことで、高度な語学力、多文化対応発信能力、及び柔軟な思考力を養うこと。また、学際的な研究を通じてグローバル社会の理解と問題解決に寄与すること

〔人材養成の目的〕

十分な国際感覚、言語運用能力、及び柔軟な思考力を養い、グローバル化に対応し多様な文化間の架け橋として活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 包括的かつ学際的な教養と、英語により思考しコミュニケーションを行なうことのできる高度な英語力
2. 高度に専門的な視点と一般的な幅広い視点の両方をもって特定の問題にアプローチする知的能力
3. 多文化的環境に自らとけこみ、多様かつ重要な社会文化的問題のより良き理解に貢献する共同的活動に従事する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. コア・プログラムでは、英語を用いて文献を解説し、批判的に思考し、さらに発表・議論ができる基礎的な能力を修得させる。
2. 学部独自のディストリビューション科目群は、領域横断的な入門的教養科目群であり、「社会と文化」「文化的伝統」「政治と経済」という三つのカテゴリーに分けられています。学生は、その三分野から広く受講することで、世界の多様な社会の仕組みや文化的価値・歴史に触れ、視野を広げるとともに、専攻分野に進むための基盤を形づくる。
3. 比較文化、国際経営・経済、社会科学という三つの専攻分野では、基礎的なものから専門性の高い科目まで体系的にカリキュラムが構成され、学生個々の関心にしたがってそれぞれの分野の知識を深く追求できます。また、同時に隣接領域の科目も履修することで、はば広く柔軟な視点を身につけることができる。

* 国際教養学部のカリキュラムについては、FACULTY OF LIBERAL ARTS「BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019」を参照

10	理 工 学 部
----	---------

〔教育研究上の目的〕

基盤となる専門分野の知識を習得するとともに、多様化した現代社会が抱える諸問題の解決に資するため、文理融合教育によって異分野を客観的に見ることのできる幅広い教養、すなわち「複合知」を身につけること

〔人材養成の目的〕

専門分野とともに「複合知」を習得し、多様化した現代社会が抱える諸問題を解決するために、幅広い視野から「科学・技術の発展」に貢献できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、キリスト教ヒューマニズム精神を理解した上で、多様化する現代社会の抱える科学・技術の諸問題を幅広いおよび国際的視野から解決する能力を備えるとともに、高い想像性ならびに創造性に根差した独創的な研究を推進し、科学・技術のさらなる発展へ貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 学生が共通に履修すべき講義中心の理工学部共通科目Ⅰ群、Ⅱ群により、科学・技術の諸問題を幅広いおよび国際的視野から解決する基礎的な能力を修得させる。
2. その上で、演習や実験科目を多く取り入れた学科コア科目により専門的な能力を身につけさせ、さらに専門性の高い講義科目から編成されている専門科目により独創的な研究を推進できる能力を修得させる。

理工学部 of 学生諸君へ (13 年次生以降)

1. 理工学部の構成

本学理工学部は、「理学」と「工学」の融合による「複合知」を習得し、「人間・環境支援」をモットーとして、自然環境と調和した人間社会の実現に向けて積極的に取り組み、また知識基盤社会に適応できる学生を育成するため、下記の3学科で構成されている。

- 物質生命理工学科
- 機能創造理工学科
- 情報理工学科

物質生命理工学科は「自然と融和した新しい物質観と生命観の教授」、機能創造理工学科は、「地球環境や人間環境への貞献に資する“もの”を実現(創造)する叡智の教授」、情報理工学科は、「“情報”を通して人間と社会に対する深い理解力の教授」を特色とした教育を行う。

本学では全学共通科目と学科科目に分けて授業科目が開設され、学生諸君はそのおのおのについて規定を満たすように履修しなければならない。しかしながら本来大学は自ら学んで学問を身につける場であるので、履修の内容については各自が主体的に計画を立てて、責任をもって勉学することが大切である。

2. 全学共通科目について

全学共通科目は、学部学科の専門分野にのみとられることなく、広い視野に立って現在と将来を洞察することのできる人間の形成を目的として設けられている。そのために建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界の4分野の科目を修めることができるように配慮されている。とくに自然科学、工業技術が人類の生活に及ぼす影響が広汎かつ重要になっている現代において、理工学部に通学しようとする者は、その専門的立場での社会的責任を果たすために、人間と社会およびそれらを取りまく環境に対する健全な価値観と判断力とを必要とする。それ故全学共通科目を偏りなく学習することに、積極的な意義を見いだしてもらいたい。

① 外国語について

大学での科学・技術の勉学が進むにつれて、外国の教科書・文献を読む必要にせまられる。また外国語によって研究成果を発表しなければならない機会もある。さらに卒業後はどの方向に進み、どの分野で働くにしても外国語は一層必要となるであろう。それは科学・技術の国際性に由来するものであり、その傾向は今後ますます強くなるであろう。しかしながら外国語の重要なことはこのような実用的な理由だけでなく、知性と感受性の豊かさという科学・技術者にとって欠くことのできない性格の形成にも役立つからである。

本学は国際間のかけ橋たるべき抱負をもち、強力な教授団により独自の外国語教育のカリキュラムを制定している。諸君はこの有利な条件を積極的に利用して、記憶力の旺盛な大学生時代に外国語を身につけ、将来に悔いを残さぬようにしてほしい。必修科目に加えて、より上級の英語や英語以外の外国語を積極的に学習するため、語学科目の選択科目を履修することが望ましい。また第2外国語としては西欧諸国の言語だけでなく、中国語、ロシア語、フィリピン語、インドネシア語などのアジア諸国語を学ぶことも意義あることである。

② 身体文化系科目について

健康の維持と向上が重要なことはいまでもないが、とくに理工学部では実験・実習、長時間の演習があり、また卒業後も工場、実験室での作業や、長時間の計算など、強じんな体力・気力が要求されることが多い。それ故、「ウエルネスと身体」および身体文化系選択必修科目の授業に出席するだけでなく、学業に支障のない範囲で課外のスポーツ活動に進んで参加し、体力・気力を充実させ、健康で明朗な生活を送るように希望する。

3. 学科科目について

学科科目は、理工学部の学生が共通に履修するべき科目群の理工共通科目Ⅰ群、Ⅱ群、各学科での学習の中心となる科目群の学科コア科目、各学科の専門科目としての学科専門科目の4種に分類される。これらの中には必修科目、選択必修科目、選択科目と自由科目がある。自由科目は単位を修得しても卒業単位には算入されない。

① 理工共通科目Ⅰ群

理工共通科目Ⅰ群には、学生諸君が理工学部の学生として見聞を広めるための理工学概説の他、理工学部で学ぶ上での基礎科目を配置した。この群には、「科学技術英語」も配置されている。

② 理工共通科目Ⅱ群

理工共通科目Ⅱ群には、各学科の学生諸君が学科コア科目・学科専門科目を学ぶ上で必要な科目群が配置され

ている。

③ 学科コア科目

学科コア科目には、実験実習、卒業研究等、各学科のコアとなる科目群が配置されている。

④ 学科専門科目

学科専門科目は、いくつかの群から構成されている。これらの科目を学生諸君が自分の専門を見つける鍵となる各群の「キーテーマ」に沿って履修することにより、学生諸君のキャリアプランを実現可能にしてある。

4. 科学技術英語

理工共通科目 I 群の中に、一連の系統的な科学技術英語科目を配置している。この目的は、英語を実社会で有効に使用して仕事ができる能力を身に付けることにある。外国の文献を読み、国際的な場に論文を発表し、さらに国際会議や各種の契約・交渉等を英語で不自由なく進めるためには、誤解のない明快、簡潔な英語を心がけ、また科学や技術における固有の用語にも習熟しなければならない。

理工学部では、以下の表の一連の科目の中から10単位以上修得し、かつ卒業論文等を英語で作成し卒業する学生に「系統的な科学技術英語教育」修了認定証を授与している。**科学技術英語のうち、6分野から1科目2単位を、選択必修科目として修得する必要がある**が、その他の一連の科目も積極的に履修し、英語を使いこなせる技術者・研究者になってもらいたい。なお、「系統的な科学技術英語教育」修了認定証授与の詳細および手続き等については、卒業予定の年の1月頃の掲示板で確認すること。

「系統的な科学技術英語教育」修了認定の対象科目の履修年次と内容（詳細な内容はシラバスを参照のこと）

【14年次生以降】

履修年度		履修科目		年次	備考
理工学部 共通科目	理工共通 I 群	選択必修	科学技術英語 (数学, 応用数学, 物理, 化学, 生物, 情報)	2	毎年3月の在校生ガイダンスにて受講希望科目の調査を実施し、クラス分けを行う。 人数により履修クラスを調整することがある。 【17年次生以降】 言語教育研究センター開講の指定した英語選択科目を履修することができる。
			自由科目	科学技術英語（自由科目）の科目	2~4
	自由科目	海外短期研修（ノースカロライナ大学） 海外短期研修（カリフォルニア大学デービス校）	1~4		
理工学部 英語コース科目	理工共通 II 群	選択	英語コース科目 (必修および実験科目を除く)	2~4	履修条件あり 履修については、p.583を確認すること。 理工共通 II 群選択科目に <u>6単位まで</u> 算入可
			自由科目	OVERVIEW OF SCIENCE & TECHNOLOGY (~2017), INTRO. TO SCIENCE & TECHNOLOGY (~2017), OUTLINE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY, ENGLISH FOR SCIENCE & ENGINEERING (ENVIRONMENT)	2~4
語学科目	全学共通	選択※	英語選択科目 (A. ACADEMIC ENGLISH, B. PROFESSIONAL ENGLISH, C. PRACTICAL ENGLISH)	2~4	履修については、履修要覧(共通編)p.163~を参照すること。 ※必修科目以外に語学科目を履修した場合、全学共通科目の選択科目に <u>8単位まで</u> 算入可
			卒業要件外	英語選択科目 (EXAM PREPARATION COURSES)	

【2013年次生】

	履修度		履修科目	年次	備考
理工学部共通科目	理工共通Ⅰ群	選択必修	科学技術英語 (数学, 応用数学, 物理, 化学, 生物, 情報)	2	毎年3月の在校生ガイダンスにて受講希望科目の調査を実施し, クラス分けを行う。 人数により履修クラスを調整することがある。
		自由科目	科学技術英語(自由科目)の科目	2~4	レベルテストにより履修を制限することがある。
			海外短期研修(ノースカロライナ大学) 海外短期研修(カリフォルニア大学デービス校)	1~4	
理工学部英語コース科目	理工共通Ⅱ群	選択	英語コース科目 (必修および実験科目を除く)	2~4	履修条件あり 履修については, p. 583を確認すること。 ※理工共通Ⅱ群選択科目に6単位まで算入可
		自由科目	OVERVIEW OF SCIENCE & TECHNOLOGY(~2017), INTRO. TO SCIENCE & TECHNOLOGY(~2017), OUTLINE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY, ENGLISH FOR SCIENCE & ENGINEERING (ENVIRONMENT)	2~4	履修条件なし
語学科目		卒業要件外	英語選択科目 (A. ACADEMIC ENGLISH, B. PROFESSIONAL ENGLISH, C. PRACTICAL ENGLISH) 英語選択科目(EXAM PREPARATION COURSES)	2~4	履修については, 履修要覧(共通編)p. 163~を参照すること。

5. 大学院について

本学には博士前期・後期課程の大学院が設置されている。博士前期課程2年間を修了すると修士の学位が与えられる。理工学は多岐深遠なので、大学院では学部での基礎的かつ一般的な学習にもとづき、高度の専門教育が行われる。科学技術の高度化とともに、修士あるいは博士の社会需要は伸びつつある。また履修年限の短縮なども検討されている。学部在学中に大学院への進学のことも考え、自分の進路を定めてほしい。

なお、本学大学院へ進学を希望している学生は、「大学院入学前科目履修制度」により大学4年次に理工学研究科があらかじめ指定した科目を履修することができ、大学院進学後、定められた上限単位数の範囲内で入学前単位として認定される。

大学院入学前科目履修制度で履修した科目は、**卒業に必要な単位としては認められない。**

入学前科目履修の詳細については、掲示板で確認すること。

6. 資格について

所定の科目を修得して本学部各学科を卒業することにより、幾つかの資格の取得や受験の条件(の一部)を満たすものがある。主な幾つかのものについては本要覧中で説明する。

① 教職課程について

中学校および高等学校の教員になるためには、教育職員免許状を有していなければならない。本学を卒業し、教育職員免許法に定められている科目を履修し、単位を修得した者は、本人の申請に基づき「中学校教諭1種」および「高等学校教諭1種」免許状が教育委員会により与えられる。

教職課程とは、教育職員免許法により授与される免許状を取得するために履修するコースであり、理工学部では各学科で次表の各教科に関する課程が用意されている。教員免許を取得しようとする学生は、各科目の履修登録とともに、所定の期間に教職課程の履修登録をしなければならない。詳しくは『履修要覧(課程編)』を参照のこと。教職課程に関わる科目の履修には様々な注意点があるので、履修登録の際には各自で十分に確認されたい。

学科	中学校教諭1種	高等学校教諭1種
物質生命理工学科	理科	理科
機能創造理工学科	理科・数学	理科・数学・工業
情報理工学科	数学	数学・情報

② 電気主任技術者資格について

電気事業法および関連法令の規定により、経済産業省認定大学において所定の科目単位を修得した上で所定の実務経験を積むと、電気主任技術者の資格を取得することができる。本学では機能創造理工学科のみが対象である。詳しくは機能創造理工学科の節の「電気主任技術者資格とその取得について」を参照のこと。

③ 無線従事者資格について

電波法および関連法令の規定により、無線通信に関する所定の科目を修得すると、申請により「無線従事者（第一級陸上特殊無線技士）」資格と「無線従事者（第三級海上特殊無線技士）」の資格を取得できる。情報理工学科の専門科目を含むが、他学科生でも履修が可能である。

また、平成28年4月以降に入学し、情報理工学科に在学中に、総務省の認定に係る教育課程の単位を修得して卒業した者は、当該卒業の日から3年以内に実施される「無線従事者（第一級陸上無線技術士）」あるいは「無線従事者（第一級総合無線通信士）」の国家試験を受ける場合は、申請により、国家試験のうち「無線工学の基礎」の試験科目の試験が免除される。

詳しくは情報理工学科の節の「無線従事者」資格についてを参照のこと。

④ 電気通信主任技術者資格について

電気通信事業法および関連法令の規定により、平成28年4月以降に入学し、情報理工学科に在学中に、総務省の認定に係る教育課程の単位を修得した者は、在学中でも申請により、「電気通信主任技術者」の国家試験のうち「電気通信システム」の試験科目の試験が免除される。

詳しくは情報理工学科の節の「電気通信主任技術者」資格についてを参照のこと。

7. 理工学部早期卒業制度について

【2017年次生】

本学大学院博士前期課程への進学を第1希望とし、さらに本学大学院博士後期課程への進学を目指している者を対象として、早期卒業制度を設けている。早期卒業とは、在学期間（休学期間を除く）が3年以上あり、所定の手続きを経て、3年次終了時または4年次春終了時をもって卒業すること（以下、それぞれ3年次3月卒業または4年次9月卒業という）を言う。

① 早期卒業希望登録の資格と手続き

①-1. 2年次終了時に下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業希望登録が出来る。

- (1) 1年次の必修科目全てを含み、全学共通科目を卒業算入24単位以上、語学科目を卒業算入4単位以上修得していること
- (2) 学科科目を、2年次までの必修科目全てを含み卒業算入60単位以上修得していること
- (3) 全科目および学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること

①-2. 早期卒業希望登録の手続きは下記の通り。

- (1) 2年次終了時に早期卒業申請について学科長より指導を受ける。
- (2) 3年次開始時に指導を希望する教員の承諾が得られた場合に限り、「卒業研究Ⅰ」を履修登録すると共に、「早期卒業希望登録申請書」を提出する。
- (2) 「早期卒業希望登録申請書」には「卒業研究Ⅰ」の指導教員の承認印を受ける。

①-3. 早期卒業希望登録後は、指導教員から履修指導を受けるとともに、学業の進捗状況を指導教員に随時報告し、適切な指導を受けなければならない。

② 早期卒業の判定

下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業判定希望が出来る。

- (1) 本人が早期卒業を希望し、早期卒業希望登録を行なっていること
- (2) 早期卒業時、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること

(3) 早期卒業時、全科目および学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること

③ 早期卒業希望取消・卒業時期の変更など

早期卒業希望登録後の希望卒業時期の変更および早期卒業希望登録そのものを取り消す場合は、次の手続きを行う必要がある。

- (1) 卒業希望時期の変更は、「早期卒業希望時期変更届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の提出期限までに学科長まで届け出ること
- (2) 早期卒業希望登録の取消は、「早期卒業希望登録取消届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の期限までに学科長まで届け出ること。

[手続] *書類の配付および詳細は掲示板で確認して下さい。

提出書類	提出時期	
早期卒業希望登録申請書	3年次の4月1日～4月末日(大学休業日を除く)まで	
早期卒業希望時期変更届出書	3年次の秋履修登録期間まで	
早期卒業希望登録取消届出書	3年次3月卒業取消の場合	3年次の秋履修中止期間まで
	4年次9月卒業取消の場合	4年次の春履修中止期間まで

【2016年次生以前】

本学大学院博士後期課程への進学を目指している者を対象として、早期卒業制度を設けている。早期卒業とは、在学期間(休学期間を除く)が3年以上あり、所定の手続きを経て、3年次終了時または4年次春終了時をもって卒業すること(以下、それぞれ3年次3月卒業または4年次9月卒業という)を言う。

① 早期卒業希望登録の資格と手続き

- ①-1. 2年次終了時に下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業希望登録が出来る。
 - (1) <14年次生以降>
1年次の必修科目全てを含み、全学共通科目を卒業算入24単位以上、語学科目を卒業算入4単位以上修得していること
<13年次生以前>
全学共通科目を、1年次の必修科目全てを含み卒業算入30単位以上修得していること
 - (2) 学科科目を、2年次までの必修科目全てを含み卒業算入60単位以上修得していること
 - (3) 全科目および学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること
- ①-2. 早期卒業希望登録の手続きは下記の通り。
 - (1) 3年次開始時に指導を希望する教員の承諾を受けて「卒業研究Ⅰ」を履修登録すると共に、「早期卒業希望登録申請書」を提出する。
 - (2) 「早期卒業希望登録申請書」には「卒業研究Ⅰ」の指導教員の承認印を受ける。
- ①-3. 早期卒業希望登録後は、指導教員から履修指導を受けるとともに、学業の進捗状況を指導教員に随時報告し、適切な指導を受けなければならない。

② 早期卒業の判定

- 下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業判定希望が出来る。
- (1) 本人が早期卒業を希望し、早期卒業希望登録を行なっていること
 - (2) 早期卒業時、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること
 - (3) 早期卒業時、全科目および学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること

③ 早期卒業希望取消・卒業時期の変更など

早期卒業希望登録後の希望卒業時期の変更および早期卒業希望登録そのものを取り消す場合は、次の手続きを行う必要がある。

- (1) 卒業希望時期の変更は、「早期卒業希望時期変更届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の提出期限までに学科長まで届け出ること
- (2) 早期卒業希望登録の取消は、「早期卒業希望登録取消届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の期限までに学科長まで届け出ること。

[手続] *書類の配付および詳細は掲示板で確認して下さい。

提出書類	提出時期	
早期卒業希望登録申請書	3年次の4月1日～4月末日(大学休業日を除く)まで	
早期卒業希望時期変更届出書	3年次の秋履修登録期間まで	
早期卒業希望登録取消届出書	3年次3月卒業取消の場合	3年次の秋履修中止期間まで
	4年次9月卒業取消の場合	4年次の春履修中止期間まで

8. 英語コース科目の履修について

理工学部では、2012年秋に英語コース（物質生命理工学科グリーンサイエンスコース，機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース）を開設した。

英語コース以外の学生が英語コース科目の履修を希望する場合について説明する。

① 履修可能な科目

理工共通科目及び学科科目の必修科目を除く全ての科目を履修することができる。ただし、実験科目は履修を認めない。英語コース科目で取得した単位は、**6単位まで理工共通科目Ⅱ群選択科目として卒業単位に算入することができる。**

詳細はLoyola学事センター（教務）掲示板で確認すること。

② 履修の条件と手続き

②-1. 履修にあたっては、下記の条件のいずれか一つを満たしていること。

- (1) TOEFL iBT 79点 / PBT 550点 以上
- (2) TOEFL ITP 550点 以上
- (3) TOEIC 730点 以上
- (4) TEAP 2技能 164点（2016年次生以前を対象とする） / 4技能 334点 / CBT 600点 以上
- (5) IELTS 6.0 以上
- (6) 実用英語技能検定 1級 または 準1級
- (7) 上智大学協定校に交換留学した者

②-2. 履修を希望する学生は、履修登録期間に、履修登録期間前にLoyola学事センター（教務）掲示板に詳細および履修願フォームが掲出されるのでよく確認すること。

③ その他

科学技術英語の自由科目として、英語コース科目の以下の科目の重複履修を認める。この科目については、履修条件をつけない。

- (1) OVERVIEW OF SCIENCE & TECHNOLOGY（理工学総論）（～2017）
- (2) INTRO. TO SCIENCE & TECHNOLOGY（理工学概論）（～2017）
- (3) ENGLISH FOR SCIENCE & ENGINEERING(ENVIRONMENT)
- (4) OUTLINE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

9. 科目のナンバリングについて

理工学部における各開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
NSC	NATURAL SCIENCE	自然科学系
MTH	MATHEMATICS	数学系
PHY	PHYSICS	物理系
CHM	CHEMISTRY	化学系
BIO	BIOLOGY	生物系
INF	INFORMATICS	情報系
EEE	ELECTRICAL AND ELECTRONICS ENGINEERING	電気電子工学系
MEC	MECHANICAL ENGINEERING	機械工学系
EAS	ENGINEERING AND APPLIED SCIENCES	機能創造理工学系
MLS	MATERIALS AND LIFE SCIENCES	物質生命理工学系
ICS	INFORMATION AND COMMUNICATION SCIENCES	情報理工学系
GEL	GEOLOGY	教職：地学

10. カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。

よって変更前年度以前に開講された科目を修得済みのものは、変更後の年度以降に開講する科目を重複して履修することはできないので注意すること。

変更前			変更後		
科目コード	開講科目名	年度	科目コード	開講科目名	年度
SCT11401	理工学総論(物質生命理工)	~2017	SCT11303	理工学概説 (情報理工)	2018~
SCT11402	理工学総論(機能創造理工)		SCT11301	理工学概説 (物質生命理工)	
SCT11403	理工学総論(情報理工)		SCT11301	理工学概説 (物質生命理工)	
SCT11501	理工学概論(物質生命理工)		SCT11301	理工学概説 (物質生命理工)	
SCT11502	理工学概論(機能創造理工)		SCT11302	理工学概説 (機能創造理工)	
SCT11503	理工学概論(情報理工)		SCT11303	理工学概説 (情報理工)	

理工学部共通

開講科目一覧表

13年次生以降

理工共通科目 I 群

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
必修科目	理工共通科目 I 群	SCT11301	NSC101	理工学概説(物質生命理工)	2	春	安 増・他	1		輪講, 物質生命理工学科クラス	物生
		SCT11302	NSC102	理工学概説(機能創造理工)	2	春	高 尾・他	1		輪講, 機能創造理工学科クラス	機能
		SCT11303	NSC103	理工学概説(情報理工)	2	春	川 端・他	1		輪講, 情報理工学科クラス	情報
		SCT11600	MTH111	数学A I (線型代数)	2	春	五 味 靖	1		物質生命理工学科クラス	物生
		SCT11600	MTH111	数学A I (線型代数)	2	春	曹 文 静	1		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT11600	MTH111	数学A I (線型代数)	2	春	中 筋 麻 貴	1		情報理工学科クラス	情報
		SCT11700	MTH131	数学B I (微分積分)	2	春	平 田 均	1		物質生命理工学科クラス	物生
		SCT11700	MTH131	数学B I (微分積分)	2	春	申 鉄 龍	1		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT11700	MTH131	数学B I (微分積分)	2	春	角 皆 宏	1		情報理工学科クラス	情報
		SCT11800	MTH191	数学演習I	1	春	五 味 靖 均	1		物質生命理工学科クラス	共通
		SCT11800	MTH191	数学演習I	1	春	申 曹 鉄 龍 文 静	1		機能創造理工学科クラス	共通
		SCT11800	MTH191	数学演習I	1	春	角 中 筋 麻 貴	1		情報理工学科クラス	情報
		SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	小田切 丈	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
		SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	大 規 東 巳	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
		SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	桑 原 英 樹	1		機能創造理工学科1クラス, 注1	機能
		SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	平 野 哲 文	1		機能創造理工学科2クラス, 注1	機能
		SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	炭 親 良	1		情報理工学科	情報
		SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	竹 岡 裕 子	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
		SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	長 尾 宏 隆	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
		SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	藤 田 正 博	1		機能創造理工学科クラス, 注1	機能
		SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	内 田 寛	1		情報理工学科クラス, 注1	情報
		SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	川 口 眞 理	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
		SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	近 藤 次 郎	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
		SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	新 倉 貴 子 介	1		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	笹 川 展 幸	1		情報理工学科クラス	情報
		SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	林 等	1		物質生命理工学科クラス, 注1	物生
		SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	川 端 亮	1		機能創造理工学科クラス, 注1	機能
		SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	川 中 彰	1		情報理工学科1クラス, 注1	情報
		SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	山 中 高 夫	1		情報理工学科2クラス, 注1	情報
		SCT11900	NSC191	理工基礎実験・演習	1	春	林 謙 介・他	1		物質生命理工学科クラス	物生
		SCT11900	NSC191	理工基礎実験・演習	1	春	林 謙 介・他	1		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT11900	NSC191	理工基礎実験・演習	1	春	林 謙 介・他	1		情報理工学科クラス	情報

学部共通

物質生命

機能創造

情報

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
選択必修科目	理工共通科目Ⅰ群	SCT51300	NSC201	科学技術英語（数学）	2	春	TRIHAN Fabian	2		共通	
		SCT51400	NSC202	科学技術英語（応用数学）	2	春	DZIEMINSKA Edyta	2		共通	
		SCT51500	NSC203	科学技術英語（物理）	2	春	東 善 郎	2		共通	
		SCT51500	NSC203	科学技術英語（物理）	2	春	大 槻 東 巳	2		共通	
		SCT51600	NSC204	科学技術英語（化学）	2	春	内 田 寛	2		共通	
		SCT51600	NSC204	科学技術英語（化学）	2	春	南 部 伸 孝	2		共通	
		SCT51700	NSC205	科学技術英語（生物）	2	春	齊 藤 玉 緒	2		共通	
		SCT51800	NSC206	科学技術英語（情報）	2	春	田 村 恭 久	2		共通	
		SCT51800	NSC206	科学技術英語（情報）	2	春	高 岡 詠 子	2		共通	
		854855	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター※ 2017年次生以降対象 注2	
		854857	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター※ 2017年次生以降対象 注2	
		854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2					(他) 言語教育研究センター※ 2017年次生以降対象 注2	
		854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2					(他) 言語教育研究センター※ 2017年次生以降対象 注2	
		自由科目		SCT82800	NSC211	科学技術英語 (PRESENTATION I)	2	春	荒 井 隆 行	2~4	隔年開講 [49名]
SCT83000	NSC213			科学技術英語 (COMMUNICATION SKILLS I)	2	休講		2~4	隔年開講 [19名]	共通	
SCT82100	EEE319			電気法規と施設管理	2	休講		3・4	「電力工学設計および製図」と隔年交互開講	共通	
SCT82200	EEE318			電気通信法規	2	秋	*魚 留 元 章	3・4		共通	
SCT82300	EEE314			電力工学設計および製図	2	春	*阿 曾 俊 幸	3・4	「電気法規と施設管理」と隔年交互開講, 135分授業	共通	
SCT82500	EEE398			電気電子工学実験Ⅳ	1	春	高 尾 他	3・4	夏期集中 「電気電子工学実験Ⅴ」と隔年交互開講	共通	
SCT82600	EEE399			電気電子工学実験Ⅴ	1	休講		3・4	夏期集中 「電気電子工学実験Ⅳ」と隔年交互開講	共通	
SCT82700	NSC199			生物学実験	1	春	近藤 次郎 他	2~4	夏期集中, 隔年開講 教職課程履修者のみ	物生	

(注1) 配当年次以降の学生も、クラス指定に従うこと。2018年度1クラス開講の学科については所属学科のクラスを受講すること。

(注2) 言語教育研究センター開講科目。履修にあたっては、履修要覧（共通編）p.163～言語教育研究センターに関するページをよく確認すること。なお、これらの科目は2017年次生以降を対象とする。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
自由科目	理工共通科目Ⅰ群	N99208	NSC292	海外短期研修 (ノースカロライナ大学)	2	秋	理工学部教員	1~4	○	注1, 注2, 注3, 注4	共通
		N99211	NSC293	海外短期研修(カリフォルニア大学デービス校) 理工系英語コース	2	春	理工学部教員	1~4	○	注1, 注2, 注3, 注4	共通

(注1) 研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。卒業に要する単位には算入されない。

(注2) 卒業を予定している最終学期開講のプログラムにも参加可能だが、単位は付与されない。

(注3) 短期研修に係る参加資格、申し込み期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示板等を参照すること。

(注4) 「系統的科学技術英語教育」修了認定証授与条件の自由科目として、単位は算入できる。

理工共通科目Ⅱ群

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工共通科目Ⅱ群	SCT66800	BIO111	分子生物学	2	秋	齊藤 玉緒 川口 眞理	1		輪講, ○物生	共通
		SCT60500	CHM111	無機化学(分析化学)	2	秋	早下 隆士 遠藤 明	1		○物生	物生
		SCT60600	CHM112	有機化学(有機分子)	2	秋	陸川 政弘	1		○物生	物生
		SCT67200	PHY205	基礎物理学Ⅱ	2	秋	足立 匡	1		○物生, △機能	機能
		SCT67000	MTH112	数学AⅡ(線型空間論)	2	秋	中島 俊樹	1		注2	情報
		SCT67100	MTH192	数学演習Ⅱ	1	秋	後藤 聡史	1			情報
		SCT67300	INF291	プログラミング演習	1	秋	高岡 詠子	1・2		[36名], 情報理工学科生は履修不可	共通
		SCT67900	MTH132	数学BⅡ(多変数微積)	2	秋	田中 秀岳	1・2		物質生命理工学科・機能創造理工学科クラス	機能
		SCT67900	MTH132	数学BⅡ(多変数微積)	2	秋	大城 佳奈子	1・2		情報理工学科クラス, □情報	情報
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	平田 均	1・2		物質生命理工学科クラス	物生
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	*田原 秀敏	1・2		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	都築 正男	1・2		情報理工学科クラス, □情報	情報
		SCT60300	PHY108	現代物理の基礎	2	秋	小田切 丈	1・2		○物生	物生
		SCT68100	EEE105	電気回路Ⅰ	2	秋	中村 一也	1・2		機能創造理工学科クラス, △機能	機能
		SCT68100	EEE105	電気回路Ⅰ	2	秋	高橋 浩	1・2		物質生命理工学科・情報理工学科クラス, □情報	情報
		SCT67800	PHY207	自然科学のための数学	2	春	久世 信彦	2			共通
		SCT65200	CHM213	物理化学(平衡・速度論)	2	春	高橋 和夫	2			物生
		SCT62200	BIO221	分子遺伝学	2	春	安増 茂樹	2			物生
		SCT64800	PHY202	原子・分子科学	2	春	岡田 邦宏	2			物生
		SCT65000	CHM211	無機化学(無機元素化学)	2	春	長尾 宏隆	2			物生
		SCT65100	CHM212	有機化学(有機反応)	2	春	鈴木 教之	2			物生
		SCT65400	CHM214	電気化学	2	春	遠藤 明剛	2			物生
		SCT65700	BIO231	生物化学	2	春	神澤 信行	2			物生
		SCT66700	PHY204	解析力学	2	春	後藤 貴行	2		△機能	機能
		SCT67700	PHY206	身近な物理学	2	休講		2		[120名] △機能	機能
		SCT66500	MTH241	数学CⅠ(統計データ解析)	2	春	加藤 剛	2		情報理工学科クラス □情報 旧「数学C(確率統計)」と重複履修不可	情報
		SCT66500	MTH241	数学CⅠ(統計データ解析)	2	春	*瀧澤 誠	2		機能創造理工学科・物質生命理工学科クラス 旧「数学C(確率統計)」と重複履修不可	機能

学部共通
物質生命
機能創造
情報

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工共通科目Ⅱ群	SCT66600	MTH242	数学CⅡ(確率統計)	2	秋	加藤 剛	2		[48名]	情報
		SCT62300	BIO251	細胞生物学	2	秋	林 謙 介	2			物生
		SCT67600	MEC284	物理標準と精密計測	2	秋	田 中 秀 岳	2			共通
		SCT66900	EEE205	電磁気学ⅡA	2	秋	谷 貝 剛	2		△機能	共通
		SCT64900	PHY203	量子物理化学	2	秋	星 野 正 光	2			物生
		SCT69300	CHM222	物理化学(分子科学)	2	秋	南 部 伸 孝	2			共通
		SCT65300	BIO261	動物生理学	2	秋	千 葉 篤 彦	2			物生
		SCT65510	CHM221	有機化学(有機合成)	2	秋	臼 杵 豊 展	2			物生
		SCT69400	CHM223	地球科学	2	秋	木川田 喜 一	2			物生
		SCT67500	INF231	情報通信工学の基礎	2	秋	高 橋 浩・他	1・2		輪講, [360名], 情報理工学科優先, □情報	情報
		SCT68300	PHY208	熱力学	2	春	足 立 匡	2・3		△機能	機能
		SCT61500	MEC215	力学(質点と剛体の力学)	2	春	曙 道 佳 明	2・3			機能
		SCT64300	MTH211	代数学基礎	2	春	五 味 靖	2・3		[120名] 教職課程履修申込者(2年次生)優先	情報
		SCT64500	MTH221	幾何学基礎	2	春	大 城 佳奈子	2・3			情報
		SCT68400	MEC285	機械システム設計の基礎	2	春	鈴木 隆之 久 森 紀之 田 中 秀 岳	2・3		[100名], △機能	機能
		SCT61700	MEC254	マテリアルサイエンス	2	春	高 井 健 一	2・3		△機能	共通
		SCT68500	EAS211	電磁気学Ⅰ	2	春	坂 本 織 江	2・3		△機能	機能
		SCT68600	EEE201	電気回路Ⅱ	2	春	高 尾 智 明	2・3		[86名], 機能創造理工学科優先, △機能	機能
		SCT62600	MEC233	工業熱力学	2	春	鈴木 隆	2・3		△機能	機能
		SCT62900	MEC223	流体力学	2	春	築 地 徹 浩	2・3		△機能	機能
		SCT68900	PHY209	量子力学入門	2	春	坂 間 弘	2・3		△機能	機能
		SCT60800	MTH231	複素関数論	2	春	都 築 正 男	2・3		情報理工学科クラス, □情報	情報
		SCT60800	MTH231	複素関数論	2	春	中 筋 麻 貴	2・3		物質生命理工学科・機能創造理工学科クラス	機能
		SCT61100	BIO241	情報生物学の基礎	2	春	笹 川 展 幸子 新 倉 貴	2・3		輪講, □情報	情報
		SCT62100	INF271	数値計算法	2	春	DZIEMINSKA Edyta	2・3		□情報	機能
		SCT64200	EEE211	デジタル回路	2	春	和 保 孝 夫	2・3		□情報	情報
		SCT64700	INF261	オペレーションズリサーチ	2	春	伊 呂 原 隆	2・3		□情報	情報
		SCT61300	MEC255	工業材料・加工の基礎	2	秋	鈴木 啓 史	2・3			機能
		SCT61400	EEE215	電子回路	2	春	林 等	2・3		[180名] 情報理工学科優先 注1,2	情報
		SCT67410	EEE311	アナログ電子回路	2	春	菊 池 昭 彦	2・3		△機能	共通
SCT61600	MEC244	テンソル解析の基礎	2	秋	長 嶋 利 夫	2・3			機能		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考	開 講 所 属
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工 共通 科目 II群	SCT63500	INF233	コンピュータネットワーク	2	春	小川 将克	2・3		情報
		SCT64000	EEE216	電磁気測定	2	秋	炭 親 良	2・3	注2	情報
		SCT64100	EEE217	集積回路の基礎	2	秋	和 保 孝 夫	2・3		情報
		SCT69100	MTH212	代数学 I (群論)	2	秋	五 味 靖	2・3		情報
		SCT69200	MTH222	幾何学 I (微分幾何)	2	秋	辻 元	2・3		情報
		SCT68810	EEE206	電気電子工学の数値解析	2	秋	宮 武 昌 史	2・3	[40名] 「電子物性工学」と 隔年交互開講	共通
		SCT62000	MEC274	制御基礎	2	春	申 鉄 龍	2・3	△機能	機能
		SCT68700	EAS215	電磁気学 II B	2	秋	黒 江 晴 彦	2・3	△機能	機能
		SCT62700	MEC245	材料力学の基礎	2	秋	張 月 琳	2・3	△機能	機能
		SCT62800	MEC216	機械力学	2	春	竹 原 昭 一 郎	2・3	△機能	機能
		SCT63100	EEE245	電子物性工学	2	休講		2・3	△機能 「電気電子工学の 数値解析」と隔年 交互開講	機能
		SCT69000	PHY210	統計力学	2	秋	後 藤 貴 行	2・3	△機能	機能
		SCT68200	MTH232	フーリエ・ラプラス解析	2	秋	中 筋 麻 貴	2・3	情報理工学科クラ ス, □情報	情報
		SCT68200	MTH232	フーリエ・ラプラス解析	2	秋	辻 元	2・3	機能創造理工学 科・物質生命理工 学科クラス	機能
		SCT63600	INF252	データ構造とアルゴリズム	2	秋	宮 本 裕 一 郎	2・3	□情報	情報
		SCT63700	INF253	データベース	2	春	高 岡 詠 子	2・3	[70名], □情報	情報
		SCT63800	INF254	プログラミング言語論	2	秋	川 端 亮	2・3	□情報	情報
		SCT63900	INF222	デジタル信号処理	2	秋	荒 井 隆 行	2・3	[160名], □情報	情報
SCT68000	EEE341	半導体物理の基礎	2	春	野 村 一 郎	3	△機能	共通		
SCT69500	NSC221	知的財産権	2	春	*川 北 喜 十 郎	2~4	[110名]	共通		

※備考欄の○物生△機能□情報はそれぞれの学科の選択必修科目を表す。

(注 1) 13, 14 年次生のみ機能創造理工学科の選択必修科目

(注 2) 18 年次生のみ情報理工学科の選択必修科目

学部
共通

物質
生命

機能
創造

情
報

理工学部 of 学生諸君へ (09~12 年次生)

1. 理工学部の構成

本学理工学部は、「理学」と「工学」の融合による「複合知」を習得し、「人間・環境支援」をモットーとして、自然環境と調和した人間社会の実現に向けて積極的に取り組み、また知識基盤社会に適應できる学生を育成するため、下記の3学科で構成されている。

- ・ 物質生命理工学科
- ・ 機能創造理工学科
- ・ 情報理工学科

物質生命理工学科は「自然と融和した新しい物質観と生命観の教授」、機能創造理工学科は、「地球環境や人間環境への貢献に資する“もの”を実現(創造)する叡智の教授」、情報理工学科は、「“情報”を通して人間と社会に対する深い理解力の教授」を特色とした教育を行う。

本学では全学共通科目と学科科目に分けて授業科目が開設され、学生諸君はそのおのおのについて規定を満たすように履修しなければならない。しかしながら本来大学は自ら学んで学問を身につける場であるので、履修の内容については各自が主体的に計画を立てて、責任をもって勉学することが大切である。

2. 全学共通科目について

全学共通科目は、学部学科の専門分野にのみとられることなく、広い視野に立って現在と将来を洞察することのできる人間の形成を目的として設けられている。そのために建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界の4分野の科目を修めることができるように配慮されている。とくに自然科学、工業技術が人類の生活に及ぼす影響が広汎かつ重要になっている現代において、理工学部に通学しようとする者は、その専門的立場での社会的責任を果たすために、人間と社会およびそれらを取りまく環境に対する健全な価値観と判断力とを必要とする。それ故全学共通科目を偏りなく学習することに、積極的な意義を見いだしてもらいたい。

① 外国語について

大学での科学・技術の勉学が進むにつれて、外国の教科書・文献を読む必要にせまられる。また外国語によって研究成果を発表しなければならない機会もある。さらに卒業後はどの方向に進み、どの分野で働くにしても外国語は一層必要となるであろう。それは科学・技術の国際性に由来するものであり、その傾向は今後ますます強くなるであろう。しかしながら外国語の重要なことはこのような実用的な理由だけでなく、知性と感受性の豊かさという科学・技術者にとって欠くことのできない性格の形成にも役立つからである。

本学は国際間のかけ橋たるべき抱負をもち、強力な教授団により独自の外国語教育のカリキュラムを制定している。諸君はこの有利な条件を積極的に利用して、記憶力の旺盛な大学生時代に外国語を身につけ、将来に悔いを残さぬようにしてほしい。

また第2外国語としては西欧諸国の言語だけでなく、中国語、コリア語、フィリピン語、インドネシア語などのアジア諸国語を学ぶことも意義あることである。

② 情報教育について

情報化の時代を迎え、各人がコンピューターに関して最低限の知識を持つとともに、将来高度にコンピューターを使うためにコンピューター言語の基礎を身につけておくことは、望ましいというだけでなく、必要不可欠なものとなりつつある。このことを念頭において「情報リテラシー演習」を受講してもらいたい。

③ 身体文化系科目

健康の維持と向上とが重要なことはいまでもないが、とくに理工学部では実験・実習、長時間の演習があり、また卒業後も工場、実験室での作業や、長時間の計算など、強じんな体力・気力が要求されることが多い。それ故、「ウェルネスと身体」および身体文化系選択必修科目の授業に出席するだけでなく、学業に支障のない範囲で課外のスポーツ活動に進んで参加し、体力・気力を充実させ、健康で明朗な生活を送るように希望する。

3. 学科科目について

学科科目は、理工学部の学生が共通に履修するべき科目群の理工共通科目Ⅰ群、Ⅱ群、各学科での学習の中心となる科目群の学科コア科目、各学科の専門科目としての学科専門科目の4種に分類される。これらの中には必修科目、選択必修科目、選択科目と自由科目がある。自由科目は単位を取得しても卒業単位には算入されない。

2013年度以降理工学部共通科目、学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して、理工学部共通科目についてはp.595, 学科科目についてはそれぞれの「履修上の注意」のページをよく確認すること。

① 理工共通科目Ⅰ群

理工共通科目Ⅰ群には、学生諸君が理工学部の学生として見聞を広めるための理工学総論の他、理工学部で学ぶ上での基礎科目を配置した。この群には、「科学技術英語」も配置されている。

なお、理工学総論については、2018年度より理工学概説を開講することとなったため、未履修の学生は履修登録期間に登録科目及び登録方法について、学事センターに問い合わせること。

② 理工共通科目Ⅱ群

理工共通科目Ⅱ群には、各学科の学生諸君が学科コア科目・学科専門科目を学ぶ上で必要な科目群が配置されている。

③ 学科コア科目

学科コア科目には、実験実習、ゼミナール、卒業研究等、各学科のコアとなる科目群が配置されている。

④ 学科専門科目

学科専門科目は、いくつかの群と系（情報理工学科を除く）から構成されている。これらの科目を学生諸君が自分の専門を見つける鍵となる「キーテーマ」・系に沿って履修することにより、学生諸君のキャリアプランを実現可能にしてある。

4. 科学技術英語

理工共通科目Ⅰ群の中に、一連の系統的な科学技術英語科目を配置している。この目的は、英語を実社会で有効に使用して仕事ができる能力を身に付けることにある。外国の文献を読み、国際的な場に論文を発表し、さらに国際会議や各種の契約・交渉等を英語で不自由なく進めるためには、誤解のない明快、簡潔な英語を心がけ、また科学や技術における固有の用語にも習熟しなければならない。

各科目は下表に記すように構成されている。科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G, X」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得する必要がある。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない。「科学技術英語3A～I」は自由科目で、**卒業に要する単位には算入されないが**、積極的に履修し、英語を使いこなせる技術者・研究者になってもらいたい。

この一連の科目の中から10単位以上（自由科目の中から6単位以上）を修得し、かつ卒業論文等を英語で作成し卒業する学生には、理工学部から「系統的な科学技術英語教育」修了認定証が授与される。

科学技術英語の履修年次と内容（詳細な内容はシラバスを参照のこと）

標準履修年次	履修形態	科目名（主要分野）	内容説明
2年次春	選択必修科目	1A（数学） 1B（応用数学） 1C（物理） 1D（化学） 1E（生物） 1F（情報）	英語で書かれた大学初年度レベルの教科書の講読
2年次秋	選択必修科目	2A（数学） 2B（応用数学） 2C（物理） 2D（化学） 2E（生物） 2F（情報） 2G（環境） 2X	英語で書かれた大学初年度レベルの教科書の講読
3・4年次春	自由科目	3A（PRESENTATION I） 3B（WRITING & LISTENING I） 3C（SCI.& ENG. COURSE A） 3H（COMMUNICATION SKILLS）	
3・4年次秋	自由科目	3E（PRESENTATION II） 3F（WRITING & LISTENING II） 3I1（QUALIFICATION EXAM）	

注1) 選択必修科目については、人数により履修クラスを調整することがある。

注2) 自由科目については、開始時にレベルテストにより履修を制限することがある。

「系統的な科学技術英語教育」修了認定証授与条件：

科目単位として合計10単位以上（自由科目の中から6単位以上）を習得し、かつ卒業論文等を英語で作成すること。

詳細および手続等については、卒業予定の年の1月頃の掲示板で確認すること。

【上記のほか、「系統的な科学技術英語教育」修了認定対象科目】

履修度			履修科目	年次	備考
理工学部	理工共通Ⅰ群	自由科目	科学技術英語（自由科目）の科目	2～4	レベルテストにより履修を制限することがある。
			海外短期研修（ノースカロライナ大学） 海外短期研修（カリフォルニア大学デービス校）	1～4	

		履修度	履修科目	年次	備考
理工学部英語コース科目	理工共通Ⅱ群	選択	英語コース科目 (必修および実験科目を除く)	2~4	履修条件あり 履修については、p. 593 を確認すること。 ※理工共通Ⅱ群選択科目に <u>6単位</u> まで算入可
	自由科目		OVERVIEW OF SCIENCE & TECHNOLOGY (~2017), INTRO. TO SCIENCE & TECHNOLOGY (~2017), OUTLINE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY, ENGLISH FOR SCIENCE & ENGINEERING (ENVIRONMENT)	2~4	履修条件なし
語学科目	卒業要件外		英語選択科目 (A. ACADEMIC ENGLISH, B. PROFESSIONAL ENGLISH, C. PRACTICAL ENGLISH) 英語選択科目 (EXAM PREPARATION COURSES)	2~4	履修については、履修要覧 (共通編) p. 163~を参照すること。

5. 大学院について

本学には博士前期・後期課程の大学院が設置されている。博士前期課程2年間を修了すると修士の学位が与えられる。理工学は多岐深遠なので、大学院では学部での基礎的かつ一般的な学習にもとづき、高度の専門教育が行われる。科学技術の高度化とともに、修士あるいは博士の社会需要は伸びつつある。また履修年限の短縮なども検討されている。学部在学中に大学院への進学のこととも考え自分の進路を定めてほしい。

なお、本学大学院へ進学を希望している学生は、「大学院入学前科目履修制度」により大学4年次に理工学研究科があらかじめ指定した科目を履修することができ、本学の大学院進学後、定められた上限単位数の範囲内で入学前単位として認定される。

大学院入学前科目履修制度で履修した科目は、卒業に必要な単位としては認められない。

入学前科目履修の詳細については、掲示板で確認すること。

6. 資格について

所定の科目を修得して本学部各学科を卒業することにより、幾つかの資格の取得や受験の条件(の一部)を満たすものがある。主な幾つかのものについては本要覧中で説明する。

① 教職課程について

中学校および高等学校の教員になるためには、教育職員免許状を有していなければならない。本学を卒業し、教育職員免許法に定められている科目を履修し、単位を修得した者は、本人の申請に基づき「中学校教諭1種」および「高等学校教諭1種」免許状が教育委員会により与えられる。

教職課程とは、教育職員免許法により授与される免許状を取得するために履修するコースであり、理工学部では各学科で次表の各教科に関する課程が用意されている。教員免許を取得しようとする学生は、各科目の履修登録とともに、所定の期間に教職課程の履修登録をしなければならない。詳しくは『履修要覧 (課程編)』を参照のこと。教職課程に関わる科目の履修には様々な注意があるので、履修登録の際には各自で十分に確認されたい。

学科	中学校教諭1種	高等学校教諭1種
物質生命理工学科	理科	理科
機能創造理工学科	理科・数学	理科・数学・工業
情報理工学科	数学	数学・情報

② 電気主任技術者資格について

電気事業法および関連法令の規定により、経済産業省認定大学において所定の科目単位を修得した上で所定の実務経験を積むと、電気主任技術者の資格を取得することができる。本学では機能創造理工学科のみが対象である。詳しくは機能創造理工学科の節の「電気主任技術者資格とその取得について」を参照のこと。

③ 無線従事者資格について

電波法および関連法令の規定により、無線通信に関する所定の科目を修得すると、申請により「無線従事者（第一級陸上特殊無線技士）」資格と「無線従事者（第三級海上特殊無線技士）」の資格を取得できる。情報理工学科の専門科目を含むが、他学科生でも履修が可能である。

詳しくは情報理工学科の節の「無線従事者」資格についてを参照のこと。

7. 理工学部早期卒業制度について

本学大学院博士後期課程への進学を目指している者を対象として、早期卒業制度を設けている。早期卒業とは、在学期間（休学期間を除く）が3年以上あり、所定の手続きを経て、3年次終了時または4年次春終了時をもって卒業すること（以下、それぞれ3年次3月卒業または4年次9月卒業という）を言う。

① 早期卒業希望登録の資格と手続き

- ①-1. 2年次終了時に下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業希望登録が出来る。
 - (1) 全学共通科目を、1年次の必修科目全てを含み卒業算入30単位以上修得していること
 - (2) 学科学科科目を、2年次までの必修科目全てを含み卒業算入60単位以上修得していること
 - (3) 全科目および学科学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること
- ①-2. 早期卒業希望登録の手続きは下記の通り。
 - (1) 3年次開始時に指導を希望する教員の承諾を受けて「卒業研究Ⅰ」を履修登録すると共に、「早期卒業希望登録申請書」を提出する。
 - (2) 「早期卒業希望登録申請書」には「卒業研究Ⅰ」の指導教員の承認印を受ける。
- ①-3. 早期卒業希望登録後は、指導教員から履修指導を受けるとともに、学業の進捗状況を指導教員に随時報告し、適切な指導を受けなければならない。

② 早期卒業の判定

下記の条件を全て満たしている学生は、早期卒業判定希望が出来る。

- (1) 本人が早期卒業を希望し、早期卒業希望登録を行なっていること
- (2) 早期卒業時、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること
- (3) 早期卒業時、全科目および学科学科科目のGPAが共に3.65以上(成績表の数値)であること

③ 早期卒業希望取消・卒業時期の変更など

早期卒業希望登録後の希望卒業時期の変更および早期卒業希望登録そのものを取り消す場合は、次の手続きを行う必要がある。

- (1) 卒業希望時期の変更は、「早期卒業希望時期変更届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の提出期限までに学科長まで届け出ること
- (2) 早期卒業希望登録の取消は、「早期卒業希望登録取消届出書」に指導教員の承認印を受けて、[手続]の期限までに学科長まで届け出ること。

[手続] *書類の配付および詳細は掲示板で確認して下さい。

提出書類	提出時期	
早期卒業希望登録申請書	3年次の4月1日～4月末日(大学休業日を除く)まで	
早期卒業希望時期変更届出書	3年次の秋履修登録期間まで	
早期卒業希望登録取消届出書	3年次3月卒業取消の場合	3年次の秋履修中止期間まで
	4年次9月卒業取消の場合	4年次の春履修中止期間まで

8. 英語コース科目の履修について

理工学部では、2012年秋に英語コース（物質生命理工学科グリーンサイエンスコース，機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース）を開設した。

英語コース以外の学生が英語コース科目の履修を希望する場合について説明する。

① 履修可能な科目

理工共通科目及び学科学科科目の必修科目を除く全ての科目を履修することができる。ただし、実験科目は履修を認めない。英語コース科目で取得した単位は、**6単位まで理工共通科目Ⅱ群選択科目として卒業単位に算入することができる。**

詳細はLoyola学事センター（教務）掲示板で確認すること。

② 履修の条件と手続き

②-1. 履修にあたっては、下記の条件のいずれか一つを満たしていること。

- (1) TOEFL iBT 79点 / PBT 550点 以上
- (2) TOEFL ITP 550点 以上
- (3) TOEIC 730点 以上
- (4) TEAP 2技能 164点 (2016年次生以前を対象とする) / 4技能 334点 / CBT 600点 以上
- (5) IELTS 6.0 以上
- (6) 実用英語技能検定 1級 または 準1級
- (7) 上智大学協定校に交換留学した者

②-2. 履修を希望する学生は、履修登録期間に、履修登録期間前にLoyola学事センター（教務）掲示板に詳細および履修願フォームが掲出されるのでよく確認すること。

③ その他

科学技術英語の自由科目として、英語コース科目の以下の科目の重複履修を認める。この科目については、履修条件をつけない。

- (1) OVERVIEW OF SCIENCE & TECHNOLOGY (理工学総論) (～2017)
- (2) INTRO. TO SCIENCE & TECHNOLOGY (理工学概論) (～2017)
- (3) ENGLISH FOR SCIENCE & ENGINEERING(ENVIRONMENT)
- (4) OUTLINE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

9. 科目のナンバリングについて

理工学部における各開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧（共通編）p.26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
NSC	NATURAL SCIENCE	自然科学系
MTH	MATHEMATICS	数学系
PHY	PHYSICS	物理系
CHM	CHEMISTRY	化学系
BIO	BIOLOGY	生物系
INF	INFORMATICS	情報系
EEE	ELECTRICAL AND ELECTRONICS ENGINEERING	電気電子工学系
MEC	MECHANICAL ENGINEERING	機械工学系
EAS	ENGINEERING AND APPLIED SCIENCES	機能創造理工学系
MLS	MATERIALS AND LIFE SCIENCES	物質生命理工学系
ICS	INFORMATION AND COMMUNICATION SCIENCES	情報理工学系
GEL	GEOLOGY	教職：地学

10. カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。よって変更前年度以前に開講された科目を修得済みのものは、変更後の年度以降に開講する科目を重複して履修することはできないので注意すること。

また、変更前の科目を未修得の者は、変更後の読み替え科目を履修すること。各学科によって読み替え科目が異なる場合があるので備考欄を参照すること。

変更前			変更後			備考
科目コード	開講科目名	年度	科目コード	開講科目名	年度	
SCT10100	理工学総論Ⅰ，注1	～2012	SCT11401	理工学総論（物質生命理工）	2013～	物質生命理工学科
			SCT11402	理工学総論（機能創造理工）		機能創造理工学科
			SCT11403	理工学総論（情報理工）		情報理工学科
SCT10200	理工学総論Ⅱ，注1		SCT11402	理工学総論（機能創造理工）		物質生命理工学科
			SCT11403	理工学総論（情報理工）		機能創造理工学科
			SCT11402	理工学総論（機能創造理工）		情報理工学科
SCT10300	理工学概論Ⅰ（環境と生命），注1		SCT11501	理工学概論（物質生命理工）		物質生命理工学科
			SCT11502	理工学概論（機能創造理工）		機能創造理工学科
			SCT11501	理工学概論（物質生命理工）		情報理工学科
SCT10400	理工学概論Ⅱ（安全と倫理），注1		SCT11503	理工学概論（情報理工）		物質生命理工学科
			SCT11501	理工学概論（物質生命理工）		機能創造理工学科
			SCT11503	理工学概論（情報理工）		情報理工学科
SCT10500	数学A（線型代数）		SCT11600	数学AⅠ（線型代数）		各学科指定クラス
SCT10600	数学B（微分積分）		SCT11700	数学BⅠ（微分積分）		各学科指定クラス
SCT20100	数学C（確率統計）		SCT66500	数学CⅠ（統計データ解析）		全学科
SCT11200	基礎化学実験・演習	SML10500	物質生命理工学実験A	全学科		
SCT11300	基礎生物・情報実験・演習	SCT11900	理工基礎実験・演習	物質生命理工学科		
		SCT11900	理工基礎実験・演習	機能創造理工学科		
		SIC10200	基礎プログラミング	情報理工学科		
SCT50100 ～SCT50600	科学技術英語1	SCT51300 ～SCT51800	科学技術英語	履修する科目については理工学部が行うクラス分けに従うこと。		
SCT50800 ～SCT51900	科学技術英語2	SCT52000	科学技術英語2 X	全学科		
SCT60100	ベクトル解析の基礎	SCT67900	数学BⅡ（多変数微積）	重複履修不可		
SCT60400	電気・電子回路の基礎	SCT68100	電気回路Ⅰ	重複履修不可		
SCT60900	応用解析の基礎	SCT68200	フーリエ・ラプラス解析	重複履修不可		
SCT61000	熱統計力学の基礎	SCT68300	熱力学	重複履修不可		
SCT61200	設計・CADの基礎	SCT68400	機械システム設計の基礎	重複履修不可		
SCT61800	電磁気学の基礎	SCT68500	電磁気学Ⅰ	重複履修不可		
SCT61900	電気回路	SCT68600	電気回路Ⅱ	重複履修不可		
SCT62500	電磁気学	SCT68700	電磁気学ⅡB	重複履修不可		
SCT63300	量子力学	SCT68900	量子力学入門	重複履修不可		
SCT63400	熱統計力学	SCT69000	統計力学	重複履修不可		
SCT64400	群論の基礎	SCT69100	代数学Ⅰ（群論）	重複履修不可		
SCT64600	微分幾何の基礎	SCT69200	幾何学Ⅰ（微分幾何）	重複履修不可		
SCT65600	地球環境科学	SCT69400	地球科学	重複履修不可		
SCT65800	伝熱工学	SEA65200	伝熱工学概論	重複履修不可		
SEA64300	物理標準と精密測定	SCT67600	物理標準と精密計測	重複履修不可		
SEA20100	機能創造理工学Ⅱ	～2012	SCT66700	解析力学	2013～ 重複履修不可	
SCT81100	科学技術英語3A (PRESENTATION I)	～2015	SCT82800	科学技術英語 (PRESENTATION I)	2016～ 重複履修不可	
SCT81800	科学技術英語3B (COMMUNICATION SKILLS)		SCT83000	科学技術英語 (COMMUNICATION SKILLS I)	2016～ 重複履修不可	

（注1） この科目を未履修の者は、読み替え科目を履修すること。履修登録の詳細については、履修登録期間中に学事センター窓口にお問い合わせすること。

理工学部共通

開講科目一覧表

12年次生以前

理工共通科目 I 群

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属
必修科目 理工共通科目 I 群	SCT10100		理工学総論 I	2			1		注3, 4	
	SCT10200		理工学総論 II	2			1		注3, 4	
	SCT10300		理工学概論 I (環境と生命)	2			1		注3, 4	
	SCT10400		理工学概論 II (安全と倫理)	2			1		注3, 4	
	SCT10500		数学A (線型代数)	2			1		注3	
	SCT10600		数学B (微分積分)	2			1		注3	
	SCT20100		数学C (確率統計)	2					注3	
	SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	小田切 丈	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
	SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	大槻 東 巳	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
	SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	桑原 英 樹	1		機能創造理工学科1クラス, 注1	機能
	SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	平野 哲 文	1		機能創造理工学科2クラス, 注1	機能
	SCT10700	PHY101	基礎物理学	2	春	炭 親 良	1		情報理工学科クラス注1	情報
	SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	竹岡 裕 子	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
	SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	長尾 宏 隆	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
	SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	藤田 正 博	1		機能創造理工学科クラス, 注1	機能
	SCT10800	CHM101	基礎化学	2	春	内田 寛	1		情報理工学科クラス, 注1	情報
	SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	川口 眞 理	1		物質生命理工学科1クラス, 注1	物生
	SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	近藤 次 郎	1		物質生命理工学科2クラス, 注1	物生
	SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	新倉 貴 子 林 謙 介	1		機能創造理工学科クラス, 注1	機能
	SCT10900	BIO101	基礎生物学	2	春	笹川 展 幸	1		情報理工学科クラス	情報
	SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	林 等	1		物質生命理工学科クラス, 注1	物生
	SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	川端 亮	1		機能創造理工学科クラス, 注1	機能
	SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	川中 彰	1		情報理工学科1クラス, 注1	情報
	SCT11000	INF101	基礎情報学	2	秋	山中 高 夫	1		情報理工学科2クラス, 注1	情報

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属
選択必修科目	理工共通科目Ⅰ群	SCT11200	基礎化学実験・演習	1			1		注3	
		SCT11300	基礎生物・情報実験・演習	1			1		注3	
		SCT50100	科学技術英語1A(数学)	2			2		注3	
		SCT50200	科学技術英語1B(応用数学)	2			2		注3	
		SCT50300	科学技術英語1C(物理)	2			2		注3	
		SCT50400	科学技術英語1D(化学)	2			2		注3	
		SCT50500	科学技術英語1E(生物)	2			2		注3	
		SCT50600	科学技術英語1F(情報)	2			2		注3	
		SCT50700	科学技術英語2A(数学)	2			2		注3	
		SCT50800	科学技術英語2B(応用数学)	2			2		注3	
		SCT50900	科学技術英語2C(物理)	2			2		注3	
		SCT51000	科学技術英語2D(化学)	2			2		注3	
		SCT51100	科学技術英語2E(生物)	2			2		注3	
		SCT51200	科学技術英語2F(情報)	2			2		注3	
SCT51900	科学技術英語2G(環境)	2			2		注3			
SCT52000	NSC208	科学技術英語2X	2	秋	DZIEMINSKA Edyta	2		科学技術英語2未修得者	共通	
自由科目	SCT82800	NSC211	科学技術英語(PRESENTATION I)	2	春	荒井 隆 行	3・4		隔年開講, [49名] 旧「科学技術英語3A」	共通
	SCT83000	NSC213	科学技術英語(COMMUNICATION SKILLS I)	2	休講		3・4		隔年開講, 旧「科学技術英語3H」	共通
	SCT82100	EEE319	電気法規と施設管理	2	休講		3・4		「電力工学設計および製図」と隔年交互開講	共通
	SCT82200	EEE318	電気通信法規	2	秋	*魚 留 元 章	3・4			共通
	SCT82300	EEE314	電力工学設計および製図	2	春	*阿 曾 俊 幸	3・4		135分授業「電気法規と施設管理」と隔年交互開講	共通
	SCT82500	EEE398	電気電子工学実験Ⅳ	1	春	高 尾 他	3・4		夏期集中「電気電子工学実験Ⅴ」と隔年交互開講	共通
	SCT82600	EEE399	電気電子工学実験Ⅴ	1	休講		3・4		夏期集中「電気電子工学実験Ⅳ」と隔年交互開講	共通
	SCT11800	MTH191	数学演習Ⅰ	1	春	五 味 靖 均 平 田	1		物質生命理工学科クラス, 注2	共通
	SCT11800	MTH191	数学演習Ⅰ	1	春	申 鉄 龍 静 曹 文	1		機能創造理工学科クラス, 注2	共通
	SCT11800	MTH191	数学演習Ⅰ	1	春	角 皆 宏 中 筋 麻 貴	1		情報理工学科クラス, 注2	情報

- (注1) 配当年次以降の学生も、クラス指定に従うこと。2016年度1クラス開講の学科については所属学科のクラスを受講すること。
- (注2) 履修に際しては各担当者からの指示に従うこと。(「数学AⅠ(線型代数)」「数学BⅠ(微分積分)」と連係して行なうので、この科目を履修する際に「数学演習Ⅰ」を併せて履修するよう勧めることがある。)
- (注3) 理工学部カリキュラム改定により2013年度以降廃止または科目名変更された。未修得者は各学科で指定された科目を修得することにより読み替えるので、p.595の表にしたがって指定の科目・クラスを履修すること。2013年度以降開講の科目・クラスについては、理工学部共通科目(13年次生)の開講科目一覧表(p.585～)を参照のこと。
- (注4) 2018年度に新たにカリキュラム変更が行われたため、未修得者は読替え科目の履修登録について、履修登録期間中に学事センターに問い合わせを行うこと。

履修度		科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外国 語	備考	開講 所属
自由 科目	理工共通科目Ⅰ群	N99208	NSC292	海外短期研修 (ノースカロライナ大学)	2	秋	理工学部教員	1～4		注1, 注2, 注3, 注4	共通
		N99211	NSC293	海外短期研修(カリフォルニア大学デービス校) 理工系英語コース	2	春	理工学部教員	1～4		注1, 注2, 注3, 注4	共通

(注1) 研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。卒業に要する単位には算入されない。

(注2) 卒業を予定している最終学期開講のプログラムにも参加可能だが、単位は付与されない。

(注3) 短期研修に係る参加資格、申し込み期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示板等を参照すること。

(注4) 「系統的科学技術英語教育」修了認定証授与条件の自由科目として、単位は算入できる。

理工共通科目Ⅱ群

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属	
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工共通科目Ⅱ群	SCT66800	BIO111	分子生物学	2	秋	齊藤 玉緒 川口 眞理	1		輪講	共通
		SCT60500	CHM111	無機化学(分析化学)	2	秋	早下 隆士 遠藤 明	1			物生
		SCT60600	CHM112	有機化学(有機分子)	2	秋	陸川 政弘	1			物生
		SCT67200	PHY205	基礎物理学Ⅱ	2	秋	足立 匡	1			機能
		SCT67000	MTH112	数学AⅡ(線型空間論)	2	秋	中島 俊樹	1			情報
		SCT67100	MTH192	数学演習Ⅱ	1	秋	後藤 聡史	1			情報
		SCT67900	MTH132	数学BⅡ(多変数微積)	2	秋	田中 秀岳	1・2		物質生命理工学科・機能創造理工学科クラス, 旧「ベクトル解析の基礎」, 注1,	機能
		SCT67900	MTH132	数学BⅡ(多変数微積)	2	秋	大城 佳奈子	1・2		情報理工学科クラス, 旧「ベクトル解析の基礎」, 注1	情報
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	平田 均	1・2		物質生命理工学科クラス	物生
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	*田原 秀敏	1・2		機能創造理工学科クラス	機能
		SCT60200	MTH133	微分方程式の基礎	2	秋	都築 正男	1・2		情報理工学科クラス	情報
		SCT60300	PHY108	現代物理の基礎	2	秋	小田切 丈	1・2		○物生	物生
		SCT60700	CHM191	物理化学(化学熱力学)	2	秋	田中 邦翁	1・2		物質生命理工学科「物質生命理工学(化学)と合併」	物生
		SCT68100	EEE105	電気回路Ⅰ	2	秋	中村 一也	1・2		機能創造理工学科クラス, 旧「電気・電子回路の基礎」, 注1	機能
		SCT68100	EEE105	電気回路Ⅰ	2	秋	高橋 浩	1・2		情報理工学科・物質生命理工学科クラス, 旧「電気・電子回路の基礎」, 注1	情報
		SCT62200	BIO221	分子遺伝学	2	春	安増 茂樹	2			物生
		SCT64800	PHY202	原子・分子科学	2	春	岡田 邦宏	2		○物生	物生
		SCT65000	CHM211	無機化学(無機元素化学)	2	春	長尾 宏隆	2		○物生	物生
		SCT65100	CHM212	有機化学(有機反応)	2	春	鈴木 教之	2		○物生	物生
		SCT65200	CHM213	物理化学(平衡・速度論)	2	春	高橋 和夫	2		○物生	物生
		SCT65400	CHM214	電気化学	2	春	遠藤 明剛 橋本 剛	2		○物生	物生
		SCT65700	BIO231	生物化学	2	春	神澤 信行	2		○物生	物生
		SCT66700	PHY204	解析力学	2	春	後藤 貴行	2		旧「機能創造理工学Ⅱ」注2	機能
		SCT62300	BIO251	細胞生物学	2	秋	林 謙介	2			物生
		SCT64900	PHY203	量子物理化学	2	秋	星野 正光	2		○物生	物生
		SCT65300	BIO261	動物生理学	2	秋	千葉 篤彦	2		○物生	物生
		SCT65510	CHM221	有機化学(有機合成)	2	秋	白杵 豊展	2		○物生	物生
		SCT69400	CHM223	地球科学	2	秋	木川田 喜一	2		○物生, △機能, 注1 旧「地球環境科学」	物生

学部共通

物質生命

機能創造

情報

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	開講所属
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工共通科目Ⅱ群	SCT68300	PHY208	熱力学	2	春	足立 匡	2・3	△機能, 注1, 旧「熱統計力学の基礎」	機能
		SCT61500	MEC215	力学(質点と剛体の力学)	2	春	曄道 佳明	2・3		機能
		SCT64300	MTH211	代数学基礎	2	春	五味 靖	2・3	[120名], 教職課程履修申込者(2年次以上)優先, □情報	情報
		SCT64500	MTH221	幾何学基礎	2	春	大城 佳奈子	2・3	□情報	情報
		SCT68400	MEC285	機械システム設計の基礎	2	春	鈴木 隆之 久森 紀之 田中 秀岳	2・3	[100名], 旧「設計・CADの基礎」, 注1	機能
		SCT61700	MEC254	マテリアルサイエンス	2	春	高井 健一	2・3		共通
		SCT68500	EAS211	電磁気学Ⅰ	2	春	坂本 織江	2・3	旧「電磁気学の基礎」, 注1	機能
		SCT68600	EEE201	電気回路Ⅱ	2	春	高尾 智明	2・3	[86名], 機能創造理工学科優先, 旧「電気回路」, 注1	機能
		SCT62600	MEC233	工業熱力学	2	春	鈴木 隆	2・3	△機能	機能
		SCT62900	MEC223	流体力学	2	春	築地 徹浩	2・3	△機能	機能
		SCT68900	PHY209	量子力学入門	2	春	坂間 弘	2・3	△機能, 注1, 旧「量子力学」	機能
		SCT60800	MTH231	複素関数論	2	春	都築 正男	2・3	情報理工学科クラス	情報
		SCT60800	MTH231	複素関数論	2	春	中筋 麻貴	2・3	物質生命理工学科・機能創造理工学科クラス	機能
		SCT61100	BIO241	情報生物学の基礎	2	春	笹川 展幸 新倉 貴子	2・3	輪講	情報
		SCT62100	INF271	数値計算法	2	春	DZIEMINSKA Edyta	2・3		機能
		SCT68810	EEE206	電気電子工学の数値解析	2	秋	宮武 昌史	2・3	[40名]「電子物性工学」と隔年交互開講	共通
		SCT64200	EEE211	デジタル回路	2	春	和保 孝夫	2・3	□情報	情報
		SCT64700	INF261	オペレーションズリサーチ	2	春	伊呂原 隆	2・3	□情報	情報
		SCT61300	MEC255	工業材料・加工の基礎	2	秋	鈴木 啓史	2・3		機能
		SCT61400	EEE215	電子回路	2	春	林 等	2・3	[60名]情報理工学科優先	情報
		SCT61600	MEC244	テンソル解析の基礎	2	秋	長嶋 利夫	2・3		機能
		SCT63500	INF233	コンピュータネットワーク	2	春	小川 将克	2・3	□情報	情報
		SCT64000	EEE216	電磁気測定	2	秋	炭 親良	2・3	△機能□情報	共通
		SCT64100	EEE217	集積回路の基礎	2	秋	和保 孝夫	2・3	△機能□情報	共通
		SCT69100	MTH212	代数学Ⅰ(群論)	2	秋	五味 靖	2・3	□情報, 旧「群論の基礎」, 注1	情報
		SCT69200	MTH222	幾何学Ⅰ(微分幾何)	2	秋	辻 元	2・3	□情報, 旧「微分幾何の基礎」, 注1	情報
		SCT62000	MEC274	制御基礎	2	春	申 鉄龍	2・3		機能
		SCT68700	EAS215	電磁気学ⅡB	2	秋	黒江 晴彦	2・3	△機能, 注1, 旧「電磁気学」	機能

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考	開 講 所 属
選択科目 (備考を必ず参照のこと)	理工共通科目Ⅱ群	SCT62700	MEC245	材料力学の基礎	2	秋	張 月 琳	2・3	△機能	機能
		SCT62800	MEC216	機械力学	2	春	竹 原 昭一郎	2・3	△機能	機能
		SCT63100	EEE245	電子物性工学	2	休講		2・3	△機能 「電気電子工学の 数値解析」と隔年 交互開講	機能
		SCT69000	PHY210	統計力学	2	秋	後 藤 貴 行	2・3	△機能, 注1, 旧「熱 統計力学」	機能
		SCT68200	MTH232	フーリエ・ラプラス解析	2	秋	中 筋 麻 貴	2・3	情報理工学科クラス	情報
		SCT68200	MTH232	フーリエ・ラプラス解析	2	秋	辻 元	2・3	物質生命理工学 科・機能創造理工学 学科クラス	機能
		SCT63600	INF252	データ構造とアルゴリズム	2	秋	宮 本 裕一郎	2・3	□情報	情報
		SCT63700	INF253	データベース	2	春	高 岡 詠 子	2・3	[70名], □情報	情報
		SCT63800	INF254	プログラミング言語論	2	秋	川 端 亮	2・3	□情報	情報
		SCT63900	INF222	デジタル信号処理	2	秋	荒 井 隆 行	2・3	[160名], □情報	情報
		SCT69500	NSC221	知的財産権	2	春	*川 北 喜十郎	2~4	[110名]	共通

(注) 備考欄の○物生△機能□情報はそれぞれの学科の選択必修科目を表す。

(注1) 2013年度以前に開講されていた旧科目と同一科目である。新旧科目を重複して修得しても、卒業に必要な単位として算入されない。旧科目の未履修者は対応する新科目を履修できる。p.595を参照すること。

(注2) 機能創造理工学科の学生は、旧科目の読み替え科目としてのみ履修できる。

学部共通

物質生命

機能創造

情報

物質生命理工学科

〔教育研究上の目的〕

物理学，化学，生物学，環境学，材料科学などの学問分野を融合的に学び，原子・分子から高分子，生命現象にわたる物質の基礎を理解し，応用・展開する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

新しい概念の物質や技術の創成に貢献するために，新しい物質観と生命観を備え，かつ，地球環境と科学技術の永続的な融和を担える人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では，自然と融合した物質観と生命観および広い視野に基づく複合知を身につけた人材の養成を目的として，学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自然科学分野の基礎を理解し，科学技術に対する安全・倫理観
2. 物理学，化学，生物学の基礎を土台として，物理，化学，生命現象を理解する能力
3. 物質・生命の基礎を体系的にとらえ，原子・分子から高分子，生体分子にわたる物質の創成と技術開発に貢献する能力
4. 学修した内容を理論・技術的に応用展開する能力を修得し，物質とナノテクノロジー，環境と生命の調和，高機能材料の創製に結びつく理工学における課題解決に貢献する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では，ディプロマ・ポリシーに沿って，次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 理工共通科目Ⅰ群科目を通して，自然科学分野の基礎を理解し，科学技術に対する安全・倫理観を修得させる。
2. 理工共通科目Ⅱ群科目を通して，物理学，化学，生物学，情報学，数学など自然科学全般の基礎を学修させる。同時に，科学技術英語を通して，英語で理解・表現する能力を修得させる。
3. 物質・生命に関する学科コア科目（物理学・化学・生物学分野の講義と実験科目）を通して，原子・分子から高分子，生体分子にわたる物質の創成と技術開発に貢献できる能力を修得させる。
4. 物質とナノテクノロジー，環境と生命の調和，高機能材料の創製に関する高度な学問的内容（学科専門科目）を学修させ，応用・展開する分野，学際的な分野，および実社会に繋がる課題解決方法を修得させる。
5. 少人数教育体制のもと，卒業研究およびゼミナールを通して先端分野を理解するとともに，成果発表を行い，研究者としての素養を修得し，学修した内容を理論・技術的に応用展開する能力を修得させる。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

18年次生以降

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	(必修29単位，選択必修11単位，選択54単位)
合計	124単位	

14～17年次生

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	(必修31単位，選択必修11単位，選択52単位)
合計	124単位	

13年次生

全学共通科目		
必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	
学科科目	94単位	(必修31単位，選択必修11単位，選択52単位)
合計	124単位	

12年次生

全学共通科目		
必修	12単位	[体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	14単位	
学科科目	94単位	(必修35単位，選択必修13単位，選択46単位)
合計	124単位	

11年次生以前

全学共通科目		
必修	14単位	[人間学2単位，体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	6単位	
選択	10単位	
学科科目	94単位	(必修35単位，選択必修13単位，選択46単位以上)
合計	124単位	

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照。

○ 語学科目(4単位)

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群	必修 (16単位)	理工学概説	2					
			数学AⅠ(線型代数)	2					
			数学BⅠ(微分積分)	2					
			基礎物理学	2					
			基礎化学	2					
			基礎生物学	2					
			基礎情報学	2					
			理工基礎実験・演習	1					
	選択必修 (2単位)			科学技術英語	2				
	理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (6単位)	現代物理の基礎		2				
基礎物理学Ⅱ				2					
		無機化学(分析化学)		2					
		有機化学(有機分子)		2					
		分子生物学		2					
	選択 (22単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから22単位以上修得すること (理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)				22			
学科コア科目	必修 (13単位)	物質生命理工学(物理)	2	物質生命理工学実験B	1		卒業研究Ⅰ	1	
		物質生命理工学(化学)	2	物質生命理工学実験C	1		卒業研究Ⅱ	1	
		物質生命理工学(生物)	2				ゼミナールⅠ	1	
		物質生命理工学実験A	1				ゼミナールⅡ	1	
	選択必修 (3単位)			選択必修科目α群 (化学実験Ⅰまたは生物科学実験Ⅰ)	1	選択必修科目β群のうちから1単位	1		
						選択必修科目γ群のうちから1単位	1		
学科専門科目	選択 (32単位)					学科専門科目のうち、32単位以上を修得すること。 他学科(機能創造理工, 情報理工)の「学科専門科目」から6単位までを算入することができる			32

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照。

○ 語学科目 (4単位)

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科学目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (18単位)	理工学総論※	2				
			理工学概論※	2				
			数学A I (線型代数)	2				
			数学B I (微分積分)	2				
			基礎物理学	2				
			基礎化学	2				
			基礎生物学	2				
			基礎情報学	2				
			数学演習 I	1				
			理工基礎実験・演習	1				
	選択必修 (2単位)		科学技術英語	2				
	理工共通科目 II 群	選択必修 (6単位)	現代物理の基礎	2				
			基礎物理学 II	2				
			無機化学(分析化学)	2				
			有機化学(有機分子)	2				
			分子生物学	2				
		選択 (20単位)	理工共通科目 II 群選択科目のうちから20単位以上修得すること (理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)			20		
	学科コア科目	必修 (13単位)	物質生命理工学(物理)	2	物質生命理工学実験B	1	卒業研究 I	1
			物質生命理工学(化学)	2	物質生命理工学実験C	1	卒業研究 II	1
			物質生命理工学(生物)	2			ゼミナール I	1
			物質生命理工学実験A	1			ゼミナール II	1
		選択必修 (3単位)		選択必修科目 α 群 (化学実験 I または 生物科学実験 I)	1	選択必修科目 β 群 のうちから1単位	1	
						選択必修科目 γ 群 のうちから1単位	1	
	学科専門科目	選択 (32単位)	学科専門科目のうち、32単位以上を修得すること。 他学科(機能創造型理工、情報理工)の「学科専門科目」から6単位までを算入することができる					32

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.584を確認し、読み替え科目を履修すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群	必修 (18単位)	理工学総論※ 理工学概論※ 数学AⅠ(線型代数) 数学BⅠ(微分積分) 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎情報学 数学演習Ⅰ 理工基礎実験・演習	2 2 2 2 2 2 2 2 1 1					
		選択必修 (2単位)		科学技術英語	2				
	理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (6単位)	現代物理の基礎 基礎物理学Ⅱ 無機化学(分析化学) 有機化学(有機分子) 分子生物学		2 2 2 2 2				
		選択 (20単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから20単位以上修得すること (理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)			20			
	学科コア科目	必修 (13単位)	物質生命理工学(物理) 物質生命理工学(化学) 物質生命理工学(生物) 物質生命理工学実験A	2 2 2 1	物質生命理工学実験B 物質生命理工学実験C	1 1		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	1 1 1 1
選択必修 (3単位)			選択必修科目α群 (化学実験Ⅰまたは生物科学実験Ⅰ)	1	選択必修科目β群のうちから1単位 選択必修科目γ群のうちから1単位	1 1			
学科専門科目	選択 (32単位)				学科専門科目のうち、32単位以上を修得すること。 他学科(機能創造理工, 情報理工)の「学科専門科目」から6単位までを算入することができる		32		

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.595を確認し、読み替え科目を履修すること。

12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウエルネスと身体 情報リテラシー演習	2 2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (14単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群	必修 (25単位)	理工学総論Ⅰ	2	数学C(確率統計)	2			
			理工学総論Ⅱ	2					
	理工学概論Ⅰ(環境と生命)	2							
	理工学概論Ⅱ(安全と倫理)	2							
	数学A(線型代数)	2							
	数学B(微分積分)	2							
	基礎物理学	2							
基礎化学	2								
基礎生物学	2								
基礎情報学	2								
基礎物理実験・演習	1								
基礎化学実験・演習	1								
基礎生物・情報実験・演習	1								
理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (4単位)		科学技術英語1A~F のうちから1科目	2					
	選択必修 (6単位)		科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目	2					
理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (18単位)		理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから6単位		6				
	選択 (18単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから18単位以上修得すること (理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)				18			
学科コア科目	必修 (10単位)	物質生命理工学Ⅰ	2	物質生命理工学Ⅱ 物質生命理工学実験Ⅰ 物質生命理工学実験Ⅱ	2 1 1	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	1 1	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	1 1
	選択必修 (3単位)		選択必修科目α群 のうちから1科目	1	選択必修科目β群 のうちから1科目 選択必修科目γ群 のうちから1科目	1 1			
学科専門科目	選択 (28単位)		・学科専門科目のA群・B群・C群のうち1群から16単位 (ただし各系から2単位以上) ・上記で16単位を修得した群以外の群、および機能創造 理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位				28		

2013年度以降理工学部共通科目、学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.619をよく確認すること。

11年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (6単位)	人間学	2					
		ウェルネスと身体	2					
		情報リテラシー演習	2					
	選択必修 (6単位)	人間学系科目 (4~6単位)						
選択 (10単位)	保健体育系科目 (2単位以内)							
外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4				

(注) 「ウェルネスの理論と実践」の未履修者は、「ウェルネスと身体」を履修すること。

(注) 選択必修科目の人間学系科目については1年次の春学期に1科目2単位、秋学期に1科目2単位の計4単位履修することが望ましい。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (25単位)	理工学総論 I	2	数学C (確率統計)	2			
			理工学総論 II	2					
			理工学概論 I (環境と生命)	2					
			理工学概論 II (安全と倫理)	2					
			数学A (線型代数)	2					
			数学B (微分積分)	2					
			基礎物理学	2					
			基礎化学	2					
			基礎生物学	2					
			基礎情報学	2					
基礎物理実験・演習	1								
基礎化学実験・演習	1								
基礎生物・情報実験・演習	1								
選択必修 (4単位)			科学技術英語1A~Fのうちから1科目		2				
				科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目		2			
選択必修 (6単位)			理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位			6			
選択 (18単位)			理工共通科目 II 群選択科目のうちから18単位以上修得すること (理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)			18			
学科コア科目	必修 (10単位)	物質生命理工学 I	2	物質生命理工学 II	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
				物質生命理工学実験 I	1	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
選択必修 (3単位)			選択必修科目 α 群のうちから1科目		1	選択必修科目 β 群のうちから1科目	1		
選択 (28単位)			選択必修科目 γ 群のうちから1科目		1				
学科専門科目	選択 (28単位)					<ul style="list-style-type: none"> ・学科専門科目のA群・B群・C群のうち1群から16単位 (ただし各系から2単位以上) ・上記で16単位を修得した群以外の群、および機能創造理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位 			28

2013年度以降理工学部共通科目、学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して、理工学部共通科目については p.595, 学科科目については p.619 をよく確認すること。

3. 履修上の注意

18年次生以降

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目16単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。1～2年次に修得することが望ましい。6単位を越えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として22単位以上を修得すること。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修29単位・選択必修11単位・選択54単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として22単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「物質生命理工学実験A」・「物質生命理工学実験B」・「物質生命理工学実験C」は必修である。

イ。「化学実験Ⅰ」・「生物科学実験Ⅰ」は選択必修であり、2科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」・「生物科学実験Ⅱ」・「物理学実験演習Ⅱ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」・「生物科学実験Ⅲ」・「物理学実験演習Ⅲ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

オ。イ～エのそれぞれの実験・演習科目には定員があり（p.620～開講科目担当表参照）、希望者が上限を超えた場合は、(GPA×単位数)を参考にクラス分けを行う。なお、機能創造理工学科主体で開講されている実験・演習科目の履修を希望する場合、物質生命理工学科の教員に相談すること。

(6) 学科専門科目

ア。選択科目であり、32単位以上を修得すること。物質生命理工学科開講科目（物質生命理工学科開講科目担当表記載の科目）以外の機能創造理工学科、情報理工学科の「学科専門科目」から6単位まで算入できる。科目の選択に当たっては、群・系表を参考にし、目的意識を持った履修計画を立てること。

イ。他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ、ゼミナールⅠ・Ⅱ」の4単位を含んで14単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、必修の実験科目（理工基礎実験、物質生命理工学実験A、物質生命理工学実験B、物質生命理工学実験C）を全て修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

(4) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(5) 「ゼミナールⅠ」は、「卒業研究Ⅰ」の履修が認められた段階で履修することができる。また、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と「ゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として同一の担当教員でなければならない。なお、「ゼミナールⅡ」を履修するためには、「ゼミナールⅠ」を修得していなければならない。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

14～17年次生

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。1～2年次に修得することが望ましい。6単位を越えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として20単位以上を修得すること。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修31単位・選択必修11単位・選択52単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として20単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「物質生命理工学実験A」・「物質生命理工学実験B」・「物質生命理工学実験C」は必修である。

イ。「化学実験Ⅰ」・「生物科学実験Ⅰ」は選択必修であり、2科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」・「生物科学実験Ⅱ」・「物理学実験Ⅱ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」・「生物科学実験Ⅲ」・「物理学実験Ⅲ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

オ. イ～エのそれぞれの実験・演習科目には定員があり（p.620～開講科目担当表参照）、希望者が上限を超えた場合は、(GPA×単位数)を参考にクラス分けを行う。なお、機能創造理工学科主体で開講されている実験・演習科目の履修を希望する場合、物質生命理工学科の教員に相談すること。

※「物理学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。

読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

ア. 選択科目であり、32単位以上を修得すること。物質生命理工学科開講科目（物質生命理工学科開講科目担当表記載の科目）以外の機能創造理工学科、情報理工学科の「学科専門科目」から6単位まで算入できる。科目の選択に当たっては、群・系表を参考にし、目的意識を持った履修計画を立てること。

イ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ、ゼミナールⅠ・Ⅱ」の4単位を含んで14単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、必修の実験科目（理工基礎実験、物質生命理工学実験A、物質生命理工学実験B、物質生命理工学実験C）を全て修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

(4) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(5) 「ゼミナールⅠ」は、「卒業研究Ⅰ」の履修が認められた段階で履修することができる。また、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と「ゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として同一の担当教員でなければならない。なお、「ゼミナールⅡ」を履修するためには、「ゼミナールⅠ」を修得していなければならない。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

13年次生

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。1～2年次に修得することが望ましい。6単位を越えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として20単位以上を修得すること。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修31単位・選択必修11単位・選択52単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として20単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「物質生命理工学実験A」・「物質生命理工学実験B」・「物質生命理工学実験C」は必修である。

イ。「化学実験Ⅰ」・「生物科学実験Ⅰ」は選択必修であり、2科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」・「生物科学実験Ⅱ」・「物理学実験Ⅱ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」・「生物科学実験Ⅲ」・「物理学実験Ⅲ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

オ. イ～エのそれぞれの実験・演習科目には定員があり（p.620～開講科目担当表参照）、希望者が上限を超えた場合は、(GPA×単位数)を参考にクラス分けを行う。なお、機能創造理工学科主体で開講されている実験・演習科目の履修を希望する場合、物質生命理工学科の教員に相談すること。

※「物理学実験Ⅱ」, 「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。

読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

ア. 選択科目であり、32単位以上を修得すること。物質生命理工学科開講科目（物質生命理工学科開講科目担当表記載の科目）以外の機能創造理工学科、情報理工学科の「学科専門科目」から6単位まで算入できる。科目の選択に当たっては、群・系表を参考にし、目的意識を持った履修計画を立てること。

イ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ、ゼミナールⅠ・Ⅱ」の4単位を含んで14単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、必修の実験科目（理工基礎実験、物質生命理工学実験A、物質生命理工学実験B、物質生命理工学実験C）を全て修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

(4) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(5) 「ゼミナールⅠ」は、「卒業研究Ⅰ」の履修が認められた段階で履修することができる。また、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と「ゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として同一の担当教員でなければならない。なお、「ゼミナールⅡ」を履修するためには、「ゼミナールⅠ」を修得していなければならない。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

12年次生

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.619をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工学部共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工学部共通科目Ⅱ群：理工学部共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修35単位・選択必修13単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工学部共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない。「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工学部共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工学部共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「物質生命理工学実験Ⅰ」・「物質生命理工学実験Ⅱ」は必修である。

イ。「化学実験Ⅰ」・「生物科学実験Ⅰ」は選択必修であり、2科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」・「生物科学実験Ⅱ」・「物理学実験Ⅱ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」・「生物科学実験Ⅲ」・「物理学実験Ⅲ※」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

オ. イ～エのそれぞれの実験・演習科目には定員があり（p.623～開講科目担当表参照）、希望者が上限を超えた場合は、(GPA×単位数)を参考にクラス分けを行う。なお、機能創造理工学科主体で開講されている実験・演習科目の履修を希望する場合、物質生命理工学科の教員に相談すること。

※「物理学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群のいずれか1群を主たる群とし、その各系から2単位以上を含む16単位以上を修得すること。

イ. 上記で16単位を修得した群以外の群および機能創造理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること。

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

11年次生以前

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.619をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工学部共通 I 群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工学部共通 II 群：理工学部共通 I 群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修35単位・選択必修13単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工学部共通 I 群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない。「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工学部共通 II 群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工学部共通 II 群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「物質生命理工学実験Ⅰ」・「物質生命理工学実験Ⅱ」は必修である。

イ。「化学実験Ⅰ」・「生物科学実験Ⅰ」は選択必修であり、2科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」・「生物科学実験Ⅱ」・「物理学実験Ⅱ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物質科学実験」・「生物科学実験Ⅲ」・「物理学実験Ⅲ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

オ. イ～エのそれぞれの実験・演習科目には定員があり（p.623～開講科目担当表参照）、希望者が上限を超えた場合は、(GPA×単位数)を参考にクラス分けを行う。なお、機能創造理工学科主体で開講されている実験・演習科目の履修を希望する場合、物質生命理工学科の教員に相談すること。

※「物理学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群のいずれか1群を主たる群とし、その各系から2単位以上を含む16単位以上を修得すること。

イ. 上記で16単位を修得した群以外の群および機能創造理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること。

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

- (注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。
- (注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。よって、重複履修不可の科目を修得済のものは、新たに開講する科目を履修することはできないので注意すること。

変更前			変更後			備考
科目コード	科目名	開講年度	科目コード	科目名	開講年度	
SML20100	物質生命理工学Ⅱ	～2012	SML10400	物質生命理工学(生物)	2013～	読み替え科目
SML20200	物質生命理工学実験Ⅰ※	～2012	SML20400	物質生命理工学実験B	2013～	読み替え科目
SML20300	物質生命理工学実験Ⅱ※	～2012	SML20500	物質生命理工学実験C	2013～	読み替え科目
SML50800	物質科学実験	～2012	SML51300	物理化学実験	2013～	読み替え科目
SML50500	物理学実験Ⅱ	～2012	SEA50600	物理学実験Ⅱ	2013～	重複履修不可
SML51000	物理学実験Ⅲ	～2012	SEA51100	物理学実験Ⅲ	2013～	重複履修不可
SML60700	神経情報薬理学	～2012	SIC60900	神経情報薬理学	2013～	重複履修不可
SML61100	物性基礎	～2012	SEA66600	物質科学入門	2013～	重複履修不可
SEA62300	物性基礎	～2012				
SML61200	量子エレクトロニクス	～2012	SML64900	レーザー科学	2013～	重複履修不可
SML61300	プラズマ科学	～2012	SML65000	固体表面科学	2013～	重複履修不可
SML63400	生体医工学	～2012	SIC61100	生体医工学	2013～	重複履修不可
SML63700	エネルギーと材料	～2012	SEA61800	エネルギーと材料	2013～	重複履修不可
SML64100	クリーンエネルギー	～2012	SEA64700	クリーンエネルギー	2013～	重複履修不可
SML64400	触媒反応工学	～2012	SML65300	触媒反応化学	2013～	重複履修不可
SML64800	反応量子化学	～2012	SML65100	原子衝突物理学	2013～	重複履修不可
SML62400	環境工業化学	～2017	SML65600	大気化学	2018～	重複履修不可

※ これらの科目を未修得の者は、右記の読み替え科目を履修すること。

4. 開講科目担当表

※理工共通科目Ⅰ群・Ⅱ群の科目はp.585～を参照のこと

13年次生以降

学科コア科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SML10200	PHY102	物質生命理工学（物理）	2	秋	岡田宏 小田邦切 田中邦	1	
		SML10300	CHM102	物質生命理工学（化学）	2	秋	田中邦 原誠 藤千篤	1	
		SML10400	BIO102	物質生命理工学（生物）	2	秋	藤千篤 原誠 藤千篤	1	輪講
		SML10500	MLS191	物質生命理工学実験A	1	秋	木川喜一 安橋増本 千穂本葉 千笹川展 藤原由美 鈴長尾子 鈴木宏伸 *柳田葉子	1	
		SML20400	MLS291	物質生命理工学実験B	1	春	竹早岡裕 堀下越子 *柳田野正 星野光	2	
		SML20500	MLS292	物質生命理工学実験C	1	秋	遠藤政 *柳陸川正 星野田葉 谷尾清 三澤宏 田澤智 *柳田次 近藤藤原 安増茂 増山芳 鈴鈴木教 白杵豊	2	秋学期前半
選択必修科目α群		SML50100	CHM291	化学実験Ⅰ	1	秋	板長内智 *柳田澤 田澤智 *柳田次 近藤藤原 安増茂 増山芳 鈴鈴木教 白杵豊	2	秋学期後半，定員100名，注1，注2
		SML50200	BIO291	生物科学実験Ⅰ	1	秋	近藤藤原 安増茂 増山芳 鈴鈴木教 白杵豊	2	秋学期後半，輪講，定員48名，注1，注2
選択必修科目β群		SML50300	CHM391	化学実験Ⅱ	1	春	増山芳 鈴鈴木教 白杵豊	3	春学期前半，定員100名，注1，注2
		SEA50610	PHY391	物理学実験演習Ⅱ	1				(他)機能創造理工学科注1，注3，注4
		SML50400	BIO391	生物科学実験Ⅱ	1	春	神齊澤信 鈴藤玉 川木伸 南口眞 岡部伸 久田邦 久世信 千葉篤 林葉謙 笹川展	3	春学期前半，輪講，定員48名，注1，注2
選択必修科目γ群		SML51300	MLS392	物理化学実験	1	春	南岡久 久世信 千葉篤 林葉謙 笹川展	3	春学期後半，定員100名，注1，注2
		SML50900	BIO392	生物科学実験Ⅲ	1	春	千葉篤 林葉謙 笹川展	3	春学期後半，輪講，定員48名，注1，注2
		SEA51110	PHY395	物理学実験演習Ⅲ	1				(他)機能創造理工学科注1，注3，注4

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SML30100	MLS301	ゼミナールⅠ	1	春	物質生命理工学科教員	4	
		SML30200	MLS302	ゼミナールⅡ	1	秋	物質生命理工学科教員	4	
		SML40100	MLS401	卒業研究Ⅰ	1	春	物質生命理工学科教員	4	
		SML40100	MLS401	卒業研究Ⅰ	1	秋	物質生命理工学科教員	4	
		SML40200	MLS402	卒業研究Ⅱ	1	秋	物質生命理工学科教員	4	
		SML40200	MLS402	卒業研究Ⅱ	1	春	物質生命理工学科教員	4	

学科専門科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科専門科目	【A群】物質とナノテクノロジー								
		<系1>化学・応用化学系								
		SML60100	CHM301	分子構造化学	2	秋	久世信彦	3・4		
		SML60200	CHM302	ヘテロ原子の有機化学	2	春	鈴木由美子	3・4		
		SML60300	CHM303	錯体化学	2	春	三澤智世	3・4		
		SML60400	CHM304	分離分析化学	2	休講		3・4		隔年開講
		SML60500	CHM305	同位体化学	2	秋	大井隆夫	3・4		
		<系2>環境・生命系								
		SIC60900	BIO341	神経情報薬理学	2					(他)情報理工学科,注3
		SML60800	BIO361	神経行動学	2	春	千葉篤彦	3・4		
		SML60900	BIO311	関連生命科学(微生物・免疫)	2	休講		3・4		
		SIC61000	BIO342	細胞神経科学	2					(他)情報理工学科,注3
		SML65500	BIO323	植物バイオテクノロジー	2	春	藤原誠	3・4		
		<系3>材料・分子科学系								
		SML64700	PHY303	原子分子分光学	2	秋	東善郎	3・4		注3
		SEA66600	PHY333	物質科学入門	2					(他)機能創造理工学科注3
		SML64900	PHY304	レーザー科学	2	春	岡田邦宏	3・4		注3
		SML61400	CHM306	機器分析	2	秋	遠藤明剛	3・4		輪講
		SML65100	PHY305	原子衝突物理学	2	秋	星野正光	3・4		注3
		SEA51600	PHY201	量子力学1	2					(他)機能創造理工学科注3
		SEA51700	PHY301	量子力学2	2					(他)機能創造理工学科注3
		【B群】環境と生命の調和								
		<系1>化学・応用化学系								
		SML61500	CHM307	天然有機化学	2	春	白杵豊展	3・4		
		SML61600	CHM308	環境分析化学	2	春	木川田喜一	3・4		
		SML61700	CHM309	グリーンケミストリー	2	春	堀越智	3・4		
		SML61900	CHM311	生物無機化学	2	秋	長尾宏隆	3・4		
		<系2>環境・生命系								
		SML62000	BIO321	発生生物学	2	秋	安増茂樹	3・4		
		SML62100	BIO351	生物形態学	2	春	林謙介	3・4		
SML62200	BIO362	多様性生物学	2	休講		3・4				
SML62300	BIO313	進化系統学	2	秋	川口真理	3・4				

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選択科目 学科専門科目	<系3>材料・分子科学系								
	SML65600	CHM312	大気化学	2	秋	DANIELACHE Sebastian	3・4		
	SML62500	PHY301	放射線科学	2	春	小田切 丈	3・4		注3
	SML62600	CHM313	燃焼科学と環境	2	秋	高橋 和夫	3・4		注3
	SML64200	PHY302	理論分子設計	2	春	南部 伸孝	3・4		
	SML64300	BIO312	生物物理学	2	秋	近藤 次郎	3・4		
	【C群】高機能材料の創成								
	<系1>化学・応用化学系								
	SML62700	CHM314	無機機能材料	2	秋	内田 寛	3・4		
	SML62800	CHM315	高分子化学	2	春	竹岡 裕子	3・4		
	SML62900	CHM316	ソフトマテリアル	2	秋	藤田 正博	3・4		
	SML63000	CHM317	有機合成化学	2	秋	増山 芳郎	3・4		
	SML65300	CHM322	触媒反応化学	2	秋	鈴木 教之	3・4		
	<系2>環境・生命系								
	SML65200	BIO324	植物生理学	2	秋	鈴木 伸洋	3・4		
	SML63200	BIO332	生体物質とエネルギー	2	春	神澤 信行	3・4		
	SML64500	BIO331	細胞機能工学	2	秋	齊藤 玉緒	3・4		
	SIC61100	EEE373	生体医工学	2	春				(他) 情報理工学科, 輪講, 隔年開講, 注3
	<系3>材料・分子科学系								
	SML63500	CHM318	機能性高分子	2	春	陸川 政弘	3・4		注3
	SML63600	CHM319	セラミック・ガラス材料	2	春	板谷 清司	3・4		注3
	SEA61800	MEC352	エネルギーと材料	2					(他) 機能創造理工学科 注3
	SML65000	CHM321	固体表面科学	2	春	田中 邦翁	3・4		

(注1) 「3. 履修上の注意」①, (5) を参照のこと。

(注2) 前半科目, 後半科目を両方履修の際は, 必ず片方を集中講義科目として登録すること。登録方法は Loyola Handbook を参照。

(注3) 「3. 履修上の注意」①, (6), イ.を参照のこと。

(注4) 履修希望の場合, 物質生命理工学科の教員に相談すること。

12年次生以前

※理工共通科目Ⅰ群・Ⅱ群の科目はp.596～を参照のこと

学科コア科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SML20100	物質生命理工学Ⅱ	2			2		2014年度より廃止 読み替え科目「物質生命理工学（生物）」 p.619参照
		SML20200	物質生命理工学実験Ⅰ	1			2		2014年度より廃止 読み替え科目「物質生命理工学実験B」 p.619参照
		SML20300	物質生命理工学実験Ⅱ	1			2		2014年度より廃止 読み替え科目「物質生命理工学実験C」 p.619参照
選択必修科目α群	SML50100	CHM291	化学実験Ⅰ	1	秋	長尾宏隆 板谷清司 内田智世 三澤智葉 *柳田葉子	2		秋学期後半，定員100名， 注1，注2
	SML50200	BIO291	生物科学実験Ⅰ	1	秋	近藤次郎 藤原誠樹 安増茂	2		秋学期後半，輪講，定員 48名，注1，注2
選択必修科目β群	SML50300	CHM391	化学実験Ⅱ	1	春	増山芳郎 鈴木教之 白杵豊展	3		春学期前半，定員100名， 注1，注2
	SML50400	BIO391	生物科学実験Ⅱ	1	春	神澤信行 齊藤玉緒 川口伸洋 眞理	3		春学期前半，輪講，定員 48名，注1，注2
	SEA50610	PHY391	物理学実験演習Ⅱ	1					(他)機能創造理工学科 注1，注3，注5
選択必修科目γ群	SML51300	MLS392	物理化学実験	1	春	南部伸孝 岡田邦宏 久世信彦	3		春学期後半，定員100名， 注1，注2
	SML50900	BIO392	生物科学実験Ⅲ	1	春	千葉篤彦 林川謙介 笹川展幸	3		春学期後半，輪講，定員 48名，注1，注2
	SEA51110	PHY395	物理学実験演習Ⅲ	1					(他)機能創造理工学科 注1，注3，注5
必修科目	SML30100	MLS301	ゼミナールⅠ	1	春	物質生命理工学科教員	3		
	SML30200	MLS302	ゼミナールⅡ	1	秋	物質生命理工学科教員	3		
	SML40100	MLS401	卒業研究Ⅰ	1	春	物質生命理工学科教員	4		
	SML40100	MLS401	卒業研究Ⅰ	1	秋	物質生命理工学科教員	4		
	SML40200	MLS402	卒業研究Ⅱ	1	秋	物質生命理工学科教員	4		
	SML40200	MLS402	卒業研究Ⅱ	1	春	物質生命理工学科教員	4		

学科専門科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 学科専門科目	【A群】物質とナノテクノロジー								
	<系1>化学・応用化学系								
	SML60100	CHM301	分子構造化学	2	春	久世 信彦	3・4		
	SML60200	CHM302	ヘテロ原子の有機化学	2	春	鈴木 由美子	3・4		
	SML60300	CHM303	錯体化学	2	春	三澤 智世	3・4		
	SML60400	CHM304	分離分析化学	2	休講		3・4		隔年開講
	SML60500	CHM305	同位体化学	2	秋	大井 隆夫	3・4		
	<系2>環境・生命系								
	SIC60900	BIO341	神経情報薬理学	2					(他) 情報理工学科, 注3, 注4
	SML60800	BIO361	神経行動学	2	春	千葉 篤彦	3・4		
	SML60900	BIO311	関連生命科学(微生物・免疫)	2	休講		3・4		
	SIC61000	BIO342	細胞神経科学	2					(他) 情報理工学科, 注3, 注4
	SML65500	BIO323	植物バイオテクノロジー	2	春	藤原 誠	3・4		
	<系3>材料・分子科学系								
	SML64700	PHY303	原子分子分光学	2	秋	東 善郎	3・4		注3
	SEA66600	PHY333	物質科学入門	2					(他) 機能創造理工学科 旧「物性基礎」注3, 注4
	SML64900	PHY304	レーザー科学	2	春	岡田 邦宏	3・4		旧「量子エレクトロニクス」 注3, 注4
	SML65000	CHM321	固体表面科学	2	春	田中 邦翁	3・4		旧「プラズマ科学」 注4
	SML61400	CHM306	機器分析	2	秋	遠藤 明剛 橋本 剛	3・4		輪講
	【B群】環境と生命の調和								
	<系1>化学・応用化学系								
	SML61500	CHM307	天然有機化学	2	春	白 杵 豊展	3・4		
	SML61600	CHM308	環境分析化学	2	春	木川田 喜一	3・4		
	SML61700	CHM309	グリーンケミストリー	2	春	堀 越 智	3・4		
	SML61900	CHM311	生物無機化学	2	秋	長尾 宏隆	3・4		
	<系2>環境・生命系								
	SML62000	BIO321	発生生物学	2	秋	安増 茂樹	3・4		
	SML62100	BIO351	生物形態学	2	春	林 謙介	3・4		
	SML62200	BIO362	多様性生物学	2	休講		3・4		
	SML62300	BIO313	進化系統学	2	秋	川口 真理	3・4		
	<系3>材料・分子科学系								
	SML65600	CHM312	大気化学	2	秋	DANIELACHE Sebastian	3・4		
	SML62500	PHY301	放射線科学	2	春	小田切 丈	3・4		注3
	SML62600	CHM313	燃焼科学と環境	2	秋	高橋 和夫	3・4		注3
	SML64200	PHY302	理論分子設計	2	春	南部 伸孝	3・4		
	SML64300	BIO312	生物物理学	2	秋	近藤 次郎	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 学科専門科目	【C群】高機能材料の創成								
	<系1>化学・応用化学系								
	SML62700	CHM314	無機機能材料	2	秋	内田 寛	3・4		
	SML62800	CHM315	高分子化学	2	春	竹岡 裕子	3・4		
	SML62900	CHM316	ソフトマテリアル	2	秋	藤田 正博	3・4		
	SML63000	CHM317	有機合成化学	2	秋	増山 芳郎	3・4		
	SML65300	CHM322	触媒反応化学	2	秋	鈴木 教之	3・4		旧「触媒反応工学」注4
	<系2>環境・生命系								
	SML65200	BIO324	植物生理学	2	秋	鈴木 伸洋	3・4		
	SML63200	BIO332	生体物質とエネルギー	2	春	神澤 信行	3・4		
	SML64500	BIO331	細胞機能工学	2	秋	齊藤 玉緒	3・4		
	SIC61100	EEE373	生体医工学	2					(他) 情報理工学科, 輪講, 隔年開講, 注3, 注4
	<系3>材料・分子科学系								
	SML63500	CHM318	機能性高分子	2	春	陸川 政弘	3・4		注3
	SML63600	CHM319	セラミック・ガラス材料	2	春	板谷 清司	3・4		注3
	SEA61800	MEC352	エネルギーと材料	2					(他) 機能創造理工学科, 注3, 注4
	SML65100	PHY305	原子衝突物理学	2	秋	星野 正光	3・4		旧「反応量子化学」注3, 注4

(注1) 「3. 履修上の注意」①, (5)を参照のこと。

(注2) 前半科目, 後半科目を両方履修の際は, 必ず片方を**集中講義科目**として登録すること。登録方法は Loyola Handbook を参照。

(注3) 「3. 履修上の注意」①, (6), イ.を参照のこと。

(注4) p.619 「カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について」を参照のこと。

(注5) 履修希望の場合, 物質生命理工学科の教員に相談すること。

機能創造理工学科

〔教育研究上の目的〕

物理学、数学への深い理解を基礎に、材料、デバイス、エネルギー、機械、システムに関する知識を習得することによって、まったく新しい価値や機能を生み出す能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

科学技術上の諸問題の解決に貢献するために、幅広い教養とゆるぎない専門知識を背景に、柔軟な発想でそれらを応用・発展させることのできる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、科学・技術に関する確固たる基礎知識を持ち、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に繋がる独創的技術の開発に貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 幅広い一般教養と外国語を学ぶことにより、国際化の進展に対応できる素養
2. 自然科学分野などの理工学の基礎を学ぶことにより、科学・技術の諸問題に対応する幅広い能力
3. 物理学、機械工学、電気・電子工学を体系的に学ぶことにより、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に貢献する能力
4. 「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」の切り口で物理学、機械工学、電気・電子工学を学ぶことにより、独創的技術の開発に貢献する能力
5. 学修した内容を理論・技術的に応用展開することにより、科学・技術の諸問題を解決する力を身につけ、独創的な研究を推進し、科学・技術のさらなる発展へ貢献する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、物理学や数学への深い理解を基礎に、「機械工学」、「電気・電子工学」、「物理学」の学問体系と「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」というキーテーマを融合した知識（複合知）を身につけ、社会に貢献する能力の養成を目指しています。これにもとづいたディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 全学共通科目と語学科目を通して、幅広い教養やグローバルな視野を広げる科目、英語科目、キリスト教的ヒューマニズムを理解する科目を学修し、国際化の進展に対応できる素養を修得させる。
2. 理工共通科目Ⅰ群を通して、科学・技術の諸問題に対応する幅広い能力を養成するため、物理学、化学、生物学など自然科学全般、および数学、情報学など理工学の基礎を修得させる。
3. 物理学、機械工学、電気・電子工学などに関する理工学の基礎を幅広く学び、さらに学科コア科目および学科専門科目などの講義および実験・演習科目を通して、物理学、機械工学、電気・電子工学分野の中から希望の分野を選択し、それぞれの分野をより体系的に修得することで、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に貢献できる能力を養成する。同時に、英語で理工学の基礎を理解するために、科学技術英語を修得させる。
4. 学科コア科目および学科専門科目などの講義・実験・演習科目を通して、「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」の切り口で講義と実験・演習科目を選択することも可能とし、実社会において物理学、機械工学、電気・電子工学を駆使して応用・展開する学際的な力を修得させる。
5. 卒業研究を通して、先端分野を理解するとともに、成果発表を行い、研究者としての素養を修得し、学修した内容を理論・技術的に応用展開する能力を修得させる。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

18年次生以降

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	(必修26単位，選択必修25単位，選択43単位)
合計	124単位	

13年次生～17年次生

全学共通科目		
必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	
学科科目	94単位	(必修28単位，選択必修23単位，選択43単位)
合計	124単位	

12年次生

全学共通科目		
必修	12単位	[体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	14単位	
学科科目	94単位	(必修35単位，選択必修13単位，選択46単位)
合計	124単位	

11年次生以前

全学共通科目		
必修	14単位	[人間学2単位，体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	6単位	
選択	10単位	
学科科目	94単位	(必修35単位，選択必修13単位，選択46単位)
合計	124単位	

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群 必修 (16単位)	理工学概説	2					
		数学AⅠ(線型代数)	2					
	数学BⅠ(微分積分)	2						
	基礎物理学	2						
	基礎化学	2						
基礎生物学	2							
基礎情報学	2							
数学演習Ⅰ	1							
理工基礎実験・演習	1							
選択必修 (2単位)			科学技術英語	2				
理工共通科目Ⅱ群 選択必修 (16単位)			理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから16単位			16		
選択 (11単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから11単位以上修得すること (理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから16単位を超えて修得した分も算入される)				11			
学科コア科目 必修 (10単位)	機能創造理工学1	2	機能創造理工学3	2			卒業研究Ⅰ	1
	機能創造理工学2	2	機能創造理工学実験・演習2	1			卒業研究Ⅱ	1
機能創造理工学実験・演習1	1							
選択必修 (7単位)			選択必修科目1群のうちから2科目 選択必修科目2群のうちから3科目			4 3		
学科専門科目 選択 (32単位)			学科専門科目のA群・B群・C群・系1・系2・系3の中から1つ主たる群・系を選択し、そこから22単位以上(残りの単位は、自学科あるいは物質生命理工学科・情報理工学科の学科専門科目のいずれかを選択しても良い)					32

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科学目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群	必修 (18単位)	理工学総論※	2				
			理工学概論※	2				
	数学AⅠ(線型代数)		2					
	数学BⅠ(微分積分)		2					
	基礎物理学		2					
	基礎化学		2					
基礎生物学	2							
基礎情報学	2							
数学演習Ⅰ	1							
理工基礎実験・演習	1							
	選択必修 (2単位)		科学技術英語	2				
	理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (14単位)	理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから16単位			14		
	理工共通科目Ⅱ群	選択 (11単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから11単位以上修得すること (理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから16単位を超えて修得した分も算入される)			11		
	学科コア科目	必修 (10単位)	機能創造理工学1	2	機能創造理工学3	2	卒業研究Ⅰ	1
機能創造理工学2			2	機能創造理工学実験・演習2	1	卒業研究Ⅱ		
	機能創造理工学実験・演習1	1						
	選択必修 (7単位)		選択必修科目1群のうちから2科目 選択必修科目2群のうちから3科目			4 3		
	学科専門科目	選択 (32単位)				学科専門科目のA群・B群・C群・系1・系2・系3の中から1つ主たる群・系を選択し、そこから22単位以上(残りの単位は、自学科あるいは物質生命理工学科・情報理工学科の学科専門科目のいずれを選択しても良い)		32

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.584を確認し、読み替え科目を履修すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
Ikan学科科目 (94単位)	理工共通科目I群	必修 (18単位)	理工学総論※	2				
			理工学概論※	2				
			数学A I (線型代数)	2				
			数学B I (微分積分)	2				
			基礎物理学	2				
			基礎化学	2				
			基礎生物学	2				
			基礎情報学	2				
			数学演習 I	1				
	理工基礎実験・演習	1						
	選択必修 (2単位)		科学技術英語	2				
	理工共通科目II群	選択必修 (14単位)		理工共通科目II群選択必修科目のうちから14単位	14			
	選択 (11単位)		理工共通科目II群選択科目のうちから11単位以上修得すること (理工共通科目II群選択必修科目のうちから14単位を超えて修得した分も算入される)		11			
	学科コア科目	必修 (10単位)	機能創造理工学1	2	機能創造理工学3	2	卒業研究 I	1
機能創造理工学2			2	機能創造理工学実験・演習2	1	卒業研究 II		
		選択必修 (7単位)		選択必修科目1群のうちから2科目 選択必修科目2群のうちから3科目		4 3		
	学科専門科目	選択 (32単位)		学科専門科目のA群・B群・C群・系1・系2・系3の中から1つ主たる群・系を選択し、そこから22単位以上(残りの単位は、自学科あるいは物質生命理工学科・情報理工学科の学科専門科目のいずれを選択しても良い)			32	

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.584を確認し、読み替え科目を履修すること。

12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウェルネスと身体 情報リテラシー演習	2 2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (14単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (25単位)	理工学総論 I	2	数学C (確率統計)	2			
			理工学総論 II	2					
			理工学概論 I (環境と生命)	2					
			理工学概論 II (安全と倫理)	2					
			数学A (線型代数)	2					
			数学B (微分積分)	2					
			基礎物理学	2					
			基礎化学	2					
			基礎生物学	2					
			基礎情報学	2					
基礎物理実験・演習	1								
基礎化学実験・演習	1								
基礎生物・情報実験・演習	1								
理工共通科目 II 群	選択必修 (4単位)		科学技術英語1A~F のうちから1科目	2					
			科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目	2					
理工共通科目 II 群	選択必修 (6単位)		理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位		6				
		選択 (18単位)	理工共通科目 II 群選択科目のうちから18単位以上修得すること (理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)		18				
学科コア科目	必修 (10単位)		機能創造理工学 I	2	機能創造理工学 II	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I
				機能創造理工学実験・演習 I	1	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
学科コア科目	選択必修 (3単位)		選択必修科目 α 群 のうちから1科目	1	選択必修科目 β 群 のうちから1科目	1			
					選択必修科目 γ 群 のうちから1科目	1			
学科専門科目	選択 (28単位)					・学科専門科目のA群・B群・C群のうち1群から16単位 (ただし各系から2単位以上) ・上記で16単位を修得した群以外の群, および物質生命 理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位		28	

(注1) 「ゼミナール I」, 「ゼミナール II」の未履修者は, 「機能創造ゼミナール」を履修すること。2013年度以降理工学部共通科目, 学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して, 理工学部共通科目については p.595, 学科科目については p.643 をよく確認すること。

11年次生以前

○ 全学共通科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
全学共通科目 (30単位)	必修 (6単位)	人間学	2							
		ウエルネスと身体	2							
		情報リテラシー演習	2							
	選択必修 (6単位)	人間学系科目 (4~6単位) 保健体育系科目 (2単位以内)								
	選択 (10単位)									
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4					

(注) 「ウエルネスの理論と実践」の未履修者は、「ウエルネスと身体」を履修すること。

(注) 選択必修科目の人間学系科目については1年次に2科目4単位履修することが望ましい。

○ 学科科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (25単位)	理工学総論 I	2	数学C (確率統計)	2				
			理工学総論 II	2						
			理工学概論 I (環境と生命)	2						
			理工学概論 II (安全と倫理)	2						
			数学A (線型代数)	2						
			数学B (微分積分)	2						
			基礎物理学	2						
			基礎化学	2						
			基礎生物学	2						
			基礎情報学	2						
			基礎物理実験・演習	1						
			基礎化学実験・演習	1						
			基礎生物・情報実験・演習	1						
	選択必修 (4単位)			科学技術英語1A~F のうちから1科目	2					
				科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目	2					
	選択必修 (6単位)			理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位	6					
	選択 (18単位)			理工共通科目 II 群選択科目のうちから18単位以上修得すること (理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)	18					
	学科コア科目	必修 (10単位)	機能創造理工学 I	2	機能創造理工学 II	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
					機能創造理工学実験・演習 I	1	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
		選択必修 (3単位)			機能創造理工学実験・演習 II	1	(注1)			
				選択必修科目 α 群 のうちから1科目	1	選択必修科目 β 群 のうちから1科目	1			
						選択必修科目 γ 群 のうちから1科目	1			
	学科専門科目	選択 (28単位)						・ 学科専門科目のA群・B群・C群のうち1群から16単位 (ただし各系から2単位以上) ・ 上記で16単位を修得した群以外の群, および物質生命 理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位	28	

(注1) 「ゼミナール I」, 「ゼミナール II」の未履修者は, 「機能創造ゼミナール」を履修すること。

2013年度以降理工学部共通科目, 学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して, 理工学部共通科目については p.595, 学科科目については p.643 をよく確認すること。

3. 履修上の注意

18年次生以降

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目16単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目16単位を含み27単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・卒業研究を含む。一部の科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて17単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修26単位・選択必修25単位・選択43単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、**卒業に要する単位には算入されない**が、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から16単位以上を修得すること。16単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として11単位以上を修得すること。

(5) 履修コースの選択

2年秋学期開始時に、次の6つのコースから1つを選択し、それに従って以降の履修を行う。最終的には、修得した科目が卒業に要する単位に算入できるかどうかに影響するので、コース選びやその後の履修計画は慎重に検討する必要がある。2年秋学期開始前に履修コースの希望調査を行い、人数の調整が必要な場合は成績により調整を行う予定である。詳細は2年次の在校生ガイダンスにて説明を行う。

- ・機械工学コース(系1)
- ・電気電子工学コース(系2)
- ・物理学コース(系3)
- ・エネルギーの創出と利用コース(A群)
- ・物質の理解と材料・デバイスの創成コース(B群)
- ・ものづくりとシステムの創造コース(C群)

(6) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「機能創造理工学実験・演習1」「機能創造理工学実験・演習2」は必修である。

イ。「基礎工業力学」、「機械工学輪講」、「光電子デバイス」、「発電・送電工学」、「量子力学1」、「量子力学2」は選択必修であり、6科目のうち2科目を修得すること。

ウ。「物理学実験演習Ⅰ」、「物理学実験演習Ⅱ」、「物理学実験演習Ⅲ」、「電気電子工学実験Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「電気電子工学実験Ⅲ」、「機械システム設計演習Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「機械システム設計演習Ⅱ」は選択必修であり、9科目のうち3科目を修得すること。

エ. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる群あるいは系とし、原則、それぞれ以下の実験・演習科目を履修すること。

系1：「機械システム設計演習Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「機械システム設計演習Ⅱ」

系2：「電気電子工学実験Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「電気電子工学実験Ⅲ」

系3：「物理学実験演習Ⅰ」、「物理学実験演習Ⅱ」、「物理学実験演習Ⅲ」

A群：「物理学実験演習Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「電気電子工学実験Ⅲ」

B群：「電気電子工学実験Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「物理学実験演習Ⅲ」

C群：「機械システム設計演習Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「物理学実験演習Ⅲ」

(7) 学科専門科目

選択科目であり、32単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる系あるいは群とし、その主たる系あるいは群から22単位以上を修得すること。

イ. 「物理における固有値問題」「偏微分方程式」「電磁気学Ⅲ」および「光学システムと応用」は全ての系・群に共通する科目であり、いずれも主たる系または群の単位に算入できる。

ウ. 上記で22単位を超えた分は、機能創造理工学科・物質生命理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」の中から合計10単位以上を修得すること。系・群は問わない。

エ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないで注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

- (1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。
- (2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。
- (3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目14単位を含み25単位が必要である。

学 科 コ ア 科 目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・卒業研究を含む。一部の科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて17単位である。

学 科 専 門 科 目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修28単位・選択必修23単位・選択43単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から14単位以上を修得すること。14単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として11単位以上を修得すること。

(5) 履修コースの選択

2年秋学期開始時に、次の6つのコースから1つを選択し、それに従って以降の履修を行う。最終的には、修得した科目が卒業に要する単位に算入できるかどうかに影響するので、コース選びやその後の履修計画は慎重に検討する必要がある。2年秋学期開始前に履修コースの希望調査を行い、人数の調整が必要な場合は成績により調整を行う予定である。詳細は2年次の在校生ガイダンスにて説明を行う。

- ・機械工学コース(系1)
- ・電気電子工学コース(系2)
- ・物理学コース(系3)
- ・エネルギーの創出と利用コース(A群)
- ・物質の理解と材料・デバイスの創成コース(B群)
- ・ものづくりとシステムの創造コース(C群)

(6) 学科コア科目の実験・演習科目

ア. 「機能創造理工学実験・演習1」「機能創造理工学実験・演習2」は必修である。

イ. 「基礎工業力学」、「機械工学輪講」、「光電子デバイス」、「発電・送電工学」、「量子力学1」、「量子力学2」は選択必修であり、6科目のうち2科目を修得すること。

ウ. 「物理学実験Ⅰ」※、「物理学実験Ⅱ」※、「物理学実験Ⅲ」※、「電気電子工学実験Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「電気電子工学実験Ⅲ」、「機械システム設計演習Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「機械システム設計演習Ⅱ」は選択必修であり、9科目のうち3科目を修得すること。

エ. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる群あるいは系とし、原則、それぞれ以下の実験・演習科目を履修すること。

系1：「機械システム設計演習Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「機械システム設計演習Ⅱ」

系2：「電気電子工学実験Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「電気電子工学実験Ⅲ」

系3：「物理学実験Ⅰ」※、「物理学実験Ⅱ」※、「物理学実験Ⅲ」※

A群：「物理学実験Ⅰ」※、「機械創造工学実験」、「電気電子工学実験Ⅲ」

B群：「電気電子工学実験Ⅰ」、「機械創造工学実験」、「物理学実験Ⅲ」※

C群：「機械システム設計演習Ⅰ」、「電気電子工学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」※

※「物理学実験Ⅰ」、「物理学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。読み替え科目については、P.643を参照すること。

(7) 学科専門科目

選択科目であり、32単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる系あるいは群とし、その主たる系あるいは群から22単位以上を修得すること。

イ. 「物理における固有値問題」「偏微分方程式」「電磁気学Ⅲ」および「光学システムと応用」は全ての系・群に共通する科目であり、いずれも主たる系または群の単位に算入できる。

ウ. 上記で22単位を超えた分は、機能創造理工学科・物質生命理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」の中から合計10単位以上を修得すること。系・群は問わない。

エ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないで注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

- (1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。
- (2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。
- (3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回することは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目14単位を含み25単位が必要である。

学 科 コ ア 科 目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・卒業研究を含む。一部の科目は選択必修科目，その他は必修科目で，併せて17単位である。

学 科 専 門 科 目：本学科の専門科目である。選択科目で，卒業のためには32単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり，そのうち，必修28単位・選択必修23単位・選択43単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち，1科目2単位を，選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり，卒業に要する単位には算入されないが，積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から14単位以上を修得すること。14単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて，選択科目として11単位以上を修得すること。

(5) 履修コースの選択

2年秋学期開始時に，次の6つのコースから1つを選択し，それに従って以降の履修を行う。最終的には，修得した科目が卒業に要する単位に算入できるかどうかに影響するので，コース選びやその後の履修計画は慎重に検討する必要がある。2年秋学期開始前に履修コースの希望調査を行い，人数の調整が必要な場合は成績により調整を行う予定である。詳細は2年次の在校生ガイダンスにて説明を行う。

- ・機械工学コース(系1)
- ・電気電子工学コース(系2)
- ・物理学コース(系3)
- ・エネルギーの創出と利用コース(A群)
- ・物質の理解と材料・デバイスの創成コース(B群)
- ・ものづくりとシステムの創造コース(C群)

(6) 学科コア科目の実験・演習科目

ア. 「機能創造理工学実験・演習1」「機能創造理工学実験・演習2」は必修である。

イ. 「基礎工業力学」，「機械工学輪講」，「光電子デバイス」，「発電・送電工学」，「量子力学1」，「量子力学2」は選択必修であり，6科目のうち2科目を修得すること。

ウ. 「物理学実験Ⅰ※」，「物理学実験Ⅱ※」，「物理学実験Ⅲ※」，「電気電子工学実験Ⅰ」，「電気電子工学実験Ⅱ」，「電気電子工学実験Ⅲ」，「機械システム設計演習Ⅰ」，「機械創造工学実験」，「機械システム設計演習Ⅱ」は選択必修であり，9科目のうち3科目を修得すること。

エ. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる群あるいは系とし，原則，それぞれ以下の実験・演習科目を履修すること。

系1：「機械システム設計演習Ⅰ」，「機械創造工学実験」，「機械システム設計演習Ⅱ」

系2：「電気電子工学実験Ⅰ」，「電気電子工学実験Ⅱ」，「電気電子工学実験Ⅲ」

系3：「物理学実験Ⅰ※」，「物理学実験Ⅱ※」，「物理学実験Ⅲ※」

A群：「物理学実験Ⅰ※」，「機械創造工学実験」，「電気電子工学実験Ⅲ」

B群：「電気電子工学実験Ⅰ」，「機械創造工学実験」，「物理学実験Ⅲ※」

C群：「機械システム設計演習Ⅰ」，「電気電子工学実験Ⅱ」，「物理学実験Ⅲ※」

※「物理学実験Ⅰ」，「物理学実験Ⅱ」，「物理学実験Ⅲ」は，2018年度のカリキュラム改定により，科目名を変更している。読み替え科目については，P.643を参照すること。

(7) 学科専門科目

選択科目であり，32単位以上を修得すること。ただし，

ア. 学科専門科目の系1・系2・系3・A群・B群・C群の6つの中から自分のコースに対応した1つを主たる系あるいは群とし，その主たる系あるいは群から22単位以上を修得すること。

イ. 「物理における固有値問題」，「偏微分方程式」，「電磁気学Ⅲ」および「光学システムと応用」は全ての系・群に共通する科目であり，いずれも主たる系または群の単位に算入できる。

ウ. 上記で22単位を超えた分は，機能創造理工学科・物質生命理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」の中から合計10単位以上を修得すること。系・群は問わない。

エ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

- (1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。
- (2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。
- (3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

12年次生

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.643をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修35単位・選択必修13単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G, X」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「機能創造理工学実験・演習Ⅰ」「機能創造理工学実験・演習Ⅱ」は必修である。

イ。「物理学実験Ⅰ」※「電気電子工学実験Ⅰ」「機械システム設計演習Ⅰ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」「生物科学実験Ⅱ」「物理学実験Ⅱ」※「電気電子工学実験Ⅱ」「機械創造工学実験」は選択必修であり、5科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」「生物科学実験Ⅲ」「物理学実験Ⅲ」※「電気電子工学実験Ⅲ」「機械システム設計演習Ⅱ」は選択必修であり、5科目のうち1科目を修得すること。

※「物理学実験Ⅰ」,「物理学実験Ⅱ」,「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群のいずれか1群を主たる群とし、その各系から2単位以上を含む16単位以上を修得すること

イ. 上記で16単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に(他)の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

11年次生以前

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.643をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。一部の実験・演習科目は選択必修科目、その他は必修科目で、併せて13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修35単位・選択必修13単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G, X」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目の実験・演習科目

ア。「機能創造理工学実験・演習Ⅰ」「機能創造理工学実験・演習Ⅱ」は必修である。

イ。「物理学実験Ⅰ」※「電気電子工学実験Ⅰ」「機械システム設計演習Ⅰ」は選択必修であり、3科目のうち1科目を修得すること。

ウ。「化学実験Ⅱ」「生物科学実験Ⅱ」「物理学実験Ⅱ」※「電気電子工学実験Ⅱ」「機械創造工学実験」は選択必修であり、5科目のうち1科目を修得すること。

エ。「物理化学実験」「生物科学実験Ⅲ」「物理学実験Ⅲ」※「電気電子工学実験Ⅲ」「機械システム設計演習Ⅱ」は選択必修であり、5科目のうち1科目を修得すること。

※「物理学実験Ⅰ」、「物理学実験Ⅱ」、「物理学実験Ⅲ」は、2018年度のカリキュラム改定により、科目名を変更している。読み替え科目については、P.643を参照すること。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群のいずれか1群を主たる群とし、その各系から2単位以上を含む16単位以上を修得すること

イ. 上記で16単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・情報理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。よって変更前年度以前に開講された科目を修得済みのものは、変更後の年度以降に開講する科目を重複して履修することはできないので注意すること。

また、変更前の科目を未修得の者は、変更後の読み替え科目を履修すること。

変更前		年度	変更後		年度	備考
SEA50100	物理学実験Ⅰ	~2017	SEA50110	物理学実験演習Ⅰ	2018~	読み替え科目
SEA50600	物理学実験Ⅱ		SEA50610	物理学実験演習Ⅱ		読み替え科目
SEA51100	物理学実験Ⅲ		SEA51110	物理学実験演習Ⅲ		読み替え科目
SEA63500	工作機械工学		SEA67400	精密機械設計法		重複履修不可
SEA10100	機能創造理工学Ⅰ	~2013	SEA10300	機能創造理工学2	2014~	読み替え科目
SEA20100	機能創造理工学Ⅱ		SCT66700	解析力学		読み替え科目
SEA20200	機能創造理工学実験・演習Ⅰ		SEA10400	機能創造理工学実験・演習1		読み替え科目
SEA20300	機能創造理工学実験・演習Ⅱ		SEA20500	機能創造理工学実験・演習2		読み替え科目
SEA30100	ゼミナールⅠ	~2013	新規1	機能創造ゼミナール	2014~	読み替え科目
SEA30200	ゼミナールⅡ					重複履修不可
SEA50400	化学実験Ⅱ	~2013	SML50300	化学実験Ⅱ	2014	重複履修不可
SEA50500	生物科学実験Ⅱ		SML50400	生物科学実験Ⅱ		重複履修不可
SEA50900	物質科学実験	~2013	SML50800	物質科学実験(2014年)	2014	重複履修不可
			SML51300	物理化学実験(2015年以降)	2015~	
SEA51000	生物科学実験Ⅲ	~2013	SML50900	生物科学実験Ⅲ	2014~	重複履修不可
SCT65800	伝熱工学		SEA65200	伝熱工学概論		重複履修不可
SEA61100	燃焼科学と環境		SML62600	燃焼科学と環境		重複履修不可
SEA60800	電気エネルギー工学		SEA51800	発電・送電工学		重複履修不可
SEA60900	応用電磁工学		SEA66900	電磁材料科学		重複履修不可
SEA61000	電磁気学Ⅱ		SEA67200	電磁気学Ⅲ		重複履修不可
SEA66500	電磁気学3					
SEA61400	量子力学Ⅱ		SEA51600	量子力学1		重複履修不可
SEA61900	半導体物性		SCT68000	半導体物理の基礎		重複履修不可
SEA62300	物性基礎		SEA66600	物質科学入門		重複履修不可
SML61100	物性基礎					
SEA62400	量子光工学		SEA66300	量子光学		重複履修不可
SEA62600	固体電子物性		SEA66400	低温電子物性		重複履修不可
SEA63400	応用工業力学		SEA65400	工業力学		重複履修不可
SEA64100	動力伝達工学		SEA65300	応用流体力学		重複履修不可
SEA64300	物理標準と精密測定		SCT67600	物理標準と精密計測		重複履修不可
SEA65000	量子情報の基礎		SEA66200	量子情報エレクトロニクス		重複履修不可
SEA60600	電気エネルギー変換		SEA65800	パワーエレクトロニクス		重複履修不可
SEA60700	エネルギーシステムと制御		SEA65600	電力系統工学		重複履修不可
SEA62200	伝送工学		SEA66000	光電磁波伝送工学		重複履修不可
SEA62700	セラミック・ガラス材料		SML63600	セラミック・ガラス材料		重複履修不可
SEA62800	機能性高分子		SML63500	機能性高分子		重複履修不可
SEA60100	超関数と関数解析		SEA67110	物理における固有値問題		重複履修不可
SEA67100	物理数学と固有関数展開					

4. 開講科目担当表

13年次生以降

※理工共通科目 I 群・II 群の科目はp.585～を参照のこと

学科コア科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SEA10200	MEC181	機能創造理工学1	2	秋	張 月 琳	1	
		SEA10300	PHY102	機能創造理工学2	2	秋	大 槻 東 巳	1	
		SEA20400	EEE202	機能創造理工学3	2	春	中 岡 俊 裕	2	
		SEA10400	EAS191	機能創造理工学実験・演習1	1	秋	鈴木 隆雄 高柳 和理 富樫 徹 築地 紀之 久森 月琳 張 菊池 昭一 中 村 一也	1	同時担当
		SEA20500	EAS291	機能創造理工学実験・演習2	1	春	菊池 昭彦 竹原 昭一郎 曹 文 静 高井 健 一 田中 秀 岳 後藤 貴 行 桑原 英 樹 坂間 弘 彦 富 樫 理 恵 下 村 和 一 中 村 一也	2	同時担当
		SEA51500	MEC282	機械工学輪講	2	秋	長嶋 利夫・他	2	
選択必修科目1群	SEA51450	MEC315	基礎工業力学	2	秋	竹 原 昭一郎	2・3		
	SEA51600	PHY201	量子力学1	2	秋	高 柳 和 雄	2		
	SEA51700	PHY301	量子力学2	2	春	平 野 哲 文	3		
	SEA62000	EEE343	光電子デバイス	2	春	富 樫 理 恵	3		
	SEA51800	EEE321	発電・送電工学	2	春	高 尾 智 明	3		
選択必修科目2群	SEA50110	PHY295	物理学実験演習 I	1	秋	* 足立 匡 水谷 由宏 黒江 晴彦 樺田 英之	2		同時担当, 旧「物理学実験 I」注1
	SEA50200	EEE295	電気電子工学実験 I	1	秋	野村 一郎 高尾 智明 宮武 昌史 坂本 織江	2		同時担当
	SEA50300	MEC291	機械システム設計演習 I	1	秋	長嶋 利夫 鈴木 啓史 竹 原 昭一郎	2		同時担当
	SEA50610	PHY391	物理学実験演習 II	1	春	大 槻 東 巳 平 野 哲 文	3		同時担当, 旧「物理学実験 II」注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目2群	学科コア科目	SEA50700	EEE391	電気電子工学実験Ⅱ	1	春	高野谷中坂 尾村貝岡本 智一 俊織 明郎 剛裕 江	3		同時担当
		SEA50800	MEC391	機械創造工学実験	1	春	一田申鈴長竹 柳中 木嶋原 満秀 鉄啓利 昭一 久岳龍史 夫 行樹 弘樹	3		同時担当
		SEA51110	PHY395	物理学実験演習Ⅲ	1	秋	後下坂桑 藤迫間原 貴直 英 彦史 剛裕	3		同時担当, 旧「物理学実験Ⅲ」注1
		SEA51200	EEE395	電気電子工学実験Ⅲ	1	秋	下宮谷中 村武貝岡 俊 和昌 彦史 剛裕	3		同時担当
		SEA51300	MEC392	機械システム設計演習Ⅱ	1	秋	田中 柳満 日比野 秀 岳久 俊 樹	3		同時担当
必修科目	SEA40100	EAS401	卒業研究Ⅰ	1	春	機能創造理工学科教員	4			
	SEA40200	EAS402	卒業研究Ⅱ	1	秋	機能創造理工学科教員	4			

(注1) p.643「カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について」を参照のこと。

学科専門科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科専門科目	共通科目								
		SEA60200	EAS321	偏微分方程式	2	秋	平田均	3・4		「物理における固有値問題」と隔年交互開講
		SEA67110	EAS325	物理における固有値問題	2	休講		3・4		旧「物理数学と固有関数展開」「偏微分方程式」と隔年交互開講
		SEA67200	EAS311	電磁気学Ⅲ	2	春	江馬一弘	3・4		
		SEA64200	EAS315	光学システムと応用	2	秋	櫻田英之	3・4		
		系1：機械工学								
		A群：エネルギーの創出と利用								
		SEA60500	MEC321	流体エネルギー変換	2	休講		3・4		
		SEA60400	MEC331	熱エネルギー変換	2	秋	鈴木隆	3・4		
		SEA65200	MEC332	伝熱工学概論	2	春	一柳満久	3・4		
		SEA65300	MEC322	応用流体力学	2	秋	築地徹浩	3・4		
		SEA65310	MEC333	数値伝熱工学	2	秋	一柳・鈴木(隆)	3・4		[50名]
		B群：物質の理解と材料・デバイスの創成								
		SEA60300	MEC341	連続体力学	2	春	長嶋利夫	3・4		
		SEA61600	MEC342	応用材料力学	2	春	張月琳	3・4		
SEA63700	MEC311	振動工学	2	秋	*大石久己	3・4				

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年次	外 国 語	備 考	
選択科目 学科専門科目	SEA61700	MEC351	フラクチャメカニクス	2	秋	久 森 紀 之	3・4			
	SEA61800	MEC352	エネルギーと材料	2	秋	高 井 健 一	3・4		注1	
	C群：ものづくりとシステムの創造									
	SEA63100	MEC371	システム解析の基礎	2	秋	曹 文 静	3・4			
	SEA63600	MEC361	設計工学	2	春	千 葉 明	3・4			
	SEA63800	MEC314	応用機構学	2	秋	曄 道 佳 明	3・4			
	SEA63900	MEC362	精密加工学	2	春	田 中 秀 岳	3・4			
	SEA65500	MEC372	システムモデリングと制御	2	秋	申 鉄 龍	3・4		「精密機械設計法」と隔年開講	
	SEA63300	MEC343	有限要素法の基礎	2	秋	長 嶋 利 夫	3・4			
	SEA67400	MEC363	精密機械設計法	2	休講		3・4		「システムモデリングと制御」と隔年開講	
	SEA64000	MEC373	ロボット工学	2	秋	曹 文 静	3・4			
	SEA64900	MEC353	福祉・人間工学	2	秋	久 森 紀 之	3・4			
	系 2：電気電子工学									
	A群：エネルギーの創出と利用									
	SEA65700	EEE322	電気機器学	2	春	谷 貝 剛	3・4			
	SEA65900	EEE323	電気機器制御	2	春	宮 武 昌 史	3・4			
	SEA65600	EEE326	電力系統工学	2	秋	坂 本 織 江	3・4			
	SEA65800	EEE325	パワーエレクトロニクス	2	秋	中 村 一 也	3・4			
	B群：物質の理解と材料・デバイスの創成									
	SEA66010	EEE344	電磁波伝搬の基礎	2	春	下 村 和 彦	3・4		注1	
	SIC61500	EEE371	電子デバイス	2					(他) 情報理工学科, 注1	
	SEA66000	EEE345	光電磁波伝送工学	2	秋	下 村 和 彦	3・4			
	SEA62100	EEE346	光エレクトロニクス	2	秋	菊 池 昭 彦	3・4			
	SEA66100	EEE347	電子量子力学	2	秋	野 村 一 郎	3・4			
	SEA66200	EEE348	量子情報エレクトロニクス	2	秋	中 岡 俊 裕	3・4			
	C群：ものづくりとシステムの創造									
	SIC64500	EEE372	計測と制御	2					(他) 情報理工学科, 注1	
	SIC61600	INF331	信号基礎論	2					(他) 情報理工学科, 注1	
	SIC61400	INF336	情報通信工学	2					(他) 情報理工学科, 注1	
	SIC61700	INF337	通信ネットワークシステム	2					(他) 情報理工学科, 注1	
系 3：物理学										
A群：エネルギーの創出と利用										
SML62600	CHM313	燃焼科学と環境	2					(他) 物質生命理工学科, 注1		
SML63500	CHM318	機能性高分子	2					(他) 物質生命理工学科, 注1		
SML64900	PHY304	レーザー科学	2					(他) 物質生命理工学科, 注1		
SML65100	PHY305	原子衝突物理学	2					(他) 物質生命理工学科, 注1		
B群：物質の理解と材料・デバイスの創成										
SEA61300	PHY303	数理物理学	2	春	高 柳 和 雄	3・4				
SEA61500	PHY304	量子統計力学	2	春	大 槻 東 巳	3・4				
SEA66600	PHY333	物質科学入門	2	春	桑 原 英 樹	3・4		注1		
SEA66300	PHY307	量子光学	2	秋	江 馬 一 弘	3・4				
SEA66400	PHY308	低温電子物性	2	秋	後 藤 貴 行	3・4				
SEA66700	PHY300	量子力学3	2	秋	平 野 哲 文	3・4				
SEA66800	PHY310	量子物理及び演習	2	秋	高 柳 平 野	3・4				

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科専門科目	C群：ものづくりとシステムの創造								
	SEA67300	PHY317	低温・超伝導物性学	2	秋	足立 匡	3・4		
	SEA67050	PHY313	ライフサイクルアセスメント	2	休講		3・4		「電磁材料科学」と隔年交互開講，注1
	SML62500	PHY301	放射線科学	2					(他)物質生命理工学科，注1
	SEA66900	PHY311	電磁材料科学	2	春	坂間 弘	3・4		「ライフサイクルアセスメント」と隔年交互開講
	SML64700	PHY303	原子分子分光学	2					(他)物質生命理工学科，注1
	SML63600	CHM319	セラミック・ガラス材料	2					(他)物質生命理工学科，注1

(注1)「3.履修上の注意」①，(7)エ.を参照のこと。

教職科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
自由科目 教職科目	SEA80000	GEL100	地学概説A	2	春	*加 藤 徹也 *本 田 豊也	1～3		注1
	SEA80010	GEL101	地学概説B	2	秋	*加 藤 徹也 *本 田 豊也	1～3		注1
	SEA80020	GEL200	地学実験	1	春	*加 藤 徹也 *本 田 豊也	2～4		夏期集中，隔年開講 教職課程履修者のみ，注1

(注1) 次の科目は同一科目につき重複履修不可

2014年度以前開講の科目				2015年度以降開講の科目			
科目コード	開講科目名		科目コード	開講科目名			
622309	地学概説A		SEA80000	地学概説A			
622310	地学概説B		SEA80010	地学概説B			
622351	地学実験		SEA80020	地学実験			

電気主任技術者資格とその取得について（2013年度以降入学者）

電気事業法の規定によれば、受変電設備を持つすべての事業所はその設備の規模に応じた電気主任技術者を事業所に置かなければならない。従って、電気主任技術者の資格は、これら受変電設備の管理に必須となる電気工作物の取扱を行える業務独占資格の一つであることを意味し、業務上有用かつ重要な資格であると言える。以下において、主任技術者免状を取得するための事項について説明する。

主任技術者の資格を取得するためには二つの方法がある。すなわち、＜学歴＋実務経験＞あるいは＜国家試験＋実務経験＞である。学歴というのは経済産業省認定大学において所定の科目単位を修得することを指す。本学科において、下記に示す所定の科目単位の修得により、学歴を認定できる。下記の該当科目は、変更される可能性がある。

本資格に関する問い合わせ窓口は、機能創造理工学科事務室とし、適宜担当教員が対応する。

経済産業省指定の科目区分別授業内容及び単位数			上智大学機能創造理工学科における 該当科目（単位数は履修要覧参照）
科目区分	授業科目	必要単位	
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	◎電磁気学 ◎電気回路理論 ◎電気計測又は電子計測	17	電磁気学Ⅰ 電磁気学ⅡA 電磁波伝搬の基礎（旧 電磁波工学） 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 電磁気測定
	○電子回路理論 ○電子工学 ○システム基礎論 ○電気電子物性		電子回路 集積回路の基礎 デジタル回路 電子物性工学 半導体物理の基礎 システム解析の基礎
2. 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	◎発電工学又は発電用原動機に関するもの ◎変電工学 ◎送電工学 ◎配電工学 ◎電気材料 ◎電気法規 ◎電気施設管理	8	熱エネルギー変換 発電・送電工学 電磁材料科学 電気法規と施設管理
	○高電圧工学 ○システム工学 ○エネルギー変換工学		流体エネルギー変換 原子力エネルギー 電力系統工学
3. 電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	◎電気機器学 ◎パワーエレクトロニクス ◎自動制御又は制御工学	10	電気機器学（旧メカトロニクス） パワーエレクトロニクス 制御基礎
	○メカトロニクス ○照明 ○電気化学変換 ○電動機応用 ○電気光変換 ○電子計算機 ○情報伝送及び処理 ○電熱 ○電気加工（放電応用を含む）		電気化学 電気機器制御 光電子デバイス 光エレクトロニクス 光電磁波伝送工学 コンピュータネットワーク デジタル信号処理
4. 電気電子工学実験又は実習に関するもの	◎電気基礎実験◎電気応用実験	6	理工基礎実験・演習 機能創造理工学実験・演習1, 2 電気電子工学実験Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ 注意：上記の実験科目はすべて履修しなければならない。
	○電子実験 ○電子実習 ○電気実習		
5. 電気電子設計製図又は電気電子機器製図に関するもの	○電気機器設計 ○電気製図 ○自動設計製図（CAD） ○電子回路設計 ○電子製図	2	電力工学設計および製図 機械システム設計の基礎 設計工学
計		49	

付帯説明：

- 1) ◎印の授業科目は必ず修得していること。したがって、単位数にはこだわらないが、本学の該当科目からそれに対応した科目を履修していなければならない。内容が明確でないものの対応を以下に記す。
◎発電工学＝熱エネルギー変換，発電・送電工学，◎変電，送電，配電工学＝発電・送電工学，◎電気材料＝電磁材料科学。
- 2) 必要単位数の一部を大学院在学中において修得してもよい。
- 3) 科目区分2および3の学科科目に関して、単位不足で卒業したものについては、国家試験の一次試験の該当科目の合格を以て修得したと見なすことがある。ただし、付帯条件があるので、該当者は必ず科目適用の可否について経済産業省に問い合わせして下さい。
なお、資格申請のための実務経験は以下の通りである。

種類	資格申請のために必要な実務経験	
第1種電気主任技術者	5万ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	5年以上
第2種電気主任技術者	1万ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	3年以上
第3種電気主任技術者	500ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	1年以上

12年次生以前

※理工共通科目Ⅰ群・Ⅱ群の科目はp.596参照のこと

学科コア科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SEA10100		機能創造理工学Ⅰ	2			1	2013年度より廃止 読み替え科目「機能創造理工学2」 注3, p.643参照
		SEA20100		機能創造理工学Ⅱ	2			2	2013年度より廃止 読み替え科目「解析力学」 注3, p.643参照
		SEA20200		機能創造理工学実験・演習Ⅰ	1			2	2014年度より廃止 読み替え科目「機能創造理工学実験・演習1」 注3, p.643参照
		SEA20300		機能創造理工学実験・演習Ⅱ	1			2	2014年度より廃止 読み替え科目「機能創造理工学実験・演習2」 注3, p.643参照
選択必修科目α群		SEA50100	PHY295	物理学実験Ⅰ	1			2	2018年度より廃止 読み替え科目「物理学実験演習Ⅰ」 注3, p.643参照 同時担当
		SEA50200	EEE295	電気電子工学実験Ⅰ	1	秋	野村一郎 高尾智明 宮武昌史 坂本織江	2	同時担当
		SEA50300	MEC291	機械システム設計演習Ⅰ	1	秋	長嶋利夫 鈴木啓史 竹原昭一郎	2	同時担当
選択必修科目β群		SML50300	CHM391	化学実験Ⅱ	1				春学期前半 (他)物質生命理工学科 注1, 注2, 注3
		SML50400	BIO391	生物科学実験Ⅱ	1				春学期前半 (他)物質生命理工学科 注1, 注2, 注3
		SEA50600	PHY391	物理学実験Ⅱ	1	春		3	2018年度より廃止 読み替え科目「物理学実験演習Ⅱ」 注3, p.643参照 同時担当同時担当
		SEA50700	EEE391	電気電子工学実験Ⅱ	1	春	高尾智明 野村一郎 谷貝剛 中岡俊裕 坂本織江	3	同時担当
		SEA50800	MEC391	機械創造工学実験	1	春	一柳満久 田中秀岳 申鉄龍 鈴木啓史 長嶋利夫 竹原昭一郎	3	同時担当

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目A群	学科コア科目	SML51300	MLS392	物理化学実験	1				春学期後半, 注1, 注2, 注3 (他) 物質生命理工学科
		SML50900	BIO392	生物科学実験Ⅲ	1				春学期後半, 注1, 注2, 注3 (他) 物質生命理工学科
		SEA51100	PHY395	物理学実験Ⅲ	1	秋		3	2018年度より廃止 読み替え科目「物理学実験 演習Ⅲ」 注3, p.643参照 同時担当
		SEA51200	EEE395	電気電子工学実験Ⅲ	1	秋	下村和彦 宮武昌史 谷貝剛裕 中岡俊裕	3	同時担当
		SEA51300	MEC392	機械システム設計演習Ⅱ	1	秋	田中秀岳 一柳満久 日比野俊樹	3	同時担当
		SEA30300	EAS303	機能創造ゼミナール	1	春	江馬一弘 後藤貴行 桑原英樹	3	夏期集中 注3, p.643参照 「ゼミナールⅠ」, 「ゼミナールⅡ」未履修者用
		SEA40100	EAS401	卒業研究Ⅰ	1	春	能創造理工学科教員	4	
		SEA40200	EAS402	卒業研究Ⅱ	1	秋	機能創造理工学科教員	4	

学科専門科目

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科専門科目	【A群】エネルギーの創出と利用								
		<系1> 基盤数理系								
		SEA67110	EAS325	物理における固有値問題	2	休講		3・4		旧「物理数学と固有関数展開」 「偏微分方程式」と隔年交互開講
		SEA60200	EAS321	偏微分方程式	2	秋	平田均	3・4		「物理における固有値問題」と隔年交互開講
		SEA60300	MEC341	連続体力学	2	春	長嶋利夫	3・4		
		<系2> 機械・電気系								
		SEA60400	MEC331	熱エネルギー変換	2	秋	鈴木隆	3・4		
		SEA60500	MEC321	流体エネルギー変換	2	休講		3・4		
		SEA65800	EEE325	パワーエレクトロニクス	2	秋	中村一也	3・4		注3 旧「電気エネルギー変換」
		SEA65600	EEE326	電力系統工学	2	秋	坂本織江	3・4		注3 旧「エネルギーシステムと制御」
		SEA51800	EEE321	発電・送電工学	2	春	高尾智明	3・4		注3 旧「電気エネルギー工学」
		SEA65200	MEC332	伝熱工学概論	2	春	一柳満久	3・4		旧「伝熱工学」注3
		SEA65900	EEE323	電気機器制御	2	春	宮武昌史	3・4		
		SEA65700	EEE322	電気機器学	2	春	谷貝剛	3・4		

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 学科専門科目	<系 3> 応用物理・物性系								
	SEA66900	PHY311	電磁材料科学	2	春	坂 間 弘	3・4		「ライフサイクルアセスメント」と隔年交互開講 旧「応用電磁工学」注3
	SEA67200	EAS311	電磁気学Ⅲ	2	春	江 馬 一 弘	3・4		旧「電磁気学Ⅱ, 3」注3
	SML62600	CHM313	燃焼科学と環境	2					(他) 物質生命理工学科 注2, 注3
	【B 群】 物質の理解と材料・デバイスの創成								
	<系 1> 基盤数理系								
	SEA61300	PHY303	数理物理	2	春	高 柳 和 雄	3・4		
	SEA51600	PHY201	量子力学1	2	秋	高 柳 和 雄	3・4		旧「量子力学Ⅱ」注3
	SEA51700	PHY301	量子力学2	2	春	平 野 哲 文	3・4		
	SEA66800	PHY310	量子物理及び演習	2	秋	高 柳・平 野	3・4		
	SEA61500	PHY304	量子統計力学	2	春	大 槻 東 巳	3・4		
	<系 2> 機械・電気系								
	SEA66010	EEE344	電磁波伝搬の基礎	2	春	下 村 和 彦	3・4		注2
	SEA61600	MEC342	応用材料力学	2	春	未 定	3・4		
	SEA61700	MEC351	フラクチャメカニクス	2	秋	久 森 紀 之	3・4		
	SEA61800	MEC352	エネルギーと材料	2	秋	高 井 健 一	3・4		注2
	SCT68000	EEE341	半導体物理の基礎	2					(他) 理工学部共通科目 旧「半導体物性」注2, 注3
	SEA62000	EEE343	光電子デバイス	2	春	富 樫 理 恵	3・4		
	SEA62100	EEE346	光エレクトロニクス	2	秋	菊 池 昭 彦	3・4		
	SEA66000	EEE345	光電磁波伝送工学	2	秋	下 村 和 彦	3・4		旧「伝送工学」注3
	<系 3> 応用物理・物性系								
	SEA66600	PHY333	物質科学入門	2	春	桑 原 英 樹	3・4		旧「物性基礎」注2, 注3
	SEA66300	PHY307	量子光学	2	秋	江 馬 一 弘	3・4		旧「量子光学」注3
	SEA67300	PHY317	低温・超伝導物性学	2	秋	足 立 匡	3・4		
	SEA66400	PHY308	低温電子物性	2	秋	後 藤 貴 行	3・4		旧「固体電子物性」注3
	SML63600	CHM319	セラミック・ガラス材料	2					(他) 物質生命理工学科 注2, 注3
	SML63500	CHM318	機能性高分子	2					(他) 物質生命理工学科 注2, 注3
	SEA67050	PHY313	ライフサイクルアセスメント	2	休講			3・4	「電磁材料科学」と隔年交互開講 注2
	【C 群】 ものづくりとシステムの創造								
	<系 1> 基盤数理系								
	SEA63100	MEC371	システム解析の基礎	2	秋	曹 文 静	3・4		
	SEA63300	MEC343	有限要素法の基礎	2	秋	長 嶋 利 夫	3・4		
	<系 2> 機械・電気系								
SEA67400	MEC363	精密機械設計法	2	休講			3・4	注3, p.643参照 「システムモデリング」と制御」と隔年開講	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考		
選択科目	学科専門科目	SEA63600	MEC361	設計工学	2	秋	千葉 明	3・4			
		SEA63700	MEC311	振動工学	2	秋	*大石 久己	3・4			
		SEA63800	MEC314	応用機構学	2	秋	曄道 佳明	3・4			
		SEA63900	MEC362	精密加工学	2	春	田中 秀岳	3・4			
		SEA64000	MEC373	ロボット工学	2	秋	曹文 静	3・4			
		SEA65300	MEC322	応用流体力学	2	秋	築地 徹浩	3・4	旧「動力伝達工学」注3		
		SEA65500	MEC372	システムモデリングと制御	2	秋	申鉄 龍	3・4	「精密機械設計法」と隔年開講		
		SEA64900	MEC353	福祉・人間工学	2	秋	久森 紀之	3・4			
		<系3> 応用物理・物性系									
		SEA64200	EAS315	光学システムと応用	2	秋	樺田 英之	3・4			
SCT67600	MEC284	物理標準と精密計測	2					輪講、(他)理工学部共通科目 旧「物理標準と精密測定」 注2, 注3			
SEA66200	EEE348	量子情報エレクトロニクス	2	秋	中岡 俊裕	3・4		旧「量子情報の基礎」注3			

(注1) 前半科目、後半科目を両方履修の際は、必ず片方を集中講義科目として登録すること。登録方法は Loyola Handbook を参照。

(注2) 「3. 履修上の注意」①, (6) ウ. を参照のこと。

(注3) p.643 「カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について」を参照のこと。

教職科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
自由科目	教職科目	SEA80000	GEL100	地学概説A	2	春	*加藤 徹也 *本田 豊也	1~3	注1
		SEA80010	GEL101	地学概説B	2	秋	*加藤 徹也 *本田 豊也	1~3	注1
		SEA80020	GEL200	地学実験	1	春	*加藤 徹也 *本田 豊也	2~4	夏期集中, 隔年開講 教職課程履修者のみ, 注1

(注1) 次の科目は同一科目につき重複履修不可

2014年度以前開講の科目		2015年度以降開講の科目	
科目コード	開講科目名	科目コード	開講科目名
622309	地学概説A	SEA80000	地学概説A
622310	地学概説B	SEA80010	地学概説B
622351	地学実験	SEA80020	地学実験

電気主任技術者資格とその取得について（2012年度以前入学者）

電気事業法の規定によれば、受変電設備を持つすべての事業所はその設備の規模に応じた電気主任技術者を事業所に置かなければならない。従って、電気主任技術者の資格は、これら受変電設備の管理に必須となる電気工作物の取扱を行える業務独占資格の一つであることを意味し、業務上有用かつ重要な資格であると言える。以下において、主任技術者免状を取得するための事項について説明する。

主任技術者の資格を取得するためには二つの方法がある。すなわち、＜学歴＋実務経験＞あるいは＜国家試験＋実務経験＞である。学歴というのは経済産業省認定大学において所定の科目単位を修得することを指す。本学科において、下記に示す所定の科目単位の修得により、学歴を認定できる。下記の該当科目において科目名が一部変更されたが、新旧どちらの科目名で履修していても良い。また、今後も変更される可能性がある。

本資格に関する問い合わせ窓口は、機能創造理工学科事務室とし、適宜担当教員が対応する。

経済産業省指定の科目区分別授業内容及び単位数			上智大学機能創造理工学科における該当科目（単位数は履修要覧参照）
科目区分	授業科目	必要単位	
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	◎電磁気学 ◎電気回路理論 ◎電気計測又は電子計測	17	電磁気学Ⅰ（旧 電磁気学の基礎） 電磁気学ⅡB（旧 電磁気学） 電磁波工学 電気回路Ⅰ（旧 電気・電子回路の基礎） 電気回路Ⅱ（旧 電気回路） 電磁気測定
	○電子回路理論 ○電子工学 ○システム基礎論 ○電気電子物性		電子回路 集積回路の基礎 デジタル回路 電子物性工学 半導体物理の基礎（旧 半導体物性） システム解析の基礎
2. 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	◎発電工学又は発電用原動機に関するもの ◎変電工学 ◎送電工学 ◎配電工学 ◎電気材料 ◎電気法規 ◎電気施設管理	8	熱エネルギー変換 発電・送電工学（旧 電気エネルギー工学） 電磁材料科学（旧 応用電磁工学） 電気法規と施設管理
	○高電圧工学 ○システム工学 ○エネルギー変換工学		流体エネルギー変換 原子力エネルギー 電力系統工学（旧 エネルギーシステムと制御）
3. 電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	◎電気機器学 ◎パワーエレクトロニクス ◎自動制御又は制御工学	10	電気機器学（旧 メカトロニクス） パワーエレクトロニクス（旧 電気エネルギー変換） 制御基礎
	○メカトロニクス ○照明 ○電気化学変換 ○電動機応用 ○電気光変換 ○電子計算機 ○情報伝送及び処理 ○電熱 ○電気加工（放電応用を含む）		電気化学 ロボット工学 光電子デバイス 光エレクトロニクス 光電磁波伝送工学（旧 伝送工学） コンピュータネットワーク デジタル信号処理
4. 電気電子工学実験又は実習に関するもの	◎電気基礎実験◎電気応用実験	6	理工基礎実験・演習（旧 基礎物理実験・演習） 機能創造理工学科実験・演習Ⅰ、Ⅱ 電気電子工学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ 注意：上記の実験科目はすべて履修しなければならない。
	○電子実験 ○電子実習 ○電気実習		
5. 電気電子設計製図又は電気電子機器製図に関するもの	○電気機器設計 ○電気製図 ○自動設計製図（CAD） ○電子回路設計 ○電子製図	2	電力工学設計および製図 機械システム設計の基礎（旧 設計・CADの基礎） 設計工学
計		49	

付帯説明：

- 1) ◎印の授業科目は必ず修得していること。したがって、単位数にはこだわらないが、本学の該当科目からそれに対応した科目を履修していなければならない。内容が明確でないものの対応を以下に記す。
 ◎発電工学＝熱エネルギー変換，発電・送電工学（旧 電気エネルギー工学），◎変電，送電，配電工学＝発電・送電工学（旧 電気エネルギー工学），◎電気材料＝電磁材料科学（旧 応用電磁工学），◎電気機器学＝メカトロニクス。
- 2) 必要単位数の一部を大学院在学中において修得してもよい。
- 3) 科目区分2および3の学科科目に関して、単位不足で卒業したものについては、国家試験の一次試験の該当科目の合格を以て修得したと見なすことがある。ただし、付帯条件があるので、該当者は必ず科目適用の可否について経済産業省に問い合わせして下さい。
 なお、資格申請のための実務経験は以下の通りである。

種類	資格申請のために必要な実務経験	
第1種電気主任技術者	5万ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	5年以上
第2種電気主任技術者	1万ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	3年以上
第3種電気主任技術者	500ボルト以上の電気工作物の工事，維持又は運用業務	1年以上

情報理工学科

〔教育研究上の目的〕

情報科学、電子情報学、数学、生物学を基礎とし、人間・コミュニケーション・社会・数理の情報分野を学び、文理の学際的視点も併せもち、情報を総合的かつ専門的に分析・統合・展開する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

人間や社会に役立つ情報の体系やシステム、新しい情報技術の創成に貢献するために、人間、社会が築いてきた情報、知識、概念を理解・蓄積し、これらを情報技術の活用でより発展させることのできる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、「情報」を基盤として人間と社会を複合的により深く理解する人材、人間や社会が有する知識・知恵・経験を蓄積し、目に見える情報として整理することができる人材、さらに人間情報・情報通信・社会情報・数理情報の少なくとも1つのテーマについて専門的な知識を有し、それらを有機的に組み合わせ、人間や社会に還元する能力を有する人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 現代社会の広い意味での「情報」に関して、その意味づけや原理・理論さらには社会のさまざまな分野での日常的な応用を理解し、幅広い一般教養と倫理観、国際化の進展に対応できる素養
2. 脳や神経、身体、感覚・認知・言語など、人間そのものに関わる情報処理、および、人間支援・教育支援など、人間の活動に関わる情報処理を理解し、人間に関わるあらゆる側面に対応できる能力
3. 情報通信に関する基礎技術を理解し、情報通信技術の発展にかかわる諸課題を主体的に解決できる能力
4. IoT、人工知能、データベース、ソフトウェア工学等の情報の生成・活用・蓄積・流通に関わる基礎技術を理解し、最先端情報技術を活用・創出できる能力
5. 情報科学を含むすべての現代科学の理解に不可欠な数学の知識を学び、現代社会の情報技術におけるさまざまな問題を主体的に解決できる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、情報科学・通信工学・数学・生物学を基礎とし、人間・通信・社会・数理の情報分野を複合的に学習し、また文理融合的視点もあわせもち、情報を総合的かつ専門的に分析・統合・展開する能力を養成することを目指しています。これにもとづいたディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 全学共通科目、語学科目、キリスト教的ヒューマニズム等を理解する科目を履修させ、国際化の進展に対応できる基礎的能力を修得させる。また、現代科学を理解するために共通に必要な基礎学力を講義、演習、実験を中心とした共通科目を通じて、主に1,2年次の間に修得させる。
2. 人間における脳や神経活動、感覚情報など、人間を理解するための科目から、人間の体や活動の計測、福祉や教育への応用も視野に入れた科目を通じて、科学的側面と工学的側面の両方を学び、学際・融合的な知識を修得させる。
3. 情報通信技術に関するソフトウェアおよびハードウェアについて、システムの構成要素からそれらの統合に至る幅広い技術分野を網羅する複数の基礎的科目を通じて、通信システム全体を把握した上で専門的な技術を学び、情報通信技術者に必要な基礎を修得させる。
4. 社会に存在する情報をコンテンツとして生成・活用・蓄積・流通させることに関連する諸技術を体系的に理解するため、工学的基礎的科目から社会的視点も取り入れた応用科目を通じて、最先端情報技術の利活用と創出を担う人材育成に必要な能力を修得させる。
5. 全ての情報分野における基礎的理論を理解するため、数学の基礎科目を通じて、最低限の知識を学生全員に身に付けさせる。また大学院において数学を研究することをめざす学生が専門的な現代数学科目を通じてその知識を修得させる。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

18年次生以降

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	(必修34単位，選択必修24単位，選択36単位)
合計	124単位	

14～17年次生

全学共通科目		
必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)
語学科目		
必修	4単位	
学科科目	94単位	(必修36単位，選択必修22単位，選択36単位)
合計	124単位	

13年次生

全学共通科目		
必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	
学科科目	94単位	(必修36単位，選択必修22単位，選択36単位)
合計	124単位	

12年次生

全学共通科目		
必修	12単位	[体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	14単位	
学科科目	94単位	(必修38単位，選択必修10単位，選択46単位)
合計	124単位	

11年次生以前

全学共通科目		
必修	14単位	[人間学2単位，体育2単位，情報2単位，外国語科目8単位]
選択必修	6単位	
選択	10単位	
学科科目	94単位	(必修38単位，選択必修10単位，選択46単位)
合計	124単位	

2. 標準配当表

18年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163~を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (16単位)	理工学概説	2					
			数学A I (線型代数)	2					
	数学B I (微分積分)		2						
	基礎物理学		2						
	基礎化学		2						
基礎生物学	2								
基礎情報学	2								
数学演習 I	1								
理工基礎実験・演習	1								
選択必修 (2単位)			科学技術英語	2					
理工共通科目 II 群	選択必修 (22単位)	理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから22単位				22			
選択 (12単位)	理工共通科目 II 群選択科目のうちから12単位以上修得すること(理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから22単位を超えて修得した分も算入される)				12				
学科コア科目	必修 (18単位)	情報理工学 I (コンピュータ・キテクチュア)	2	情報理工学 II (コンピュータソフトウェア)	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
		基礎プログラミング	1	情報理工学 III (計算と情報の理論)	2	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
				情報学演習 III	1	情報学演習 I	1		
				情報学演習 I	1	情報学演習 II	1		
				情報学演習 II	1	情報学演習 III	1		
				情報数理演習 I	1	情報理工学実験 II	1		
				情報数理演習 II	1				
				情報理工学実験 I	1				
選択 (24単位)					<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のうち1群から10単位以上 ・ 上記で10単位を修得した群以外の群、および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から6単位以上 			24	

14～17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧(共通編) p.163～を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目I群	必修 (18単位)	理工学総論※	2					
			理工学概論※	2					
			数学A I (線型代数)	2					
			数学B I (微分積分)	2					
			基礎物理学	2					
			基礎化学	2					
			基礎生物学	2					
			基礎情報学	2					
			数学演習 I	1					
			理工基礎実験・演習	1					
	選択必修 (2単位)		科学技術英語	2					
	選択必修 (20単位)	理工共通科目II群選択必修科目のうちから20単位				20			
	選択 (12単位)	理工共通科目II群選択科目のうちから12単位以上修得すること(理工共通科目II群選択必修科目のうちから20単位を超えて修得した分も算入される)				12			
	必修 (18単位)	情報理工学 I (コンピュター・キテクチュア)	2	情報理工学 II (コンピュータソフトウェア)	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
		基礎プログラミング	1	情報理工学 III (計算と情報の理論)	2	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
				情報学演習 I	1	情報学演習 III	1		
				情報数理演習 I	1	情報理工学実験 II	1		
				情報学演習 II	1				
				情報数理演習 II	1				
				情報理工学実験 I	1				
	選択 (24単位)					24	<ul style="list-style-type: none"> 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のうち1群から12単位 上記で12単位を修得した群以外の群、および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から12単位 		

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.584を確認し、読み替え科目を履修すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4			

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	理工共通科目Ⅰ群	必修 (18単位)	理工学総論※	2						
			理工学概論※	2						
	数学AⅠ(線型代数)	2								
	数学BⅠ(微分積分)	2								
	基礎物理学	2								
基礎化学	2									
基礎生物学	2									
基礎情報学	2									
数学演習Ⅰ	1									
理工基礎実験・演習	1									
	選択必修 (2単位)		科学技術英語	2						
	理工共通科目Ⅱ群	選択必修 (20単位)	理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから20単位				20			
		選択 (12単位)	理工共通科目Ⅱ群選択科目のうちから12単位以上修得すること(理工共通科目Ⅱ群選択必修科目のうちから20単位を超えて修得した分も算入される)				12			
	学科コア科目	必修 (18単位)	情報理工学Ⅰ (コンピュータアーキテクチャ)	2	情報理工学Ⅱ (コンピュータソフトウェア)	2	ゼミナールⅠ	1	卒業研究Ⅰ	1
			基礎プログラミング	1	情報理工学Ⅲ (計算と情報の理論)	2	ゼミナールⅡ	1	卒業研究Ⅱ	1
					情報学演習Ⅰ	1	情報学演習Ⅲ	1		
					情報学演習Ⅱ	1	情報理工学実験Ⅱ	1		
					情報数理演習Ⅰ	1				
					情報学演習Ⅱ	1				
					情報数理演習Ⅱ	1				
					情報理工学実験Ⅰ	1				
	学科専門科目	選択 (24単位)	・学科専門科目のA群・B群・C群・D群のうち1群から12単位 ・上記で12単位を修得した群以外の群、および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から12単位				24			

※2018年度に「理工学総論」及び「理工学概論」のカリキュラム変更を行ったため、未履修の者は、P.584を確認し、読み替え科目を履修すること。

12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (4単位)	ウェルネスと身体	2					
		情報リテラシー演習	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (14単位)							
外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4				

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (25単位)	理工学総論 I	2	数学C (確率統計)	2			
			理工学総論 II	2					
			理工学概論 I (環境と生命)	2					
			理工学概論 II (安全と倫理)	2					
			数学A (線型代数)	2					
			数学B (微分積分)	2					
			基礎物理学	2					
			基礎化学	2					
			基礎生物学	2					
			基礎情報学	2					
基礎物理実験・演習	1								
基礎化学実験・演習	1								
基礎生物・情報実験・演習	1								
理工共通科目 II 群	選択必修 (4単位)			科学技術英語1A~Fのうちから1科目	2				
				科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目	2				
理工共通科目 II 群	選択 (18単位)			理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位		6			
		理工共通科目 II 群選択科目のうちから18単位以上修得すること(理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)				18			
学科コア科目	必修 (13単位)	情報理工学 I (コンピュータアーキテクチャ)	2	情報理工学 II (コンピュータソフトウェア)	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
				情報理工学演習 I	1	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
				情報理工学実験 I	1	情報理工学実験 II	1		
				情報理工学演習 II	1	情報理工学演習 III	1		
学科専門科目	選択 (28単位)			・ 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のうち1群から12単位 ・ 上記で12単位を修得した群以外の群, および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から16単位		28			

2013年度以降理工学部共通科目, 学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して, 理工学部共通科目については p.595, 学科科目については p.668 をよく確認すること。

11年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (6単位)	人間学	2					
		ウエルネスと身体	2					
		情報リテラシー演習	2					
	選択必修 (6単位)	人間学系科目 (4~6単位) 保健体育系科目 (2単位以内)						
選択 (10単位)								
外国語科目必修 (8単位)	英語	4	英語	4				

(注) 「ウエルネスの理論と実践」の未履修者は、「ウエルネスと身体」を履修すること。

(注) 選択必修科目の人間学系科目については1年次に2科目4単位履修することが望ましい。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	理工共通科目 I 群	必修 (25単位)	理工学総論 I	2	数学C (確率統計)	2			
			理工学総論 II	2					
			理工学概論 I (環境と生命)	2					
			理工学概論 II (安全と倫理)	2					
			数学A (線型代数)	2					
			数学B (微分積分)	2					
基礎物理学			2						
基礎化学			2						
基礎生物学			2						
基礎情報学			2						
基礎物理実験・演習	1								
基礎化学実験・演習	1								
基礎生物・情報実験・演習	1								
選択必修 (4単位)			科学技術英語1A~F のうちから1科目	2					
			科学技術英語2A~G, Xのうちから1科目	2					
理工共通科目 II 群	選択必修 (6単位)				理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位	6			
選択 (18単位)	理工共通科目 II 群選択科目のうちから18単位以上修得すること(理工共通科目 II 群選択必修科目のうちから6単位を超えて修得した分も算入される)						18		
学科コア科目	必修 (13単位)	情報理工学 I (コンピュータアーキテクチャ)	2	情報理工学 II (コンピュータソフトウェア)	2	ゼミナール I	1	卒業研究 I	1
				情報理工学演習 I	1	ゼミナール II	1	卒業研究 II	1
				情報理工学実験 I	1	情報理工学実験 II	1		
				情報理工学演習 II	1	情報理工学演習 III	1		
学科専門科目	選択 (28単位)	・ 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のうち1群から12単位 ・ 上記で12単位を修得した群以外の群, および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から16単位						28	

2013年度以降理工学部共通科目, 学科科目ともにカリキュラムが大幅に変更された。廃止された科目および読み替え科目に関して, 理工学部共通科目については p.595, 学科科目については p.668 をよく確認すること。

3. 履修上の注意

18年次生以降

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目16単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科の学修の基盤となる科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目22単位を含み34単位が必要である。

学 科 コ ア 科 目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。必修科目で18単位である。

学 科 専 門 科 目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには24単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修34単位・選択必修24単位・選択36単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から22単位以上を修得すること。22単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として12単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目

全て必修科目である。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、24単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のいずれか1群を主たる群とし、10単位以上を修得すること

イ. 上記ア.で修得した群以外の群および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から6単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

例えば、学科専門科目を24単位修得する場合、アから10～18単位、イから6～14単位を修得する。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	26	27	49	26	27	49	26	27	49	196

14～17年次生

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科の学修の基盤となる科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目20単位を含み32単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。必修科目で18単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには24単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修36単位・選択必修22単位・選択36単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から20単位以上を修得すること。20単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として12単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目

全て必修科目である。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、24単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のいずれか1群を主たる群とし、12単位以上を修得すること

イ. 上記で12単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないの注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回るとは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	26	27	49	26	27	49	26	27	49	196

13年次生

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目18単位・選択必修科目（科学技術英語）2単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科の学修の基盤となる科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目20単位を含み32単位が必要である。

学 科 コ ア 科 目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。必修科目で18単位である。

学 科 専 門 科 目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには24単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修36単位・選択必修22単位・選択36単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、1科目2単位を選択必修科目として修得すること。自由科目群における「科学技術英語（各種）」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から20単位以上を修得すること。20単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として12単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目

全て必修科目である。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、24単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のいずれか1群を主たる群とし、12単位以上を修得すること

イ. 上記で12単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から12単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回することは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	26	27	49	26	27	49	26	27	49	196

12年次生

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.668をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。必修科目で13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修38単位・選択必修10単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない。「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目

全て必修科目である。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のいずれか1群を主たる群とし、12単位以上を修得すること

イ. 上記で12単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から16単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回るとは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

11年次生以前

2013年度以降カリキュラムが変更されたため、履修に際しては十分に注意すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置に関して、理工学部共通科目についてはp.595、学科科目についてはp.668をよく確認すること。

① 学科科目

(1) 学科科目の分類

理工共通科目Ⅰ群：理工学部共通に設置している基礎的な科目である。必修科目25単位・選択必修科目（科学技術英語）4単位・自由科目から成る。

理工共通科目Ⅱ群：理工共通科目Ⅰ群に引き続き、専門科目の学習の基礎となる共通性の高い科目である。理工学部共通科目であるが、中でも各学科色の強い科目群を各学科で指定し選択必修としている。卒業のためには選択必修科目6単位を含み24単位が必要である。

学科コア科目：各学科での学習の中心となる科目であり、実験・演習・ゼミナール・卒業研究を含む。必修科目で13単位である。

学科専門科目：本学科の専門科目である。選択科目で、卒業のためには28単位が必要である。

(2) 卒業必要単位

学科科目の必要単位数は94単位であり、そのうち、必修38単位・選択必修10単位・選択46単位である。

(3) 科学技術英語科目

理工共通科目Ⅰ群の科学技術英語科目のうち、「科学技術英語1A～F」「科学技術英語2A～G」からそれぞれ1科目2単位ずつを、選択必修科目として修得すること。ただし、1と2では異なるアルファベットの科目を修得しなければならない。「科学技術英語3A～3I」は自由科目であり、卒業に要する単位には算入されないが、積極的な受講を望む。

(4) 理工共通科目Ⅱ群

学科指定の選択必修科目から6単位以上を修得すること。6単位を超えた分は理工共通科目Ⅱ群の選択科目の修得単位として算入できる。選択必修科目の超過単位を併せて、選択科目として18単位以上を修得すること。

(5) 学科コア科目

全て必修科目である。

(6) 学科専門科目

選択科目であり、28単位以上を修得すること。ただし、

ア. 学科専門科目のA群・B群・C群・D群のいずれか1群を主たる群とし、12単位以上を修得すること

イ. 上記で12単位を修得した群以外の群および物質生命理工学科・機能創造理工学科の「学科専門科目」から16単位以上を修得すること

ウ. 他学科の開講科目担当表に記載されている本学科の科目は自学科科目として履修することとし、他学科科目として算入することは出来ないので注意すること。また、備考欄に（他）の表記がある科目は他学科で開講されている科目だが自学科科目として算入される。

② 卒業研究の履修条件

(1) 「卒業研究Ⅰ」を履修するためには、卒業に要する科目の単位の最低基準のうち未修得単位の合計が、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の2単位を含んで20単位以下でなければならない。

(2) 「卒業研究Ⅱ」を履修するためには「卒業研究Ⅰ」を修得していなければならない。

(3) 「卒業研究Ⅰ」は原則、4年次春学期から履修をすることとするが、春学期終了時に、上記履修条件を満たす者、秋学期から履修を希望する者は、学科に申し出ること。

③ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

(注2) 教職課程登録者については、課程登録をした次の学期から、2年次以上の各半期に6単位まで（年間10単位まで）超過して履修することが認められる。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
26	27	49	27	26	49	25	27	49	26	27	49	196

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。よって2013年度以前に開講された重複履修不可の科目を修得済のものは、2014年度以降に開講する科目を履修することはできないので注意すること。

2013年度以前の開講科目		2014年度以降の開講科目		備考
SIC20200	情報理工学演習Ⅰ※	SIC20700	情報数理演習Ⅰ	読み替え科目
SIC20400	情報理工学演習Ⅱ※	SIC20900	情報数理演習Ⅱ	読み替え科目
SIC30200	情報理工学演習Ⅲ※	SIC30500	情報学演習Ⅲ	読み替え科目
SIC64100	電気電子情報産業概論	SEA64800	電気電子情報産業概論	重複履修不可
SIC63500	環と加群	SIC64700	代数学Ⅱ(環と加群)	重複履修不可
SIC63600	体とガロア理論	SIC64800	代数学Ⅲ(ガロア理論)	重複履修不可
SIC63700	多様体論	SIC64900	幾何学Ⅱ(多様体論)	重複履修不可
SIC63800	位相空間の不変量	SIC65000	幾何学Ⅲ(位相不変量)	重複履修不可
SIC60800	脳神経科学	SIC65100	脳科学	重複履修不可
SIC61900	可視化学	SIC61910	リモートセンシング信号処理	重複履修不可
SIC62300	知識工学	SIC62310	人工知能入門	重複履修不可

※ これらの科目を未修得の者は、右記の読み替え科目を履修すること

4. 開講科目担当表

13年次生以降

理工共通科目Ⅰ群・Ⅱ群の科目はp.585～を参照のこと

学科コア科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科コア科目	SIC10101	ICS101	情報理工学Ⅰ (コンピュータアーキテクチャ)	2	秋	萬代 雅希	1	
		SIC10200	ICS111	基礎プログラミング	1	秋	川端 亮 山下 遥	1	
		SIC20100	ICS201	情報理工学Ⅱ (コンピュータソフトウェア)	2	春	川端 亮	2	
		SIC20500	ICS202	情報理工学Ⅲ (計算と情報の理論)	2	秋	澁谷 智治 宮本 裕一郎	2	
		SIC20600	ICS211	情報学演習Ⅰ	1	春	ゴンサルベス タッド 川端 亮 高岡 詠子	2	輪講, 1クラス
		SIC20600	ICS211	情報学演習Ⅰ	1	春	ゴンサルベス タッド 川端 亮 高岡 詠子	2	輪講, 2クラス
		SIC20700	ICS221	情報数理演習Ⅰ	1	春	大城 佳奈子 都築 正男	2	輪講, 1クラス
		SIC20700	ICS221	情報数理演習Ⅰ	1	春	大城 佳奈子 都築 正男	2	輪講, 2クラス
		SIC20300	ICS291	情報理工学実験Ⅰ	1	秋	藤井 麻美子・他	2	輪講
		SIC20800	ICS212	情報学演習Ⅱ	1	秋	ゴンサルベス タッド 藤井 麻美子 宮本 裕一郎	2	輪講, 1クラス
		SIC20800	ICS212	情報学演習Ⅱ	1	秋	ゴンサルベス タッド 藤井 麻美子 宮本 裕一郎	2	輪講, 2クラス
		SIC20900	ICS222	情報数理演習Ⅱ	1	秋	五味 靖 大城 佳奈子	2	輪講, 1クラス
		SIC20900	ICS222	情報数理演習Ⅱ	1	秋	五味 靖 大城 佳奈子	2	輪講, 2クラス
		SIC30100	ICS391	情報理工学実験Ⅱ	1	春	林 等・他	3	輪講
		SIC30500	ICS311	情報学演習Ⅲ	1	春	川中 彰樹 中島 俊 高橋 浩 宮本 裕一郎 後藤 聡史	3	輪講, 1クラス
		SIC30500	ICS311	情報学演習Ⅲ	1	春	川中 彰樹 中島 俊 高橋 浩 宮本 裕一郎 後藤 聡史	3	輪講, 2クラス
		SIC30300	ICS331	ゼミナールⅠ	1	春	情報理工学科教員	3	
		SIC30400	ICS332	ゼミナールⅡ	1	秋	情報理工学科教員	3	
		SIC40100	ICS431	卒業研究Ⅰ	1	春	情報理工学科教員	4	
		SIC40200	ICS432	卒業研究Ⅱ	1	秋	情報理工学科教員	4	

12年次生以前

理工共通科目 I 群・II 群の科目はp.596～を参照のこと

学科コア科目

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目 学科コア科目	SIC10100	ICS101	情報理工学 I (コンピュータアーキテクチャ)	2	秋	萬代 雅希	1		
	SIC20100	ICS201	情報理工学 II (コンピュータソフトウェア)	2	春	川端 亮	2		
	SIC20200		情報理工学演習 I	1			2		読み替え科目「情報数理演習 I」 注3, p.650参照
	SIC20300	ICS291	情報理工学実験 I	1	秋	藤井麻美子・他	2		輪講
	SIC20400		情報理工学演習 II	1			2		読み替え科目「情報数理演習 II」 注3, p.650参照
	SIC30100	ICS391	情報理工学実験 II	1	春	林 等・他	3		輪講
	SIC30200	ICS312	情報理工学演習 III	1			3		読み替え科目「情報学演習 III」 注3, p.650参照
	SIC30300	ICS331	ゼミナール I	1	春	情報理工学科教員	3		
	SIC30400	ICS332	ゼミナール II	1	秋	情報理工学科教員	3		
	SIC40100	ICS431	卒業研究 I	1	春	情報理工学科教員	4		
	SIC40200	ICS432	卒業研究 II	1	秋	情報理工学科教員	4		

【各入学年次共通】

学科専門科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科専門科目	【A群】人間情報								
	SIC60100	INF326	感覚情報処理	2	休講		3・4		隔年開講
	SIC60200	INF321	音声・音響工学	2	春	荒井隆行	3・4		
	SIC60300	INF327	画像処理工学	2	秋	川中彰	3・4		
	SIC60400	INF311	学習・記憶・認知	2	春	田中昌司	3・4		
	SIC60500	INF322	ニューラルネットワーク	2	春	山中高夫	3・4		
	SIC60600	INF323	教育情報工学	2	春	田村恭久	3・4		[80名]
	SIC60700	INF328	福祉情報学	2	秋	荒井隆行 笹川展幸 藤井麻美 吉畑博啓 *安矢入郁子	3・4		輪講，文理融合科目
	SIC65100	INF314	脳科学	2	秋	田中昌司	3・4		注3，旧「脳神経科学」
	SIC60900	BIO341	神経情報薬理学	2	秋	笹川展幸	3・4		注2
	SIC61000	BIO342	細胞神経科学	2	秋	新倉貴子	3・4		注2
	SIC61100	EEE373	生体医工学	2	休講		3・4		輪講，隔年開講，注2
	SIC61200	INF324	言語情報学入門	2	春	荒井隆行 ゴンサルベスタッド 高岡詠子 山端亮遥 秋山真一	3・4		隔年開講，文理融合科目
	SIC61300	INF312	実験心理学	2	秋	*駒井章治	3・4		文理融合科目，[60名]
	【B群】情報通信								
	SIC61400	INF336	情報通信工学	2	秋	小川将克	3・4		注2
	SEA66010	EEE344	電磁波伝搬の基礎	2					(他)機能創造理工学科，注2
	SIC61500	EEE371	電子デバイス	2	春	和保孝夫	3・4		注2
	SIC61600	INF331	信号基礎論	2	春	小川将克	3・4		注2
	SIC61700	INF337	通信ネットワークシステム	2	春	高橋浩等	3・4		注2
	SIC61800	INF332	ヒューマンコミュニケーション	2	春	高橋浩行 荒井隆彰 川中田保司 藤田中昌	3・4		輪講，文理融合科目
	SIC61910	INF338	リモートセンシング信号処理	2	秋	炭親良	3・4		注3，隔年開講，旧「可視化学」
	SIC64400	INF333	コンピューティングアーキテクチャ	2	春	萬代雅希	3・4		
	SIC64500	EEE372	計測と制御	2	春	林等	3・4		注2 [110名]
	【C群】社会情報								
	SIC62100	INF356	情報システム工学	2	春	川端亮	3・4		
	SIC62200	INF352	シミュレーション工学	2	春	ゴンサルベスタッド	3・4		隔年開講
	SIC62310	INF351	人工知能入門	2	休講		3・4		隔年開講，注3，旧「知識工学」
	SIC62110	INF366	ビジネスデータ分析	2	秋	山下遥	3・4		

学部共通
物質生命
機能創造
情報

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選択科目 学科専門科目	SIC62500	INF361	生産工学	2	春	伊呂原 隆	3・4			
	SIC64300	INF357	メディア工学	2	秋	矢入 郁子	3・4			
	SIC62600	INF364	ロジスティクス工学	2	秋	宮本 裕一郎	3・4			
	SIC62700	INF354	メディア情報論	2	春	矢入 郁子・他	3・4		[80名], 日本マイクロソフト株式会社連携講座	
	SIC62800	INF362	経営情報学	2	春	伊呂原 隆	3・4		文理融合科目	
	SIC64600	INF365	社会情報学	2	秋	コーディネータ 伊呂原 隆	3・4		輪講, 文理融合科目	
	SIC65200	INF375	物流産業論	2	春	コーディネータ 伊呂原 隆	3・4		輪講, 連携(寄付)講座	
	【D群】数理情報									
	SIC63000	INF371	計算機数学	2	春	角 皆 宏	3・4			
	SIC63100	INF374	離散数学	2	秋	澁谷 智治	3・4			
	SIC63200	INF334	暗号・符号理論と情報セキュリティ	2	春	澁谷 智治	3・4			
	SIC63300	INF372	多変量解析	2	春	山中 高夫	3・4			
	SIC63400	MTH341	数理ファイナンス基礎	2	秋	*青木 義充	3・4		文理融合科目	
	SIC64700	MTH311	代数学Ⅱ (環と加群)	2	春	中島 俊樹	3・4		注3, 旧「環と加群」	
	SIC64800	MTH312	代数学Ⅲ (ガロア理論)	2	秋	角 皆 宏	3・4		隔年開講, 注3, 旧「体とガロア理論」	
	SIC64900	MTH321	幾何学Ⅱ (多様体論)	2	秋	辻 元	3・4		隔年開講, 注3, 旧「多様体論」	
SIC65000	MTH322	幾何学Ⅲ (位相不変量)	2	休講		3・4		隔年開講, 注3, 旧「位相空間の不変量」		
SIC63900	MTH333	測度論	2	休講		3・4		隔年開講		
SIC64000	MTH331	常微分方程式	2	秋	中筋 麻貴	3・4				

(注1) 3年次以上, 未履修者は2クラスを選択すること。

(注2) 「3. 履修上の注意」①, (6)ウ. を参照のこと。

(注3) p.668 「カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について」を参照のこと。

「無線従事者（第一級陸上特殊無線技士）」資格と「無線従事者（第三級海上特殊無線技士）」資格について

大学を卒業後、業務で無線設備を運用することが必要となることがある。具体的には移動通信、固定通信、衛星通信、レーダでの業務や、沿岸海域で操業する小型漁船やプレジャーボートでの無線設備運用などである。また、研究開発の現場では、無線設備を用いた現場試験を行う場合である。これらの業務では、法令に定められた規程に基づいて運用をすることが必要となるため、特定の資格が必要となる。

1. 履修すべき科目

情報通信工学（情報理工学科/機能創造理工学科¹・学科専門科目）、電磁波伝搬の基礎（情報理工学科/機能創造理工学科・学科専門科目）、電磁気測定（理工共通科目Ⅱ群）、電気通信法規（理工共通科目Ⅰ群）の全4科目。これらは1科目でもかけるとその要件は満たされないので注意すること。

¹13年次生以降は、機能創造理工学科の学科専門科目である。

2. 免許の申請について

卒業後に資格が必要となったときいつでも申請をすることができる。

3. 操作することができる主な無線設備

第一級陸上特殊無線技士では

- 多重無線設備を使用した固定局等の無線設備

具体的な例としては携帯・自動車電話基地局、PHS基地局、無線呼び出し基地局、固定マイクロ無線局、およびこれらに対応する実験基地局等

- 陸上を移動する形態の無線局、VSAT（ハブ）局の無線設備

- タクシー無線、トラック無線の基地局などの無線設備

第三級海上特殊無線技士では

- 沿岸海域で操業する小型漁船やプレジャーボートの船舶局の無線電話などの無線設備

詳しくは「無線従事者の操作の範囲等を定める政令」に規定してあります。

「無線従事者（第一級陸上無線技術士）」資格について

電波法では、無線設備の操作は、原則として一定の資格を有する「無線従事者」でなければ行ってはならないことを定めています。

無線設備の操作は、「通信操作」と「技術操作」に分けられます。「通信操作」は、マイクロホンを用いて通話する作業など、実際に通信を行うための無線設備の操作です。一方、「技術操作」は、通信が能率的かつ確実に行われるように、「通信操作」に対応して、無線設備の調整及びこれに付随する操作です。

「無線従事者（第一級陸上無線技術士）」資格は、無線設備（アマチュア無線局の操作を除く。）の「技術操作」を行うことができる国家資格です。

平成28年4月以降に入学し、情報理工学科に在学中に、表1の認定に係る教育課程の単位を修得して卒業した者は、当該卒業の日から3年以内に実施される「無線従事者（第一級陸上無線技術士）」の国家試験を受ける場合は、申請により、「無線従事者（第一級陸上無線技術士）」の国家試験のうち「無線工学の基礎」の試験科目の試験が免除されます。これらは表1の科目のうち1科目でも欠けるとその要件は満たされないので注意してください。

この資格の詳細は以下の総務省のホームページを参照して下さい。また、受験希望者は担当教員である林等教授に相談して下さい。

無線従事者関係の認定学校等一覧

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/operator/oai/index.htm>

「無線従事者（第一級総合無線通信士）」資格について

「無線従事者（第一級総合無線通信士）」資格は、無線設備の「通信操作」を行うことができる国家資格です。

平成28年4月以降に入学し、情報理工学科に在学中に、表1の認定に係る教育課程の単位を修得して卒業した者は、当該卒業の日から3年以内に実施される「無線従事者（第一級総合無線通信士）」の国家試験を受ける場合は、申請により、「無線従事者（第一級総合無線通信士）」の国家試験のうち「無線工学の基礎」の試験科目の試験が免除されます。これらは表1の科目のうち1科目でも欠けるとその要件は満たされないので注意してください。

この資格の詳細は以下の総務省のホームページを参照して下さい。また、受験希望者は担当教員である林等教授に相談して下さい。

無線従事者関係の認定学校等一覧

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/operator/oai/index.htm>

「電気通信主任技術者」資格について

インターネットや情報インフラなどのネットワークサービスを提供する電気通信事業者の設備の工事、維持及び運用を監督する国家資格です。

中規模以上の電気通信事業者は全て電気通信主任技術者の選任を義務づけられているため、多くの企業で必要とされる社会的ニーズの高い資格です。

平成28年4月以降に入学し、情報理工学科に在学中に、表1の認定に係る教育課程の単位を修得した者は、在学中でも申請により、「電気通信主任技術者」の国家試験のうち「電気通信システム」の試験科目の試験が免除されます。これらは表1の科目のうち1科目でも欠けるとその要件は満たされないので注意してください。

この資格の詳細は以下の総務省のホームページを参照して下さい。また、受験希望者は担当教員である林等教授に相談して下さい。

電気通信関係資格手続きの案内

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/denkishikaku.html

表1 情報理工学科の学生が履修すべき科目

学科科目の分類	科目コード	ナンバリング	授業科目	第一級陸上無線技術士 (28科目)	第一級総合無線通信士 (27科目)	電気通信主任技術者 (18科目)
理工共通科目Ⅰ群	SCT11000	INF101	基礎情報学	○	○	
理工共通科目Ⅰ群	SCT11600	MTH111	数学AⅠ(線型代数)	○	○	○
理工共通科目Ⅰ群	SCT11700	MTH131	数学BⅠ(微積分)	○	○	○
理工共通科目Ⅰ群	SCT11800	MTH191	数学演習Ⅰ	○	○	
理工共通科目Ⅰ群	SCT10700	PHY101	基礎物理学	○	○	○
理工共通科目Ⅰ群	SCT11900	NSC191	理工基礎実験・演習	○	○	○
学科コア科目	SIC10100	ICS101	情報理工学Ⅰ	○	○	○
学科コア科目	SIC20500	ICS202	情報理工学Ⅲ	○	○	○
学科コア科目	SIC20700	ICS221	情報数理解習Ⅰ	○	○	
学科コア科目	SIC20900	ICS222	情報数理解習Ⅱ	○	○	
学科コア科目	SIC20300	ICS291	情報理工学実験Ⅰ	○	○	○
学科コア科目	SIC30100	ICS391	情報理工学実験Ⅱ	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT67500	INF231	情報通信工学の基礎	○		
理工共通科目Ⅱ群	SCT68500	EAS211	電磁気学Ⅰ	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT66900	EEE205	電磁気学ⅡA	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT61400	EEE215	電子回路	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT64100	EEE217	集積回路の基礎	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT68100	EEE105	電気回路Ⅰ	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT64200	EEE211	デジタル回路	○	○	○
理工共通科目Ⅱ群	SCT63900	INF222	デジタル信号処理	○	○	
理工共通科目Ⅱ群	SCT64000	EEE216	電磁気測定	○	○	○
学科専門科目	SIC61400	INF336	情報通信工学	○	○	○
学科専門科目	SEA66010	EEE344	電磁波伝搬の基礎(※)	○	○	○
学科専門科目	SEA66000	EEE345	光電磁波伝送工学	○	○	
学科専門科目	SIC61500	EEE371	電子デバイス	○	○	
学科専門科目	SIC61600	INF331	信号基礎論	○	○	
学科専門科目	SIC64500	EEE372	計測と制御	○	○	
学科専門科目	SIC61700	INF337	通信ネットワークシステム	○	○	○

(※) 機能創造理工学科で開講されている科目だが情報理工学科の「学科専門科目」として算入される。

2018年度 上智大学履修要覧〔学科科目編〕

2018年4月1日発行

編集・発行 上智大学学事局学事センター

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7番1号 電話03 (3238) 3515
<https://www.sophia.ac.jp/>

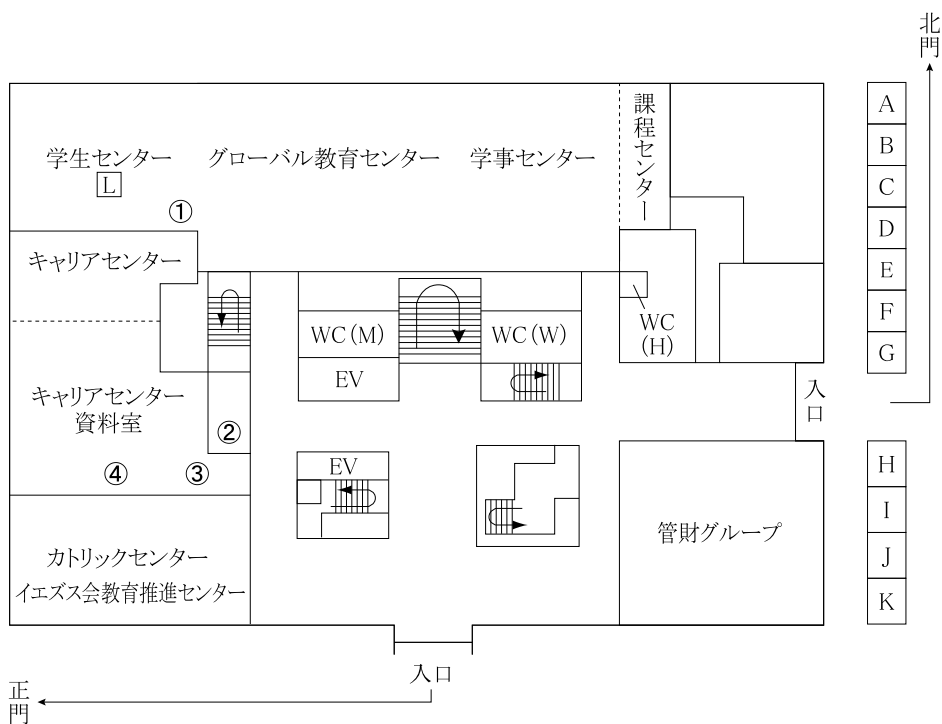
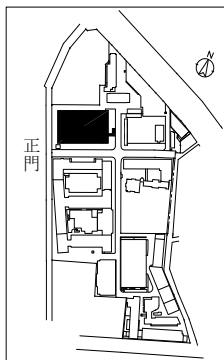
印刷 日経印刷株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5 電話03 (6758) 1001
<http://www.nik-prt.co.jp/>

2号館掲示板

大学から学生への伝達はすべて Loyola 掲示板により行います。Loyola に掲示できないものについてのみ紙による掲示を行いますので、2号館内と外の掲示を確認して下さい。掲示を見なかったために起こる不利益は、本人の責任になります。

<1階>



※2018年夏変更予定

変更に関するお知らせは Loyola 掲示板で確認してください。

① 学生センター

② } ※キャリアセンター資料室内
 ③ }
 ④ }

A 入学センター

B } 博物館・美術館キャンパス

C } メンバーズ等掲示板

D カトリックセンター

E } 学事センター

F }
 G }

H } 学生センター
 I }

J キャリアセンター

K グローバル教育センター

L 学生センター

掲示板の内容

	主な掲示内容	左の図における位置
教務関係	全学生共通のお知らせ (学事関係)	E-G
	海外留学, 国際交流活動	C
学生生活	就職, キャリア形成	J
	保険関係・卒業アルバム等	I
	ボランティアビューロー	L
	課外活動	I
	奨学金 (外国人留学生以外)	H
	奨学金 (外国人留学生用)	L
	博物館・美術館キャンパスメンバーズ	K